CICS Transaction Server for z/OS

CICS 統計リファレンス

バージョン *5* リリース *5*

CICS Transaction Server for z/OS

CICS 統計リファレンス

バージョン *5* リリース *5*

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 571 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM CICS Transaction Server for z/OS バージョン 5 リリース 5 (製品番号 5655-Y04) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： CICS Transaction Server for z/OS
CICS Statistics Reference
Version 5 Release 5

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1977, 2018.

目次

この PDF について vii

第 1 章 DFHSTUP レポート 1

非同期サービス統計 1
非同期サービス・ドメイン: グローバル統計 . . . 1
Atom フィード統計 2
Atom フィード: リソース統計 2
Atom フィード: 要約リソース統計 6
自動インストール統計 7
自動インストール: グローバル統計 - ローカル定義 7
自動インストール: グローバル統計 - リモート定義 - シップされた端末の統計. 9
自動インストール: サマリー・グローバル統計. . 12
BUNDLE 統計 13
バンドル: リソース統計 13
BUNDLE: 要約リソース統計 14
CICS Db2 統計 15
CICS Db2: グローバル統計 15
CICS Db2: リソース統計. 21
CICS Db2: 要約グローバル統計 25
CICS Db2: 要約リソース統計 28
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーの統計 30
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: リスト構造の統計 30
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: テーブル・アクセスの統計 33
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: 要求の統計 34
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: ストレージの統計 35
DBCTL セッション終了統計. 36
DBCTL セッション終了: グローバル統計 . . . 36
DBCTL セッション終了: サマリー・グローバル統計. 38
ディスパッチャー・ドメイン統計 39
ディスパッチャー・ドメイン: グローバル統計. . 39
ディスパッチャー・ドメイン: TCB モード統計 42
ディスパッチャー・ドメイン: TCB プール統計 46
ディスパッチャー・ドメイン: MVS TCB 統計. . 50
ディスパッチャー・ドメイン: サマリー・グローバル統計 53
ディスパッチャー・ドメイン: サマリー TCB モード統計 54
ディスパッチャー・ドメイン: サマリー TCB プール統計 56
文書テンプレートの統計 58
文書テンプレート: リソース統計 58
文書テンプレート: 要約リソース統計. 62
ダンプ・ドメイン統計. 63
ダンプ・ドメイン: システム・ダンプ統計 . . . 63
ダンプ・ドメイン: トランザクション・ダンプ統計 66
エンキュー・ドメイン統計 69
エンキュー統計の解釈. 69
エンキュー・ドメイン: グローバル統計 - エンキュー要求 69
エンキュー・ドメイン: サマリー・グローバル統計 72
イベント処理統計 73
CAPTURESPEC 統計 73
EPADAPTER 統計 74
EVENTBINDING 統計 76
EVENTPROCESS 統計 79
フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) 統計 84
FEPI: 接続統計 84
FEPI: プール統計 85
FEPI: ターゲット統計 87
FEPI: 非送信請求接続統計 88
FEPI: 非送信請求プール統計. 88
FEPI: 非送信請求ターゲット統計 88
FEPI: 要約接続統計. 88
FEPI: 要約プール統計 89
FEPI: 要約ターゲット統計 89
ファイル制御統計 89
ファイル統計の解釈 90
ファイル: リソース統計 - リソース情報. . . . 91
ファイル: リソース統計 - 要求情報 96
ファイル: リソース統計 - データ・テーブル要求情報. 99
ファイル: リソース統計 - パフォーマンス情報 104
ファイル: 要約統計 - リソース情報 106
ファイル: 要約統計 - 要求情報 107
ファイル: 要約統計 - データ・テーブル要求情報 109
ファイル: 要約統計 - パフォーマンス情報. . . 109
ISC/IRC システムおよびモード・エントリー統計 110
ISC/IRC システムおよびモード・エントリー統計の解釈 110
ISC/IRC システム・エントリー: リソース統計 119
ISC/IRC システム・エントリー: 要約リソース統計 128
ISC モード・エントリー: リソース統計 . . . 131
ISC モード・エントリー: 要約リソース統計 . . 135
ISC/IRC 接続時間エントリー統計の解釈 137
ISC および IRC 接続時間エントリー統計の解釈 137
ISC/IRC 接続時間: リソース統計 138
ISC/IRC 接続時間: サマリー・リソース統計 138
IPCONN 統計 139
IPCONN 統計の解釈. 139

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

IPCONN: リソース統計 139
IPCONN: 要約リソース統計 149
ジャーナル名統計 153
ジャーナル名: リソース統計 154
ジャーナル名: 要約リソース統計 155
JVM サーバー統計 156
JVMSERVER 統計. 156
JVM プログラム統計 164
ライブラリー統計 170
LIBRARY - 公開: リソース統計 170
LIBRARY - 専用: リソース統計 175
ローダー・ドメイン統計. 180
ローダー統計の解釈 180
ローダー・ドメイン: グローバル統計 181
ローダー・ドメイン: 要約グローバル統計 . . . 191
ログ・ストリーム統計 196
ログ・ストリーム: グローバル統計 196
ログ・ストリーム: リソース統計 197
ログ・ストリーム: 要求統計 199
ログ・ストリーム: 要約グローバル統計. . . . 200
ログ・ストリーム: 要約リソース統計 201
ログ・ストリーム: 要約要求統計 202
LSR プール統計 203
LSR プール統計の解釈 203
LSR プール: 各 LSR プールのリソース統計 . . 204
LSR プール: データ・バッファー統計 206
LSR プール: ハイパースペース・データ・バッファーの統計 207
LSR プール: 索引バッファーの統計 208
LSR プール: ハイパースペース索引バッファーの統計. 209
LSR プール: バッファーの統計 210
LSR プール: ハイパースペース・バッファーの統計 211
LSR プール: 各 LSR プールの要約リソース統計 212
LSR プール: 要約データ・バッファーの統計 213
LSR プール: 要約ハイパースペース・データ・バッファーの統計 213
LSR プール: 要約索引バッファー統計 214
LSR プール: 要約ハイパースペース索引バッファーの統計 214
LSR プール: 要約バッファーの統計 215
LSR プール: 要約ハイパースペース・バッファーの統計 216
LSR プール: プールを使用するように指定された各ファイルのファイル - リソースの統計 . . 216
LSR プール: ファイル - 要約リソースの統計 217
モニター・ドメイン統計. 218
モニター・ドメイン: グローバル統計 218
モニター・ドメイン: 要約グローバル統計 . . . 224
名前付きカウンター・シーケンス番号サーバー . . 227
名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの統計 228
名前付きカウンター・サーバー: ストレージの統計 229
NODEJSAPP 統計. 230
NODEJSAPP: リソース統計 230
NODEJSAPP: 要約リソース統計 234
プログラム自動インストール統計. 235
プログラム自動インストール: グローバル統計 235
プログラム自動インストール: 要約グローバル統計 236
PIPELINE 定義の統計 236
PIPELINE 定義: リソース統計 236
PIPELINE 定義: 要約リソース統計 239
ポリシー統計 240
ポリシー: リソース統計 240
ポリシー: 要約リソース統計 242
プログラム統計. 243
プログラム統計の解釈 243
プログラム - 公開: リソース統計. 243
プログラム - 公開: 要約リソース統計 246
プログラム - 専用: リソース統計. 247
プログラム - 専用: 要約リソース統計 250
プログラム定義統計 251
プログラム定義 - 公開: リソース統計 252
プログラム定義 - 公開: 要約リソース統計. . . 256
プログラム定義 - 専用: リソース統計 257
プログラム定義 - 専用: 要約リソース統計. . . 262
リカバリー・マネージャー統計 263
リカバリー・マネージャー: グローバル統計 . . 263
リカバリー・マネージャー: 要約グローバル統計 268
共用一時記憶域キュー・サーバーの統計 270
共用 TS キュー・サーバー: カップリング・ファシリティー統計. 270
共用 TS キュー・サーバー: バッファー・プール統計 273
共用 TS キュー・サーバー: ストレージ・ファシリティー統計 274
統計ドメイン統計 276
統計ドメイン: グローバル統計. 276
統計ドメイン: 要約グローバル統計 278
ストレージ・マネージャー統計 279
ストレージ・マネージャー統計の解釈 279
ストレージ・マネージャー: ドメイン・サブプールの統計 280
ストレージ・マネージャー: グローバル統計 . . 283
ストレージ・マネージャー: サブスペース統計 287
ストレージ・マネージャー: 動的ストレージ域統計 288
ストレージ・マネージャー: タスク・サブプールの統計. 294
ストレージ・マネージャー: 要約ドメイン・サブプールの統計 296
ストレージ・マネージャー: 要約グローバル統計 297
ストレージ・マネージャー: 要約サブスペース統計 299
ストレージ・マネージャー: 要約動的ストレージ域統計. 299
ストレージ・マネージャー: 要約タスク・サブプールの統計 301
テーブル・マネージャー統計 302

テーブル・マネージャー: グローバル統計 . . . 302
テーブル・マネージャー: 要約グローバル統計 302
TCP/IP グローバル統計および TCP/IP サービス統計 303
TCP/IP: グローバル統計 303
TCP/IP: 要約グローバル統計 308
TCP/IP サービス: リソース統計 310
TCP/IP サービス: 要約リソース統計 314
一時記憶域統計. 316
一時記憶域統計の解釈 316
一時記憶域: グローバル統計 317
一時記憶域: 要約グローバル統計 323
端末管理統計 326
端末管理: リソース統計 326
端末管理: 要約リソース統計 329
トランザクション・クラス (TCLASS) 統計 . . . 330
トランザクション・クラス: リソース統計 . . . 330
トランザクション・クラス: 要約リソース統計 335
トランザクション統計 336
トランザクション統計の解釈 336
トランザクション・マネージャー: グローバル統計 337
トランザクション: リソース統計 339
トランザクション: リソース統計 - リソース情報 339
トランザクション: リソース統計 - 保全性情報 342
トランザクション・マネージャー: 要約グローバル統計. 345
トランザクション: 要約リソース統計 - リソース情報. 346
トランザクション: 要約リソース統計 - 保全性情報 347
一時データ統計. 348
一時データ統計の解釈 348
一時データ: グローバル統計 349
一時データ: リソース統計 354
一時データ: 要約グローバル統計 364
一時データ: 要約リソース統計. 366
URIMAP 定義の統計. 369
URIMAP 定義: グローバル統計 369
URIMAP 定義: リソース統計 371
URIMAP 定義: 要約グローバル統計. 377
URIMAP 定義: 要約リソース統計 378
ユーザー・ドメイン統計. 381
ユーザー・ドメイン統計の解釈 381
ユーザー・ドメイン: グローバル統計 383
ユーザー・ドメイン: 要約グローバル統計 . . . 384
SNA 統計 384
z/OS Communications Server 統計の解釈 . . 384
z/OS Communications Server: グローバル統計 386
z/OS Communications Server: 要約グローバル統計 388
Web サービス統計 389
Web サービス: リソース統計 390
Web サービス: 要約リソース統計 393
CICS MQ 統計. 394
IBM MQ 接続統計 394
IBM MQ 接続: 要約グローバル統計. 401
IBM MQ モニター統計 404
IBM MQ モニター: 要約統計 407
XMLTRANSFORM 統計 408
XMLTRANSFORM: リソース統計 408
XMLTRANSFORM: 要約リソース統計 410

第 2 章 DFH0STAT レポート. 411

ATOMSERVICE レポート 411
非同期サービス・レポート 413
バンドル・レポート 414
接続およびモードネーム・レポート 415
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プール・レポート 419
データ・セット名レポート 419
データ・テーブル・レポート 420
DB2 レポート 422
Db2 接続レポート. 422
DB2 エントリー・レポート. 427
DFHRPL および LIBRARY 分析レポート. . . . 430
ディスパッチャー・レポート 431
ディスパッチャー・レポート 431
ディスパッチャー MVS TCB レポート. . . . 433
ディスパッチャー TCB モード・レポート. . . 436
ディスパッチャー TCB プール・レポート. . . 440
文書テンプレート・レポート 444
エンキュー・レポート 446
エンキュー・マネージャー・レポート 446
エンキュー・モデル・レポート 447
イベント処理レポート 448
CAPTURESPEC レポート 448
EPADAPTER レポート 449
EVENTBINDING レポート. 450
EVENTPROCESS レポート. 450
ファイル・レポート 453
ファイル要求レポート 454
グローバル・ユーザー出口レポート 455
IPCONN レポート 456
ジャーナル名レポート 461
JVM プログラム・レポート 462
JVMSERVER レポート 463
LIBRARY レポート 466
LIBRARY レポート 466
LIBRARY データ・セット連結レポート . . . 467
ローダーおよびプログラム・ストレージ・レポート 467
ログ・ストリーム・レポート 472
ログ・ストリーム・グローバル・レポートのフィールド. 472
ログ・ストリーム・システム・ログ・レポートのフィールド 473
ログ・ストリーム・リソース・レポートのフィールド 474
ログ・ストリーム要求レポートのフィールド . . 475
LSR プール・レポート 476
NODEJSAPP レポート 481

ページ・インデックス・レポート. 484
PIPELINE レポート 484
プログラム・レポート 485
プログラム・レポート 485
プログラム定義レポート. 487
プログラム自動インストール・レポート . . .488
DSA および LPA ごとのプログラム・レポート 489
プログラムの合計レポート. 490
リカバリー・マネージャー・レポート 492
ストレージ・レポート 494
16 MB 未満のストレージ・レポート 494
16 MB を超えるストレージ・レポート. . . .498
2 GB より上のストレージ・レポート 502
ストレージ - ドメイン・サブプール・レポート 510
ストレージ - プログラム・サブプール・レポート 513
システム状況レポート 514
TCP/IP レポート. 522
TCP/IP レポート. 522
TCP/IP サービス・レポート 526
一時記憶域レポート 529
一時記憶域レポート 529
一時記憶域メイン - ストレージ・サブプール・レポート. 533
一時記憶域モデル・レポート 534
一時記憶域キュー・レポート 535
共用 TS プールごとの一時記憶域キュー・レポート 535
端末自動インストールおよび z/OS Communications Server レポート 536
Tsqueue の合計レポート 540
トレース設定レポート 541
トランザクション・レポート 543
トランザクション・レポート 543
トランザクション・クラス・レポート 545
トランザクション・マネージャー・レポート. .546
トランザクションの合計レポート. 549
一時データ・レポート 550
一時データ・レポート 550
一時データ・キュー・レポート 551
一時データ・キューの合計レポート. 553
URIMAP レポート 553
URIMAP グローバル・レポート. 553
URIMAP レポート 554
ユーザー出口プログラム・レポート. 557
仮想ホスト・レポート 560
Web サービス・レポート 561
IBM MQ 接続レポート. 562
IBM MQ モニター・レポート. 565
XMLTRANSFORM レポート 568

特記事項. 571

索引 577

この PDF について

この PDF は、CICS のモニターに使用できる統計のリファレンスです。CICS TS V5.4 以前では、この PDF 内の情報は「パフォーマンスの手引き」に記載されていました。

本書で使用されている用語や表記について詳しくは、IBM Knowledge Center の『CICS 資料で使用されている表記規則および用語』を参照してください。

この PDF の作成日

この PDF は、2018 年 12 月 14 日 に作成されました。

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

第 1 章 DFHSTUP レポート

このセクションでは、CICS® 統計および関連付けられた DFHSTUP レポートを、統計のタイプごとにまとめてリストし、統計の解釈に関してさらに情報を提供します。

非同期サービス統計

非同期サービス・ドメインは、CICS 非同期 API の使用とアクティビティーに関するグローバル統計を収集します。

非同期サービス・ドメイン: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS ASYNCSERVICE システム・コマンドを使用して、バンドル統計を取得できます。これらの統計は DFHASGDS DSECT によってマップされます。

表 *1.* 非同期サービス・ドメイン: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
RUN コマンド	ASG_RUN_COUNT	発行された RUN TRANSID API コマンドの総数です。 リセット特性: ゼロにリセット
FETCH コマンド	ASG_FETCH_COUNT	発行された FETCH CHILD および FETCH ANY API コマンドの総数です。 リセット特性: ゼロにリセット
FREE コマンド	ASG_FREE_COUNT	発行された FREE CHILD API コマンドの総数です。 リセット特性: ゼロにリセット
RUN コマンドの遅延回数	ASG_RUN_DELAY_COUNT	CICS 自動制御によって RUN TRANSID API コマンドが遅延した合計回数。 リセット特性: ゼロにリセット
遅延する現在の親数	ASG_PARENTS_DELAYED_CUR	RUN TRANSID API コマンドの発行時に CICS 自動制御によって遅延している現行タスク数。 リセット特性: リセットなし

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

表 1. 非同期サービス・ドメイン: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
遅延されるピークの親数	ASG_PARENTS_DELAYED_PEAK	RUN TRANSID API コマンドの発行時に CICS 自動制御によって遅延したタスクのピーク数。 リセット特性: 現行にリセット
現在の子タスク数	ASG_CHILDREN_CUR	RUN TRANSID API コマンドが開始した現在のアクティブ・タスク数です。 リセット特性: リセットなし
子タスクのピーク数	ASG_CHILDREN_PEAK	RUN TRANSID API コマンドが開始したアクティブ・タスクのピーク数です。 リセット特性: 現行にリセット

Atom フィード統計

W2 ドメインは、Atom フィードを定義する ATOMSERVICE リソース定義の統計を収集します。

Atom フィード: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS ATOMSERVICE() システム・コマンドを使用して、Atom フィード統計を取得できます。これらの統計は DFHW2RDS DSECT によってマップされます。

表 2. *Atom* フィード: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
ATOMSERVICE Name (ATOMSERVICE 名)	W2R_ATOMSERV_NAME	ATOMSERVICE リソース定義の名前。 リセット特性: リセットなし

表 2. *Atom* フィード: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Atom document type (Atom 文書タイプ)	W2R_ATOMSERV_TYPE	この ATOMSERVICE リソース定義に対して戻される Atom 文書のタイプ。 カテゴリー Atom カテゴリー文書。コレクション内のエントリーのカテゴリーをリスト表示します。 **Collection (**コレクション**)** Atom コレクション文書。編集可能なエントリー文書のグループを含みます。 **Feed (**フィード**)** フィードのためのメタデータを記述し、フィードにデータを提供するエントリー文書を収めた Atom フィード文書。 サービス Atom サービス文書。サーバーで使用可能なコレクションに関する情報を提供します。 リセット特性: リセットなし
Atom binding file (Atom バインディング・ファイル)	W2R_ATOMSERV_BINDING_FILE	Atom フィードに使用されるリソースの Atom バインディング・ファイルの名前。 リセット特性: リセットなし
Atom 構成ファイル	W2R_ATOMSERV_CONFIG_FILE	Atom 文書のための XML を含む Atom 構成ファイルの名前。 リセット特性: リセットなし

表 2. *Atom* フィード: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Resource type for Atom feed (Atom フィードのリソース・タイプ)	W2R_ATOMSERV_RESTYPE	この Atom フィードにデータを提供するリソースのタイプ。 ファイル CICS ファイル。 プログラム Atom エントリーにコンテンツを提供するために作成された CICS アプリケーション・プログラムであるサービス・ルーチン。 **Tsqueue (TS キュー)** 一時記憶域キュー。 リセット特性: リセットなし
Resource name for Atom feed (Atom フィードのリソース名)	W2R_ATOMSERV_RESNAME	この Atom フィードまたはコレクションにデータを提供する CICS リソースの名前。 リセット特性: リセットなし
ATOMSERVICE reference count (ATOMSERVICE の参照回数)	W2R_ATOMSERV_REF_COUNT	この ATOMSERVICE リソース定義が参照された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
ATOMSERVICE referenced - disabled (ATOMSERVICE 参照 - 使用不可)	W2R_ATOMSERV_REF_DISABLED	この ATOMSERVICE リソース定義が参照されたものの、そのリソース定義は使用不可であった回数。 リセット特性: ゼロにリセット
POST requests to the feed URL (フィード URL への POST 要求数)	W2R_ATOMSERV_POST_FEED_CNT	新規の Atom エントリーをこの Atom フィードまたはコレクションに追加するための HTTP POST 要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
GET requests to the feed URL (フィード URL への GET 要求数)	W2R_ATOMSERV_GET_FEED_CNT	この Atom フィードまたはコレクションからエントリーのグループを入手するための HTTP GET 要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
GET requests to the entry URL (エントリー URL への GET 要求数)	W2R_ATOMSERV_GET_ENTRY_CNT	この Atom フィードまたはコレクションから個別の Atom エントリーを入手するための HTTP GET 要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 2. *Atom* フィード: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
PUT requests to the entry URL (エントリー URL への PUT 要求数)	W2R_ATOMSERV_PUT_ENTRY_CNT	この Atom フィードまたはコレクション内の Atom エントリーを編集するための HTTP PUT 要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
DELETE requests to the entry URL (エントリー URL への DELETE 要求数)	W2R_ATOMSERV_DEL_ENTRY_CNT	この Atom フィードまたはコレクションから個別の Atom エントリーを削除するための HTTP DELETE 要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	W2R_ATOMSERV_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳細については、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	W2R_ATOMSERV_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	W2R_ATOMSERV_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	W2R_ATOMSERV_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	W2R_ATOMSERV_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	W2R_ATOMSERV_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	W2R_ATOMSERV_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

表 2. *Atom* フィード: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	W2R_ATOMSERV_ URIMAP	この ATOMSERVICE リソースに関連する URI を示す URIMAP リソースの名前。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	W2R_ATOMSERV_ XMLTRANSFORM	この ATOMSERVICE リソースに関連する XMLTRANSFORM リソースの名前。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

Atom フィード: 要約リソース統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 3. *Atom* フィード: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
ATOMSERVICE Name (ATOMSERVICE 名)	ATOMSERVICE リソース定義の名前。
Atom document type (Atom 文書タイプ)	この ATOMSERVICE リソース定義に対して戻される Atom 文書のタイプ。 カテゴリー Atom カテゴリー文書。コレクション内のエントリーのカテゴリーをリスト表示します。 **Collection (コレクション)** 編集可能なエントリー文書のグループを収めた Atom コレクション文書。 **Feed (フィード)** フィードのためのメタデータを記述し、フィードにデータを提供するエントリー文書を収めた Atom フィード文書。 サービス Atom サービス文書。サーバーで使用可能なコレクションに関する情報を提供します。
Atom binding file (Atom バインディング・ファイル)	Atom フィードに使用されるリソースの Atom バインディング・ファイルの名前。

表 3. *Atom* フィード: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Atom 構成ファイル	Atom 文書のための XML を含む Atom 構成ファイルの名前。
Resource type for Atom feed (Atom フィードのリソース・タイプ)	この Atom フィードにデータを提供するリソースのタイプ。 ファイル CICS ファイル。 プログラム Atom エントリーにコンテンツを提供するために作成された CICS アプリケーション・プログラムであるサービス・ルーチン。 **Tsqueue (TS キュー)** 一時記憶域キュー。
Resource name for Atom feed (Atom フィードのリソース名)	この Atom フィードまたはコレクションにデータを提供する CICS リソースの名前。
ATOMSERVICE reference count (ATOMSERVICE の参照回数)	この ATOMSERVICE リソース定義が参照された回数。
ATOMSERVICE referenced - disabled (ATOMSERVICE 参照 - 使用不可)	この ATOMSERVICE リソース定義が参照されたものの、そのリソース定義は使用不可であった回数。

自動インストール統計

これは、システムの稼働中に、自動インストール機能により接続された端末に対する DFHSTUP リストです。

こららの統計は、インターバル、**1** 日の終わり、または要求済みの各統計として取得されます。 CICS では、非送信要求の自動インストール統計も記録され、DFHSTUP では別のレポートに出力されます。

自動インストール: グローバル統計 - ローカル定義

EXEC CICS COLLECT STATISTICS AUTOINSTALL システム・コマンドを使用して、自動インストールのグローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHA04DS DSECT によってマップされます。

表 4. 自動インストール: グローバル統計 - ローカル定義

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Autoinstall attempts (自動インストール試行数)	A04VADAT	ユーザー・ログオンに伴う端末エントリー作成のため、CICS の現行セッションの間に行われた適格な自動インストールの試行回数です。 適格とみなされる試行の場合、CICS および z/OS® Communications Server は終了することがなく、自動インストールが使用可能であり、さらに端末タイプは自動インストールに有効なタイプ (非パイプライン、LU6.1、または LU6.2 並列セッション) である必要があります。 リセット特性: ゼロにリセット
Rejected attempts (リジェクト試行数)	A04VADRJ	CICS の現行セッションの間に引き続きリジェクトされた、適格な自動インストールの試行回数です。 リジェクトの理由には、最大並行性値の超過、無効なバインド、ユーザー・プログラムのログオンでのリジェクト、などがあります。 この数値が不当に高い場合は、リジェクトの理由を確認してください。 リセット特性: ゼロにリセット
Deleted attempts (削除試行数)	A04VADLO	現行セッションの間のユーザー・ログオフに伴う端末エントリーの削除の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak concurrent attempts (ピーク並行試行数)	A04VADPK	現行セッションの間に、同時に行われたユーザー・ログオンに伴う端末エントリー作成の最高回数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Times the peak was reached (ピーク到達回数)	A04VADPX	現行セッションの間に、同時に行われたユーザー・ログオンに伴う端末エントリー作成の試行が最高数に達した回数です。 リセット特性: 1 にリセット
Times SETLOGON HOLD issued (SETLOGON HOLD 実行回数)	A04VADSH	現在の CICS 実行時において、SETLOGON HOLD コマンドが実行された回数です。 CICS では、許可された並行自動インストールの最大数 (AIQMAX システム初期設定パラメーター) を超過した場合、z/OS Communications Server SETLOGON HOLD コマンドが実行されます。 リセット特性: ゼロにリセット
Queued logons (待機ログオン数)	A04VADQT	同一 LU の直前セッションに対する TCTTE の進行中の削除のため、ログオン待ちになった試行回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 4. 自動インストール: グローバル統計 - ローカル定義 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Peak of queued logons (ピーク待機ログオン数)	A04VADQK	ある同時刻に、TCTTE 削除のため待機したログオンの最高数です。 この値が不当に高い場合は、AILDELAY システム初期設定パラメーターの削除遅延インターバル・パラメーターの増加を検討してください。 リセット特性: 現行値にリセット
Times queued peak reached (待機ピーク到達回数)	A04VADQX	このピークに到達した回数です。 リセット特性: 1 にリセット

自動インストール: グローバル統計 - リモート定義 - シップされた端末の統計

リモート定義およびシップされた端末の定義に関連した統計。

表 5. 自動インストール: グローバル統計 - リモート定義 - シップされた端末の統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Delete shipped interval (シップの削除インターバル)	A04RDINT	冗長なシップされた端末定義を削除するタイムアウト削除トランザクションの起動間隔である、**hhmmss** 形式の現在指定されている遅延時間です。 この値は、DSHIPINT システム初期設定パラメーター、または後続の SET DELETSHIPPED コマンドのいずれかにより設定されます。 リセット特性: リセットなし
Delete shipped idle time (シップの削除アイドル時間)	A04RDIDL	非アクティブなシップされた端末定義が、CICS タイムアウト削除トランザクションによる削除対象になる前に、この領域にインストールされた状態での、**hhmmss** 形式の現在指定されている最小時間です。 この値は、DSHIPIDL システム初期設定パラメーター、または後続の SET DELETSHIPPED コマンドのいずれかにより設定されます。 リセット特性: リセットなし
Shipped terminals built (シップされた端末作成数)	A04SKBLT	記録期間の開始時にインストールされ、記録期間の間に作成されたシップされたリモート端末定義の合計数です。 (これは、「Shipped terminals installed (インストール済みのシップされた端末数)」および「Shipped terminals timed out (タイムアウトになったシップされた端末数)」の合計と等価です。) リセット特性: インストール済みスケルトンの数にリセット

表 5. 自動インストール: グローバル統計 - リモート定義 - シップされた端末の統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Shipped terminals installed (インストール済みのシップされた端末数)	A04SKINS	この領域に現在インストールされているシップされたリモート端末定義の数です。 リセット特性: リセットなし
Shipped terminals timed out (タイムアウトになったシップされた端末数)	A04SKDEL	TIMEOUT トランザクションにより記録期間の間に削除されたシップされたリモート端末定義の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Times interval expired (インターバル期限切れ回数)	A04TIEXP	記録期間の開始以降、シップの削除インターバル (A04RDINT) が期限切れになった回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Remote deletes received (受信リモート削除数)	A04RDREC	記録期間の開始以降、この領域で受信された古い形式 (CICS/ESA 4.1 以前) のリモート削除命令の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Remote deletes issued (発行リモート削除数)	A04RDISS	記録期間の開始以降、この領域で発行された古い形式 (CICS/ESA 4.1 以前) のリモート削除命令の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Successful remote deletes (成功リモート削除数)	A04RDDEL	記録期間の開始以降、古い形式のリモート削除命令によりこの領域から削除されたシップされた端末定義の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Total idle count (合計アイドル回数)	A04TIDCT	以前使用されたすべてのリモート端末定義が、(システムから削除されたか、現在システムにあるかにかかわらず) 再使用の待機でアイドルになった回数の合計数です。 この数に、現在再使用の待機でアイドルであるリモート端末定義 (A04CIDCT を参照) は含まれません。 リセット特性: ゼロにリセット

表 5. 自動インストール: グローバル統計 - リモート定義 - シップされた端末の統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A04TIDLE	以前使用されたすべてのリモート端末定義が、(システムから削除されたか、現在システムにあるかにかかわらず) 再使用の待機でアイドルであった (STCK 単位で表される) 合計時間です。 この数に、現在再使用の待機でアイドルであるリモート端末定義 (A04CIDLE を参照) は含まれません。 リセット特性: ゼロにリセット
Average idle time (平均アイドル時間)		以前使用されたすべてのリモート端末定義が、(システムから削除されたか、現在システムにあるかにかかわらず) 再使用の待機でアイドルであった (STCK 単位で表される) 平均アイドル時間です。 この数値に、現在再使用の待機でアイドルであるリモート端末定義は含まれません。 この値は、DFHSTUP によりオフラインで計算されます。そのため、EXEC CICS COLLECT STATISTICS コマンドによるアクセスはできません。 リセット特性: リセットなし
Maximum idle time (最大アイドル時間)	A04TMAXI	記録期間の間において、以前よりアイドルであるシップされた端末定義がアイドルであった (STCK 単位で表される) 最大の時間です。 この数に、現在再使用の待機でアイドルであるリモート端末定義 (A04CMAXI) は含まれません。 リセット特性: 現行値にリセット
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A04CIDCT	アイドルであり再使用の待機中である、リモート端末定義の現行の数です。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A04CIDLE	再使用の待機中である現行の数のリモート端末定義がアイドルであった合計時間です。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A04CMAXI	再使用の待機中であるリモート端末定義がアイドルであった現行の最大時間です。 リセット特性: リセットなし

自動インストール: サマリー・グローバル統計

自動インストールの要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 6. 自動インストール: サマリー・グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Autoinstall attempts (自動インストール試行数)	ユーザー・ログオンに伴う端末エントリー作成のため、全 CICS セッションの間に行われた、適格な自動インストールの試行の合計数です。 適格とみなされる試行の場合、CICS および z/OS Communications Server は終了することがなく、自動インストールが使用可能であり、さらに端末タイプは自動インストールに有効なタイプ (非パイプライン、LU6.1、または LU6.2 並列セッション) である必要があります。
Rejected attempts (リジェクト試行数)	全 CICS セッションの間に引き続きリジェクトされた、適格な自動インストールの試行の合計数です。 リジェクトの理由には、最大並行性値の超過、無効なバインド、ユーザー・プログラムのログオンでのリジェクト、などがあります。この数値が不当に高い場合は、リジェクトの理由を確認してください。
Deleted attempts (削除試行数)	全セッションの間のユーザー・ログオフに伴う、端末エントリーの削除の合計数です。
Peak concurrent attempts (ピーク並行試行数)	全 CICS セッションの間に、同時に行われたユーザー・ログオンに伴う端末エントリー作成の最高回数です。
Times the peak was reached (ピーク到達回数)	全 CICS セッションの間に「Peak concurrent attempts (ピーク並行試行数)」の値に達した回数です。
Times SETLOGON HOLD issued (SETLOGON HOLD 実行回数)	全体の CICS 実行中に、SETLOGON HOLD コマンドが実行された回数です。 CICS では、許可された並行自動インストールの最大数 (AIQMAX システム初期設定パラメーター) を超過した場合、z/OS Communications Server SETLOGON HOLD コマンドが実行されます。
Queued logons (待機ログオン数)	同一 LU の直前セッションに対する TCTTE 進行中の削除のため、ログオン待ちになった試行の合計数です。
Peak of queued logons (ピーク待機ログオン数)	ある同時刻に、TCTTE 削除のため待機したログオンの最高数です。 この値が不当に高い場合は、AILDELAY システム初期設定パラメーターの削除遅延インターバル・パラメーターの増加を検討してください。
Times queued peak reached (待機ピーク到達回数)	「Peak of queued logons (ピーク待機ログオン数)」の値に達した回数です。
Delete shipped interval (シップの削除インターバル)	冗長なシップされた端末定義を削除するタイムアウト削除トランザクションの起動間隔である、**hhmmss** 形式の現在指定されている遅延時間です。 この値は、DSHIPINT システム初期設定パラメーター、または後続の SET DELETSHIPPED コマンドのいずれかにより設定されます。
Delete shipped idle time (シップの削除アイドル時間)	非アクティブなシップされた端末定義が、CICS タイムアウト削除トランザクションによる削除対象になる前に、この領域にインストールされた状態での、**hhmmss** 形式の現在指定されている最小時間です。 この値は、DSHIPIDL システム初期設定パラメーター、または後続の SET DELETSHIPPED コマンドのいずれかにより設定されます。
Shipped terminals built (シップされた端末作成数)	記録期間の開始時にインストールされた、および記録期間の間に作成された、シップされたリモート端末定義の合計数です。(これは、サマリー・レポートに表示されない統計である「Shipped terminals installed (インストール済みのシップされた端末数)」および「Shipped terminals timed out (タイムアウトになったシップされた端末数)」の合計と等価です。)
Shipped terminals timed out (タイムアウトになったシップされた端末数)	TIMEOUT トランザクションにより記録期間の間に削除されたシップされたリモート端末定義の数です。
Times interval expired (インターバル期限切れ回数)	記録期間中に、シップの削除インターバルが期限切れになった回数です。

表 6. 自動インストール: サマリー・グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Remote deletes received (受信リモート削除数)	記録期間中にこの領域で受信された、古い形式 (CICS/ESA 4.1 以前) のリモート削除命令の回数です。
Remote deletes issued (発行リモート削除数)	記録期間中にこの領域で発行された、古い形式 (CICS/ESA 4.1 以前) のリモート削除命令の回数です。
Successful remote deletes (成功リモート削除数)	記録期間中に、古い形式のリモート削除命令によりこの領域から削除された、シップされた端末定義の数です。
Total idle count (合計アイドル回数)	以前使用されたすべてのリモート端末定義が、(システムから削除されたか、現在システムにあるかにかかわらず) 再使用の待機でアイドルになった回数の合計数です。 この数に、現在再使用の待機でアイドルであるリモート端末定義 (A04CIDCT を参照) は含まれません。
Average idle time (平均アイドル時間)	以前使用されたすべてのリモート端末定義が、(システムから削除されたか、現在システムにあるかにかかわらず) 再使用の待機でアイドルであった (STCK 単位で表される) 平均アイドル時間です。 この数値に、現在再使用の待機でアイドルであるリモート端末定義は含まれません。
Maximum idle time (最大アイドル時間)	記録期間の間において、以前よりアイドルであるシップされた端末定義がアイドルであった (STCK 単位で表される) 最大の時間です。 この数に、現在再使用の待機でアイドルであるリモート端末定義 (A04CMAXI) は含まれません。

BUNDLE 統計

リソース・ライフ・サイクル (RL) ドメインは、CICS 領域にアプリケーション・バンドルを定義する BUNDLE リソース定義の統計を収集します。

バンドル: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS BUNDLE システム・コマンドを使用して、バンドル統計を取得できます。これらの統計は DFHRLRDS DSECT によってマップされます。

表 7. バンドル: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
バンドル名	RLR_BUNDLE_NAME	BUNDLE リソース定義の名前。 リセット特性: リセットなし
Bundle directory (バンドル・ディレクトリー)	RLR_BUNDLE_DIRECTORY	z/OS UNIX でのバンドルの場所。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	RLR_BUNDLE_BASESCOPE	BUNDLE リソースに関連付けられた有効範囲。 リセット特性: リセットなし

表 7. バンドル: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	RLR_BUNDLE_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	RLR_BUNDLE_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	RLR_BUNDLE_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	RLR_BUNDLE_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	RLR_BUNDLE_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	RLR_BUNDLE_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	RLR_BUNDLE_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

BUNDLE: 要約リソース統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 8. バンドル: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
BUNDLE name (BUNDLE 名)	BUNDLE リソース定義の名前。

表 *8.* バンドル*:* 要約リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
BUNDLE directory (BUNDLE ディレクトリー)	z/OS UNIX でのバンドルの場所。

CICS Db2 統計

Db2® 接続およびインストール済みの各 DB2ENTRY に関する統計が提供されます。

DSNC DISP STAT コマンドによる限られた統計出力、および接続機能終了時の DB2CONN の STATSQUEUE 宛先への出力に加えて、標準の CICS 統計インターフェースを使用して、以下のようなより包括的な CICS Db2 統計セットを収集できます。

- **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** 統計コマンドは、CICS Db2 グローバル統計の収集を可能にする DB2CONN キーワードを受け入れます。CICS Db2 グローバル統計は、DFHD2GDS DSECT によってマップされます。
- **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** 統計コマンドは、特定の DB2ENTRY に関する CICS Db2 リソース統計の収集を可能にする DB2ENTRY() キーワードを受け入れます。CICS Db2 リソース統計は、DFHD2RDS DSECT によってマップされます。
- **EXEC CICS PERFORM STATISTICS** コマンドは、CICS Db2 グローバルおよびリソース統計を SMF に書き出す要求をユーザーが出せるように DB2 キーワードを受け取ります。

CICS Db2: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DB2CONN システム・コマンドを使用して、CICS Db2 グローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHD2GDS DSECT によってマップされます。

表 *9. CICS Db2:* グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
DB2 接続名	D2G_DB2CONN_NAME	インストール済みの DB2CONN の名前。 リセット特性: リセットなし
DB2 グループ ID (DB2 groupid)	D2G_DB2_GROUP_ID	インストール済みの DB2CONN 定義で指定されている、Db2 サブシステムのデータ共用グループの名前。CICS は、このグループのどのアクティブ・メンバーにも接続します。 CICS が Db2 に接続している場合、または未解決の作業単位を再同期化するために特定の Db2 サブシステムへの再接続を待っている場合には、D2G_DB2_ID は選択されたデータ共用グループのメンバーを表示します。 リセット特性: リセットなし

表 9. CICS Db2: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Resyncmember	D2G_RESYNCMEMBER	Db2 グループ ID (D2G_DB2_GROUP_ID) セットを使用してグループ接続を使用しており、CICS が接続した最後の Db2 データ共用グループ・メンバーに対する未解決の作業単位が保留されている場合に CICS が実行するアクション。「Yes」は、CICS が最後に接続された Db2 データ共用グループ・メンバーに再接続することを意味します。 「No」は、CICS が最後に接続された Db2 データ共用グループ・メンバーへの再接続を 1 回試行し、失敗した場合には、その Db2 データ共用グループの任意のメンバーに接続することを意味します。 グループ接続を使用していない場合、この DSECT フィールドにはヌルが含まれます (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
DB2 Sysid (DB2 システム ID)	D2G_DB2_ID	CICS が接続された Db2 サブシステムの名前か、インストール済みの DB2CONN 定義で Db2 サブシステム ID が指定されている場合は、CICS が接続される Db2 サブシステムの名前です。 インストール済みの DB2CONN 定義で Db2 サブシステム ID の代わりに Db2 グループ ID (D2G_DB2_GROUP_ID) が指定されており、CICS が現在 Db2 に接続されていない場合には、D2G_DB2_ID は通常ブランクです。ただし、Db2 グループ ID は指定されているものの、未解決の作業単位を再同期化するために CICS が特定の Db2 サブシステムへの再接続を待っている場合には、D2G_DB2_ID は CICS が再接続を待っている Db2 サブシステムの ID を表示します。 リセット特性: リセットなし
DB2 接続日時 (DB2 connect date/time)	D2G_CONNECT_TIME_LOCAL	CICS が Db2 に接続したときの現地時間。 DFHSTUP レポートでは、この時間は hh:mm:ss と表されますが、DSECT フィールドには、この時間はローカル保管クロック (STCK) 値として含まれます。 リセット特性: リセットなし
DB2 切断日時 (DB2 disconnect date/time)	D2G_DISCONNECT_TIME_ LOCAL	CICS が Db2 から切断されたときの現地時間。 DFHSTUP レポートでは、この時間は hh:mm:ss と表されますが、DSECT フィールドには、この時間はローカル保管クロック (STCK) 値として含まれます。 切断時刻は、時間フィールドがヌルにクリアされた後で、CICS Db2 インターフェースがシャットダウンされるときに作成される DB2CONN 非送信請求統計レコードにのみ表示されます (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし

表 9. *CICS Db2:* グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
DB2 リリース	D2G_DB2_RELEASE	CICS が接続される Db2 サブシステムのバージョンおよびリリース・レベル。 CICS が現在 Db2 に接続されていない場合、DSECT フィールドにはヌルが含まれます (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
接続制限 (TCB 制限) (Connection limit (TCB limit))	D2G_TCB_LIMIT	CICS-Db2 接続機能によって使用される可能性のある TCB の最大数。 リセット特性: リセットなし
TCB のある現行接続数	D2G_TCB_CURRENT	OPEN TCB に関連した、CICS-Db2 接続機能によって使用される接続の現行数。 リセット特性: リセットなし
TCB のあるピーク接続数	D2G_TCB_HWM	OPEN TCB に関連した、CICS-Db2 接続機能によって使用される接続のピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット (D2G_TCB_CURRENT)
TCB のない現行接続数	D2G_TCB_FREE	CICS オープン TCB で使用可能なフリー接続の数。 リセット特性: リセットなし
接続 Readyq 上の現在のタスク数 (Current number of tasks on the conn Readyq)	D2G_TCB_READYQ_CURRENT	DB2CONN で指定されている TCBLIMIT に達したために、キューで待機している CICS タスクの数。 リセット特性: リセットなし
接続 Readyq 上のピーク・タスク数 (Peak number of tasks on the conn Readyq)	D2G_TCB_READYQ_HWM	DB2CONN で指定されている TCBLIMIT に達したために、キューで待機した CICS タスクのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット (D2G_TCB_READYQ_CURRENT)
保護スレッドが所有している現在の接続数 (Current conn owned by protected threads)	D2G_TCB_PROTECTED_CURRENT	保護スレッドが存在する現行の接続数。 リセット特性: リセットなし
Thread reuselimit (スレッド再利用限度)	D2G_REUSELIMIT	スレッドが終了するまでに再利用できる最大回数。 リセット特性: リセットなし
プール・スレッドが再利用限度に達した合計回数> (Total times reuselimit hit by a pool thread>)	D2G_POOL_REUSELIMIT_COUNT	プール・スレッドで再利用限度に達した回数。 リセット特性: ゼロにリセット
プール・スレッド計画名 (Pool thread plan name)	D2G_POOL_PLAN_NAME	プールに使用される計画の名前。 そのプールに対して動的計画出口が使用される場合、この DSECT フィールドはヌルになります (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし

表 9. CICS Db2: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
プール・スレッド動的計画出口名 (Pool thread dynamic planexit name)	D2G_POOL_PLANEXIT_NAME	プールに使用される動的計画出口の名前。そのプールに対して静的計画が使用される場合、この DSECT フィールドはヌルになります (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
プール・スレッド権限タイプ (Pool thread authtype)	D2G_POOL_AUTHTYPE	プール・スレッドの Db2 セキュリティー検査に使用される ID のタイプ。 プール・スレッドに対して Authid が使用される場合、この DSECT フィールドにはヌルが含まれます (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
プール・スレッド権限 ID (Pool thread authid)	D2G_POOL_AUTHID	プール・スレッドの Db2 セキュリティー検査に使用される静的 ID。 プール・スレッドに対して Authtype が使用される場合、この DSECT フィールドにはヌルが含まれます (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
プール・スレッド・アカウント・レコード設定 (Pool thread accountrec setting)	D2G_POOL_ACCOUNTREC	プール・スレッドを使用してトランザクション用に Db2 アカウント・レコードが作成される頻度を指定します。 リセット特性: リセットなし
プール・スレッドのスレッド待機設定 (Pool thread threadwait setting)	D2G_POOL_THREADWAIT	アクティブ・プール・スレッドの数がプール・スレッドの限界を超えた場合、トランザクションがプール・スレッドを待機するか、異常終了するかを指定します。 リセット特性: リセットなし
プール・スレッドの優先順位 (Pool thread priority)	D2G_POOL_PRIORITY	CICS メインタスク (QR TCB) を基準にした場合の、プール・スレッドのサブタスクの優先順位。 CICS が DB2® バージョン 6 以降に接続される場合、このフィールドは適用されず、ゼロになります (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
プール・スレッドを使用する呼び出し数	D2G_POOL_CALLS	プール・スレッドを使用して行われた SQL 呼び出しの数。クラウド・アプリケーション用の PACKAGESET サポートを使用している場合、この数には、アプリケーションに代わって DFHD2SPS が発行した **EXEC SQL SET CURRENT PACKAGESET** コマンドの数が含まれています。 リセット特性: リセットなし
プール・スレッド・サインオンの回数	D2G_POOL_SIGNONS	プール・スレッドを獲得するために実行された Db2 サインオンの回数。 リセット特性: ゼロにリセット
		リセット特性: ゼロにリセット

表 9. CICS Db2: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
プール・スレッドの部分的なサインオンの回数	D2G_POOL_PARTIAL_SIGNONS	プール・スレッドを獲得するために実行された Db2 部分サインオンの回数。 リセット特性: ゼロにリセット
プール・スレッド・コミットの回数	D2G_POOL_COMMITS	プール・スレッドを使用する作業単位に対して実行された 2 フェーズ・コミットの数。 リセット特性: ゼロにリセット
プール・スレッド打ち切り回数	D2G_POOL_ABORTS	ロールバックされたプール・スレッドを使用する作業単位の数。 リセット特性: ゼロにリセット
プール・スレッドの単一フェーズ回数 (Number of pool thread single phases)	D2G_POOL_SINGLE_PHASE	読み取り専用の UOW であるか、あるいは Db2 がその UOW 内で更新された唯一のリカバリー可能リソースであったために単一フェーズ・コミットを使用したプール・スレッドを使用する作業単位の数。
プール・スレッド作成回数 (Number of pool thread creates)	D2G_POOL_THREAD_CREATE	プールを使用している CICS トランザクションが、Db2 スレッドを作成する回数。 この数には、スレッドを獲得するためにプールにオーバーフローするトランザクションが含まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
プール・スレッド再利用回数 (Number of pool thread reuses)	D2G_POOL_THREAD_REUSE	プールを使用している CICS トランザクションが、既に作成されている Db2 スレッドを再使用できた回数。この数には、スレッドを獲得し、既存のスレッドを再使用するためにプールにオーバーフローするトランザクションが含まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
プール・スレッド終了回数 (Number of pool thread terminates)	D2G_POOL_THREAD_TERM	プール・スレッドを獲得するために、Db2 に対して行った終了スレッド要求の数。これには、プールにオーバーフローするトランザクションが使用したプール・スレッドが含まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
プール・スレッドの待機数	D2G_POOL_THREAD_WAITS	プール内の使用可能スレッドがすべて使用中で、スレッドが使用可能になるまでトランザクションが待機する必要が生じた回数。この数には、スレッドを獲得するためにプールにオーバーフローして、プール・スレッドを待つ必要が生じたトランザクションが含まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
現在のプール・スレッド限度 (Current pool thread limit)	D2G_POOL_THREAD_LIMIT	使用できるプール・スレッドの現在の最大数。 リセット特性: リセットなし
現在使用中のプール・スレッド数 (Current number of pool threads in use)	D2G_POOL_THREAD_CURRENT	アクティブ・プール・スレッドの現行数。 リセット特性: リセットなし

表 9. CICS Db2: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
使用中のプール・スレッドのピーク数 (Peak number of pool threads in use)	D2G_POOL_THREAD_HWM	アクティブ・プール・スレッドのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット (D2G_POOL_THREAD_CURRENT)
Current number of pool tasks (現在のプール・タスク数)	D2G_POOL_TASK_CURRENT	プール・スレッドを使用している CICS タスクの現在の数。 リセット特性: リセットなし
Peak number of pool tasks (プール・タスクのピーク数)	D2G_POOL_TASK_HWM	プール・スレッドを使用した CICS タスクのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット (D2G_POOL_TASK_CURRENT)
Total number of pool tasks (プール・タスクの合計数)	D2G_POOL_TASK_TOTAL	プール・スレッドを使用した完了済みタスクの合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
プール readyq の現在のタスク数 (Current number of tasks on the pool readyq)	D2G_POOL_READYQ_CURRENT	プール・スレッドが使用可能になるのを待っている CICS タスクの現在の数。 リセット特性: リセットなし
プール readyq のピーク・タスク数 (Peak number of tasks on the pool readyq)	D2G_POOL_READYQ_HWM	プール・スレッドが使用可能になるのを待っていた CICS タスクのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット (D2G_POOL_READYQ_CURRENT)
コマンド・スレッド権限タイプ (Command thread authtype)	D2G_COMD_AUTHTYPE	コマンド・スレッドの Db2 セキュリティー検査に使用される ID のタイプ。 コマンド・スレッドに対して Authid が使用される場合、この DSECT フィールドにはヌルが含まれます (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
コマンド・スレッド権限 ID (Command thread authid)	D2G_COMD_AUTHID	コマンド・スレッドの Db2 セキュリティー検査に使用される静的 ID。 コマンド・スレッドに対して Authtype が使用される場合、この DSECT フィールドにはヌルが含まれます (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
コマンド・スレッドを使用する呼び出し数	D2G_COMD_CALLS	DSNC トランザクションを使用して発行された Db2 コマンドの数。 リセット特性: ゼロにリセット
コマンド・スレッドのサインオン回数	D2G_COMD_SIGNONS	コマンド・スレッド用に実行された Db2 サインオンの数。 リセット特性: ゼロにリセット
コマンド・スレッド作成数 (Number of command thread creates)	D2G_COMD_THREAD_CREATE	コマンド・スレッド用に Db2 に対して行われたスレッド作成要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 9. CICS Db2: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
コマンド・スレッド終了数 (Number of command thread terminates)	D2G_COMD_THREAD_TERM	コマンド・スレッドを獲得するために、Db2 に対して行われた終了スレッド要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
コマンド・スレッドのプールへのオーバーフロー回数	D2G_COMD_THREAD_OVERF	アクティブ・コマンド・スレッドの数がコマンド・スレッドの限度を超過するために、DSNC Db2 コマンドの結果がプール・スレッドになった回数。 リセット特性: ゼロにリセット
コマンド・スレッド限界 (Command thread limit)	D2G_COMD_THREAD_LIMIT	使用できるコマンド・スレッドの現在の最大数。 リセット特性: リセットなし
現在のコマンド・スレッド数	D2G_COMD_THREAD_CURRENT	アクティブなコマンド・スレッドの現在の数。 リセット特性: リセットなし
コマンド・スレッドのピーク数	D2G_COMD_THREAD_HWM	アクティブ・コマンド・スレッドのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット (D2G_COMD_THREAD_CURRENT)
この項目は DFHSTUP レポートには表示されません	D2G_CONNECT_TIME_GMT	CICS が Db2 に接続したときのグリニッジ標準時 (GMT)。 DFHSTUP レポートはこの時間を hh:mm:ss と表記しますが、DSECT フィールドには、この時間は GMT 保管クロック (STCK) 値として含まれます。 リセット特性: リセットなし
この項目は DFHSTUP レポートには表示されません	D2G_DISCONNECT_TIME_GMT	CICS が Db2 から切断されたときのグリニッジ標準時 (GMT)。 DFHSTUP レポートはこの時間を hh:mm:ss と表記しますが、DSECT フィールドには、この時間は GMT 保管クロック (STCK) 値として含まれます。 切断時刻は、時間フィールドがヌルにクリアされた後で、CICS Db2 インターフェースがシャットダウンされるときに作成される DB2CONN 非送信請求統計レコードにのみ表示されます (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし

CICS Db2: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DB2ENTRY システム・コマンドを使用して、CICS Db2 リソース統計を取得できます。これらの統計は DFHD2RDS DSECT によってマップされます。

CICS Db2: リソース統計 - リソース情報

リソース情報は、各 DB2ENTRY リソースのさまざまな属性設定の詳細を提供します。

表 *10. CICS DB2:* リソース統計 - リソース情報

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
DB2Entry Name (DB2Entry 名)	D2R_DB2ENTRY_NAME	インストール済みの DB2ENTRY の名前。 リセット特性: リセットなし
Plan Name (計画名)	D2R_PLAN_NAME	この DB2ENTRY に使用される計画の名前。 その DB2Entry に対して動的計画出口が使用される場合、この DSECT フィールドはヌルになります (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
PlanExit name (計画出口ルーチン名)	D2R_PLANEXIT_NAME	この DB2ENTRY 用に使用される動的計画出口の名前。 その DB2ENTRY に対して静的計画が使用される場合、この DSECT フィールドはヌルになります (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
Auth Id (権限 ID)	D2R_AUTHID	この DB2ENTRY の Db2 セキュリティー検査に使用される静的 ID。 DB2ENTRY に対して Authtype が使用される場合、この DSECT フィールドはヌルです (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
Auth Type (権限タイプ)	D2R_AUTHTYPE	DB2ENTRY の Db2 セキュリティー検査に使用される ID のタイプ。 DB2ENTRY に対して Authid が使用される場合、この DSECT フィールドにはヌルが含まれます (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
Account Records (アカウント・レコード)	D2R_ACCOUNTREC	この DB2ENTRY を使用するトランザクションに対して作成される Db2 アカウント・レコードの頻度を指定しています。 リセット特性: リセットなし
Thread Wait (スレッド待機)	D2R_THREADWAIT	この DB2ENTRY のアクティブ・スレッドの数がそのスレッドの限界を超えた場合に、トランザクションがスレッドを待つべきか、終了すべきか、またはプールへオーバーフローすべきかを指定します。 リセット特性: リセットなし
Thread Prty (スレッドの優先順位)	D2R_PRIORITY	CICS メインタスクを基準にした DB2ENTRY スレッド・サブタスクの優先順位 (QR TCB)。 CICS が DB2 バージョン 6 以降に接続される場合、このフィールドは適用されず、ゼロになります (レポートには N/A と表示されます)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	D2R_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし

表 *10. CICS DB2:* リソース統計 - リソース情報 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	D2R_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	D2R_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	D2R_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	D2R_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	D2R_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	D2R_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

CICS Db2: リソース統計 - 要求情報

要求情報は、各 DB2ENTRY に対して実行された、さまざまなタイプの要求の数に関する詳細を提供します。

表 *11. CICS Db2:* リソース統計 - 要求情報

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
DB2Entry Name (DB2Entry 名)	D2R_DB2ENTRY_NAME	インストール済み DB2ENTRY の名前です。 リセット特性: リセットなし
Call Count (呼び出しカウント)	D2R_CALLS	この DB2ENTRY を使用して行われた SQL 呼び出しの数です。 クラウド・アプリケーション用の PACKAGESET サポートを使用している場合、この数には、アプリケーションに代わって DFHD2SPS が発行した **EXEC SQL SET CURRENT PACKAGESET** コマンドの数が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *11. CICS Db2:* リソース統計 - 要求情報 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Signon Count (サインオン・カウント)	D2R_SIGNONS	この DB2ENTRY 用に実行された Db2 サインオンの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Partial Signon (部分サインオン)	D2R_PARTIAL_SIGNONS	この DB2ENTRY 用に実行された Db2 部分サインオンの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Commit Count (コミット・カウント)	D2R_COMMITS	この DB2ENTRY を使用する作業単位用に実行された 2 フェーズ・コミットの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Abort Count (打ち切りカウント)	D2R_ABORTS	ロールバックされた、この DB2ENTRY を使用する作業単位の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Single Phase (単一フェーズ)	D2R_SINGLE_PHASE	読み取り専用の UOW であるか、あるいは Db2 がその UOW 内で更新された唯一のリカバリー可能リソースであったために単一フェーズ・コミットを使用した DB2ENTRY を使用する作業単位の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Thread Create (スレッド作成)	D2R_THREAD_CREATE	この DB2ENTRY のスレッド用に Db2 に対して行われたスレッド作成要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Thread Reuse (スレッド再利用)	D2R_THREAD_REUSE	DB2ENTRY を使用している CICS トランザクションが、既に作成された Db2 スレッドを再利用することができた回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Thread Terms (スレッド条件)	D2R_THREAD_TERM	この DB2ENTRY のスレッド用に Db2 に対して行われたスレッド終了要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Thread Waits/Overflows (スレッド待機/オーバーフロー)	D2R_THREAD_WAIT_OR_OVERF	DB2ENTRY 内の使用可能なすべてのスレッドが使用中で、トランザクションがスレッドが使用可能になるのを待機する必要があったか、プールにオーバーフローして、代わりにプール・スレッドを使用した回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

CICS Db2: リソース統計 - パフォーマンス情報

パフォーマンス情報は、各 DB2ENTRY のスレッド情報に関する詳細を提供します。

表 *12. CICS Db2:* リソース統計 - パフォーマンス情報

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
DB2Entry Name (DB2Entry 名)	D2R_DB2ENTRY_NAME	インストール済みの DB2ENTRY の名前。
Thread Limit (スレッド限界)	D2R_THREAD_LIMIT	リセット特性: リセットなし DB2ENTRY に対して許可されているスレッドの現在の最大数。
Thread Current (現在のスレッド)	D2R_THREAD_CURRENT	リセット特性: リセットなし この DB2ENTRY のアクティブなスレッドの現在の数。
Thread HWM (スレッド HWM)	D2R_THREAD_HWM	リセット特性: リセットなし この DB2ENTRY のアクティブなスレッドのピーク数。
Pthread Limit (保護スレッド限界)	D2R_PTHREAD_LIMIT	リセット特性: 現行値にリセット (D2R_THREAD_CURRENT) この DB2ENTRY に対して許可されている、保護スレッドの現在の最大数。
Pthread Current (現在の保護スレッド)	D2R_PTHREAD_CURRENT	リセット特性: リセットなし この DB2ENTRY の保護スレッドの現在の数。
Pthread HWM (保護スレッド HWM)	D2R_PTHREAD_HWM	リセット特性: リセットなし この DB2ENTRY の保護スレッドのピーク数。
Task Current (現在のタスク)	D2R_TASK_CURRENT	リセット特性: 現行値にリセット (D2R_PTHREAD_CURRENT) この DB2ENTRY を使用している CICS タスクの現在の数。
Task HWM (タスク HWM)	D2R_TASK_HWM	リセット特性: リセットなし この DB2ENTRY を使用した CICS タスクのピーク数。
Task Total (タスクの合計数)	D2R_TASK_TOTAL	リセット特性: 現行値にリセット (D2R_TASK_CURRENT) この DB2ENTRY を使用した完了済みタスクの合計数。
Readyq Current (現在の Readyq)	D2R_READYQ_CURRENT	リセット特性: ゼロにリセット この DB2ENTRY に対してスレッドが使用可能になるまで待機している CICS タスクの現在の数。
Readyq HWM (Readyq HWM)	D2R_READYQ_HWM	リセット特性: リセットなし この DB2ENTRY に対してスレッドが使用可能になるまで待機していた CICS タスクのピーク数。
Reuselm hits (再利用限度ヒット数)	D2R_REUSELIMIT_COUNT	リセット特性: 現行値にリセット (D2R_READYQ_CURRENT) この DB2ENTRY のスレッドで再利用限度に達した回数。 リセット特性: ゼロにリセット

CICS Db2: 要約グローバル統計

CICS Db2 に関する情報および統計の要約を示します。要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 13. CICS Db2: 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
DB2 Connection Name (DB2 接続名)	インストール済みの DB2CONN の名前。
Total DB2 Connection time (DB2 接続時間の合計)	CICS がこの DB2CONN で指定された Db2 サブシステムに接続されていた時間の合計。 時間は days:hh:mm:ss で表示されます。
DB2 Groupid (DB2 グループ ID)	インストール済みの DB2CONN 定義で指定されている、Db2 サブシステムのデータ共用グループの名前。 CICS は、このグループのどのアクティブ・メンバーにも接続します。
Resync Group Member (再同期グループ・メンバー)	Db2 グループ ID セットを使用してグループ接続を使用しており、CICSが接続した最後の Db2 データ共用グループ・メンバーに対する未解決の作業単位が保留されている場合に、CICS が実行するアクションを指定します。「Yes」は、CICS が最後に接続された Db2 データ共用グループ・メンバーに再接続することを意味します。「No」は、CICS が最後に接続された Db2 データ共用グループ・メンバーへの再接続を 1 回試行し、失敗した場合には、その Db2 データ共用グループの任意のメンバーに接続することを意味します。 グループ接続を使用していない場合、レポートには N/A と表示されます。
DB2 Sysid (DB2 システム ID)	インストール済みの DB2CONN 定義で指定されている、CICS が接続する Db2 サブシステムの名前。 sysid が変更された場合は、sysid の最新の設定になります。
DB2 Release (DB2 リリース)	この DB2CONN の DB2 バージョンおよびリリース。 バージョンおよびリリースが変更された場合は、バージョンおよびリリースの最新の設定になります。
TCB Limit (TCB 限界)	DB2CONN で設定された TCBLIMIT 値。 TCBLIMIT が変更された場合は、TCBLIMIT の最新の設定になります。 TCB 限界は、CICS-Db2 接続機能によって使用される可能性のある TCB の最大数です。
Current number of Connections (現在の接続数)	CICS-Db2 接続機能によって使用される接続の現行数。
Peak number of Connections (接続のピーク数)	CICS-Db2 接続機能によって使用される接続のピーク数。
Peak number of tasks on the TCB Readyq (TCB Readyq 上のタスクのピーク数)	DB2CONN で指定されている TCBLIMIT に達したために、キューで待機した CICS タスクのピーク数。
Pool Thread Plan name (プール・スレッド計画名)	プールに使用される計画の名前。 計画名が変更された場合は、計画名の最新の設定になります。 そのプールに対して動的計画出口が使用される場合、要約報告書には「N/A」と表示されます。
Pool Thread Dynamic Planexit name (プール・スレッド動的計画出口名)	プール用に使用される動的計画出口の名前。 動的計画出口名が変更された場合は、動的計画出口名の最新の設定になります。 そのプールに対して静的計画が使用される場合、要約報告書には「N/A」と表示されます。
Pool Thread Authtype (プール・スレッド権限タイプ)	プール・スレッドの Db2 セキュリティー検査に使用される ID のタイプ。 プール・スレッド authtype が変更された場合は、プール・スレッド authtype の最新の設定になります。 プール・スレッドに対して Authid が使用される場合、要約報告書には「N/A」と表示されます。
Pool Thread Authid (プール・スレッド権限 ID)	プール・スレッドの Db2 セキュリティー検査に使用される静的 ID。 プール・スレッド authid が変更された場合は、プール・スレッド authid の最新の設定になります。 プール・スレッドに対して Authtype が使用される場合、要約報告書には「N/A」と表示されます。
Pool Thread Accountrec setting (プール・スレッド・アカウント・レコード設定)	プール・スレッドを使用してトランザクション用に Db2 アカウント・レコードが作成される頻度。 プール・スレッド accountrec の設定が変更された場合は、プール・スレッド accountrec の最新の設定になります。

表 *13. CICS Db2:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Pool Thread Threadwait setting (プール・スレッド・スレッド待機設定)	アクティブ・プール・スレッドの数がプール・スレッドの限界に達した場合、トランザクションがプール・スレッドを待機するか、異常終了するかを指定します。 プール・スレッド threadwait の設定が変更された場合は、プール・スレッド threadwait の最新の設定になります。
Pool Thread Priority (プール・スレッドの優先順位)	CICS メインタスク (QR TCB) を基準にした場合の、プール・スレッドのサブタスクの優先順位。プール・スレッドの優先順位が変更された場合は、プール・スレッド優先順位の最新の設定になります。 CICS が DB2 バージョン 6 以降に接続される場合、このフィールドはゼロになり (適用外であることを表します)、要約報告書には「N/A」と表示されます。
Total number of calls using Pool Threads (プール・スレッドを使用する呼び出しの合計数)	プール・スレッドを使用して行われた SQL 呼び出しの合計数。
Total number of Pool Thread Signons (プール・スレッド・サインオンの合計数)	プール・スレッドを獲得するために実行された Db2 サインオンの合計数。
Total number of Pool Thread Partial Signons (プール・スレッド部分サインオンの合計数)	プール・スレッドを獲得するために実行された Db2 部分サインオンの合計数。
Total number of Pool Thread Commits (プール・スレッド・コミットの合計数)	プール・スレッドを使用する作業単位に対して実行された 2 フェーズ・コミットの合計数。
Total number of Pool Thread Aborts (プール・スレッド打ち切りの合計数)	ロールバックされたプール・スレッドを使用している作業単位の合計数。
Total number of Pool Thread Single Phases (プール・スレッド単一フェーズの合計数)	読み取り専用の UOW であるか、あるいは Db2 がその UOW 内で更新された唯一のリカバリー可能リソースであったために単一フェーズ・コミットを使用したプール・スレッドを使用する作業単位の合計数。
Total number of Pool Thread Reuses (プール・スレッド再使用の合計数)	プールを使用している CICS トランザクションが、既に作成されている Db2 スレッドの再使用の合計数。この数には、スレッドを獲得し、既存のスレッドを再使用するためにプールにオーバーフローするトランザクションが含まれます。
Total number of Pool Thread Terminates (プール・スレッド終了の合計数)	プール・スレッドを獲得するために、Db2 に対して行った終了スレッド要求の合計数。これには、プールにオーバーフローするトランザクションが使用したプール・スレッドが含まれます。
Total number of Pool Thread Waits (プール・スレッド待機の合計数)	プール内の使用可能スレッドがすべて使用中で、スレッドが使用可能になるまでトランザクションが待機する必要が生じた合計数。 この数には、スレッドを獲得するためにプールにオーバーフローして、プール・スレッドを待つ必要が生じたトランザクションが含まれます。
Pool Thread Limit (プール・スレッド限界)	プールのスレッドしきい値。 プール・スレッド限界が変更された場合は、プール・スレッド限界の最新の設定になります。
Peak number of Pool Threads in use (使用中のプール・スレッドのピーク数)	アクティブなプール・スレッドのピーク数。
Peak number of Pool tasks (プール・タスクのピーク数)	プール・スレッドを使用した CICS タスクのピーク数。

表 *13. CICS Db2:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Total number of Pool tasks (プール・タスクの合計数)	プール・スレッドを使用した完了済みタスクの合計数。
Peak number of tasks on the Pool Readyq (プール Readyq 上のタスクのピーク数)	プール・スレッドが使用可能になるのを待っていた CICS タスクのピーク数。
Command Thread Authtype (コマンド・スレッド権限タイプ)	コマンド・スレッドの Db2 セキュリティー検査に使用される ID のタイプ。 コマンド・スレッド authtype が変更された場合は、コマンド・スレッド authtype の最新の設定になります。 コマンド・スレッドに対して Authid が使用される場合、要約報告書には「N/A」と表示されます。
Command Thread Authid (コマンド・スレッド権限 ID)	コマンド・スレッドの Db2 セキュリティー検査に使用される静的 ID。 コマンド・スレッド authid が変更された場合は、コマンド・スレッド authid の最新の設定になります。 コマンド・スレッドに対して Authtype が使用される場合、要約報告書には「N/A」と表示されます。
Total number of Command Thread Calls (コマンド・スレッド呼び出しの合計数)	DSNC トランザクションを使用して発行された Db2 コマンドの合計数。
Total number of Command Thread Signons (コマンド・スレッド・サインオンの合計数)	コマンド・スレッドを獲得するために実行された Db2 サインオンの合計数。
Total number of Command Thread Terminates (コマンド・スレッド終了の合計数)	コマンド・スレッドを獲得するために、Db2 に対して行われた終了スレッド要求の合計数。
Total number of Command Thread Overflows (コマンド・スレッド・オーバーフローの合計数)	アクティブ・コマンド・スレッドの数がコマンド・スレッドの限度を超過するために、DSNC Db2 コマンドの結果がプール・スレッドになった回数の合計数。
Command Thread Limit (コマンド・スレッド限界)	使用できるコマンド・スレッドの最大数。コマンド・スレッド限界が変更された場合は、コマンド・スレッド限界の最新の設定になります。
Peak number of Command Threads (コマンド・スレッドのピーク数)	アクティブ・コマンド・スレッドのピーク数。

CICS Db2: 要約リソース統計

CICS Db2 リソース統計要約報告書 DFHSTUP には、リソース情報、要求情報、およびパフォーマンス情報の 3 つのセクションが含まれています。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

CICS Db2: 要約リソース統計 - リソース情報

リソース情報は、各 DB2ENTRY のさまざまな属性設定の詳細を提供します。

表 *14. CICS Db2:* 要約リソース統計 - リソース情報

DFHSTUP 名	説明
DB2Entry Name (DB2Entry 名)	インストール済み DB2ENTRY の名前です。

表 *14. CICS Db2:* 要約リソース統計 - リソース情報 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Plan Name (計画名)	この DB2ENTRY に使用される計画の名前です。 計画名が変更された場合は、計画名の最新の設定になります。 その DB2Entry に対して動的計画出口が使用される場合、要約報告書には「N/A」と表示されます。
PlanExit Name (計画出口ルーチン名)	この DB2ENTRY 用に使用される動的計画出口の名前です。 計画出口名が変更された場合は、PlanExit 名の最新の設定になります。 その DB2ENTRY に対して静的計画が使用される場合、要約報告書には「N/A」と表示されます。
Auth Id (権限 ID)	この DB2ENTRY の Db2 セキュリティー検査に使用される静的 ID です。 Auth ID が変更された場合は、Auth ID の最新の設定になります。 DB2ENTRY に対して Authtype が使用される場合、要約報告書には「N/A」と表示されます。
Auth Type (権限タイプ)	DB2ENTRY の Db2 セキュリティー検査に使用される ID のタイプです。 Auth タイプが変更された場合は、Auth タイプの最新の設定になります。 DB2ENTRY に対して Authid が使用される場合、要約報告書には「N/A」と表示されます。
Account Records (アカウント・レコード)	この DB2ENTRY を使用するトランザクションに対して作成される Db2 アカウント・レコードの頻度を指定しています。 頻度が変更された場合は、頻度の最新の設定になります。
Thread Wait (スレッド待機)	この DB2ENTRY のアクティブ・スレッドの数がそのスレッドの限界を超えた場合に、トランザクションがスレッドを待つべきか、異常終了すべきか、またはプールへオーバーフローすべきかを指定します。 threadwait が変更された場合は、threadwait の最新の設定になります。
Thread Prty (スレッドの優先順位)	CICS メインタスクに関連する DB2ENTRY スレッド・サブタスクの優先順位です (QR TCB)。 優先順位が変更された場合は、優先順位の最新の設定になります。 CICS が DB2 バージョン 6 以降に接続される場合、このフィールドはゼロになり (適用外であることを表します)、要約報告書には「N/A」と表示されます。

CICS Db2: 要約リソース統計 - 要求情報

要求情報は、各 DB2ENTRY に対して実行された、さまざまなタイプの要求の数に関する詳細を提供します。

表 *15. CICS Db2:* 要約リソース統計 - 要求情報

DFHSTUP 名	説明
DB2Entry Name (DB2Entry 名)	インストール済み DB2ENTRY の名前です。
Call Count (呼び出しカウント)	この DB2ENTRY を使用して作成された SQL 呼び出しの合計数です。
Signon Count (サインオン・カウント)	この DB2ENTRY 用に実行された Db2 サインオンの合計数です。
Partial Signon (部分サインオン)	この DB2ENTRY 用に実行された Db2 部分サインオンの合計数です。
Commit Count (コミット・カウント)	この DB2ENTRY を使用する作業単位用に実行された 2 フェーズ・コミットの合計数です。
Abort Count (打ち切りカウント)	ロールバックされた、この DB2ENTRY を使用する作業単位の合計数です。
Single Phase (単一フェーズ)	読み取り専用の UOW であるか、あるいは DB2 がその UOW 内で更新された唯一のリカバリー可能リソースであったために単一フェーズ・コミットを使用した DB2ENTRY を使用する作業単位の合計数です。
Thread Reuse (スレッド再利用)	DB2ENTRY を使用している CICS トランザクションが、既に作成された Db2 スレッドを再利用することができた回数の合計数です。
Thread Terms (スレッド条件)	この DB2ENTRY のスレッド用に Db2 に対して作成されたスレッド終了要求の合計数です。

表 *15. CICS Db2:* 要約リソース統計 - 要求情報 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Thread Waits/Overflows (スレッド待機/オーバーフロー)	DB2ENTRY 内の使用可能なすべてのスレッドが使用中であるため、トランザクションがスレッドが使用可能になるのを待機する必要があった回数、またはプールにオーバーフローしたため、代わりにプール・スレッドを使用した回数の合計数です。

CICS Db2: 要約リソース統計 - パフォーマンス情報

パフォーマンス情報は、各 DB2ENTRY のスレッド情報に関する詳細を提供します。

表 *16. CICS Db2:* 要約リソース統計 - パフォーマンス情報

DFHSTUP 名	説明
DB2ENTRY Name (DB2ENTRY 名)	インストール済み DB2ENTRY の名前です。
Thread Limit (スレッド限界)	DB2ENTRY に対して許可されているスレッドの最大数です。 値が変更された場合は、Thread 限界の最新の設定になります。
Thread HWM (スレッド HWM)	この DB2ENTRY のアクティブ・スレッドのピーク数です。
Pthread Limit (保護スレッド限界)	この DB2ENTRY に対して許可されている保護スレッドの最大数です。 値が変更された場合は、Pthread 限界の最新の設定になります。
Pthread HWM (保護スレッド HWM)	この DB2ENTRY の保護スレッドのピーク数です。
Task HWM (タスク HWM)	この DB2ENTRY を使用した CICS タスクのピーク数です。
Task Total (タスクの合計数)	この DB2ENTRY を使用した完了済みタスクの合計数です。
Readyq HWM (Readyq HWM)	この DB2ENTRY 上でスレッドが使用可能になるのを待った CICS タスクのピーク数です。

カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーの統計

カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーの統計は、プール AXMPGANY および AXMPGLOW の AXM ページ・プール管理ルーチンによって提供されます。

CFDT 統計は、最新のカップリング・ファシリティー要求によって戻される情報を基に計算されます。現在のサーバーが関連情報に最近アクセスしていなかった場合、統計の正確さは期待できません。テーブルの数およびリストの数は、サーバーがテーブルを開いたり閉じたりする都度更新されますが、その他の場合には更新されないこともあります。エレメントとエントリーのカウントは、ほとんどのタイプのカップリング・ファシリティー・アクセス要求が正常に完了した場合に更新されます。

カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: リスト構造の統計

この統計の詳細な記述は、DFHCFS6D データ域にあります。

リセット特性: これらの統計は、CICS ではなく、別個のサーバー・アドレス・スペースによって生成されます。 リセットの後に、これらのフィールドは CICS ではな

くサーバーによってリセットされます。 一般的には、高位水準点および低位水準点 (最大、最小および最高、最低) が現行値にリセットされると、数はゼロにリセットされます。

各ファイルの意味は、以下のとおりです。

表 17. カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: リスト構造の統計

統計名	フィールド	説明
Structure (構造)		
	S6NAME	リスト構造のフルネーム
	S6PREF	構造名の最初の部分
	S6POOL	構造名のプール名のパート
	S6CNNAME	構造への接続名
	S6CNPREF	接続名の接頭部
	S6CNSYSN	CVTSNAME からの独自の MVS™ システム名
Size (サイズ)	S6SIZE	リスト構造の現在の割り振りサイズ。
Max size (最大サイズ)	S6SIZEMX	この構造を変更することができる最大サイズ。
リスト		
Total (合計)	S6HDRS	構造内のリスト・ヘッダーの最大数。
Control (制御)	S6HDRSCT	制御情報用に使用中のリストの数。
データ	S6HDRSTD	テーブル・データ用に使用中のリストの数。
Structure (構造)		
Elem size (エレメント・サイズ)	S6ELEMLN	構造に対して使用されるデータ・エレメントのサイズ。
	S6ELEMPW	2 のべき乗で示されるデータ・エレメントのサイズ
	S6ELEMRT	エントリーのエレメント側: エレメント率
	S6ENTRRT	エントリーのエントリー側: エレメント率
Entries (エントリー)		
In use (使用中)	S6ENTRCT	現在使用中のエントリーの数。
Max used (最大使用数)	S6ENTRHI	使用中の最大数 (最終リセット以降)。
Min free (最小フリー)	S6ENTRLO	フリー・エントリーの最小数 (最終リセット以降)。
Total (合計)	S6ENTRMX	現在割り振られている構造内のエントリーの合計 (構造の接続時に初期設定され、構造の変更要求の完了時に更新される)。
Elements (エレメント)		
In Use (使用中)	S6ELEMCT	現在使用中のエレメントの数。
Max Used (最大使用数)	S6ELEMHI	使用中の最大数 (最終リセット以降)。
Min Free (最小フリー)	S6ELEMLO	フリー・エレメントの最小数 (最終リセット以降)。
Total (合計)	S6ELEMMX	現在割り振られている構造内のデータ・エレメントの合計 (構造の接続時に初期設定され、構造の変更要求の完了時に更新される)。
リスト・エントリー数		
	S6USEVEC	使用ベクトル、5 組のワード
	S6USEDCT	使用されているリストのエントリーの数
	S6USEDHI	使用されているリストのエントリーの最大数
	S6FREECT	フリー・リストのエントリーの数
	S6FREEHI	フリー・リストのエントリーの最大数
	S6INDXCT	テーブル・インデックス内のエントリーの数

表 17. カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: リスト構造の統計 (続き)

統計名	フィールド	説明
	S6INDXHI	テーブル・インデックス内のエントリーの最高数
	S6APPLCT	APPLID リスト内のエントリーの数
	S6APPLHI	APPLID リスト内のエントリーの最高数
	S6UOWLCT	UOW リスト内のエントリーの数
	S6UOWLHI	UOW リスト内のエントリーの最高数
CF 要求のメイン・タイプ		
テーブル・インデックスのリスト		
Reads (読み取り数)	S6RDICT	テーブル・インデックス読み取りの数。
Write (書き込み)	S6WRICT	新規テーブル作成のためのテーブル・インデックス書き込みの数。
再書き込み	S6RWICT	テーブル状況の更新のためのテーブル・インデックス書き込みの数。
削除	S6DLICT	テーブル・インデックス削除の数。
データ・リスト制御		
Writes (書き込み数)	S6CRLCT	新規データ・リストが割り振られた回数。
Rewrites (再書き込み数)	S6MDLCT	データ・リスト制御が変更された回数。
Deletes (削除数)	S6DLLCT	再使用のためにデータ・リストが削除された回数。
テーブル・データ・レコード		
Reads (読み取り数)	S6RDDCT	データ・エントリー読み取りの数。
Writes (書き込み数)	S6WRDCT	データ・エントリー書き込みの数。
Rewrites (再書き込み数)	S6RWDCT	データ・エントリー再書き込みの数。
Deletes (削除数)	S6DLDCT	データ・エントリー削除の数。
データ・リスト制御		
Reads (読み取り数)	S6INLCT	データ・リストの問い合わせ
ロック・リリース・メッセージ		
Reads (読み取り数)	S6RDMCT	このサーバーにより読み取られたロック・リリース・メッセージの数。
Writes (書き込み数)	S6WRMCT	このサーバーにより送信されたロック・リリース・メッセージの数。
UOW インデックス・リスト		
Reads (読み取り数)	S6RDUCT	UOW リスト読み取りの数。
Writes (書き込み数)	S6WRUCT	UOW リスト書き込みの数 (通常は PREPARE での数)
Rewrites (再書き込み数)	S6RWUCT	UOW リスト再書き込みの数 (通常は COMMIT での数)。
Deletes (削除数)	S6DLUCT	UOW リスト削除の数 (通常は COMMIT 後の数)。
APPLID インデックス・リスト		
Read (読み取り)	S6RDACT	読み取り APPLID エントリー
Write (書き込み)	S6WRACT	書き込み APPLID エントリー
再書き込み	S6RWACT	再書き込み APPLID エントリー
削除	S6DLACT	削除 APPLID エントリー
内部 **CF** 要求		
	S6RRLCT	全データ長に対し再読み取りされたエントリー
Asynch (非同期)	S6ASYCT	完了が非同期であった要求の数。
IXLLIST 完了		
正常	S6RSP1CT	通常応答の数。

表 17. カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: リスト構造の統計 (続き)

統計名	フィールド	説明
Len err (データ長エラー)	S6RSP2CT	エントリー・データ量が入力バッファー長より大きかった。通常、より大容量のバッファーによる再試行が行われる。
Not fnd (無検出)	S6RSP3CT	指定されたエントリー (テーブルまたは項目) が検出されなかった。
Vers chk (バージョン確認)	S6RSP4CT	更新中のエントリーのバージョン確認が失敗した。別のタスクが先に更新していることを表している。
List chk (リスト確認)	S6RSP5CT	リスト権限の比較が失敗した。テーブル状況更新により発生した不一致である。
List full (リスト・フル)	S6RSP6CT	テーブルが項目の最大数に達し、関連するリストがフルであるとマークされた。
Str full (構造フル)	S6RSP7CT	リスト構造がフルになった。
I/O err (I/O エラー)	S6RSP8CT	IXLLIST により他のエラー・コードが戻された。

カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: テーブル・アクセスの統計

これらの統計の詳細な記述は、DFHCFS7D データ域にあります。

リセット特性: これらの統計は、CICS ではなく、別個のサーバー・アドレス・スペースによって生成されます。 リセットの後に、これらのフィールドは CICS ではなくサーバーによってリセットされます。 一般的には、高位水準点および低位水準点 (最大、最小および最高、最低) が現行値にリセットされると、数はゼロにリセットされます。

各ファイルの意味は、以下のとおりです。

表 18. カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: キュー・プールの統計

統計名	フィールド	説明
Access (アクセス)		
	S7TABLE	スペースが埋め込まれたテーブル名
ベクトル		
	S7STATS	統計ベクトル
テーブル要求		
オープン	S7OCOPEN	テーブルに対して成功した OPEN 要求の数。
クローズ	S7OCCLOS	テーブルに対して成功した CLOSE 要求の数。
Set Attr (設定属性)	S7OCSET	新規テーブル状況が設定された回数。
削除	S7OCDELE	その名前のテーブルが削除された回数。
Stats	S7OCSTAT	テーブル統計の抽出。
レコード要求		
Point (ポイント)	S7RQPOIN	POINT 要求の数。
Highest (最高位)	S7RQHIGH	現行の最高位キーに対する要求の数。
Read (読み取り)	S7RQREAD	READ 要求の数 (UPDATE に対する要求も含む)
Read del (読み取り削除)	S7RQRDDL	READ および DELETE が結合された要求の数。

表 18. カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: キュー・プールの統計 (続き)

統計名	フィールド	説明
アンロック	S7RQUNLK	UNLOCK 要求の数。
Loads (ロード数)	S7RQLOAD	初期ロード要求により書き込まれたレコードの数。
Write (書き込み)	S7RQWRIT	新規レコードに対する WRITE 要求の数。
再書き込み	S7RQREWR	REWRITE 要求の数。
削除	S7RQDELE	DELETE 要求数
Del Mult (複数削除)	S7RQDELM	複数 (汎用) 削除要求の数。

カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: 要求の統計

これらの統計の詳細な記述は、DFHCFS8D データ域にあります。

リセット特性: これらの統計は、CICS ではなく、別個のサーバー・アドレス・スペースによって生成されます。 リセットの後に、これらのフィールドは CICS ではなくサーバーによってリセットされます。 一般的には、高位水準点および低位水準点 (最大、最小および最高、最低) が現行値にリセットされると、数はゼロにリセットされます。

各ファイルの意味は、以下のとおりです。

表 19. カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: 要求の統計

統計名	フィールド	説明
ベクトル		
	S8STATS	統計ベクトル
テーブル		
オープン	S8OCOPEN	テーブルに対して成功した OPEN 要求の数
クローズ	S8OCCLOS	テーブルに対して成功した CLOSE 要求の数。
Set Attr (設定属性)	S8OCSET	新規テーブル状況が設定された回数。
削除	S8OCDELE	その名前のテーブルが削除された回数。
Stats	S8OCSTAT	テーブル・アクセスの統計が抽出された回数。
レコード		
Point (ポイント)	S8RQPOIN	POINT 要求の数。
Highest (最高位)	S8RQHIGH	現行の最高位キーに対する要求の数
Read (読み取り)	S8RQREAD	READ 要求の数 (UPDATE に対する要求も含む)
Read Del (読み取り削除)	S8RQRDDL	READ および DELETE が結合された要求の数。
アンロック	S8RQUNLK	UNLOCK 要求の数。
Loads (ロード数)	S8RQLOAD	初期ロード要求により書き込まれたレコードの数。
Write (書き込み)	S8RQWRIT	新規レコードに対する WRITE 要求の数。
再書き込み	S8RQREWR	REQRITE 要求の数。
削除	S8RQDELE	DELETE 要求の数。
Del Mult (複数削除)	S8RQDELM	複数 (汎用) 削除要求の数。
テーブル		
Inquire (問い合わせ)	S8IQINQU	INQUIRE テーブル要求の数。
UOW		
Prepare (準備)	S8SPPREP	作成された作業単位の数。
Retain (保存)	S8SPRETA	ロックが保存された作業単位の数。

表 19. カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: 要求の統計 (続き)

統計名	フィールド	説明
Commit (コミット)	S8SPCOMM	コミットされた作業単位の数。
Backout (バックアウト)	S8SPBACK	バックアウトされた作業単位の数。
Inquire (問い合わせ)	S8SPINQU	作業単位 INQUIRE 要求の数。
Restart (再始動)	S8SPREST	回復可能な接続が再始動された回数。

カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: ストレージの統計

これらの統計は、プール AXMPGANY およびプール AXMPGLOW に対し、AXM ページ・プール管理ルーチンにより戻されます。 これらのプールのストレージは、4K を下限とした、4K ページの倍数で割り振られます。 LIFO スタック・ストレージのセグメントに対して最も頻繁に使用されます。

ストレージは、最初にビットマップを使用してプールから割り振られます。 より高速な割り振りの場合、通常、フリー域はプールに戻されませんが、フリー域のサイズ (1 から 32 ページ) に応じてフリー・チェーンのベクトルに追加されます。ストレージが獲得されると、プール・ビットマップに移動する前にこのベクトルがチェックされます。

適切なサイズのフリー域がない場合やプールに十分なストレージが残っていない場合は、最小の端から始まり、十分な大きさの領域が作成されるまで、ベクトルのフリー域がプールに戻されます。 このアクションは、圧縮の試行として統計に現れます。 この時点で要求を満たすストレージがない場合、要求は失敗します。

リセット特性: これらの統計は、CICS ではなく、別個のサーバー・アドレス・スペースによって生成されます。 リセットの後に、これらのフィールドは CICS ではなくサーバーによってリセットされます。 一般的には、高位水準点および低位水準点 (最大、最小および最高、最低) が現行値にリセットされると、数はゼロにリセットされます。

この統計の詳細な記述は、DFHCFS9D データ域にあります。

表 20. カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: ストレージの統計

統計名	フィールド	説明
LOC=ANY ストレージ・プール統計。		
Name	S9ANYNAM	ストレージ・プール AXMPGANY の名前。
Size (サイズ)	S9ANYSIZ	ストレージ・プール領域のサイズ。
	S9ANYPTR	ストレージ・プール域のアドレス。
	S9ANYMX	ストレージ・プール内の合計ページ数。
In Use (使用中)	S9ANYUS	プール内の使用ページ数。
Free (フリー)	S9ANYFR	プール内のフリー・ページ数。
Min Free (最小フリー)	S9ANYLO	最小フリー・ページ数 (リセット以降)。
Gets (取得数)	S9ANYRQG	ストレージ GET 要求数。
Frees (フリー数)	S9ANYRQF	ストレージ FREE 要求数。
Fails (失敗)	S9ANYRQS	ストレージの取得に失敗した GET 数。
Retries (再試行数)	S9ANYRQC	圧縮 (デフラグ) の試行数。
LOC=BELOW ストレージ・プール統計。		
Name	S9LOWNAM	プール名 AXMPGLOW。
Size (サイズ)	S9LOWSIZ	ストレージ・プール領域のサイズ。

表 20. カップリング・ファシリティー・データ・テーブル: ストレージの統計 (続き)

統計名	フィールド	説明
	S9LOWPTR	ストレージ・プール域のアドレス。
	S9LOWMX	ストレージ・プール内の合計ページ数。
In Use (使用中)	S9LOWUS	ストレージ・プール内で使用されているページの数。
Free (フリー)	S9LOWFR	ストレージ・プール内のフリー・ページ数。
Min Free (最小フリー)	S9LOWLO	最小フリー・ページ数 (リセット以降)。
Gets (取得数)	S9LOWRQG	ストレージ GET 要求数。
Frees (フリー数)	S9LOWRQF	ストレージ FREE 要求数。
Fails (失敗)	S9LOWRQS	ストレージの取得に失敗した GET 数。
	S9LOWRQC	圧縮 (デフラグ) の試行数。

DBCTL セッション終了統計

DBCTL 統計には非送信請求のタイプのみがあります。 この統計は、別のタイプの CICS 統計から分離されたレポートに表示されます。

DBCTL 統計出口の DFHDBSTX は CICS アダプター (DFHDBAT) により起動され、CICS 統計情報は、以下の結果として DBCTL が切断されるたびに、統計ドメインにより収集されます。

- メニュー・トランザクション CDBC を使用した DBCTL の正常切断または即時切断
- CICS の正常終了

注: 即時シャットダウンまたは CICS の異常終了が発生した場合、最新の CICS-DBCTL セッション統計は失われます。 DFHDBSTX の機能は、統計ドメインを呼び出し、個々の CICS-DBCTL セッションに関連するデータベース・リソース・アダプター (DRA) から返されたデータを提供することです。

タイプ別の DL/I コールの回数を含み、各 DL/I データベースに対して発行される、CICS 終了統計は、DBCTL 環境の CICS によっては生成されません。 DBCTL によりこのタイプの情報が生成されます。

CICS-DBCTL 統計の詳細については、を参照してください。

DBCTL セッション終了: グローバル統計

これらの統計は DFHDBUDS DSECT によりマップされます。

表 21. *DBCTL* セッション終了: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
CICS DBCTL session number (CICS DBCTL セッション数)	STADSENO	CICS-DBCTL セッションの回数であり、接続および切断により毎回増加します。 リセット特性: リセットなし

表 21. *DBCTL* セッション終了*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
DBCTL ID	STATDBID	DBCTL セッションの名前。 リセット特性: リセットなし
DBCTL RSE name (DBCTL RSE 名)	STARSEN	DBCTL リカバリー可能サービス・エレメント (RSE) の名前。 リセット特性: リセットなし
Time CICS connected to DBCTL (CICS の DBCTL への接続時刻)	STALCTIM	CICS を DBCTL に接続した時刻。 DFHSTUP レポートでは、この時刻は現地時間の時*:* 分*:* 秒.小数部 で表されます。ただし、DSECT フィールドには、ローカルの保管クロック (STCK) の値として時間が含まれています。 リセット特性: リセットなし
Time CICS disconnected from DBCTL (CICS の DBCTL からの切断時刻)	STALDTIM	CICS が DBCTL から切断された時刻。 DFHSTUP レポートでは、この時刻は現地時間の時*:* 分*:* 秒.小数部 で表されます。ただし、DSECT フィールドには、ローカルの保管クロック (STCK) の値として時間が含まれています。 リセット特性: リセットなし
NOT IN DFHSTUP REPORT	STACTIME	CICS を DBCTL に接続した時刻。 DFHSTUP レポートでは、この時間は GMT での時*:* 分*:* 秒.小数部 で表されます。ただし、DSECT フィールドには、GMT の保管クロック (STCK) の値として時間が含まれています。 リセット特性: リセットなし
NOT IN DFHSTUP REPORT	STADTIME	CICS が DBCTL から切断された時刻。 DFHSTUP レポートでは、この時間は GMT での時*:* 分*:* 秒.小数部 で表されます。ただし、DSECT フィールドには、GMT の保管クロック (STCK) の値として時間が含まれています。 リセット特性: リセットなし
Minimum number of threads (最小スレッド数)	STAMITHD	DRA 始動パラメーター・テーブルで指定された最小値。 リセット特性: リセットなし
Maximum number of threads (最大スレッド数)	STAMATHD	DRA 始動パラメーター・テーブルで指定された最大値。 リセット特性: リセットなし

表 21. *DBCTL* セッション終了*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Times minimum threads hit (最小スレッド数へのヒット数)	STANOMITHD	CICS-DBCTL セッションが、最小スレッド数にスレッドを「縮小」した回数。 リセット特性: リセットなし
Times maximum threads hit (最大スレッド数へのヒット数)	STANOMATHD	CICS-DBCTL セッションが、最大スレッド数にヒットした回数。 リセット特性: リセットなし
Elapsed time at maximum threads (最大スレッド数での経過時間)	STAELMAX	CICS-DBCTL セッションが最大スレッド数で実行していた、時間: 分: 秒.少数部 で表される、経過時間。 リセット特性: なし
Peak number of thread TCBs (スレッド TCB のピーク数)	STAHIWAT	CICS-DBCTL セッション全体にわたって作成されたスレッド TCB の最高数。 TCB の作成および削除における非同期性のため、TCB の数が最大スレッド数を超過する可能性があります。ただし、アクティブ・スレッドを伴う TCB の数は最大スレッド数を超過できません。 リセット特性: リセットなし
Successful PSB schedules (成功 PSB スケジュール数)	STAPSBSU	CICS-DBCTL セッションが、プログラム仕様ブロック (PSB) のスケジュールに成功した回数。 リセット特性: リセットなし

DBCTL セッション終了: サマリー・グローバル統計

DBCTL セッション終了の要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 22. *DBCTL* セッション終了*:* サマリー・グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
DBCTL ID	DBCTL セッションの名前です。
DBCTL RSE name (DBCTL RSE 名)	DBCTL リカバリー可能サービス・エレメント (RSE) の名前です。
Minimum number of threads (最小スレッド数)	DRA 始動パラメーター・テーブルで指定された最小値です。
Maximum number of threads (最大スレッド数)	DRA 始動パラメーター・テーブルで指定された最大値です。
Times minimum threads hit (最小スレッド数へのヒット数)	CICS-DBCTL セッションが、最小スレッド数にスレッドを「縮小」した合計数です。

表 22. *DBCTL* セッション終了*:* サマリー・グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Times maximum threads hit (最大スレッド数へのヒット数)	CICS-DBCTL セッションが、最大スレッド数にヒットした合計数です。
Elapsed time at maximum threads (最大スレッド数での経過時間)	CICS-DBCTL セッションが最大スレッド数で実行していた、日-時間*:* 分*:* 秒.少数部 で表される、経過時間です。
Peak number of thread TCBs (スレッド TCB のピーク数)	CICS-DBCTL セッション全体にわたって作成されたスレッド TCB の最高数です。TCB の作成および削除における非同期性のため、TCB の数が最大スレッド数を超過する可能性があります。ただし、アクティブ・スレッドを伴う TCB の数は最大スレッド数を超過できません。
Successful PSB schedules (成功 PSB スケジュール数)	CICS-DBCTL セッションが、プログラム仕様ブロック (PSB) のスケジュールに成功した合計数です。

ディスパッチャー・ドメイン統計

ディスパッチャー・ドメイン**:** グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DISPATCHER システム・コマンドを使用して、ディスパッチャー・ドメイン・グローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHDSGDS DSECT によってマップされます。

表 23. ディスパッチャー・ドメイン*:* グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Dispatcher Start Date and Time (ディスパッチャー開始日および時刻)	DSGLSTRT	CICS ディスパッチャーが開始された日時です。 この値は、CICS が開始されたおおよその時刻として使用できます。 DFHSTUP レポートでは、この時間は日/月/年 時*:* 分*:* 秒.小数部で表されます。ただし、DSECT フィールドには、現地時間の保管クロック (STCK) の値としての時間が含まれています。 リセット特性: リセットなし
NOT IN DFHSTUP REPORT	DSGSTART	ディスパッチャーが開始された時刻です。 この値は、CICS が開始されたおおよその時刻として使用できます。DFHSTUP レポートでは、この時間は時*:* 分*:* 秒.小数部で表されます。ただし、DSECT フィールドには、GMT の保管クロック (STCK) 値としての時間が含まれています。 リセット特性: リセットなし

表 23. ディスパッチャー・ドメイン: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Address Space CPU Time (アドレス・スペース CPU 時間)	DSGEJST	インターバルの間に累積された、このアドレス・スペースのすべての TCB に対する合計 CPU 時間です。 DFHSTUP レポートでは、この時間は日-時間: 分: 秒.小数部として表します。 リセット特性: ゼロにリセット
Address Space SRB Time (アドレス・スペース SRB 時間)	DSGSRBT	インターバルの間に累積された、このアドレス・スペースで実行されたすべてのサービス要求ブロック (SRB) に対する合計 CPU 時間です。 DFHSTUP レポートでは、この時間は日-時間: 分: 秒.小数部として表します。 リセット特性: ゼロにリセット
Current number of dispatcher tasks (現行ディスパッチャー・タスク数)	DSGCNT	システム内の現行のディスパッチャー・タスクの数です。この数値には、すべてのシステム・タスクおよびすべてのユーザー・タスクが含まれます。 リセット特性: リセットなし
Peak number of dispatcher tasks (ピーク・ディスパッチャー・タスク数)	DSGPNT	並行してシステム内にあるディスパッチャー・タスクの数のピーク値です。 リセット特性: 現行値にリセット
Current ICV time (msec) (現行 ICV 時間 (ミリ秒))	DSGICVT	SIT で指定された、またはオーバーライドとして指定された、または **EXEC CICS SET SYSTEM TIME (フルワード・バイナリー・データ値)** コマンドを使用して動的に変更された ICV 時間の値 (ミリ秒で表されます)。 リセット特性: リセットなし
Current ICVR time (msec) (現行 ICVR 時間 (ミリ秒))	DSGICVRT	SIT で指定された、またはオーバーライドとして指定された、または **EXEC CICS SET SYSTEM TIME (フルワード・バイナリー・データ値)** コマンドを使用して動的に変更された ICVR 時間の値 (ミリ秒で表されます)。 リセット特性: リセットなし
Current ICVTSD time (msec) (現行 ICVTSD 時間 (ミリ秒))	DSGICVSD	SIT で指定された、またはオーバーライドとして指定された、または **EXEC CICS SET SYSTEM SCANDELAY (フルワード・バイナリー・データ値)** コマンドを使用して動的に変更された ICVTSD 時間の値 (ミリ秒で表されます)。 リセット特性: リセットなし

表 23. ディスパッチャー・ドメイン: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current PRTYAGE time (msec) (現行 PRTYAGE 時間 (ミリ秒))	DSGPRIAG	SIT で指定された、またはオーバーライドとして指定された、または **EXEC CICS SET SYSTEM AGING (フルワード・バイナリー・データ値)** コマンドを使用して動的に変更された PRTYAGE 時間の値 (ミリ秒で表されます)。 リセット特性: リセットなし
Current MRO (QR) Batching (MROBTCH) value (現行 MRO (QR) バッチ (MROBTCH) 値)	DSGMBTCH	SIT に指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、**EXEC CICS SET SYSTEM MROBATCH (フルワード・バイナリー・データ値)** コマンドを使用して動的に変更された MROBTCH 値です。 リセット特性: リセットなし
Last Excess TCB Scan (最後の超過 TCB スキャン)	DSGLXSCN	CICS ディスパッチャーの最後の超過 MVS TCB スキャンの日時。 DFHSTUP レポートで日時が --/--/---- --:--:--:---- と示される場合は、超過 TCB スキャンがまだ発生していないことを表しています。 リセット特性: リセットなし
Number of Excess TCB Scans (超過 TCB スキャン数)	DSGXSCNS	CICS ディスパッチャーの超過 MVS TCB スキャンの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Last Excess TCB scan - No TCB Detached (最後の超過 TCB スキャン - TCB が切り離されていない)	DSGLXSND	どの TCB も切り離さなかった CICS ディスパッチャーの最後の超過 MVS TCB スキャンの日時。 DFHSTUP レポートで日時が --/--/---- --:--:--:---- と示される場合は、超過 TCB スキャンがまだ発生していないことを表しています。 リセット特性: リセットなし
Number of Excess TCB Scans-No TCB Detached (超過 TCB スキャン数 - TCB が切り離されていない)	DSGXSCNN	CICS ディスパッチャーにより MVS TCB が切り離されていない超過 MVS TCB スキャンの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of Excess TCBs Detached (切り離された超過 TCB 数)	DSGXTCBD	CICS ディスパッチャーの超過 MVS TCB 管理処理により切り離された MVS TCB の合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 23. ディスパッチャー・ドメイン: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Average Excess TCBs Detached per Scan (スキャン当たりの切り離された超過 TCB 数の平均)	適用外	CICS ディスパッチャーの超過 MVS TCB 管理処理の各スキャンにより切り離された、MVS TCB の平均の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of CICS TCB MODEs (CICS TCB モード数)	DSGASIZE	そのシステムにおいて CICS ディスパッチャーが MVS タスク制御ブロック (TCB) を管理する CICS TCB モードの現行の数です。 リセット特性: リセットなし
Number of CICS TCB POOLs (CICS TCB プール数)	DSGPSIZE	CICS ディスパッチャーが実行されているシステムにおいて CICS ディスパッチャーが MVS タスク制御ブロック (TCB) を管理する TCB プールの数です。 リセット特性: リセットなし

ディスパッチャー・ドメイン: TCB モード統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DISPATCHER システム・コマンドを使用して、ディスパッチャー・ドメイン TCB モード統計を取得できます。これらの統計は DFHDSGDS DSECT によってマップされます。

データに対して 2 回のパスが行われ、2 つの TCB モード統計表が生成されます。これは、このレポートの書式における単一の表では、この統計のすべてのデータが収まらないためです。

- 最初の表には、各モードに対する接続、切り離し、スチールなどの TCB イベント情報が主に記載されています。
- 2 番目の表には、オペレーティング・システム待機時間、待機数、TCB ディスパッチ時間、CPU 時間などのタイミング情報が記載されています。一部のフィールドでは、特定モードのすべての TCB の集計時間を示しています。複数の TCB が存在する可能性がある場合 (L8 オープン TCB など)、そのようなフィールドの値は合計であり、統計が最後にリセットされてからの時間を超える可能性があることに注意してください。

以下のフィールドは、DFHDSGDS DSECT 内の DSGTCBM DSECT によりマップされます。 DSGTCBM DSECT は、CICS 内の TCB のそれぞれのモード (DSGASIZE) ごとに繰り返されます。 TCB のモードのリストについては、TCB 統計を参照してください。

表 24. ディスパッチャー・ドメイン: *TCB* モード統計 - パス *1*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
TCB Mode (TCB モード)	DSGTCBNM	CICS ディスパッチャーの TCB モードの名前。 QR、RO、CO、SZ、RP、FO、SL、SO、SP、EP、TP、 D2、S8、L8、L9、X8、X9、または T8 のいずれかです。 リセット特性: リセットなし
オープン	DSGTCBMD	CICS ディスパッチャー TCB モードが、オープンであるか、オープンではないか、または不明であるかを示します。 タイプが「不明」の TCB モードは、その TCB モードが活動化されていないことを示しています。 リセット特性: リセットなし
TCB Pool (TCB プール)	DSGTCBMP	この TCB モードが定義された TCB プールの名前。 N/A、OPEN、SSL、THRD または XP のいずれかです。 リセット特性: リセットなし
TCBs Attached - Current (接続 TCB 数 - 現行)	DSGTCBCA	この TCB モードで接続されている MVS TCB の現在の数。 リセット特性: リセットなし
TCBs Attached - Peak (接続 TCB 数 - ピーク)	DSGTCBPA	この TCB モードで接続されている MVS TCB のピークの数。 リセット特性: 現行値にリセット
TCBs In Use - Current (使用中 TCB 数 - 現行)	DSGTCBCU	この TCB モードで使用中の MVS TCB の現在の数。 リセット特性: リセットなし
TCBs In Use - Peak (使用中 TCB 数 - ピーク)	DSGTCBPU	この TCB モードで使用中の MVS TCB のピークの数。 リセット特性: 現行値にリセット
Dispatchable Queue - Current (ディスパッチ可能キュー - 現行)	DSGTMCDQ	TCB に対してキューに入れられているディスパッチ可能タスクの現在の数。 リセット特性: リセットなし
Dispatchable Queue - Peak (ディスパッチ可能キュー - ピーク)	DSGTMPDQ	TCB に対してキューに入れられたディスパッチ可能タスクのピーク数。 リセット特性: 現行にリセット

表 24. ディスパッチャー・ドメイン: *TCB* モード統計 - パス *1* (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Dispatchable Queue - Average (ディスパッチ可能キュー - 平均)	DSGTMADQ	TCB に対してキューに入れられたディスパッチ可能タスクの平均数。 リセット特性: 現行にリセット
TCB Attaches (TCB 接続数)	DSGNTCBA	この TCB モードで接続された MVS TCB の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Detached Unclean (不明確な切り離し)	DSGTCBDU	その TCB に関連した CICS トランザクションが異常終了したため、この TCB モードから切り離されたか、または切り離し処理中の MVS TCB の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Detached Stolen (スチールされた切り離し)	DSGTCBDS	別の TCB モードで必要なため、この TCB モードからスチールされたか、またはスチール処理中の MVS TCB の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Detached Excess (超過の切り離し)	DSGTCBDX	CICS ディスパッチャーの超過 TCB 管理処理のため、この CICS ディスパッチャー TCB モードから切り離されたか、または切り離し処理中の MVS TCB の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Detached Other (その他の切り離し)	DSGTCBDO	この TCB モードから切り離されたか、または切り離し処理中の MVS TCB の数。 切り離しの理由として、例えば、TCB プールで許可される TCB の数の限度が引き下げられた、または使用中の TCB の数に対し接続された TCB 数が多すぎる、などがあります。 リセット特性: ゼロにリセット
TCB Steals (TCB スチール数)	DSGTCBST	他の TCB モードからスチールされた MVS TCB の数。 リセット特性: ゼロにリセット
TCB Mismatches (TCB ミスマッチ数)	DSGTCBMM	この TCB モードに対して発生した MVS TCB ミスマッチの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 25. ディスパッチャー・ドメイン: *TCB* モード統計 - パス 2

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Mode (モード)	DSGTGBM	CICS ディスパッチャーの TCB モードの名前。QR、RO、CO、SZ、RP、FO、SL、SO、SP、EP、TP、D2、S8、L8、L9、X8、X9、または T8 のいずれかです。 リセット特性: リセットなし
TCBs Attached - Current (接続 TCB 数 - 現行)	DSGTCBCA	この TCB モードで接続されている MVS TCB の現在の数。 リセット特性: リセットなし
TCBs Attached - Peak (接続 TCB 数 - ピーク)	DSGTCBPA	この TCB モードで接続されている MVS TCB のピークの数。 リセット特性: リセットなし
TCB Attaches (TCB 接続数)	DSGNTCBA	この TCB モードで接続された MVS TCB の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Attach Failures (接続失敗数)	DSGTCBAF	この TCB モードで発生した MVS TCB 接続障害の数。 リセット特性: ゼロにリセット
MVS Waits (MVS 待機数)	DSGSYSW	このモードの TCB で発生した MVS の待機の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Accum Time in MVS wait (MVS 待機累積時間)	DSGTWT	CICS 領域が MVS 待機であった実際の時間の累積。すなわち、ディスパッチャーによる MVS 待機の発行から、MVS 待機からの復帰までの間に使用された合計時間です。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間: 分: 秒.小数部」で表されます。ただし、DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) 値として時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット

表 25. ディスパッチャー・ドメイン: *TCB* モード統計 - パス 2 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Accum Time Dispatched (ディスパッチ累積時間)	DSGTDT	このモードの TCB が MVS によってディスパッチされていた累積実時間。すなわち、ディスパッチャーが発行した MVS 待ちの終わりと、ディスパッチャーが発行したその次の待ちの開始との間で使用された合計時間。DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間: 分: 秒.小数部」で表されます。ただし、DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) 値として時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	DSGTCT	この DS タスクに要した CPU 時間の累積。すなわち、デフォルトのディスパッチャー・タスク (DSTCB) の実行中にこのモードの TCB により使用されたプロセッサー時間です。 DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) の値としての時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
Accum CPU Time / TCB (累積 CPU 時間 / TCB)	DSGACT	この TCB モードで接続中であるか、または接続されていたすべての TCB に要した CPU 時間の累積。すなわち、このモードの TCB が実行状態であった合計時間です。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間: 分: 秒.少数部」で表されます。ただし、 DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) 値として時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット

ディスパッチャー・ドメイン: TCB プール統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DISPATCHER システム・コマンドを使用して、ディスパッチャー・ドメイン TCB プール統計を取得できます。これらの統計は DFHDSGDS DSECT によってマップされます。

統計は、OPENAPI TCB プール、SSL TCB プール、JVM サーバー THRD TCB プール、および XP TCB プールの各 TCB プールごとに作成されます。

以下のフィールドは、DFHDSGDS DSECT 内の DSGTCBP DSECT によりマップされます。 DSGTCBP DSECT は CICS 内のそれぞれの TCB プール (DSGPSIZE) ごとに繰り返されます。

表 *26.* ディスパッチャー・ドメイン*: TCB* プール統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
TCB Pool (TCB プール)	DSGTCBPN	CICS TCB プールの名前。OPEN、SSL、THRD、または XP のいずれかです。 リセット特性: リセットなし
Current TCBs attached in this TCB Pool (この TCB プールに接続された現在の TCB 数)	DSGCNUAT	この TCB プールにあるこの TCB モードで接続されている TCB の現在の数。 リセット特性: リセットなし
Peak TCBs attached in this TCB Pool (この TCB プールに接続された TCB 数のピーク)	DSGPNUAT	この TCB プールにあるこの TCB モードで接続されている TCB のピークの数。 リセット特性: 現行にリセット
Current TCBs in use in this TCB Pool (この TCB プールで使用中の現在の TCB 数)	DSGCNUUS	この TCB プール内で接続され、使用中である CICS TCB の現在の数。 リセット特性: リセットなし
Peak TCBs in use in this TCB Pool (この TCB プールで使用中の TCB のピーク数)	DSGPNUUS	この TCB プール内で接続された、使用中の CICS TCB のピークの数。 リセット特性: 現行値にリセット

表 26. ディスパッチャー・ドメイン: *TCB* プール統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Max TCB Pool limit (最大 TCB プール限界)	DSGMXTCB	このプールで使用できる TCB の最大数の値。 • **MAXOPENTCBS** システム初期設定パラメーターが指定された場合、それによってオープン TCB プールの値が設定されます。MAXOPENTCBS システム初期設定が指定されない場合、CICS は CICS 領域に対して指定されたタスクの最大数 (MXT 値) に基づいて、L8 および L9 モードのオープン TCB プールの制限を自動的に設定します。このとき、公式 (2 * MXT 値) + 32 を使用します。MAXOPENTCBS パラメーターのユーザーによる明示的な設定について詳しくは、MAXOPENTCBS を参照してください。 • **MAXSSLTCBS** システム初期設定パラメーターは、SSL TCB プールの値を指定します。 • **MAXTHRDTCBS** は、JVM サーバー THRD TCB プールの値を指定します。JVMSERVER リソースの各 JVM serverTHREADLIMIT 値に予約されているスレッドの数は、スレッド数に 1 を加えることによって自動的に計算され、最大限度は 2000 になります。 • **MAXXPTCBS** システム初期設定パラメーターが指定された場合、それによって XP TCB プールの値が設定されます。 **MAXXPTCBS** システム初期設定が指定されない場合、CICS は X8 および X9 モードの XP TCB プールの制限を、CICS 領域に対して指定されたタスクの最大数 (MXT 値) と等しい値に自動的に設定します。MAXXPTCBS パラメーターのユーザーによる明示的な設定について詳しくは、MAXXPTCBS を参照してください。 該当するシステム初期設定パラメーターを指定変更するか、SET DISPATCHER コマンドを使用して、最大値を変更できます。 JVM サーバーの最大値を変更するには、SET JVMSERVER コマンドを使用します。 リセット特性: リセットなし
Time Max TCB Pool Limit last reached (最大 TCB プール限界に達した最後の時刻)	DSGLTCBL	プールが最大 TCB 限界に達した時刻。 DFHSTUP レポートで時刻が --:--:--:---- と示される場合は、統計が最後にリセットされてからプール限界に達していないことを表しています。 リセット特性: ゼロにリセット
Times at Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界の回数)	DSGNTCBL	システムが、以下のプールで許可されている TCB の数に対する制限に達した回数。 • OPEN TCB プール • SSL TCB プール • THRD TCB プール • XP TCB プール リセット特性: ゼロにリセット

表 26. ディスパッチャー・ドメイン: *TCB* プール統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total Requests delayed by Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界により遅延された合計要求数)	DSGTOTNW	システムがこのプールで許可された TCB 数の限界に達したために遅延した TCB 要求の合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total Max TCB Pool Limit delay time (最大 TCB プール限界の合計遅延時間)	DSGTOTWL	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、TCB 要求が遅延した合計時間。 リセット特性: ゼロにリセット
Current Requests delayed by Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界により遅延された現在の要求数)	DSGCURNW	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、現在遅延している TCB 要求の数。 リセット特性: リセットなし
Current Max TCB Pool Limit delay time (最大 TCB プール限界の現行遅延時間)	DSGCURWT	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、現在遅延している TCB 要求の現在の遅延時間。 リセット特性: リセットなし
Peak Requests delayed by Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界により遅延された要求のピーク数)	DSGPEANW	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、遅延した TCB 要求のピーク数。 リセット特性: リセットなし
Total Number of TCB Mismatch waits (TCB ミスマッチ待ちの合計数)	DSGMMWTS	TCB ミスマッチ待ち、すなわち、要求に一致する、使用可能な TCB は存在していなかったが、少なくとも 1 つの一致してはいない TCB が空きだったために待機した TCB 要求の合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total TCB Mismatch wait time (TCB ミスマッチ待ち時間の合計)	DSGMMWTM	このプールを使用している TCB 要求による TCB ミスマッチ待ちで費やした合計時間。 リセット特性: ゼロにリセット
Current TCB Mismatch waits (現在の TCB ミスマッチ待ち数)	DSGCMMWS	このプールを使用する TCB 要求による、TCB ミスマッチ待ちの現在の数。 リセット特性: リセットなし
Current TCB Mismatch wait time (現行 TCB ミスマッチ待ち時間)	DSGCMMWT	このプールを使用した TCB 要求による現行の TCB ミスマッチ待機の、現行の待機時間です。 リセット特性: リセットなし
Peak TCB mismatch waits (TCB ミスマッチ待ちのピーク数)	DSGPMMWS	このプールを使用する TCB 要求による、TCB ミスマッチ待ちのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット

表 26. ディスパッチャー・ドメイン: *TCB* プール統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Requests delayed by MVS storage constraint (MVS ストレージ制約により遅延された要求数)	DSGTOTMW	使用可能な TCB がない、または MVS ストレージ制約により TCB が作成されないため、待機した MVS ストレージ要求の合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total MVS storage constraint delay time (MVS ストレージ制約の合計遅延時間)	DSGTOTMT	このプールを使用する TCB 要求が、MVS ストレージ待ちで消費した合計時間。 リセット特性: ゼロにリセット

ディスパッチャー・ドメイン: MVS TCB 統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DISPATCHER、**EXTRACT STATISTICS MVSTCB**、および **INQUIRE MVSTCB** システム・コマンドを使用して、ディスパッチャー・ドメイン MVS TCB 統計を取得できます。統計データは、DFHDSGDS、DFHDSTDS、および DFHDSRDS DSECT によってマップされます。

リセット特性: これらの統計は、CICS ではなく、別個のサーバー・アドレス・スペースによって生成されます。リセットの後に、これらのフィールドは CICS ではなくサーバーによってリセットされます。 一般的に、高位水準点および低位水準点 (最大、最小および最高、最低) は現行値にリセットされ、カウントはゼロにリセットされます。

表 27. ディスパッチャー・ドメイン: *MVS TCB* 統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Dispatcher MVS TCB (ディスパッチャー MVS TCB)		
Dispatcher Start Time and Date (ディスパッチャー開始日時)	DSGLSTRT	CICS ディスパッチャーが開始した現地時間。
Address Space Accumulated CPU Time (アドレス・スペースの累積 CPU 時間)	MVS フィールドの ASCBEJST	この CICS アドレス・スペースに対するリセット以降の累積 CPU 時間。時間が 24 時間を超える場合、この時間には日数の接頭部が付きます。
Address Space Accumulated SRB Time (アドレス・スペースの累積 SRB 時間)	MVS フィールドの ASCBSRBT	この CICS アドレス・スペースに対するリセット以降の累積 SRB 時間。
Address Space CPU Time (Since Reset) (アドレス・スペースの CPU 時間 (リセットから))	DSGEJST	この CICS アドレス・スペースの累積 CPU 時間。

表 27. ディスパッチャー・ドメイン: *MVS TCB* 統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Address Space SRB Time (Since Reset) (アドレス・スペースの SRB 時間 (リセットから))	DSGSRBT	この CICS アドレス・スペースの累積 SRB 時間。
Current number of CICS TCBs (現在の CICS TCB 数)	DSTDS_CICSTCB_COUNT	アドレス・スペース内の CICS TCB の現在の数。
Current CICS TCB CPU time (現在の CICS TCB CPU 時間)	DSTDS_CICSTCB_CPUTIME	現在接続されている CICS TCB のこれまでの合計 CPU 時間。
Current CICS TCB Private Stg below 16MB (現在の 16 MB より下の CICS TCB 専用ステージ)	DSTDS_CICSTCB_STG_BELOW	CICS TCB に割り振られた、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。
Current CICS TCB Private Stg below 16MB in use (現在使用中の 16 MB より下の CICS TCB 専用ステージ)	DSTDS_CICSTCB_STG_BELOW_INUSE	CICS TCB で使用中の、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。 [1]
Current CICS TCB Private Stg above 16MB (現在の 16 MB より上の CICS TCB 専用ステージ)	DSTDS_CICSTCB_STG_ABOVE	CICS TCB に割り振られた、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。
Current CICS TCB Private Stg above 16MB in use (現在使用中の 16 MB より上の CICS TCB 専用ステージ)	DSTDS_CICSTCB_STG_ABOVE_INUSE	CICS TCB で使用中の、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。 [1]
Current number of non-CICS TCBs (現在の非 CICS TCB の数)	DSTDS_NONCICSTCB_COUNT	アドレス・スペース内の、非 CICS TCB の現在の数。
Current non-CICS TCB CPU time (現在の非 CICS TCB CPU 時間)	DSTDS_NONCICSTCB_CPUTIME	現在接続されている非 CICS TCB のこれまでの合計 CPU 時間。
Current non-CICS TCB Private Stg below 16MB (現在の 16MB より下の非 CICS TCB 専用ストレージ)	DSTDS_NONCICSTCB_STG_BELOW	非 CICS TCB に割り振られている、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。

表 27. ディスパッチャー・ドメイン: *MVS TCB* 統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current non-CICS TCB Private Stg below 16MB in use (現在使用中の 16MB より下の非 CICS TCB 専用ストレージ)	DSTDS_NONCICSTCB_STG_BELOW_INUSE	非 CICS TCB で使用中の、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。
Current non-CICS TCB Private Stg above 16MB (現在の 16MB より上の非 CICS TCB 専用ストレージ)	DSTDS_NONCICSTCB_STG_ABOVE	非 CICS TCB に割り振られている、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。
Current non-CICS TCB Private Stg above 16MB in use (現在使用中の 16MB より上の非 CICS TCB 専用ストレージ)	DSTDS_NONCICSTCB_STG_ABOVE_INUSE	非 CICS TCB で使用中の、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。
TCB Address (TCB アドレス)	DSRDS_TCB_ADDRESS	MVS TCB のアドレス。
TCB Name (TCB 名)	DSRDS_TCB_NAME	MVSMVS TCB の名前 (CICS が認識している場合)。
CICS TCB	DSRDS_TCB_TYPE	TCB のタイプで、CICS または非 CICS。
Current TCB CPU Time (現在の TCB CPU 時間)	DSRDS_TCB_CPUTIME	この TCB の、これまでの合計 CPU 時間。
Current TCB Private Stg Below 16MB Allocated (現在割り振られている、16MB より下の TCB 専用ストレージ)	DSRDS_TCB_STG_BELOW	この TCB に割り振られている、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。
Current TCB Private Stg Below 16MB In Use (現在使用中の、16MB より下の TCB 専用ストレージ)	DSRDS_TCB_STG_BELOW_INUSE	この TCB で使用中の、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。
Current TCB Private Stg Above 16MB Allocated (現在割り振られている、16MB より上の TCB 専用ストレージ)	DSRDS_TCB_STG_ABOVE	この TCB に割り振られている、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。
Current TCB Private Stg Above 16MB In Use (現在使用中の、16MB より上の TCB 専用ストレージ)	DSRDS_TCB_STG_ABOVE_INUSE	この TCB で使用中の、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。

表 27. ディスパッチャー・ドメイン: *MVS TCB* 統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Task Number (タスク番号)	DSRDS_TCB_CICS_TASK	この TCB に現在関連付けられている CICS タスク番号。 ない場合は、現在この TCB に割り当てられている CICS トランザクションはありません。
Tran ID (トランザクション ID)	EXEC CICS INQUIRE TASK() TRANSACTION()	この TCB に現在関連付けられているタスクがある場合は、そのタスクのトランザクション ID。
Task Status (タスク状況)	EXEC CICS INQUIRE TASK() RUNSTATUS()	この TCB に現在関連付けられているタスクがある場合は、そのタスクの状況。
Mother TCB (mother TCB)	DSRDS_TCB_MOTHER	mother TCB のアドレス。
Sister TCB (sister TCB)	DSRDS_TCB_SISTER	sister TCB のアドレス。
Daughter TCB (daughter TCB)	DSRDS_TCB_DAUGHTER	daughter TCB のアドレス。

注:

1. 使用中のストレージの統計には、タスクが GETMAIN 要求を使用して取得したストレージの量が表示されます。ストレージは常にページの倍数 (4096 バイト) で TCB に割り振られるため、これは、TCB に割り振られたストレージの量よりも少ない場合があります。

ディスパッチャー・ドメイン: サマリー・グローバル統計

ディスパッチャー・ドメインのサマリー統計は、オンラインでは使用できません。

表 28. ディスパッチャー・ドメイン: サマリー・グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Dispatcher Start Date and Time (ディスパッチャー開始日および時刻)	CICS ディスパッチャーが開始された日時です。 この値は、CICS が開始されたおおよその日時として使用できます。 DFHSTUP レポートでは、この時刻は現地時間の日/月/年 時間: 分: 秒.少数部で表されます。ただし、 DSECT フィールドには、ローカルの保管クロック (STCK) の値として時間が含まれています。
Address Space CPU Time (アドレス・スペース CPU 時間)	CICS アドレス・スペースにより使用された合計 CPU 時間です。 DFHSTUP レポートでは、この時間は日-時間: 分: 秒.小数部として表されます。
Address Space SRB Time (アドレス・スペース SRB 時間)	CICS アドレス・スペースにより使用された合計 SRB 時間です。 DFHSTUP レポートでは、この時間は日-時間: 分: 秒.小数部として表されます。
Peak number of dispatcher tasks (ピーク・ディスパッチャー・タスク数)	並行してシステム内にあるディスパッチャー・タスクのピークの数です。

表 28. ディスパッチャー・ドメイン: サマリー・グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Peak ICV time (msec) (ピーク ICV 時間 (ミリ秒))	SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは動的に変更されたピーク ICV 時間値 (ミリ秒 で表される) です。
Peak ICVR time (msec) (ピーク ICVR 時間 (ミリ秒))	SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは動的に変更されたピーク ICVR 時間値 (ミリ秒 で表される) です。
Peak ICVTSD time (msec) (ピーク ICVTSD 時間 (ミリ秒))	SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは動的に変更されたピーク ICVTSD 時間値 (ミリ秒 で表される) です。
Peak PRTYAGE time (msec) (ピーク PRTYAGE 時間 (ミリ秒))	SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは動的に変更されたピーク PRTYAGE 時間値 (ミリ秒 で表される) です。
Peak MRO (QR) Batching (MROBTCH) value (ピーク MRO (QR) バッチ (MROBTCH) 値)	SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは動的に変更されたピーク MROBTCH 値です。
Number of Excess TCB scans (超過 TCB スキャン数)	CICS ディスパッチャーの超過 MVS TCB スキャンの合計数です。
Excess TCB scans - No TCB detached (超過 TCB スキャン数 - TCB が切り離されていない)	切り離されている MVS TCB がなかった、CICS ディスパッチャーの超過 MVS TCB スキャンの合計数です。
Number of Excess TCBs detached (切り離された超過 TCB 数)	CICS ディスパッチャーの超過 MVS TCB 管理処理により切り離された MVS TCB の合計数です。
Average Excess TCBs Detached per Scan (スキャン当たりの切り離された超過 TCB 数の平均)	CICS ディスパッチャーの超過 MVS TCB 管理処理の各スキャンにより切り離された、MVS TCB の平均の数です。
Number of CICS TCB MODEs (CICS TCB モード数)	CICS ディスパッチャー TCB モードの数です。
Number of CICS TCB POOLs (CICS TCB プール数)	CICS ディスパッチャー TCB プールの数です。

ディスパッチャー・ドメイン: サマリー TCB モード統計

ディスパッチャー・ドメインのサマリー TCB モード統計は、オンラインでは使用できません。

データに対して 2 回のパスが行われ、2 つの要約 TCB モード統計表が生成されます。これは、このレポートの書式における単一の表では、この統計のすべてのデータが収まらないためです。 第 1 の表には、主に各モードに対する接続、切り離し、およびスチールなどの TCB イベント情報が含まれています。 第 2 の表に

は、オペレーティング・システム待機時間、待機数、TCB ディスパッチ時間、および CPU 時間などのタイミング情報が含まれています。

表 *29.* ディスパッチャー・ドメイン*:* サマリー *TCB* モード統計 *-* パス *1*

DFHSTUP 名	説明
Mode (モード)	CICS ディスパッチャーの TCB モードの名前。 QR、RO、CO、SZ、RP、FO、SL、SO、SP、EP、TP、D2、S8、L8、L9、X8、X9、または T8 のいずれかです。
オープン	CICS ディスパッチャー TCB モードが、オープンであるか、オープンではないか、または不明であるかを示します。 タイプが Unk の TCB モードは、その TCB モードが活動化されていないことを示しています。
TCB Pool (TCB プール)	CICS TCB プールの名前。N/A、OPEN、THRD、SSL、または XP のいずれかです。
Peak TCBs Attached (ピーク TCB 接続数)	この TCB モードで接続されている MVS TCB のピークの数。
Peak TCBs In Use (ピーク使用中 TCB 数)	この TCB モードで接続され、使用中の MVS TCB のピークの数。
TCB Attaches (TCB 接続数)	この TCB モードで接続された MVS TCB の数。
Detached Unclean (不明確な切り離し)	その TCB に関連した CICS トランザクションが異常終了したため、この TCB モードから切り離されたか、または切り離し処理中の MVS TCB の合計数。
Detached Stolen (スチールされた切り離し)	別の TCB モードで必要なため、この TCB モードからスチールされたか、またはスチール処理中の MVS TCB の合計数。
Detached Excess (超過の切り離し)	ディスパッチャーの超過 TCB 管理処理のため、この TCB モードから切り離されたか、または切り離し処理中の MVS TCB の合計数。
Detached Other (その他の切り離し)	この TCB モードから切り離されたか、または切り離し処理中の MVS TCB の合計数。 切り離しの理由として、例えば、TCB プールで許可される TCB の数の限度が引き下げられた、または使用中の TCB の数に対し接続された TCB 数が多すぎる、などがあります。
TCB Steals (TCB スチール数)	別の TCB モードからスチールされた MVS TCB の合計数。
TCB Mismatches (TCB ミスマッチ数)	この TCB モードに対して発生した MVS TCB ミスマッチの合計数。

表 *30.* ディスパッチャー・ドメイン*:* サマリー *TCB* モード統計 *-* パス *2*

DFHSTUP 名	説明
Mode (モード)	CICS ディスパッチャーの TCB モードの名前。 QR、RO、CO、SZ、RP、FO、SL、SO、SP、EP、TP、D2、S8、L8、L9、X8、X9、または T8 のいずれかです。
Peak TCBs Attached (ピーク TCB 接続数)	この TCB モードで接続されている MVS TCB のピークの数。
Peak TCBs In Use (ピーク使用中 TCB 数)	この TCB モードで接続され、使用中の MVS TCB のピークの数。
TCB Attaches (TCB 接続数)	この TCB モードで接続された MVS TCB の数。
Attach Failures (接続失敗数)	この TCB モードで発生した MVS TCB 接続失敗の合計数。
MVS Waits (MVS 待機数)	この TCB モードで発生した MVS 待機の合計数。
Total Time in MVS wait (MVS 待機合計時間)	このモードの TCB が MVS 待機であった実際の合計時間。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間:分:秒.小数部」で表されます。
Total Time Dispatched (ディスパッチ合計時間)	このモードの TCB が MVS によりディスパッチされていた実際の合計時間。DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間:分:秒.小数部」で表されます。
Total CPU Time / TCB (合計 CPU 時間 / TCB)	このモードのすべての TCB に要した合計 CPU 時間。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間:分:秒.小数部」で表されます。

ディスパッチャー・ドメイン**:** サマリー **TCB** プール統計

統計は、OPENAPI TCB プール、SSL TCB プール、JVM サーバー THRD TCB プール、および XP TCB プールの各 TCB プールごとに作成されます。

表 *31.* ディスパッチャー・ドメイン*:* サマリー *TCB* プール統計

DFHSTUP 名	説明
TCB Pool (TCB プール)	CICS TCB プールの名前。OPEN、SSL、THRD、または XP のいずれかです。
Peak TCBs attached in this TCB Pool (この TCB プールに接続された TCB 数のピーク)	この TCB プールにあるこの TCB モードで接続されている TCB のピークの数。
Peak TCBs in use in this TCB Pool (この TCB プールで使用中の TCB のピーク数)	この TCB プール内で接続された、使用中の CICS TCB のピークの数。

表 31. ディスパッチャー・ドメイン: サマリー *TCB* プール統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Max TCB Pool limit (最大 TCB プール限界)	このプールで使用できる TCB の最大数の値。 • **MAXOPENTCBS** システム初期設定パラメーターが指定された場合、それによってオープン TCB プールの値が設定されます。 MAXOPENTCBS システム初期設定が指定されない場合、CICS は CICS 領域に対して指定されたタスクの最大数 (MXT 値) に基づいて、L8 および L9 モードのオープン TCB プールの制限を自動的に設定します。このとき、公式 (2 * MXT 値) + 32 を使用します。MAXOPENTCBS パラメーターのユーザーによる明示的な設定について詳しくは、MAXOPENTCBS を参照してください。 • **MAXSSLTCBS** システム初期設定パラメーターは、SSL TCB プールの値を指定します。 • **MAXTHRDTCBS** は、JVM サーバー THRD TCB プールの値を指定します。JVMSERVER リソースの各 JVM serverTHREADLIMIT 値に予約されているスレッドの数は、スレッド数に 1 を加えることによって自動的に計算され、最大限度は 2000 になります。 • **MAXXPTCBS** システム初期設定パラメーターが指定された場合、それによって XP TCB プールの値が設定されます。 **MAXXPTCBS** システム初期設定が指定されない場合、CICS は X8 および X9 モードの XP TCB プールの制限を、CICS 領域に対して指定されたタスクの最大数 (MXT 値) と等しい値に自動的に設定します。MAXXPTCBS パラメーターのユーザーによる明示的な設定について詳しくは、MAXXPTCBS を参照してください。
Times at Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界の回数)	以下のプールで許可された TCB の数の限界に達した回数の合計数。 • OPEN TCB プール • SSL TCB プール • THRD TCB プール • XP TCB プール
Total Requests delayed by Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界により遅延された合計要求数)	システムがこのプールで許可された TCB 数の限界に達したために遅延した TCB 要求の合計数。
Total Max TCB Pool Limit delay time (最大 TCB プール限界の合計遅延時間)	システムがこのプールで許可された TCB 数の限界に達したために遅延したタスクにより使用された待ち時間の合計。
Average Max TCB Pool Limit delay time (最大 TCB プール限界の平均遅延時間)	システムがこのプールで許可された TCB 数の限界に達したために遅延したタスクにより使用された待ち時間の平均。
Peak Requests delayed by Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界により遅延された要求のピーク数)	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、遅延した TCB 要求のピーク数。

表 31. ディスパッチャー・ドメイン: サマリー *TCB* プール統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Total number of TCB Mismatch waits (TCB ミスマッチ待ちの合計数)	TCB ミスマッチ待ち、すなわち、要求に一致する、使用可能な TCB は存在していなかったが、少なくとも 1 つの一致してはいない TCB が空きだったために待機した TCB 要求の合計数。
Total TCB Mismatch wait time (TCB ミスマッチ待ち時間の合計)	このプールを使用している TCB 要求による TCB ミスマッチ待ちで費やした合計時間。
Average TCB Mismatch wait time (平均 TCB ミスマッチ待ち時間)	このプールを使用した TCB 要求による TCB ミスマッチ待機で経過した平均時間です。
Peak TCB Mismatch waits (TCB ミスマッチ待ちのピーク数)	このプールを使用する TCB 要求による、TCB ミスマッチ待ちのピーク数。
Requests delayed by MVS storage constraint (MVS ストレージ制約により遅延された要求数)	使用可能な TCB がない、または MVS ストレージ制約により TCB を作成できないため、待機した MVS ストレージ要求の合計数です。
Total MVS storage constraint delay time (MVS ストレージ制約の合計遅延時間)	このプールを使用する TCB 要求が、MVS ストレージ待ちで消費した合計時間。

文書テンプレートの統計

文書テンプレートは、HTTP メッセージの本文を作成する目的で、CICS Web サポートで使用されます。 文書テンプレートを URIMAP 定義に指定して、Web クライアント要求に対する静的応答を提供することができます。あるいは、HTTP 要求または応答を作成するため、またはその他の目的で使用するために、アプリケーション・プログラムで使用することができます。

使用の統計が、文書テンプレートごとに提供されます。 DFH0STAT レポートでは、CICS 領域で定義されている各文書テンプレートをリストし、そのソースおよび使用に関する情報を提供します。

文書テンプレート統計レポートについて詳しくは、文書テンプレート・レポートを参照してください。

文書テンプレート: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DOCTEMPLATE システム・コマンドを使用して、文書テンプレートのリソース統計にアクセスできます。これらの統計は DFHDHDDS DSECT によってマップされます。

リソース情報は、各 DOCTEMPLATE リソースのさまざまな属性設定および文書テンプレートの使用方法の詳細を提供します。

表 32. 文書テンプレート: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
DOCTEMPLATE 名	DHD_DOCTEMPLATE_NAME	DOCTEMPLATE リソース定義の名前。 リセット特性: リセットなし
Template name (テンプレート名)	DHD_TEMPLATE_NAME	テンプレートがアプリケーション・プログラムに認識されている名前 (DOCTEMPLATE リソース定義の TEMPLATENAME 属性)。 リセット特性: リセットなし
Append crlf (crlf の付加)	DHD_APPEND_CRLF	CICS が、テンプレートの各論理レコードに復帰改行を付加するかどうか。 リセット特性: リセットなし
Template contents (テンプレートの内容)	DHD_TEMPLATE_CONTENTS	テンプレートの内容の形式。バイナリーまたは EBCDIC のいずれか。 リセット特性: リセットなし
Template type (テンプレートのタイプ)	DHD_TEMPLATE_TYPE	文書テンプレートのソースのタイプ。出口プログラム、データ・セットの CICS ファイル名、zFS ファイル、PDS のメンバー、プログラム、一時データ・キュー、一時記憶域キューのいずれかです。 リセット特性: リセットなし

表 32. 文書テンプレート: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Template type name (テンプレートのタイプの名前)	DHD_TEMPLATE_EXIT_PROGRAM DHD_TEMPLATE_FILE_NAME DHD_TEMPLATE_PROGRAM_NAME DHD_TEMPLATE_PDS_MEMBER DHD_TEMPLATE_TDQUEUE DHD_TEMPLATE_TSQUEUE DHD_TEMPLATE_HFSFILE	プログラム名や zFS ファイル名などの文書テンプレートのソースの名前。 リセット特性: リセットなし
Template cache size (テンプレート・キャッシュ・サイズ)	DHD_TEMPLATE_CACHE_SIZE	文書テンプレートのキャッシュ付きコピーに必要なストレージの量。 • 初めてテンプレートを使用するまでは、このフィールドはゼロです。 • このフィールドは、キャッシュされない CICS プログラムのテンプレート、および出口プログラムのテンプレート (キャッシュに指定されていない場合) に対して、常にゼロです。 リセット特性: リセットなし
使用回数	DHD_TEMPLATE_USE_COUNT	何らかの理由で文書テンプレートが参照された合計回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Newcopy count (Newcopy 回数)	DHD_TEMPLATE_NEWCOPIES	この文書テンプレート用に SET DOCTEMPLATE NEWCOPY コマンドが発行された回数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 32. 文書テンプレート: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Read count (読み取りカウント)	DHD_TEMPLATE_READ_COUNT	文書テンプレートがソースから読み取られた回数。読み取りは、キャッシュから削除した後の最初の参照を含む最初の使用、あるいは SET DOCTEMPLATE NEWCOPY コマンドによって実行されます。 リセット特性: ゼロにリセット
Cache copy used (使用されたキャッシュ・コピー)	DHD_TEMPLATE_CACHE_USED	アプリケーションが文書テンプレートのキャッシュ付きコピーを使用した回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Cache copy deleted (削除されたキャッシュ・コピー)	DHD_TEMPLATE_CACHE_DELETED	ストレージ不足状態のために、文書テンプレートのキャッシュ付きコピーが削除された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	DHD_TEMPLATE_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	DHD_TEMPLATE_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし

表 32. 文書テンプレート: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	DHD_TEMPLATE_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	DHD_TEMPLATE_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	DHD_TEMPLATE_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	DHD_TEMPLATE_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	DHD_TEMPLATE_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

文書テンプレート: 要約リソース統計

文書テンプレートの要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

リソース情報は、各 DOCTEMPLATE リソース定義のさまざまな属性設定および文書テンプレートの使用方法の詳細を提供します。

表 *33.* 文書テンプレート*:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
DOCTEMPLATE 名	DOCTEMPLATE リソース定義の名前。
Template name (テンプレート名)	テンプレートがアプリケーション・プログラムに認識されている名前 (DOCTEMPLATE リソース定義の TEMPLATENAME 属性)。
Append crlf (crlf の付加)	CICS が、テンプレートの各論理レコードに復帰改行を付加するかどうか。
Template contents (テンプレートの内容)	テンプレートの内容の形式。バイナリーまたは EBCDIC のいずれか。
Template type (テンプレートのタイプ)	DOCTEMPLATE リソース定義の名前。
[Template type] name ([テンプレート型] 名)	プログラム名や z/OS UNIX ファイル名などの文書テンプレートのソースの名前。
Template cache size (テンプレート・キャッシュ・サイズ)	文書テンプレートのキャッシュ付きコピーに必要なストレージの量。 要約リソース統計では、この値は、ゼロ以外の最新のテンプレート・サイズを示しています。
使用回数	何らかの理由で文書テンプレートが参照された合計回数。
Newcopy count (Newcopy 回数)	この文書テンプレート用に SET DOCTEMPLATE NEWCOPY コマンドが発行された回数。
Read count (読み取りカウント)	文書テンプレートがソースから読み取られた回数。
Cache copy used (使用されたキャッシュ・コピー)	アプリケーションが文書テンプレートのキャッシュ付きコピーを使用した回数。
Cache copy deleted (削除されたキャッシュ・コピー)	ストレージ不足状態のために、文書テンプレートのキャッシュ付きコピーが削除された回数。

ダンプ・ドメイン統計

トランザクション・ダンプおよびシステム・ダンプのいずれも非常に時間がかかるため、徹底的に検査して、いずれも実行しないようにする必要があります。

ダンプ・ドメイン: システム・ダンプ統計

ダンプ・ドメインは、CICS 実行時に発生するシステム・ダンプとトランザクション・ダンプの両者に対する、グローバル統計およびリソース統計を収集します。

ダンプ・ドメイン: グローバル統計 - システム・ダンプ

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS SYSDUMPCODE システム・コマンドを使用して、システム・ダンプのグローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHSDGDS DSECT によってマップされます。

これらの統計フィールドには、システム・ダンプのダンプ・ドメインにより収集されたグローバル・データが含まれています。

表 *34.* ダンプ・ドメイン*:* グローバル統計 - システム・ダンプ

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Dumps taken (取得ダンプ)	SYS_DUMPS_TAKEN	現在の CICS 実行中に、システム全体により取得されたシステム・ダンプの回数です。 この数に、抑止されたダンプの数は含まれません。ダンプ・コードに RELATED オプションがある場合、一連の関連したダンプが SYSPLEX 全体にわたって取得されている場合があります。その場合、ダンプを開始した CICS システムに対し、カウントが 1 つ増加します。 この数は、別の CICS システムが関連する要求の一部としてダンプを実行しても、変更されません。 リセット特性: ゼロにリセット
Dumps suppressed (抑止ダンプ)	SYS_DUMPS_SUPPR	CICS またはユーザーによりダンプ・ドメインから要求され、以下のいずれかにより抑止された、システム・ダンプの回数です。 • ユーザーによる終了 • ダンプ・テーブル • グローバル・システム・ダンプの抑止 リセット特性: ゼロにリセット

ダンプ・ドメイン: リソース統計 - システム・ダンプ

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS SYSDUMPCODE システム・コマンドを使用して、システム・ダンプのリソース統計を取得できます。これらの統計は DFHSDRDS DSECT によってマップされます。

これらの統計フィールドには、ダンプ・コードによって、システム・ダンプのダンプ・ドメインにより収集されたデータが含まれています。

表 *35.* ダンプ・ドメイン*:* リソース統計 - システム・ダンプ

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Dumpcode (ダンプ・コード)	SDRCODE	システム・ダンプ・コードです。 このコードは、DFH プレフィックスおよびアクション・コード・サフィックス (ある場合) が取り除かれた、CICS メッセージ番号です。CICS メッセージのガイド情報については、「*CICS Messages and Codes*」を参照してください。 リセット特性: リセットなし

表 35. ダンプ・ドメイン: リソース統計 - システム・ダンプ (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Dumps (ダンプ)	SDRSTKN	ダンプ・コード (SDRCODE) フィールドで識別されるダンプ・コードに対して取得されたシステム・ダンプの回数です。 ダンプ・コードに RELATED オプションがある場合、一連の関連したダンプが SYSPLEX 全体にわたって取得されている場合があります。その場合、ダンプを開始した CICS システムに対し、カウントが 1 つ増加します。 この数は、別の CICS システムが関連する要求の一部としてダンプを実行しても、変更されません。 リセット特性: ゼロにリセット
Dumps suppressed (抑止ダンプ)	SDRSSUPR	ダンプ・コード (SDRCODE) フィールドで識別されるダンプ・コードに対する、以下のいずれかにより抑止された、システム・ダンプの回数です。 • ユーザーによる終了 • ダンプ・テーブル • グローバル・システム・ダンプの抑止 リセット特性: ゼロにリセット
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SDRTTKN & SDRTSUPR	これらのフィールドは常にゼロです。 これは、トランザクション・ダンプ統計レコード形式との互換性のためにのみ存在します。 トランザクション・ダンプは、システム・ダンプの取得も同様に強制できます (トランザクション・ダンプ・テーブルのオプションです)。ただし、システム・ダンプは、トランザクション・ダンプの取得を強制できません。 リセット特性: 適用されない

ダンプ・ドメイン: サマリー・グローバル統計 - システム・ダンプ

ダンプ・ドメインのサマリー・グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 36. ダンプ・ドメイン: サマリー・システム・ダンプ・グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Dumps taken (取得ダンプ)	CICS 実行のすべてにわたり、システム全体により取得されたシステム・ダンプの合計数です。この数に、抑止されたダンプの数は含まれません。ダンプ・コードに RELATED オプションがある場合、一連の関連したダンプが SYSPLEX 全体にわたって取得されている場合があります。その場合、ダンプを開始した CICS システムに対し、カウントが 1 つ増加します。この数は、別の CICS システムが関連する要求の一部としてダンプを実行しても、変更されません。

表 *36.* ダンプ・ドメイン*:* サマリー・システム・ダンプ・グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Dumps suppressed (抑止ダンプ)	CICS またはユーザーによりダンプ・ドメインから要求され、以下のいずれかにより抑止された、システム・ダンプの合計数です。 • ユーザーによる終了 • ダンプ・テーブル • グローバル・システム・ダンプの抑止

ダンプ・ドメイン: サマリー・リソース統計 - システム・ダンプ

ダンプ・ドメインのサマリー・リソース統計は、オンラインでは使用できません。

表 *37.* ダンプ・ドメイン*:* サマリー・リソース統計 - システム・ダンプ

DFHSTUP 名	説明
Dumpcode (ダンプ・コード)	システム・ダンプ・コードです。 このコードは、DFH プレフィックスおよびアクション・コード・サフィックス (ある場合) が取り除かれた、CICS メッセージ番号です。 CICS メッセージのガイド情報については、「*CICS Messages and Codes*」を参照してください。
Dumps (ダンプ)	ダンプ・コード・フィールドで識別されるダンプ・コードに対して取得されたシステム・ダンプの合計数です。 ダンプ・コードに RELATED オプションがある場合、一連の関連したダンプが SYSPLEX 全体にわたって取得されている場合があります。 その場合、ダンプを開始した CICS システムに対し、カウントが 1 つ増加します。 この数は、別の CICS システムが関連する要求の一部としてダンプを実行しても、変更されません。
Dumps suppressed (抑止ダンプ)	ダンプ・コード・フィールドで識別されるダンプ・コードに対する、以下のいずれかにより抑止された、システム・ダンプの合計数です。 • ユーザーによる終了 • ダンプ・テーブル • グローバル・システム・ダンプの抑止

ダンプ・ドメイン: トランザクション・ダンプ統計

ダンプ・ドメインは、CICS 実行時に発生するシステム・ダンプとトランザクション・ダンプの両者に対する、グローバル統計およびリソース統計を収集します。

ダンプ・ドメイン: グローバル統計 - トランザクション・ダンプ

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TRANDUMPCODE システム・コマンドを使用して、トランザクション・ダンプのグローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHTDGDS DSECT によってマップされます。

これらの統計フィールドには、トランザクション・ダンプのダンプ・ドメインにより収集されたグローバル・データが含まれています。

表 38. ダンプ・ドメイン: グローバル統計 - トランザクション・ダンプ

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Dumps taken (取得ダンプ)	TRANS_DUMP_TAKEN	現在の CICS 実行中に、システム全体により取得されたトランザクション・ダンプの回数です。 この数に、抑止されたダンプの数は含まれません。 リセット特性: ゼロにリセット
Dumps suppressed (抑止ダンプ)	TRANS_DUMP_SUPP	CICS またはユーザーによりダンプ・ドメインから要求され、以下のいずれかにより抑止された、トランザクション・ダンプの回数です。 • ユーザーによる終了 • ダンプ・テーブル リセット特性: ゼロにリセット

ダンプ・ドメイン: リソース統計 - トランザクション・ダンプ

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TRANDUMPCODE システム・コマンドを使用して、トランザクション・ダンプのリソース統計を取得できます。これらの統計は DFHTDRDS DSECT によってマップされます。

これらの統計フィールドには、ダンプ・コードによって、トランザクション・ダンプのダンプ・ドメインにより収集されたデータが含まれています。

表 39. ダンプ・ドメイン: リソース統計 - トランザクション・ダンプ

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Dumpcode (ダンプ・コード)	TDRCODE	トランザクション・ダンプ・コードです。 リセット特性: リセットなし
Dumps (ダンプ)	TDRTTKN	ダンプ・コード (TDRCODE) フィールドで識別されるダンプ・コードに対して取得された、トランザクション・ダンプの回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Dumps suppressed (抑止ダンプ)	TDRTSUPR	ダンプ・コード (TDRCODE) フィールドで識別されるダンプ・コードに対して抑止された、トランザクション・ダンプの回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
System dumps (システム・ダンプ)	TDRSTKN	ダンプ・コード (TDRCODE) フィールドで識別されるトランザクション・ダンプにより強制された、システム・ダンプの回数です。 ダンプ・コードに RELATED オプションがある場合、一連の関連したダンプが SYSPLEX 全体にわたって取得されている場合があります。 その場合、ダンプを開始した CICS システムに対し、カウントが 1 つ増加します。この数は、別の CICS システムが関連する要求の一部としてダンプを実行しても、変更されません。 リセット特性: ゼロにリセット

表 39. ダンプ・ドメイン: リソース統計 - トランザクション・ダンプ (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
System dumps suppressed (抑止システム・ダンプ)	TDRSSUPR	ダンプ・コード (TDRCODE) フィールドで識別されるトランザクション・ダンプにより強制され、以下のいずれかにより抑止された、システム・ダンプの回数です。 • ユーザーによる終了 • トランザクション・ダンプ・テーブル • グローバル・システム・ダンプの抑止 リセット特性: ゼロにリセット

ダンプ・ドメイン: サマリー・グローバル統計 - トランザクション・ダンプ

ダンプ・ドメインのサマリー・グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 40. ダンプ・ドメイン: サマリー・グローバル統計 - トランザクション・ダンプ

DFHSTUP 名	説明
Dumps taken (取得ダンプ)	CICS 実行のすべてにわたり、システム全体により取得されたトランザクション・ダンプの合計数です。この数に、抑止されたダンプの数は含まれません。
Dumps suppressed (抑止ダンプ)	CICS またはユーザーによりダンプ・ドメインから要求され、以下のいずれかにより抑止された、トランザクション・ダンプの合計数です。 • ユーザーによる終了 • ダンプ・テーブル

ダンプ・ドメイン: サマリー・リソース統計 - トランザクション・ダンプ

ダンプ・ドメインのサマリー・リソース統計は、オンラインでは使用できません。

表 41. ダンプ・ドメイン: サマリー・リソース統計 - トランザクション・ダンプ

DFHSTUP 名	説明
Dumpcode (ダンプ・コード)	トランザクション・ダンプ・コードです。
Dumps (ダンプ)	ダンプ・コード・フィールドで識別されるダンプ・コードに対して取得された、トランザクション・ダンプの合計数です。
Dumps suppressed (抑止ダンプ)	ダンプ・コード・フィールドで識別されるダンプ・コードに対して抑止された、トランザクション・ダンプの合計数です。
System dumps (システム・ダンプ)	ダンプ・コード・フィールドで識別されるトランザクション・ダンプにより強制された、システム・ダンプの合計数です。 ダンプ・コードに RELATED オプションがある場合、一連の関連したダンプが SYSPLEX 全体にわたって取得されている場合があります。 その場合、ダンプを開始した CICS システムに対し、カウントが 1 つ増加します。 この数は、別の CICS システムが関連する要求の一部としてダンプを実行しても、変更されません。
System dumps suppressed (抑止システム・ダンプ)	ダンプ・コード・フィールドで識別されるトランザクション・ダンプにより強制され、以下のいずれかにより抑止された、システム・ダンプの合計数です。 • ユーザーによる終了 • トランザクション・ダンプ・テーブル • グローバル・システム・ダンプの抑止

エンキュー・ドメイン統計

エンキュー・ドメインは、エンキュー要求に対するグローバル統計を収集します。

エンキュー統計の解釈

エンキュー・ドメインは CICS リカバリー・マネージャーをサポートします。 エンキュー統計には、エンキュー要求のエンキュー・ドメインによって収集されるグローバル・データが含まれます。

リソースのエンキューを待つと、トランザクションの実行が非常に遅れる場合があります。 エンキュー統計を使用すると、システムにおけるエンキューを待つことの影響および保持されたエンキューの待ちに対する影響を評価できます。 現在のアクティビティーおよび最終リセット以後のアクティビティーの両方を使用することができます。

エンキュー・ドメイン: グローバル統計 - エンキュー要求

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS ENQUEUE システム・コマンドを使用して、エンキュー要求の統計を取得できます。これらの統計は DFHNQGDS DSECT によってマップされます。

これらの統計フィールドには、エンキュー要求のエンキュー・ドメインにより収集されたグローバル・データが含まれています。

表 *42.* エンキュー・ドメイン: グローバル統計 - エンキュー要求

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	NQGNPOOL	エンキュー・プールの数です。 リセット特性: リセットなし
ENQ Poolname (ENQ プール名)	NQGPOOL	エンキュー・プールの ID です。 リセット特性: リセットなし
ENQs Issued (発行 ENQ 数)	NQGTNQSI	発行されたエンキュー要求の合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
ENQs Waited (待機 ENQ 数)	NQGTNQSW	保留されているエンキューのために待機した、エンキュー要求の合計数です。 これは NQGTNQSI のサブセットです。 この値には、現在待機中のエンキュー要求 (NQGCNQSW を参照) は含まれていないことに注意してください。 リセット特性: ゼロにリセット

表 42. エンキュー・ドメイン: グローバル統計 - エンキュー要求 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Enqueue Waiting time (エンキュー待ち時間)	NQGTNQWT	待機したエンキュー要求 (NQGTNQSW) の合計待ち時間です。 この値には、現在待機中のエンキュー要求の時間 (NQGCNQWT を参照) は含まれていないことに注意してください。 リセット特性: ゼロにリセット
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	NQGCNQSW	現在待機しているエンキュー要求の数です。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	NQGCNQWT	別のトランザクションにより保留されているエンキューのために、現在待機しているエンキュー要求の合計待ち時間です。 リセット特性: リセットなし
Sysplex Waited (待機 SYSPLEX)	NQGGNQSW	保留されているエンキューのために待機した、SYSPLEX エンキュー要求の合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Sysplex Waiting time (SYSPLEX 待ち時間)	NQGGNQWT	待機した SYSPLEX エンキュー要求 (NQGGNQSW) の合計待ち時間です。 リセット特性: ゼロにリセット
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	NQGSNQSW	現在待機している SYSPLEX エンキューの数です。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	NQGSNQWT	現在待機している SYSPLEX エンキュー (NQGSNQSW) の合計待ち時間です。 リセット特性: リセットなし
Enqueues Retained (リテイン済みエンキュー数)	NQGTNQSR	分流されている所有 UOW のためにリテインされたエンキューの合計数です。 この値には、現在リテインされているエンキュー (NQGCNQSR を参照) は含まれていないことに注意してください。 分流 UOW について詳しくは、 263 ページの『リカバリー・マネージャー統計』を参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット

表 42. エンキュー・ドメイン: グローバル統計 - エンキュー要求 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Enqueue Retention (保存エンキュー)	NQGTNQRT	分流されている所有 UOW のためにリテインされたエンキューの合計保存時間です。 この値には、現在リテインされているエンキューの保存時間 (NQGCNQRT を参照) は含まれていないことに注意してください。 分流 UOW について詳しくは、 263 ページの『リカバリー・マネージャー統計』を参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	NQGCNQSR	現在リテインされているエンキューの数です。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	NQGCNQRT	現在のエンキュー保存時間です。 リセット特性: リセットなし
Immediate-rejection (即時リジェクト**)**		
–Enqbusy	NQGTIRJB	エンキューが使用中 (ENQBUSY 応答) のため、即時にリジェクトされたエンキュー要求の合計数です。この値は、エンキュー要求の合計数 (NQGTNQSI) のサブセットです。 リセット特性: ゼロにリセット
–Retained	NQGTIRJR	エンキューがリテイン済み状態のため、即時にリジェクトされたエンキュー要求の合計数です。この値は、エンキュー要求の合計数 (NQGTNQSI) のサブセットです。 リセット特性: ゼロにリセット
Waiting rejection (待機リジェクト**)**		
–Retained	NQGTWRJR	必要なエンキューがリテイン済み状態に移行中のためにリジェクトされた、待機エンキュー要求の合計数です。 この値は、待機したエンキュー要求の数 (NQGTNQSW) のサブセットです。 リセット特性: ゼロにリセット
–Operator	NQGTWPOP	オペレーターによる待機トランザクションのパージのためにリジェクトされた、待機エンキュー要求の合計数です。この値は、待機したエンキュー要求の数 (NQGTNQSW) のサブセットです。 リセット特性: ゼロにリセット

表 42. エンキュー・ドメイン: グローバル統計 - エンキュー要求 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
–Timeout	NQGTWPTO	タイムアウト値 (DTIMEOUT) の超過のためにリジェクトされた、待機エンキュー要求の合計数です。この値は、待機したエンキュー要求の数 (NQGTNQSW) のサブセットです。 リセット特性: ゼロにリセット

エンキュー・ドメイン: サマリー・グローバル統計

エンキュー・ドメインのサマリー・グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

これらの統計フィールドには、エンキューのサマリー・グローバル・データが含まれています。

表 43. エンキュー・ドメイン: サマリー・グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
ENQ Poolname (ENQ プール名)	エンキュー・プールの ID です。
ENQs Issued (発行 ENQ 数)	発行されたエンキュー要求の合計数です。
ENQs Waited (待機 ENQ 数)	待機したエンキュー要求の合計数です。
Enqueue Waiting time (エンキュー待ち時間)	待機したエンキュー要求の待ち時間です。
Sysplex Waited (待機 SYSPLEX)	保留されているエンキューのために待機した、SYSPLEX エンキュー要求の合計数です。
Sysplex Waiting time (SYSPLEX 待ち時間)	待機した SYSPLEX エンキュー要求の合計待ち時間です。
ENQs Retained (リテイン済み ENQ 数)	リテイン済みエンキューの合計数です。
Enqueue Retention (保存エンキュー)	エンキュー保存時間です。
Immediate-rejection (即時リジェクト**)**	
–Enqbusy	ENQBUSY で即時にリジェクトされたエンキュー要求の合計数です。
–Retained	エンキューがリテイン済み状態のため、即時にリジェクトされたエンキュー要求の合計数です。
Waiting rejection (待機リジェクト**)**	
–Retained	必要なエンキューがリテイン済み状態に移行中のためにリジェクトされた、待機エンキュー要求の合計数です。
–Operator	オペレーターによる待機トランザクションのパージのためにリジェクトされた、待機エンキュー要求の合計数です。
–Timeout	タイムアウト値の超過のためにリジェクトされた、待機エンキュー要求の合計数です。

イベント処理統計

CAPTURESPEC 統計

各イベントのキャプチャー仕様に関する情報および統計を表示します。

CAPTURESPEC: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS CAPTURESPEC RESID() コマンドを使用して、CAPTURESPEC リソース統計を取得できます。これらの統計は DFHECCDS DSECT によってマップされます。

表 *44. CAPTURESPEC:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
EVENTBINDING Name (EVENTBINDING 名)	ECC_EVENTBINDING_NAME	関連したイベント・バインディングの名前。 リセット特性: リセットなし
CAPTURESPEC Name (Capturespec 名)	ECC_ CAPTURESPEC_NAME	キャプチャー仕様の名前。 リセット特性: リセットなし
CAPTURESPEC Capture point (CAPTURESPEC キャプチャー点)	ECC_CAPTURE_POINT	キャプチャー仕様に関連したキャプチャー点。 リセット特性: リセットなし
CAPTURESPEC Capture point type (CAPTURESPEC キャプチャー点のタイプ)	ECC_CAPTURE_POINT_TYPE	キャプチャー仕様に関連したキャプチャー点のタイプ。 リセット特性: リセットなし
CAPTURESPEC Event name (CAPTURESPEC イベント名)	ECC_EVENT_NAME	関連したビジネス・イベントの名前。 リセット特性: リセットなし
CAPTURESPEC Events Captured (キャプチャーされた CAPTURESPEC イベント)	ECC_EVENTS_CAPTURED	キャプチャーされたイベントの合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
CAPTURESPEC Capture Failures (CAPTURESPEC キャプチャー失敗)	ECC_CAPTURE_FAILURES	キャプチャー仕様で記録されたキャプチャー失敗の数。 表示される場合、この統計はイベント・バインディングによって合計されます。 リセット特性: ゼロにリセット

CAPTURESPEC: 要約リソース統計

各イベントのキャプチャー仕様に関する要約情報および統計を表示します。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 45. *CAPTURESPEC:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
EVENTBINDING Name (EVENTBINDING 名)	関連したイベント・バインディングの名前。
CAPTURESPEC Name (Capturespec 名)	キャプチャー仕様の名前。
CAPTURESPEC Capture point (CAPTURESPEC キャプチャー点)	キャプチャー仕様に関連したキャプチャー点。
CAPTURESPEC Capture point type (CAPTURESPEC キャプチャー点のタイプ)	キャプチャー仕様に関連したキャプチャー点のタイプ。
CAPTURESPEC Event name (CAPTURESPEC イベント名)	関連したビジネス・イベントの名前。
CAPTURESPEC Events Captured (キャプチャーされた CAPTURESPEC イベント)	キャプチャーされたイベントの合計数。
CAPTURESPEC Capture Failures (CAPTURESPEC キャプチャー失敗)	キャプチャー仕様で記録されたキャプチャー失敗の数。 表示される場合、この統計はイベント・バインディングによって合計されます。

EPADAPTER 統計

EP アダプターに関する情報および統計を示します。

EPADAPTER: リソース統計

EP アダプターに関する情報およびリソース統計を示します。

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS EVENTPROCESS RESID() コマンドを使用して、EPADAPTER 統計を取得できます。これらの統計は DFHEPRDS DSECT によってマップされます。

表 46. *EPADAPTER:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
EPADAPTER Name (EPADAPTER 名)	EPR_ADAPTER_NAME	EP アダプターの名前。 リセット特性: リセットなし
EPADAPTER Type (EPADAPTER タイプ)	EPR_ADAPTER_TYPE	アダプター・タイプ。 リセット特性: リセットなし
EPADAPTER Emission mode (EPADAPTER 発行モード)	EPR_EMISSION_MODE	EP アダプター発行モード。これは、EP アダプターが同期イベントに対応するか、非同期イベントに対応するかを示します。 リセット特性: リセットなし
EPADAPTER Number of put events (プット・イベントの EPADAPTER 数)	EPR_PUT_EVENTS	このアダプターで発行するために EP に渡されたイベントの数。 リセット特性: リセットなし

表 46. *EPADAPTER:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	EPR_ADA_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	EPR_ADA_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	EPR_ADA_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	EPR_ADA_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	EPR_ADA_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	EPR_ADA_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	EPR_ADA_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

EPADAPTER: 要約リソース統計

EP アダプターに関する情報および要約リソース統計を示します。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 47. *EPADAPTER:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
EPADAPTER Name (EPADAPTER 名)	EP アダプターの名前。
EPADAPTER Type (EPADAPTER タイプ)	アダプター・タイプ。
EPADAPTER Emission mode (EPADAPTER 発行モード)	EP アダプター発行モード。 これは、EP アダプターが同期イベントに対応するか、非同期イベントに対応するかを示します。
EPADAPTER Number of put events (プット・イベントの EPADAPTER 数)	このアダプターで発行するために EP に渡されたイベントの数。

EVENTBINDING 統計

各イベント・バインディングに関する情報および統計を示します。

EVENTBINDING: グローバル統計

イベント・バインディングに関する情報およびグローバル統計を示します。

EXTRACT STATISTICS EVENTBINDING システム・コマンドを使用して、EVENTBINDING グローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHECGDS DSECT によってマップされます。

表 48. *EVENTBINDING:* グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total event filter operations (イベント・フィルター操作の総数)	ECG_EB_EVENT_FILTER_OPS	イベント・フィルター操作の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Events with disabled EVENTBINDING (使用不可になった EVENTBINDING のあるイベント)	ECG_EB_EVENTS_DISABLED	使用不可になったイベント・バインディングが原因でキャプチャーされなかったイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total events captured (キャプチャーされたイベントの総数)	ECG_EB_EVENTS_CAPTURED	キャプチャーされたアプリケーションおよびシステム・イベントの合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total system events captured (キャプチャーされたシステム・イベントの総数)	ECG_SYS_EVENTS_CAPTURED	キャプチャーされたシステム・イベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 48. EVENTBINDING: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Filter operations failed (失敗したフィルター操作)	ECG_FILTER_OPS_FAILED	イベントをキャプチャーする必要があるかどうか CICS が判別できなかったために完了しなかったフィルター操作の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Capture operations failed (失敗したキャプチャー操作)	ECG_CAPTURE_OPS_FAILED	CICS がイベントを必要であると判別したにもかかわらず、それをキャプチャーできなかったために完了しなかったキャプチャー操作の数。 リセット特性: ゼロにリセット

EVENTBINDING: リソース統計

イベント・バインディングに関する情報およびリソース統計を示します。

EVENTBINDING リソース統計は、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS EVENTBINDING RESID()** コマンドを使用して取得でき、DFHECRDS DSECT によりマップされます。

表 49. EVENTBINDING: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
EVENTBINDING Name (EVENTBINDING 名)	ECR_EVENTBINDING_NAME	イベント・バインディングの名前 リセット特性: リセットなし
EVENTBINDING EPADAPTER name (EVENTBINDING EPADAPTER 名)	ECR_EPADAPTER_NAME	EP アダプターの名前。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ECR_EB_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ECR_EB_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ECR_EB_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ECR_EB_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ECR_EB_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし

表 *49. EVENTBINDING:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ECR_EB_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ECR_EB_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

EVENTBINDING: 要約グローバル統計

イベント・バインディングに関する情報および要約グローバル統計を示します。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *50. EVENTBINDING:* 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Total Event Filter operations (イベント・フィルター操作の総数)	イベント・フィルター操作の数。
Events with disabled EVENTBINDING (使用不可になった EVENTBINDING のあるイベント)	使用不可になったイベント・バインディングが原因でキャプチャーされなかったイベントの数。
Total Events Captured (合計イベント・キャプチャー数)	キャプチャーされたアプリケーションおよびシステム・イベントの合計数。
Total system events captured (キャプチャーされたシステム・イベントの総数)	キャプチャーされたシステム・イベントの数。
Filter operations failed (失敗したフィルター操作)	イベントをキャプチャーする必要があるかどうか CICS が判別できなかったために完了しなかったフィルター操作の数。
Capture operations failed (失敗したキャプチャー操作)	CICS がイベントを必要であると判別したにもかかわらず、それをキャプチャーできなかったために完了しなかったキャプチャー操作の数。

EVENTBINDING: 要約リソース統計

イベント・バインディングに関する情報および要約リソース統計を示します。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *51. EVENTBINDING:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
EVENTBINDING Name (EVENTBINDING 名)	イベント・バインディングの名前。
EVENTBINDING EPADAPTER Name (EVENTBINDING EPADAPTER 名)	EP アダプターの名前。

EVENTPROCESS 統計

イベント処理に関する情報および統計を示します。

EVENTPROCESS: グローバル統計

イベント処理に関する情報およびグローバル統計を示します。

EXTRACT STATISTICS EVENTPROCESS システム・コマンドを使用して、EVENTPROCESS 統計を取得できます。これらの統計は DFHEPGDS DSECT によってマップされます。

表 *52. EVENTPROCESS:* グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of put events (プット・イベントの数)	EPG_PUT_EVENTS	発行のために EP コンポーネントに渡されたイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of commit forward events (コミット・フォワード・イベントの数)	EPG_COMMIT_FORWARD_EVENTS	コミット済みで、1 つ以上の非同期トランザクション・イベントを含んでいた作業単位の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of commit backward events (コミット・バックワード・イベントの数)	EPG_COMMIT_BACKWARD_EVENTS	バックアウト済みで、1 つ以上の非同期トランザクション・イベントを含んでいた作業単位の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Current event capture queue (現行イベント・キャプチャー・キュー)	EPG_CURRENT_EVC_QUEUE	イベント・キャプチャー・キューのイベントの現在の数。 リセット特性: リセットなし
Peak event capture queue (ピーク・イベント・キャプチャー・キュー)	EPG_PEAK_EVC_QUEUE	イベント・キャプチャー・キューのイベントのピーク数。 リセット特性: 現行にリセット

表 52. *EVENTPROCESS:* グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current transactional queue (現行トランザクション・キュー)	EPG_CURRENT_TRANS_QUEUE	トランザクション・キューのイベントの現在の数。 リセット特性: リセットなし
Peak transactional queue (ピーク・トランザクション・キュー)	EPG_PEAK_TRANS_QUEUE	トランザクション・キューのイベントのピーク数。 リセット特性: 現行にリセット
Number of async normal events (非同期通常イベントの数)	EPG_ASYNC_NORMAL_EVENTS	非同期通常優先順位イベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of async priority events (非同期優先イベントの数)	EPG_ASYNC_PRIORITY_EVENTS	非同期高優先順位イベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of transactional events (トランザクション・イベントの数)	EPG_TRANS_EVENTS	トランザクション・イベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Transaction events discarded (廃棄されたトランザクション・イベント)	EPG_TRANS_EVENTS_DISCARDED	廃棄されたトランザクション・イベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of synchronous events (同期イベントの数)	EPG_SYNC_EVENTS	キャプチャーされた同期発行イベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of sync events failed (同期イベント失敗の数)	EPG_SYNC_EVENTS_FAILED	発行されなかった同期発行イベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
ディスパッチャー接続数	EPG_DISPATCHERS_ATTACHED	接続されたディスパッチャー・タスクの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Current dispatcher tasks (現在のディスパッチャー・タスク)	EPG_CURRENT DISPATCHERS	ディスパッチャー・タスクの現在の数。 リセット特性: リセットなし
Peak dispatcher tasks (ピーク・ディスパッチャー・タスク)	EPG_PEAK_DISPATCHERS	ディスパッチャー・タスクのピーク数。 リセット特性: 現行にリセット
Events to WebSphere® MQ EP adapter (WebSphere MQ EP アダプターへのイベント)	EPG_WMQ_ADAPTER_EVENTS	WebSphere MQ EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 52. *EVENTPROCESS:* グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Events to Transaction EP adapter (トランザクション EP アダプターへのイベント)	EPG_TRANS_ADAPTER_EVENTS	トランザクション EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Tdqueue EP アダプターへのイベント	EPG_TDQ_ADAPTER_EVENT	TD キュー EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Events to Tsqueue EP adapter (Tsqueue EP アダプターへのイベント)	EPG_TSQ_ADAPTER_EVENT	TS キュー EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Events to Custom EP adapter (カスタム EP アダプターへのイベント)	EPG_CUSTOM_ADAPTER_EVENTS	カスタム EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Events to HTTP EP adapter (HTTP EP アダプターへのイベント)	EPG_HTTP_ADAPTER_EVENTS	HTTP EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
失われたイベント数 (ディスパッチ) - 構成	EPG_DISPATCH_FAILURE_CONFIG	ディスパッチャーがイベント・バインディングの `eventDispatcherPolicy` セクションで指定されたリソースに関連した問題を検出したため、キャプチャーされたものの、EP アダプターにディスパッチされなかったイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
失われたイベント数 (ディスパッチ) - その他	EPG_DISPATCH_FAILURE_OTHER	ディスパッチャーが CICS 環境で問題 (例えば、ストレージが不十分) を検出したため、キャプチャーされたものの、EP アダプターにディスパッチされなかったイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
失われたイベント数 (アダプター) - 構成	EPG_ADAPTER_FAILURE_CONFIG	EP アダプターがイベント・バインディングの `eventDispatcherAdapter` 構成セクションで指定されたリソースに関連した問題を検出したため、キャプチャーされたものの、発行されなかったイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
失われたイベント数 (アダプター) - その他	EPG_ADAPTER_FAILURE_OTHER	EP アダプターが CICS 環境で問題 (例えば、ストレージが不十分) を検出したため、キャプチャーされたものの、発行されなかったイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 52. *EVENTPROCESS:* グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Events lost - adapter unavailable (失われたイベント - アダプター使用不可)	EPG_EVENTS_ADAPTER_UNAVAIL	EP アダプターが使用不可であるか、インストールされていないために発行されなかったイベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット

EVENTPROCESS: 要約グローバル統計

イベント処理に関する情報および要約グローバル統計を示します。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 53. *EVENTPROCESS:* 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Number of put events (プット・イベントの数)	発行のために EP コンポーネントに渡されたイベントの数。
Number of commit forward events (コミット・フォワード・イベントの数)	コミット済みで、1 つ以上の非同期トランザクション・イベントを含んでいた作業単位の数。
Number of commit backward events (コミット・バックワード・イベントの数)	バックアウト済みで、1 つ以上の非同期トランザクション・イベントを含んでいた作業単位の数。
Current event capture queue (現行イベント・キャプチャー・キュー)	イベント・キャプチャー・キューのイベントの現在の数。
Peak event capture queue (ピーク・イベント・キャプチャー・キュー)	イベント・キャプチャー・キューのイベントのピーク数。
Current transactional queue (現行トランザクション・キュー)	トランザクション・キューのイベントの現在の数。
Peak transactional queue (ピーク・トランザクション・キュー)	トランザクション・キューのイベントのピーク数。
Number of async normal events (非同期通常イベントの数)	非同期通常優先順位イベントの数。

表 53. *EVENTPROCESS:* 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Number of async priority events (非同期優先イベントの数)	非同期高優先順位イベントの数。
Number of transactional events (トランザクション・イベントの数)	トランザクション・イベントの数。
Transactional events discarded (廃棄されたトランザクション・イベント)	廃棄されたトランザクション・イベントの数。
Number of synchronous events (同期イベントの数)	キャプチャーされた同期発行イベントの数。
Number of sync events failed (同期イベント失敗の数)	発行されなかった同期発行イベントの数。
ディスパッチャー接続数	接続されたディスパッチャー・タスクの数。
Current dispatcher tasks (現在のディスパッチャー・タスク)	ディスパッチャー・タスクの現在の数。
Peak dispatcher tasks (ピーク・ディスパッチャー・タスク)	ディスパッチャー・タスクのピーク数。
Events to WebSphere MQ EP adapter (WebSphere MQ EP アダプターへのイベント)	WebSphere MQ EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。
Events to transaction EP adapter (トランザクション EP アダプターへのイベント)	トランザクション EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。
Tdqueue EP アダプターへのイベント	TD キュー EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。
Events to Tsqueue EP adapter (Tsqueue EP アダプターへのイベント)	TS キュー EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。

表 53. *EVENTPROCESS:* 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Events to custom EP adapter (カスタム EP アダプターへのイベント)	カスタム EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。
Events to HTTP EP adapter (HTTP EP アダプターへのイベント)	HTTP EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。
失われたイベント数 (ディスパッチ) - 構成	ディスパッチャーがイベント・バインディングの `eventDispatcherPolicy` セクションで指定されたリソースに関連した問題を検出したため、キャプチャーされたものの、EP アダプターにディスパッチされなかったイベントの数。
失われたイベント数 (ディスパッチ) - その他	ディスパッチャーが CICS 環境で問題 (例えば、ストレージが不十分) を検出したため、キャプチャーされたものの、EP アダプターにディスパッチされなかったイベントの数。
失われたイベント数 (アダプター) - 構成	EP アダプターがイベント・バインディングの `eventDispatcherAdapter` 構成セクションで指定されたリソースに関連した問題を検出したため、キャプチャーされたものの、発行されなかったイベントの数。
失われたイベント数 (アダプター) - その他	EP アダプターが CICS 環境で問題 (例えば、ストレージが不十分) を検出したため、キャプチャーされたものの、発行されなかったイベントの数。
Events lost - adapter unavailable (失われたイベント - アダプター使用不可)	EP アダプターが使用不可であるか、インストールされていないために発行されなかったイベントの数。

フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) 統計

FEPI 統計には、各 FEPI 接続、各 FEPI プール、および任意のプールのターゲットの使用に関するデータが含まれています。

CICS モニターおよび統計データは、FEPI アプリケーションのチューニング、およびそれらが使用するリソースの制御に使用できます。FEPI のパフォーマンス関連の情報については、「Improving FEPI performance」を参照してください。

FEPI: 接続統計

EXEC CICS COLLECT STATISTICS NODE TARGET システム・コマンドを使用して、FEPI 接続統計を取得できます。これらの統計は DFHA23DS DSECT によってマップされます。

表 54. *FEPI:* 接続統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Pool Name (プール名)	A23POOL	FEPI のプール名です。 リセット特性: リセットなし

表 54. *FEPI:* 接続統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Target Name (ターゲット名)	A23TARG	FEPI のターゲット名です。 リセット特性: リセットなし
Node Name (ノード名)	A23NODE	FEPI のノードです。 リセット特性: リセットなし
Acquires (獲得)	A23ACQ	接続が獲得された回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Conversations (会話)	A23CNV	この接続を使用した会話数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Unsolicited Inputs (非請求入力)	A23USI	非請求入力がこの接続で受信された回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
文字 –Sent	A23CHOUT	この接続で送信されたデータの文字数です。 リセット特性: ゼロにリセット
–Received	A23CHIN	この接続で受信されたデータの文字数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Receive Timeouts (受信タイムアウト)	A23RTOUT	FEPI RECEIVE がこの接続でタイムアウトした回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Error Conditions (エラー状態)	A23ERROR	z/OS Communications Server エラー状態がこの接続で発生した回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

FEPI: プール統計

EXEC CICS COLLECT STATISTICS POOL システム・コマンドを使用して、FEPI のプール統計を取得できます。これらの統計は DFHA22DS DSECT によってマップされます。

表 55. *FEPI:* プール統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Pool Name (プール名)	A22POOL	FEPI のプール名です。 リセット特性: リセットなし
Target (ターゲット)	A22TRGCT	プールでのターゲットの現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Nodes (ノード)	A22NDCT	プールでのノードの現在の数です。 リセット特性: リセットなし
使用可能な接続 –Current	A22CONCT	プールでの接続数です。 リセット特性: リセットなし
–Peak	A22CONPK	プールでの接続のピーク数です。このフィールドは、ターゲットとノードがインターバルの間に削除される可能性があるので必要とされます。 リセット特性: 現行値にリセット (A22CONCT)
Allocate (割り振り**)** –Total	A22ALLOC	このプールから割り振られた会話数です。 リセット特性: ゼロにリセット
–Peak	A22PKALL	このプールから割り振られた並行する会話のピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット
割り振りの待機 NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A22WAIT	割り振られるのを待機している会話の現在の数です。 リセット特性: リセットなし
–Total	A22TOTWT	割り振られるのを待機する必要があった会話数です。 リセット特性: ゼロにリセット
–Peak	A22PKWT	割り振られるのを待機する必要があった会話のピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット (A22WAIT)

表 55. FEPI: プール統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Allocate Timeouts (割り振りのタイムアウト)	A22TIOUT	タイムアウトになった会話の割り振りの数です。 リセット特性: ゼロにリセット

FEPI: ターゲット統計

EXEC CICS COLLECT STATISTICS POOL TARGET システム・コマンドを使用することにより、プール内の特定ターゲットの統計を取得できます。これらの統計は DFHA24DS DSECT によってマップされます。

表 56. FEPI: ターゲット統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Target name (ターゲット名)	A24TARG	FEPI のターゲット名です。 リセット特性: リセットなし
Pool name (プール名)	A24POOL	FEPI のプール名です。 リセット特性: リセットなし
Applid (アプリケーション ID)	A24APPL	ターゲットの z/OS Communications Server アプリケーション ID です。 リセット特性: リセットなし
Nodes (ノード)	A24NDCT	このターゲットに接続しているノード数です。 リセット特性: リセットなし
Allocate (割り振り)	A24ALLOC	このプール内のこのターゲットに対して特に割り振られている会話数です。 リセット特性: ゼロにリセット
割り振りの待機 –Total	A24TOTWT	このプール内のこのターゲットに割り振られるのを待機する必要があった会話数です。 リセット特性: ゼロにリセット
–Wait	A24WAIT	このプール内のこのターゲットに割り振られるのを待機している現在の会話数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 56. FEPI: ターゲット統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
–Peak	A24PKWT	このプール内のこのターゲットに割り振られるのを待機する必要があった会話のピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット (A24WAIT)
Allocate Timeouts (割り振りのタイムアウト)	A24TIOUT	タイムアウトになったこのプール内のこのターゲットに対する会話の割り振りの数です。 リセット特性: ゼロにリセット

FEPI: 非送信請求接続統計

非送信請求接続統計は、接続が破棄されたときに作成されます。 これが発生するのは、**EXEC CICS FEPI DELETE POOL**、**DISCARD NODELIST**、**DISCARD POOL** または **DISCARD TARGETLIST** コマンドが使用されたときです。統計は、DFHA23DS DSECT によってマップされます。 これには、間隔統計と同じ情報が含まれます。

FEPI: 非送信請求プール統計

非送信請求プール統計は、プールが廃棄されたときに作成されます。 統計は、DFHA22DS DSECT によってマップされます。 これには、間隔統計と同じ情報が含まれます。

FEPI: 非送信請求ターゲット統計

非送信請求ターゲット統計は、ターゲットが破棄されたか、プールから除去されたときに作成されます。 これが発生するのは、 **DELETE POOL**、**DISCARD POOL** または **DISCARD TARGETLIST** コマンドが使用されたときです。統計は、DFHA24DS DSECT によってマップされます。 これには、間隔統計と同じ情報が含まれます。

FEPI: 要約接続統計

FEPI 要約接続統計は、オンラインでは使用できません。

表 57. FEPI: 要約接続統計

DFHSTUP 名	説明
Pool name (プール名)	FEPI のプール名です。
Target name (ターゲット名)	FEPI のターゲット名です。
Node name (ノード名)	FEPI のノードです。
Acquires (獲得)	接続が獲得された合計回数です。
Conversations (会話)	この接続を使用した会話の総数です。
Unsolicited Inputs (非請求入力)	非請求入力がこの接続で受信された合計回数です。
送信文字	
–Sent	この接続で送信されたデータの文字の総数です。
–Received	この接続で受信されたデータの文字の総数です。
Receive timeouts (受信タイムアウト)	FEPI RECEIVE がこの接続でタイムアウトした合計回数です。

表 57. FEPI: 要約接続統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Error conditions (エラー状態)	z/OS Communications Server エラー状態がこの接続で発生した合計回数です。

FEPI: 要約プール統計

FEPI 要約プール統計は、オンラインでは使用できません。

表 58. FEPI: 要約プール統計

DFHSTUP 名	説明
Pool name (プール名)	FEPI のプール名です。
Target (ターゲット)	プールでのターゲット数です。
Nodes (ノード)	プールでのノード数です。
使用可能な接続	
–Current	プールでの接続数です。
–Peak	プール内での接続の最大ピーク数です。
Allocate (割り振り**)**	
–Totals	このプールから割り振られている会話の総数です。
–Peak	このプールから割り振られた並行する会話の最大ピーク数です。
割り振りの待機	
–Total	割り振られるのを待機する必要があった会話の総数です。
–Peak	割り振られるのを待機する必要があった会話の最大ピーク数です。
Allocate timeouts (割り振りのタイムアウト)	タイムアウトになった会話の割り振りの総数です。

FEPI: 要約ターゲット統計

FEPI: 要約ターゲット統計は、オンラインでは使用できません。

表 59. FEPI: 要約ターゲット統計

DFHSTUP 名	説明
Target name (ターゲット名)	FEPI のターゲット名です。
Pool name (プール名)	FEPI のプール名です。
Applid (アプリケーション ID)	ターゲットの z/OS Communications Server アプリケーション ID です。
Nodes (ノード)	プールでのノード数です。
Allocate (割り振り)	このプール内のこのターゲットに対して特に割り振られている会話の総数です。
割り振りの待機	
–Total	このプール内のこのターゲットに割り振られるのを待機する必要があった会話の総数です。
–Peak	このプール内のこのターゲットに割り振られるのを待機する必要があった会話の最大ピーク数です。
Allocate timeouts (割り振りのタイムアウト)	このプール内のこのターゲットに対して割り振られ、タイムアウトになった会話の総数です。

ファイル制御統計

ファイル統計に対する DFHSTUP レポートには 4 つのセクションがあり、リソース情報、要求情報、データ・テーブル要求情報、およびパフォーマンス情報について記載されています。

非送信請求ファイル統計は、他のタイプの CICS 統計とは別の統計レポートに印刷されています。

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS FILE システム・コマンドを使用して、これらの統計を取得できます。これらの統計は DFHA17DS DSECT によってマップされます。

ファイル統計の解釈

ファイル統計は、データ・セットに対するアプリケーション要求数に関するデータを収集します。 それらの統計は、各ファイルに対して処理される各 Type of Service 要求の数を示します。 要求の数を毎日または CICS の実行ごとに合計すれば、変更が発生したときの各ファイルのアクティビティーをモニターできます。

日中にこれらのファイル統計がリセットされている場合があります。日中の特定ファイルに対する合計アクティビティー数を入手するには、DFHSTUP 要約報告書を参照してください。 ファイル統計と特別な処理条件に関連するその他のデータも収集されます。

ストリングにおける待機数は、VSAM データ・セットに関連したファイルの場合にのみ重要な意味を持ちます。 VSAM では、例えばファイル定義の STRNO=5 は、CICS がこのファイルに対して 5 つの同時要求を許可することを意味します。 トランザクションが同じファイルに対して 6 番目の要求を出す場合は、この要求は、他の 5 つの要求のうちの 1 つが完了するまで待機する必要があります (「ストリングにおける待機」)。

ストリングの数は、オンライン・リソース定義によって指定される場合はファイルに関連付けられます。

ストリング数の設定はパフォーマンスにとって重要です。 値を小さくしすぎると、タスクがストリングを非常に長く待つようになり、応答時間が長くなります。 値を大きくしすぎると、VSAM 仮想記憶要件が増大するため、実記憶の使用量が増大します。 ただし、仮想記憶と実記憶はともに、16MB 境界の上にあるため、このことが問題にならない場合があります。一般に、ストリングの数は、ゼロに近い「ストリングにおける待機数」になるように選択する必要があります。

注: ストリングの数を増やすと、トランザクションの並行性が増大するために、デッドロックのリスクが増大する場合があります。 リスクを最小化するには、アプリケーションが『トランザクションのデッドロック』で設定された基準に従うようにする必要があります。

ファイルは、LSRpool ストリングについて「ストリングにおける待機」を行うこともできます。 このタイプの待機は、ローカル共用リソース・プール統計セクションにおいて反映されますが (203 ページの『LSR プール統計の解釈』を参照)、ファイルのストリングにおける待機統計においては反映されません。

データ・テーブルを使用する場合は、データ・テーブルとして定義されたファイルについて、追加の行が DFHSTUP レポートに現れます。 「読み取り要求数」、「ソース読み取り数 (Source reads)」、「割り振られたストレージ (Storage alloc(K))」は、通常、一番重要な数です。 CICS 管理テーブルの場合、「読み取り要求数」と「ソース読み取り数 (Source reads)」の差を、先行する行で報告される

合計要求アクティビティー数と比較すると、テーブル使用と VSAM 使用の間でどのように要求トラフィックが分割されるかがわかります。したがって、ファイルを CMT に変換する有効性についてもわかります。 「割り振られたストレージ (Storage alloc(K))」は、テーブルに割り振られた合計ストレージであり、VSAM アクセスを減らす観点から LSRpool サイズを減らす可能性を考慮した、ストレージ・リソースにおけるテーブル・コストに対するガイダンスになります。

ファイル: リソース統計 - リソース情報

ファイル・リソース情報統計は、ファイルに関する情報を提供します。

表 *60.* ファイル: リソース統計 - リソース情報

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
ファイル名 (File name)	A17FNAM	オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンドで指定した名前。 リセット特性: リセットなし
データ・セット名	A17DSNAM	物理データ・セットをシステムに定義する 44 文字の名前。 この名前は次のように指定できます。 • オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンドで指定した DSNAME オペランド • CICS JCL の DD DSN= オペランドで指定したオペランド • **CEMT SET FILE DSNAME** または **EXEC CICS SET FILE DSNAME** コマンドを使用したデータ・セットのファイルへの動的割り振り データ・セットが現在ファイルに割り振られていない場合、このフィールドはブランクです。 ファイルがリモートの場合、データ・セット名は印刷されず、remote がデータ・セット名に置き換わります。 リセット特性: リセットなし
Base data set name (if applicable) (基本データ・セット名 (該当する場合))	A17BDSNM	ファイルが VSAM PATH の場合、このフィールドには基本データ・セット名が表示されます。 リセット特性: リセットなし

表 *60.* ファイル*:* リソース統計 - リソース情報 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
データ・セット・タイプ	A17DSTYP	データ・セット・タイプで、BDAM、 標準 ESDS、 拡張 ESDS、 KSDS、 RRDS、 VRRDS、または PATH である可能性があります。ファイルがリモートまたは開いていない場合、このフィールドはブランクです。 キー 統計タイプ **B** BDAM **E** 標準 ESDS **K** KSDS **P** PATH **R** RRDS **V** VRRDS **X** 拡張 ESDS リセット特性: リセットなし
RLS	A17DSRLS	ファイルが RLS かどうかを示します。 • 「R」= RLS がアクセスしたファイル • 「 」= 非 RLS これらの値は DFHSTUP レポートではそれぞれ Yes および No として表示されます。 リセット特性: リセットなし

表 60. ファイル: リソース統計 - リソース情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
DataTable indicator (DataTable 標識)	A17DT	データ・テーブル統計フィールドがレコードに存在する場合、値 R、S、T、L、K、または X が入る 1 バイト・フィールド。 • R は、これがリモート・ファイルであり、このファイルに対してテーブル読み取り統計およびソース読み取り統計が存在することを示す。 • S は、リソースがテーブルとして開かれていないが、同じデータ・セットに関連したテーブルからデータにアクセスできたことを示す。 • T は、リソースが共用データ・テーブルであることを示す。 • L は、リソースがカップリング・ファシリティー・データ・テーブル (ロック・モデル) であることを示す。 • K は、リソースがカップリング・ファシリティー・データ・テーブル (コンテンション・モデル) であることを示す。 • X は、リソースが関連した CICS が保守するデータ・テーブルを持つソース・データ・セットを使用して開かれ、データ・テーブルも共に更新されるリソースの更新が実行されることを示す。 リセット特性: リセットなし
Time opened (オープン時刻)	A17LOPNT	このファイルが開かれた時刻。 このフィールドが設定されていない場合、A17LOPNT には 16 進値 X'00000000 00000000' が含まれ、レポートには CLOSED が表示されます。フィールドが設定されている場合、現地時間の保管クロック (STCK) 値で表される時刻が含まれます。 このフィールドには、以下の場合に有効な時刻が含まれます。 • 統計が取得された時間にファイルが開かれた。 • これが閉じられているファイルによる非送信請求統計要求である。 リセット特性: リセットなし

表 60. ファイル: リソース統計 - リソース情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Time closed (クローズ時刻)	A17LCLST	このファイルが閉じられた時刻。 このフィールドが設定されていない場合、A17LCLST には 16 進値 X'00000000 00000000' が含まれ、レポートには OPEN が表示されます。フィールドが設定されている場合、現地時間の保管クロック (STCK) 値で表される時刻が含まれます。 リセット特性: リセットなし
Remote Name (リモート名)	A17RNAME	このファイルがシステム内またはファイルが常駐する領域で認識される名前。 リセット特性: リセットなし
Remote Sysid (リモート・システム識別名)	A17RSYS	IPIC、ISC、または MRO 環境で操作しており、ファイルがリモート・システムによって保管されている場合、このフィールドはファイルが常駐するシステムを指定します。 リセット特性: リセットなし
LSR	A17POOL	ローカル共用リソース・プールの ID。 この値は以下の項目によって指定されます。 • オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンドの LSRPOOLNUM オペランド。 "N" は、LSR プールで定義されていないことを表します。 リセット特性: リセットなし
CFDT PoolName (CFDT プール名)	A17DTCFP	ファイルに関連したデータ・テーブルに対して定義されたカップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プールの名前 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17FLOC	ファイルがこの CICS システムに対してローカルとして定義されているか、リモート CICS システム上に常駐するかを示します。 フィールドの長さは 1 バイトで、リモートの場合は R に設定されます。 リセット特性: リセットなし

表 60. ファイル: リソース統計 - リソース情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

注: ユーザーが保守するテーブルのソース・データ・セットが閉じられているとき、「オープン時刻」がソースの閉じられた時間にリセットされます。

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、

DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

ファイル: リソース統計 - 要求情報

ファイル要求情報の統計は、ファイルに対して行われる要求に関する情報を提供します。

以下の 8 項目は、サービス要求統計です。 これらによって、各トランザクションに対して実行される I/O アクセス数が直接示されることはありません (これには、単一トランザクションの測定が必要です)。 ただし、各データ・セットに対するサービス要求を定期的に合計することによって、I/O アクティビティーが増加した場合のデータ・セットの問題を予測することができます。

データ・セットに対して処理されたサービス要求の回数をリストします。 これらは、データ・セットで許可されたタイプの要求に従属します。

表 *61.* ファイル: リソース統計 - 要求情報

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
ファイル名 (File name)	A17FNAM	以下の項目で指定した名前です。 • オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンド • (BDAM ファイルのみ) DFHFCT マクロの TYPE=FILE、FILE オペランド リセット特性: リセットなし
GET requests (GET 要求)	A17DSRD	このファイルに対して試行された GET 要求の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
GET upd requests (GET 更新要求)	A17DSGU	このファイルに対して試行された GET UPDATE 要求の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Browse requests (ブラウズ要求)	A17DSBR	このファイルに対して試行された GETNEXT および GETPREV 要求の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 61. ファイル: リソース統計 - 要求情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Update requests (更新要求)	A17DSWRU	このファイルに対して試行された PUT UPDATE 要求の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Add requests (追加要求)	A17DSWRA	このファイルに対して試行された PUT 要求の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Delete requests (削除要求)	A17DSDEL	このファイルに対して試行された DELETE 要求の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Brws upd requests (ブラウズ更新要求)	A17DSBRU	このファイルに対して発行されたブラウズ READNEXT UPDATE および READPREV UPDATE 要求の回数です。 このフィールドは、RLS がアクセスしたファイルにのみ適用できることに注意してください。 リセット特性: ゼロにリセット
VSAM EXCP 要求		
–Data	A17DSXCP	統計の取得時に、ファイルが KSDS として使用されていなくても、ファイルが開かれている場合には値が印刷されて、CICS 実行時に VSAM KSDS として使用されます。 注 1 (99 ページ)、2 (99 ページ)、および 3 (99 ページ) を参照してください。
–Index	A17DSIXP	注 1 (99 ページ)、2 (99 ページ)、および 3 (99 ページ) を参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット
RLS req timeouts (RLS 要求のタイムアウト)	A17RLSWT	このファイルに対して要求して、指定された制限時間内にサービスされなかったため、要求が終了した RLS 要求の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 61. ファイル: リソース統計 - 要求情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_DEFINE_SOURCE	このリソースを含む CSD グループの名前。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

表 *61.* ファイル*:* リソース統計 - 要求情報 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明

注: 「VSAM EXCP 要求 (VSAM EXCP requests)」フィールドは、データと索引レコードのそれぞれに対するファイル上での入出力操作の回数を示します。また、以下のポイントにも注意してください。

1. 両方の項目に対して印刷される値は、ファイルに関連している。動的割り振りを使用して、ファイルに関連した物理データ・セットを変更した場合、表示される値は、すべてのデータ・セットに対する累算になります。
2. VSAM は、接続されたすべてのアクセス方式制御ブロック (ACB) に対して EXCP を 1 カウントのみ保守するので、これらの値をデータ・セット名の共用に参加しているファイルに対して使用するには注意が必要である。 この場合、各ファイルに対して報告された値は、ファイルが開いている間のすべての共用 ACB に対するアクセスの合計を表しています。 このため、データ・セット名の共用グループ内のすべてのファイルが同じ期間開いていた場合、各ファイルに対して報告される EXCP 値は同じであり、グループ内のすべてのファイルの合計になります。 EXCP のカウントが x'80000000' を超えると、そのカウントは信頼性がないため、ファイルを再定義することを検討する必要があります。
3. RLS では、この値はシステム・バッファー・マネージャーの呼び出し回数のカウントである。 カップリング・ファシリティー・キャッシュ・アクセスまたは I/O のいずれかになる呼び出しを含みます。
4. RLS ファイルの EXCP のカウントは、その CICS 領域内の RLS ファイルにアクセスしているすべてのタスクのすべての EXCP のカウントである。 注 2 に記載したように、EXCP カウントはその CICS 領域内のファイルの対応する ACB に保管されることに注意する必要があります。

ファイル**:** リソース統計 **-** データ・テーブル要求情報

ファイルがデータ・テーブルの場合、追加のフィールドが統計レコードで表示されます。

これらの追加フィールドの存在は、フィールド A17DT で、値「R」、「S」、「T」、「L」、「K」、または「X」によって示されます。 名前と意味は以下のとおりです。

表 *62.* ファイル*:* リソース統計 - データ・テーブル要求情報

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
File Name (ファイル名)	A17FNAM	オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンドで指定した名前。 リセット特性: リセットなし

表 62. ファイル: リソース統計 - データ・テーブル要求情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Close type (クローズ・タイプ)	A17DTTYP	この 1 バイトのフィールドは、以下のように設定されます。 • CICS が保守するテーブルが閉じた場合には「C」 • CICS が保守するテーブルにアクセスしているファイルは閉じているが、テーブルを使用している他のファイルがまだ開いているので、テーブルが開いたままの場合には「P」 • ユーザーが保守するテーブルに対するソース・データ・セットが閉じつつある場合には「S」 • ユーザーが保守するテーブルが閉じた場合には「U」 • ロック・モデルのカップリング・ファシリティー・データ・テーブルが閉じている場合には「L」 • コンテンション・モデルのカップリング・ファシリティー・データ・テーブルが閉じている場合には「K」 リセット特性: リセットなし
Read requests (読み取り要求)	A17DTRDS	テーブルからレコードを取得しようとした回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Recs¬[not] in table (レコードがテーブルに¬ [ない])	A17DTRNF	レコードがデータ・テーブルで検出されないので、CICS がレコードをソース・ファイルから取得した読み取り回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Adds from reads (読み取りから追加)	A17DTAVR	ロード・プロセスによって、またはロードの進行中に API READ 要求が発行された結果、テーブルに挿入されたレコードの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Add requests (追加要求)	A17DTADS	WRITE 要求の結果、テーブルにレコードを追加しようとした回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Adds rejected - exit (追加拒否 - 出口)	A17DTARJ	CICS がテーブルに追加しようとして、グローバル・ユーザー出口によって拒否されたレコードの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 62. ファイル: リソース統計 - データ・テーブル要求情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Adds rejected - table full (追加拒否 - テーブルがフル)	A17DTATF	テーブルには既に、指定されているレコードの最大数が含まれていたために、CICS がテーブルに追加しようとしてできなかったレコードの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Rewrite requests (再書き込み要求)	A17DTRWS	REWRITE 要求の結果、テーブル内のレコードを更新しようとした回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Delete requests (削除要求)	A17DTDLS	DELETE 要求の結果、テーブルからレコードを削除しようとした回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Highest table size (最大テーブル・サイズ)	A17DTSHI	テーブルに存在するレコードのピーク数。 リセット特性: クローズ時にリセット
Storage alloc(K) (ストレージの割り振り (K))	A17DTALT	データ・テーブルに割り振られるストレージの合計。 DFHSTUP レポートはストレージを KB で表します。 複数のファイルが同じデータ・テーブルを共用している可能性があるため、DFHSTUP はすべてのデータ・テーブルに対して割り振られたストレージを合計しません。 リセット特性: リセットなし
Chng Resp/Lock Waits (個別に変更/ロックの待機)	A17DTCON	ロック・モデルを使用している CFDT では、レコードが更新のために読み取られるときにロックされます。 このカウントは、既にロックされたレコードに対して WAIT 処理の必要があった回数を表します。 コンテンション・モデルを使用している CFDT では、レコードが更新のために読み取られるときにロックされません。 後続の再書き込み要求または削除要求によって、レコードが既に変更されていることが検出された場合、CHANGED 応答が戻されます。このカウントは、CHANGED 応答が発行された回数を表します。 リセット特性: ゼロにリセット

表 62. ファイル: リソース統計 - データ・テーブル要求情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17DTLDS	LOADING 応答が発行された回数。 CFDT をロード中のとき、既にロードされた CFDT の範囲を超えたレコードに対して発行された要求は、LOADING 応答を取得します。 リセット特性: ゼロにリセット

注: データ・テーブルに対する要求情報統計出力は、ソース・データ・セットのアクティビティーを表し、データ・テーブル要求情報は、データ・テーブルのアクティビティーを表します。 このため、CICS が保守するテーブルでは、ソース・データ・セットとテーブルの両方を更新する必要があるので、テーブルを変更する要求の統計出力の両セクションで、似たカウントを検出する可能性があります。 ユーザーが保守するテーブルでは、更新アクティビティーは、データ・テーブル・リソース情報で表示されません。

共用データ・テーブル機能を使用するとき、統計レコードには以下の追加情報が含まれます。

表 63. ファイル: 共用データ・テーブル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17DTSIZ	データ・テーブル内のレコードの現在の数。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17DTUST	データ・テーブルに使用中のストレージの総量 (KB 単位)。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17DTALE	レコード入力ブロックに割り振られているストレージの総量 (KB 単位)。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17DTUSE	レコード入力ブロックに使用中のストレージの総量 (KB 単位)。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17DTALI	索引に割り振られているストレージの総量 (KB 単位)。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17DTUSI	索引に使用中のストレージの総量 (KB 単位)。 リセット特性: リセットなし

表 63. ファイル: 共用データ・テーブル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17DTALD	レコード・データに割り振られているストレージの総量 (KB 単位)。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17DTUSD	レコード・データに使用中のストレージの総量 (KB 単位)。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A17DTRRS	読み取り再試行の合計数。つまり、読み取り中に FOR がテーブルを変更したために、AOR での読み取りを再試行する必要が生じた回数。 A17DTRRS は、ファイル専用領域 (FOR) が、AOR の読み取り対象である特定のレコードを更新していたために失敗したアクセスのカウントではありません。このような場合には、要求は機能シップされて、「ソース読み取り」でカウントされます。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_DEFINE_SOURCE	このリソースを含む CSD グループの名前。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし

表 63. ファイル: 共用データ・テーブル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

注: 共用データ・テーブルがインストールされていないか、リソースがデータ・テーブルではない場合、データ・テーブル・フィールドは統計レコードに存在しますが、ゼロを含みます。

ファイル: リソース統計 - パフォーマンス情報

これらの統計はオンラインで取得でき、DFHA17DS DSECT によってマップされます。

表 64. ファイル: リソース統計 - パフォーマンス情報

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
ファイル名 (File name)	A17FNAM	オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンドで指定した名前です。 リセット特性: リセットなし
Strings (ストリング)	A17STRNO	並行更新の最大許可数。 RLS では、ACB マクロで指定された値は無視されます。 OPEN 処理の後で、許可されるストリングの最大数を示す値 1024 が戻されます。 リセット特性: リセットなし
Active strings (アクティブ・ストリング)	A17DSASC	ファイルに対する更新の現在の回数。 リセット特性: リセットなし
Wait on Strings: Current (ストリングでの待機: 現行)	A17DSASW	ファイルを「待機」するストリングの現在の数。 リセット特性: リセットなし
Wait on Strings: Total (ストリングでの待機: 合計)	A17DSTSW	ファイルを「待機」するストリングの総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Wait on Strings: Highest (リングでの待機: 最大数)	A17DSHSW	ファイルを「待機」するストリングの最高数。 リセット特性: 現行値にリセット

表 64. ファイル: リソース統計 - パフォーマンス情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Buffers: Data (バッファー: データ)	A17DSDNB	データで使用されるバッファーの数です。 RLS では、BUFND が無視され、ACB で指定された値が戻されます。このパラメーターは、z/OS UNIX ファイルには影響を与えません。 リセット特性: リセットなし
Buffers: Index (バッファー: 索引)	A17DSINB	索引で使用されるバッファーの数です。 RLS では、BUFNI が無視され、ACB で指定された値が戻されます。このパラメーターは、z/OS UNIX ファイルには影響を与えません。 リセット特性: リセットなし
Excl Cntl Conflicts (排他制御の競合)	A17FCXCC	このファイルの VSAM 制御間隔に対して発生した排他制御の競合の回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_DEFINE_SOURCE	このリソースを含む CSD グループの名前。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし

表 64. ファイル: リソース統計 - パフォーマンス情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A17_FILE_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

ファイル: 要約統計 - リソース情報

ファイルのリソース要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 65. ファイル: 要約統計 - リソース情報

DFHSTUP 名	説明
File Name (ファイル名)	オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンドで指定した名前。
データ・セット名	物理データ・セットをシステムに定義する 44 文字の名前。 リモート・ファイルでは、データ・セット名は REMOTE と表示されます。
Base data set name (If applicable) (基本データ・セット名 (該当する場合))	ファイルが VSAM PATH であるインスタンスの場合、このフィールドには基本データ・セット名が表示されます。
データ・セット・タイプ	データ・セット・タイプで、BDAM、 標準 ESDS、 拡張 ESDS、 KSDS、 RRDS、 VRRDS、または PATH である可能性があります。 ファイルがリモートまたは開いていない場合、このフィールドはブランクです。 キー 統計タイプ **B** BDAM **E** 標準 ESDS **K** KSDS **P** PATH **R** RRDS **V** VRRDS **X** 拡張 ESDS
RLS	RLS がアクセスしたファイルかどうかを示す標識。 YES は、RLS がアクセスしたファイルを示します。 NO は、非 RLS ファイルを示します。

表 65. ファイル: 要約統計 - リソース情報 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Data Table indicator (データ・テーブル標識)	データ・テーブル統計フィールドがレコードに存在する場合、R、S、T、L、K、または X のいずれかの値が入る 1 バイト・フィールド。 • R は、これがリモート・ファイルであり、このファイルに対してテーブル読み取り統計およびソース読み取り統計が存在することを示す。 • S は、リソースがテーブルとして開かれていないが、同じデータ・セットに関連したテーブルからデータにアクセスできたことを示す。 • T は、リソースがデータ・テーブルであることを示す。 • L は、リソースがロック・モデルを使用したカップリング・ファシリティー・データ・テーブルであることを示す。 • K は、リソースがコンテンション・モデルを使用したカップリング・ファシリティー・データ・テーブルであることを示す。 • X は、リソースが関連した CICS が保守するデータ・テーブルを持つソース・データ・セットを使用して開かれ、データ・テーブルも共に更新されるリソースの更新が実行されることを示す。
Remote name (リモート名)	このファイルがシステム内またはファイルが常駐する領域で認識される名前。
Remote sysid (リモート・システム識別名)	IPIC、ISC、または MRO 環境で操作しており、ファイルがリモート・システムによって保管されている場合、このフィールドはファイルが常駐するシステムを指定します。
LSR	ローカル共用リソース・プールの ID。 この値は、オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンドの LSRPOOLNUM オペランドを使用して指定されています。 "N" は、LSR プールで定義されていないことを表します。
CFDT PoolName (CFDT プール名)	ファイルに関連したデータ・テーブルに対して定義されたカップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プールの名前。

ファイル: 要約統計 - 要求情報

ファイルの要求要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 66. ファイル: 要約統計 - 要求情報

DFHSTUP 名	説明
ファイル名 (File name)	以下の項目で指定した名前です。 • オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンド • (BDAM ファイルのみ) DFHFCT マクロの TYPE=FILE、FILE オペランド
Get requests (GET 要求)	このファイルに対して発行された GET 要求の総数です。

表 66. ファイル: 要約統計 - 要求情報 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Get upd requests (GET 更新要求)	このファイルに対して発行された GET UPDATE 要求の総数です。
Browse requests (ブラウズ要求)	このファイルに対して発行された GETNEXT および GETPREV 要求の総数です。
Update requests (更新要求)	このファイルに対して発行された PUT UPDATE 要求の総数です。
Add requests (追加要求)	このファイルに対して発行された PUT 要求の総数です。
Delete requests (削除要求)	このファイルに対して発行された DELETE 要求の総数です。
Brws upd requests (ブラウズ更新要求)	このファイルに対して発行された READNEXT UPDATE および READPREV UPDATE 要求の総数です (RLS のみ)。
VSAM EXCP request: Data (VSAM EXCP 要求: データ)	ファイルが開かれている場合、値が印刷されて、CICS 実行時に VSAM KSDS として使用されます。注 1、2、および 3 を参照してください。
VSAM EXCP request: Index (VSAM EXCP 要求: 索引)	注 1、2、および 3 を参照してください。
VSAM EXCP request: RLS req timeouts (VSAM EXCP 要求: RLS 要求のタイムアウト)	このファイルに対して要求して、指定された制限時間内にサービスされなかったため、要求が終了した RLS 要求の総数です。

注: 「VSAM EXCP 要求 (VSAM EXCP requests)」フィールドは、データと索引レコードのそれぞれに対するファイル上での入出力操作の回数を示します。また、以下のポイントにも注意してください。

1. 両方の項目に対して印刷される値は、ファイルに関連している。動的割り振りを使用して、ファイルに関連した物理データ・セットを変更した場合、表示される値は、すべてのデータ・セットに対する累算になります。
2. VSAM は、接続されたすべてのアクセス方式制御ブロック (ACB) に対して EXCP を 1 カウントのみ保守するので、これらの値をデータ・セット名の共用に参加しているファイルに対して使用するには注意が必要である。 この場合、各ファイルに対して報告された値は、ファイルが開いている間のすべての共用 ACB に対するアクセスの合計を表しています。 このため、データ・セット名の共用グループ内のすべてのファイルが同じ期間開いていた場合、各ファイルに対して報告される EXCP 値は同じであり、グループ内のすべてのファイルの合計になります。 EXCP のカウントが x'80000000' を超えると、そのカウントは信頼性がないため、ファイルを再定義することを検討する必要があります。
3. RLS では、この値はシステム・バッファー・マネージャーの呼び出し回数のカウントである。 カップリング・ファシリティー・キャッシュ・アクセスまたは I/O のいずれかになる呼び出しを含みます。
4. RLS ファイルの EXCP のカウントは、その CICS 領域内の RLS ファイルにアクセスしているすべてのタスクのすべての EXCP のカウントである。 注 2 に記載したように、EXCP カウントはその CICS 領域内のファイルの対応する ACB に保管されることに注意する必要があります。

ファイル: 要約統計 - データ・テーブル要求情報

ファイルのデータ・テーブル要求要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *67.* ファイル: 要約統計 - データ・テーブル要求情報

DFHSTUP 名	説明
File Name (ファイル名)	オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンドで指定した名前。
Table type (テーブル・タイプ)	この 1 バイトのフィールドは、以下のように設定されます。 • CICS が保守するテーブルが閉じた場合には C。 • CICS が保守するテーブルにアクセスしたファイルは閉じているが、テーブルを使用している他のファイルがまだ開いているためにテーブルが開いたままの場合には P。 • ユーザーが保守するテーブルに対するソース・データ・セットが閉じつつある場合には S。 • ユーザーが保守するテーブルが閉じた場合には U。 • ロック・モデルのカップリング・ファシリティー・データ・テーブルが閉じている場合には L。 • コンテンション・モデルのカップリング・ファシリティー・データ・テーブルが閉じている場合には K
Successful reads (正常な読み取り)	データ・テーブルからの読み取りの総数。
Recs in table (テーブル内のレコード)	レコードがデータ・テーブルで検出されないので、CICS がレコードをソース・ファイルから取得した読み取り回数。
Adds from reads (読み取りから追加)	ロード・プロセスによって、またはロードの進行中に API READ 要求が発行された結果、テーブルに挿入されたレコードの合計数。
Add requests (追加要求)	WRITE 要求の結果、テーブルにレコードを追加しようとした総数。
Adds rejected - exit (追加拒否 - 出口)	CICS がテーブルに追加しようとして、グローバル・ユーザー出口によって拒否されたレコードの総数。
Adds rejected - table full (追加拒否 - テーブルがフル)	テーブルには既に、指定されているレコードの最大数が含まれていたために、CICS がテーブルに追加しようとしてできなかったレコードの総数。
Rewrite requests (再書き込み要求)	REWRITE 要求の結果としてテーブルのレコードを更新しようとした総数。
Delete requests (削除要求)	DELETE 要求の結果としてレコードをテーブルから削除しようとした総数。
Highest table size (最大テーブル・サイズ)	テーブルに存在するレコードのピーク数。
Chng Resp/Lock Waits (個別に変更/ロックの待機)	ロック・モデルを使用する CFDT では、レコードが更新のために読み取られるときにロックされます。 このカウントは、既にロックされたレコードのために待機する必要があった回数です。 競合モデルを使用する CFDT では、レコードは更新のために読み取られている場合にロックされません。後続の再書き込み要求または削除要求によって、レコードが既に変更されていることが検出された場合、CHANGED 応答が戻されます。このカウントは、CHANGED 応答が発行された回数を表します。

ファイル: 要約統計 - パフォーマンス情報

ファイルのパフォーマンス要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *68.* ファイル: 要約統計 - パフォーマンス情報

DFHSTUP 名	説明
ファイル名 (File name)	オンライン・リソース定義の DEFINE FILE コマンドで指定した名前。

表 68. ファイル: 要約統計 - パフォーマンス情報 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Strings (ストリング)	並行更新の最大許可数。 RLS では、ACB マクロで指定された値は無視されます。 OPEN 処理の後で、許可されるストリングの最大数を示す値 1024 が戻されます。
Wait on strings: Total (ストリングでの待機: 合計)	ファイルを「待機」するストリングの総数。
Wait on strings: HWM (ストリングでの待機: HWM)	ファイルを「待機」するストリングの最高数。
Buffers: Data (バッファー: データ)	データに使用されるバッファーの数。 RLS では、BUFND が無視され、ACB で指定された値が戻されます。このパラメーターは、z/OS UNIX ファイルには影響を与えません。
Buffers: Index (バッファー: 索引)	索引に使用されるバッファー数。 RLS では、BUFNI が無視され、ACB で指定された値が戻されます。このパラメーターは、z/OS UNIX ファイルには影響を与えません。
Excl Cntl Conflicts (排他制御の競合)	このファイルの VSAM 制御間隔に対して発生した排他制御の競合の総数。

ISC/IRC システムおよびモード・エントリー統計

DFHSTUP リストの ISC/IRC システムおよびモード・エントリー統計領域は、システム間連絡を使用した CICS システムを対象としています。 これは、CICS 相互通信機能に対する要約統計を提供します。

注**:** ISC/IRC システムおよびモード・エントリー統計には、SNA を介したシステム間通信 (SNA を介した ISC) および複数領域操作 (MRO) 接続についての情報が含まれます。 IP 相互接続 (IPIC) 接続についての情報は IPCONN 統計に含まれます。

2 つのタイプのシステム間連絡、SNA を介した ISC および IPIC については、システム間の通信を参照してください。

ISC/IRC システムおよびモード・エントリー統計の解釈

ISC/IRC システムおよびモード・エントリー統計を使用して、CICS システム間環境の問題を検出できます。

以下のトピックでは、システム・パフォーマンスに関して生じる可能性のある問題を示し、それらの問題に対する解答を統計レポートから引き出す方法を説明します。 これらのトピックは、ISC/IRC のパフォーマンス上の問題を解決するために、どのような処置を行うことができるか (存在する場合) についても説明します。

以下のような質問について検討します。

- 十分なセッション数が定義されていますか ?
- コンテンション勝者とコンテンション敗者のバランスは正しいですか ?

- APPC モードグループの使用が競合していませんか ?
- 統計レポートにおいて、標準または期待される数と比較して異常に大きな数がある場合にどうしたらいいでしょうか ?

統計フィールドの接続タイプの要約

ISC/IRC システムおよびリモート接続のモード・エントリーの各統計フィールドに関連した接続タイプを示します。ローカル・システムでどのエントリーが使用可能であるかも確認してください。

リモート接続の場合	ローカル・システムの場合
ISC/IRC システム・エントリー	112 ページの表 71
ISC/IRC モード・エントリー	

個々のフィールドの使用法の詳細については、 110 ページの『ISC/IRC システムおよびモード・エントリー統計』の CICS 統計を参照してください。

リモート接続についての統計

ISC/IRC システム・エントリー

表 *69.* リモート接続についての *ISC/IRC* システム・エントリー

システム・エントリー	フィールド	**IRC**	**LU6.1**	**APPC**
接続名	A14CNTN	X	X	X
チェーン内の AID	A14EALL	X	X	X
チェーン内の汎用 AID 数 (Generic aids in chain)	A14ESALL	X	X	X
チェーン内のピーク AID 数 (Peak aids in chain)	A14EAHWM	X	X	X
コンテンション敗者によって満たされる ATI 数	A14ES1		X	
コンテンション勝者によって満たされる ATI 数	A14ES2	X	X	
コンテンション敗者のピーク数	A14E1HWM	X	X	
コンテンション勝者のピーク数	A14E2HWM	X	X	
未解決割り振りのピーク数	A14ESTAM	X	X	X
割り振り合計数	A14ESTAS	X	X	X
キューに入れられた割り振り数	A14ESTAQ	X	X	X
失敗したリンク割り振り数	A14ESTAF	X	X	X
使用中セッションのために失敗した割り振り数	A14ESTAO	X	X	X
送られた送信権要求の合計数	A14ESBID		X	
進行中の現行送信権要求数	A14EBID		X	
進行中の送信権要求のピーク数	A14EBHWM		X	
ファイル制御機能シップ要求数	A14ESTFC	X	X	X
インターバル制御機能シップ要求数	A14ESTIC	X	X	X
TD 機能シップ要求数	A14ESTTD	X	X	X

表 69. リモート接続についての ISC/IRC システム・エントリー (続き)

システム・エントリー	フィールド	IRC	LU6.1	APPC
TS 機能シップ要求数	A14ESTTS	X	X	X
DLI 機能シップ要求数	A14ESTDL	X	X	X
端末共用要求数	A14ESTTC	X		X

ISC/IRC モード・エントリー

表のすべてのフィールドは、指定されたモード名のモード・グループに固有のものです。

表 70. ISC/IRC モード・エントリー

モード・エントリー	フィールド	IRC	LU6.1	APPC
モード名	A20MODE			X
コンテンション敗者によって満たされる ATI 数	A20ES1			X
コンテンション勝者によって満たされる ATI 数	A20ES2			X
コンテンション敗者のピーク数	A20E1HWM			X
コンテンション勝者のピーク数	A20E2HWM			X
未解決割り振りのピーク数	A20ESTAM			X
特定割り振り合計要求数	A20ESTAS			X
満たされた特定割り振り合計数	A20ESTAP			X
満たされた一般割り振り合計数	A20ESTAG			X
キューに入れられた割り振り数	A20ESTAQ			X
失敗したリンク割り振り数	A20ESTAF			X
使用中セッションのために失敗した割り振り数	A20ESTAO			X
送られた送信権要求の合計数	A20ESBID			X
進行中の現行送信権要求数	A20EBID			X
進行中の送信権要求のピーク数	A20EBHWM			X

ローカル・システムの統計

表 71. ローカル・システムの統計

システム・エントリー	フィールド	Local
チェーン内の AID	A14EALL	X
チェーン内の汎用 AID 数 (Generic aids in chain)	A14ESALL	X
チェーン内のピーク AID 数 (Peak aids in chain)	A14EAHWM	X

ISC/IRC 統計を解釈するための一般的手引き

ISC/IRC 統計を解釈するための一般情報

1. A14xxx および A20xxx フィールドの使用 :

- ほとんどの場合、以下のセクションで示される手引きは、すべての接続タイプ、つまり IRC、LU6.1、および APPC に関連したものです。手引きが特定の接続タイプで異なる場合は、テキストには適切な接続タイプが示されます。
- IRC および LU6.1 に関連する統計フィールドには常に A14 の接頭部が付きます。これに対し、APPC フィールドには A14 または A20 の接頭部が付きます。フィールドと接続タイプの対応関係の詳細については、 111 ページの表 69 および 112 ページの表 70 を参照してください。

2. 「コンテンション勝者」および「コンテンション敗者」の用語の使用 :
   - APPC セッションは、コンテンション勝者 またはコンテンション敗者 のいずれかとして呼ばれます。これらの用語は、LU6.1 および IRC の場合の、2 次局 (SEND セッション) および 1 次局 (RECEIVE セッション) と同じものです。
3. 定義されたセッション数のチューニング:
   - 以下のセクションでは、特定のカウントが大きすぎる場合、より多くのセッションを使用可能にすることを考慮するように指示されることがあります。このような場合、システムで定義したセッション数が増えるにつれて、次のような影響がでる可能性があることに注意してください。
     - 実記憶および仮想記憶の使用が多くなる
     - ネットワーク内の GATEWAY NCP のストレージの使用が多くなる
     - z/OS Communications Server によるストレージの使用が多くなる
     - ネットワーク内の回線ロードが増える
     - バックエンド CICS システム (AOR) が、TOR からのワークロードの増加を処理できない
     - CICS による制御ブロック・スキャンの増大によるパフォーマンスの低下
   - 使用可能なセッション数を必要と思われる最大の値に設定し、次に、CICS を一定の回数実行したときの統計 (ISC/IRC および端末統計の両方) をモニターし、使用可能なセッション数を、問題を回避するのに必要な数より少しだけ大きくすることをお勧めします。
4. 使用可能なコンテンション勝者とコンテンション敗者のセッション数のチューニング :
   - 1 方の側のロードを変更すると他方の側に悪影響が発生する場合があるため、チューニングを実行するときは接続の両方の側を見てください。TOR における使用可能なコンテンション勝者のセッション数を変更すると、AOR におけるコンテンション敗者のセッション数に影響を与えます。
5. 比較と測定のための接続プロファイルの作成。

   チューニングの目的の 1 つは、通常およびピークの両期間での CICS 接続数の使用量に関するプロファイルを作成することです。 そのような使用量プロファイルは、統計を分析して以下のことを行うときに、参照点として使用することができます。
   - 時間経過にともなう使用パターンの変化を確認する
   - 重大になるまでにパフォーマンス上の問題の可能性を予測する

十分なセッション数が定義されていますか ?

十分なセッション数が定義されているかどうかを確認するために、CICS が統計レポートに提供するピーク数フィールドを検査することができます。

次のピーク・フィールドがあります。

1. 「未解決割り振りのピーク数」(フィールド A14ESTAM および A20ESTAM)「割り振り総数」(フィールド A14ESTAS)「特定割り振り合計要求数」(フィールド A20ESTAS)。

   APPC モードグループのセッション数を検討するときに、「未解決割り振りのピーク数」の数が、統計レポート期間内において、「割り振り総数」または「特定割り振り合計要求数」と比較して大きいと思われる場合は、定義されているセッション総数が小さすぎることを示している可能性があります。
2. 「コンテンション勝者のピーク数」(フィールド A14E2HWM および A20E2HWM)「コンテンション敗者のピーク数」(フィールド A14E1HWM および A20E1HWM)

   (「コンテンション勝者のピーク数」 + 「コンテンション敗者のピーク数」) の数が使用可能セッションの最大数 (SESSIONS 定義で定義される) と等しい場合は、統計レポート期間の特定の点において、使用可能なすべてのセッションが使用中になる可能性があることを示します。 これらの事実だけでは問題があることにはなりませんが、CICS も同じ期間に割り振り要求をキューに入れたり、拒否したりする場合は、定義されているセッション総数が小さすぎることを示します。
3. 「使用中セッションのために失敗した割り振り数」 (フィールド A14ESTAO および A20ESTAO)

   この値は、すぐに使用可能なセッションがないために、SYSBUSY 応答で拒否される割り振りの場合に増加します (つまり、NOSUSPEND または NOQUEUE オプションが指定された割り振り要求の場合です)。 この値は、キューに入れられてから、AAL1 異常終了コードで拒否される割り振りの場合にも増加します。AAL1 コードは、指定されたデッドロック・タイムアウト (DTIMOUT) 制限時間内でセッションが使用可能にならないために、割り振りが拒否されることを示します。

   「使用中セッションのために失敗した割り振り数」の数が統計レポート期間内で大きい場合は、十分なセッションがすぐに使用することができないか、または適当な制限時間内で使用することができないことを示します。

処置 : 割り振り要求を満たすために、より多くのセッションを使用可能にします。キューイングしなくても CICS が割り振り要求を満たすようにすると、パフォーマンスが向上する場合があります。

ただし、フロントエンドで使用可能なセッション数を増やすと、バックエンドの作業負荷が増える可能性があることに注意してください。したがって、このことが問題を引き起こす可能性があるかどうかを調べる必要があります。

コンテンション勝者とコンテンション敗者のバランスは正しいですか ?

CICS は、コンテンション勝者とコンテンション敗者の使用量を示す多くのフィールドを提供するため、これに対する答えを出すための複数の方法が存在します。

次のフィールドは、定義されたコンテンション勝者セッションの数を増やす必要があるかどうかに関する手引きとなります。

1. 「進行中の現行送信権要求数」 (フィールド A14EBID および A20EBID) 「進行中の送信権要求のピーク数」 (フィールド A14EBHWM および A20EBHWM)

   「進行中の送信権要求のピーク数」の値は、統計レポート期間における特定時刻の、進行中の送信権要求の最大数を記録したものです。 「進行中の現行送信権要求数」は常に「進行中の送信権要求のピーク数」以下になります。

   これらのフィールドは、ゼロにしておくことをお勧めします。 これらのフィールドのいずれかが大きい値の場合は、CICS がコンテンション敗者セッション用に多数の送信権要求を実行する必要があることを示します。
2. 「コンテンション敗者のピーク数」 (フィールド A14E1HWM および A20E1HWM)

   「コンテンション敗者のピーク数」の数が使用可能なコンテンション敗者セッションの数に等しい場合は、定義されたコンテンション敗者セッションの数が小さすぎる可能性があります。 または、APPC/LU6.1 の場合、CICS は、コンテンション勝者セッションが不足するため、コンテンション敗者セッションを使用して割り振りを満たす場合があります。バックエンドでの勝者と関連させて、フロントエンドでこれをチューニングする必要があります。セッションの最大数、およびコンテンション勝者の数を指定する方法の詳細については、SESSIONS リソースで SESSIONS の定義方法に関する情報を参照してください。

処置 *:*

APPC の場合、より多くのコンテンション勝者セッションを使用可能にします。これにより、コンテンション敗者セッションを使用して割り振り要求を満たす必要が少なくなり、この結果、より多くのコンテンション敗者セッションが使用可能になります。

LU6.1 の場合、より多くの SEND セッションを使用可能にします。これにより、LU6.1 が 1 次局 (RECEIVE セッション) を使用して割り振り要求を満たす必要が少なくなります。

IRC の場合、MRO は RECEIVE セッションを使用して割り振り要求を満たすことがないため、送信権要求は関係ありません。 「コンテンション敗者のピーク数 (RECEIVE)」が、IRC リンク上のコンテンション敗者 (RECEIVE) セッションの数と等しい場合は、リモート・システムからの割り振り数が、受信システムが処理できる数よりも大きい可能性があります。 このような場合は、使用可能な RECEIVE セッションの数を増やすようにしてください。

注**:** セッションの使用量は、処理の流れる方向によって異なります。 フロントエンドで使用可能な勝者の数を増やすチューニングでは、日、週、月などの全体の期間を通して、処理の流れる方向に関して、このチューニングが適切でかどうかを考慮する必要もあります。

APPC モードグループの使用が競合していませんか ?

一般的な割り振り要求と特定の割り振り要求が CICS 領域内で混合して使用される場合、APPC モードグループの使用が競合する可能性があります。

特定の割り振りは、割り振るセッションの特別な (特定の)モードグループを指定する割り振り要求であるのに対し、一般的な割り振りは、特別なモードグループは指定せず、割り振りが必要なシステムのみを指定します。 後者の場合は、CICS が割り振るセッションおよびモードグループを決定します。

この問題に答えるには、次のフィールドを調べる必要があります。

- 満たされた一般割り振り合計数 (フィールド A20ESTAG)
- 特定割り振り合計要求数 (フィールド A20ESTAS)
- 未解決割り振りのピーク数 (フィールド A20ESTAM)
- 満たされた特定割り振り合計数 (フィールド A20ESTAP)

満たされた一般割り振り合計数 が特定割り振り合計要求数 より著しく大きく、未解決割り振りのピーク数 がゼロでない場合は、一般割り振りの対象が、接続の最初のモードグループのみであったか、主にそのモードグループであったことを示している可能性があります。

このことは、特定の割り振りに関して問題を引き起こす場合があります。これは、CICS は、まず最初のモードグループからの一般割り振りを満たしてから、順番に他のモードグループからのものを試みるためです。

アクション

次のいずれかのアクションを検討してください。

インストール済みのモードグループ・エントリーの順番を変更します。

接続のモードグループは、TCT モード・エントリー (TCTME) によって表されます。また、モードグループ名は、SESSIONS 定義で指定された MODENAME から付けれます。 TCTME の順番は、CICS が SESSIONS 定義をインストールする順番によって決まります。これは、CSD に保管される SESSIONS 名の順番 (昇順英数字キー・シーケンス) です。 これを示す図については、 117 ページの図 1を参照してください。 TCTME の順番を変更するには、SESSIONS 定義の名前を変更する必要があります。 CSD グループ内の別の SESSIONS 名を使用して、定義の名前を変更できます。 TCTME が作成される順番を管理することによって、特定の割り振り参照モードグループが TCTME チェーンを低くするようにできます。また、一般 ALLOCATE との競合も回避できます。

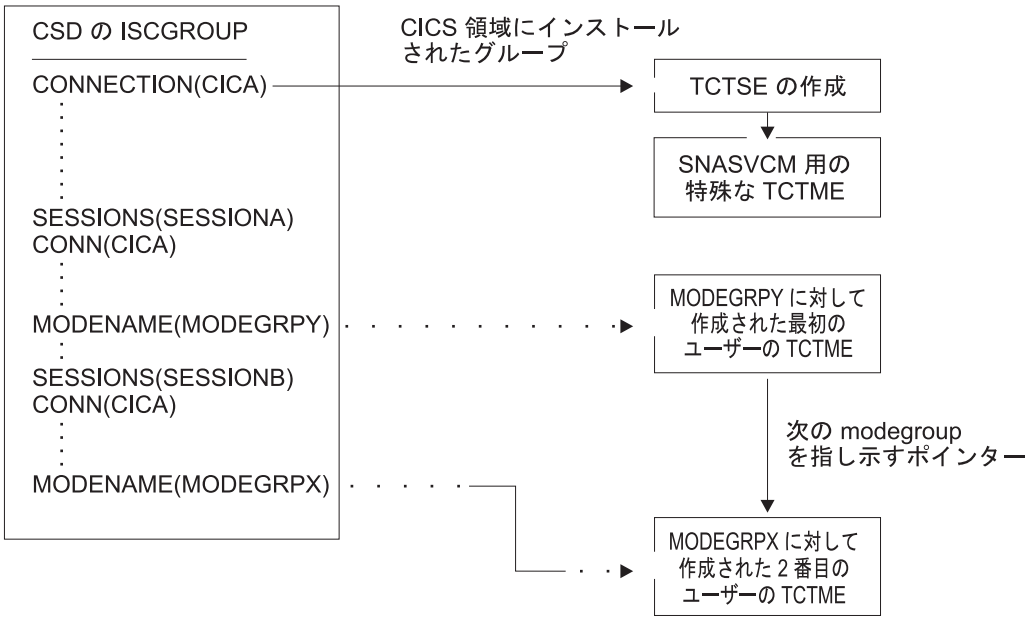


図 *1. TCT* モード・エントリーが決まる仕組み

すべての割り振りを特定の割り振りにします。

統計レポートにおいて、異常に大きな数がある場合にどうしたらよいでしょうか ?

ISC/IRC システムおよびモード・エントリー 統計レポートを見ると、他のすべてのフィールドと比較して異常に大きな数を示している思われるフィールドに気付く場合があります。 このセクションでは、それらのフィールドのいくつかを示し、それらの数を減らすためにどのような処置をとるかについて説明します。

1. 「コンテンション敗者のピーク数」 (フィールド A14E1HWM および A20E1HWM)

   「コンテンション敗者のピーク数」の数が使用可能なコンテンション敗者セッションの数に等しい場合は、定義されたコンテンション敗者セッションの数が小さすぎる可能性があります。または、リンクが APPC/LU6.1 の場合は、CICS が、コンテンション勝者セッションの不足のために、コンテンション敗者セッションを使用して、割り振りを満たす場合があります。

   処置 : 割り振り要求を満たすために、より多くのコンテンション勝者セッションを使用可能にします。 IRC の場合は、RECEIVES を増やします。
2. 「未解決割り振りのピーク数」(フィールド A14ESTAM および A20ESTAM)

   「未解決割り振りのピーク数」の数が、統計レポート期間内において、APPC のモードグループの「割り振り総数」または「特定割り振り合計要求数」と比較して大きいと思われる場合は、定義されているセッション総数が小さすぎるか、リモート・システムが、送られてくる作業量を処理できないことを示している可能性があります。

   処置 : 割り振り要求を満たすために、より多くのセッションを使用可能にするか、行われている割り振りの数を減らします。

3. 「失敗したリンク割り振り数」(フィールド A14ESTAF および A20ESTAF)

   この値が統計レポート期間内で高い場合は、接続状態のどこかに問題があることを示します。 一番可能性の高い原因として、接続が解放されており、サービス休止になっているか、接続が閉じられたモードグループを持っていることを挙げることができます。

   処置: CICS がセッションの割り振りを試みている接続の状態を調べ、割り振りの失敗の原因になっている問題を解決します。

   接続の失敗を解決するには、統計によってカバーされる同じ期間の CSMT ログを検査し、統計に関連する接続に何らかの問題がないかどうかを調べます。

   接続状況モニター・プログラムを作成する方法もあります。このプログラムは、バックグラウンドで実行し、定期的に接続状況を検査し、解放済み接続を再度行うための対応処置をとることができます。 これにより、使用不可になっている接続による停止時間を最小化できることがあります。 そのようなプログラムで使用するコマンドに関するプログラミング情報については、INQUIRE CONNECTION、INQUIRE MODENAME、SET CONNECTION、および SET MODENAME を参照してください。
4. 「使用中セッションのために失敗した割り振り数」 (フィールド A14ESTAO および A20ESTAO)

   この値は、すぐに使用可能なセッションがなく、NOSUSPEND または NOQUEUE オプションが指定されて割り振り要求が行われたため、SYSBUSY 応答で拒否された割り振りの場合に増加します。この値は、キューに入れられた後、AAL1 異常終了コードで拒否された割り振りの場合にも増加します。AAL1 コードは、指定されたデッドロック・タイムアウト (DTIMOUT) 制限時間内でセッションが使用可能でないために、割り振りが拒否されたことを示します。

   「使用中セッションのために失敗した割り振り数」の数が統計レポート期間内で大きい場合は、十分なセッションが、すぐに使用可能でないか、適当な制限時間内で使用可能でないことを示します。

   処置 : より多くのコンテンション勝者セッションを使用可能にします。 この処置により、実行されている送信権要求の量、および以後のコンテンション敗者セッションの使用量が減ります。 IRC を使用する場合は、セッションを増やします。
5. 「進行中の送信権要求のピーク数」 (フィールド A14EBHWM および A20EBHWM)

   これらのフィールドは、ゼロにしておくことをお勧めします。 これらのフィールドのいずれかが大きい値の場合は、CICS がセッション用に多数の送信権要求を実行する必要があることを示します。

   処置 : 割り振り要求を満たすために、より多くのコンテンション勝者セッションを使用可能にします。

ISC/IRC システム・エントリー: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS CONNECTION システム・コマンドを使用して、ISC/IRC システム・エントリーのリソース統計を取得できます。これらの統計は DFHA14DS DSECT によってマップされます。

システム・エントリー統計は、ISC および IRC 接続の両方に関する情報を記録します。情報の一部は、各タイプの接続に固有です。ISC/IRC システムおよびモード・エントリー統計には、SNA を介したシステム間通信 (SNA を介した ISC) および複数領域操作 (MRO) 接続についての情報が含まれます。 IP 相互接続 接続についての情報は IPCONN 統計に含まれます。

注:

2 つのタイプのシステム間連絡、SNA を介した ISC および IPIC については、システム間の通信を参照してください。

この DSECT は、以下の目的で使用されます。

- 接続へのオンライン照会に対して戻されたデータの処理 (**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS**)
- オフラインでの接続統計の処理 (SMF)
- 接続の合計の処理 (この CICS 領域内のすべての定義された接続の合計)

CICS は、IRC 要求を他の領域に送信するときは常に SEND セッションを割り振ります。 LU6.1 ISCを使用して要求を送信するときに、SEND または RECEIVE セッションを割り振ることができ、APPC を使用して要求を送信するときに、コンテンション敗者またはコンテンション勝者セッションを割り振ることができます。

LU6.1 では、SEND セッションは 2 次として識別されて、RECEIVE セッションは 1 次として識別されます。

表 *72. ISC/IRC* システム・エントリー*:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
接続名	A14CNTN	CSD 内の CONNECTION 定義、または自動インストールによって定義された各システム・エントリーに対応しています。 リセット特性: リセットなし
Connection netname (接続ネット名)	A14ESID	リモート・システムがネットワークで認識される名前、つまりアプリケーション ID です。 リセット特性: リセットなし
Access Method / Protocol (アクセス方式/プロトコル)	A14ACCM	この接続で使用される通信アクセス方式です。 値は以下のとおりです。 • X'01' = A14VTAM • X'02' = A14IRC • X'03' = A14XM • X'04' = A14XCF

表 72. *ISC/IRC* システム・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Access Method / Protocol (アクセス方式/プロトコル)	A14EFLGS	この接続に使用された通信プロトコルです。値は以下のとおりです。 • X'01' = A14APPC • X'02' = A14LU61 • X'03' = A14EXCI リセット特性: リセットなし
Autoinstalled Connection Create Time (自動インストール済み接続作成時刻)	A14AICT	この接続が自動インストールされた地方時での時刻です。時間は時: 分: 秒. 小数部 で表されます。 DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) としての値が含まれます。 このフィールドは、自動インストールされた APPC 接続にのみ適用できます。 他のすべてのタイプの接続では、値はヌル (x'00') になります。
Autoinstalled Connection Delete Time (自動インストール済み接続削除時刻)	A14AIDT	この接続が削除された地方時での時刻です。 時間は時: 分 : 秒. 小数部 で表されます。 DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) としての値が含まれます。 このフィールドは、削除された自動インストール済み APPC 接続の場合にのみ設定されます。つまり、このフィールドは、非送信請求統計 (USS) レコード内でのみ設定されます。他のすべてのタイプの接続、および他のすべてのタイプの統計レコードでは、値はヌル (x'00') になります。
Send session count (送信セッション・カウント)	A14ESECN	この接続に対する SEND セッションの回数です。このフィールドは、MRO および LU6.1 接続にのみ適用されます。 リセット特性: リセットなし
Receive session count (受信セッション・カウント)	A14EPRMN	この接続に対する RECEIVE セッションの回数です。このフィールドは、MRO および LU6.1 接続にのみ適用されます。 リセット特性: リセットなし
チェーン内の AID	A14EALL	自動開始記述子チェーン内の AID の現在の数です。 リセット特性: リセットなし
チェーン内の汎用 AID 数 (Generic aids in chain)	A14ESALL	割り振り要求を満たすためにセッションが使用可能になるのを待機している自動開始記述子の現在の数です。 リセット特性: リセットなし
チェーン内のピーク AID 数 (Peak aids in chain)	A14EAHWM	AID チェーンに同時に存在していた自動開始記述子のピーク数。 リセット特性: リセットなし

表 72. *ISC/IRC* システム・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
コンテンション敗者によって満たされる ATI 数	A14ES1	コンテンション敗者セッション (LU6.1 の 1 次) によって満たされる ATI 要求 (キューに入れられた割り振り) の数です。これは、IRC システム・エントリーに対しては、常にゼロになります。APPC では、SMF に書き込む場合、このフィールドはゼロですが、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスした場合、このフィールドは等価モード・エントリー統計の合計になります。 リセット特性: ゼロにリセット
コンテンション勝者によって満たされる ATI 数	A14ES2	コンテンション勝者セッション (LU6.1 の 2 次) によって満たされる ATI 要求 (キューに入れられた割り振り) の数です。このフィールドは、システム・エントリーが IRC を対象としているときの ATI の合計です。APPC では、SMF に書き込む場合、このフィールドはゼロですが、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスした場合、このフィールドは等価モード・エントリー統計の合計になります。 リセット特性: ゼロにリセット
Current contention losers (現行コンテンション敗者)	A14E1RY	現在使用中のコンテンション敗者セッション (LU6.1 の 1 次) の数です。 リセット特性: リセットなし
コンテンション敗者のピーク数	A14E1HWM	ある特定の時点で使用されたコンテンション敗者セッション (LU6.1 の 1 次) のピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Current contention winners (現行コンテンション勝者)	A14E2RY	現在使用中のコンテンション勝者セッション (LU6.1 の 2 次) の数です。 リセット特性: リセットなし
コンテンション勝者のピーク数	A14E2HWM	ある特定の時点で使用されたコンテンション勝者セッション (LU6.1 の 2 次) のピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット
送られた送信権要求の合計数	A14ESBID	送信された送信権要求の合計数です。 送信権要求は LU6.1 RECEIVE セッション上でのみ送信されます。このフィールドは、IRC 入力に対しては、常にゼロになります。APPC では、SMF に書き込む場合、このフィールドはゼロですが、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスした場合、このフィールドは等価モード・エントリー統計の合計になります。 リセット特性: ゼロにリセット

表 72. *ISC/IRC* システム・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
進行中の現行送信権要求数	A14EBID	現在進行中の送信権要求の数です。 送信権要求は LU6.1 RECEIVE セッション上でのみ送信されます。このフィールドは、IRC システム・エントリーに対しては、常にゼロになります。APPC では、SMF に書き込む場合、このフィールドはゼロですが、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスした場合、このフィールドは等価モード・エントリー統計の合計になります。 リセット特性: リセットなし
進行中の送信権要求のピーク数	A14EBHWM	ある特定の時点で進行中であった送信権要求のピーク数です。送信権要求は LU6.1 RECEIVE セッション上でのみ送信されます。 リセット特性: 現行値にリセット
Peak outstanding allocates (未解決割り振りのピーク数) 詳しくは、この表に続く注を参照してください。	A14ESTAM	このシステムに対して待機していた割り振り要求のピーク数です。 APPC では、このフィールドは汎用割り振り要求に対してのみ増分します。 リセット特性: 現行値にリセット
Total number of allocates (割り振り合計数) 詳しくは、この表に続く注を参照してください。	A14ESTAS	このシステムに対する割り振り要求の数です。 APPC では、以下のようになります。 • このフィールドは汎用割り振り要求に対してのみ増分する • **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスした場合、このフィールドは等価モード・エントリー統計の合計も含む リセット特性: ゼロにリセット
Queued allocates (キューに入れられた割り振り数) 詳しくは、この表に続く注を参照してください。	A14ESTAQ	このシステムに対するキューに入れられた割り振り要求の現在の数です。 割り振りは、現在使用できないセッションが原因で待機しています。 これには、バインド、送信権要求、または現在使用中のすべてのセッションへの待機が含まれます。 APPC では、以下のようになります。 • このフィールドは汎用割り振り要求に対してのみ増分する • **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスした場合、このフィールドは等価モード・エントリー統計の合計も含む リセット特性: リセットなし

表 72. *ISC/IRC* システム・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Failed link allocates (失敗したリンク割り振り数) 詳しくは、この表に続く注を参照してください。	A14ESTAF	接続のリリース、サービス休止、またはクローズされたモード・グループによって失敗した割り振り要求の数です。 APPC では、以下のようになります。 • このフィールドは汎用割り振り要求に対してのみ増分する • **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスした場合、このフィールドは等価モード・エントリー統計の合計も含む リセット特性: ゼロにリセット
Failed allocates due to sessions in use (使用中セッションのために失敗した割り振り数) 詳しくは、この表に続く注を参照してください。	A14ESTAO	セッションが現在使用できないことによって失敗した割り振り要求の数です。 これらの要求は、割り振りに対して SYSBUSY 応答を取得します。 このフィールドは、AAL1 異常終了コードを出力して失敗している割り振りに対して増分します。 APPC でのみ、以下のようになります。 • このフィールドは汎用割り振り要求に対してのみ増分する • **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスした場合、このフィールドは等価モード・エントリー統計の合計も含む リセット特性: ゼロにリセット
Maximum queue time (seconds) (最大キュー時間 (秒))	A14EMXQT	CONNECTION 定義上で指定された MAXQTIME です。 この値は、この接続の割り振りキューを処理するのに必要な最大時間を表します。 割り振りキューの処理時間がこれよりも長い場合、キュー全体がパージされます。 この値は、QUEUELIMIT 値 (A14EALIM) に到達している場合にのみ有効です。 リセット特性: リセットなし
Allocate queue limit (割り振りキュー限度)	A14EALIM	CONNECTION 定義上で指定された QUEUELIMIT パラメーターです。 この値に到達した場合、割り振りはリジェクトされます。 QUEUELIMIT が No として設定されている場合、このフィールドの値は -1 になります。 リセット特性: リセットなし
Number of QUEUELIMIT allocates rejected (リジェクトされた QUEUELIMIT 割り振り数)	A14EALRJ	QUEUELIMIT 値 (A14EALIM) に到達しているためにリジェクトされた割り振り合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 72. *ISC/IRC* システム・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of MAXQTIME allocate queue purges (MAXQTIME 割り振りキューのパージ数)	A14EQPCT	MAXQTIME 値 (A14EMXQT) のために割り振りキューがパージされた回数の合計数です。 キューは、キューの処理にかかる時間の合計が MAXQTIME 値を超えるとパージされます。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of MAXQTIME allocates purged (MAXQTIME 割り振りのパージ数)	A14EMQPC	キューの処理時間が MAXQTIME 値 (A14EMXQT) を超過したために割り振りがパージされた合計数です。 この機構が起動した後でセッションが解放されない場合、MAXQTIME パージ機構が運用中のため、後続の割り振り要求はパージされ、この統計に含まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of XZIQUE allocates rejected (リジェクトされた XZIQUE 割り振り数)	A14EZQRJ	XZIQUE 出口によってリジェクトされた割り振り合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of XZIQUE allocate queue purges (XZIQUE 割り振りキューのパージ数)	A14EZQPU	この接続に対する XZIQUE 要求で発生した割り振りキューのパージの合計数です。 **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスした場合、このフィールドは等価モード・エントリー統計の合計も含みます。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of XZIQUE allocates purged (XZIQUE 割り振りのパージ数)	A14EZQPC	キューがこの接続に対してパージされる (A14EZQPU) XZIQUE 要求のために割り振りがパージされた回数の合計数です。 XZIQUE がこの機構を (応答によって) 指定変更していない場合、XZIQUE パージ機構が運用中のため、後続の割り振り要求はパージされ、この統計に含まれます。 **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスした場合、このフィールドは等価モード・エントリー統計の合計も含みます。 リセット特性: ゼロにリセット
File control (FC) function shipping requests (ファイル制御 (FC) 機能シップ要求)	A14ESTFC	機能シップに対するファイル制御要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Interval control IC) function shipping requests (インターバル制御機能 (IC) 機能シップ要求)	A14ESTIC	機能シップに対するインターバル制御機能要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 72. *ISC/IRC* システム・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Program control (PC) function shipping requests (プログラム制御 (PC) 機能シップ要求)	A14ESTPC	機能シップに対するプログラム制御リンク要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Transient data (TD) function shipping requests (一時データ (TD) 機能シップ要求)	A14ESTTD	機能シップに対する一時データ要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Temporary storage (TS) function shipping requests (一時記憶域 (TS) 機能シップ要求)	A14ESTTS	機能シップに対する一時記憶要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
DL/I function shipping requests (DL/I 機能シップ要求)	A14ESTDL	機能シップに対する DL/I 要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
端末共用要求数	A14ESTTC	トランザクション・ルーティング・コマンドの数です。この数は、トランザクションがルーティングされたとき、および端末入出力要求が領域間でルーティングされたときに、両方の領域で増分します。このフィールドは LU6.1 ではサポートされていません。 リセット特性: ゼロにリセット
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A14GACT	この接続が自動インストールされた GMT での時刻です。時間は時: 分: 秒. 小数部 で表されます。 DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) としての値が含まれます。 このフィールドは、自動インストールされた APPC 接続にのみ適用できます。 他のすべてのタイプの接続では、値はヌル (x'00') になります。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A14GADT	この接続が削除された GMT での時刻です。 時間は時: 分: 秒. 小数部 で表されます。 DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) としての値が含まれます。 このフィールドは、削除された自動インストール済み APPC 接続の場合にのみ設定されます。つまり、このフィールドは、非送信請求統計 (USS) レコード内でのみ設定されます。 他のすべてのタイプの接続、および他のすべてのタイプの統計レコードでは、値はヌル (x'00') になります。 リセット特性: リセットなし
Terminal-sharing channel requests (端末共用チャネル要求)	A14ESTTC_CHANNEL	端末共用チャネル要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 72. *ISC/IRC* システム・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of bytes sent on terminal-sharing channel requests (端末共用チャネル要求で送信されるバイト数)	A14ESTTC_CHANNEL_SENT	端末共用チャネル要求で送信されるバイト数です。 これは、この接続で送信された、制御情報を含めたデータの総量です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of bytes received on terminal-sharing channel requests (端末共用チャネル要求で受信されるバイト数)	A14ESTTC_CHANNEL_RCVD	端末共用チャネル要求で受信したバイト数です。 これは、この接続で送信された、制御情報を含めたデータの総量です。 リセット特性: ゼロにリセット
Program control function-shipping LINK requests, with channels (チャネルつきプログラム制御機能シップ LINK 要求)	A14ESTPC_CHANNEL	機能シップに対するチャネルつきプログラム制御 LINK 要求の数です。 これは、A14ESTPC の数のサブセットです。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of bytes sent on LINK channel requests (LINK チャネル要求で送信されるバイト数)	A14ESTPC_CHANNEL _SENT	LINK チャネル要求で送信されるバイト数です。これは、この接続で送信された、制御情報を含めたデータの総量です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of bytes received on LINK channel requests (LINK チャネル要求で受信されるバイト数)	A14ESTPC_CHANNEL _RCVD	LINK チャネル要求で受信したバイト数です。 これは、この接続で受信された、制御情報を含めたデータの総量です。 リセット特性: ゼロにリセット
Interval control function-shipping START requests, with channels (チャネルつきインターバル制御機能シップ START 要求)	A14ESTIC_CHANNEL	機能シップに対するチャネルつきインターバル制御機能 START 要求の数です。 これは、A14ESTIC の数のサブセットです。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of bytes sent on START channel requests (START チャネル要求で送信されるバイト数)	A14ESTIC_CHANNEL_SENT	START チャネル要求で送信されるバイト数です。 これは、この接続で送信された、制御情報を含めたデータの総量です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 72. *ISC/IRC* システム・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of bytes received on START channel requests (START チャネル要求で受信されるバイト数)	A14ESTIC_CHANNEL_RCVD	START チャネル要求で受信されるバイト数です。 これは、接続で送信されるデータの量の合計であり、制御情報を含みます。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A14ESTPC_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳細については、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A14ESTPC_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A14ESTPC_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A14ESTPC_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A14ESTPC_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A14ESTPC_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	A14ESTPC_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

注**:**

1. APPC でのみ、割り振り要求がモード・グループを指定しない (つまり汎用割り振り要求である) 場合、CICS は使用可能なセッション内で最初のモード・グループを取得して、これらの割り振りに対する統計は、システム・エントリーとモード・エントリー (統計「Total generic allocates satisfied (満たされた一般割り振り合計数)」) に対して報告されます。割り振りが明確にモード・エントリーを要求している (つまり特定の割り振り要求である) 場合、これらの割り振りに対する統計は、そのモード・エントリーを対象とします。

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容に

ついて詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

ISC/IRC システム・エントリー: 要約リソース統計

ISC/IRC システム・エントリーの要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

表 *73. ISC/IRC* システム・エントリー*:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
接続名	CSD 内の CONNECTION 定義、または自動インストールによって定義されたシステム・エントリーです。
Connection netname (接続ネット名)	リモート・システムがネットワークで認識される名前、つまりアプリケーション ID です。
Access Method / Protocol (アクセス方式/プロトコル)	接続に使用される結合通信アクセス方式およびプロトコルです。
Average autoinstalled connection time (平均自動インストール済み接続時間)	平均自動インストール済み接続時間です。このフィールドは、自動インストール済み接続に適用されて、非送信請求システム・エントリー統計レコードのみから要約されます。
Send session count (送信セッション・カウント)	最後に検出された、CONNECTION 定義上で指定された SENDCOUNT の値です。このフィールドは、MRO および LU6.1 接続にのみ適用されます。
Receive session count (受信セッション・カウント)	最後に検出された、CONNECTION 定義上で指定された RECEIVECOUNT の値です。このフィールドは、MRO、LU6.1、および EXCI 接続にのみ適用されます。
Average number of aids in chain (チェーン内の AID の平均数)	自動開始記述子チェーン内の AID の平均数です。
Average number of generic aids in chain (チェーン内の汎用 AID の平均数)	割り振り要求を満たすためにセッションが使用可能になるのを待機している自動開始記述子の平均数です。
Average peak number of aids in chain (チェーン内の AID の平均ピーク数)	AID チェーン内に存在していた自動開始記述子のピーク数の平均です。
コンテンション敗者によって満たされる ATI 数	コンテンション敗者セッション (LU6.1 の 1 次) によって満たされる ATI 要求 (キューに入れられた割り振り) の合計数です。IRC システム・エントリーの場合、これは常にゼロです。
コンテンション勝者によって満たされる ATI 数	コンテンション勝者セッション (LU6.1 の 2 次) によって満たされる ATI 要求 (キューに入れられた割り振り) の合計数です。このフィールドは、システム・エントリーが IRC を対象としているときの ATI の合計です。
コンテンション敗者のピーク数	ある特定の時点で使用されたコンテンション敗者セッション (LU6.1 の 1 次) のピーク数です。
コンテンション勝者のピーク数	ある特定の時点で使用されたコンテンション勝者セッション (LU6.1 の 2 次) のピーク数です。
送られた送信権要求の合計数	送信された送信権要求の合計数です。 送信権要求は LU6.1 RECEIVE セッション上でのみ送信されます。このフィールドは、IRC および APPC システム・エントリーに対しては、常にゼロになります。
Average bids in progress (進行中の平均送信権要求)	進行中の送信権要求の平均数です。 送信権要求は LU6.1 RECEIVE セッション上でのみ送信されます。このフィールドは、IRC および APPC システム・エントリーに対しては、常にゼロになります。

表 73. *ISC/IRC* システム・エントリー: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
進行中の送信権要求のピーク数	ある特定の時点で進行中であった送信権要求のピーク数です。送信権要求は LU6.1 RECEIVE セッション上でのみ送信されます。このフィールドは、IRC および APPC システム・エントリーに対しては、常にゼロになります。
Peak outstanding allocates (未解決割り振りのピーク数)	このシステムに対して待機していた割り振り要求のピーク数です。APPC では、このフィールドは汎用割り振り要求のみを含みます。
詳しくは、1 (131 ページ) を参照してください。	
Total number of allocates (割り振り合計数)	このシステムに対する割り振り要求の合計数です。APPC では、このフィールドは汎用割り振り要求のみを含みます。
詳しくは、1 (131 ページ) を参照してください。	
Average number of queued allocates (キューに入れられた割り振りの平均数)	このシステムに対するキューに入れられた割り振り要求の平均数です。APPC では、このフィールドは汎用割り振り要求に対してのみ増分します。
詳しくは、1 (131 ページ) を参照してください。	
Failed link allocates (失敗したリンク割り振り数)	接続のリリース、サービス休止、またはクローズされたモード・グループによって失敗した割り振り要求の合計数です。APPC では、このフィールドは汎用割り振り要求に対してのみ増分します。
詳しくは、1 (131 ページ) を参照してください。	
Failed allocates due to sessions in use (使用中セッションのために失敗した割り振り数)	セッションが現在使用できないことによって失敗した割り振り要求の合計数です。これらの要求は、割り振りに対して SYSBUSY 応答を取得します。このフィールドは、AAL1 異常終了コードを出力して失敗している割り振りに対して増分します。APPC では、このフィールドは汎用割り振り要求に対してのみ増分します。
詳しくは、1 (131 ページ) を参照してください。	
Maximum queue time (seconds) (最大キュー時間 (秒))	最後に検出された、CONNECTION 定義上で指定された MAXQTIME パラメーターのゼロ以外の値です。この値は、この接続の割り振りキューを処理するのに必要な最大時間を表します。割り振りキューの処理時間がこれよりも長い場合、キュー全体がパージされます。この値は、QUEUELIMIT 値に到達している場合にのみ有効です。
Allocate queue limit (割り振りキュー限度)	最後に検出された、CONNECTION 定義上で指定された QUEUELIMIT パラメーターのゼロ以外の値です。この値に到達した場合、割り振りはリジェクトされます。
Number of QUEUELIMIT allocates rejected (リジェクトされた QUEUELIMIT 割り振り数)	QUEUELIMIT 値に到達しているためにリジェクトされた割り振り合計数です。
Number of MAXQTIME allocate queue purges (MAXQTIME 割り振りキューのパージ数)	MAXQTIME 値のために割り振りキューがパージされた回数の合計数です。キューを処理する合計時間が MAXQTIME 値を超過したとき、キューがパージされます。

表 73. *ISC/IRC* システム・エントリー: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Number of MAXQTIME allocates purged (MAXQTIME 割り振りのパージ数)	キューの処理時間が MAXQTIME 値を超過したために割り振りがパージされた合計数です。 この機構が起動した後でセッションが解放されない場合、MAXQTIME パージ機構が運用中のため、後続の割り振り要求はパージされ、この統計に含まれます。
Number of XZIQUE allocates rejected (リジェクトされた XZIQUE 割り振り数)	XZIQUE 出口によってリジェクトされた割り振り合計数です。
Number of XZIQUE allocate queue purges (XZIQUE 割り振りキューのパージ数)	この接続に対する XZIQUE 要求で発生した割り振りキューのパージの合計数です。
Number of XZIQUE allocates purged (XZIQUE 割り振りのパージ数)	キューがこの接続に対してパージされる XZIQUE 要求のために割り振りがパージされた回数の合計数です。 XZIQUE がこの機構を (応答によって) 指定変更していない場合、XZIQUE パージ機構が運用中のため、後続の割り振り要求はパージされ、この統計に含まれます。
File control (FC) function shipping requests (ファイル制御 (FC) 機能シップ要求)	機能シップに対するファイル制御要求の合計数です。
Interval control (IC) function shipping requests (インターバル制御 (IC) 機能シップ要求)	機能シップに対するインターバル制御機能要求の合計数です。
Program control (PC) function shipping requests (プログラム制御 (PC) 機能シップ要求)	機能シップに対するプログラム制御リンク要求の合計数です。
Transient data (TD) function shipping requests (一時データ (TD) 機能シップ要求)	機能シップに対する一時データ要求の合計数です。
Temporary storage (TS) function shipping requests (一時記憶域 (TS) 機能シップ要求)	機能シップに対する一時記憶要求の合計数です。
DL/I function shipping requests (DL/I 機能シップ要求)	機能シップに対する DL/I 要求の合計数です。
端末共用要求数	トランザクション・ルーティング・コマンドの合計数です。この数は、トランザクションがルーティングされたとき、および端末入出力要求が領域間でルーティングされたときに、両方の領域で増分します。このフィールドは LU6.1 ではサポートされていません。

注:

1. APPC でのみ、割り振り要求がモード・グループを指定しない (つまり汎用割り振り要求である) 場合、CICS は使用可能なセッション内で最初のモード・グループを取得して、これらの割り振りに対する統計は、システム・エントリーとモード・エントリー (統計「Total generic allocates satisfied (満たされた一般割り振り合計数)」) に対して報告されます。割り振りが明確にモード・エントリーを要求している (つまり特定の割り振り要求である) 場合、これらの割り振りに対する統計は、そのモード・エントリーを対象とします。

ISC モード・エントリー: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS コマンドを使ってこれらの統計を取得することはできません。オフライン処理のためにのみ生成されます (SMF に書き込まれます)。

これらの統計は、APPC 接続がご使用の CICS 領域で定義されている場合にのみ収集されて、次に、その接続で定義された各モード・グループに対して生成されます。

これらの統計は、DFHA20DS DSECT によってマップされます。 この DSECT は、モード・エントリー合計レコードのマップにも使用されます。

表 *74. ISC* モード・エントリー: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A20SYSN	このモード・エントリーを所有している APPC 接続/システムの名前です。 CSD 内の CONNECTION 定義、または自動インストールによって定義されたシステム・エントリーに対応しています。 リセット特性: リセットなし
モード名	A20MODE	システム間接続名 (A20SYSN) に関連したモード・グループ名です。これは、セッション定義のモードネームに対応しています。 リセット特性: リセットなし
コンテンション敗者によって満たされる ATI 数	A20ES1	このモード・グループに属する「コンテンション敗者」セッションによって満たされる ATI 要求 (キューに入れられた割り振り) の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
コンテンション勝者によって満たされる ATI 数	A20ES2	このモード・グループに属する「コンテンション勝者」セッションによって満たされる ATI 要求 (キューに入れられた割り振り) の数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 74. *ISC* モード・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current contention losers in use (使用中の現行コンテンション敗者)	A20E1RY	現在使用中のコンテンション敗者のセッション数です。 リセット特性: リセットなし
コンテンション敗者のピーク数	A20E1HWM	このモード・グループに属する、ある特定の時点で使用された「コンテンション敗者」セッションのピーク数です。 「コンテンション勝者」または「コンテンション敗者」として (MAXIMUM パラメーターによって) 定義されないセッションがある可能性があり、状態は、バインド時間で動的に決定されます。 リセット特性: 現行値にリセット
Current contention winners in use (使用中の現行コンテンション勝者)	A20E2RY	現在使用中のコンテンション勝者のセッション数です。 リセット特性: リセットなし
コンテンション勝者のピーク数	A20E2HWM	このモード・グループに属する、ある特定の時点で使用された「コンテンション勝者」セッションのピーク数です。 「コンテンション勝者」または「コンテンション敗者」として (MAXIMUM パラメーターによって) 定義されないセッションがある可能性があり、状態は、バインド時間で動的に決定されます。 リセット特性: 現行値にリセット
送られた送信権要求の合計数	A20ESBID	このモード・グループに対して定義されたセッション上で送信された送信権要求の数です。 割り振りに使用可能な「コンテンション勝者」セッションがない場合、送信権要求は APPC 「コンテンション敗者」セッション上で送信されます。 リセット特性: ゼロにリセット
進行中の現行送信権要求数	A20EBID	このモード・グループに対して定義されたセッション上で進行中の送信権要求の数です。 割り振りに使用可能な「コンテンション勝者」セッションがない場合、送信権要求は APPC 「コンテンション敗者」セッション上で送信されます。 リセット特性: リセットなし

表 74. *ISC* モード・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
進行中の送信権要求のピーク数	A20EBHWM	このモード・グループに対して定義されたセッション上である特定の時点で進行中だった送信権要求のピーク数です。 割り振りに使用可能な「コンテンション勝者」セッションがない場合、送信権要求は APPC 「コンテンション敗者」セッション上で送信されます。 リセット特性: 現行値にリセット
Peak outstanding allocates (未解決割り振りのピーク数) 詳しくは、1 (135 ページ) を参照してください。	A20ESTAM	このモード・グループに対して待機していた割り振り要求のピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Total specific allocate requests (特定割り振り合計要求数) 詳しくは、1 (135 ページ) を参照してください。	A20ESTAS	このモード・グループに対する特定の割り振り要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Total specific allocates satisfied (満たされた特定割り振り合計数) 詳しくは、1 (135 ページ) を参照してください。	A20ESTAP	このモード・グループによって満たされた特定の割り振りの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
満たされた一般割り振り合計数	A20ESTAG	このモード・グループから満たされた汎用割り振りの数です。 割り振りは、モード・グループを指定しないで APPC に対して作成されています。 リセット特性: ゼロにリセット
Queued allocates (キューに入れられた割り振り数) 詳しくは、1 (135 ページ) を参照してください。	A20ESTAQ	このモード・グループに対する特定のキューに入れられた割り振り要求の現在の数です。 割り振りは、このモード・グループ内の現在使用できないセッションが原因で待機しています。 これには、バインド、送信権要求、または現在使用中のすべてのセッションへの待機が含まれます。 リセット特性: リセットなし
Failed link allocates (失敗したリンク割り振り数) 詳しくは、1 (135 ページ) を参照してください。	A20ESTAF	接続のリリース、サービス休止、またはクローズされたモード・グループによって失敗した特定の割り振り要求の数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 74. *ISC* モード・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Failed allocates due to sessions in use (使用中セッションのために失敗した割り振り数) 詳しくは、1 (135 ページ) を参照してください。	A20ESTAO	このモード・グループ内のセッションが現在使用できないことによって失敗した特定の割り振り要求の数です。 これらの要求は、割り振りに対して SYSBUSY 応答を取得します。このフィールドは、AAL1 異常終了コードを出力して失敗している割り振りに対して増分します。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of XZIQUE allocate queue purges (XZIQUE 割り振りキューのパージ数)	A20EQPCT	このモード・エントリーに対する XZIQUE 要求で発生した割り振りキューのパージの合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of XZIQUE allocates purged (XZIQUE 割り振りのパージ数)	A20EZQPC	キューがこのモード・エントリーに対してパージされる (A20EQPCT) XZIQUE 要求のために割り振りがパージされた回数の合計数です。 XZIQUE がこの機構を (応答によって) 指定変更していない場合、XZIQUE パージ機構が運用中のため、後続の割り振り要求はパージされ、この統計に含まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
Maximum session count (最大セッション・カウント)	A20ELMAX	セッション・グループの定義が許可するセッションの最大数です。 リセット特性: リセットなし
Current maximum session count (現在の最大セッション・カウント)	A20EMAXS	グループ内のセッションの現在の数 (「バインド済み」の数) です。 リセット特性: リセットなし
Maximum contention winners acceptable (許容できる最大コンテンション勝者)	A20EMCON	セッション・グループの定義がコンテンション勝者であることを許可するセッションの最大数です。 リセット特性: リセットなし
Current CNOS contention losers (現行 CNOS コンテンション敗者)	A20ECONL	CNOS 折衝された現在のコンテンション敗者のセッション数です。 リセット特性: リセットなし

表 74. *ISC* モード・エントリー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current CNOS contention winners (現行 CNOS コンテンション勝者)	A20ECONW	CNOS 折衝された現在のコンテンション勝者のセッション数です。 リセット特性: リセットなし

注**:**

1. このフィールドは、割り振りが特定のモード・グループに対して発行されたときに増分します。 汎用割り振り要求が作成された場合、相当するシステム・エントリー統計のみ が増分します。

ISC モード・エントリー**:** 要約リソース統計

ISC モード・エントリーの要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

これらの統計は、APPC 接続がご使用の CICS 領域で定義されている場合にのみ収集されて、次に、その接続で定義された各モード・グループに対して生成されます。

表 75. *ISC* モード・エントリー: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
接続名	このモード・エントリーを所有している APPC 接続/システムの名前です。
モード名	前の行のシステム間接続名に関連したモード・グループ名です。セッション定義内のモードネームに対応します。
コンテンション敗者によって満たされる ATI 数	このモード・グループに属する「コンテンション敗者」セッションによって満たされる ATI 要求 (キューに入れられた割り振り) の合計数です。
コンテンション勝者によって満たされる ATI 数	このモード・グループに属する「コンテンション勝者」セッションによって満たされる ATI 要求 (キューに入れられた割り振り) の合計数です。
コンテンション敗者のピーク数	このモード・グループに属する、ある特定の時点で使用された「コンテンション敗者」セッションのピーク数です。 「コンテンション勝者」または「コンテンション敗者」として定義されないセッションがある可能性があり、状態は、バインド時間で動的に決定されます。
コンテンション勝者のピーク数	このモード・グループに属する、ある特定の時点で使用された「コンテンション勝者」セッションのピーク数です。 「コンテンション勝者」または「コンテンション敗者」として定義されないセッションがある可能性があり、状態は、バインド時間で動的に決定されます。

表 75. *ISC* モード・エントリー: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
送られた送信権要求の合計数	このモード・グループに対して定義されたセッション上で送信された送信権要求の合計数です。 割り振りに使用可能な「コンテンション勝者」セッションがない場合、送信権要求は APPC 「コンテンション敗者」セッション上で送信されます。
Average bids in progress (進行中の平均送信権要求)	進行中の送信権要求の平均数です。
進行中の送信権要求のピーク数	このモード・グループに対して定義されたセッション上である特定の時点で進行中だった送信権要求のピーク数です。 割り振りに使用可能な「コンテンション勝者」セッションがない場合、送信権要求は APPC 「コンテンション敗者」セッション上で送信されます。
Peak outstanding allocates (未解決割り振りのピーク数)	このモード・グループに対して待機していた割り振り要求のピーク数です。
詳しくは、1 (137 ページ) を参照してください。	
Total specific allocate requests (特定割り振り合計要求数)	このモード・グループに対する特定の割り振り要求の合計数です。
詳しくは、1 (137 ページ) を参照してください。	
Total specific allocates satisfied (満たされた特定割り振り合計数)	このモード・グループによって満たされた特定の割り振り合計数です。
詳しくは、1 (137 ページ) を参照してください。	
満たされた一般割り振り合計数	このモード・グループから満たされた汎用割り振り合計数です。 割り振りは、モード・グループを指定しないで APPC に対して作成されています。
Average number of queued allocates (キューに入れられた割り振りの平均数)	このモード・グループに対する特定のキューに入れられた割り振り要求の平均数です。割り振りは、このモード・グループ内の現在使用できないセッションが原因で待機しています。 これには、バインド、送信権要求、または現在使用中のすべてのセッションへの待機が含まれます。
詳しくは、1 (137 ページ) を参照してください。	
Failed link allocates (失敗したリンク割り振り数)	接続のリリース、サービス休止、またはクローズされたモード・グループによって失敗した特定の割り振り要求の合計数です。
詳しくは、1 (137 ページ) を参照してください。	
Failed allocates due to sessions in use (使用中セッションのために失敗した割り振り数)	このモード・グループ内のセッションが現在使用できないことによって失敗した特定の割り振り要求の合計数です。 これらの要求は、割り振りに対して SYSBUSY 応答を取得します。このフィールドは、AAL1 異常終了コードを出力して失敗している割り振りに対して増分します。
詳しくは、1 (137 ページ) を参照してください。	

表 75. *ISC* モード・エントリー: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Number of XZIQUE allocate queue purges (XZIQUE 割り振りキューのパージ数)	このモード・エントリーに対する XZIQUE 要求で発生した割り振りキューのパージの合計数です。
Number of XZIQUE allocates purged (XZIQUE 割り振りのパージ数)	キューがこのモード・エントリーに対してパージされる (XZIQUE 割り振りキューのパージ数) XZIQUE 要求のために割り振りがパージされた回数の合計数です。 XZIQUE がこの機構を (応答によって) 指定変更していない場合、XZIQUE パージ機構が運用中のため、後続の割り振り要求はパージされ、この統計に含まれます。

注:

1. 以下の 3 つのフィールドには、特定のモード・グループに対する割り振りのみが含まれます。汎用割り振り要求は、相当するシステム・エントリー統計に含まれます。

ISC/IRC 接続時間エントリー統計の解釈

DFHSTUP リストの ISC/IRC 接続時間統計は、システム間連絡および領域間通信を使用する CICS システムを対象としています。 この統計では、持続検査の「サインオン元」リストのエントリーが再使用されたか、またはタイムアウトしたかの回数を対象とした要約統計を提供します。このデータを使用することで、USRDELAY および PVDELAY システム初期設定パラメーターを調整できます。

ISC および IRC 接続時間エントリー統計の解釈

ISC および IRC サインオン・アクティビティーおよび ISC 持続検査 (PV) アクティビティーは、**USRDELAY** および **PVDELAY** システム初期設定パラメーターの最適な設定に関する情報を提供します。

サインオン・アクティビティーにおける再使用エントリーの数が小さく、サインオン・アクティビティーのタイムアウト・エントリー 値が高い場合は、**USRDELAY** システム初期設定パラメーターの値を増やします。 エントリー間の平均再使用時間の値から、**USRDELAY** システム初期設定パラメーターに設定できる時間を判断できます。

USRDELAY システム初期設定パラメーターを検討してください。 z/OS 1.11 以降では、RACF® プロファイルに変更が生じるとすぐに CICS に通知されるからです。

ISC 持続検査 (PV) アクティビティー。 PV アクティビティーにおける再使用エントリーの数が小さく、タイムアウト・エントリー値が高い場合は、**PVDELAY** システム初期設定パラメーターを増やします。 エントリー間の平均再使用時間の値から、**PVDELAY** システム初期設定パラメーターに設定できる時間を判断できます。

多くのサインオンまたは PV エントリーがタイムアウトになって、再使用されるエントリーが多くない場合は、セキュリティー検査のために、RACF などの外部セキュリティー・マネージャーに対する呼び出しを行う必要があるため、パフォーマンスが低下する場合があります。

ISC/IRC 接続時間: リソース統計

ご使用の CICS 領域で LU6.2 接続または IRC のいずれかが定義されていて、システムごとに 1 つ、それがグローバルに作成されている場合、これらの統計が収集されます。

これらの統計は **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドを使って取得できません。これらは、オフライン処理用にのみ作成されます (SMF に書き込まれます)。

これらの統計は DFHA21DS DSECT によりマップされます。

表 *76. ISC/IRC* 接続時間: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Persistent Verification refresh time (持続検査リフレッシュ時間)	A21_SIT_LUIT_TIME	PVDELAY システム初期設定パラメーターにより設定された時間 (分) です。 これによりパスワードの再検査インターバルが指定されます。 設定範囲はゼロから 10080 分 (7 日間) であり、デフォルトは 30 分です。 値がゼロに指定された場合は、エントリーは使用後即時に削除されます。 リセット特性: リセットなし
ISC Persistent Verification Activity: Entries reused (ISC 持続検査アクティビティー: 再利用エントリー数)	A21_LUIT_TOTAL_REUSES	RACF などの外部セキュリティー・マネージャー (ESM) を参照しないで再利用された、リモート・システムの PV「サインオン元」リストのエントリー数を意味します。 リセット特性: ゼロにリセット
ISC Persistent Verification Activity: Entries timed out (ISC 持続検査アクティビティー: タイムアウト・エントリー数)	A21_LUIT_TOTAL_TIMEOUT	タイムアウトしたリモート・システムの PV「サインオン元」リストのエントリー数を意味します。 リセット特性: ゼロにリセット
ISC Verification Activity: Average reuse time between (ISC 検査アクティビティー: エントリー間の平均再利用時間)	A21_LUIT_AV_REUSE_TIME	リモート・システムの PV「サインオン元」リストのエントリーの、各再利用の間で経過した平均時間を意味します。 リセット特性: ゼロにリセット

ISC/IRC 接続時間: サマリー・リソース統計

ISC/IRC 接続時間: 要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

ご使用の CICS 領域で LU6.2 接続または IRC のいずれかが定義されていて、システムごとに 1 つ、それがグローバルに作成されている場合のみ、これらの統計が収集されます。

表 77. *ISC/IRC* 接続時間: サマリー・リソース統計

DFHSTUP 名	説明
Persistent verification refresh time (持続検査リフレッシュ時間)	SIT の PVDELAY パラメーターにより設定された時間 (分) です。これには、リモート・システムの PV「サインオン元」リストで、エントリーを未使用に残すことができる時間が指定されます。
Entries reused (再利用エントリー数)	PV「サインオン元」リストのユーザー・エントリーが、リモート・システムの ESM を参照しないで再利用された回数を意味します。
Entries timed out (タイムアウト・エントリー数)	非アクティブの期間後にタイムアウトになった、PV「サインオン元」リストのユーザー・エントリーの数を意味します。
Average reuse time between entries (エントリー間の平均再利用時間)	PV「サインオン元」リストのユーザー・エントリーの、各再利用の間で経過した平均時間を意味します。

IPCONN 統計

IPCONN 統計を使用して IPIC 接続に関する問題を検出することができます。

IPIC については、システム間の通信を参照してください。

IPCONN 統計の解釈

IPCONN 統計の目的に関する情報。

注: SNA を介したシステム間通信 (SNA を介した ISC) および MRO 接続に関する情報は、ISC/IRC システムおよびモード・エントリー統計にあります。

これらの統計を見て答えを引き出す問題を以下に示します。

- 十分なセッション数が定義されていますか ?
- 受信セッションと送信セッションのバランスは正しいですか ?
- 統計レポートにおいて、標準または期待される数と比較して異常に大きな数がある場合にどうしたらいいでしょうか ?

IPCONN: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS システム・コマンドを使用して、IPCONN 統計を取得できます。これらの統計は DFHISRDS DSECT によってマップされます。

IPCONN 統計

IPCONN 統計を使用して IP 相互接続性 (IPIC) 接続に関する問題を検出することができます。

IPIC については、システム間の通信を参照してください。

この DSECT を使用して、以下の情報を処理します。

- 接続へのオンライン照会に対して戻されたデータ (EXEC CICS EXTRACT STATISTICS)
- オフラインでの接続統計 (SMF)
- 接続の合計 (この CICS 領域内のすべての定義された接続の合計)

表 *78. IPCONN:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
IPCONN Name (IPCONN 名)	ISR_IPCONN_NAME	CSD 内の IPCONN 定義または自動インストールによって定義される IPIC 接続の名前。 リセット特性: リセットなし
Autoinstalled IPCONN Create Date / Time (自動インストールされた IPCONN の作成日付 / 時刻)	ISR_IPCONN_CREATE_TIME	IPCONN が自動インストールされた日時。 示される時刻は、地方時です。 IPCONN が自動インストールされていない場合、このフィールドは表示されません。
Autoinstalled IPCONN Delete Date / Time (自動インストールされた IPCONN の削除日付 / 時刻)	ISR_IPCONN_DELETE_TIME	自動インストールされた IPCONN が削除された日時。 示される時刻は、地方時です。 IPCONN が自動インストールされていない場合、このフィールドは表示されません。
IPCONN Applid (IPCONN アプリケーション ID)	ISR_APPLID	システム初期設定テーブルで指定された、リモート・システムのアプリケーション ID。 リセット特性: リセットなし

表 78. IPCONN: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
IPCONN Network ID (IPCONN ネットワーク ID)	ISR_NETWORK_ID	リモート・システムのネットワーク ID (つまり、z/OS Communications Server NETID。z/OS Communications Server 以外のシステムの場合は、UOWNETQL システム初期設定パラメーターの値)。この ID は、APPLID と組み合わせて使用され、接続中のシステムの名前が固有のものになるようにします。 この名前は、最大 8 文字の長さにすることができ、アセンブラー言語規則に従います。 名前の先頭は英字にする必要があります。 この属性はオプションです。 オプションを指定しなかった場合、定義がインストール済みの CICS の z/OS Communications Server NETID (または、z/OS Communications Server 以外のシステムの場合は、UOWNETQL システム初期設定パラメーターの値) が使用されます。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Name (TCPIPSERVICE 名)	ISR_TCPIP_SERVICE	この接続のインバウンド処理の属性を定義する PROTOCOL(IPIC) TCPIPSERVICE 定義の名前。
IPCONN Port Number (IPCONN ポート番号)	ISR_PORT_NUMBER	この接続でのアウトバウンド要求の宛先を指定する、HOST 値と結合された 10 進数のポート番号。 リセット特性: リセットなし
IPCONN Host (IPCONN ホスト)	ISR_HOST_NAME	この接続のターゲット・システムのホスト名。 リセット特性: リセットなし
IPCONN IP Family (IPCONN IP ファミリー)	ISR_IPCONN_IP_FAMILY	IP 解決アドレスのアドレス・フォーマット。 リセット特性: リセットなし
IPCONN IP Resolved Address (IPCONN IP 解決アドレス)	ISR_IPCONN_IP_ADDRESS	ホストの IPv4 または IPv6 アドレス。 リセット特性: リセットなし

表 78. IPCONN: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Receive Sessions (受信セッション)	ISR_RECEIVE_SESSIONS	定義済みの受信セッションの数。 使用される受信セッションの実際の数は、リモート・システムで定義されている送信セッション数によっても異なります。 接続が確立されたら、これらの値は交換され、低いほうの値が使用されます。 リセット特性: リセットなし
Current Receive Sessions (現在の受信セッション)	ISR_CURRENT_RECEIVE_SESSIONS	この接続で使用中の受信セッションの現在の数。 リセット特性: 現行値にリセット
Peak Receive Sessions (ピークの受信セッション)	ISR_PEAK_RECEIVE_SESSIONS	この接続で使用中の受信セッションのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット
Total Allocates (割り振りの合計数)	ISR_TOTAL_ALLOCATES	この接続の割り振り要求の合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Current Allocates Queued (キューに入れられた現在の割り振り)	ISR_CURRENT_QUEUED_ALLOCATES	この接続のキューに入れられた割り振り要求の現在の数。 リセット特性: 現行値にリセット
Peak Allocates Queued (キューに入れられた割り振りのピーク数)	ISR_PEAK_QUEUED_ALLOCATES	この接続のキューに入れられた割り振り要求のピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット
Allocates Failed - Link (失敗した割り振り数 - リンク)	ISR_ALLOCATES_FAILED_LINK	接続の解放、またはサービス休止のために失敗した割り振り要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Allocate queue limit (割り振りキュー限度)	ISR_ALLOCATE_QUEUE_LIMIT	IPCONN 定義上で指定された QUEUELIMIT パラメーターの値。 この値は、空きセッションを待機する間に CICS がキューに入れる割り振り要求の最大数です。

表 *78. IPCONN:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Maximum queue time (seconds) (最大キュー時間 (秒))	ISR_MAX_QUEUE_TIME	IPCONN 定義上で指定された MAXQTIME。 この値は、応答していないように見える接続上で空きセッションを待っている、キューに入れられた割り振り要求が待機できる最大時間を表します。 最大キュー時間は、キュー限度が QUEUELIMIT で指定されている場合にのみ使用され、キューの長さがキュー限度値に達した場合にのみ制限時間が適用されます。 リセット特性: リセットなし
Number of MAXQTIME allocate queue purges (MAXQTIME 割り振りキューのパージ数)	ISR_MAXQTIME_ALLOC_QPURGES	MAXQTIME 値のために割り振りキューがパージされた回数の合計数。 キューを処理する合計時間が MAXQTIME 値を超過したとき、キューがパージされます。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of MAXQTIME allocates purged (MAXQTIME 割り振りのパージ数)	ISR_MAXQTIME_ALLOCS_PURGED	キュー時間が MAXQTIME 値を超えたためにパージされた割り振り要求の合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of transactions attached (トランザクション付加回数)	ISR_TRANS_ATTACHED	この接続に付加されたトランザクションの合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Remote Terminal Starts (リモート端末の開始数)	ISR_REMOTE_TERM_STARTS	リモート端末から送信された **START** 要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Transaction Routing requests (トランザクション・ルーティング要求)	ISR_TR_REQUESTS	この接続でのトランザクション・ルーティング要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 78. IPCONN: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Bytes Sent by Transaction Routing requests (トランザクション・ルーティング要求によって送信されたバイト数)	ISR_TR_BYTES_SENT	トランザクション・ルーティング要求で送信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Rcvd by Transaction Routing requests (トランザクション・ルーティング要求によって受信されたバイト数)	ISR_TR_BYTES_RECEIVED	トランザクション・ルーティング要求で受信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Send Sessions (送信セッション)	ISR_SEND_SESSIONS	定義済みの送信セッションの数。 使用されるセッションの実際の数は、パートナー・システムで定義済みの受信セッションの数によっても異なります。 接続が確立されたら、これらの値は交換され、低いほうの値が使用されます。 リセット特性: リセットなし
Current Send Sessions (現在の送信セッション)	ISR_CURRENT_SEND_SESSIONS	使用中の送信セッションの現在の数。 リセット特性: 現行値にリセット
Peak Send Sessions (ピークの送信セッション)	ISR_PEAK_SEND_SESSIONS	使用中の送信セッションのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット
Allocates Failed - Other (失敗した割り振り数 - その他)	ISR_ALLOCATES_FAILED_OTHER	他の理由により失敗した割り振り要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of QUEUELIMIT allocates rejected (リジェクトされた QUEUELIMIT 割り振り数)	ISR_QLIMIT_ALLOC_REJECTS	QUEUELIMIT 値に達したために拒否された割り振り要求の合計数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 78. IPCONN: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of XISQUE allocate requests rejected (拒否された XISQUE 割り振り要求の数)	ISR_XISQUE_ALLOC_REJECTS	XISQUE グローバル・ユーザー出口プログラムによって拒否された割り振り要求の合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of XISQUE allocate queue purges (XISQUE 割り振りキューのパージ数)	ISR_XISQUE_ALLOC_QPURGES	この接続に対する XISQUE 要求のために発生した割り振りキュー・パージの合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of XISQUE allocates purged (パージされた XISQUE 割り振り数)	ISR_XISQUE_ALLOCS_PURGED	割り振りキューがこの接続に対してパージされる (ISR_XISQUE_ALLOC_QPURGES) XISQUE 要求のために、割り振り要求がパージされた回数の合計数。 その後 XISQUE がこの指示を取り消していない場合、XISQUE パージ機構が運用中のため、後続の割り振り要求はパージされ、この統計に含まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
Function Shipped Program requests (機能シップされたプログラム要求)	ISR_FS_PG_REQUESTS	この接続での機能シップに対するプログラム制御 LINK 要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Sent by Program requests (プログラム要求によって送信されたバイト数)	ISR_FS_PG_BYTES_SENT	LINK 要求で送信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Received by Program requests (プログラム要求によって受信されたバイト数)	ISR_FS_PG_BYTES_RECEIVED	LINK 要求で受信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Function Shipped Interval Control requests (機能シップされたインターバル制御要求数)	ISR_FS_IC_REQUESTS	この接続での機能シップに対するインターバル制御機能要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 78. IPCONN: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Bytes Sent by Interval Control requests (インターバル制御要求によって送信されたバイト数)	ISR_FS_IC_BYTES_SENT	インターバル制御要求で送信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Rcvd by Interval Control Requests (インターバル制御要求によって受信されたバイト数)	ISR_FS_IC_BYTES_RECEIVED	インターバル制御要求によって受信されたバイト数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Function Shipped File Control requests (機能シップされたファイル制御要求数)	ISR_FS_FC_REQUESTS	この接続での機能シップに対するファイル制御機能要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Sent by File Control Requests (ファイル制御要求によって送信されたバイト数)	ISR_FS_FC_BYTES_SENT	ファイル制御要求で送信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Rcvd by File Control Requests (ファイル制御要求によって受信されたバイト数)	ISR_FS_FC_BYTES_RECEIVED	ファイル制御要求によって受信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Function Shipped Transient Data Requests (機能シップされた一時データ要求数)	ISR_FS_TD_REQUESTS	この接続での機能シップに対する一時データ要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Sent by Transient Data Requests (一時データ要求によって送信されたバイト数)	ISR_FS_TD_BYTES_SENT	一時データ要求で送信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Rcvd by Transient Data Requests (一時データ要求によって受信されたバイト数)	ISR_FS_TD_BYTES_RECEIVED	一時データ要求で受信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 78. IPCONN: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Function Shipped Temporary Storage Requests (機能シップされた一時記憶域要求)	ISR_FS_TS_REQUESTS	この接続での機能シップに対する一時記憶域要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Sent by Temporary Storage Requests (一時記憶域要求によって送信されたバイト数)	ISR_FS_TS_BYTES_SENT	一時記憶域要求で送信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Rcvd by Temporary Storage Requests (一時記憶域要求によって受信されたバイト数)	ISR_FS_TS_BYTES_RECEIVED	一時記憶域要求で受信されたバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Unsupported Requests (サポートされない要求数)	ISR_UNSUPPORTED_REQUESTS	この接続を介してサポートされない機能に対する要求を経路指定しようとした試行回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_IPCONN_GMT_CREATE_TIME	IPCONN が自動インストールされた日時。 示される時刻は GMT です。 IPCONN が自動インストールされていない場合、このフィールドは表示されません。
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_IPCONN_GMT_DELETE_TIME	自動インストールされた IPCONN が削除された日時。 示される時刻は GMT です。 IPCONN が自動インストールされていない場合、このフィールドは表示されません。
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_SSL_SUPPORT	Secure Socket Layer (SSL) 認証がサポートされるかどうか。 SSL_YES SSL_NO リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_USERAUTH	使用されるユーザー認証のタイプ DEFAULTUSER IDENTIFY LOCAL VERIFY リセット特性: リセットなし

表 78. IPCONN: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_LINKAUTH	使用されるリンク認証のタイプ CERTUSER SECUSER リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_IPCONN_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。 この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_IPCONN_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_IPCONN_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_IPCONN_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_IPCONN_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_IPCONN_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_IPCONN_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

表 78. IPCONN: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	ISR_MIRRORLIFE	この領域で受信された機能シップされた要求のミラー・タスクの最小存続時間。 REQUEST TASK UOW リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

IPCONN: 要約リソース統計

各 IPCONN のリソース統計の要約リスト。 IPCONN 統計を使用して IP 相互接続性 (IPIC) 接続に関する問題を検出することができます。

要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

IPIC については、システム間の通信を参照してください。

表 79. IPCONN: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
IPCONN Name (IPCONN 名)	CSD 内の IPCONN 定義または自動インストールによって定義される IPIC 接続の名前。
Autoinstalled IPCONN Create Date / Time (自動インストールされた IPCONN の作成日付 / 時刻)	IPCONN が自動インストールされた日時。 示される時刻は、地方時です。 IPCONN が自動インストールされていない場合、このフィールドは表示されません。
Autoinstalled IPCONN Delete Date / Time (自動インストールされた IPCONN の削除日付 / 時刻)	自動インストールされた IPCONN が削除された日時。 示される時刻は、地方時です。 IPCONN が自動インストールされていない場合、このフィールドは表示されません。
IPCONN Applid (IPCONN アプリケーション ID)	システム初期設定テーブルで指定された、リモート・システムのアプリケーション ID。

表 79. *IPCONN:* 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
IPCONN Network ID (IPCONN ネットワーク ID)	リモート・システムのネットワーク ID (つまり、z/OS Communications Server NETID。z/OS Communications Server 以外のシステムの場合は、UOWNETQL システム初期設定パラメーターの値)。この ID は、APPLID と組み合わせて使用され、接続中のシステムの名前が固有のものになるようにします。 この名前は、最大 8 文字の長さにすることができ、アセンブラー言語規則に従います。 名前の先頭は英字にする必要があります。 この属性はオプションです。 オプションを指定しなかった場合、定義がインストール済みの CICS の z/OS Communications Server NETID (または、z/OS Communications Server 以外のシステムの場合は、UOWNETQL システム初期設定パラメーターの値) が使用されます。
TCPIPSERVICE name (TCPIPSERVICE 名)	この接続のインバウンド処理の属性を定義する PROTOCOL(IPIC) TCPIPSERVICE 定義の名前。
IPCONN Port Number (IPCONN ポート番号)	この接続でのアウトバウンド要求の宛先を指定する、HOST 値と結合された 10 進数のポート番号。
IPCONN Host (IPCONN ホスト)	この接続のターゲット・システムのホスト名。
IPCONN IP Family (IPCONN IP ファミリー)	IP 解決アドレスのアドレス・フォーマット。
IPCONN IP Resolved Address (IPCONN IP 解決アドレス)	ホストの IPv4 または IPv6 アドレス。
Receive Sessions (受信セッション)	定義済みの受信セッションの数。
Peak Receive Sessions (ピークの受信セッション)	この接続で使用中の受信セッションのピーク数。
Total Allocates (割り振りの合計数)	この接続の割り振り要求の合計数。
Peak Allocates Queued (キューに入れられた割り振りのピーク数)	この接続のキューに入れられた割り振り要求のピーク数。
Allocates Failed - Link (失敗した割り振り数 - リンク)	接続の解放、またはサービス休止のために失敗した割り振り要求の数。
Allocate queue limit (割り振りキュー限度)	IPCONN 定義上で指定された QUEUELIMIT パラメーターの値。 この値は、空きセッションを待機する間に CICS がキューに入れる割り振り要求の最大数です。
Maximum queue time (seconds) (最大キュー時間 (秒))	IPCONN 定義上で指定された MAXQTIME。 この値は、応答していないように見える接続上で空きセッションを待っている、キューに入れられた割り振り要求が待機できる最大時間を表します。 最大キュー時間は、キュー限度が QUEUELIMIT で指定されている場合にのみ使用され、キューの長さがキュー限度値に達した場合にのみ制限時間が適用されます。
Number of MAXQTIME allocate queue purges (MAXQTIME 割り振りキューのパージ数)	MAXQTIME 値のために割り振りキューがパージされた回数の合計数。 キューを処理する合計時間が MAXQTIME 値を超過したとき、キューがパージされます。

表 79. *IPCONN:* 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Number of MAXQTIME allocates purged (MAXQTIME 割り振りのパージ数)	キュー時間が MAXQTIME 値を超えたためにパージされた割り振り要求の合計数。
Number of transactions attached (トランザクション付加回数)	この接続に付加されたトランザクションの合計数。
Function Shipped Program requests (機能シップされたプログラム要求)	この接続での機能シップに対するプログラム制御 LINK 要求の数。
Bytes Sent by Program requests (プログラム要求によって送信されたバイト数)	LINK 要求で送信されたバイト数。
Bytes Received by Program requests (プログラム要求によって受信されたバイト数)	LINK 要求で受信されたバイト数。
Function Shipped Interval Control requests (機能シップされたインターバル制御要求数)	この接続での機能シップに対するインターバル制御機能要求の数。
Bytes Sent by Interval Control Requests (インターバル制御要求によって送信されたバイト数)	インターバル制御要求で送信されたバイト数。
Bytes Rcvd by Interval Control Requests (インターバル制御要求によって受信されたバイト数)	インターバル制御要求によって受信されたバイト数です。
Send Sessions (送信セッション)	定義済みの送信セッションの数。 使用されるセッションの実際の数は、パートナー・システムで定義済みの受信セッションの数によっても異なります。 接続が確立されたら、これらの値は交換され、低いほうの値が使用されます。
Peak Send Sessions (ピークの送信セッション)	使用中の送信セッションのピーク数。
Allocates Failed - Other (失敗した割り振り数 - その他)	他の理由により失敗した割り振り要求の数。
Number of QUEUELIMIT allocates rejected (リジェクトされた QUEUELIMIT 割り振り数)	QUEUELIMIT 値に達したために拒否された割り振り要求の合計数。

表 79. *IPCONN:* 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Number of XISQUE allocates rejected (リジェクトされた XISQUE 割り振り数)	XISQUE グローバル・ユーザー出口プログラムによって拒否された割り振り要求の合計数。
Number of XISQUE allocate queue purges (XISQUE 割り振りキューのパージ数)	この接続に対する XISQUE 要求のために発生した割り振りキュー・パージの合計数。
Number of XISQUE allocates purged (パージされた XISQUE 割り振り数)	割り振りキューがこの接続に対してパージされる (ISR_XISQUE_ALLOC_QPURGES) XISQUE 要求のために、割り振り要求がパージされた回数の合計数。 その後 XISQUE がこの指示を取り消していない場合、XISQUE パージ機構が運用中のため、後続の割り振り要求はパージされ、この統計に含まれます。
Remote Terminal Starts (リモート端末の開始数)	リモート端末から送信された **START** 要求の総数。
Transaction Routing requests (トランザクション・ルーティング要求)	この接続でのトランザクション・ルーティング要求の数。
Bytes Sent by Transaction Routing requests (トランザクション・ルーティング要求によって送信されたバイト数)	トランザクション・ルーティング要求で送信されたバイト数。
Bytes Rcvd by Transaction Routing requests (トランザクション・ルーティング要求によって受信されたバイト数)	トランザクション・ルーティング要求で受信されたバイト数。
Function Shipped File Control requests (機能シップされたファイル制御要求数)	この接続での機能シップに対するファイル制御機能要求の数。
Bytes Sent by File Control Requests (ファイル制御要求によって送信されたバイト数)	ファイル制御要求で送信されたバイト数。
Bytes Rcvd by File Control Requests (ファイル制御要求によって受信されたバイト数)	ファイル制御要求によって受信されたバイト数。
Function Shipped Temporary Storage Requests (機能シップされた一時記憶域要求)	この接続での機能シップに対する一時記憶域要求の数。

表 79. IPCONN: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Bytes Sent by Temporary Storage Requests (一時記憶域要求によって送信されたバイト数)	一時記憶域要求で送信されたバイト数。
Bytes Rcvd by Temporary Storage Requests (一時記憶域要求によって受信されたバイト数)	一時記憶域要求で受信されたバイト数。
Function Shipped Transient Data Requests (機能シップされた一時データ要求数)	この接続での機能シップに対する一時データ要求の数。
Bytes Sent by Transient Data Requests (一時データ要求によって送信されたバイト数)	一時データ要求で送信されたバイト数。
Bytes Rcvd by Transient Data Requests (一時データ要求によって受信されたバイト数)	一時データ要求で受信されたバイト数。
Unsupported Requests (サポートされない要求数)	この接続を介してサポートされない機能に対する要求を経路指定しようとした試行回数。

ジャーナル名統計

CICS は、単一領域のアクティビティーの分析に使用できる、各ジャーナルに書き込まれるデータに関する統計を収集します。

ジャーナル名統計には、以下のような、各ジャーナルの使用に関するデータが含まれています。

- ジャーナルのタイプ (MVS ロガー、SMF、またはダミー)
- MVS ロガー・ジャーナル・タイプのみのログ・ストリーム名
- API ジャーナル書き込みの数
- 書き込まれるバイト数
- ログ・ストリームまたは SMF へのジャーナル・データのフラッシュの数

このリストの最後の 3 項目の、CICS システムのジャーナル名統計は常にゼロであることに注意してください。

ジャーナル名は、書き込まれる宛先ログ・ストリームを示す便利な手段です。 CICS アプリケーションは、ジャーナル名を使用してデータをジャーナルに書き込みます。CICS 自身は、通常、CICS ログ・マネージャーに要求を出すときには基礎的なログ・ストリーム名を使用します。よって、ジャーナル名およびログ・ストリーム・リソース統計を解釈する場合は、これを考慮に入れる必要があります。 例え

ば、これらの統計は、ログ・ストリームに対する多くの操作を示す場合があります。しかし、そのログ・ストリームにマップされるジャーナル名に書き込まれる操作は、あったとしても比較的少ない操作です。 このことは、ログ・ストリーム・レベルでリソースにアクセスするのは CICS であり、CICS アプリケーション・プログラミング・インターフェースによって書き込むアプリケーションではないことを示しています。 これらの結果は、通常、DFHLOG および DFHSHUNT のジャーナル名リソース統計を調べ、それらを、関連する CICS システム・ログ・ストリームのリソース統計と比較するときに見ることができます。

ロギングおよびジャーナリングの詳細については、CICS ロギングおよびジャーナリングを参照してください。

ジャーナル名: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS JOURNALNAME システム・コマンドを使用して、ジャーナル名の統計を取得できます。これらの統計は DFHLGRDS DSECT によってマップされます。

ロギングおよびジャーナリングの詳細については、CICS ロギングおよびジャーナリングを参照してください。システム・ログ DFHLOG および DFHSHUNT の場合には、CICS は、書き込みのためにジャーナルは使用せず、直接ログ・ストリームに書き込みます。このため、これらのジャーナルのレポートの「Write Requests (書き込み要求)」、「Bytes Written (書き込みバイト数)」、および「Buffer Flushes (バッファー・フラッシュ数)」の見出しには、「N/A」が表示されます。

以下の統計フィールドには、ログ・マネージャー・ドメインで収集されたリソース・データが含まれます。

表 *80.* ジャーナル名*:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Journal Name (ジャーナル名)	LGRJNLNAME	ジャーナル名。 リセット特性: リセットなし
Journal Type (ジャーナル・タイプ)	LGRJTYPE	ジャーナル・タイプ (MVS、SMF、またはダミー)。 リセット特性: リセットなし
Log Stream Name (ログ・ストリーム名)	LGRSTREAM	ジャーナルに関連するログ・ストリーム名。タイプ MVS として定義されているジャーナルにのみ、関連するログ・ストリームがあります。同一のログ・ストリームを複数のジャーナルに関連付けることができます。 リセット特性: リセットなし
Write Requests (書き込み要求)	LGRWRITES	ジャーナル・レコードがジャーナルに書き込まれた回数の合計数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *80.* ジャーナル名*:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Bytes Written (書き込みバイト数)	LGRBYTES	ジャーナルに書き込まれたバイトの合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Buffer Flushes (バッファー・フラッシュ数)	LGRBUFLSH	ジャーナル・ブロックが、ログ・ストリーム (タイプ MVS として定義されたジャーナルの場合)、または System Management Facility (タイプ SMF として定義されたジャーナルの場合) に書き込まれた回数の合計数。 ジャーナル・ブロックは、以下の環境でフラッシュされます。 • アプリケーションが **EXEC CICS WRITE JOURNALNAME** または **EXEC CICS WRITE JOURNALNUM** コマンドに WAIT オプションを付けて実行する。 • アプリケーションが、**EXEC CICS WAIT JOURNALNAME** または **EXEC CICS WAIT JOURNALNUM** コマンドを実行する。 • ジャーナル・バッファーがフルである。 これは、タイプ SMF として定義されているジャーナルにのみ適用されます (タイプ MVS として定義されているジャーナルは、ログ・ストリーム・バッファーを使用します)。 • ログ・ストリーム・バッファーがフルである。 これは、タイプ MVS として定義されているジャーナルにのみ適用されます。 リセット特性: ゼロにリセット

ジャーナル名: 要約リソース統計

ジャーナル名の要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

これらの統計フィールドには、ジャーナル名合計リソース・データが含まれています。システム・ログ DFHLOG および DFHSHUNT の場合には、CICS は、書き込みのためにジャーナルは使用せず、直接ログ・ストリームに書き込みます。このため、これらのジャーナルの要約報告書の「Write Requests (書き込み要求)」、「Bytes Written (書き込みバイト数)」、および「Buffer Flushes (バッファー・フラッシュ数)」の見出しには、「N/A」が表示されます。

表 *81.* ジャーナル名*:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
Journal Name (ジャーナル名)	ジャーナル名です。

表 *81.* ジャーナル名*:* 要約リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Journal Type (ジャーナル・タイプ)	以下のジャーナル・タイプです。 • MVS • SMF • ダミー
Log Stream Name (ログ・ストリーム名)	ジャーナルに関連するログ・ストリーム名です。
Write Requests (書き込み要求)	ジャーナル・レコードがジャーナルに書き込まれた回数の合計数です。
Bytes Written (書き込みバイト数)	書き込まれたバイトの合計数です。
Buffer Flushes (バッファー・フラッシュ数)	ジャーナル・ブロックが、ログ・ストリーム (タイプ MVS として定義されたジャーナルの場合)、または System Management Facility (タイプ SMF として定義されたジャーナルの場合) に書き込まれた回数の合計数です。

JVM サーバー統計

CICS は、JVM サーバー、および JVM で実行される Java™ プログラムの統計を収集します。これらの統計を使用して、CICS 領域で実行される Java ワークロードを管理およびチューニングできます。

Java に関連する以下の統計を収集できます。

- JVM サーバー統計。特定の JVM サーバーによって使用される JVM のアクティビティーについて報告します。
- JVM プログラム統計。JVM サーバーで実行される Java プログラムについて示しています。

JVM サーバーの調整方法については、Java のパフォーマンス改善を参照してください。

JVMSERVER 統計

JVM (SJ) ドメインは、ヒープ・ストレージおよびガーベッジ・コレクションを含む、JVM サーバーに関する統計を収集します。 各 JVM サーバーは、JVMSERVER リソースによって表されます。

JVMSERVER リソースを照会することによって、JVM サーバーに関するいくつかの情報を入手できます。 リソースは、ヒープ・サイズの初期値、最大値、および現行値や、Java で使用されているガーベッジ・コレクション・ポリシーなどの情報を提供します。 プールされた JVM とは異なり、ガーベッジ・コレクションは、指定されたポリシーに基づいて Java によって自動的に処理されます。

DFH0STAT および DFHSTUP 統計プログラムでは、JVM サーバーに関する次のような詳細な情報が提供されます。

- 統計では、Java アプリケーションが JVM サーバー内のスレッドを待っていた時間の長さが報告されます。 待機数が多く、多数のタスクが JVMTHRD 待機で中断状態にある場合、JVMSERVER リソースの THREADLIMIT 属性の値を増やすと、アプリケーションがより多くのスレッドを使用できるようになります。
- 統計では、JVM のヒープ・サイズが報告されます。 ガーベッジ・コレクション後のヒープ・サイズが最大ヒープ・サイズに近いと、ガーベッジ・コレクションの発生頻度が高くなりすぎ、最大ヒープ・サイズを増やす必要がある場合があります。 ピークのヒープ・サイズが最大ヒープ・サイズを大きく下回っている場合は、JVM サーバーで実行する作業を増やすか、JVM プロファイルを編集して最大ヒープ・サイズを減らし、ストレージを節約することができます。
- 統計では、JVM サーバー内のシステム・スレッドが報告されます。 システム・スレッドは、統計の収集に使用され、照会コマンドや表示コマンドでも使用されますが、アプリケーションでは使用されません。 情報用に JVM サーバーがアクセスされた回数と、それに関連したプロセッサーの使用量を検索できます。 この数値が高い場合は、統計間隔を変更したり、照会や表示の要求を停止したりすることができます。
- 統計では、メジャーおよびマイナー・ガーベッジ・コレクション・イベントが報告されます。マイナー・ガーベッジ・コレクションは、特定のポリシーでのみ使用可能であるため、統計の情報を基にしてポリシーを変更できます。 詳しくは、ガーベッジ・コレクションおよびヒープ拡張を参照してください。

これらの統計は、Java ワークロードのパフォーマンス調整の開始点として適切です。

JVMSERVER: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS JVMSERVER システム・コマンドを使用して、JVMSERVER 統計を取得できます。これらの統計は DFHSJSDS DSECT によってマップされます。

表 *82. JVMSERVER:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
JVMSERVER name (JVMSERVER 名)	SJS_JVMSERVER_NAME	JVMSERVER リソースの名前。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER profile name (JVMSERVER プロファイル名)	SJS_JVMSERVER_JVMPROFILE	JVMSERVER リソースで指定されている JVM プロファイルの名前。 リセット特性: リセットなし

表 82. *JVMSERVER:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
JVMSERVER LE runtime options (JVMSERVER LE ランタイム・オプション)	SJS_JVMSERVER_LE_RUNOPTS	JVMSERVER リソースで指定されている Language Environment ランタイム・オプション・プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER use count (JVMSERVER の使用回数)	SJS_JVMSERVER_USE_COUNT	JVM サーバーが呼び出された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER thread limit (JVMSERVER スレッド制限)	SJS_JVMSERVER_THREAD_LIMIT	JVM サーバー内のスレッドの最大数。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER current threads (JVMSERVER スレッド現在数)	SJS_JVMSERVER_THREAD_CURRENT	JVM サーバー内のスレッドの現在の数。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER peak threads (JVMSERVER スレッド・ピーク数)	SJS_JVMSERVER_THREAD_HWM	JVM サーバー内のスレッドのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット (SJS_JVMSERVER_THREAD_CURRENT)
JVMSERVER thread limit waits (JVMSERVER スレッド限界の待機数)	SJS_JVMSERVER_THREAD_WAITS	フリー・スレッドを待っていたタスクの数。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER thread limit wait time (JVMSERVER スレッド限界の待機時間)	SJS_JVMSERVER_THREAD_WAIT_TIME	タスクがフリー・スレッドを待っていた時間 (秒)。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER current thread waits (JVMSERVER スレッド待機現在数)	SJS_JVMSERVER_THREAD_WAIT_CUR	現在フリー・スレッドを待っているタスクの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 82. *JVMSERVER:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
JVMSERVER peak thread waits (JVMSERVER スレッド待機のピーク数)	SJS_JVMSERVER_THREAD_WAIT_HWM	フリー・スレッドを待っていたタスクのピーク数。 リセット特性: 現在待っているタスクの数 (SYS_JVMSERVER_THREAD_WAIT_CURR) にリセット
JVMSERVER system thread use count (JVMSERVER システム・スレッド使用回数)	SJS_JVMSERVER_SYS_USE_COUNT	システム・スレッドが使用された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER system thread waits (JVMSERVER システム・スレッド待機数)	SJS_JVMSERVER_SYS_WAITED	システム・スレッドを待っていた CICS タスクの数。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER system thread wait time (JVMSERVER システム・スレッド待機時間)	SJS_JVMSERVER_SYS_WAITED_TIME	タスクがシステム・スレッド待機に費やした累積時間 (秒)。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER current sys thread waits (JVMSERVER 現在のシステム・スレッド待機数)	SJS_JVMSERVER_SYS_WAIT_CUR	システム・スレッドを待っているタスクの現在の数。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER peak system thread waits (JVMSERVER ピーク・システム・スレッド待機数)	SJS_JVMSERVER_SYS_WAIT_HWM	システム・スレッドを待っていたタスクの最高数。 リセット特性: 待機タスクの現在の数 (SJS_JVMSERVER_SYS_WAIT_CURR) にリセット
JVMSERVER creation time of JVM (JVMSERVER JVM の作成時間)	SJS_JVMSERVER_JVM_CREATION_LCL	JVM サーバー用の JVM が作成されたときの地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし

表 82. *JVMSERVER:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
JVMSERVER status (JVMSERVER 状況)	SJS_JVMSERVER_STATE	JVMSERVER リソースの状態。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER current heap size (JVMSERVER 現在のヒープ・サイズ)	SJS_JVMSERVER_CURRENT_HEAP	JVM サーバーに現在割り振られているヒープのサイズ (バイト)。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER initial heap size (JVMSERVER 初期ヒープ・サイズ)	SJS_JVMSERVER_INITIAL_HEAP	JVM サーバーに割り振られている初期ヒープのサイズ (バイト)。 この値は、JVM プロファイルの **-Xms** オプションで設定されます。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER maximum heap size (JVMSERVER 最大ヒープ・サイズ)	SJS_JVMSERVER_MAX_HEAP	JVM サーバーに割り振ることができる最大ヒープのサイズ (バイト)。 この値は、JVM プロファイルの **-Xmx** オプションで設定されます。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER peak heap size (JVMSERVER ピーク・ヒープ・サイズ)	SJS_JVMSERVER_PEAK_HEAP	JVM サーバーに割り振られている最大ヒープのサイズ (バイト)。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER heap occupancy (JVMSERVER ヒープ占有)	SJS_JVMSERVER_OCCUPANCY	発生した最後のガーベッジ・コレクションの直後のヒープ・サイズ (バイト)。 リセット特性: リセットなし
JVMSERVER Garbage Collection (GC) (JVMSERVER ガーベッジ・コレクション (GC))	SJS_JVMSERVER_GC_POLICY	JVM で使用されているガーベッジ・コレクション・ポリシー。 リセット特性: リセットなし

表 *82. JVMSERVER:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
JVMSERVER no. of major GC events (JVMSERVER メジャー GC イベントの数)	SJS_JVMSERVER_MJR_GC_EVENTS	発生したメジャー・ガーベッジ・コレクション・イベントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER total elapsed time spent in major GC (JVMSERVER メジャー GC に費やされた合計経過時間)	SJS_JVMSERVER_MJR_GC_CPU	メジャー・ガーベッジ・コレクションの実行に費やされた合計経過時間 (ミリ秒)。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER total memory freed by major GC (JVMSERVER メジャー GC によって解放された合計記憶域)	SJS_JVMSERVER_MJR_HEAP_FREED	メジャー・ガーベッジ・コレクションの実行によって解放された合計記憶域 (バイト)。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER no. of minor GC events (JVMSERVER マイナー GC イベントの数)	SJS_JVMSERVER_MNR_GC_EVENTS	発生したマイナー・ガーベッジ・コレクションの数。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER total elapsed time spent in minor GC (JVMSERVER マイナー GC に費やされた合計経過時間)	SJS_JVMSERVER_MNR_GC_CPU	マイナー・ガーベッジ・コレクションの実行に費やされた合計経過時間 (ミリ秒)。 リセット特性: ゼロにリセット
JVMSERVER total memory freed by minor GC (JVMSERVER マイナー GC によって解放された合計記憶域)	SJS_JVMSERVER_MNR_HEAP_FREED	マイナー・ガーベッジ・コレクションの実行によって解放された合計記憶域 (バイト)。 リセット特性: ゼロにリセット

表 82. *JVMSERVER:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SJS_JVMSERVER_JVM_CREATION_GMT	JVM サーバー用の JVM が作成されたときの GMT でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SJS_JVMSERVER_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SJS_JVMSERVER_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SJS_JVMSERVER_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SJS_JVMSERVER_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SJS_JVMSERVER_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SJS_JVMSERVER_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SJS_JVMSERVER_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

JVMSERVER: 要約リソース統計

JVM サーバーのリソース統計の要約リスト。Java アプリケーションによって JVM サーバーが使用された回数およびスレッドの使用量が含まれます。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *83. JVMSERVER:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
JVMSERVER name (JVMSERVER 名)	JVMSERVER リソースの名前。
JVMSERVER LE runtime options (JVMSERVER LE ランタイム・オプション)	Language Environment エンクレーブのランタイム・オプションを定義するプログラムの名前。
JVMSERVER use count (JVMSERVER の使用回数)	JVM サーバーが呼び出された回数。
Thread limit (スレッド限界)	JVM サーバーで実行が許可されているスレッドの最大数。
Peak threads (ピーク・スレッド数)	JVM サーバー内のスレッドのピーク数。
Thread limit waits (スレッド限界の待機数)	フリー・スレッドを待っていたタスクの数。
Thread limit wait time (スレッド限界の待機時間)	タスクがフリー・スレッドを待っていた時間。
Peak thread limit waits (ピーク・スレッド限界の待機数)	フリー・スレッドを待っていたタスクのピーク数。
System thread use count (システム・スレッド使用回数)	システム・スレッドが使用された回数。
System thread waits (システム・スレッドの待機数)	システム・スレッドを待っていた CICS タスクの数。
システム・スレッド待ち時間	タスクがシステム・スレッド待機に費やした累積時間。
Current sys thread waits (現在のシステム・スレッド待機数)	システム・スレッドを待っているタスクの現在の数。
Peak system thread waits (ピーク・システム・スレッド待機数)	システム・スレッドを待っていたタスクの最高数。
JVMSERVER status (JVMSERVER 状況)	JVMSERVER リソースの状況。
Current heap size (現在のヒープ・サイズ)	JVM サーバーに現在割り振られているヒープのサイズ (バイト)。

表 83. JVMSERVER: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Initial heap size (初期ヒープ・サイズ)	JVM サーバーに割り振られている初期ヒープのサイズ (バイト)。 この値は、JVM プロファイルの **-Xms** オプションで設定されます。
Max heap size (最大ヒープ・サイズ)	JVM サーバーに割り振ることができる最大ヒープのサイズ (バイト)。 この値は、JVM プロファイルの **-Xmx** オプションで設定されます。
Peak heap size (ピーク・ヒープ・サイズ)	JVM サーバーに割り振られている最大ヒープのサイズ (バイト)。
Heap occupancy (ヒープ占有)	発生した最後のガーベッジ・コレクションの直後のヒープ・サイズ (バイト)。
Garbage Collection (GC) (ガーベッジ・コレクション (GC))	JVM で使用されているガーベッジ・コレクション・ポリシー。
Number of major GC events (メジャー GC イベントの数)	発生したメジャー・ガーベッジ・コレクション・イベントの数。
Elapsed time in major GC (メジャー GC における経過時間)	メジャー・ガーベッジ・コレクションの実行に費やされた経過時間。
Total memory freed by major GC (メジャー GC によって解放された合計記憶域)	メジャー・ガーベッジ・コレクションの実行によって解放された合計記憶域。
Number of minor GC events (マイナー GC イベントの数)	発生したマイナー・ガーベッジ・コレクションの数。
Elapsed time in minor GC (マイナー GC における経過時間)	マイナー・ガーベッジ・コレクションの実行に費やされた経過時間。
Total memory freed by minor GC (マイナー GC によって解放された合計記憶域)	マイナー・ガーベッジ・コレクションの実行によって解放された合計記憶域。

JVM プログラム統計

JVM プログラム統計は、JVM サーバーで実行される、CICS 領域にインストールされた JVM プログラムごとに収集されます。Java プログラムは CICS によってロードされないため、JVM で実行されるプログラムの統計は、他のプログラムの統計とは別に収集されます。

公開 JVM プログラムの場合、これらの統計は DFHPGRDS DSECT によってマップされます。プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用 JVM プログラムの場合、これらの統計は DFHPGPDS DSECT によってマップされます。専用 JVM プログラムの統計レコードには、JVM プログラムが定義されたアプリケーションに関する情報があります。

アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義された JVM プログラムは、統計レコード内のフィールドで識別されます。アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義された JVM プログラムについて、間隔統計、1 日の終わり統計、要求された統計、要求されたリセット統計、または非送信請求統計が生成される場合は、2 つの統計レコードが書き込まれます。 1 つは公開 JVM プログラムの

ために DFHPGRDS DSECT によってマップされた統計レコード、1 つは専用 JVM プログラムのために DFHPGPDS DSECTによってマップされた統計レコードです。

Java プログラムの統計の表示

CICS は、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAM** コマンドが実行されるときは、Java プログラムの統計を収集しません。それらの統計を見るには、代わりに **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS JVMPROGRAM** コマンドを使用する必要があります。ただし、**EXEC CICS INQUIRE PROGRAM** コマンドを使用してプログラム名をブラウズする場合には、Java プログラムが検出されます。 **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM** コマンドでブラウズし、次に、検出するプログラム名に対して **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAM** コマンドを実行すると、プログラムの統計を収集するアプリケーションは、Java プログラムの統計を収集するときに「検出されませんでした」という応答を受け取ります。

この応答を受け取らないようにするには、アプリケーションが、検出する各プログラム名の RUNTIME 値を検査するようにします。 RUNTIME 値が JVM の場合には、アプリケーションは、そのプログラム名に対して **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAM** コマンドを実行すべきではありません。JVM の RUNTIME 値を持ったプログラムの統計を見る場合は、アプリケーションが、そのプログラムに対して **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS JVMPROGRAM** コマンドを実行するようにできます。Java プログラムについて収集される統計情報は、他のプログラムについて収集される統計情報と同じではありません。

JVM で実行される Java プログラムには、それら自身の DFH0STAT レポートである JVM プログラム・レポートがあります。 プログラム合計数の DFH0STAT レポートにも、Java プログラムの数が示されていますが、この数値は JVMPROGRAM キーワードを使用して取得できます。

JVM プログラム - 公開: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS JVMPROGRAM システム・コマンドを使用して、公開 JVM プログラムの統計を取得できます。これらの統計は DFHPGRDS DSECT によってマップされます。

公開 JVM プログラムの JVM プログラム・リソース統計は、使用される JVM プロファイルを含め、各公開 JVM プログラムに関する情報と統計を示します。

公開 JVM プログラムの統計は、DFHPGRDS DSECT によってマップされます。プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用 JVM プログラムの場合、これらの統計は DFHPGPDS DSECT によってマップされます。 DFHPGPDS DSECT には、JVM プログラムが定義されたアプリケーションに関する情報があります。専用 JVM プログラムの DSECT および DFHSTUP レポートの詳細については、 167 ページの『JVM プログラム - 専用: リソース統計』を参照してください。

アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義された JVM プログラムは、PGR_JVMPROGRAM_ENTRYPOINT フィールドで識別されます。これらのプログラムに対して公開統計レコードと専用統計レコードの両方が書き出され、各 DSECT によって 1 回だけマップされます。

表 84. *JVM* プログラム - 公開: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
プログラム名	PGR_JVMPROGRAM_NAME	Java プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGR_JVMPROGRAM_ENTRYPOINT	プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションのアプリケーション・エントリー・ポイントとしてプログラムが定義されているかどうか。 リセット特性: リセットなし
Times used (使用回数)	PGR_JVMPROGRAM_USECOUNT	プログラムが使用された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Exec key (実行キー)	PGR_JVMPROGRAM_EXEC_KEY	プログラムに必要な CICS キーまたはユーザー・キーのいずれかの実行キー (PROGRAM リソースの EXECKEY 属性で指定される)。 JVM サーバーで実行されるプログラムは、常に CICS キーで実行されます。 リセット特性: リセットなし
JVM class (JVM クラス)	PGR_JVMPROGRAM_JVMCLASS	プログラムにおけるメイン・クラス (PROGRAM リソースの JVMCLASS 属性で指定される)。 リセット特性: リセットなし
JVM サーバー	PGR_JVMPROGRAM_SERVER	JVM サーバーで実行するためにプログラムに必要な JVMSERVER リソースの名前 (PROGRAM リソースの JVMSERVER 属性で指定される)。 リセット特性: リセットなし

JVM プログラム - 公開: 要約リソース統計

JVM で実行されるすべての公開 Java プログラムのリソース統計の要約リスト。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの、専用 JVM プログラムは別個の要約レポートで報告されます。このレポートの詳細については、 169 ページの『JVM プログラム - 専用: 要約リソース統計』を参照してください。アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義された JVM プログラムは、公開リソース要約レポートと専用リソース要約レポートの両方に表示されます。

表 *85. JVM* プログラム - 公開: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
プログラム名	Java プログラムの名前。
JVM サーバー	JVM サーバーで実行するためにプログラムに必要な JVMSERVER リソースの名前 (PROGRAM リソースの JVMSERVER 属性で指定される)。
Times used (使用回数)	プログラムが使用された回数。
Exec key (実行キー)	JVM サーバーで実行される Java プログラムは、常に CICS キーを使用します。
JVM class (JVM クラス)	プログラムにおけるメイン・クラス (PROGRAM リソースの JVMCLASS 属性で指定される)。

JVM プログラム - 専用: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS JVMPROGRAM システム・コマンドを使用して、専用 Java プログラムの統計を取得できます。これらの統計は DFHPGPDS DSECT によってマップされます。

専用 JVM プログラムの JVM プログラム・リソース統計は、プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用 JVM プログラムに関する情報と統計を示します。

プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用 Java プログラムの統計は、DFHPGPDS DSECT によってマップされます。公開 Java プログラムの場合、それらの統計は DFHPGRDS DSECT によってマップされます。公開 JVM プログラムの DSECT および DFHSTUP レポートの詳細については、 165 ページの『JVM プログラム - 公開: リソース統計』を参照してください。

アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義された JVM プログラムは、PGP_JVMPROGRAM_OPERATION_NAME フィールドで指定されるアプリケーション操作で識別されます。これらのプログラムに対して公開統計レコードと専用統計レコードの両方が書き出され、各 DSECT によって 1 回だけマップされます。

DFHSTUP レポートは、プラットフォーム上にデプロイされた各アプリケーションの専用 Java プログラムを示します。アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されたプログラムの場合、レポートはアプリケーション・エントリー・ポイントに対して指定されたアプリケーション操作を示します。

表 *86. JVM* プログラム - 専用*:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
プラットフォーム	PGP_JVMPROGRAM_PLATFORM_NAME	専用プログラムを使用するアプリケーションがデプロイされたプラットフォームの名前。 リセット特性: リセットなし
アプリケーション	PGP_JVMPROGRAM_APPLICATION_NAME	専用プログラムを使用するアプリケーションの名前。 リセット特性: リセットなし
Major version (メジャー・バージョン)	PGP_JVMPROGRAM_APPL_MAJOR_VER	専用プログラムを使用するアプリケーションのメジャー・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
Minor version (マイナー・バージョン)	PGP_JVMPROGRAM_APPL_MINOR_VER	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイナー・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
Micro version (マイクロ・バージョン)	PGP_JVMPROGRAM_APPL_MICRO_VER	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
プログラム名	PGP_JVMPROGRAM_NAME	Java プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
Times used (使用回数)	PGP_JVMPROGRAM_USECOUNT	プログラムが使用された回数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *86. JVM* プログラム - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Exec key (実行キー)	PGP_JVMPROGRAM_EXEC_KEY	プログラムに必要な CICS キーまたはユーザー・キーのいずれかの実行キー (PROGRAM リソースの EXECKEY 属性で指定される)。 JVM サーバーで実行されるプログラムは、常に CICS キーで実行されます。 リセット特性: リセットなし
JVM class (JVM クラス)	PGP_JVMPROGRAM_JVMCLASS	プログラムにおけるメイン・クラス (PROGRAM リソースの JVMCLASS 属性で指定される)。 リセット特性: リセットなし
JVM サーバー	PGP_JVMPROGRAM_SERVER	JVM サーバーで実行するためにプログラムに必要な JVMSERVER リソースの名前 (PROGRAM リソースの JVMSERVER 属性で指定される)。 リセット特性: リセットなし
Operation (操作)	PGP_JVMPROGRAM_OPERATION_NAME	アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されたプログラムの場合、アプリケーション・エントリー・ポイントに対して指定されたアプリケーション操作。 リセット特性: リセットなし

JVM プログラム - 専用: 要約リソース統計

プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションのすべての専用 Java プログラムのリソース統計の要約リスト。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

公開 JVM プログラムは別個の要約レポートで報告されます。このレポートの詳細については、 166 ページの『JVM プログラム - 公開: 要約リソース統計』を参照してください。アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義された JVM プログラムは、公開リソース要約レポートと専用リソース要約レポートの両方に現れます。

表 87. JVM プログラム - 専用: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
プラットフォーム	専用プログラムを使用するアプリケーションがデプロイされたプラットフォームの名前。
アプリケーション	専用プログラムを使用するアプリケーションの名前。
Major version (メジャー・バージョン)	専用プログラムを使用するアプリケーションのメジャー・バージョン番号。
Minor version (マイナー・バージョン)	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイナー・バージョン番号。
Micro version (マイクロ・バージョン)	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。
プログラム名	Java プログラムの名前。
Operation (操作)	アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されたプログラムの場合、アプリケーション・エントリー・ポイントに対して指定されたアプリケーション操作。
JVM サーバー	JVM サーバーで実行するためにプログラムに必要な JVMSERVER リソースの名前 (PROGRAM リソースの JVMSERVER 属性で指定される)。
Times used (使用回数)	プログラムが使用された回数。
Exec key (実行キー)	JVM サーバーで実行される Java プログラムは、常に CICS キーを使用します。
JVM class (JVM クラス)	プログラムにおけるメイン・クラス (PROGRAM リソースの JVMCLASS 属性で指定される)。

ライブラリー統計

LIBRARY 統計は、動的プログラム LIBRARY 連結 (プログラム・ロード・モジュールのロード元となるデータ・セット) のリソース・データを報告します。

公開 LIBRARY リソースの場合、これらの統計は DFHLDBDS DSECT によってマップされます。プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用 LIBRARY リソースの場合、これらの統計は DFHLDYDS DSECT によってマップされます。専用 LIBRARY リソースの統計レコードには、LIBRARY リソースが定義されたアプリケーションに関する情報があります。

LIBRARY - 公開: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS LIBRARY システム・コマンドを使用して、公開 LIBRARY リソースの統計を取得できます。これらの統計は DFHLDBDS DSECT によってマップされます。

これらの統計フィールドには、動的プログラム LIBRARY 連結ごとにローダーによって収集されたリソース・データが含まれます。

公開 LIBRARY リソースの統計は、DFHLDBDS DSECT によってマップされます。プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用 LIBRARY リソースの場合、これらの統計は DFHLDYDS DSECT によってマップされます。DFHLDYDS DSECT には、LIBRARY リソースがロードされたアプリケーションに関する情報があります。専用 LIBRARY リソースの DSECT および DFHSTUP レポートの詳細については、 175 ページの『LIBRARY - 専用: リソース統計』を参照してください。

表 *88. LIBRARY* - 公開: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
LIBRARY 名	LDB_LIBRARY_NAME	ライブラリーの名前。 リセット特性: リセットなし
Search position (検索位置)	LDB_LIBRARY_SEARCH_POS	全体的な LIBRARY 検索順序内における、この LIBRARY の現在の絶対位置。 検索順序内で最初の使用可能な LIBRARY の検索位置は 1 となり、次の LIBRARY の検索位置は 2 となり、以下同様となります。 検索位置はランキングと同じではありませんが、その値はシステム内の様々な LIBRARY リソースの相対的なランキングの値により決定されます。 ランキング値が等しい他の LIBRARY リソースに対する相対的な検索位置の値は不確定ですが、互いに対する相対的な検索位置の値はウォーム再始動または緊急時再始動の前後で保持されます。 ランキングが等しいライブラリー・リソースの相対検索位置の値が、コールド始動または初期始動の後でも同じである保証はありません。 LIBRARY が無効にされている場合、検索位置は 0 となり、その LIBRARY が全体的な検索順序に含まれないことが示されます。 リセット特性: リセットなし
Ranking (ランキング)	LDB_LIBRARY_RANKING	この LIBRARY が LIBRARY 検索順序の全体の中で表示される、他の LIBRARY 連結に対する相対的な位置を示します。値が小さい場合、ロードするプログラムを探すために、ランキング番号が大きい他の LIBRARY リソースの前にこの LIBRARY が検索されることを示します。 リセット特性: リセットなし

表 *88. LIBRARY* - 公開: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
クリティカル	LDB_LIBRARY_CRITICAL	ライブラリーが CICS の始動に不可欠であるかどうかを示します。値は以下のとおりです。 はい LIBRARY は CICS の始動に不可欠です。 CICS の始動時に何らかの理由で LIBRARY を正常にインストールできない場合、GO または CANCEL メッセージが出されます。 オペレーターは、クリティカル値を無効にして CICS に始動を許可するかどうかを決定します。 CICS が続行を許可される場合、ストレージ不足条件などによってインストールが不可能になっているのでなければ、LIBRARY は DISABLED 状況でインストールされます。 始動を続行する応答をしても、LIBRARY は NONCRITICAL として再カタログされません。そのため、LIBRARY を今後クリティカルとみなさないことにする場合、クリティカル状況を明示的に NONCRITICAL に設定する必要があります。 いいえ LIBRARY は CICS の始動にクリティカルではありません。 CICS の始動時に LIBRARY を正常にインストールできない場合、LIBRARY はインストール済みだが使用不可の状態のままになり、警告メッセージが出されます。しかし、CICS の始動は続行します。 リセット特性: リセットなし

表 *88. LIBRARY* - 公開: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Enable status (使用可能状況)	LDB_LIBRARY_ENABLE_STATUS	LIBRARY が全体的な LIBRARY 検索順序に含まれるかどうかを示します。 値は以下のとおりです。 **DISABLED** LIBRARY は使用不可になっていて、現在は LIBRARY 検索順序に含まれていません。 この LIBRARY 連結内のデータ・セットで、ロードするプログラム成果物を検索しません。 **DISABLING** LIBRARY の使用不可化の要求を受け取りましたが、引き続き処理されています。 **ENABLED** LIBRARY は使用可能になっていて、現在は LIBRARY 検索順序に含まれています。 この LIBRARY 連結内のデータ・セットで、ロードするプログラム成果物を検索します。 **ENABLING** LIBRARY の使用可能化の要求を受け取りましたが、引き続き処理されています。 **DISCARDING** CICS システムからの LIBRARY の廃棄要求を受け取りましたが、引き続き処理されています。 リセット特性: リセットなし
Program loads (プログラム・ロード)	LDB_LIBRARY_PROG_LOADS	DFHRPL ライブラリー連結、または動的ライブラリー連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードする場合にローダーが MVS LOAD 要求を発行する回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDB_LIBRARY_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDB_LIBRARY_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし

表 *88. LIBRARY* - 公開: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDB_LIBRARY_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDB_LIBRARY_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDB_LIBRARY_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDB_LIBRARY_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDB_LIBRARY_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Number Dsnames (Dsname 数)	LDB_LIBRARY_NUMDSNAMES	LIBRARY 連結内のデータ・セットの数。動的に定義された LIBRARY では、この値はブランクでない DSNAMExx の値の数で、16 より大きくすることはできません。 静的に定義された DFHRPL では、この値は連結内のデータ・セットの数で、16 より大きくすることができます。 リセット特性: リセットなし
Concatenation (連結)	DSECT になし (レポートのフォーマット設定時に追加される)	LIBRARY 連結内のデータ・セットの連結番号。 リセット特性: リセットなし

表 *88. LIBRARY* - 公開: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
LIBRARY Dsname (LIBRARY DS 名)	LDB_DSNAME	LIBRARY 連結内の各データ・セットの 44 文字の名前。 このライブラリーが動的に定義される場合、これらは LIBRARY 定義に指定されたデータ・セットで、1 つを除いてすべてがブランクです。 静的に定義された DFHRPL である場合、これらは DFHRPL 連結での最初の 16 のデータ・セットであるか、または最大 16 の指定された数のデータ・セットで残りの DSNAMExx フィールドがブランクとなります。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

LIBRARY - 専用: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS LIBRARY システム・コマンドを使用して、専用 LIBRARY リソースの統計を取得できます。これらの統計は DFHLDYDS DSECT によってマップされます。

これらの統計フィールドには、プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの動的プログラム LIBRARY 連結ごとにローダーによって収集されたリソース・データが含まれます。

プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用 LIBRARY リソースの統計は、DFHLDYDS DSECT によってマップされます。公開 LIBRARY リソースの場合、これらの統計は DFHLDBDS DSECT によってマップされます。公開 LIBRARY リソースの DSECT および DFHSTUP レポートの詳細については、170 ページの『LIBRARY - 公開: リソース統計』を参照してください。

表 *89. LIBRARY* - 専用*:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
プラットフォーム	LDY_LIBRARY_PLATFORM_NAME	専用 LIBRARY リソースを使用するアプリケーションがデプロイされたプラットフォームの名前。 リセット特性: リセットなし
アプリケーション	LDY_LIBRARY_APPLICATION_NAME	専用 LIBRARY リソースを使用するアプリケーションの名前。 リセット特性: リセットなし
Major version (メジャー・バージョン)	LDY_LIBRARY_APPL_MAJOR_VER	専用 LIBRARY リソースを使用するアプリケーションのメジャー・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
Minor version (マイナー・バージョン)	LDY_LIBRARY_APPL_MINOR_VER	専用 LIBRARY リソースを使用するアプリケーションのマイナー・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
Micro version (マイクロ・バージョン)	LDY_LIBRARY_APPL_MICRO_VER	専用 LIBRARY リソースを使用するアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
LIBRARY 名	LDY_LIBRARY_NAME	LIBRARY リソースの名前。 リセット特性: リセットなし

表 *89. LIBRARY* - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Search position (検索位置)	LDY_LIBRARY_SEARCH_POS	全体的な LIBRARY 検索順序内における、この LIBRARY の現在の絶対位置。 検索順序における最初の使用可能 LIBRARY の検索位置は 1、次の LIBRARY の検索位置は 2、というようになります。 検索位置はランキングと同じではありませんが、その値はシステム内の様々な LIBRARY リソースの相対的なランキングの値により決定されます。 ランキング値が等しい他の LIBRARY リソースに対する相対的な検索位置の値は不確定ですが、互いに対する相対的な検索位置の値はウォーム再始動または緊急時再始動の前後で保持されます。 ランキングが等しいライブラリー・リソースの相対検索位置の値が、コールド始動または初期始動の後でも同じである保証はありません。 LIBRARY が無効にされている場合、検索位置は 0 となり、その LIBRARY が全体的な検索順序に含まれないことが示されます。 リセット特性: リセットなし
Ranking (ランキング)	LDY_LIBRARY_RANKING	この LIBRARY が LIBRARY 検索順序の全体の中で表示される、他の LIBRARY 連結に対する相対的な位置を示します。値が小さい場合、ロードするプログラムを探すために、ランキング番号が大きい他の LIBRARY リソースの前にこの LIBRARY が検索されることを示します。 リセット特性: リセットなし
クリティカル	LDY_LIBRARY_CRITICAL	この属性は、プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用 LIBRARY リソースには適用されません。 リセット特性: リセットなし

表 *89. LIBRARY* - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Enable status (使用可能状況)	LDY_LIBRARY_ENABLE_STATUS	LIBRARY が全体的な LIBRARY 検索順序に含まれるかどうかを示します。 値は以下のとおりです。 **DISABLED** LIBRARY は使用不可になっていて、現在は LIBRARY 検索順序に含まれていません。 この LIBRARY 連結内のデータ・セットで、ロードするプログラム成果物を検索しません。 **DISABLING** LIBRARY の使用不可化の要求を受け取りましたが、引き続き処理されています。 **ENABLED** LIBRARY は使用可能になっていて、現在は LIBRARY 検索順序に含まれています。 この LIBRARY 連結内のデータ・セットで、ロードするプログラム成果物を検索します。 **ENABLING** LIBRARY の使用可能化の要求を受け取りましたが、引き続き処理されています。 **DISCARDING** CICS システムからの LIBRARY の廃棄要求を受け取りましたが、引き続き処理されています。 リセット特性: リセットなし
Program loads (プログラム・ロード)	LDY_LIBRARY_PROG_LOADS	DFHRPL ライブラリー連結、または動的ライブラリー連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードする場合にローダーが MVS LOAD 要求を発行する回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDY_LIBRARY_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし

表 *89. LIBRARY* - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDY_LIBRARY_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDY_LIBRARY_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDY_LIBRARY_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDY_LIBRARY_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDY_LIBRARY_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	LDY_LIBRARY_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Number Dsnames (Dsname 数)	LDY_LIBRARY_NUMBER_DSNAMES	LIBRARY 連結内のデータ・セットの数。動的に定義された LIBRARY では、この値はブランクでない DSNAMExx の値の数で、16 より大きくすることはできません。 静的に定義された DFHRPL では、この値は連結内のデータ・セットの数で、16 より大きくすることができます。 リセット特性: リセットなし
Concatenation (連結)	DSECT になし (レポートのフォーマット設定時に追加される)	LIBRARY 連結内のデータ・セットの連結番号。 リセット特性: リセットなし

表 *89. LIBRARY* - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
LIBRARY Dsname (LIBRARY DS 名)	LDY_LIBRARY_DSNAME	LIBRARY 連結内の各データ・セットの 44 文字の名前。 このライブラリーが動的に定義される場合、これらは LIBRARY 定義に指定されたデータ・セットで、1 つを除いてすべてがブランクです。 静的に定義された DFHRPL である場合、これらは DFHRPL 連結での最初の 16 のデータ・セットであるか、または最大 16 の指定された数のデータ・セットで残りの DSNAMExx フィールドがブランクとなります。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

ローダー・ドメイン統計

ローダー統計の解釈

特定の期間に「平均ロード時間 (Average loading time)」が増大する場合は、MVS ライブラリー・ルックアサイド機能を使用してください。 「未使用プログラムに占有される動的ストレージ域の量 (amount of the dynamic storage area occupied by not in use programs)」、および動的ストレージ域のフリー・ストレージをパフォーマンスのために最適化する場合は、「未使用」プログラムが徐々に解放されます。

「平均ロード時間 (Average loading time)」は「合計ロード時間」/ 「ライブラリー・ロード要求数」です。 この統計は、ストレージにロードする必要のあるプログラムにアクセスするときのタスクの応答時間を示します。ローダーは、プログラムを再ロードするパフォーマンス・オーバーヘッドを減らすことができるのに十分な時間だけ、未使用プログラムをストレージに保持します。 動的ストレージにおけるフリー・ストレージの量が少なくなると、潜在的なストレージ不足の状態を回避するために、FREEMAIN 要求を使用して、使用頻度の一番低いプログラムから順に、未使用プログラムが解放されます。

注: 報告される値は、統計が収集される瞬間の値であり、最終レポート以後に変化します。

「平均未使用キュー・メンバーシップ時間 (Average Not-In-Use queue membership time)」は「合計未使用キュー・メンバーシップ時間 (Total Not-In-Use queue membership time)」/ 「圧縮により削除されたプログラム数」です。この統計は、プログラムが未使用のときに動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によって削除されるまで、プログラムがどれくらいの間ストレージ内にあるかを示します。プログラムを使用する間の間隔 (間隔において使用される回数によって分割される間隔時間) がこの値より小さい場合、プログラムは、次に必要とされるときには既にストレージ内にある可能が高くなっています。

注: この値は、間隔中にかなりの数のローダー・ドメイン・アクティビティーが存在し、それが開始使用パターンによって変更される可能性がある場合にのみ、意味があります。

「平均一時停止時間 (Average suspend time)」は「合計待機時間 (Total waiting time)」/ 「待機ローダー要求数 (Number of waited loader requests)」です。

この統計は、ローダー・ドメイン・リソースを巡る競合のためにタスクが被る可能性のある応答時間の影響を示します。

注: 現在待機中の要求に関しては、この計算は行われません。

ローダー・ドメイン: グローバル統計

以下の統計フィールドには、ローダー・ドメインで収集されたグローバル・データが含まれます。 ローダー・ドメインは、グローバル統計を保守して、チューニングおよびアカウンティングを実行中のユーザーを支援します。

これらの統計は **EXTRACT STATISTICS PROGRAM** システム・コマンドを使って取得可能で、DFHLDGDS DSECT によりマップされます。

表 *90.* ローダー・ドメイン: グローバル統計 - すべての領域

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Library load requests (ライブラリー・ロード要求)	LDGLLR	DFHRPL ライブラリー連結、または動的ライブラリー連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードする場合にローダーが MVS LOAD 要求を発行した回数。LPA 内のモジュールは、この値には含まれていません。 この値には、オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求と、RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求の両方が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット

表 90. ローダー・ドメイン: グローバル統計 - すべての領域 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Library load requests on the RO TCB (RO TCB でのライブラリー・ロード要求)	LDGLLRRO	RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求をローダーが発行した回数。この値は、LDGLLR で示されたライブラリー・ロード数のサブセットです。オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求数を計算するには、LDGLLR で示された値からこの値を減算します。 リセット特性: ゼロにリセット
Total loading time (合計ロード時間)	LDGLLT	ライブラリーのロードを、LDGLLR が示している回数行うのに要した時間。この値には、オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求と、RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求の両方が含まれています。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。ただし、DSECT フィールドには、時間を 16 ユニット (マイクロ秒) で表す 4 バイトのフィールドが含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
Total loading time on the RO TCB (RO TCB での合計ロード時間)	LDGLLTRO	ライブラリーのロードを、LDGLLRRO が示している回数行うのに要した時間。この値は、LDGLLT で示された時間のサブセットです。オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求にかかった時間を計算するには、LDGLLT で示された値からこの値を減算します。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。ただし、DSECT フィールドには、時間を 16 ユニット (マイクロ秒) で表す 4 バイトのフィールドが含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
Average loading time (平均ロード時間)		プログラムのロードにかかった平均時間。この値は、オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求と、RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求の両方を含む平均です。この値は、オフラインで DFHSTUP によって計算されるため、オンライン・ユーザーは使用することができません。DFHSTUP では、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。 リセット特性: なし

表 *90.* ローダー・ドメイン*:* グローバル統計 - すべての領域 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Average loading time on the RO TCB (RO TCB での平均ロード時間)		RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求のみの完了にかかった平均時間。この値は、オフラインで DFHSTUP によって計算されるため、オンライン・ユーザーは使用することができません。 DFHSTUP では、この時間は時間*:* 分*:* 秒*.* 小数部 で表されます。 リセット特性: なし
Program uses (プログラムの使用)	LDGPUSES	CICS システムで使用されているプログラムの数。 リセット特性: リセットなし
Waiting requests (待ち要求)	LDGWLR	別のタスクのためにローダー・ドメインがプログラム上で操作を完了するのを現在待機している、ローダー・ドメイン要求の数。プログラム・ロード要求は、以下の理由で待機する場合があります。 • プログラムが、オープン TCB で実行されている別のタスクによってロードされている。 • ローダー・ドメインが、プログラムのリンク・パック域 (LPA) を検索している。 • NEWCOPY 要求または物理ロードが、プログラムに対して進行中である。 リセット特性: リセットなし
Requests that waited (待機した要求)	LDGWTDLR	別のタスクのためにローダー・ドメインがプログラム上で操作を完了するのを待機したローダー・ドメイン要求の数。この数値は、過去に待機したタスクの数であり、現在待機中のタスク (LDGWLR) は含まれません。プログラム・ロード要求は、以下の理由で待機する場合があります。 • プログラムが、オープン TCB で実行されている別のタスクによってロードされている。 • ローダー・ドメインが、プログラムのリンク・パック域 (LPA) を検索している。 • NEWCOPY 要求または物理ロードが、プログラムに対して進行中である。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak waiting Loader requests (待機中ローダー要求のピーク)	LDGWLRHW	一度に中断されるタスクの最大数。 リセット特性: 現行値にリセット (LDGWLR)

表 *90.* ローダー・ドメイン*:* グローバル統計 - すべての領域 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Times at peak (ピーク時の回数)	LDGHWMT	LDGWLRHW で示された最高水準点に達した回数。この値は、フィールド LDGWTDLR および LDGWLRHW と共に、ローダー・リソースの競合レベルを示しています。 リセット特性: 1 にリセット
Total waiting time (合計待ち時間)	LDGTTW	LDGWTDLR が示している数のタスクの中断時間。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時*:* 分*:* 秒*.* 小数部 で表されます。ただし、DSECT フィールドには、時間を 16 ユニット (マイクロ秒) で表す 4 バイトのフィールドが含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
Times DFHRPL re-opened (DFHRPL が再オープンする回数)	LDGDREBS	ローダーがロード操作中にエクステント終了状態を受け取り、DFHRPL または動的 LIBRARY 連結を正常にクローズして再オープンし、ロード操作を再試行した回数。 リセット特性: ゼロにリセット

ローダー・ドメイン: グローバル統計 - CDSA

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	LDGDPSCR	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	LDGDPSCT	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「時*:* 分*:* 秒*.*小数部」で表されます。ただし、DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) 値としての時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット

ローダー・ドメイン: グローバル統計 - CDSA

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)		DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対してプログラムが適格である時間の平均の長さ。 この値は DFHSTUP によって計算されます。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。 リセット特性: なし
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	LDGRECNIU	CICS が不使用 (NIU) キューで行う再使用数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。 リセット特性: ゼロにリセット
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム)	LDGPROGNIU	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの数。 リセット特性: リセットなし
Amount of DSA occupied by Not In Use programs (不使用プログラムに占有される DSA の量)	LDGSTGNIU	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている CDSA ストレージの現在量。 リセット特性: リセットなし

ローダー・ドメイン: グローバル統計 - ECDSA

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	LDGDPSCR	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの数。 リセット特性: ゼロにリセット

ローダー・ドメイン: グローバル統計 - ECDSA

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	LDGDPSCT	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「時: 分: 秒.小数部」で表されます。ただし、DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) 値としての時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)		DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対してプログラムが適格である時間の平均の長さ。 この値は DFHSTUP によって計算されます。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時: 分: 秒. 小数部 で表されます。 リセット特性: なし
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	LDGRECNIU	CICS が不使用 (NIU) キューで行う再使用数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。 リセット特性: ゼロにリセット
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム)	LDGPROGNIU	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの数。 リセット特性: リセットなし
Amount of DSA occupied by Not In Use programs (不使用プログラムに占有される DSA の量)	LDGSTGNIU	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている ECDSA ストレージの現在量。 リセット特性: リセットなし

ローダー・ドメイン: グローバル統計 - SDSA

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	LDGDPSCR	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	LDGDPSCT	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「時: 分: 秒.小数部」で表されます。ただし、DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) 値としての時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)		DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対してプログラムが適格である時間の平均の長さ。 この値は DFHSTUP によって計算されます。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。 リセット特性: なし
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	LDGRECNIU	CICS が不使用 (NIU) キューで行う再使用数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。 リセット特性: ゼロにリセット
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム)	LDGPROGNIU	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの数。 リセット特性: リセットなし
Amount of DSA occupied by Not In Use programs (不使用プログラムに占有される DSA の量)	LDGSTGNIU	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている SDSA ストレージの現在量。 リセット特性: リセットなし

ローダー・ドメイン: グローバル統計 - ESDSA

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	LDGDPSCR	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	LDGDPSCT	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「時: 分: 秒.小数部」で表されます。ただし、DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) 値としての時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)		DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対してプログラムが適格である時間の平均の長さ。 この値は DFHSTUP によって計算されます。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。 リセット特性: なし
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	LDGRECNIU	CICS が不使用 (NIU) キューで行う再使用数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。 リセット特性: ゼロにリセット
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム)	LDGPROGNIU	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの数。 リセット特性: リセットなし
Amount of DSA occupied by Not In Use programs (不使用プログラムに占有される DSA の量)	LDGSTGNIU	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている ESDSA ストレージの現在量。 リセット特性: リセットなし

ローダー・ドメイン: グローバル統計 - RSDA

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	LDGDPSCR	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	LDGDPSCT	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「時: 分: 秒.小数部」で表されます。ただし、DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) 値としての時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)		DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対してプログラムが適格である時間の平均の長さ。 この値は DFHSTUP によって計算されます。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。 リセット特性: なし
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	LDGRECNIU	CICS が不使用 (NIU) キューで行う再使用数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。 リセット特性: ゼロにリセット
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム)	LDGPROGNIU	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの数。 リセット特性: リセットなし

ローダー・ドメイン: グローバル統計 - ERDSA

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	LDGDPSCR	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	LDGDPSCT	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「時: 分: 秒.小数部」で表されます。ただし、DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) 値としての時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)		DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対してプログラムが適格である時間の平均の長さ。 この値は DFHSTUP によって計算されます。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。 リセット特性: なし
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	LDGRECNIU	CICS が不使用 (NIU) キューで行う再使用数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。 リセット特性: ゼロにリセット
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム)	LDGPROGNIU	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの数。 リセット特性: リセットなし
Amount of DSA occupied by Not In Use programs (不使用プログラムに占有される DSA の量)	LDGSTGNIU	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている ERDSA ストレージの現在量。 リセット特性: リセットなし

ローダー・ドメイン: 要約グローバル統計

以下の統計フィールドには、ローダーに対する要約グローバル・データが含まれます。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *91.* ローダー・ドメイン: 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Library load requests (ライブラリー・ロード要求)	DFHRPL ライブラリー連結、または動的ライブラリー連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードする場合にローダーが MVS LOAD 要求を発行した回数。LPA 内のモジュールは、この値には含まれていません。 この値には、オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求と、RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求の両方が含まれています。
Library load requests on the RO TCB (RO TCB でのライブラリー・ロード要求)	RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求をローダーが発行した回数。この値は、「Library load requests (ライブラリー・ロード要求)」で示されたライブラリー・ロード数のサブセットです。オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求数を計算するには、「Library load requests (ライブラリー・ロード要求)」で示された値からこの値を減算します。
Total loading time (合計ロード時間)	ライブラリーのロードを、「Library load requests (ライブラリー・ロード要求)」が示している回数行うのに要した時間。この値には、オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求と、RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求の両方が含まれています。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。
Total loading time on the RO TCB (RO TCB での合計ロード時間)	ライブラリーのロードを、「Library load requests on the RO TCB (RO TCB でのライブラリー・ロード要求)」が示している回数行うのに要した時間。この値は、「Total loading time (合計ロード時間)」で示された時間のサブセットです。オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求にかかった時間を計算するには、「Total loading time (合計ロード時間)」で示された値からこの値を減算します。DFHSTUP レポートでは、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。
Average loading time (平均ロード時間)	プログラムのロードにかかった平均時間。この値は、オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求と、RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求の両方を含む平均です。DFHSTUP では、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。
Average loading time on the RO TCB (RO TCB での平均ロード時間)	RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求のみの完了にかかった平均時間。DFHSTUP では、この時間は時間: 分: 秒. 小数部 で表されます。
Program uses (プログラムの使用)	CICS システムで使用されているプログラムの数。

表 *91.* ローダー・ドメイン*:* 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Requests that waited (待機した要求)	別のタスクのためにローダー・ドメインがプログラム上で操作を完了するのを待機したローダー・ドメイン要求の数。プログラム・ロード要求は、以下の理由で待機する場合があります。 • プログラムが、オープン TCB で実行されている別のタスクによってロードされている。 • ローダー・ドメインが、プログラムのリンク・パック域 (LPA) を検索している。 • NEWCOPY 要求または物理ロードが、プログラムに対して進行中である。
Peak waiting Loader requests (待機中ローダー要求のピーク)	一度に中断されるタスクの最大数。
Times at peak (ピーク時の回数)	LDGWLRHW で示された最高水準点に達した回数。この値は、直前の 2 つの値と共に、ローダー・リソースの競合レベルを示しています。
Total waiting time (合計待ち時間)	「Requests that waited (待機した要求)」統計が示している数のタスクの中断時間。DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間:分:秒.小数部」で表されます。
Times DFHRPL re-opened (DFHRPL が再オープンする回数)	ローダーがロード操作中にエクステント終了状態を受け取り、DFHRPL または動的 LIBRARY 連結を正常にクローズして再オープンし、ロード操作を再試行した回数。
CDSA	
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの総数。
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間の合計。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間:分:秒.小数部」で表されます。
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)	プログラムが DPSC によるストレージからの除去対象として適格となってから実際にストレージから除去されるまでの時間の平均。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間*:* 分*:* 秒. 小数部 で表されます。
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	CICS が不使用 (NIU) キューで行った再使用の総数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。

表 *91.* ローダー・ドメイン*:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム) **ECDSA**	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの総数。
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの総数。
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間の合計。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間:分:秒.小数部」で表されます。
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)	プログラムが DPSC によるストレージからの除去対象として適格となってから実際にストレージから除去されるまでの時間の平均。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間*:* 分*:* 秒*.* 小数部 で表されます。
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	CICS が不使用 (NIU) キューで行った再使用の総数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム) **SDSA**	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの総数。
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの総数。
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間の合計。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間:分:秒.小数部」で表されます。

表 *91.* ローダー・ドメイン*:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)	プログラムが DPSC によるストレージからの除去対象として適格となってから実際にストレージから除去されるまでの時間の平均。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間*:* 分*:* 秒*.* 小数部 で表されます。
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	CICS が不使用 (NIU) キューで行った再使用の総数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム) **ESDSA**	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの総数。
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの総数。
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間の合計。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間:分:秒.小数部」で表されます。
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)	プログラムが DPSC によるストレージからの除去対象として適格となってから実際にストレージから除去されるまでの時間の平均。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間*:* 分*:* 秒*.* 小数部 で表されます。
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	CICS が不使用 (NIU) キューで行った再使用の総数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム) **RDSA**	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの総数。
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの総数。

表 *91.* ローダー・ドメイン*:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間の合計。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間:分:秒.小数部」で表されます。
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)	プログラムが DPSC によるストレージからの除去対象として適格となってから実際にストレージから除去されるまでの時間の平均。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間*:* 分*:* 秒*.* 小数部 で表されます。
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	CICS が不使用 (NIU) キューで行った再使用の総数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム) **ERDSA**	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの総数。
Programs removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの総数。
Total Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の合計)	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間の合計。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。 このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 DFHSTUP レポートでは、この時間は「日-時間:分:秒.小数部」で表されます。
Average Not In Use queue membership time (不使用キューのメンバーシップ時間の平均)	プログラムが DPSC によるストレージからの除去対象として適格となってから実際にストレージから除去されるまでの時間の平均。 DFHSTUP レポートでは、この時間は時間*:* 分*:* 秒*.* 小数部 で表されます。
Reclaims from Not In Use queue (不使用キューからの再使用)	CICS が不使用 (NIU) キューで行った再使用の総数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。

表 *91.* ローダー・ドメイン*:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Programs loaded but Not In Use (ロードされるが不使用のプログラム)	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの総数。

ログ・ストリーム統計

CICS は、単一領域のアクティビティーの分析に使用できる、各ログ・ストリームに書き込まれるデータに関する統計を収集します。 ただし、ログ・ストリームは複数の MVS イメージ間で共用できるため、MVS によって生成される統計を検討した方がより役立つ場合があります。

ログ・ストリーム統計には、以下のような、各ログ・ストリームの使用に関するデータが含まれています。

- ログ・ストリームへの書き込み要求数
- ログ・ストリームに書き込まれるバイト数
- ログ・ストリーム・バッファーの待機数
- ログ・ストリームのブラウズおよび削除要求の数

このリストの最後の 3 項目の、CICS システムのログ・ストリーム統計は常にゼロです。

ジャーナル名は、書き込まれる宛先ログ・ストリームを示す便利な手段です。 CICS アプリケーションは、ジャーナル名を使用してデータをジャーナルに書き込みます。 CICS 自身は、通常、CICS ログ・マネージャーに要求を出すときには基礎的なログ・ストリーム名を使用します。よって、ジャーナル名およびログ・ストリーム・リソース統計を解釈する場合は、これを考慮に入れる必要があります。 例えば、この統計は、ログ・ストリームに対する多くの操作を示す場合があります。しかし、そのログ・ストリームにマップされるジャーナル名に書き込まれる操作は、あったとしても比較的少ない操作です。 このことは、ログ・ストリーム・レベルでリソースにアクセスするのは CICS であり、CICS アプリケーション・プログラミング・インターフェースによって書き込むアプリケーションではないことを示しています。 この結果は、通常、DFHLOG および DFHSHUNT のジャーナル名リソース統計を調べ、それらを、関連する CICS システム・ログ・ストリームのリソース統計と比較するときに見ることができます。

ロギングおよびジャーナリングの詳細については、CICS ロギングおよびジャーナリングを参照してください。

ログ・ストリーム: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STREAMNAME システム・コマンドを使用して、グローバル・ログ・ストリーム統計を取得できます。これらの統計は DFHLGGDS DSECT によってマップされます。

以下の統計フィールドには、ログ・マネージャー・ドメインで収集されたグローバル・データが含まれます。

ロギングおよびジャーナリングの詳細については、CICS ロギングおよびジャーナリングを参照してください。

表 92. ログ・ストリーム: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Activity Keypoint Frequency (AKPFREQ) (活動キーポイント頻度 (AKPFREQ))	LGGAKPFREQ	キーポイントの取得と取得の間のロギング操作数である、現行の活動キーポイントのトリガー値を示します。これは、SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは動的に変更された AKPFREQ 値です。 リセット特性: リセットなし
Activity Keypoints Taken (取得された活動キーポイント数)	LGGAKPSTKN	取得された活動キーポイントの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Log Deferred Force (LGDFINT) Interval (msec) (据え置きされたログの強制) (LGDFINT) 間隔 (msec)	LGGLGDEFER	ログ据え置きの現在の間隔。ログ据え置きの間隔とは、MVS システム・ロガーを起動する前に強制ジャーナル書き込み要求を遅らせる期間を決定する場合に CICS ログ・マネージャーで使用される期間のことです。 これは、SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは動的に変更された LGDFINT 値です。 リセット特性: リセットなし

ログ・ストリーム: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STREAMNAME システム・コマンドを使用して、ログ・ストリームのリソース統計を取得できます。これらの統計は DFHLGSDS DSECT によってマップされます。

以下の統計フィールドには、ログ・マネージャー・ドメインで収集されたリソース・データが含まれます。

ロギングおよびジャーナリングの詳細については、CICS ロギングおよびジャーナリングを参照してください。

表 93. ログ・ストリーム: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Log Stream Name (ログ・ストリーム名)	LGSTRNAM	ログ・ストリーム名。 リセット特性: リセットなし
System Log (システム・ログ)	LGSSYSLG	ログ・ストリームがシステム・ログの一部を形成しているかどうかを示します。 リセット特性: リセットなし

表 93. ログ・ストリーム: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Structure Name (構造名)	LGSSTRUC	ログ・ストリームのカップリング・ファシリティー (CF) の構造名。 この構造名は、カップリング・ファシリティー・タイプのログ・ストリームにのみ適用することができます。 リセット特性: リセットなし
Max Block Length (最大ブロック長)	LGSMAXBL	ログ・ストリームに対して MVS ロガーが許可している最大ブロック・サイズ。 リセット特性: リセットなし
DASD Only (DASD のみ)	LGSDONLY	ログ・ストリームのタイプを示します。 「YES」に設定すると、ログ・ストリームのタイプは DASDONLY になります。「NO」に設定すると、ログ・ストリームのタイプはカップリング・ファシリティー (CF) になります。 リセット特性: リセットなし
Retention Period (保存期間)	LGSRETPD	MVS ロガーによってデータを物理的に削除する前に、そのデータを保持しておく必要のある、ログ・ストリームの保存期間 (日数)。 リセット特性: リセットなし
Auto Delete (自動削除)	LGSAUTOD	ログ・データの自動削除標識。 「YES」に設定すると、保存期間を過ぎたデータは、ログ・ストリームの削除呼び出しにかかわらず、MVS ロガーによって自動的に削除されます。「NO」に設定されている場合は、ログ・ストリームの削除呼び出しが発行され、データが保存期間を過ぎている場合にのみ、そのデータが削除されます。 リセット特性: リセットなし
Delete Requests (削除要求)	LGSDELETES	ログ・ストリームからのデータ・ブロックの DELETE 数。 非システム・ログの場合は、CICS が非システム・ログに対してログ削除要求を発行していないため、ここに 'N/A' が表示されます。 リセット特性: ゼロにリセット
Query Requests (照会要求数)	LGSQUERIES	ログ・ストリームの状況を確認するために CICS が作成した照会の数。 リセット特性: ゼロにリセット

ログ・ストリーム: 要求統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STREAMNAME システム・コマンドを使用して、ログ・ストリーム要求の統計を取得できます。これらの統計は DFHLGSDS DSECT によってマップされます。

以下の統計フィールドには、ログ・マネージャー・ドメインで収集された要求データが含まれます。

表 *94.* ログ・ストリーム*:* 要求統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Log Stream Name (ログ・ストリーム名)	LGSTRNAM	ログ・ストリーム名です。 リセット特性: リセットなし
Write Requests (書き込み要求)	LGSWRITES	ログ・ストリームに対するデータ・ブロックの WRITE 数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Written (書き込みバイト数)	LGSBYTES	ログ・ストリームに書き込まれた合計バイト数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Buffer Appends (バッファー追加数)	LGSBUFAPP	ジャーナル・レコードが現行ログ・ストリーム・バッファーに正常に付加された回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Waits Buff Full (待機バッファー・フル)	LGSBUFWAIT	バッファーが論理的に満杯のときに現行ログ・ストリーム・バッファーにジャーナル・レコードの追加を試行する合計回数です。このような状態は、現行ログ・ストリーム・バッファーにジャーナル・レコードのための十分なスペースがなく、代替ログ・ストリーム・バッファーに対する I/O が既に進行している場合に発生します。 リセット特性: ゼロにリセット
Current Frce Wtrs (現在の強制待機数)	LGSCUFWTRS	現在使用中のログ・ストリーム・バッファーのフラッシュの要求時に一時停止されているタスクの現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Peak Frce Wtrs (強制待機のピーク)	LGSPKFWTRS	現在使用中のログ・ストリーム・バッファーのフラッシュの要求時に一時停止されているタスクのピーク数です。 リセット特性: 現行にリセット

表 *94.* ログ・ストリーム: 要求統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total Force Wts (強制待機の合計)	LGSTFCWAIT	現在使用中のログ・ストリーム・バッファーのフラッシュの要求時に一時停止されているタスクの合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Browse Starts (ブラウズ開始数)	LGSBRWSTRT	ログ・ストリームで開始された BROWSE 操作の数です。非システム・ログのログ・ストリームの場合は、ブラウズすることができないため、ここに 'N/A' が表示されます。 リセット特性: ゼロにリセット
Browse Reads (ブラウズ読み取り数)	LGSBRWREAD	ログ・ストリームからのデータ・ブロックの READ 数です。非システム・ログのログ・ストリームの場合は、ブラウズすることができないため、ここに 'N/A' が表示されます。 リセット特性: ゼロにリセット
Retry Errors (再試行エラー数)	LGSRTYERRS	ログ・ストリームにデータ・ブロックが書き込まれているときに、MVS システム・ロガーの再試行可能エラーが発生した回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

ログ・ストリーム: 要約グローバル統計

以下の統計フィールドには、ログ・ストリームの要約グローバル・データが含まれます。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *95.* ログ・ストリーム: 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Activity Keypoint Frequency (AKPFREQ) (活動キーポイント頻度 (AKPFREQ))	キーポイントの取得と取得の間のロギング操作数である、最新の活動キーポイントのトリガー値を示します。これは、SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは **EXEC CICS SET SYSTEM AKP (フルワード・バイナリー・データ値)** コマンドを使用して動的に変更された最新の AKPFREQ 値です。
Total Activity Keypoints Taken (取得された活動キーポイントの合計)	実施された活動キーポイントの合計数。

表 *95.* ログ・ストリーム*:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Log Deferred Force (LGDFINT) Interval (msec) (据え置きされたログの強制) (LGDFINT) 間隔 (msec)	最新のログ据え置きの間隔です。ログ据え置きの間隔とは、MVS システム・ロガーを起動する前に強制ジャーナル書き込み要求を遅らせる期間を決定する場合に CICS ログ・マネージャーで使用される期間。 SIT に指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、**EXEC CICS SET SYSTEM LOGDEFER (**ハーフワード・バイナリー・データ値**)** コマンドを使用して動的に変更された最新の LGDFINT 値です。

ログ・ストリーム**:** 要約リソース統計

以下の統計フィールドには、ログ・ストリームの要約リソース・データが含まれます。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *96.* ログ・ストリーム*:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
Log Stream Name (ログ・ストリーム名)	ログ・ストリーム名です。
System Log (システム・ログ)	ログ・ストリームがシステム・ログの一部を形成しているかどうかを示します。
Structure Name (構造名)	ログ・ストリームのカップリング・ファシリティー (CF) 構造名です。この構造名は、カップリング・ファシリティー・タイプのログ・ストリームにのみ適用することができます。
Max Block Length (最大ブロック長)	MVS ロガーでログ・ストリームに対して許可されている最大ブロック・サイズです。
DASD Only (DASD のみ)	ログ・ストリームのタイプを示します。 「YES」に設定すると、ログ・ストリームのタイプは DASDONLY になります。「NO」に設定すると、ログ・ストリームのタイプはカップリング・ファシリティー (CF) になります。
Retention Period (保存期間)	データを MVS ロガーから物理的に削除する前に保持するログ・ストリームの保存期間 (日) です。
Auto Delete (自動削除)	ログ・データ自動削除インディケーターです。 「YES」に設定すると、保存期間を過ぎたデータは、ログ・ストリームの削除呼び出しにかかわらず、MVS ロガーによって自動的に削除されます。「NO」に設定されている場合は、ログ・ストリームの削除呼び出しが発行され、データが保存期間を過ぎている場合にのみ、そのデータが削除されます。

表 96. ログ・ストリーム: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Log Delete Requests (ログ削除要求)	ログ・ストリームからのデータ・ブロックの合計 DELETE 数です。非システム・ログの場合は、CICS が非システム・ログに対してログ削除要求を発行していないため、ここに 'N/A' が表示されます。
Log Query Requests (ログ照会要求)	ログ・ストリームの状況を確認するために CICS が作成した照会の合計数です。

ログ・ストリーム: 要約要求統計

以下の統計フィールドには、ログ・ストリームの要約要求データが含まれます。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 97. ログ・ストリーム: 要約要求統計

DFHSTUP 名	説明
Log Stream Name (ログ・ストリーム名)	ログ・ストリーム名です。
Write Requests (書き込み要求)	ログ・ストリームに対するデータ・ブロックの合計 WRITE 数です。
Bytes Written (書き込みバイト数)	ログ・ストリームに書き込まれた合計バイト数です。
Buffer Appends (バッファー追加数)	ジャーナル・レコードが現行ログ・ストリーム・バッファーに正常に付加された回数の合計数です。
Waits Buffer Full (待機バッファー・フル)	バッファーが論理的に満杯のときに現行ログ・ストリームにジャーナル・レコードの追加を試行する合計回数です。
Peak Force Wtrs (強制待機のピーク)	現在使用中のログ・ストリーム・バッファーの FLUSH の要求時に一時停止されているタスクのピーク数です。
Total Force Waits (強制待機の合計)	現在使用中のログ・ストリーム・バッファーの FLUSH の要求時に一時停止されているタスクの合計数です。
Log Browse Starts (ログ・ブラウズ開始数)	ログ・ストリームで開始された実施された BROWSE 操作の合計数です。非システム・ログのログ・ストリームの場合は、ブラウズすることができないため、ここに 'N/A' が表示されます。
Log Browse Reads (ログ・ブラウズ読み取り)	ログ・ストリームからのデータ・ブロックの合計 READ 数です。非システム・ログのログ・ストリームの場合は、ブラウズすることができないため、ここに 'N/A' が表示されます。

表 97. ログ・ストリーム: 要約要求統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Retry Errors (再試行エラー数)	ログ・ストリームにデータ・ブロックが書き込まれているときに、MVS システム・ロガーの再試行可能エラーが発生した合計回数です。

LSR プール統計

CICSは、最大 255 個の LSR プールの使用をサポートし、2 セットの LSR プール・アクティビティーの統計を作成します。1 つのセットは、各 LSR プールのアクティビティーを扱い、もう 1 つのセットは、LSR プールに関連する各ファイルの詳細を提供します。

LSR プール統計の解釈

CICS は最大で 255 個の LSR プールの使用をサポートします。 CICS は、LSR プール・アクティビティーの 2 セットの統計をサポートします。1 つのセットは、各 LSR プールのアクティビティーを扱い、もう 1 つのセットは、LSR プールに関連する各ファイルの詳細を提供します。 作成されたすべてのプールの統計が印刷されます (プールを使用するファイルの少なくとも 1 つが開かれると、プールが作成されます)。

ストリングを待つ要求をもたないようにする必要があります。 その要求を持つときは、MXT を使用した方が効果的な場合があります。

LSR プールで最後に開いていたファイルを閉じると、プールは削除されます。 SMF に書き込まれる、それ以後の非送信請求統計 (USS) LSR プール・レコードは、DFHA08DS DSECT によってマップできます。

プールのサイズおよび特性に関連したフィールド (最大キー長、ストリングの数、バッファーの数とサイズ) は、オンライン・リソース定義コマンド DEFINE LSRPOOL によってプールに指定したフィールドの可能性があります。 または、フィールドの一部またはすべてが指定されていない場合には、未指定フィールドの値は、プールが作成されたときに CICS によって計算されたフィールドです。

ファイルを閉じるときにファイルの LSR プール指定を変更することができますが、プールが既に作成されている場合は、ファイルが共用するプールの特性を考慮に入れる必要があります。そうしない場合、ファイルのオープンが失敗する可能性があります。 プールが作成されていないため、プールの特性を指定する場合は、それらの特性がファイルにとって適切なものになるようにしてください。 プールが作成されていないため、CICS がオペランドのすべてまたは一部を計算するときは、CICS はそのプールのプール作成を作成する場合があります。 統計にはプールのすべての作成が表示されるため、変更されたすべての特性を見ることができます。

別々のデータおよび索引バッファーを指定していない場合は、そのようにする必要があります。 索引 CI のサイズがデータ CI のサイズと同じ場合は、特にこのことが当てはまります。

それほど多くないアドレス・スペース・バッファー数を保持するときは、ハイパースペース・バッファーを使用することも必要です。 ハイパースペース・バッファーを使用すると、データをメモリーに保持する際のプロセッサーの負荷が軽減され、比較的安価な拡張ストレージを使用し、中央ストレージの使用効率を向上させることができます。

LSR プール: 各 LSR プールのリソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS LSRPOOL システム・コマンドを使用して、LSR プールのリソース統計を取得できます。これらの統計は DFHA08DS DSECT によってマップされます。

以下の情報は、プールのサイズおよび特徴について説明し、ストリングおよびバッファーを使用するために、収集したデータを表示します。

表 *98. LSR* プール*:* 各 *LSR* プールのリソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Pool Number (プール番号)	A08SRPID	プールの識別番号。この値の範囲は 1 から 255 までです。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A08FLAGS	別々のデータ・プールおよび索引プールが使用される場合は値 X'80' に設定され、データおよび索引バッファーが同じプールを共用する場合は値 X'00' に設定されるフラグ。 リセット特性: リセットなし
Time Created (作成時刻)	A08LKCTD	この LSR プールが作成された時刻。 DFHSTUP レポートは、この時間を現地時間で 時: 分: 秒. 小数部 として表示します。 リセット特性: リセットなし
Time Deleted (削除時間)	A08LKDTD	この LSR プールが削除された現地時間 (STCK)。このフィールドは、プールが削除された場合にのみ印刷されます (つまり、そのプールを使用するすべてのファイルがクローズされた場合)。どの値も設定されない場合、DSECT フィールドにはパックされた 16 進値 X'00000000 00000000' が入ります。 このフィールドは、プールが削除された場合の非送信請求統計についてのみ印刷されます。 LSR プールの削除プロセスの結果、プールの非送信請求統計が出力されます。 削除されたプールの情報は、それ以降の統計の出力には印刷されません。そのため、「プールの削除時刻 (time pool deleted)」フィールドは、通常はこの非送信請求統計の出力にのみ印刷されます。 リセット特性: リセットなし

表 98. LSR プール: 各 LSR プールのリソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN DFHSTUP REPORT	A08GBKCD	この LSR プールが作成された時刻。 DFHSTUP レポートは、この時間を GMT で 時: 分: 秒. 小数部 として表示します。 リセット特性: リセットなし
NOT IN DFHSTUP REPORT	A08GBKDD	この LSR プールが削除された時刻を GMT で示したもの。 このフィールドは、プールが削除された場合にのみ印刷されます (つまり、そのプールを使用するすべてのファイルがクローズされた場合)。 どの値も設定されない場合、DSECT フィールドにはパックされた 16 進値 X'00000000 00000000' が入ります。 このフィールドは、プールが削除された場合の非送信請求統計についてのみ印刷されます。 LSR プールの削除プロセスの結果、プールの非送信請求統計が出力されます。 削除されたプールの情報は、それ以降の統計の出力には印刷されません。そのため、「プールの削除時刻 (time pool deleted)」フィールドは、通常はこの非送信請求統計の出力にのみ印刷されます。 リセット特性: リセットなし
Maximum key length (キーの最大長)	A08BKKYL	この LSR プールを使用する可能性のある VSAM データ・セットの最も長いキーの長さ。 値は、以下のいずれかのソースから取得されます。 • オンライン・リソース定義内の DEFINE LSRPOOL コマンドの MAXKEYLENGTH オプション (コード化されている場合) • LSR プールのビルド時の CICS 計算 リセット特性: リセットなし
Total number of strings (合計ストリング数)	A08BKSTN	値は、以下のいずれかのソースから取得されます。 • オンライン・リソース定義内の DEFINE LSR コマンドの STRINGS オプション (コード化されている場合) • LSR プールのビルド時の CICS 計算 リセット特性: リセットなし
Peak requests that waited for string (ストリング待ちのピーク要求数)	A08BKHSW	プール内のすべてのストリングが使用中であったために、一度にキューに入れられていた要求の最大数。 リセット特性: 現行値にリセット

表 98. LSR プール: 各 LSR プールのリソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total requests that waited for string (ストリング待ちの合計要求数)	A08BKTSW	プール内のすべてのストリングが使用中であったために、キューに入れられた要求の数。 この数は、LSR プール・ストリング・リソースの制限のために、CICS の実行中に遅延した要求の数を反映します。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak concurrently active strings (並行アクティブ・ストリングのピーク数)	A08BKHAS	CICS の実行中にアクティブであったストリングの最大数。 プールを使用するストリングの数の値をコード化した場合、この統計は常に、コード化された値以下になります。 ストリング数のコード化した値が統計内のこの値よりも常に大きい場合は、値を減らして VSAM ストリングのプールが必要数より大きくならないようにすることを考慮してください。 リセット特性: 現行値にリセット

別々のデータ・プールと索引プールが使用されていない場合は、合計のすべての統計が A08TO*xxx*_DATA 変数から取得され、索引の合計は使用されませんので、注意してください。

LSR プール: データ・バッファー統計

表 99. LSR プール: データ・バッファー統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Size (サイズ)	A08BKBSZ	CICS で使用可能なバッファーのサイズ。バッファーは以下の方法で指定することができます。 • オンライン・リソース定義の DEFINE LSRPOOL コマンド • LSRPOOL のビルド時に CICS によって行われる、使用するバッファーの計算 リセット特性: リセットなし
Number (数)	A08TOBFN_DATA	プールによって使用されるデータ・バッファーの番号。 リセット特性: リセットなし
Lookasides (検索数)	A08TOBFF_DATA	そのプールのデータ・バッファーに対する検索の成功数。 リセット特性: リセットなし

表 *99. LSR* プール: データ・バッファー統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Reads (読み取り数)	A08TOFRD_DATA	そのプールのデータ・バッファーに対する読み取り I/O の数。 リセット特性: リセットなし
User writes (ユーザー書き込み数)	A08TOUIW_DATA	そのプールのデータ・バッファーからのユーザーが開始したバッファー WRITE の数。 リセット特性: リセットなし
Non-user writes (非ユーザー書き込み数)	A08TONUW_DATA	そのプールのデータ・バッファーからのユーザー以外が開始したバッファー WRITE の数。 リセット特性: リセットなし

LSR プール: ハイパースペース・データ・バッファーの統計

表 *100. LSR* プール: ハイパースペース・データ・バッファーの統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Size (サイズ)	A08BKBSZ	CICS で使用可能なバッファーのサイズ。バッファーは以下の方法で指定することができます。 • オンライン・リソース定義の DEFINE LSRPOOL コマンド • LSRPOOL のビルド時に CICS によって行われる、使用するバッファーの計算 リセット特性: リセットなし
Number (数)	A08TOHBN_DATA	プールに対して指定されたハイパースペース・データ・バッファーの数。 リセット特性: リセットなし
Hiperspace™ reads (ハイパースペース読み取り数)	A08TOCRS_DATA	ハイパースペース・データ・バッファーから仮想データ・バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CREAD 要求の数。 リセット特性: リセットなし
Hiperspace writes (ハイパースペース書き込み)	A08TOWRS_DATA	仮想データ・バッファーからハイパースペース・データ・バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CWRITE 要求の数。 リセット特性: リセットなし

表 *100. LSR* プール*:* ハイパースペース・データ・バッファーの統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Hiperspace failed reads (ハイパースペース失敗した読み取り数)	A08TOCRF_DATA	失敗した CREAD 要求の数。 MVS はスペースを撤回し、VSAM は DASD からデータを読み取る必要がありました。 リセット特性: リセットなし
Hiperspace failed writes (ハイパースペース失敗した書き込み数)	A08TOCWF_DATA	失敗した CWRITE 要求の数。 ハイパースペースが不足しており、VSAM は DASD にデータを書き込む必要がありました。 リセット特性: リセットなし

LSR プール: 索引バッファーの統計

表 *101. LSR* プール*:* 索引バッファーの統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Size (サイズ)	A08BKBSZ	CICS で使用可能なバッファーのサイズ。バッファーは以下の方法で指定することができます。 • オンライン・リソース定義の DEFINE LSRPOOL コマンド • LSRPOOL のビルド時に CICS によって行われる、使用するバッファーの計算 リセット特性: リセットなし
Number (数)	A08TOBFN_INDX	プールによって使用される索引バッファーの番号。 リセット特性: リセットなし
Lookasides (検索数)	A08TOBFF_INDX	そのプールの索引バッファーに対する検索の成功数。 リセット特性: リセットなし
Reads (読み取り数)	A08TOFRD_INDX	そのプールの索引バッファーに対する読み取り I/O の数。 リセット特性: リセットなし
User writes (ユーザー書き込み数)	A08TOUIW_INDX	そのプールの索引バッファーからのユーザーが開始したバッファー WRITE の数。 リセット特性: リセットなし
Non-user writes (非ユーザー書き込み数)	A08TONUW_INDX	そのプールの索引バッファーからのユーザー以外が開始したバッファー WRITE の数。 リセット特性: リセットなし

LSR プール: ハイパースペース索引バッファーの統計

以下の統計フィールドのグループは、プールが使用できるさまざまなバッファー・サイズの特徴と使用法について説明します。

LSR プール Hiperspace 索引バッファー統計はオンラインで使用することができ、DFHA08DS DSECT で定義された A08BSSDS DSECT によってマップされます。この DSECT は、使用可能な 11 CISIZE ごとに繰り返されます。

表 *102. LSR* プール*:* ハイパースペース索引バッファーの統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Size (サイズ)	A08BKBSZ	CICS で使用可能なバッファーのサイズ。バッファーは以下の方法で指定することができます。 • オンライン・リソース定義の DEFINE LSRPOOL コマンド • LSRPOOL のビルド時に CICS によって行われる、使用するバッファーの計算 リセット特性: リセットなし
Number (数)	A08TOHBN_INDX	プールに対して指定されたハイパースペース索引バッファーの数。 リセット特性: リセットなし
Hiperspace reads (ハイパースペース読み取り数)	A08TOCRS_INDX	ハイパースペース索引バッファーから仮想索引バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CREAD 要求の数。 リセット特性: リセットなし
Hiperspace writes (ハイパースペース書き込み)	A08TOWRS_INDX	仮想索引バッファーからハイパースペース索引バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CWRITE 要求の数。 リセット特性: リセットなし
Hiperspace failed reads (ハイパースペース失敗した読み取り数)	A08TOCRF_INDX	失敗した CREAD 要求の数。 MVS はスペースを撤回し、VSAM は DASD からデータを読み取る必要がありました。 リセット特性: リセットなし
Hiperspace failed writes (ハイパースペース失敗した書き込み数)	A08TOCWF_INDX	失敗した CWRITE 要求の数。 ハイパースペースが不足しており、VSAM は DASD にデータを書き込む必要がありました。 リセット特性: リセットなし

LSR プール: バッファーの統計

表 *103. LSR* プール: バッファーの統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Buffer Size (バッファー・サイズ)	A08BKBSZ	CICS で使用可能なバッファーのサイズ。バッファーは以下の方法で指定することができます。 • オンライン・リソース定義の DEFINE LSRPOOL コマンド • LSRPOOL のビルド時に CICS によって行われる、使用するバッファーの計算 リセット特性: リセットなし
Number (数)	A08BKBFN	CICS で使用可能な各サイズのバッファーの数: リセット特性: リセットなし
Lookasides (検索数)	A08BKBFF	入出力操作を開始しなくても VSAM が満たすことのできた読み取り要求の数。つまり、要求されたレコード (索引またはデータ) が既に、バッファー常駐 CI の 1 つに存在していました。制御間隔をバッファーに書き込むために物理 I/O を行う必要はなかったことを意味します。 通常採用されるチューニング方法には、特定の CI サイズのバッファー数を READ に対する検索の率が著しく上がらなくなるまで増加させるか、または逆に、バッファーの数を READ に対する検索の率が著しく下がり始めるまで削減します。 ほとんどのデータ・セットの場合、成功する検索は索引にヒットしている可能性がより高いです。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 これらの統計はどのような環境でも、CICS によってリセットされることはない 点に注意してください。 リセット特性: リセットなし
Reads (読み取り数)	A08BKFRD	CICS アプリケーションのアクティビティーを満たすために、VSAM が開始する必要があった、バッファーへの入出力操作の数。 この図は、バッファー内の制御間隔の検出の失敗を表しています。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 これらの統計はどのような環境でも、CICS によってリセットされることはない 点に注意してください。 リセット特性: リセットなし

表 *103. LSR* プール*:* バッファーの統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
User writes (ユーザー書き込み数)	A08BKUIW	CICS アプリケーションのアクティビティーを満たすために VSAM が開始する必要があった、バッファーからユーザーが開始した入出力 WRITE 操作の数。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 これらの統計はどのような環境でも、CICS によってリセットされることはない 点に注意してください。 リセット特性: リセットなし
Non-user writes (非ユーザー書き込み数)	A08BKNUW	CI の内容を読み取るのに使用できるバッファーがなかったために、VSAM が強制的に開始させられた、バッファーからユーザー以外が開始した入出力 WRITE 操作の数。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 これらの統計はどのような環境でも、CICS によってリセットされることはない 点に注意してください。 リセット特性: リセットなし

LSR プール: ハイパースペース・バッファーの統計

表 *104. LSR* プール*:* ハイパースペース・バッファーの統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Size (サイズ)	A08BKBSZ	CICS で使用可能なバッファーのサイズ。 バッファーは以下の方法で指定することができます。 • オンライン・リソース定義の DEFINE LSRPOOL コマンド • LSRPOOL のビルド時に CICS によって行われる、使用するバッファーの計算 リセット特性: リセットなし
Number (数)	A08BKHBN	プールに対して指定されたハイパースペース・バッファーの数。 リセット特性: リセットなし
Hiperspace reads (ハイパースペース読み取り数)	A08BKCRS	ハイパースペース・バッファーから仮想バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CREAD 要求の数。 リセット特性: リセットなし

表 *104. LSR* プール*:* ハイパースペース・バッファーの統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Hiperspace writes (ハイパースペース書き込み)	A08BKCWS	仮想バッファーからハイパースペース・バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CWRITE 要求の数。 リセット特性: リセットなし
Hiperspace failed reads (ハイパースペース失敗した読み取り数)	A08BKCRF	失敗した CREAD 要求の数。 MVS はスペースを撤回し、VSAM は DASD からデータを読み取る必要がありました。 リセット特性: リセットなし
Hiperspace failed writes (ハイパースペース失敗した書き込み数)	A08BKCWF	失敗した CWRITE 要求の数。 ハイパースペースが不足しており、VSAM は DASD にデータを書き込む必要がありました。 リセット特性: リセットなし

これらのハイパースペース統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。これらの統計はどのような環境でも、CICS によってリセットされることはない 点に注意してください。

LSR プール: 各 LSR プールの要約リソース統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *105. LSR* プール*:* 各 *LSR* プールの要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
Total number of pools (プールの合計数)	CICS 全体の実行中にビルドされた LSR プールの総数。
Peak requests that waited for string (ストリング待ちのピーク要求数)	プール内のすべてのストリングが使用中であったために、一度にキューに入れられていた要求の最大数。
Total requests that waited for string (ストリング待ちの合計要求数)	プール内のすべてのストリングが使用中であったために、キューに入れられた要求の合計数。 この数は、LSR プール・ストリング・リソースの制限のために、CICS の実行中に遅延した要求の数を反映します。
Peak concurrently active strings (並行アクティブ・ストリングのピーク数)	CICS の実行中にアクティブであったストリングのピーク数。 プールを使用するストリングの数の値をコード化した場合、この統計は常に、コード化された値以下になります。 ストリング数のコード化した値が統計内のこの値よりも常に大きい場合は、値を減らして VSAM ストリングのプールが必要数より大きくならないようにすることを考慮してください。

LSR プール: 要約データ・バッファーの統計

以下の統計フィールドのグループは、CICS の実行全体での 255 個の LSR プールのそれぞれの使用を要約します。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *106. LSR* プール*:* 要約データ・バッファーの統計

DFHSTUP 名	説明
Pool Number (プール番号)	プールの識別番号。この値の範囲は 1 から 255 までです。
Lookasides (検索数)	そのプールのデータ・バッファーに対する検索の成功の総数。
Reads (読み取り数)	そのプールのデータ・バッファーに対する読み取り入出力操作の総数。
User writes (ユーザー書き込み数)	そのプールのデータ・バッファーからのユーザーが開始したバッファー WRITE 要求の総数。
Non-user writes (非ユーザー書き込み数)	そのプールのデータ・バッファーからのユーザー以外が開始したバッファー WRITE 要求の総数。

LSR プール: 要約ハイパースペース・データ・バッファーの統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *107. LSR* プール*:* 要約ハイパースペース・データ・バッファーの統計

DFHSTUP 名	説明
Pool Number (プール番号)	プールの識別番号。この値の範囲は 1 から 255 までです。
Hiperspace reads (ハイパースペース読み取り数)	データをハイパースペース・データ・バッファーから仮想データ・バッファーに転送するために発行された CREAD 要求の成功の総数。
Hiperspace writes (ハイパースペース書き込み)	データを仮想データ・バッファーからハイパースペース・データ・バッファーに転送するために発行された CWRITE 要求の成功の総数。
Hiperspace failed reads (ハイパースペース失敗した読み取り数)	失敗した CREAD 要求の総数。 MVS はスペースを撤回し、VSAM は DASD からデータを読み取る必要がありました。
Hiperspace failed writes (ハイパースペース失敗した書き込み数)	失敗した CWRITE 要求の総数。ハイパースペースが不足しており、VSAM は DASD にデータを書き込む必要がありました。

LSR プール: 要約索引バッファー統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *108. LSR* プール: 要約索引バッファー統計

DFHSTUP 名	説明
Pool Number (プール番号)	プールの識別番号。この値の範囲は 1 から 255 までです。
Lookasides (検索数)	そのプールの索引バッファーに対する検索の成功の総数。
Reads (読み取り数)	そのプールの索引バッファーに対する読み取り入出力操作の総数。
User writes (ユーザー書き込み数)	そのプールの索引バッファーからのユーザーが開始したバッファー WRITE 要求の総数。
Non-user writes (非ユーザー書き込み数)	そのプールの索引バッファーからのユーザー以外が開始したバッファー WRITE 要求の総数。

LSR プール: 要約ハイパースペース索引バッファーの統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *109. LSR* プール: 要約ハイパースペース索引バッファーの統計

DFHSTUP 名	説明
Pool Number (プール番号)	プールの識別番号。この値の範囲は 1 から 255 までです。
Hiperspace reads (ハイパースペース読み取り数)	データをハイパースペース索引バッファーから仮想索引バッファーに転送するために発行された CREAD 要求の成功の総数。
Hiperspace writes (ハイパースペース書き込み)	データを仮想索引バッファーからハイパースペース索引バッファーに転送するために発行された CWRITE 要求の成功の総数。
Hiperspace failed reads (ハイパースペース失敗した読み取り数)	失敗した CREAD 要求の総数。 MVS はスペースを撤回し、VSAM は DASD からデータを読み取る必要がありました。
Hiperspace failed writes (ハイパースペース失敗した書き込み数)	失敗した CWRITE 要求の総数。ハイパースペースが不足しており、VSAM は DASD にデータを書き込む必要がありました。

LSR プール: 要約バッファーの統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *110. LSR* プール*:* 要約バッファーの統計

DFHSTUP 名	説明
Pool Number (プール番号)	プールの識別番号。この値の範囲は 1 から 255 までです。
Lookasides (検索数)	入出力操作を開始せずに VSAM が満たすことができた読み取り要求の総数。つまり、要求された索引レコードまたはデータ・レコードが、バッファー常駐 CI のいずれかに既に存在していました。 制御間隔をバッファーに書き込むために物理 I/O を行う必要はなかったことを意味します。 採用されるチューニング方法には、特定の CI サイズのバッファー数を READ 要求に対する検索の率が著しく上がらなくなるまで増加させるか、または逆に、バッファーの数を READ 要求に対する検索の率が著しく下がり始めるまで削減します。 ほとんどのデータ・セットの場合、成功する検索は索引にヒットしている可能性がより高いです。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 これらの統計はどのような環境でも、CICS によってリセットされることはない点に注意してください。
Reads (読み取り数)	CICS アプリケーションのアクティビティーを満たすために、VSAM が開始する必要があった、バッファーへの入出力操作の合計数。 この図は、バッファー内の制御間隔の検出の失敗を表しています。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 これらの統計はどのような環境でも、CICS によってリセットされることはない点に注意してください。
User writes (ユーザー書き込み数)	VSAM が CICS アプリケーションのアクティビティーを満たすために開始することを要求されるバッファーからの、ユーザーが開始した I/O WRITE 操作の総数。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 これらの統計はどのような環境でも、CICS によってリセットされることはない点に注意してください。
Non-user writes (非ユーザー書き込み数)	CI のコンテンツの読み取りに使用できるバッファーがないために、VSAM が開始することを強制されたバッファーからの、ユーザー以外が開始した I/O WRITE 操作の総数。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 これらの統計はどのような環境でも、CICS によってリセットされることはない点に注意してください。

LSR プール: 要約ハイパースペース・バッファーの統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *111. LSR* プール: 要約ハイパースペース・バッファーの統計

DFHSTUP 名	説明
Pool Number (プール番号)	プールの識別番号。この値の範囲は 1 から 255 までです。
Hiperspace reads (ハイパースペース読み取り数)	データをハイパースペース・バッファーから仮想バッファーに転送するために発行された CREAD 要求の成功の総数。
Hiperspace writes (ハイパースペース書き込み)	データを仮想バッファーからハイパースペース・バッファーに転送するために発行された CWRITE 要求の成功の総数。
Hiperspace failed reads (ハイパースペース失敗した読み取り数)	失敗した CREAD 要求の総数。 MVS はスペースを撤回し、VSAM は DASD からデータを読み取る必要がありました。
Hiperspace failed writes (ハイパースペース失敗した書き込み数)	失敗した CWRITE 要求の総数。ハイパースペースが不足しており、VSAM は DASD にデータを書き込む必要がありました。 ハイパースペース統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。これらの統計はどのような環境でも、CICS によってリセットされることはない点に注意してください。

LSR プールに対するファイルの割り振りが、統計がカバーしている期間中に変更された場合、この履歴はいずれも使用できず、このセクションではプールを共用しているファイルの現在のリストのみが印刷されます。 ただし、これらの統計の以前のセクションには、プールを使用したすべてのファイルのアクティビティーが含まれています。

LSR プール: プールを使用するように指定された各ファイルのファイル - リソースの統計

表 *112. LSR* プール: プールを使用するように指定された各ファイルのファイル - リソースの統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Pool Number (プール番号)	A09SRPID	このファイルに関連した LSR プールの、1 から 255 までの範囲の番号。 リセット特性: リセットなし
File Name (ファイル名)	A09DSID	オンライン・リソース定義を使用して指定した CICS ファイル ID。 リセット特性: リセットなし

表 *112. LSR* プール*:* プールを使用するように指定された各ファイルのファイル - リソースの統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Data Buff Size (データ・バッファー・サイズ)	A09DBN	ファイルのデータ・レコード用に使用されるバッファーのサイズ。この値は、512 バイトから 32 KB までの範囲の、11 の可能な VSAM バッファー・サイズのいずれかです。 ファイルがまだ開かれていない場合の値はゼロです。 リセット特性: リセットなし
Index Buff Size (索引バッファー・サイズ)	A09IBN	ファイルの索引レコード用に使用されるバッファーのサイズ。そのファイルがそれ以降に動的に VSAM RRDS に割り振られた場合でも、印刷されます。 このフィールドに入る値は、データ・バッファー・サイズ統計の値と同じです。 リセット特性: リセットなし
Total Buff Waits (バッファー待機合計数)	A09TBW	LSR プール内のデータ (または索引) のデータ・セットによって使用されるそのサイズのすべてのバッファーが使用中であるために、待機する必要がある要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak Buff Waits (バッファー待機ピーク数)	A09HBW	LSR プール内のデータ (または索引) のデータ・セットによって使用されるそのサイズのすべてのバッファーが使用中であるために、待機する必要がある要求のピーク数。 データ・セットがバッファーを待っている場合には、そのデータ・セットによって使用されるデータおよび索引バッファーのサイズに対して定義されたバッファーの数を調べる必要があります。 VSAM によって使用されるバッファー・サイズは、そのデータ・セットの VSAM 定義内の制御間隔サイズによって異なります。 指定された制御間隔サイズのバッファー・サイズが存在しない場合は、次に大きい使用可能なバッファー・サイズが使用されます。 リセット特性: 現行値にリセット

LSR プール: ファイル - 要約リソースの統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *113. LSR* プール*:* ファイル - 要約リソースの統計

DFHSTUP 名	説明
Pool Number (プール番号)	このファイルに関連した LSR プールの、1 から 255 までの範囲の番号。
File Name (ファイル名)	オンライン・リソース定義を使用して指定した CICS ファイル ID。

表 113. LSR プール: ファイル - 要約リソースの統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Data Buff Size (データ・バッファー・サイズ)	ファイルのデータ・レコード用に使用されるバッファー・サイズ用に最後に検出された非ゼロ値。 この値は、512 バイトから 32 KB までの範囲の、11 の可能な VSAM バッファー・サイズのいずれかです。 ファイルがまだ開かれていない場合の値はゼロです。 最後の非ゼロ値は、既に開かれた場合にのみ作成されます。
Index Buff Size (索引バッファー・サイズ)	ファイルの索引レコード用に使用されるバッファー・サイズ用に最後に検出された非ゼロ値。 そのファイルがそれ以降に動的に VSAM RRDS に割り振られた場合でも、印刷されます。 このフィールドに入る値は、データ・バッファー・サイズ統計の値と同じです。
Total Buff Waits (バッファー待機合計数)	LSR プール内のデータ (または索引) のデータ・セットによって使用されるそのサイズのすべてのバッファーが使用中であるために、待機する必要がある要求の合計数。
Peak Buff Waits (バッファー待機ピーク数)	LSR プール内のデータ (または索引) のデータ・セットによって使用されるそのサイズのすべてのバッファーが使用中であるために、待機する必要がある要求のピーク数。 データ・セットがバッファーを待っている場合には、そのデータ・セットによって使用されるデータおよび索引バッファーのサイズに対して定義されたバッファーの数を調べる必要があります。 VSAM によって使用されるバッファー・サイズは、そのデータ・セットの VSAM 定義内の制御間隔サイズによって異なります。 指定された制御間隔サイズのバッファー・サイズが存在しない場合は、次に大きい使用可能なバッファー・サイズが使用されます。

モニター・ドメイン統計

モニター・ドメイン統計を使用すると、タスクで使用される CPU、ストレージ、一時記憶域要求、および他のリソースの量を測定できます。 この情報によって、CICS システムのパフォーマンスを観察できます。

モニター・ドメイン: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS MONITOR システム・コマンドを使用して、モニター・ドメイン・グローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHMNGDS DSECT によってマップされます。

以下の統計フィールドは、モニター・ドメインから収集されます。

表 114. モニター・ドメイン: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
CEC Machine Type and Model Number (CEC マシン・タイプおよび型式番号)	MNGMCHTP、MNGMDLID	CICS 領域が稼働している物理ハードウェア環境の CEC マシン・タイプおよび型式番号。 CEC (中央電子処理装置) は一般に使用されている CPC (中央演算処理複合システム) の同義語です。 リセット特性: リセットなし

表 *114.* モニター・ドメイン*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Exception records (例外レコード数)	MNGER	SMF に書き込まれる例外レコード数を示します。 リセット特性: ゼロにリセット
Exception records suppressed (抑制された例外レコード数)	MNGERS	グローバル・ユーザー出口 (XMNOUT) によって抑制された例外レコードの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Performance records (パフォーマンス・レコード数)	MNGPR	SMF への出力にスケジュールされるパフォーマンス・レコード数を示します。 モニター・ドメインはパフォーマンス・クラス・レコードをバッファーに入れます。 モニターが非活動状態の場合は、バッファーに入れられたパフォーマンス・クラス・レコードはレポートに含まれません。 リセット特性: ゼロにリセット
Performance records suppressed (抑制されたパフォーマンス・レコード数)	MNGPRS	グローバル・ユーザー出口 (XMNOUT) によって抑止されたパフォーマンス・レコードの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Resource records (リソース・レコード数)	MNGRR	SMF への出力にスケジュールされるトランザクション・リソース・レコード数を示します。 モニター・ドメインはトランザクション・リソース・クラス・レコードをバッファーに入れます。モニターが非活動状態の場合は、バッファーに入れられたリソース・クラス・レコードはレポートに含まれません。 リセット特性: ゼロにリセット
Resource records suppressed (抑制されたリソース・レコード数)	MNGRRS	グローバル・ユーザー出口 (XMNOUT) によって抑制されたリソース・レコード数。 リセット特性: ゼロにリセット
Identity records (ID レコード数)	MNGIR	SMF への出力にスケジュールされる ID レコード数を示します。 モニター・ドメインは ID クラス・レコードをバッファーに入れます。モニターが非活動状態の場合は、バッファーに入れられた ID クラス・レコードはレポートに含まれません。 リセット特性: ゼロにリセット
Identity records suppressed (抑制された ID レコード数)	MNGIRS	グローバル・ユーザー出口 (XMNOUT) によって抑制された ID レコード数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *114.* モニター・ドメイン: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
SMF records (SMF レコード数)	MNGSMFR	SMF データ・セットに書き込まれる SMF レコード数を示します。 CICS は、モニター・ドメインに例外の完了が通知されるとすぐに例外クラス SMF レコードを書き込むため、SMF レコードごとの例外レコードは 1 つになります。 例えば、パフォーマンス・クラスの場合は、SMF レコードごとに数多くのパフォーマンス・クラス・レコードがあります。 パフォーマンス・クラスの SMF レコードは、バッファーがいっぱいになったり、パフォーマンス・クラスが非活動化されたり、CICS が静止したりする場合に書き込まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
SMF errors (SMF エラー数)	MNGSMFE	SMF へのレコードの書き込み要求からの正常でない応答の数を示します。 このカウントは、SMF が非アクティブであるなど、何らかの理由で SMF 書き込みが失敗した場合に増分します。 リセット特性: ゼロにリセット
SMF Records Compressed (圧縮された SMF レコード数)	MNGSMFCM	SMF データ・セットに書き込まれる圧縮されたモニター・レコードの数。 この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。 リセット特性: リセットなし
SMF Records Not Compressed (圧縮されていない SMF レコード数)	MNGSMFNC	SMF データ・セットに書き込まれるデータ圧縮されていないモニター・レコード数。 この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。 リセット特性: リセットなし
Average Compressed Record Length (圧縮レコード長の平均)	MNGAVCRL	圧縮されたそれらのモニター・レコードから計算された、SMF データ・セットに書き込まれるモニター・レコードの圧縮レコード長のローリング平均。この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。 リセット特性: リセットなし
Average Uncompressed Record Length (非圧縮レコード長の平均)	MNGAVURL	SMF データ・セットに書き込まれるデータ圧縮されていないモニター・レコードのレコード長のローリング平均。 この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。 リセット特性: リセットなし

表 *114.* モニター・ドメイン*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Data Compression Option (データ圧縮オプション)	MNGMRCMP	CICS モニター機能によって生成される CICS SMF 110 モニター・レコードに対して、データ圧縮がアクティブかどうか。値は以下のとおりです。 **0** アクティブではない **1** アクティブ リセット特性: リセットなし
DPL Resource Limit (DPL リソース限界)	MNGDPLRL	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となる分散プログラム・リンクの最大数 リセット特性: リセットなし
File Resource Limit (ファイル・リソース限界)	MNGFRL	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となるファイルの最大数 リセット特性: リセットなし
Tsqueue Resource Limit (Tsqueue リソース限界)	MNGTRL	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となる一時記憶域キューの最大数 リセット特性: リセットなし
Urimap Resource Limit (URIMAP リソース限界)	MNGURIRL	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となる URIMAP の最大数 リセット特性: リセットなし
Webservice Resource Limit (Webservice リソース限界)	MNGWEBRL	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となる WEBSERVICE の最大数 リセット特性: リセットなし
MVS WLM Mode (MVS WLM モード)	MNGWLMMD	CICS 領域で作動中の z/OS ワークロード・マネージャー (WLM) モード。 リセット特性: リセットなし
MVS WLM Server (MVS WLM サーバー)	MNGWLMST	CICS 領域が z/OS ワークロード・マネージャー・サーバーであるかどうか。 リセット特性: リセットなし
MVS WLM Service Class (MVS WLM サービス・クラス)	MNGWLMSC	CICS 領域の z/OS ワークロード・マネージャー・サービスのクラス名。 リセット特性: リセットなし
MVS WLM Workload Name (MVS WLM ワークロード名)	MNGWLMWN	CICS 領域に対して定義されているワークロードの名前。 リセット特性: リセットなし
MVS WLM Resource Group (MVS WLM リソース・グループ)	MNGWLMRG	z/OS ワークロード・マネージャーのリソース・グループの名前を示します (ある場合)。 リセット特性: リセットなし

表 *114.* モニター・ドメイン: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
MVS WLM Report Class (MVS WLM レポート・クラス)	MNGWLMRC	z/OS ワークロード・マネージャーのレポート・クラスの名前を示します (ある場合)。 リセット特性: リセットなし
MVS WLM Goal Type (MVS WLM ゴール・タイプ)	MNGWLMGT	CICS アドレス・スペース用の z/OS ワークロード・マネージャーのゴール・タイプ (ある場合)。値は以下のとおりです。 **0** 適用外 **1** 速度 **2** 任意設定 **3** システム リセット特性: リセットなし
MVS WLM CPU Critical (MVS WLM CPU クリティカル)	MNGWLMCC	長期的なプロセッサー保護が z/OS ワークロード・マネージャー内の CICS アドレス・スペースに割り当てられているかどうか。値は以下のとおりです。 **0** クリティカルではない **1** クリティカル リセット特性: リセットなし
MVS WLM Storage Critical (MVS WLM ストレージ・クリティカル)	MNGWLMSK	長期的なストレージ保護が z/OS ワークロード・マネージャー内の CICS アドレス・スペースに割り当てられているかどうか 値は以下のとおりです。 **0** クリティカルではない **1** クリティカル リセット特性: リセットなし
WLM Address Space Goal Mgmt (WLM アドレス・スペース・ゴール管理)	MNGWLMGM	z/OS ワークロード・マネージャーが、領域ゴール、トランザクション・ゴール、またはその両方を使用して CICS アドレス・スペースを管理するかどうか。値は以下のとおりです。 **0** トランザクション・ゴール **1** 領域ゴール **2** 両方のゴール リセット特性: リセットなし
MVS WLM Goal Value (MVS WLM ゴール値)	MNGWLMGV	z/OS ワークロード・マネージャーのゴール・タイプが「Velocity (速度)」の場合、CICS アドレス・スペースのゴール値 (1 から 99)。その他のゴール・タイプに対しては、このフィールドはゼロになります。 リセット特性: リセットなし
MVS WLM Goal Importance (MVS WLM ゴールの重要度)	MNGWLMGI	CICS アドレス・スペース用の z/OS ワークロード・マネージャーのゴールの重要度レベル。 リセット特性: リセットなし

表 *114.* モニター・ドメイン*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
--User transactions ended (終了ユーザー・トランザクション数)	MNGUTNUM	終了したユーザー・トランザクションの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
System transactions ended (終了システム・トランザクション数)	MNGSTNUM	終了したシステム・トランザクションの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Time last user transaction attached (最後のユーザー・トランザクションが接続された時刻)	MNGLUTAT	モニター・ドメインによって処理された最後のトランザクション接続の日時です。 DFHSTUP レポートでは、この時間は日/月/年 時: 分: 秒: 小数部で表されます。ただし、DSECT フィールドには、現地時間の保管クロック (STCK) の値としての時間が含まれています。 DFHSTUP レポートで日時が --/--/---- --:--:--:---- と示される場合は、統計が最後にリセットされてからユーザー・トランザクションが終了していないことを表しています。 リセット特性: ゼロにリセット
Time last user transaction ended (最後のユーザー・トランザクションが終了した時刻)	MNGLUTCL	最後のトランザクションが終了した日時です。 DFHSTUP レポートでは、この時間は日/月/年 時: 分: 秒: 小数部で表されます。ただし、DSECT フィールドには、現地時間の保管クロック (STCK) の値としての時間が含まれています。 DFHSTUP レポートで日時が --/--/---- --:--:--:---- と示される場合は、統計が最後にリセットされてからユーザー・トランザクションが終了していないことを表しています。 リセット特性: ゼロにリセット
MXT at last user transaction attach (最後のユーザー・トランザクション接続時の MXT)	MNGMXUTA	最後のトランザクション接続時の現行 MXT 値。 リセット特性: ゼロにリセット
Current tasks at last attach (最後の接続時の現行タスク数)	MNGCAUTA	最後のトランザクション接続時に領域で接続されていた現行ユーザー・トランザクション数。 リセット特性: ゼロにリセット
Average user transaction resp time (ユーザー・トランザクションの平均応答時間)	MNGAUTRT	ユーザー・トランザクションのローリング平均応答時間。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak user transaction resp time (ユーザー・トランザクションのピーク応答時間)	MNGPUTRT	ユーザー・トランザクションの最大応答時間です (STCK 単位で表される)。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *114.* モニター・ドメイン: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Peak user transaction resp time at (ユーザー・トランザクションのピーク応答時間の時刻)	MNGLUTRT	ユーザー・トランザクションの最大応答時間のタイム・スタンプです (地方時で STCK 単位で表される)。 リセット特性: ゼロにリセット
Total transaction CPU time (合計トランザクション CPU 時間)	MNGCPUT	一定期間に完了したトランザクションによって使用されたCICSディスパッチャー管理TCBモードで累積されたトランザクションの合計CPU時間 リセット特性: ゼロにリセット
Total transaction CPU time on CP (CP での合計トランザクション CPU 時間)	MNGTONCP	一定期間に完了したトランザクションによって使用された CICS ディスパッチャー管理 TCB モードで累積された標準プロセッサーでのトランザクションの合計 CPU 時間。 リセット特性: ゼロにリセット
Total transaction CPU offload on CP (CP での合計トランザクション CPU オフロード)	MNGOFLCP	一定期間に完了したトランザクションによって使用された CICSディスパッチャー管理TCBモードで累積された、専用プロセッサー(zIIPまたはzAAP)へのオフロードに適格であった標準プロセッサーでのトランザクションの合計CPU時間。 リセット特性: ゼロにリセット

モニター・ドメイン: 要約グローバル統計

モニター・ドメインの要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 *115.* モニター・ドメイン: 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
CEC Machine Type and Model Number (CEC マシン・タイプおよび型式番号)	CICS 領域が稼働している物理ハードウェア環境の CEC マシン・タイプおよび型式番号。 CEC (中央電子処理装置) は一般に使用されている CPC (中央演算処理複合システム) の同義語です。
Exception Records (例外レコード数)	SMF に書き込まれる例外レコードの合計数です。
Exception Records Suppressed (抑制された例外レコード数)	グローバル・ユーザー出口 (XMNOUT) によって抑制される例外レコードの合計数です。
Performance Records (パフォーマンス・レコード数)	SMF への出力にスケジュールされるパフォーマンス・レコード数の合計です。 モニター・ドメインはパフォーマンス・クラス・レコードをバッファーに入れます。モニターが非活動状態の場合は、バッファーに入れられたパフォーマンス・クラス・レコードはレポートに含まれません。

表 *115.* モニター・ドメイン*:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Performance Records Suppressed (抑制されたパフォーマンス・レコード数)	グローバル・ユーザー出口 (XMNOUT) によって抑制されるパフォーマンス・レコードの合計数です。
Resource Class Records (リソース・クラス・レコード数)	SMF への出力にスケジュールされるトランザクション・リソース・レコード数を示します。 モニター・ドメインはトランザクション・リソース・クラス・レコードをバッファーに入れます。モニターが非活動状態の場合は、バッファーに入れられたリソース・クラス・レコードはレポートに含まれません。
Resource Records Suppressed (抑制されたリソース・レコード数)	グローバル・ユーザー出口 (XMNOUT) によって抑制されるリソース・レコードの合計数です。
Identity records (ID レコード数)	SMF への出力にスケジュールされる ID クラス・レコード数の合計です。 モニター・ドメインは ID クラス・レコードをバッファーに入れます。モニターが非活動状態の場合は、バッファーに入れられた ID クラス・レコードはレポートに含まれません。
Identity records suppressed (抑制された ID レコード数)	グローバル・ユーザー出口 (XMNOUT) によって抑制される ID クラス・レコードの合計数です。
SMF Records (SMF レコード数)	SMF データ・セットに書き込まれる SMF レコードの合計数です。 CICS は、モニター・ドメインに例外の完了が通知されるとすぐに例外クラス SMF レコードを書き込むため、SMF レコードごとの例外レコードは 1 つになります。 ただし、パフォーマンス・クラスの場合は、SMF レコードごとに数多くのパフォーマンス・クラス・レコードがあります。 パフォーマンス・クラスの SMF レコードは、バッファーがいっぱいになったり、パフォーマンス・クラスが非活動化されたり、CICS が静止したりする場合に書き込まれます。
SMF Errors (SMF エラー数)	SMF にレコードを書き込む要求からの非 OK 応答の総数。 このカウントは、SMF が非アクティブであるなど、何らかの理由で SMF 書き込みが失敗した場合に増分します。
SMF Records Compressed (圧縮された SMF レコード数)	SMF データ・セットに書き込まれる圧縮されたモニター・レコードの数。 この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。
SMF Records Not Compressed (圧縮されていない SMF レコード数)	SMF データ・セットに書き込まれるデータ圧縮されていないモニター・レコード数。この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。
Average Compressed Record Length (圧縮レコード長の平均)	圧縮されたそれらのモニター・レコードから計算された、SMF データ・セットに書き込まれるモニター・レコードの圧縮レコード長のローリング平均。 この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。
Average Uncompressed Record Length (非圧縮レコード長の平均)	SMF データ・セットに書き込まれるデータ圧縮されていないモニター・レコードのレコード長のローリング平均。 この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。

表 *115.* モニター・ドメイン: 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Data Compression Option (データ圧縮オプション)	CICS モニター機能によって生成される CICS SMF 110 モニター・レコードに対して、データ圧縮がアクティブかどうか。値は以下のとおりです。 **0** アクティブではない **1** アクティブ
File Resource Limit (ファイル・リソース限界)	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となるファイルの最大数
Tsqueue Resource Limit (Tsqueue リソース限界)	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となる一時記憶域キューの最大数
Urimap Resource Limit (URIMAP リソース限界)	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となる URIMAP の最大数
Webservice Resource Limit (Webservice リソース限界)	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となる WEBSERVICE の最大数
MVS WLM Mode (MVS WLM モード)	CICS 領域で作動中の z/OS ワークロード・マネージャー (WLM) モード。
MVS WLM Server (MVS WLM サーバー)	CICS 領域が z/OS ワークロード・マネージャー・サーバーであるかどうか。
MVS WLM Service Class (MVS WLM サービス・クラス)	CICS 領域の z/OS ワークロード・マネージャー・サービスのクラス名。.
MVS WLM Workload Name (MVS WLM ワークロード名)	CICS 領域に対して定義されているワークロードの名前。
MVS WLM Resource Group (MVS WLM リソース・グループ)	z/OS ワークロード・マネージャーのリソース・グループの名前を示します (ある場合)。
MVS WLM Report Class (MVS WLM レポート・クラス)	z/OS ワークロード・マネージャーのレポート・クラスの名前を示します (ある場合)。
MVS WLM Goal Type (MVS WLM ゴール・タイプ)	CICS アドレス・スペース用の z/OS ワークロード・マネージャーのゴール・タイプ (ある場合)。値は以下のとおりです。 **0** 適用外 **1** 速度 **2** 任意設定 **3** システム
MVS WLM CPU Critical (MVS WLM CPU クリティカル)	長期的なプロセッサー保護が z/OS ワークロード・マネージャー内の CICS アドレス・スペースに割り当てられているかどうか。値は以下のとおりです。 **0** クリティカルではない **1** クリティカル

表 *115.* モニター・ドメイン*:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
MVS WLM Storage Critical (MVS WLM ストレージ・クリティカル)	長期的なストレージ保護が z/OS ワークロード・マネージャー内の CICS アドレス・スペースに割り当てられているかどうか 値は以下のとおりです。 **0** クリティカルではない **1** クリティカル
WLM Address Space Goal Mgmt (WLM アドレス・スペース・ゴール管理)	z/OS ワークロード・マネージャーが、領域ゴール、トランザクション・ゴール、またはその両方を使用して CICS アドレス・スペースを管理するかどうか。値は以下のとおりです。 **0** トランザクション・ゴール **1** 領域ゴール **2** 両方のゴール
MVS WLM Goal Value (MVS WLM ゴール値)	z/OS ワークロード・マネージャーのゴール・タイプが「Velocity (速度)」の場合、CICS アドレス・スペースのゴール値 (1 から 99)。その他のゴール・タイプに対しては、このフィールドはゼロになります。
MVS WLM Goal Importance (MVS WLM ゴールの重要度)	CICS アドレス・スペース用の z/OS ワークロード・マネージャーのゴールの重要度レベル。
User transactions ended (終了ユーザー・トランザクション数)	終了したユーザー・トランザクションの総数。
System transactions ended (終了システム・トランザクション数)	終了したシステム・トランザクションの総数。
Total transaction CPU time (合計トランザクション CPU 時間)	完了したトランザクションによって使用された CICS ディスパッチャー管理 TCB モードで累積されたトランザクションの合計 CPU 時間。
Total transaction CPU time on CP (CP での合計トランザクション CPU 時間)	完了したトランザクションによって使用された CICS ディスパッチャー管理 TCB モードで累積された標準プロセッサーでのトランザクションの合計 CPU 時間。
Total transaction CPU offload on CP (CP での合計トランザクション CPU オフロード)	完了したトランザクションによって使用された CICS ディスパッチャー管理 TCB モードで累積された、専用プロセッサー (zIIP または zAAP) へのオフロードに適格であった標準プロセッサーでのトランザクションの合計 CPU 時間。

名前付きカウンター・シーケンス番号サーバー

名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの統計は、プール AXMPGANY および AXMPGLOW の AXM ページ・プール管理ルーチンによって提供されます。

名前付きカウンター・シーケンス番号サーバーの統計

この統計の詳細な記述は、DFHNCS4D データ域にあります。

リセット特性**:** これらの統計は、CICS ではなく、別個のサーバー・アドレス・スペースによって生成されます。 リセットの後に、これらのフィールドは CICS ではなくサーバーによってリセットされます。 一般的には、高位水準点および低位水準点 (最大、最小および最高、最低) が現行値にリセットされると、数はゼロにリセットされます。

この構造の各フィールドの意味は、以下のとおりです。

表 *116.* 名前付きカウンター・サーバー*:* リスト構造の統計

統計名	フィールド	説明
リスト		
	S4NAME	リスト構造のフルネーム
	S4PREF	構造名の最初の部分
	S4POOL	構造名のプール名のパート
	S4CNNAME	構造への接続名
	S4CNPREF	接続名の接頭部
	S4CNSYSN	CVTSNAME からの独自の MVS システム名
Size (サイズ)	S4SIZE	リスト構造の現在の割り振りサイズ。
Max size (最大サイズ)	S4SIZEMX	この構造を変更することができる最大サイズ。
Entries (エントリー**)**		
In Use (使用中)	S4ENTRCT	現在使用中のエントリーの数。
Max Used (最大使用数)	S4ENTRHI	使用中のエントリーの最大数 (最終リセット以降)。
Min Free (最小フリー)	S4ENTRLO	フリー・エントリーの最小数 (最終リセット以降)。
Total (合計)	S4ENTRMX	現在割り振られている構造内のエントリーの合計 (構造の接続時に初期設定され、構造の変更要求の完了時に更新される)。
Requests (要求数**)**		
作成	S4CRECT	作成のカウンター
取得	S4GETCT	取得および増分のカウンター
設定	S4SETCT	設定のカウンター
削除	S4DELCT	削除のカウンター
Inquire (問い合わせ)	S4KEQCT	問い合わせ KEQ
ブラウズ	S4KGECT	問い合わせ KGE
応答		
Asynch (非同期)	S4ASYCT	完了が非同期であった要求の数。
使用不可	S4RSP9CT	再ビルド中など、一時的に使用不可な構造。
正常	S4RSP1CT	通常応答の数。
無検出	S4RSP2CT	指定されたエントリー (テーブルまたは項目) が検出されなかった。
バージョン確認	S4RSP3CT	更新中のエントリーのバージョン確認が失敗した。別のタスクが先に更新していることを表している。
リスト確認	S4RSP4CT	リスト権限の比較が失敗した、通常はテーブルが削除の処理中であることを意味する。
構造フル	S4RSP5CT	リスト構造がフルになった。

表 116. 名前付きカウンター・サーバー: リスト構造の統計 (続き)

統計名	フィールド	説明
I/O エラー	S4RSP6CT	IXLLIST により他のエラー・コードが戻された。

名前付きカウンター・サーバー: ストレージの統計

これらは、プール AXMPGANY およびプール AXMPGLOW に対し、AXM ページ・プール管理ルーチンにより戻される統計です。 これらのプールのストレージは、4K を下限とした、4K ページの倍数で割り振られます。 LIFO スタック・ストレージのセグメントに対して最も頻繁に使用されます。

ストレージは、最初にビットマップを使用してプールから割り振られます。 より高速な割り振りの場合、通常、フリー域はプールに戻されませんが、フリー域のサイズ (1 から 32 ページ) に応じてフリー・チェーンのベクトルに追加されます。ストレージが獲得されると、プール・ビットマップに移動する前にこのベクトルがチェックされます。

適切なサイズのフリー域がない場合やプールに十分なストレージが残っていない場合は、最小の端から始まり、十分な大きさの領域が作成されるまで、ベクトルのフリー域がプールに戻されます。 このアクションは、圧縮の試行として統計に現れます。 この時点で要求を満たすストレージがない場合、要求は失敗します。

以下の統計は、最新の統計 (ある場合) 以降に作成された名前付きストレージ・ページ・プールに関する統計です。 各ストレージ統計は、K バイトおよび合計サイズの割合として示されます。

リセット特性: これらの統計は、CICS ではなく、別個のサーバー・アドレス・スペースによって生成されます。 リセットの後に、これらのフィールドは CICS ではなくサーバーによってリセットされます。 一般的には、高位水準点および低位水準点 (最大、最小および最高、最低) が現行値にリセットされると、数はゼロにリセットされます。

この統計の詳細な記述は、DFHNCS5D データ域にあります。

表 117. 一時記憶域データ共用: *LOC=ANY* 使用量の統計

統計名	フィールド	説明
Name	S5ANYNAM	プール名 AXMPGANY。
Size (サイズ)	S5ANYSIZ	ストレージ・プール領域のサイズ。
	S5ANYPTR	ストレージ・プール域のアドレス。
	S5ANYMX	ストレージ・プール内の合計ページ数。
In Use (使用中)	S5ANYUS	プール内の使用ページ数。
Free (フリー)	S5ANYFR	プール内のフリー・ページ数。
Min Free (最小フリー)	S5ANYLO	最小フリー・ページ数 (リセット以降)。
Gets (取得数)	S5ANYRQG	ストレージ GET 要求数。
Frees (フリー数)	S5ANYRQF	ストレージ FREE 要求数。
Fails (失敗)	S5ANYRQS	ストレージの取得に失敗した GET 数。
Retries (再試行数)	S5ANYRQC	圧縮 (デフラグ) の試行数。

表 *118.* 一時記憶域データ共用*: LOC=BELOW* 使用量の統計

統計名	フィールド	説明
Name	S5LOWNAM	プール名 AXMPGLOW。
Size (サイズ)	S5LOWSIZ	ストレージ・プール領域のサイズ。
	S5LOWPTR	ストレージ・プール域のアドレス。
	S5LOWMX	ストレージ・プール内の合計ページ数。
In Use (使用中)	S5LOWUS	ストレージ・プール内で使用されているページの数。
Free (フリー)	S5LOWFR	ストレージ・プール内のフリー・ページ数。
Min Free (最小フリー)	S5LOWLO	フリー・ページの最小数 (リセット以降)。
Gets (取得数)	S5LOWRQG	ストレージ GET 要求数。
Frees (フリー数)	S5LOWRQF	ストレージ FREE 要求数。
Fails (失敗)	S5LOWRQS	ストレージの取得に失敗した GET 数。
Retries (再試行数)	S5LOWRQC	圧縮 (デフラグ) の試行数。

NODEJSAPP 統計

NODEJSAPP リソースを照会することによって、Node.js アプリケーションに関する情報を取得できます。 JVM (SJ) ドメインは、ヒープ・ストレージおよび CPU 使用率に関する統計を含め、Node.js アプリケーションの統計を収集します。各 Node.js アプリケーションは NODEJSAPP リソースによって表されます。Node.js アプリケーションのパフォーマンスを操作してチューニングするときには、まず、これらの統計を確認することをお勧めします。

NODEJSAPP: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS NODEJSAPP システム・コマンドを使用して、NODEJSAPP 統計を取得できます。NODEJSAPP 統計は、DFHSJNDS DSECT によってマップされます。

表 *119. NODEJSAPP:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NODEJSAPP 名 (NODEJSAPP name)	sjn_nodejsapp_name	NODEJSAPP リソースの名前。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP プロファイル (NODEJSAPP profile)	sjn_nodejsapp_profile	NODEJSAPP のプロファイル・ファイルのパス リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP LE ランタイム・オプション (NODEJSAPP LE runtime options)	sjn_nodejsapp_le_runopts	Language Environment エンクレーブのランタイム・オプションを定義するプログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP 状況 (NODEJSAPP status)	sjn_nodejsapp_state	NODEJSAPP の状況。 リセット特性: リセットなし

表 *119. NODEJSAPP:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NODEJSAPP 作成時刻 (NODEJSAPP creation time)	sjn_nodejsapp_creation_lcl	NODEJSAPP リソースがインストールされたときのローカル時刻のタイム・スタンプ。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP プロセス ID (NODEJSAPP process ID)	sjn_nodejsapp_pid	NODEJSAPP のプロセス ID (PID)。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP バンドル名 (NODEJSAPP bundle name)	sjn_nodejsapp_bundle_name	NODEJSAPP バンドル・パーツが含まれている CICS BUNDLE リソースの名前。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP CPU 時間 (NODEJSAPP CPU time)	sjn_nodejsapp_cpu	Node.js ランタイムおよびアプリケーションによって使用される合計プロセッサー時間 (ミリ秒)。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP 現在のヒープ・サイズ (NODEJSAPP current heap size)	sjn_nodejsapp_heap_current	現在 V8 JavaScript エンジンによって Node.js ランタイムに割り振られているヒープのサイズ (バイト)。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP ランタイムで使用されるヒープ (NODEJSAPP heap used by runtime)	sjn_nodejsapp_heap_runtime	コンパイル済みバイト・コードおよび JIT コードによって現在占有されているヒープのサイズ (バイト単位)。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP データで使用されるヒープ (NODEJSAPP heap used on data)	sjn_nodejsapp_heap_app_data	アプリケーション・データによって現在占有されているヒープのサイズ (バイト単位)。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP 最大ヒープ・サイズ (NODEJSAPP maximum heap size)	sjn_nodejsapp_heap_max	Node.js ランタイムに割り振ることができる最大ヒープのサイズ (バイト)。この値は、デフォルトで設定されるか、`--max_old_space_size` で設定されます。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP 完了した呼び出し数 (NODEJSAPP completed invokes)	sjn_nodejsapp_invk	Node.js アプリケーションが ENABLED になるか、または前回の統計がリセットされて以降、CICS サービスに対して行われた完了した呼び出しの数。`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して行われた呼び出しのみがカウントされます。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *119. NODEJSAPP:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NODEJSAPP エラーで完了した呼び出し数 (NODEJSAPP completed invokes in error)	sjn_nodejsapp_invk_err	Node.js アプリケーションが ENABLED になるか、または前回の統計がリセットされて以降、CICS サービスに対して行われたエラーで完了した呼び出しの数。`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して行われた呼び出しのみがカウントされます。 リセット特性: ゼロにリセット
NODEJSAPP 進行中の呼び出し数 (NODEJSAPP invokes in progress)	sjn_nodejsapp_invk_curr	`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して、Node.js アプリケーションによって行われた CICS サービスに対する実行中の呼び出しの現行数。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP 進行中のピーク呼び出し数 (NODEJSAPP peak invokes in progress)	sjn_nodejsapp_invk_peak	`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して、Node.js アプリケーションによって行われた CICS サービスに対する実行中の呼び出しのピーク数。 リセット特性: 現行にリセット
NODEJSAPP ノード・ホーム (NODEJSAPP nodehome)	sjn_nodejsapp_nodehome	NODEJSAPP の Node.js アプリケーション・プロファイルの NODE_HOMEオプション。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP 開始スクリプト (NODEJSAPP start script)	sjn_nodejsapp_startscript	NODEJSAPP のエントリー JavaScript ファイルのパス。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP 標準出力 (NODEJSAPP stdout)	sjn_nodejsapp_stdout	NODEJSAPP の標準出力ファイルのパス。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP 標準エラー出力 (NODEJSAPP stderr)	sjn_nodejsapp_stderr	NODEJSAPP の標準エラー出力ファイルのパス。 リセット特性: リセットなし
NODEJSAPP トレース (NODEJSAPP trace)	sjn_nodejsapp_trace	NODEJSAPP のトレース・ファイルのパス。 リセット特性: リセットなし

表 *119. NODEJSAPP:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NODEJSAPP ログ (NODEJSAPP log)	sjn_nodejsapp_log	NODEJSAPP のログ・ファイルのパス。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	sjn_nodejsapp_define_source	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	sjn_nodejsapp_change_time	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	sjn_nodejsapp_change_userid	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	sjn_nodejsapp_change_agent	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	sjn_nodejsapp_install_agent	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	sjn_nodejsapp_install_time	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	sjn_nodejsapp_install_userid	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

NODEJSAPP: 要約リソース統計

この報告書には NODEJSAPP のリソース統計の要約がリストされます。

表 *120. NODEJSAPP:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
NODEJSAPP 名 (NODEJSAPP name)	NODEJSAPP リソースの名前。
NODEJSAPP プロファイル (NODEJSAPP profile)	NODEJSAPP のプロファイル・ファイルのパス
NODEJSAPP LE ランタイム・オプション (NODEJSAPP LE runtime options)	Language Environment エンクレーブのランタイム・オプションを定義するプログラムの名前。
NODEJSAPP 状況 (NODEJSAPP status)	NODEJSAPP の状況。
NODEJSAPP 作成時刻 (NODEJSAPP creation time)	NODEJSAPP リソースがインストールされたときのローカル時刻のタイム・スタンプ。
NODEJSAPP プロセス ID (NODEJSAPP process ID)	NODEJSAPP のプロセス ID (PID)。
NODEJSAPP バンドル名 (NODEJSAPP bundle name)	NODEJSAPP バンドル・パーツが含まれている CICS BUNDLE リソースの名前。
NODEJSAPP CPU 時間 (NODEJSAPP CPU time)	Node.js ランタイムおよびアプリケーションによって使用される合計プロセッサー時間 (ミリ秒)。
NODEJSAPP 現在のヒープ・サイズ (NODEJSAPP current heap size)	現在 V8 JavaScript エンジンによって Node.js ランタイムに割り振られているヒープのサイズ (バイト)。
NODEJSAPP ランタイムで使用されるヒープ (NODEJSAPP heap used by runtime)	コンパイル済みバイト・コードおよび JIT コードによって現在占有されているヒープのサイズ (バイト単位)。
NODEJSAPP データで使用されるヒープ (NODEJSAPP heap used on data)	アプリケーション・データによって現在占有されているヒープのサイズ (バイト単位)。
NODEJSAPP 最大ヒープ・サイズ (NODEJSAPP maximum heap size)	Node.js ランタイムに割り振ることができる最大ヒープのサイズ (バイト)。この値は、デフォルトで設定されるか、`--max_old_space_size` で設定されます。
NODEJSAPP 完了した呼び出し数 (NODEJSAPP completed invokes)	Node.js アプリケーションが ENABLED になるか、または前回の統計がリセットされて以降、CICS サービスに対して行われた完了した呼び出しの数。`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して行われた呼び出しのみがカウントされます。
NODEJSAPP エラーで完了した呼び出し数 (NODEJSAPP completed invokes in error)	Node.js アプリケーションが ENABLED になるか、または前回の統計がリセットされて以降、CICS サービスに対して行われたエラーで完了した呼び出しの数。`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して行われた呼び出しのみがカウントされます。

表 *120. NODEJSAPP:* 要約リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
NODEJSAPP 進行中のピーク呼び出し数 (NODEJSAPP peak invokes in progress)	`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して、Node.js アプリケーションによって行われた CICS サービスに対する実行中の呼び出しのピーク数。
NODEJSAPP ノード・ホーム (NODEJSAPP nodehome)	NODEJSAPP の Node.js アプリケーション・プロファイルの NODE_HOME オプション。
NODEJSAPP 開始スクリプト (NODEJSAPP start script)	NODEJSAPP のエントリー JavaScript ファイルのパス。
NODEJSAPP 標準出力 (NODEJSAPP stdout)	NODEJSAPP の標準出力ファイルのパス。
NODEJSAPP 標準エラー出力 (NODEJSAPP stderr)	NODEJSAPP の標準出力ファイルのパス。
NODEJSAPP トレース (NODEJSAPP trace)	NODEJSAPP のトレース・ファイルのパス。
NODEJSAPP ログ (NODEJSAPP log)	NODEJSAPP のログ・ファイルのパス。

プログラム自動インストール統計

プログラム自動インストール: グローバル統計

プログラム自動インストールのグローバル統計は、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGAUTO** システム・コマンドを使用して取得でき、DFHPGGDS DSECT によりマップされます。

表 *121.* プログラム自動インストール*:* グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Program autoinstall attempts (プログラムの自動インストール試行)	PGGATT	プログラム自動インストールが試行された回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Rejected by autoinstall exit (自動インストール出口によるリジェクト)	PGGREJ	プログラム自動インストール要求が、プログラム自動インストールのユーザーが置換可能なプログラムによってリジェクトされた回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 121. プログラム自動インストール: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Failed autoinstall attempts (自動インストール試行の失敗)	PGGFAIL	プログラム自動インストールが、リジェクト以外のさまざまな理由 (PGGREJ によって数えられたなど) によって失敗した回数です。 例えば、自動インストールのユーザーが置換可能なプログラムが有効な属性を提供していないとか、ユーザーが置換可能なプログラムによって指定されたモデル名が定義されていない、終了によって反復が試行された、およびユーザーが置換可能なプログラムが使用不可になっているなどです。 リセット特性: ゼロにリセット

プログラム自動インストール: 要約グローバル統計

プログラム自動インストール: 要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 122. プログラム自動インストール: 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Program autoinstall attempts (プログラムの自動インストール試行)	プログラムが自動インストールされた回数です。
Rejected by autoinstall exit (自動インストール出口によるリジェクト)	プログラムが、自動インストールの終了によってリジェクトされた回数です。
Failed autoinstall attempts (自動インストール試行の失敗)	プログラムの自動インストールが失敗した回数です。

PIPELINE 定義の統計

PIPELINE リソース定義は、CICS アプリケーションが Web サービス・プロバイダーまたはサービス・リクエスターのいずれかの役割を果たしているときに、Web サービス・サポートで使用されます。 これは、サービス要求および応答に対して作用するメッセージ・ハンドラー・プログラムに関する情報を提供します。

PIPELINE リソース定義ごとの統計が提供され、すべての PIPELINE 定義の合計の使用回数も示されます。 PIPELINE レポートについては、PIPELINE レポートを参照してください。

PIPELINE 定義: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PIPELINE RESID システム・コマンドを使用して、PIPELINE 定義リソース統計を取得できます。これらの統計は DFHPIRDS DSECT によってマップされます。

リソース情報は、各 PIPELINE リソースのさまざまな属性設定の詳細を提供します。 すべての PIPELINE リソースの合計の使用回数も提供します。

表 *123. PIPELINE* 定義: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
PIPELINE Name (PIPELINE 名)	PIR_PIPELINE_NAME	PIPELINE リソース定義の名前。 リセット特性: リセットなし
PIPELINE Mode (PIPELINE モード)	PIR_PIPELINE_MODE	パイプラインの操作モード。 リセット特性: リセットなし
構成ファイル	PIR_CONFIGURATION_FILE	メッセージ・ハンドラーとその構成に関する情報を提供する zFS ファイルの名前。 リセット特性: リセットなし
Shelf directory (シェルフ・ディレクトリー)	PIR_SHELF_DIRECTORY	PIPELINE 定義のシェルフ・ディレクトリーの完全修飾名。 リセット特性: リセットなし
WSDIR pickup directory (WSDIR ピックアップ・ディレクトリー)	PIR_WSDIR_DIRECTORY	Web サービス・バインディング・ディレクトリー (ピックアップ・ディレクトリーとも呼ばれる) の完全修飾名。 リセット特性: リセットなし
PIPELINE use count (PIPELINE の使用回数)	PIR_PIPELINE_USE_COUNT	Web サービスのインストールまたは Web サービス要求の処理のため、この PIPELINE リソース定義が使用された回数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 123. *PIPELINE* 定義: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
PIPELINE JSON_JAVA_PARSER	PIR_JSON_JAVA_PARSER	JSON PIPELINEリソースの場合、JSON 要求メッセージが Java を使って構文解析されるか、CICS パイプライン内から構文解析されるかを指定します。 リセット特性: リセットなし PIR_JSON_JAVA_PARSERは、次の3つの値のうちの1つです。 • pir_json_java_parser_notapplic = 0 pir_json_java_parser_notapplic は、JSON用ではないPIPELINEに対して設定されます。例えばSOAP PIPELINEなどです。 • pir_json_java_parser_yes = 1 pir_json_java_parser_yes は、JSON PIPELINE構成ファイルに属性 `java_parser=yes` が含まれる場合に設定されます。これはデフォルト値です。 • pir_json_java_parser_no = 2 pir_json_java_parser_no は、JSON PIPELINE構成ファイルに属性 `java_parser=no` が含まれる場合に設定されます。
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIR_PIPELINE_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。 この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIR_PIPELINE_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIR_PIPELINE_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

表 *123. PIPELINE* 定義: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIR_PIPELINE_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェントを識別します。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIR_PIPELINE_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェントを識別します。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIR_PIPELINE_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIR_PIPELINE_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
PIPELINE message format (PIPELINE メッセージ形式)	PIR_PIPELINE_MSGFORMAT	PIPELINE によって処理されたメッセージ形式。 リセット特性: リセットなし

パイプラインの合計:

リソース統計には、Web サービスのインストールまたは Web サービス要求の処理のために、PIPELINE リソース定義が使用された回数の合計数を示す、PIPELINE の合計の使用回数も含まれます。

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

PIPELINE 定義: 要約リソース統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

リソース情報は、各 PIPELINE 定義のさまざまな属性設定の詳細を提供します。すべての PIPELINE 定義の合計の使用回数も提供します。

表 *124. PIPELINE* 定義: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
PIPELINE Name (PIPELINE 名)	PIPELINE リソース定義の名前。
PIPELINE Mode (PIPELINE モード)	パイプラインの操作モード。
構成ファイル	メッセージ・ハンドラーとその構成に関する情報を提供する z/OS UNIX ファイルの名前。
Shelf directory (シェルフ・ディレクトリー)	PIPELINE 定義のシェルフ・ディレクトリーの完全修飾名。
WSDIR pickup directory (WSDIR ピックアップ・ディレクトリー)	Web サービス・バインディング・ディレクトリー (ピックアップ・ディレクトリーとも呼ばれる) の完全修飾名。
PIPELINE use count (PIPELINE の使用回数)	Web サービスのインストールまたは Web サービス要求の処理のため、この PIPELINE リソース定義が使用された回数。
PIPELINE JSON_JAVA_PARSER	JSON PIPELINEリソースの場合、JSON 要求メッセージが Java を使って構文解析されるか、CICS パイプライン内から構文解析されるかを指定します。

パイプラインの合計:

要約統計には、Web サービスのインストールまたは Web サービス要求の処理のために、PIPELINE リソース定義が使用された回数の合計数を示す、PIPELINE の合計の使用回数も含まれます。

ポリシー統計

CICS ポリシーには、事前定義した条件が満たされた場合に CICS で実行するアクションを定義します。CICS ポリシーを使用して、実行時の CICS の動作を制御できます。CICS は、ポリシーに定義された各規則のリソース統計を収集し、要約報告書を提供します。

ポリシー: リソース統計

EXEC CICS PERFORM STATISTICS RECORD POLICY システム・コマンドを使用して、ポリシー規則統計を取得できます。これらの統計は DFHMPRDS DSECT によってマップされます。ポリシー規則統計は、オンラインでは使用できません。

表 *125.* ポリシー*:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
ポリシー名	MPR_POLICY_NAME	ポリシー規則が含まれているポリシーの名前 リセット特性: リセットなし
ポリシー・ユーザー・タグ	MPR_POLICY_USERTAG	規則が含まれているポリシーのユーザー・タグ リセット特性: リセットなし
バンドル名	MPR_BUNDLE_NAME	ポリシー規則が含まれているバンドルの名前 リセット特性: リセットなし
Bundle directory (バンドル・ディレクトリー)	MPR_BUNDLE_DIR	ポリシー規則が含まれているバンドルのディレクトリー リセット特性: リセットなし
規則名	MPR_RULE_NAME	ポリシー規則の名前 リセット特性: リセットなし
規則タイプ	MPR_RULE_TYPE	システム・ルールまたはタスク規則のタイプ サポートされているポリシー・システム規則の詳細なリストについては、「ポリシーのシステム・ルール」を参照してください。 サポートされているポリシー・タスク規則の詳細なリストについては、「「ポリシーのタスク・ルール」を参照してください。 リセット特性: リセットなし
規則のサブタイプ	MPR_RULE_SUBTYPE	ポリシー・タスク規則のサブタイプ このフィールドはシステム規則には適用されません。 リセット特性: リセットなし
アクション・タイプ	MPR_ACTION_TYPE	ポリシー規則アクションのタイプ 規則でサポートされているアクションの詳細については、ポリシー・アクションを参照してください。 リセット特性: リセットなし

表 125. ポリシー: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
アクション・カウント	MPR_ACTION_COUNT	この規則のアクションが実行された合計回数 リセット特性: ゼロにリセット
アクション時間	MPR_ACTION_TIME	この規則のアクションが最後に実行された時刻 リセット特性: ゼロにリセット

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

ポリシー: 要約リソース統計

この報告書にはポリシー規則のリソース統計の要約がリストされます。要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 126. ポリシー: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
ポリシー名	ポリシー規則が含まれているポリシーの名前
ポリシー・ユーザー・タグ	規則が含まれているポリシーのユーザー・タグ
バンドル名	ポリシー規則が含まれているバンドルの名前
Bundle directory (バンドル・ディレクトリー)	ポリシー規則が含まれているバンドルのディレクトリー
規則名	ポリシー規則の名前
規則タイプ	システム・ルールまたはタスク規則のタイプ サポートされているポリシー・システム規則の詳細なリストについては、「ポリシーのシステム・ルール」を参照してください。 サポートされているポリシー・タスク規則の詳細なリストについては、「「ポリシーのタスク・ルール」を参照してください。
規則のサブタイプ	ポリシー・タスク規則のサブタイプ このフィールドはシステム規則には適用されません。

表 126. ポリシー: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
アクション・タイプ	ポリシー規則アクションのタイプ 規則でサポートされているアクションの詳細については、ポリシー・アクションを参照してください。
アクション・カウント	この規則のアクションが実行された合計回数
最初のアクション時刻	この規則のアクションが最初に実行された時刻
最後のアクション時刻	この規則のアクションが最後に実行された時刻

プログラム統計

プログラム統計は、プログラムごとにローダーによって収集されたリソース・データを報告します。

公開プログラムの場合、これらの統計は DFHLDRDS DSECT によってマップされます。プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラムの場合、これらの統計は DFHLDPDS DSECT によってマップされます。専用プログラムの統計レコードには、プログラムがロードされたアプリケーションに関する情報があります。

アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されたプログラムは、プログラム・ローダー統計では示されず、専用プログラム統計レコードがそれらのために作成されるのみです。

JVM プログラムは CICS ではロードされないため、JVM で稼働する Java プログラムについての情報はプログラム統計に含まれていません。 この情報については、164 ページの『JVM プログラム統計』を参照してください。

プログラム統計の解釈

平均取り出し時間は、CICS 管理対象ストレージへの DFHRPL ライブラリー連結または動的ライブラリー連結において、MVS が区分データ・セットからのロードを実行するのに、どれくらいの時間がかかるかを示します。

「プログラム・サイズ」/「平均取り出し時間」の各 LIBRARY オフセット (Lbry ofst) の平均は、特定の区分データ・セットからのロード時のバイト転送速度を示します。これらの値を比較することによって、不良のチャネル・ロードやファイル設計の問題を検出できる場合があります。

プログラム - 公開: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAM システム・コマンドを使用して、公開プログラムの統計を取得できます。これらの統計は DFHLDRDS DSECT によってマップされます。

公開プログラムのプログラム・リソース統計には、公開プログラムごとにローダーによって収集されたリソース・データが含まれます。

公開プログラムの統計は、DFHLDRDS DSECT によってマップされます。プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラムの場合、これらの統計は DFHLDPDS DSECT によってマップされます。 DFHLDPDS DSECT には、プログラムがロードされたアプリケーションに関する情報があります。専用プログラムの DSECT および DFHSTUP レポートの詳細については、 247 ページの『プログラム - 専用: リソース統計』を参照してください。アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されたプログラムは、プログラム・ローダー統計では示されません。

表 *127.* プログラム - 公開: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
プログラム名	LDRPNAME	プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
Times used (使用回数)	LDRTU	システム内の CICS タスクが、このプログラムの使用可能なインスタンスへのアクセスを取得するために、ローダー・ドメインにロード要求を発行した回数。 このロード要求によって、ローダー・ドメインが MVS LOAD を発行する場合があります。 リセット特性: ゼロにリセット
Fetch count (取り出し回数)	LDRFC	静的 DFHRPL または動的 LIBRARY連結から CICS 管理対象ストレージにプログラムのコピーをロードするために、ローダー・ドメインが MVS LOAD 要求を発行した回数。 リセット特性: ゼロにリセット
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	LDRFT	すべてのフェッチを実行するのにかかる時間。 DSECT フィールドには、時間を 16 マイクロ秒単位で表現する 4 バイト値が入ります。 リセット特性: ゼロにリセット
Average fetch time (平均フェッチ時間)	DFHSTUP によって計算される	プログラムのフェッチを実行するのに要した平均時間。 DFHSTUP レポートは、この時間を 分:秒.小数部 として表します。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *127.* プログラム - 公開: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Lbry ofst (ライブラリー・オフセット)	LDRRPLO	プログラムの現在のロード元、または次に要求されたときのロード元のデータ・セットの、静的 DFHRPL または動的 LIBRARY DD 連結内へのオフセット (非 LPA 常駐モジュールのみ)。 **注:** オフセット値は連結内の最初の区分データ・セットのゼロから始まるため、このフィールドは、ローダー・ドメインがプログラムのコピーを使用できるかどうかを推定するために使用されません。 リセット特性: リセットなし
NEWCOPY count (NEWCOPY 回数)	LDRTN	このプログラムに対して、NEWCOPY が要求された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Program size (プログラム・サイズ)	LDRPSIZE	プログラムのサイズが分かっている場合は、そのサイズ (バイト単位)。不明の場合はゼロ。 リセット特性: リセットなし
Times removed (除去回数)	LDRRPC	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムのアクションによって、このプログラムのインスタンスが CICS で管理されるストレージから除去された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Current Location (現在の場所)	LDRLOCN	プログラムの現在のストレージ常駐インスタンスがある場合、そのロケーション。 表 128に示されている値のいずれかになります。 リセット特性: リセットなし
LIBRARY name (LIBRARY 名)	LDRLBNM	プログラムのロード元の LIBRARY 名。 リセット特性: リセットなし
LIBRARY Dsname (LIBRARY DS 名)	LDRLBDNM	プログラムのロード元の LIBRARY 内にあるデータ・セットの名前。 リセット特性: リセットなし

表 *128.* 位置の値 *(LDRLOCN)*

DFHSTUP 値	**DSECT** 値	意味
なし	LDRNOCO (X'00')	現行コピーなし

表 128. 位置の値 (LDRLOCN) (続き)

DFHSTUP 値	DSECT 値	意味
CDSA	LDRCDCO (X'01')	現行コピーは CDSA に存在
SDSA	LDRSDCO (X'08')	現行コピーは SDSA に存在
LPA	LDRLPACO (X'03')	現行コピーは LPA に存在
ECDSA	LDRECDCO (X'04')	現行コピーは ECDSA に存在
ESDSA	LDRESDCO (X'09')	現行コピーは ESDSA に存在
ERDSA	LDRERDCO (X'06')	現行コピーは ERDSA に存在
RDSA	LDRRDCO (X'0A')	現行コピーは RDSA に存在

プログラム - 公開: 要約リソース統計

各公開プログラムのローダーのリソース統計の要約リスト。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラムは別個の要約レポートで報告されます。このレポートの詳細については、 250 ページの『プログラム - 専用: 要約リソース統計』を参照してください。

表 129. プログラム - 公開: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
プログラム名	プログラムの名前。
Times used (使用回数)	システム内の CICS タスクが、このプログラムの使用可能インスタンスにアクセスするためにローダー・ドメインに対してロード要求を発行する合計数です。このロード要求によって、このプログラムの使用可能インスタンスにアクセスするためにローダー・ドメインが MVS LOAD を発行する場合があります。
Fetch count (取り出し回数)	DFHRPL ライブラリー連結、または動的 LIBRARY 連結から CICS 管理対象ストレージにプログラムのコピーをロードするために、ローダー・ドメインが MVS LOAD 要求を発行した総数。
Average fetch time (平均フェッチ時間)	プログラムのフェッチを実行するのに要した平均時間。 DFHSTUP レポートは、この時間を 分:秒.小数部 として表します。

表 *129.* プログラム - 公開: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
NEWCOPY count (NEWCOPY 回数)	このプログラムに対して NEWCOPY が要求される合計数です。
Times removed (除去回数)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムのアクションによって、このプログラムのインスタンスが CICS 管理ストレージから除去される合計数です。
LIBRARY name (LIBRARY 名)	プログラムのロード元の LIBRARY 連結の名前。
LIBRARY Dsname (LIBRARY DS 名)	プログラムのロード元の LIBRARY 連結内にあるデータ・セットの名前。

プログラム - 専用: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAM システム・コマンドを使用して、プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラムの統計を取得できます。これらの統計は DFHLDPDS DSECT によってマップされます。

専用プログラムのプログラム・リソース統計には、プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラムごとにローダーによって収集されたリソース・データが含まれます。

プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラムの統計は、DFHLDPDS DSECT によってマップされます。公開プログラムの場合、これらの統計は DFHLDRDS DSECT によってマップされます。公開プログラムの DSECT および DFHSTUP レポートの詳細については、 243 ページの『プログラム - 公開: リソース統計』を参照してください。アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されたプログラムは、プログラム・ローダー統計では示されません。

表 *130.* プログラム - 専用: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
プラットフォーム	LDP_PLATFORM_NAME	専用プログラムを使用するアプリケーションがデプロイされたプラットフォームの名前。 リセット特性: リセットなし
アプリケーション	LDP_APPLICATION_NAME	専用プログラムを使用するアプリケーションの名前。 リセット特性: リセットなし
Major version (メジャー・バージョン)	LDP_APPL_MAJOR_VER	専用プログラムを使用するアプリケーションのメジャー・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし

表 *130.* プログラム - 専用*:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Minor version (マイナー・バージョン)	LDP_APPL_MINOR_VER	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイナー・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
Micro version (マイクロ・バージョン)	LDP_APPL_MICRO_VER	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
プログラム名	LDPPNAME	プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
Times used (使用回数)	LDPTU	システム内の CICS タスクが、このプログラムの使用可能なインスタンスへのアクセスを取得するために、ローダー・ドメインにロード要求を発行した回数。 このロード要求によって、ローダー・ドメインが MVS LOAD を発行する場合があります。 リセット特性: ゼロにリセット
Fetch count (取り出し回数)	LDPFC	静的 DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から CICS 管理対象ストレージにプログラムのコピーをロードするために、ローダー・ドメインが MVS LOAD 要求を発行した回数。 リセット特性: ゼロにリセット
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	LDPFT	すべてのフェッチを実行するのにかかる時間。 DSECT フィールドには、時間を 16 マイクロ秒単位で表現する 4 バイト値が入ります。 リセット特性: ゼロにリセット
Average fetch time (平均フェッチ時間)	DFHSTUP によって計算される	プログラムのフェッチを実行するのに要した平均時間。 DFHSTUP レポートは、この時間を 分:秒.小数部として表します。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *130.* プログラム - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Lbry ofst (ライブラリー・オフセット)	LDPRPLO	プログラムの現在のロード元、または次に要求されたときのロード元のデータ・セットの、静的 DFHRPL または動的 LIBRARY DD 連結内へのオフセット (非 LPA 常駐モジュールのみ)。 **注:** オフセット値は連結内の最初の区分データ・セットのゼロから始まるため、このフィールドは、ローダー・ドメインがプログラムのコピーを使用できるかどうかを推定するために使用されません。 リセット特性: リセットなし
NEWCOPY count (NEWCOPY 回数)	LDPTN	このプログラムに対して、NEWCOPY が要求された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Program size (プログラム・サイズ)	LDPPSIZE	プログラムのサイズが分かっている場合は、そのサイズ (バイト単位)。不明の場合はゼロ。 リセット特性: リセットなし
Times removed (除去回数)	LDPRPC	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムのアクションによって、このプログラムのインスタンスが CICS で管理されるストレージから除去された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Current Location (現在の場所)	LDPLOCN	プログラムの現在のストレージ常駐インスタンスがある場合、そのロケーション。 250 ページの表 131に示されている値のいずれかになります。 リセット特性: リセットなし
LIBRARY name (LIBRARY 名)	LDPLBNM	プログラムのロード元の LIBRARY 名。 リセット特性: リセットなし
LIBRARY Dsname (LIBRARY DS 名)	LDPLBDNM	プログラムのロード元の LIBRARY 内にあるデータ・セットの名前。 リセット特性: リセットなし

表 130. プログラム - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Operation (操作)	LDP_OPERATION_NAME	アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されたプログラムの場合、アプリケーション・エントリー・ポイントに対して指定されたアプリケーション操作。 リセット特性: リセットなし

表 131. 位置の値 (LDPLOCN)

DFHSTUP 値	DSECT 値	意味
なし	LDPNOCO (X'00')	現行コピーなし
CDSA	LDPCDCO (X'01')	現行コピーは CDSA に存在
SDSA	LDPSDCO (X'08')	現行コピーは SDSA に存在
LPA	LDPLPACO (X'03')	現行コピーは LPA に存在
ECDSA	LDPECDCO (X'04')	現行コピーは ECDSA に存在
ESDSA	LDPESDCO (X'09')	現行コピーは ESDSA に存在
ERDSA	LDPERDCO (X'06')	現行コピーは ERDSA に存在
RDSA	LDPRDCO (X'0A')	現行コピーは RDSA に存在

プログラム - 専用: 要約リソース統計

プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラムのローダーのリソース統計の要約リスト。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

公開プログラムは別個の要約レポートで報告されます。このレポートの詳細については、 246 ページの『プログラム - 公開: 要約リソース統計』を参照してください。

表 132. プログラム - 専用: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
プラットフォーム	専用プログラムを使用するアプリケーションがデプロイされたプラットフォームの名前。
アプリケーション	専用プログラムを使用するアプリケーションの名前。

表 *132.* プログラム - 専用: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Major version (メジャー・バージョン)	専用プログラムを使用するアプリケーションのメジャー・バージョン番号。
Minor version (マイナー・バージョン)	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイナー・バージョン番号。
Micro version (マイクロ・バージョン)	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。
プログラム名	プログラムの名前。
Operation (操作)	アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されたプログラムの場合、アプリケーション・エントリー・ポイントに対して指定されたアプリケーション操作。
Times used (使用回数)	システム内の CICS タスクが、このプログラムの使用可能インスタンスにアクセスするためにローダー・ドメインに対してロード要求を発行する合計数です。このロード要求によって、このプログラムの使用可能インスタンスにアクセスするためにローダー・ドメインが MVS LOAD を発行する場合があります。
Fetch count (取り出し回数)	DFHRPL ライブラリー連結、または動的 LIBRARY 連結から CICS 管理対象ストレージにプログラムのコピーをロードするために、ローダー・ドメインが MVS LOAD 要求を発行した総数。
Average fetch time (平均フェッチ時間)	プログラムのフェッチを実行するのに要した平均時間。 DFHSTUP レポートは、この時間を 分:秒.小数部 として表します。
NEWCOPY count (NEWCOPY 回数)	このプログラムに対して NEWCOPY が要求される合計数です。
Times removed (除去回数)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムのアクションによって、このプログラムのインスタンスが CICS 管理ストレージから除去される合計数です。
LIBRARY name (LIBRARY 名)	プログラムのロード元の LIBRARY 連結の名前。
LIBRARY Dsname (LIBRARY DS 名)	プログラムのロード元の LIBRARY 連結内にあるデータ・セットの名前です。

プログラム定義統計

プログラム定義統計は、プログラムごとにプログラム・マネージャーによって収集されたリソース・データを報告します。

公開プログラムの場合、これらの統計は DFHPGDDS DSECT によってマップされます。プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラムの場合、これらの統計は DFHPGEDS DSECT によってマップされます。専用プログラム定義の統計レコードには、プログラムが定義されたアプリケーションに関する情報があります。

アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されたプログラム定義は、公開プログラム定義および公開 JVM プログラムのための DFHPGDDS DSECT および DFHPGRDS DSECT 内のフィールドと、専用プログラム定義および専用 JVM プログラムのための DFHPGEDS DSECT および DFHPGPDS DSECT 内のフィールドで識別されます。アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されたプログラム定義について、間隔統計、1 日の終わり統計、要求された統計、要求されたリセット統計、または非送信請求統計が生成される場合は、2 つの統計レコードが書き込まれます。 1 つは、公開リソースの DSECT によってマップされた統計レコード、もう 1 つは、専用リソースの DSECT によってマップされた統計レコードです。

プログラム定義 - 公開: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAMDEF システム・コマンドを使用して、公開プログラム定義の統計を取得できます。これらの統計は DFHPGDDS DSECT によってマップされます。

公開プログラム定義のプログラム定義リソース統計には、プログラムごとにプログラム・マネージャーによって収集されたリソース・データが含まれます。

公開プログラム定義の統計は、DFHPGDDS DSECT によってマップされます。プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラム定義の場合、これらの統計は DFHPGEDS DSECT によってマップされます。 DFHPGEDS DSECT には、プログラムが定義されたアプリケーションに関する情報があります。専用プログラム定義の DSECT および DFHSTUP レポートの詳細については、257 ページの『プログラム定義 - 専用: リソース統計』を参照してください。

アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されたプログラムは、PGD_PROGRAM_ENTRYPOINT フィールドで識別されます。これらのプログラムに対して公開統計レコードと専用統計レコードの両方が書き出され、各 DSECT によって 1 回だけマップされます。

表 *133.* プログラム定義 - 公開: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Program Name (プログラム名)	PGD_PROGRAM_NAME	プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
タイプ	PGD_PROGRAM_TYPE	モジュールのタイプ。 リセット特性: リセットなし
EXEC key (実行キー)	PGD_PROGRAM_EXEC_KEY	プログラムが実行するときのアクセス・キー。 リセット特性: リセットなし

表 133. プログラム定義 - 公開: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Data loc (データ・ロケーション)	PGD_PROGRAM_DATA_LOC	プログラムが受け入れ可能なストレージ・ロケーションです。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_EXECUTION_SET	モジュールが CICS API の分散プログラム・リンク・サブセットに限定されているかどうか。EXECUTIONSET は実行可能プログラムだけに適用されて、プログラムがローカルに起動されたときにのみ API を制御します。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_LANG_DEDUCED	モジュールの言語。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_LANGUAGE	プログラム定義の LANGUAGE 属性に定義されているプログラム言語です。 リセット特性: リセットなし
Runtime (ランタイム)	PGD_PROGRAM_RUNTIME_ENV	プログラムのランタイム環境。 リセット特性: リセットなし
並行性	PGD_PROGRAM_CONCURRENCY	インストール済みのプログラム定義の並行性属性 (QUASIRENT、THREADSAFE、または REQUIRED)。 リセット特性: リセットなし
API	PGD_PROGRAM_API	インストール済みのプログラム定義の API 属性 (CICS または OPEN)。 リセット特性: リセットなし

表 133. プログラム定義 - 公開: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Remote (リモート)	PGD_PROGRAM_REMOTE	プログラムがプログラム・リンク要求の対象である場合、プログラムを静的に経路指定できるかどうか。 リセット特性: リセットなし
Dynamic (動的)	PGD_PROGRAM_DYNAMIC	プログラムがプログラム・リンク要求の対象である場合、プログラムを動的に経路指定できるかどうか。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_JVM	プログラムが、JVM サーバーで実行する必要のある Java プログラムかどうか。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_ENTRYPOINT	プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションのアプリケーション・エントリー・ポイントとしてプログラムが定義されているかどうか。 リセット特性: リセットなし
Remote Name (リモート名)	PGD_PROGRAM_REMOTE_NAME	プログラムの場合に限り、モジュールを CICS 領域で識別するために「Remote System (リモート・システム)」フィールドで指定された名前で、リモートとして定義されたものだけを示します。 リセット特性: リセットなし
Remote Tran (リモート・トランザクション)	PGD_PROGRAM_TRAN_ID	プログラムの場合に限り、このモジュール (プログラムに限る) をリモートで実行するためのトランザクションの名前。つまり、ローカル領域のタスクからのリンクによって実行されるように、リモート領域がそこに作成されたタスクに割り当てるトランザクション ID です。 リセット特性: リセットなし

表 133. プログラム定義 - 公開: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Remote System (リモート・システム)	PGD_PROGRAM_REMOTE_SYSID	プログラムの場合に限り、モジュールが定義されている CICS 領域の名前です。 これはプログラムにのみ適用されて、リモートとして定義されたものに限定されます。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_JVMSERVER	Java プログラムでは、この Java プログラムが実行される JVM サーバーの名前。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。 この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_CHANGE_USERID	CHANGEAGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし

表 133. プログラム定義 - 公開: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGD_PROGRAM_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

プログラム定義 - 公開: 要約リソース統計

すべての公開プログラム定義のリソース統計の要約リスト。

要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラム定義は別個の要約レポートで報告されます。このレポートの詳細については、 262 ページの『プログラム定義 - 専用: 要約リソース統計』を参照してください。アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されたプログラムは、公開リソース要約レポートと専用リソース要約レポートの両方に現れます。

表 134. プログラム定義 - 公開: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
Program Name (プログラム名)	プログラムの名前。
タイプ	モジュールのタイプ。
並行性	インストール済みプログラム定義の並行性属性。
API	インストール済みのプログラム定義の API 属性 (CICS または OPEN)。
EXEC Key (実行キー)	プログラム実行のためのアクセス・キー。
Data Loc (データ・ロケーション)	プログラムが受け入れ可能なストレージ・ロケーションです。
Language Deduced (推定される言語)	プログラムの言語。
Runtime Environment (ランタイム環境)	プログラムのランタイム環境。
Remote (リモート)	プログラムがプログラム・リンク要求の対象である場合、プログラムを静的に経路指定できるかどうか。
Dynamic (動的)	プログラムがプログラム・リンク要求の対象である場合、プログラムを動的に経路指定できるかどうか。
Remote Name (リモート名)	プログラムの場合に限り、モジュールを CICS 領域で識別するために「Remote System (リモート・システム)」フィールドで指定された名前で、リモートとして定義されたものだけを示します。

表 *134.* プログラム定義 - 公開*:* 要約リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Remote Tran (リモート・トランザクション)	プログラムの場合に限り、このモジュール (プログラムに限る) をリモートで実行するためのトランザクションの名前 (つまり、ローカル領域のタスクからのリンクによって実行されるように、リモート領域がそこに作成されたタスクに割り当てるトランザクション ID です)。
Remote System (リモート・システム)	プログラムの場合に限り、モジュールが定義されている CICS 領域の名前です。これはプログラムにのみ適用されて、リモートとして定義されたものに限定されます。

プログラム定義 - 専用: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAMDEF システム・コマンドを使用して、プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラム定義の統計を取得できます。これらの統計は DFHPGEDS DSECT によってマップされます。

専用プログラム定義のプログラム定義リソース統計には、プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラムの、プログラム・マネージャーによって収集されたリソース・データが含まれます。

プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションの専用プログラム定義の統計は、DFHPGEDS DSECT によってマップされます。公開プログラム定義の場合、これらの統計は DFHPGDDS DSECT によってマップされます。公開プログラム定義の DSECT および DFHSTUP レポートの詳細については、 252 ページの『プログラム定義 - 公開: リソース統計』を参照してください。

アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されたプログラムは、PGE_PROGRAM_OPERATION_NAME フィールドで指定されるアプリケーション操作で識別されます。これらのプログラムに対して公開統計レコードと専用統計レコードの両方が書き出され、各 DSECT によって 1 回だけマップされます。

DFHSTUP レポートは、プラットフォーム上にデプロイされた各アプリケーションの専用プログラムを示します。アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されたプログラムの場合、レポートはアプリケーション・エントリー・ポイントに対して指定されたアプリケーション操作を示します。

表 *135.* プログラム定義 - 専用*:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
プラットフォーム	PGE_PROGRAM_PLATFORM_NAME	専用プログラムを使用するアプリケーションがデプロイされたプラットフォームの名前。 リセット特性: リセットなし
アプリケーション	PGE_PROGRAM_APPLICATION_NAME	専用プログラムを使用するアプリケーションの名前。 リセット特性: リセットなし

表 135. プログラム定義 - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Major version (メジャー・バージョン)	PGE_PROGRAM_APPL_MAJOR_VER	専用プログラムを使用するアプリケーションのメジャー・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
Minor version (マイナー・バージョン)	PGE_PROGRAM_APPL_MINOR_VER	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイナー・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
Micro version (マイクロ・バージョン)	PGE_PROGRAM_APPL_MICRO_VER	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。 リセット特性: リセットなし
Program Name (プログラム名)	PGE_PROGRAM_NAME	専用プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
タイプ	PGE_PROGRAM_MODULE_TYPE	モジュールのタイプ。 リセット特性: リセットなし
EXEC key (実行キー)	PGE_PROGRAM_EXEC_KEY	プログラムが実行するときのアクセス・キー。 リセット特性: リセットなし
Data loc (データ・ロケーション)	PGE_PROGRAM_DATA_LOC	プログラムが受け入れ可能なストレージ・ロケーションです。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_EXECUTION_SET	モジュールが CICS API の分散プログラム・リンク・サブセットに限定されているかどうか。EXECUTIONSET は実行可能プログラムだけに適用されて、プログラムがローカルに起動されたときにのみ API を制御します。 リセット特性: リセットなし

表 *135.* プログラム定義 - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Language Deduced (推定される言語)	PGE_PROGRAM_LANG_DEDUCED	モジュールの言語。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_LANGUAGE	プログラム定義の LANGUAGE 属性に定義されているプログラム言語です。 リセット特性: リセットなし
Runtime (ランタイム)	PGE_PROGRAM_RUNTIME_ENV	プログラムのランタイム環境。 リセット特性: リセットなし
並行性	PGE_PROGRAM_CONCURRENCY	インストール済みのプログラム定義の並行性属性 (QUASIRENT、THREADSAFE、または REQUIRED)。 リセット特性: リセットなし
API	PGE_PROGRAM_API	インストール済みのプログラム定義の API 属性 (CICS または OPEN)。 リセット特性: リセットなし
Remote (リモート)	PGE_PROGRAM_REMOTE	プログラムがプログラム・リンク要求の対象である場合、プログラムを静的に経路指定できるかどうか。 リセット特性: リセットなし
Dynamic (動的)	PGE_PROGRAM_DYNAMIC	プログラムがプログラム・リンク要求の対象である場合、プログラムを動的に経路指定できるかどうか。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_JVM	プログラムが、JVM サーバーで実行する必要のある Java プログラムかどうか。 リセット特性: リセットなし

表 135. プログラム定義 - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_ENTRYPOINT	プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションのアプリケーション・エントリー・ポイントとしてプログラムが定義されているかどうか。 リセット特性: リセットなし
Remote Name (リモート名)	PGE_PROGRAM_REMOTE_NAME	プログラムの場合に限り、モジュールを CICS 領域で識別するために「Remote System (リモート・システム)」フィールドで指定された名前で、リモートとして定義されたものだけを示します。 リセット特性: リセットなし
Remote Tran (リモート・トランザクション)	PGE_PROGRAM_TRAN_ID	プログラムの場合に限り、このモジュール (プログラムに限る) をリモートで実行するためのトランザクションの名前。つまり、ローカル領域のタスクからのリンクによって実行されるように、リモート領域がそこに作成されたタスクに割り当てるトランザクション ID です。 リセット特性: リセットなし
Remote System (リモート・システム)	PGE_PROGRAM_REMOTE_SYSID	プログラムの場合に限り、モジュールが定義されている CICS 領域の名前です。 これはプログラムにのみ適用されて、リモートとして定義されたものに限定されます。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_JVMSERVER	Java プログラムでは、この Java プログラムが実行される JVM サーバーの名前。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。 この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし

表 *135.* プログラム定義 - 専用: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_CHANGE_USERID	CHANGEAGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PGE_PROGRAM_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Operation (操作)	PGE_PROGRAM_OPERATION_NAME	アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されたプログラムの場合、アプリケーション・エントリー・ポイントに対して指定されたアプリケーション操作。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容に

ついて詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

プログラム定義 - 専用: 要約リソース統計

プラットフォーム上にデプロイされたアプリケーションのすべての専用プログラム定義のリソース統計の要約リスト。

要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

公開プログラム定義は別個の要約レポートで報告されます。このレポートの詳細については、 256 ページの『プログラム定義 - 公開: 要約リソース統計』を参照してください。アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されたプログラムは、公開リソース要約レポートと専用リソース要約レポートの両方に現れます。

表 *136.* プログラム定義 - 専用: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
プラットフォーム	専用プログラムを使用するアプリケーションがデプロイされたプラットフォームの名前。
アプリケーション	専用プログラムを使用するアプリケーションの名前。
Major version (メジャー・バージョン)	専用プログラムを使用するアプリケーションのメジャー・バージョン番号。
Minor version (マイナー・バージョン)	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイナー・バージョン番号。
Micro version (マイクロ・バージョン)	専用プログラムを使用するアプリケーションのマイクロ・バージョン番号。
Program Name (プログラム名)	専用プログラムの名前。
Operation (操作)	アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されたプログラムの場合、アプリケーション・エントリー・ポイントに対して指定されたアプリケーション操作。
タイプ	モジュールのタイプ。
並行性	インストール済みプログラム定義の並行性属性。
API	インストール済みのプログラム定義の API 属性 (CICS または OPEN)。
EXEC Key (実行キー)	プログラム実行のためのアクセス・キー。
Data Loc (データ・ロケーション)	プログラムが受け入れ可能なストレージ・ロケーションです。
Language Deduced (推定される言語)	プログラムの言語。
Runtime Environment (ランタイム環境)	プログラムのランタイム環境。
Remote (リモート)	プログラムがプログラム・リンク要求の対象である場合、プログラムを静的に経路指定できるかどうか。
Dynamic (動的)	プログラムがプログラム・リンク要求の対象である場合、プログラムを動的に経路指定できるかどうか。
Remote Name (リモート名)	プログラムの場合に限り、モジュールを CICS 領域で識別するために「Remote System (リモート・システム)」フィールドで指定された名前で、リモートとして定義されたものだけを示します。
Remote Tran (リモート・トランザクション)	プログラムの場合に限り、このモジュール (プログラムに限る) をリモートで実行するためのトランザクションの名前 (つまり、ローカル領域のタスクからのリンクによって実行されるように、リモート領域がそこに作成されたタスクに割り当てるトランザクション ID です)。
Remote System (リモート・システム)	プログラムの場合に限り、モジュールが定義されている CICS 領域の名前です。これはプログラムにのみ適用されて、リモートとして定義されたものに限定されます。

リカバリー・マネージャー統計

リカバリー・マネージャー統計は、システムにおけるすべてのトランザクションの同期点アクティビティーの詳細を示します。 これらの統計から、中断された UOW (未確定の失敗状態になり、リカバリー・コーディネーターとの再同期を待っているか、リソースの問題が解決するのを待っている作業単位) の影響を評価できます。

中断された UOW は、解決されるまでロックおよびエンキューを保持し続けます。整合性エクスポージャーが持ち込まれたかどうかを評価する場合に役立つ、中断された UOW の強制解決に関する統計を使用することができます。 現在のアクティビティーおよび最終リセット以後のアクティビティーを使用することができます。

リカバリー・マネージャー: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS RECOVERY システム・コマンドを使用して、リカバリー・マネージャーの統計を取得できます。これらの統計は DFHRMGDS DSECT によってマップされます。

表 *137.* リカバリー・マネージャー: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total number of syncpoints (forward) (同期点の総数 (フォワード))	RMGSYFWD	コミットする (フォワード) 同期点要求の総数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Total number of syncpoints (backward) (同期点の総数 (バックワード))	RMGSYBWD	コミットする (逆方向) 同期点要求 (EXEC CICS SYNCPOINT ROLLBACK など) の総数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Total number of resynchronizations (再同期の総数)	RMGRESYN	再同期要求の総数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Total shunted UOWs for indoubt failure (未確定の失敗のため中断された UOW の合計)	RMGTSHIN	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターとの接続が失われ、未確定障害のために中断したが、後に完了した作業単位の総数です。 この値には、未確定障害のために現在中断している作業単位は含まれないことに注意してください。 リセット特性: ゼロにリセット
Total time shunted for indoubt failure (未確定の失敗のため中断された UOW の合計時間)	RMGTSHTI	未確定障害 (RMGTSHIN) のために中断したが、後に完了した作業単位が中断状態で待機した合計時間 (STCK) です。 この値には、未確定障害のために現在中断している作業単位は含まれないことに注意してください。 リセット特性: ゼロにリセット

表 137. リカバリー・マネージャー: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total shunted UOWs for commit/backout failure (コミット/バックアウトの失敗のため中断された UOW の合計)	RMGTSHRO	ローカル・リソース・マネージャーが同期点中に UOW 用にコミット/バックアウト処理を実行できなかったので、コミット/バックアウトの失敗のために中断したが、後に完了した作業単位の総数です。 この値には、コミット/バックアウトの失敗のために現在中断している作業単位は含まれないことに注意してください。 リセット特性: ゼロにリセット
Total time shunted for commit/backout failure (コミット/バックアウトの失敗のために中断された合計時間)	RMGTSHTR	コミット/バックアウト (RMGTSHRO) の失敗のために中断したが、後に完了した作業単位が中断状態で待機した合計時間 (STCK) です。 この値には、コミット/バックアウトの失敗のために現在中断している作業単位は含まれないことに注意してください。 リセット特性: ゼロにリセット
Current shunted UOWs for indoubt failure (未確定の失敗のために中断された現在の UOW)	RMGCSHIN	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターとの接続が失われ、未確定の失敗のために中断している作業単位の現在の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Current time shunted for indoubt failure (未確定の失敗のために中断された現在の回数)	RMGCSHTI	未確定の失敗 (RMGCSHIN) のために現在中断している作業単位が中断状態でこれまで待機している合計時間 (STCK)です。 リセット特性: ゼロにリセット
Current shunted UOWs for resource failure (リソース障害のために中断された現在の UOW)	RMGCHSHR	ローカル・リソース・マネージャーが同期点中に UOW 用にコミット/バックアウト処理を実行できなかったために、コミット/バックアウトの失敗のために中断している作業単位の現在の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Current time shunted for resource failure (リソース障害のために中断された現在の回数)	RMGCSHTR	コミット/バックアウト (RMGCHSHR) の失敗のために現在中断している作業単位が中断状態でこれまで待機している合計時間 (STCK) です。 リセット特性: ゼロにリセット

以下のフィールドは、UOW が早期に完了するよう強制されたことにより、UOW が保全性の露出を引き起こした理由を説明しています。 UOW は、結果に関係なく、中断することを許可されなかったか、中断できなかったか、または中断を終了するよう強制されたかのいずれかです。

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total forces of indoubt action by trandef (trandef によって強制された未確定アクションの合計)	RMGIAFTR	トランザクション定義で未確定状態では待機できないと指定されているために、リカバリー・コーディネーターへの接続を失うにもかかわらず、同期点処理を完了するよう強制された UOW の総数です。 UOW は、この分散 UOW 内の他の参加領域によって指定または取られるアクションに関係なく、トランザクション定義の未確定アクション属性に従ってコミットされていたか、またはバックアウトされていたはずです。 リセット特性: ゼロにリセット
Total forces of indoubt action by timeout (タイムアウトによって強制された未確定アクションの合計)	RMGIAFTI	トランザクション定義の待ちが未確定タイムアウト値を超えたため、リカバリー・コーディネーターと未接続であるにもかかわらず、同期点処理を完了するよう強制された中断している未確定 UOW の総数です。 UOW は、この分散 UOW 内の他の参加領域によって指定または取られるアクションに関係なく、トランザクション定義の未確定アクション属性に従ってコミットされていたか、またはバックアウトされていたはずです。 リセット特性: ゼロにリセット
Total forces of indoubt action by operator (オペレーターによって強制された未確定アクションの合計)	RMGIAFOP	解決を強制した CEMT、EXEC CICS、または SET UOW コマンドによって、リカバリー・コーディネーターと未接続であるにもかかわらず、同期点処理を完了するよう強制された中断している未確定 UOW の総数です。 UOW は、この分散 UOW 内の他の参加領域によって指定または取られるアクションに関係なく、コマンド・オプションに従ってコミットされていたか、またはバックアウトされていたはずです。 リセット特性: ゼロにリセット

以下のフィールドは、UOW が早期に完了するよう強制されたことにより、UOW が保全性の露出を引き起こした理由を説明しています。 UOW は、結果に関係なく、中断することを許可されなかったか、中断できなかったか、または中断を終了するよう強制されたかのいずれかです。

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total forces of indoubt action by no wait (待機なしによって強制された未確定アクションの合計)	RMGIAFNW	UOW で使用されるローカル・リソース所有者または UOW で使用される接続されたリソース・マネージャーが未確定待機できないために、未確定待機できるにもかかわらず、同期点処理を完了するよう強制された UOW の総数です。 UOW は、この分散 UOW 内の他の参加領域によって指定または取られるアクションに関係なく、トランザクション定義の未確定アクション属性に従ってコミットされていたか、またはバックアウトされていたはずです。 以下の『未確定待機の機能停止のサポートなし』セクションを参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット
Total forces of indoubt action by other (その他によって強制された未確定アクションの合計)	RMGIAFOT	この表で既に言及している理由以外 (コーディネーターのコールド・スタート、RMI アダプター・モディフィケーションのレベル、および再同期エラーなど) のために、未確定待機する機能を持っているにもかかわらず、同期点処理を完了するよう強制された UOW の総数です。 UOW は、この分散 UOW 内の他の参加領域によって指定または取られるアクションに関係なく、トランザクション定義の未確定アクション属性に従ってコミットされていたか、またはバックアウトされていたはずです。 リセット特性: ゼロにリセット

以下のフィールドは、未確定障害 (コーディネーターの逸失) の発生時に UOW が未確定待機 (中断) できなかった理由を詳細に説明しており、フィールド RMGIAFNW の明細です。 これは、UOW が、未確定待機する機能を持たないリカバリー可能ローカル・リソース、システム間リンク全域のリカバリー可能リソース、外部リソース・マネージャー (RMI) のいずれかを使用するためです。 この理由で強制される UOW の解決の結果、保全性の露出が発生します。

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
-Indoubt action forced by TD queues (-TD キューによって強制された未確定アクション)	RMGNWTD	UOW が、WAIT=NO の未確定属性で定義されたリカバリー可能一時データ・キューを使用するために発生した UOW 強制の総数です。 リセット特性: ゼロにリセット

以下のフィールドは、未確定障害 (コーディネーターの逸失) の発生時に UOW が未確定待機 (中断) できなかった理由を詳細に説明しており、フィールド RMGIAFNW の明細です。 これは、UOW が、未確定待機する機能を持たないリカバリー可能ローカル・リソース、システム間リンク全域のリカバリー可能リソース、外部リソース・マネージャー (RMI) のいずれかを使用するためです。 この理由で強制される UOW の解決の結果、保全性の露出が発生します。

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
-Indoubt action forced by LU61 connections (-LU61 接続によって強制された未確定アクション)	RMGNW61	UOW が、未確定待機をサポートできない LU6.1 システム間リンクを使用するために発生した UOW 強制の総数です。 LU6.1 システム間リンクが同期点処理で最後のエージェントとして作動できる場合は、待機機能がなくても問題はありません。最後のエージェント処理について詳しくは、「*CICS* 相互通信ガイド」の『同期点交換』を参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット
-Indoubt action forced by MRO connections (-MRO 接続によって強制された未確定アクション)	RMGNWMRO	UOW が、未確定待機をサポートできない下位レベル CICS 領域への MRO システム間リンクを使用するために発生した UOW 強制の総数です。 MRO システム間リンクが同期点処理で最後のエージェントとして作動できる場合は、待機機能がなくても問題はありません。最後のエージェント処理について詳しくは、「*CICS* 相互通信ガイド」の『同期点交換』を参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット
-Indoubt action forced by RMI exits (TRUEs) (-RMI 出口によって強制された未確定アクション (TRUE))	RMGNWRMI	UOW が、同期点との関係を宣言しているが、未確定待機をサポートできない RMI を使用するために発生した UOW 強制の総数です。 RMI システム間リンクが同期点処理で最後のエージェントとして作動できる場合は、待機機能がなくても問題はありません。最後のエージェント処理について詳しくは、「*CICS* 相互通信ガイド」の『同期点交換』を参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット
-Indoubt action forced by others (- その他によって強制された未確定アクション)	RMGNWOTH	UOW が、未確定待機をサポートする機能を無効にする、この表で既に言及している機能以外のリカバリー可能機能 (端末 RDO など) を使用するために発生した UOW 強制の総数です。 リセット特性: ゼロにリセット

以下のフィールドは、未確定障害 (コーディネーターの逸失) の発生時に UOW が未確定待機 (中断) できなかった理由を詳細に説明しており、フィールド RMGIAFNW の明細です。 これは、UOW が、未確定待機する機能を持たないリカバリー可能ローカル・リソース、システム間リンク全域のリカバリー可能リソース、外部リソース・マネージャー (RMI) のいずれかを使用するためです。 この理由で強制される UOW の解決の結果、保全性の露出が発生します。

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
-Total number of indoubt action mismatches (- 未確定アクションのミスマッチの合計時間)	RMGIAMIS	定義、オプション、またはオペレーター・オーバーライド (この表で既に言及しているフィールドの説明を参照) のいずれかによって、未確定アクション属性を使用して解決するよう強制され、参加システムまたは RMI との未確定アクション属性のミスマッチを検出した UOW の総数です。例えば、分散 UOW の参加システムは、作業を解決しますが (フォワード)、他のシステムは作業をバックアウトします。 この反対も同様です。 リセット特性: ゼロにリセット

リカバリー・マネージャー: 要約グローバル統計

リカバリー・マネージャーの要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *138.* リカバリー・マネージャー*:* 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Total number of syncpoints (forward) (同期点の総数 (フォワード))	コミットする (フォワード) 同期点要求の総数です。
Total number of syncpoints (backward) (同期点の総数 (バックワード))	コミットする (バックワード) 同期点要求の総数です。例えば、EXEC CICS SYNCPOINT ROLLBACK など。
Total number of resynchronizations (再同期の総数)	再同期要求の総数です。
Total shunted UOWs for indoubt failure (未確定の失敗のため中断された UOW の合計)	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターとの接続が失われ、未確定障害のために中断したが、後に完了した UOW の総数です。
Total time shunted for indoubt failure (未確定の失敗のため中断された UOW の合計時間)	未確定の失敗 ('Total number of shunts for indoubt failure) のために中断した UOW が、中断状態で待機した合計時間 (STCK) です。
Total shunted UOWs for commit/backout failure (コミット/バックアウトの失敗のため中断された UOW の合計)	ローカル・リソース・マネージャーがコミット/バックアウト処理を実行できなかったので、コミット/バックアウトの失敗のために中断したが、後に完了した UOW の総数です。
Total time shunted for commit/backout failure (コミット/バックアウトの失敗のために中断された合計時間)	コミット/バックアウト ('Total UOWs shunted for commit/backout failure) の失敗のために中断し、後に完了した UOW が中断状態で待機した合計時間 (STCK) です。

表 *138.* リカバリー・マネージャー: 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Outstanding shunted UOWs for indoubt failure (未確定の失敗のために未解決の中断された UOW)	同期点処理中にリカバリー・コーディネーターとの接続が失われたために、未確定障害のために中断している UOW の現在の数です。
Outstanding time shunted for indoubt failure (未確定の失敗のために中断された未解決の時間)	未確定障害のために現在中断している UOW が中断状態でこれまで待機している合計時間 (STCK) です。
Outstanding shunted UOWs for resource failure (リソース障害のために未解決の中断された UOW)	ローカル・リソース・マネージャーが UOW 用にコミット/バックアウト処理を実行できなかったために、コミット/バックアウトの失敗のために中断している UOW の現在の数です。
Outstanding time shunted for resource failure (リソース障害のために中断された未解決の時間)	コミット/バックアウトの失敗のために現在中断している UOW が中断状態でこれまで待機している合計時間 (STCK)です。
以下のフィールドは、UOW が早期に完了するよう強制されたことにより、UOW が保全性の露出を引き起こした理由を説明しています。 UOW は、結果に関係なく、中断することを許可されなかったか、中断できなかったか、または中断を終了するよう強制されたかのいずれかです。	
Total forces of indoubt action by trandef (trandef によって強制された未確定アクションの合計)	トランザクション定義で未確定状態では待機できないと指定されているために、リカバリー・コーディネーターへの接続を失うにもかかわらず、同期点処理を完了するよう強制された UOW の総数です。
Total forces of indoubt action by timeout (タイムアウトによって強制された未確定アクションの合計)	トランザクション定義の待ちが未確定タイムアウト値を超えたため、リカバリー・コーディネーターと未接続であるにもかかわらず、同期点処理を完了するよう強制された中断している未確定 UOW の総数です。
Total forces of indoubt action by operator (オペレーターによって強制された未確定アクションの合計)	オペレーター (CEMT) が解決を強制したために、リカバリー・コーディネーターと未接続であるにもかかわらず、同期点処理を完了するよう強制された中断している未確定 UOW の総数です。
Total forces of indoubt action by no wait (待機なしによって強制された未確定アクションの合計)	UOW が使用するローカル・リソース所有者または接続されたリソース・マネージャーが未確定待機できないために、未確定待機できるにもかかわらず、同期点処理を完了するよう強制された UOW の総数です。詳しくは、『未確定待機の機能停止のサポートなし』という表タイトルのセクションを参照してください。
Total forces of indoubt action by other (その他によって強制された未確定アクションの合計)	この表で既に言及している理由以外 (コーディネーターのコールド・スタート、RMI アダプター・モディフィケーションのレベル、および再同期エラーなど) のために、未確定待機する機能を持っているにもかかわらず、同期点処理を完了するよう強制された UOW の総数です。

未確定待機の機能停止のサポートなし

以下のフィールドは、未確定障害 (コーディネーターの逸失) の発生時に UOW が未確定待機 (中断) できなかった理由について詳細に説明しており、フィールド「Total forces of indoubt action by no wait (待機なしによって強制された未確定アクションの合計)」の明細です。 これは、UOW が、未確定待機する機能を持たないリカバリー可能ローカル・リソース、システム間リンク全域のリカバリー可能リソース、外部リソース・マネージャー (RMI) のいずれかを使用するためです。 この理由で強制される UOW の解決の結果、保全性の露出が発生します。

表 *138.* リカバリー・マネージャー*:* 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
-Indoubt action forced by TD queues (-TD キューによって強制された未確定アクション)	UOW が、WAIT=NO の未確定属性で定義されたリカバリー可能一時データ・キューを使用していたために発生した UOW 強制の総数です。
-Indoubt action forced by LU61 connections (-LU61 接続によって強制された未確定アクション)	UOW が、未確定待機をサポートできない LU6.1 システム間リンクを使用したために発生した UOW 強制の総数です。
-Indoubt action forced by MRO connections (-MRO 接続によって強制された未確定アクション)	UOW が、未確定待機をサポートできない下位レベル CICS 領域への MRO システム間リンクを使用したために発生した UOW 強制の総数です。
-Indoubt action forced by RMI exits (TRUEs) (-RMI 出口によって強制された未確定アクション (TRUE))	UOW が、同期点との関係を宣言しているが、未確定待機をサポートできない RMI を使用するために発生した UOW 強制の総数です。
-Indoubt action forced by others (- その他によって強制された未確定アクション)	UOW が、未確定待機をサポートする機能を無効にする、この表で既に言及している機能以外のリカバリー可能機能 (端末 RDO など) を使用したために発生した UOW 強制の総数です。
Total number of indoubt action mismatches (未確定アクションのミスマッチの合計時間)	定義、オプション、またはオペレーター・オーバーライド (この表の説明を参照) のいずれかによって、未確定アクション属性を使用して解決するよう強制され、参加システムまたは RMI との未確定アクション属性のミスマッチを検出した UOW の総数です。例えば、分散 UOW の参加システムは、作業を解決しますが (フォワード)、他のシステムは作業をバックアウトします。 この反対も同様です。

共用一時記憶域キュー・サーバーの統計

共用一時記憶域キュー・サーバーの統計は、プール AXMPGANY および AXMPGLOW の AXM ページ・プール管理ルーチンによって提供されます。

共用 TS キュー・サーバー: カップリング・ファシリティー統計

キューが 32K バイト以下の場合、データはキュー・インデックスに含まれます。その他の場合、データは分離リストとして保管されます。

リセット特性: これらの統計は、CICS ではなく、別個のサーバー・アドレス・スペースによって生成されます。 リセットの後に、これらのフィールドは CICS ではなくサーバーによってリセットされます。 一般的には、高位水準点および低位水準点 (最大、最小および最高、最低) が現行値にリセットされると、数はゼロにリセットされます。

統計の詳細は、DFHXQS1D データ域に記述されます。 各ファイルの意味は、以下のとおりです。

表 *139.* 共用 *TS* キュー・サーバー*:* カップリング・ファシリティー統計

統計名	フィールド	説明
Structure (構造)	S1PREF	構造名の最初の部分
Structure (構造)	S1POOL	構造名のプール名の部分
Structure (構造)	S1CNPREF	接続名の接頭部

表 139. 共用 TS キュー・サーバー: カップリング・ファシリティー統計 (続き)

統計名	フィールド	説明
Structure (構造)	S1CNSYSN	CVTSNAME からの独自の MVS システム名
Structure: Size (構造: サイズ)	S1SIZE	リスト構造の現在の割り振りサイズ。
Structure: Elem size (構造: エレメント・サイズ)	S1ELEMLN	構造に対して使用されるフルワードのデータ・エレメント・サイズ。
Structure: Max size (構造: 最大サイズ)	S1SIZEMX	この構造を変更することができる最大サイズ。
Lists: Total (リスト: 合計)	S1HDRS	リスト・ヘッダーの最大数。
Lists: Control (リスト: 制御)	S1HDRSCT	制御リストで使用されるヘッダー
Lists: Data (リスト: データ)	S1HDRSQD	キュー・データに対して使用可能なヘッダー
Lists: In use (リスト: 使用中)	S1USEDCT	使用されているリストのエントリーの数
Lists: Max used (リスト: 最大使用)	S1USEDHI	使用されているリストのエントリーの最大数
Entries: In Use (エントリー: 使用中)	S1ENTRCT	現在使用中のエントリーの数。
Entries: Max Used (エントリー: 最大使用)	S1ENTRHI	使用中の最大数 (最終リセット以降)。
Entries: Min Free (エントリー: 最小フリー)	S1ENTRLO	フリー・エントリーの最小数 (最終リセット以降)。
Entries: Total (エントリー: 合計)	S1ENTRMX	現在割り振られている構造の合計データ入力 (接続時に取得され、ALTER で更新されていることもあります)。
Entries (エントリー)	S1FREECT	フリー・リストのエントリーの数
Entries (エントリー)	S1ENTRRT	エレメント率に対するエントリーの入力サイズ
Entries (エントリー)	S1FREEHI	フリー・リストのエントリーの最大数
Elements: In use (エレメント: 使用中)	S1ELEMCT	現在使用中のエレメントの数。
Elements: Max used (エレメント: 最大使用)	S1ELEMHI	使用中の最大数 (最終リセット以降)。
Elements: Min free (エレメント: 最小フリー)	S1ELEMLO	現在フリーなエレメントの数 (合計数から使用中のエレメントを減算)。
Elements: Total (エレメント: 合計)	S1ELEMMX	現在割り振られている構造の合計データ・エレメント (接続時に取得され、ALTER で更新されていることもあります)。
Elements (エレメント)	S1ELEMPW	構造に対して使用される 2 の累乗のデータ・エレメント・サイズ。
Elements (エレメント)	S1ELEMPE	エントリーごとのエレメントの最大数 (32K の場合)
Elements (エレメント)	S1ELEMRT	エレメント率に対するエントリーのエレメント・サイズ
Queues: Current (キュー: 現在)	S1INDXCT	現在存在するキューの数。
Queues: Highest (キュー: 最大)	S1INDXHI	キューの最大数 (最終リセット以降常時)。
Index access counts: Wrt adjs (インデックス・アクセス回数: 付属への書き込み)	S1WRACT	インデックスの更新付加属性領域のみへの書き込み回数 (この領域には、小さなキューに対する読み取りカーソルおよび最近の使用データを含むキューの状況が含まれています)。

表 *139.* 共用 *TS* キュー・サーバー*:* カップリング・ファシリティー統計 *(*続き*)*

統計名	フィールド	説明
Index access counts: Inquires (インデックス・アクセス回数: 問い合わせ)	S1INQCT	キュー索引入力に関する問い合わせ
Index access counts: Reads (インデックス・アクセス回数: 読み取り)	S1RDQCT	キュー索引入力の読み取り
Index access counts: Writes (インデックス・アクセス回数: 書き込み)	S1WRQCT	キュー索引入力の書き込み。
Index access counts: Deletes (インデックス・アクセス回数: 削除)	S1DLQCT	キュー索引入力の削除。
index access counts: Rereads (インデックス・アクセス回数: 再読み取り)	S1RRQCT	データがデフォルトのデータ転送サイズよりも大きかったために繰り返す必要があった索引データ読み取りの数。
Data access counts: Creates (データ・アクセス回数: 作成)	S1CRLCT	分離データ・リストが作成された回数。
Data access counts: Writes (データ・アクセス回数: 書き込み)	S1WRLCT	リスト・データに対するキュー書き込み (新規または更新) の数。
Data access counts: Reads (データ・アクセス回数: 読み取り)	S1RDLCT	リスト・データの読み取り数。
Data access counts: Deletes (データ・アクセス回数: 削除)	S1DLLCT	リストを削除します (全体の削除ごとに 1)。
Data access counts: Rereads (データ・アクセス回数: 再読み取り)	S1RRLCT	データがデフォルトのデータ転送サイズよりも大きかったために繰り返す必要があったリスト・データ読み取りの数。
Data access counts: Rewrites (データ・アクセス回数: 再書き込み)	S1RWLCT	リスト・エントリーの再書き込み。
Data access counts: (データ・アクセス回数:)	S1INLCT	リスト・エントリーに関する問い合わせ
Response counts: Asynch (応答回数: 非同期)	S1ASYCT	非同期要求の数。
Response counts: Unavail (応答回数: 使用不可)	S1RSP9CT	再ビルド中など、一時的に使用不可な構造。
Response counts: Normal (応答回数: 通常)	S1RSP1CT	通常応答の数。
Response counts: Timeout (応答回数: タイムアウト)	S1RSP2CT	CF によりタイムアウトになり、再始動する必要がある要求。
Response counts: Not fnd (応答回数: 無検出)	S1RSP3CT	指定されたエントリー (キューまたは項目) が見つかりませんでした。
Response counts: Vers chk (応答回数: バージョン・チェック)	S1RSP4CT	更新されたエントリーのバージョン・チェックが失敗しました。別のタスクがこのエントリーを最初に更新したことを示しています。
Response counts: List chk (応答回数: リスト・チェック)	S1RSP5CT	リスト権限の比較が失敗しました。通常は、大きなキューが削除されたことを示しています。

表 *139.* 共用 *TS* キュー・サーバー*:* カップリング・ファシリティー統計 (続き)

統計名	フィールド	説明
Response counts: List full (応答回数: リスト・フル)	S1RSP6CT	最大リスト・キーに達しました。リストに応じて、到達した最大キュー・サイズまたは最大キューが示されます。
Response counts: Str full (応答回数: 構造フル)	S1RSP7CT	リスト構造はスペース不足です。
Response counts: I/O err (応答回数: I/O エラー)	S1RSP8CT	既に参照されているコード以外の IXLLIST 戻りコードが発生しました。

共用 TS キュー・サーバー: バッファー・プール統計

以下の統計は、キュー索引バッファー・プールに関する統計です。キュー索引バッファー・プールは、合計キュー・サイズが 32K バイト以下の場合に、キュー索引エントリーと関連データの読み取りおよび書き込みを行うときに使用します。

最近アクセスされたキュー索引エントリーを含むバッファーは、最低使用頻度チェーンに追加されます。つまり、同じキューに対する別の要求が直後に到着した場合は、バッファー内のコピーがおそらく既に訂正されているだろうという前提事項に基づいて、処理を最適化することができます。他のすべてのバッファーが使用中の場合は、新規バッファーに対する要求によって、最低使用頻度バッファーの内容が廃棄され、ストレージがフリー・バッファーとして再使用されます。キュー・サーバーでは一部の AXM 管理関数 (KEEP や PURGE など) が使用されないため、これらのカウンターはゼロになります。以下のフィールドには、バッファー・プールの現在の状態が記述されています。

リセット特性**:** これらの統計は、CICS ではなく、別個のサーバー・アドレス・スペースによって生成されます。 リセットの後に、これらのフィールドは CICS ではなくサーバーによってリセットされます。 一般的には、高位水準点および低位水準点 (最大、最小および最高、最低) が現行値にリセットされると、数はゼロにリセットされます。

統計の詳細は、DFHXQS2D データ域に記述されます。各ファイルの意味は、以下のとおりです。

表 *140.* 共用 *TS* キュー・サーバー*:* バッファー・プール統計

統計名	フィールド	説明
Buffers: Total (バッファー: 合計)	S2BFQTY	プール内のバッファー数。
Buffers: Max used (バッファー: 最大使用)	S2BFENTH	これまでに使用された最大数 (リセットによる影響を受けません)。
Buffers: Active (バッファー: アクティブ)	S2BFACTS	現在使用中のバッファー。
Buffers: On LRU (バッファー: LRU)	S2BFLRUS	再使用を許可する LRU チェーンの有効な内容を持つバッファー。
Buffers: Empty (バッファー: 空)	S2BFEMPS	以前使用され、現在は空のバッファー。
Requests: Gets (要求: 取得)	S2BFGETS	バッファーを取得する要求。
Requests: Puts (要求: 書き込み)	S2BFPUTS	有効な内容を持つバッファーを書き戻します。

表 140. 共用 TS キュー・サーバー: バッファー・プール統計 (続き)

統計名	フィールド	説明
Requests: Keep (要求: 保持)	S2BFKEPS	保持 (内容を変更したバッファーを書き戻します)。
Requests: Free (要求: フリー)	S2BFFRES	空のバッファーを書き戻す要求。
Requests: Purges (要求: パージ)	S2BFPURS	以前に有効なバッファーの内容を廃棄する要求。
Results (Get): Got hit (結果 (取得): ヒットしました)	S2BFHITS	有効なバッファーを見つけたバッファー要求。
Results (Get): Got free (結果 (取得): フリーになりました)	S2BFGFRS	フリー・バッファーを使用したバッファー要求。
Results (Get): Got new (結果 (取得): 新規になりました)	S2BFGNWS	以前には使用されていなかったバッファーを取得したバッファー要求。
Results (Get): Got LRU (結果 (取得): LRU になりました)	S2BFGLRS	一番古い有効なバッファーを廃棄し、再使用したバッファー要求。
Results (Get): No buf (結果 (取得): バッファーがありません)	S2BFGNBS	バッファーを戻さなかったバッファー要求。
Error: Not freed (エラー: フリーではありません)	S2BFFNOS	所有していないバッファーのリリースを試行する要求 (この要求は、エラー・リカバリー時に発生します)。
Error: No purge (エラー: パージしていません)	S2BFPNFS	パージ要求は、一致するバッファーを検出しませんでした。
Error: Not owned (エラー: 所有されていません)	S2BFPNOS	別のタスクが所有するバッファーがヒットしたパージ要求。
Wait: Pool lock (待機: プール・ロック)	S2BFPWTS	バッファー・プール・ロックでの待機。
Wait: Buf lock (待機: バッファー・ロック)	S2BFLWTS	バッファー・ロックでの GET 待機。

共用 TS キュー・サーバー: ストレージ・ファシリティー統計

以下の統計は、最新の統計以降に作成された名前付きストレージ・ページ・プールに関する統計です。

AXMPGANY および AXMPGLOW プールのストレージは、4K 境界の複数の 4K ページに割り振られます。 LIFO スタック・ストレージのセグメントに対して最も頻繁に使用されます。 ストレージは、最初にビットマップを使用してプールから割り振られます。 より高速な割り振りの場合、通常、フリー域はプールに戻されませんが、フリー域のサイズ (1 から 32 ページ) に応じてフリー・チェーンのベクトルに追加されます。 ストレージが獲得されると、プール・ビットマップに移動する前にこのベクトルがチェックされます。 適切なサイズのフリー域がない場合やプールに十分なストレージが残っていない場合は、最小の端から始まり、十分な大きさの領域が作成されるまで、ベクトルのフリー域がプールに戻されます。このアクションは、圧縮の試行として統計に現れます。 この時点で要求を満たすストレージがない場合、要求は失敗します。

以下の統計は、最新の統計 (ある場合) 以降に作成された名前付きストレージ・ページ・プールに関する統計です。 各ストレージ統計は、K バイトおよび合計サイズの割合として示されます。

リセット特性**:** これらの統計は、CICS ではなく、別個のサーバー・アドレス・スペースによって生成されます。 リセットの後に、これらのフィールドは CICS ではなくサーバーによってリセットされます。 一般的には、高位水準点および低位水準点 (最大、最小および最高、最低) が現行値にリセットされると、数はゼロにリセットされます。

統計の詳細は、DFHXQS3D データ域に記述されます。

表 *141.* 一時記憶域データ共用: 使用量の統計： **LOC=ANY** ストレージ・プール統計

統計名	フィールド	説明
Name	S3ANYNAM	ストレージ・プール AXMPGANY の名前。
Size (サイズ)	S3ANYSIZ	ストレージ・プールの合計サイズ。
Address (アドレス)	S3ANYPTR	ストレージ・プール域のアドレス。
Total pages (合計ページ数)	S3ANYMX	ストレージ・プール内の合計ページ数。
In Use (使用中)	S3ANYUS	現在使用中のページの数。
Free (フリー)	S3ANYFR	プール内で現在フリーのページの数。
Min Free (最小フリー)	S3ANYLO	フリーであったページの最小数 (リセット以降)。
Gets (取得数)	S3ANYRQG	ストレージ GET 要求の数。
Frees (フリー数)	S3ANYRQF	プール内のストレージをリリースする要求の数。
Fails (失敗)	S3ANYRQS	ストレージ要求が、要求された量のストレージを再試行しても取得することができなかった回数。
Retries (再試行数)	S3ANYRQC	ストレージ要求が、最初は失敗して、隣接する小さなフリー域をマージして大きな領域を形成した後に再試行された回数。

LOC=BELOW ストレージ・プール統計

統計名	フィールド	説明
Name	S3LOWNAM	ストレージ・プール AXMPGLOW の名前。
Size (サイズ)	S3LOWSIZ	ストレージ・プールの合計サイズ。
Address (アドレス)	S3LOWPTR	ストレージ・プール域のアドレス。
Total pages (合計ページ数)	S3LOWMX	ストレージ・プール内の合計ページ数。
In Use (使用中)	S3LOWUS	ストレージ・プール内で使用されているページの数。
Free (フリー)	S3LOWFR	プール内で現在フリーのページの数。
Min Free (最小フリー)	S3LOWLO	フリーであったページの最小数。
Gets (取得数)	S3LOWRQG	プール内のストレージを取得する要求の数。
Frees (フリー数)	S3LOWRQF	プール内のストレージをリリースする要求の数。
Fails (失敗)	S3LOWRQS	ストレージ要求が、要求された量のストレージを再試行しても取得することができなかった回数。
Retries (再試行数)	S3LOWRQC	ストレージ要求が、最初は失敗して、隣接する小さなフリー域をマージして大きな領域を形成した後に再試行された回数。

統計ドメイン統計

SMF データ・セットへの統計の記録では、CPU 集中アクティビティーになる可能性があります。 アクティビティー量は、リソースの使用範囲よりも、定義されるリソース数によって左右されます。 冗長リソースや割り当てすぎリソースを取り除いて、CICS 定義を保守するのは、このためでもあります。

統計ドメイン: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STATS システム・コマンドを使用して、統計ドメインの統計を取得できます。これらの統計は DFHSTGDS DSECT によってマップされます。

表 *142.* 統計ドメイン: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Interval Collections so far (これまでの間隔収集の数)	STGNC	CICS の実行中、または 1 日の終わりから次の 1 日の終わりまでに行われた間隔収集の数です。 リセット特性: このフィールドは、1 日の終わり収集ごとにゼロにリセットされます。
Number of SMF writes (SMF 書き込み数)	STGSMFW	最後のリセット時刻以後の SMF 書き込みの数です。 この数値には、すべてのタイプの統計収集で書き込まれたレコードが含まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of SMF writes suppressed (抑制された SMF 書き込み数)	STGSMFS	グローバル・ユーザー出口 (XSTOUT) によって抑制された統計レコードの SMF 書き込みの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of SMF errors (SMF エラー数)	STGSMFE	SMF へのレコードの書き込み要求からの正常でない応答の数です。 このカウントは、SMF が非アクティブであるなど、何らかの理由で SMF 書き込みが失敗した場合に増分します。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of INT statistics records (INT 統計レコード数)	STGINTR	間隔 (INT) 統計レコードの SMF 書き込みの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of EOD statistics records (EOD 統計レコード数)	STGEODR	1 日の終わり (EOD) 統計レコードの SMF 書き込みの数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 142. 統計ドメイン: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of USS statistics records (USS 統計レコード数)	STGUSSR	非送信請求 (USS) 統計レコードの SMF 書き込みの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of REQ statistics records (REQ 統計レコード数)	STGREQR	要求 (REQ) 統計レコードの SMF 書き込みの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of RRT statistics records (RRT 統計レコード数)	STGRRTR	要求リセット (RRT) 統計レコードの SMF 書き込みの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Statistics CICS Start Date and Time (統計 CICS 開始日時)	STGCSTRT	CICS 統計ドメインが初期化された日時です。 DFHSTUP レポートでは、日時は mm/dd/yyyy および hh:mm:ss; と表されますが、DSECT フィールドには、この日時は保管クロック (STCK) 値として含まれます。 リセット特性: リセットなし
Statistics Last Reset Date and Time (統計ラスト・リセット日時)	STGLRT	統計ドメインが最後にリセットされた日時です。 DFHSTUP レポートでは、日時は mm/dd/yyyy および hh:mm:ss; と表されますが、DSECT フィールドには、この日時は保管クロック (STCK) 値として含まれます。 リセット特性: 現行にリセット
Statistics Interval (統計間隔)	STGINTVL	現在の統計記録間隔です。これは、SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは **EXEC CICS SET STATISTICS INTERVAL (4 バイトのパック 10 進データ域)** コマンドを使用して動的に変更された STATINT 値です。 リセット特性: リセットなし
Statistics End-of-Day Time (統計終了時刻)	STGEODT	現在の統計終了時刻です。 これは、SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは **EXEC CICS SET STATISTICS ENDOFDAY (4 バイトのパック 10 進データ域)** コマンドを使用して動的に変更された STATEOD 値です。 リセット特性: リセットなし

表 *142.* 統計ドメイン*:* グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Statistics Recording (統計記録)	STGSTRCD	間隔統計記録の現在の設定です。 これは、SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは **EXEC CICS SET STATISTICS RECORDING(cvda)** コマンドを使用して動的に変更された STATRCD 設定です。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	STGLDW	1 つの間隔中に SMF に書き込まれるデータの長さ (バイト単位) です。 この数値には、非送信請求、要求、および間隔/1 日の終わり収集の 1 つの間隔中に書き込まれるデータの長さが含まれます。 リセット特性: ゼロにリセット **注:** このフィールドには、SMF ヘッダーを除外した統計レコードの累積の長さが含まれます。

間隔、1 日の終わり、および要求統計には、すべて同じ項目が含まれます。

統計ドメイン: 要約グローバル統計

統計ドメインの要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 *143.* 統計ドメイン*:* 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Total number of Interval Collections (インターバル収集の合計数)	CICS 全体の実行中に行われた間隔収集の合計数です。
Total number of SMF writes (SMF 書き込みの合計数)	CICS 全体の実行中の SMF 書き込みの合計数です。この数値には、非送信請求、要求、および間隔/1 日の終わり収集の 1 つの間隔中に書き込まれるレコードが含まれます。
Total number of SMF writes suppressed (抑制された SMF 書き込みの合計数)	グローバル・ユーザー出口ルーチン (XSTOUT) によって抑制された統計レコードの SMF 書き込みの合計数です。
Total number of SMF errors (SMF エラーの合計数)	SMF へのレコードの書き込み要求からの正常でない応答の合計数です。
Total number of INT statistics records (INT 統計レコードの合計数)	間隔 (INT) 統計レコードの SMF 書き込みの合計数です。
Total number of EOD statistics records (EOD 統計レコードの合計数)	1 日の終わり (EOD) 統計レコードの SMF 書き込みの合計数です。
Total number of USS statistics records (USS 統計レコードの合計数)	非送信請求 (USS) 統計レコードの SMF 書き込みの合計数です。

表 *143.* 統計ドメイン: 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Total number of REQ statistics records (REQ 統計レコードの合計数)	要求 (REQ) 統計レコードの SMF 書き込みの合計数です。
Total number of RRT statistics records (RRT 統計レコードの合計数)	要求リセット (RRT) 統計レコードの SMF 書き込みの合計数です。
Statistics Interval (統計間隔)	SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは動的に変更された最新の統計記録間隔 (STATINT) 値です。
Statistics End-of-Day Time (統計終了時刻)	SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは動的に変更された最新の統計終了時刻 (STATEOD) 値です。
Statistics Recording (統計記録)	SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは動的に変更された間隔統計記録 (STATRCD) の最新の設定です。

ストレージ・マネージャー統計

これらの統計は、ストレージ管理のあらゆる性質を補助するために作成されます。

「ページ・プール」という用語と「DSA (動的ストレージ域)」という用語は置き換えることができないことに注意してください。

ストレージ・マネージャー統計の解釈

「Times went short on storage (ストレージ不足になった回数)」、「Times request suspended (要求が中断された回数)」および「Times cushion released (クッションが解放された回数)」の各統計を使用すると、十分なストレージがあるかどうかを評価できます。

フリー・ストレージが減少してストレージ不足状態に向かうと、動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) は、使用されていないプログラムを徐々に解放します。 しかし、それでもストレージが不足する状態は発生する可能性があり、その状態は「ストレージ不足になった回数 (Times went short on storage)」統計で報告されます。この値がゼロより大きい場合は、動的ストレージ域のサイズを増やすことを検討してください。 あるいは、最大タスク (最大タスク仕様 (MXT) の設定) 制限およびトランザクション・クラス (MAXACTIVE) 制限を使用して、システムの仮想記憶を制約することを検討してください。

ストレージ・マネージャー要求の「要求が中断された回数 (Times request suspended)」および「クッションが解放された回数 (Times cushion released) は、ストレージに負担がかかっている状態が発生しているが、その一部はストレージ不足の状態になっていない場合があることを示します。例えば、GETMAIN 要求によって、ストレージ・クッションが解放される場合があります。 ただ、ローダーが一部のプログラムを圧縮してクッション・ストレージを確保し、ストレージ不足の状態を回避する場合があります。

注**:** タスク・サブプール統計の「Current elem stg (現行エレメント・ストレージ)」統計は、使用されたバイト数を示し、一方、「Current page stg (現行ページ・ストレージ)」統計はこれらのバイトの 1 つ以上を含んでいるページ数を示します。

ストレージ・マネージャー**:** ドメイン・サブプールの統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STORAGE コマンドを使用して、ドメイン・サブプールの統計を取得できます。これらの統計は DFHSMDDS DSECT によってマップされます。

表 *144.* ストレージ・マネージャー*:* ドメイン・サブプールの統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Subpool Name (サブプール名)	SMDSPN	ドメイン・サブプールの 8 文字の固有名。 ドメイン・サブプール・フィールドの値については、CICS サブプールで説明しています。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMDETYPE	アセンブラー DSECT フィールド名は、サブプール内のすべてのエレメントが固定長か可変長かを指示します。 • X'01' 固定 • X'02' 可変 サブプール・エレメントについて詳しくは、CICS サブプールを参照してください。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMDFLEN	各サブプール・エレメントの長さです (固定長のサブプールにのみ適用される)。 サブプール・エレメントについて詳しくは、CICS サブプールを参照してください。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMDELCHN	アセンブラー DSECT フィールド名は X'01' または X'02' の値を持ち、ストレージ・マネージャーがサブプールの各エレメントのアドレスおよび長さについて、エレメント・チェーンを保守するかどうかを指示します。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMDBNDRY	各エレメントを位置合わせする境界。 8 から 4096 バイトの範囲内で 2 の累乗です。 このフィールドは 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージには適用されません。 リセット特性: リセットなし

表 144. ストレージ・マネージャー: ドメイン・サブプールの統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMDLOCN	このドメイン・サブプールの保管場所です。 アセンブラー DSECT フィールド名には以下の値が入ります。 • SMDBELOW (X'01') 16 MB 境界より下。 • SMDABOVE (X'02') 16 MB 境界より上で、2 GB 境界より下。 • SMDABOVEBAR (X'03') 2 GB 境界より上。 リセット特性: リセットなし
場所	SMDDSANAME	ドメイン・サブプールの割り振り元の DSA の名前。値は、CDSA、 SDSA、RDSA、ECDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、または GSDSA です。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMDDSAINDEX	このサブプールの割り振り元の動的ストレージ域の固有 ID。以下の値にすることができます。 • SMDCDSA (X'01') は CDSA から取得したサブプール・ストレージを示す。 • SMDSDSA (X'03') は UDSA から取得したサブプール・ストレージを示す。 • SMDRDSA (X'04') は RDSA から取得したサブプール・ストレージを示す。 • SMDECDSA (X'09') は ECDSA から取得したサブプール・ストレージを示す。 • SMDESDSA (X'0B') は ESDSA から取得したサブプール・ストレージを示す。 • SMDERDSA (X'0C') は ERDSA から取得したサブプール・ストレージを示す。 • SMDETDSA (X'0D') は ETDSA から取得したサブプール・ストレージを示す。 • SMDGCDSA (X'11') は GCDSA から取得したサブプール・ストレージを示す。 • SMDGSDSA (X'13') は GSDSA から取得したサブプール・ストレージを示す。 リセット特性: リセットなし

表 144. ストレージ・マネージャー: ドメイン・サブプールの統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Access (アクセス)	SMDACCESS	サブプールのアクセス・タイプ。値は CICS、USER、READONLY、または TRUSTED です。 ストレージ保護がアクティブでない場合は、ストレージ域 (RDSA および ERDSA 内にある CICS のアクセス・タイプを除く) が CICS のアクセス・タイプに復帰します。 • SMDCICS (X'01') アクセスは CICS キー。 • SMDUSER (X'02') アクセスは USER キー。 • SMDREADONLY (X'03') は読み取り専用保護。 • SMDTRUSTED (X'04') アクセスは CICS キー。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMDIFREE	サブプールの初期のフリー域のサイズ (ゼロの場合があります)。 初期のフリー域について詳しくは、常駐、非常駐、または一時としてのプログラムの定義を参照してください。 この値はバイトで表されます。 リセット特性: リセットなし
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	SMDGMREQ	サブプールに対する GETMAIN 要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	SMDFMREQ	サブプールに対する FREEMAIN 要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Current Elements (現行エレメント)	SMDCELEM	サブプール内のストレージ・エレメントの現在の数。 リセット特性: リセットなし
Current Elem Stg (現行エレメント・ストレージ)	SMDCES	サブプール内のすべてのエレメントの長さの合計をバイトで表します。 リセット特性: リセットなし
Current Page Stg (現在のページ・ストレージ)	SMDCPS	サブプールに割り振られたすべてのページに使用されるスペースをバイト (または 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージではメガバイト) で表します。 リセット特性: リセットなし

表 144. ストレージ・マネージャー: ドメイン・サブプールの統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Peak Page Stg (ピーク・ページ・ストレージ)	SMDHWMPS	このサブプールのストレージ要件をサポートするために割り振られるピーク・ページ・ストレージをバイト (または 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージではメガバイト) で表します。 リセット特性: 現行値にリセット

ストレージ・マネージャー: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STORAGE システム・コマンドを使用して、ストレージ・マネージャーのグローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHSMSDS DSECT によってマップされます。

これらの統計は、動的ストレージ域 (DSA) ごとに収集されます。 .

表 145. ストレージ・マネージャー: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
ストレージ保護	SMSSTGPROT	ストレージ保護がアクティブかどうか • X'01' アクティブ • X'00' 非アクティブ リセット特性: リセットなし
トランザクション分離	SMSTRANISO	トランザクション分離がアクティブかどうか • X'01' アクティブ • X'00' 非アクティブ リセット特性: リセットなし
Reentrant programs (再入可能プログラム)	SMSRENTPGM	再入可能プログラムの書き込み保護が有効かどうか • X'01' PROTECT - RDSA および ERDSA は、キー 0 ストレージから取得されます。 • X'00' NOPROTECT - RDSA および ERDSA は、キー 8 ストレージから取得されます。 リセット特性: リセットなし
Current DSA limit (現在の DSA 限界)	SMSDSALIMIT	**DSALIM** システム初期設定パラメーターによって定義された、CICS 動的ストレージ域の限界。 リセット特性: リセットなし
Current DSA total (現在の DSA 合計)	SMSDSATOTAL	16 MB 未満 (境界より下) の DSA に現在割り振られているストレージの合計量。 この値は、「現在の DSA 限界」よりも小さいか、または大きくなります。 リセット特性: リセットなし
Peak DSA total (ピーク DSA 合計)	SMSHWMDSATOTAL	16 MB 未満 (境界より下) の DSA に割り振られているストレージのピーク量。 この値は、「現在の DSA 限界」よりも小さいか、または大きくなります。 リセット特性: 現行値にリセット

表 145. ストレージ・マネージャー: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current EDSA limit (現在の EDSA 限界)	SMSEDSALIMIT	**EDSALIM** システム初期設定パラメーターによって定義された、CICS 拡張動的ストレージ域の限界。 リセット特性: リセットなし
Current EDSA total (現在の EDSA 合計)	SMSEDSATOTAL	16 MB より上、ただし 2 GB より下 (16 MB 境界より上) の DSA に現在割り振られているストレージの総量。この値は、「現在の EDSA 限界」よりも小さいか、または大きくなります。 リセット特性: リセットなし
Peak EDSA total (ピーク EDSA 合計)	SMSHWMESDATOTAL	16 MB より上、ただし 2 GB より下 (16 MB 境界より上) の DSA に割り振られているストレージのピーク量。この値は、「現在の EDSA 限界」よりも小さいか、または大きくなります。 リセット特性: 現行値にリセット
MEMLIMIT size (MEMLIMIT サイズ)	SMSMEMLIMIT	z/OS **MEMLIMIT** パラメーターの値。CICS 領域の 64 ビット・ストレージの量を制限します。この値は、サイズに応じてメガバイト、ギガバイト、テラバイト、ペタバイト、またはエクサバイトの単位で示されることがあります。NOLIMIT の値は、上限が課せられていないことを示します。 リセット特性: リセットなし
MEMLIMIT set by (MEMLIMIT の設定元)	SMSMEMLIMITSRC	**MEMLIMIT** 値のソース。 SMFPRM は、**MEMLIMIT** が SYS1.PARMLIB(SMFPRMxx) によって設定されることを示します。 JCL は、**MEMLIMIT** が JCL によって設定されることを示します。 REGION は、REGION=0M が JCL で指定されるために、**MEMLIMIT** が NOLIMIT に設定されることを示します。 IEFUSI は、**MEMLIMIT** が z/OS インストール出口 IEFUSI によって設定されることを示します。 リセット特性: リセットなし
GETSTOR request size (GETSTOR 要求サイズ)	SMSGETSTORSIZE	GETSTOR 要求サイズ。 リセット特性: リセットなし
Current Address Space active (アクティブな現行アドレス・スペース)	SMSASACTIVE	2 GB 境界より上で使用可能な現行アドレス・スペース。 リセット特性: リセットなし
Peak Address Space active (アクティブなピーク・アドレス・スペース)	SMSHWMASACTIVE	2 GB 境界より上で使用可能なアドレス・スペースのピーク量。 リセット特性: 現行値にリセット

表 145. ストレージ・マネージャー: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current GDSA active (アクティブな現行の GDSA)	SMSGDSAACTIVE	2 GB 境界より上で使用中の現行ストレージ。 リセット特性: リセットなし
Peak GDSA active (アクティブなピーク GDSA)	SMSHWMGDSAACTIVE	2 GB 境界より上で使用中のストレージのピーク量。 リセット特性: 現行値にリセット
MVS storage request waits (MVS ストレージ要求待ち)	SMSMVSSTGREQWAITS	16 MB より大きな MVS ストレージを待機した MVS ストレージ要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total time waiting for MVS storage (MVS ストレージ待ちの合計時間)	SMSTIMEWAITMVS	MVS ストレージ要求が 16 MB を超える MVS ストレージを待機する合計時間。 リセット特性: ゼロにリセット
Bytes Allocated to Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトに割り振られたバイト数)	SMSLVABYTES	専用メモリー・オブジェクト内の大容量の仮想記憶から割り振られたバイト数。 [1] リセット特性: リセットなし
Bytes Hidden within Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクト内の隠されているバイト数)	SMSLVHBYTES	大容量の仮想記憶専用メモリー・オブジェクト内の隠されているバイト数。 [1] リセット特性: リセットなし
Peak Bytes Usable within Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクト内の使用可能なピーク・バイト数)	SMSLVGBYTES	大容量の仮想記憶専用メモリー・オブジェクト内の使用可能バイトの最高水準点。 [1] リセット特性: リセットなし
Number of Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトの数)	SMSLVNMEMOBJ	割り振られた専用メモリー・オブジェクトの数。 [1] リセット特性: リセットなし
Auxiliary Slots backing Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトをバッキングする補助スロット数)	SMSHVAUXSLOTS	64 ビット専用メモリー・オブジェクトのバッキングに使用される補助記憶域スロットの数。 [1] リセット特性: リセットなし

表 145. ストレージ・マネージャー: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
HWM Auxiliary Slots backing Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトをバッキングする HWM 補助スロット数)	SMSHVGAUXSLOTS	64 ビット専用メモリー・オブジェクトのバッキングに使用される補助記憶域スロットの最高水準点。 [1] リセット特性: リセットなし
Real Frames backing Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトをバッキングする実フレーム数)	SMSHVPAGESINREAL	64 ビット専用メモリー・オブジェクトのバッキングに使用される実記憶フレームの数。 [1] リセット特性: リセットなし
HWM Real Frames backing Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトをバッキングする HWM 実フレーム数)	SMSHVGPAGESINREAL	64 ビット専用メモリー・オブジェクトのバッキングに使用される実記憶フレーム数の最高水準点。 [1] リセット特性: リセットなし
Number of Large Memory Objects Allocated (割り振られた大容量メモリー・オブジェクトの数)	SMSLARGEMEMOBJ	このアドレス・スペースによって割り振られた大容量メモリー・オブジェクトの数。 [1] リセット特性: リセットなし
Number of Large Pages backed in Real Storage (実記憶にバッキングされたラージ・ページの数)	SMSLARGEPAGESINREAL	このアドレス・スペースが所有する実記憶にバッキングされたラージ・ページ (1 MB ページ) の数。 [1] リセット特性: リセットなし
Shared Bytes from Large Memory Objects (大容量メモリー・オブジェクトからの共用バイト数)	SMSLVSHRBYTES	高仮想記憶から割り振られた共用バイト数。 [1] リセット特性: リセットなし
Peak Shared Bytes within Large Memory Objects (大容量メモリー・オブジェクト内のピーク共用バイト数)	SMSLVSHRGBYTES	大容量の仮想記憶オブジェクト内の共用バイト数の最高水準点。 [1] リセット特性: リセットなし

表 145. ストレージ・マネージャー: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of Shared Memory Objects (共用メモリー・オブジェクトの数)	SMSLVSHRNMEMOBJ	割り振られた共用メモリー・オブジェクトの数。[1] リセット特性: リセットなし
Number of FROMGUARD Failures (FROMGUARD 失敗の数)	SMSFROMGUARDFAIL	64 ビット・ストレージに対する要求が失敗した回数。この場合、要求は REQUEST=CHANGEGUARD、CONVERT=FROMGUARD パラメーターを指定した z/OS IARV64 マクロを使用します。 [1] リセット特性: ゼロにリセット
FROMGUARD Failure size (FROMGUARD 失敗サイズ)	SMSFROMGUARDFAILSIZE	失敗した 64 ビット・ストレージに対する最大要求のサイズ (バイト)。この場合、要求は REQUEST=CHANGEGUARD、CONVERT=FROMGUARD パラメーターを指定した z/OS IARV64 マクロを使用します。 [1] リセット特性: ゼロにリセット
Current GDSA allocated (割り振られている現在の GDSA)	SMSGDSAALLOC	境界より上の DSA に現在割り振られているストレージの総量。 リセット特性: リセットなし
Peak GDSA allocated (割り振られたピーク GDSA)	SMSHWMGDSAALLOC	境界より上の DSA に割り振られたストレージのピーク量。 リセット特性: 現行値にリセット

注:

1. この統計で参照される記憶域について詳しくは、『z/OS MVS Programming: Extended Addressability Guide』の『64 ビット・アドレス・スペースの使用』を参照してください。

ストレージ・マネージャー: サブスペース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STORAGE システム・コマンドを使用して、ストレージ・マネージャーのサブスペース統計を取得できます。これらの統計は DFHSMSDS DSECT によってマップされます。

これらの統計は、それぞれの DSA ごとに収集されます。

表 146. ストレージ・マネージャー: サブスペース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current unique subspace users (現在の固有のサブスペース・ユーザー)	SMSUSSCUR	固有のサブスペース・ユーザーの現在の数。 固有のサブスペースが現在割り振られているタスクの数。 リセット特性: リセットなし。
Total unique subspace users (固有のサブスペース・ユーザーの合計)	SMSUSSCUM	固有のサブスペースが割り振られたタスクの合計数。 リセット特性: ゼロにリセット。

表 146. ストレージ・マネージャー: サブスペース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Peak unique subspace users (固有のサブスペース・ユーザーのピーク)	SMSUSSHWM	固有のサブスペースが並行して割り振られているタスクのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット。
Current common subspace users (現在の共通のサブスペース・ユーザー)	SMSCSSCUR	共通のサブスペースに現在割り振られているタスクの数。 リセット特性: リセットなし。
Total common subspace users (共通のサブスペース・ユーザーの合計)	SMSCSSCUM	共通のサブスペースに割り振られているタスクの総数。 リセット特性: ゼロにリセット。
Peak common subspace users (共通のサブスペース・ユーザーのピーク)	SMSCSSHWM	共通のサブスペースに並行して割り振られているタスクのピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット。

ストレージ・マネージャー: 動的ストレージ域統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STORAGE システム・コマンドを使用して、ストレージ・マネージャーの動的ストレージ域統計を取得できます。これらの統計は DFHSMSDS DSECT によってマップされます。

動的ストレージ域統計は、DSA ごとに収集されます。

注: NOT IN THE DFHSETUP REPORT 以外のすべてのフィールドは、DFHSMSDS DSECT 内の SMSBODY DSECT によってマップされます。SMSBODY DSECT は、CICS 領域内の各 DSA ごとに繰り返されます (SMSNPAGP)。

表 147. ストレージ・マネージャー: 動的ストレージ域統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMSNPAGP	CICS 領域内の DSA の数。 DSA には以下の 12 種類があります。 • CDSA、UDSA、SDSA、RDSA • ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA • GCDSA、GUDSA、GSDSA リセット特性: リセットなし
Header in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートのヘッダー)	SMSDSANAME	このレコードが表す DSA の名前。 値は、CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、GUDSA、または GSDSA です。 リセット特性: リセットなし

表 147. ストレージ・マネージャー: 動的ストレージ域統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMSDSAINDEX	このサブプールの割り振り元の動的ストレージ域の固有 ID。以下の値が入ります。 • SMSCDSA (X'01')。 ページ・プールは CDSA。 • SMSUDSA (X'02')。 ページ・プールは UDSA。 • SMSSDSA (X'03')。 ページ・プールは SDSA。 • SMSRDSA (X'04')。 ページ・プールは RDSA。 • SMSECDSA (X'09')。 ページ・プールは ECDSA。 • SMSEUDSA (X'0A')。 ページ・プールは EUDSA。 • SMSESDSA (X'0B')。 ページ・プールは ESDSA。 • SMSERDSA (X'0C')。 ページ・プールは ERDSA。 • SMSETDSA (X'0D')。 ページ・プールは ETDSA。 • SMSGCDSA (X'11')。 ページ・プールは GCDSA。 • SMSGUDSA (X'12')。ページ・プールは GUDSA。 • SMSGSDSA (X'13')。ページ・プールは GSDSA。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMSLOCN	この DSA の場所。 アセンブラー DSECT フィールド名には以下の値が入ります。 • SMSBELOW (X'01') : 16 MB 境界より下。 • SMSABOVE (X'02') 16 MB より上、ただし 2 GB より下。 • SMSABOVEBAR (X'03') 2 GB 境界より上。 リセット特性: リセットなし
Current DSA Size (現在の DSA サイズ)	SMSDSASZ	DSA の現在のサイズ。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA の場合、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、この値はメガバイトで表されます。 リセット特性: リセットなし
Peak DSA Size (ピーク DSA サイズ)	SMSHWMDSASZ	前回統計が記録された時点以降の DSA のピーク・サイズ。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA の場合、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、この値はメガバイトで表されます。 リセット特性: 現行値にリセット

表 *147.* ストレージ・マネージャー*:* 動的ストレージ域統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Cushion Size (クッション・サイズ)	SMSCSIZE	クッションのサイズ。 クッションは各 DSA の一部を形成し、この量を下回ると CICS はストレージ不足 (SOS) になります。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA の場合、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、この値はメガバイトで表されます。 リセット特性: リセットなし
Free storage (inc. cushion) (フリー・ストレージ (クッションを含む))	SMSFSTG	この DSA 内のフリー・ストレージの量、すなわちページ・サイズとフリー・ページ数を乗算したもの。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA の場合、ページ・サイズは 4 KB で、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、ページ・サイズは 1 MB で、この値はメガバイトで表されます。 リセット特性: リセットなし
Percentage free storage (フリー・ストレージのパーセンテージ)		フリーのストレージのパーセンテージ。 この値は、DFHSTUP によりオフラインで計算されます。そのため、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドからのアクセスはできません。 このフィールドは、GCDSA、GUDSA、および GSDSA には適用されません。 リセット特性: リセットなし
Peak free storage (ピーク・フリー・ストレージ)	SMSHWMFSTG	その統計が前回に記録された以降のこの DSA 内のフリー・ストレージのピーク量。フリー・ストレージは、フリー・ページの数にページ・サイズを乗算した値です。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA の場合、ページ・サイズは 4 KB で、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、ページ・サイズは 1 MB で、この値はメガバイトで表されます。 リセット特性: 現行値にリセット

表 147. ストレージ・マネージャー: 動的ストレージ域統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Lowest free storage (最低フリー・ストレージ)	SMSLWMFSTG	その統計が前回に記録された以降のこの DSA 内のフリー・ストレージの最小量。フリー・ストレージは、フリー・ページの数にページ・サイズを乗算した値です。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA の場合、ページ・サイズは 4 KB で、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、ページ・サイズは 1 MB で、この値はメガバイトで表されます。 リセット特性: 現行値にリセット
Largest free area (最大フリー域)	SMSLFA	この DSA 内の最大連続フリー域の長さ。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA の場合、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、この値はメガバイトで表されます。 この DSA 内のストレージのフラグメント化を調べるには、この値と DSA 内の「Free storage (フリー・ストレージ)」(SMSFSTG) を比較します。比率が大きい場合、この DSA はフラグメント化されています。 リセット特性: リセットなし
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	SMSGMREQ	CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、GUDSA、または GSDSA からの GETMAIN 要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	SMSFMREQ	CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、GUDSA、または GSDSA からの FREEMAIN 要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Add Subpool Requests (サブプールの追加要求数)	SMSASR	CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、GUDSA、または GSDSA からのサブプール (ドメインまたはタスク) を作成するための ADD_SUBPOOL 要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Delete Subpool Requests (サブプールの削除要求数)	SMSDSR	CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、GUDSA、または GSDSA からの DELETE_SUBPOOL 要求 (ドメインまたはタスク) の数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 147. ストレージ・マネージャー: 動的ストレージ域統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current no of Subpools (現在のサブプール数)	SMSCSUBP	CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、GUDSA、または GSDSA 内のサブプール (ドメインおよびタスク) の現在の数。 リセット特性: リセットなし
Times no storage returned (ストレージを戻していない回数)	SMSCRISS	SUSPEND(NO) が設定されている GETMAIN 要求が状態 INSUFFICIENT_STORAGE を戻す回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Times request suspended (要求が中断された回数)	SMSUCSS	その時点で要求を満たすための十分なストレージがないため、SUSPEND(YES) が設定されている GETMAIN 要求が中断される回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Current suspended (現在の中断状態)	SMSCSS	ストレージに対して現在中断されている GETMAIN 要求の数。 リセット特性: リセットなし
Peak requests suspended (要求が中断されたピーク)	SMSHWMSS	ストレージに対して中断された GETMAIN 要求のピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット
Purged while waiting (待機中にパージされた数)	SMSPWWS	ストレージに対して中断されている間にパージされた要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Times cushion released (クッションの解放回数)	SMSCREL	GETMAIN 要求によってストレージ・クッションがリリースされる回数。ストレージ・クッションは、フリー・ページの数がストレージ・クッションの中のページ数を下回ったときに解放され、この DSA のサイズを大きくするために使用できるフリー・エクステントはもうありません。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *147.* ストレージ・マネージャー*:* 動的ストレージ域統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Times went short on storage (ストレージ不足になった回数)	SMSSOS	この DSA 内の CICS が SOS になった回数。ここで、SOS は、クッションが現在使用中であるか、少なくとも 1 つのタスクがストレージ待ちで中断されているか、あるいはその両方を意味します。 このフィールドは、CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、GUDSA、および GSDSA に適用されます。 リセット特性: ゼロにリセット
Total time SOS (SOS の合計時間)	SMSTSOS	この DSA 内で CICS が SOS であった累積時間。 DFHSTUP レポートでは、この時間は日*:* 時間*:* 分*:* 秒*. 10* 進数 で表されます。DSECT フィールドには、保管クロック (STCK) の値としての時間が含まれています。 リセット特性: ゼロにリセット
記憶保護違反	SMSSV	DSA に記録された記憶保護違反の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Access (アクセス)	SMSACCESS	DSA のアクセス・タイプ。 値は CICS、USER、READONLY、または TRUSTED です。 ストレージ保護がアクティブでない場合は、ストレージ域 (RDSA または ERDSA 内にある CICS のアクセス・タイプを除く) が CICS のアクセス・タイプに復帰します。 • SMSCICS (X'01') アクセスは CICS キー。 • SMSUSER (X'02') アクセスは USER キー。 • SMSREADONLY (X'03') は読み取り専用保護。 • SMSTRUSTED (X'04') アクセスは CICS キー。 リセット特性: リセットなし
Current extents (現在のエクステント)	SMSEXTS	この DSA に現在割り振られているエクステントの数。 リセット特性: リセットなし
Extents added (追加されたエクステント)	SMSEXTSA	最後に統計が記録されてから DSA に追加されたエクステントの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 147. ストレージ・マネージャー: 動的ストレージ域統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Extents released (解放されたエクステント)	SMSEXTSR	前回に統計が記録された以降に DSA から解放されたエクステントの数。 リセット特性: ゼロにリセット

ストレージ・マネージャー: タスク・サブプールの統計

タスク・サブプールの統計は、動的ストレージ域 (DSA) ごとに収集されます。これらの統計は DFHSMTDS DSECT によってマップされます。

これらの統計は、オフライン処理のために生成されます (SMF に書き込まれます)。**EXTRACT STATISTICS** コマンドを使用してオンラインでアクセスすることはできません。

タスク・サブプールはシステム内のタスクごとに動的に作成および削除されますが、これらの統計は、タスクに関連する DSA (CDSA、UDSA、ECDSA、EUDSA、GCDSA、および GUDSA) について計算した、すべてのタスク・サブプールの合計です。タスク・ストレージの使用法をさらに細分化する必要がある場合は、CICS のモニター機能のパフォーマンス・クラス・データを使用します。

SMTNTASK フィールドを除いて、以下の表にあるフィールドは DFHSMTDS DSECT 内の SMTBODY DSECT によってマップされます。 SMTBODY DSECT は CICS 領域内の各タスク・サブプールごとに繰り返されます (SMTNTASK)。

表 148. ストレージ・マネージャー: タスク・サブプールの統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMTNTASK	CICS 領域内のタスク・サブプールの数。 リセット特性: リセットなし
DSA Name (DSA 名)	SMTDSANAME	このタスク・ストレージの割り振り元の動的ストレージ域の名前。値は、CDSA、UDSA、ECDSA、EUDSA、GCDSA、および GUDSA です。 リセット特性: リセットなし

表 *148.* ストレージ・マネージャー*:* タスク・サブプールの統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMTDSAINDEX	これらの統計が参照する動的ストレージ域の固有 ID です。 以下の値が入ります。 • SMTCDSA (X'01') は、タスク・ストレージが CDSA から取得されることを示します。 • SMTUDSA (X'02') は、タスク・ストレージが UDSA から取得されることを示します。 • SMTECDSA (X'09') は、タスク・ストレージが ECDSA から取得されることを示します。 • SMTEUDSA (X'0A') は、タスク・ストレージが EUDSA から取得されることを示します。 • SMTGCDSA (X'11') は、タスク・ストレージが GCDSA から取得されることを示します。 • SMTGUDSA (X'12') は、タスク・ストレージが GUDSA から取得されることを示します。 リセット特性: リセットなし
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	SMTLOCN	DSA の保管場所を示します。 • SMTBELOW (X'01') 16 MB 境界より下 • SMTABOVE (X'02') 16 MB より上で、2 GB より下 (16 MB 境界より上) • SMTABOVEBAR (X'03') 2 GB 境界より上。 リセット特性: リセットなし
Access (アクセス)	SMTACCESS	サブプールのアクセス・タイプ。 アクセス・タイプは、CICS (キー 8) または USER (キー 9) にできます。 • SMTCICS (X'01') アクセスは CICS キー。 • SMTUSER (X'02') アクセスは USER キー。 リセット特性: リセットなし
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	SMTGMREQ	この動的ストレージ域からのタスク・サブプール GETMAIN 要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	SMTFMREQ	この動的ストレージ域からのタスク・サブプール FREEMAIN 要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *148.* ストレージ・マネージャー*:* タスク・サブプールの統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current Elements (現行エレメント)	SMTCNE	この動的ストレージ域内のすべてのタスク・サブプール内のエレメントの数です。 リセット特性: リセットなし
Current Elem Stg (現行エレメント・ストレージ)	SMTCES	この動的ストレージ域内のタスク・サブプールのすべてのエレメントによって占有されるストレージの合計を、バイトで表したものです。 リセット特性: リセットなし
Current Page Stg (現在のページ・ストレージ)	SMTCPS	この動的ストレージ域内のタスク・サブプールに割り振られたすべてのページ内のストレージの合計。 この値はバイト単位、または 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージの場合はメガバイト単位で表されます。 リセット特性: リセットなし
Peak Page Stg (ピーク・ページ・ストレージ)	SMTHWMPS	この動的ストレージ域内のタスク・ストレージ・アクティビティーをサポートするために割り振られたピーク・ページ・ストレージ。 この値はバイト単位、または 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージの場合はメガバイト単位で表されます。 リセット特性: 現行値にリセット

ストレージ・マネージャー: 要約ドメイン・サブプールの統計

ドメイン・サブプールに関する情報および統計の要約を示します。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *149.* ストレージ・マネージャー*:* 要約ドメイン・サブプールの統計

DFHSTUP 名	説明
Subpool Name (サブプール名)	ドメイン・サブプールの 8 文字の固有名。 ドメイン・サブプール・フィールドの値については、CICS サブプールで説明しています。
場所	ドメイン・サブプールの割り振り元の DSA の名前。値は、CDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、または GSDSA です。

表 *149.* ストレージ・マネージャー*:* 要約ドメイン・サブプールの統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Access (アクセス)	サブプールのアクセス・タイプ。値は CICS、USER、READONLY、または TRUSTED です。 ストレージ保護がアクティブでない場合は、ストレージ域 (RDSA および ERDSA 内にある CICS のアクセス・タイプを除く) が CICS のアクセス・タイプに復帰します。 • SMDCICS (X'01') アクセスは CICS キー。 • SMDUSER (X'02') アクセスは USER キー。 • SMDREADONLY (X'03') は読み取り専用保護。 • SMDTRUSTED (X'04') アクセスは CICS キー。
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	サブプールに対する GETMAIN 要求の総数。
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	サブプールに対する FREEMAIN 要求の総数。
Peak Elements (ピーク・エレメント)	サブプール内のストレージ・エレメントのピーク数。
Peak Elem Stg (ピーク・エレメント・ストレージ)	サブプール内のエレメント・ストレージのピーク量をバイトで表したもの。
Peak Page Stg (ピーク・ページ・ストレージ)	このサブプールのストレージ要件をサポートするために割り振られるピーク・ページ・ストレージをバイト (または 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージではメガバイト) で表します。

ストレージ・マネージャー: 要約グローバル統計

ストレージ・マネージャーの要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 *150.* ストレージ・マネージャー*:* 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
ストレージ保護	ストレージ保護がアクティブかどうか • X'01' アクティブ • X'00' 非アクティブ
トランザクション分離	トランザクション分離がアクティブかどうか • X'01' アクティブ • X'00' 非アクティブ

表 *150.* ストレージ・マネージャー*:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Reentrant programs (再入可能プログラム)	再入可能プログラムの書き込み保護が有効かどうか • X'01' PROTECT - RDSA および ERDSA は、キー 0 ストレージから取得されます。 • X'00' NOPROTECT - RDSA および ERDSA は、キー 8 ストレージから取得されます。
Current DSA limit (現在の DSA 限界)	**DSALIM** システム初期設定パラメーターによって定義された、CICS 動的ストレージ域の限界。
Current DSA total (現在の DSA 合計)	16 MB 未満 (境界より下) の DSA に現在割り振られているストレージの合計量。 この値は、「現在の DSA 限界」よりも小さいか、または大きくなります。
Peak DSA total (ピーク DSA 合計)	16 MB 未満 (境界より下) の DSA に割り振られているストレージのピーク量。 この値は、「現在の DSA 限界」よりも小さいか、または大きくなります。
Current EDSA limit (現在の EDSA 限界)	**EDSALIM** システム初期設定パラメーターによって定義された、CICS 拡張動的ストレージ域の限界。
Current EDSA total (現在の EDSA 合計)	16 MB より上、ただし 2 GB より下 (16 MB 境界より上) の DSA に現在割り振られているストレージの総量。 この値は、「現在の EDSA 限界」よりも小さいか、または大きくなります。
Peak EDSA total (ピーク EDSA 合計)	16 MB より上、ただし 2 GB より下 (16 MB 境界より上) の DSA に割り振られているストレージのピーク量。この値は、「現在の EDSA 限界」よりも小さいか、または大きくなります。
MEMLIMIT size (MEMLIMIT サイズ)	z/OS **MEMLIMIT** パラメーターの値。CICS 領域の 64 ビット・ストレージの量を制限します。この値は、サイズに応じてメガバイト、ギガバイト、テラバイト、ペタバイト、またはエクサバイトの単位で示されることがあります。NOLIMIT の値は、上限が課せられていないことを示します。
MEMLIMIT set by (MEMLIMIT の設定元)	**MEMLIMIT** 値のソース。 SMFPRM は、**MEMLIMIT** が SYS1.PARMLIB(SMFPRMxx) によって設定されることを示します。 JCL は、**MEMLIMIT** が JCL によって設定されることを示します。 REGION は、REGION=0M が JCL で指定されるために、**MEMLIMIT** が NOLIMIT に設定されることを示します。 IEFUSI は、**MEMLIMIT** が z/OS インストール出口 IEFUSI によって設定されることを示します。
Current GDSA allocated (割り振られている現在の GDSA)	境界より上の DSA に現在割り振られているストレージの総量。
Peak GDSA allocated (割り振られたピーク GDSA)	境界より上の DSA に割り振られたストレージのピーク量。

表 *150.* ストレージ・マネージャー*:* 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Current GDSA active (アクティブな現行の GDSA)	2 GB 境界より上で使用中の現行ストレージ。
Peak GDSA active (アクティブなピーク GDSA)	2 GB 境界より上で使用中のストレージのピーク量。
MVS storage request waits (MVS ストレージ要求待ち)	16 MB より大きな MVS ストレージを待機した MVS ストレージ要求の総数。
Total time waiting for MVS storage (MVS ストレージ待ちの合計時間)	MVS ストレージ要求が 16 MB を超える MVS ストレージを待機する合計時間。

ストレージ・マネージャー: 要約サブスペース統計

ストレージ・マネージャーの要約サブスペース統計は、オンラインでは使用できません。

表 *151.* ストレージ・マネージャー*:* 要約サブスペース統計

DFHSTUP 名	説明
Total unique subspace users (固有のサブスペース・ユーザーの合計)	固有のサブスペースが割り振られたタスクの合計数。
Peak unique subspace users (固有のサブスペース・ユーザーのピーク)	固有のサブスペースが並行して割り振られているタスクのピーク数。
Total common subspace users (共通のサブスペース・ユーザーの合計)	共通サブスペースに割り振られたタスクの総数。
Peak common subspace users (共通のサブスペース・ユーザーのピーク)	共通のサブスペースに並行して割り振られているタスクのピーク数。

ストレージ・マネージャー: 要約動的ストレージ域統計

動的ストレージ域に関する情報および統計の要約を示します。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *152.* ストレージ・マネージャー*:* 要約動的ストレージ域統計

DFHSTUP 名	説明
Current DSA size (現在の DSA サイズ)	DSA の現在のサイズ。CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA の場合、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、この値はメガバイトで表されます。
Peak DSA size (ピーク DSA サイズ)	前回統計が記録された時点以降の DSA のピーク・サイズ。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、 ESDSA、ERDSA、および ETDSA の場合、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、この値はメガバイトで表されます。

表 *152.* ストレージ・マネージャー*:* 要約動的ストレージ域統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Cushion size (クッション・サイズ)	クッションのサイズ。 クッションは各 DSA の一部を形成し、この量を下回ると CICS はストレージ不足 (SOS) になります。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、 ESDSA、ERDSA、および ETDSA の場合、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、この値はメガバイトで表されます。
Peak free storage (ピーク・フリー・ストレージ)	その統計が前回に記録された以降のこの DSA 内のフリー・ストレージのピーク量。フリー・ストレージは、フリー・ページの数にページ・サイズを乗算した値です。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、 ERDSA、および ETDSA の場合、ページ・サイズは 4 KB で、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、ページ・サイズは 1 MB で、この値はメガバイトで表されます。
Lowest free storage (最低フリー・ストレージ)	その統計が前回に記録された以降のこの DSA 内のフリー・ストレージの最小量。フリー・ストレージは、フリー・ページの数にページ・サイズを乗算した値です。 CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、 ERDSA、および ETDSA の場合、ページ・サイズは 4 KB で、この値はバイト単位で表されます。 GCDSA、GUDSA、および GSDSA の場合、ページ・サイズは 1 MB で、この値はメガバイトで表されます。
Getmain requests (GETMAIN 要求数)	CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、 ERDSA、ETDSA、GCDSA、GUDSA、または GSDSA からの GETMAIN 要求の数。
Freemain requests (FREEMAIN 要求数)	CDSA、UDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、EUDSA、ESDSA、 ERDSA、ETDSA、GCDSA、GUDSA、または GSDSA からの FREEMAIN 要求の数。
Times no storage returned (ストレージを戻していない回数)	SUSPEND(NO) が設定されている GETMAIN 要求が状態 INSUFFICIENT_STORAGE を戻す回数。
Times request suspended (要求が中断された回数)	その時点で要求を満たすための十分なストレージがないため、SUSPEND(YES) が設定されている GETMAIN 要求が中断される回数。
Peak requests suspended (要求が中断されたピーク)	ストレージに対して中断された GETMAIN 要求のピーク数。
Purged while waiting (待機中にパージされた数)	ストレージに対して中断されている間にパージされた要求の数。
Times cushion released (クッションの解放回数)	GETMAIN 要求によってストレージ・クッションがリリースされる回数。ストレージ・クッションは、フリー・ページの数がストレージ・クッションの中のページ数を下回ったときに解放され、この DSA のサイズを大きくするために使用できるフリー・エクステントはもうありません。

表 *152.* ストレージ・マネージャー*:* 要約動的ストレージ域統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Times went short on storage (ストレージ不足になった回数)	この DSA 内の CICS が SOS になった回数。ここで、SOS は、クッションが現在使用中であるか、少なくとも 1 つのタスクがストレージ待ちで中断されているか、あるいはその両方を意味します。
Total time SOS (SOS の合計時間)	この DSA 内で CICS が SOS であった累積時間。
記憶保護違反	DSA に記録された記憶保護違反の数。
Access (アクセス)	DSA のアクセス・タイプ。 値は CICS、USER、READONLY、または TRUSTED です。 ストレージ保護がアクティブでない場合は、ストレージ域 (RDSA または ERDSA 内にある CICS のアクセス・タイプを除く) が CICS のアクセス・タイプに復帰します。
Current extents (現在のエクステント)	この DSA に現在割り振られているエクステントの数。
Extents added (追加されたエクステント)	最後に統計が記録されてから DSA に追加されたエクステントの数。
Extents released (解放されたエクステント)	前回に統計が記録された以降に DSA から解放されたエクステントの数。

ストレージ・マネージャー: 要約タスク・サブプールの統計

このレポートは、タスク・サブプールに関する情報および統計の要約を示します。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

以下のフィールドは、DFHSMTDS DSECT 内の SMTBODY DSECT によってマップされます。 SMTBODY DSECT は CICS 領域内の各タスク・サブプールごとに繰り返されます (SMTNTASK)。

表 *153.* ストレージ・マネージャー*:* 要約タスク・サブプールの統計

DFHSTUP 名	説明
DSA Name (DSA 名)	このタスク・ストレージの割り振り元の動的ストレージ域の名前。値は、CDSA、UDSA、ECDSA、EUDSA、GCDSA、および GUDSA です。
Access (アクセス)	サブプールのアクセス・タイプ。 アクセス・タイプは、CICS (キー 8) または USER (キー 9) にできます。
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	この動的ストレージ域からのタスク・サブプール GETMAIN 要求の総数。
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	この動的ストレージ域からのタスク・サブプール FREEMAIN 要求の総数。

表 153. ストレージ・マネージャー: 要約タスク・サブプールの統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Peak Elements (ピーク・エレメント)	この動的ストレージ域内のすべてのタスク・サブプール内のエレメントの現在の数のピーク。
Peak Elem Stg (ピーク・エレメント・ストレージ)	この動的ストレージ域内のタスク・サブプールのすべてのエレメントによって占有されるストレージの現在の量のピークをバイトで表したもの。
Peak Page Stg (ピーク・ページ・ストレージ)	この動的ストレージ域内のタスク・ストレージ・アクティビティーをサポートするために割り振られたピーク・ページ・ストレージ。

テーブル・マネージャー統計

テーブル・マネージャー: グローバル統計

EXEC CICS COLLECT STATISTICS TABLEMGR システム・コマンドを使用して、テーブル・マネージャーのグローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHA16DS DSECT によってマップされます。

表 154. テーブル・マネージャー: グローバル統計： 最初のフィールド以外に、以下のフィールドが、それぞれのテーブル (A16NTAB) ごとに繰り返される A16STATS DSECT によってマップされます。

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	A16NTAB	テーブル・マネージャーに定義されているテーブル数です。 リセット特性: リセットなし
Table Name (テーブル名)	A16TNAM	テーブル・マネージャーによってサポートされる CICS テーブル名です。 リセット特性: リセットなし
Total Size of Table Manager Storage (bytes) (テーブル・マネージャー・ストレージの合計サイズ (バイト))	A16TSIZE	テーブル・マネージャーが「Table Name (テーブル名)」フィールドで指定されているテーブル (分散テーブルおよびディレクトリー・セグメントなど) をサポートするために使用するストレージ量 (バイトで表される) です。これには、テーブル自体で使用されるストレージは含まれません。 リセット特性: リセットなし

テーブル・マネージャー: 要約グローバル統計

テーブル・マネージャーの要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 *155.* テーブル・マネージャー*:* 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Table Name (テーブル名)	テーブル・マネージャーによってサポートされる CICS テーブル名です。
Average Table Size (bytes) (平均テーブル・サイズ (バイト))	テーブル・マネージャーが「Table Name (テーブル名)」フィールドで指定されているテーブル (分散テーブルおよびディレクトリー・セグメントなど) をサポートするために使用する平均ストレージ量 (バイトで表される) です。これには、テーブル自体で使用されるストレージは含まれません。
Peak Table Size (bytes) (ピーク・テーブル・サイズ (バイト))	テーブル・マネージャーが「Table Name (テーブル名)」フィールドで指定されているテーブル (分散テーブルおよびディレクトリー・セグメントなど) をサポートするために使用するストレージのピーク量 (バイトで表される) です。これには、テーブル自体で使用されるストレージは含まれません。

TCP/IP グローバル統計および TCP/IP サービス統計

TCP/IP サポートは、CICS Web サポートおよび CICS における Web サービスの基盤です。 TCP/IP 要求を受信可能な各ポートは、TCPIPSERVICE リソース定義によって定義されます。統計には、グローバル統計と、各 TCPIPSERVICE 定義ごとの統計があります。

DFH0STAT レポート: DFH0STAT レポート - TCP/IP レポートおよび DFH0STAT レポート - TCP/IP サービス・レポートを参照してください。

TCP/IP: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TCPIP システム・コマンドを使用して、TCP/IP グローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHSOGDS DSECT によってマップされます。

表 *156. TCP/IP:* グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current number of inbound sockets (インバウンド・ソケットの現在の数)	SOG_CURR_INBOUND_SOCKETS	インバウンド・ソケットの現行数です。 リセット特性: リセットなし
Current number of non-persistent inbound sockets (非永続アウトバウンド・ソケットの現在の数)	SOG_CURR_NPERS_INB_SOCKETS	現在の非永続インバウンド・ソケット数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak number of inbound sockets (インバウンド・ソケットのピーク数)	SOG_PEAK_INBOUND_SOCKETS	インバウンド・ソケットのピーク数です。 リセット特性: 現行にリセット

表 156. TCP/IP: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Peak number of non-persistent inbound sockets (非永続インバウンド・ソケットのピーク数)	SOG_PEAK_NPERS_INB_SOCKETS	非永続インバウンド・ソケットのピーク数です。 リセット特性: 現行にリセット
Peak number of persistent inbound sockets (永続インバウンド・ソケットのピーク数)	SOG_PEAK_PERS_INB_SOCKETS	永続インバウンド・ソケットのピーク数です。 リセット特性: 現行にリセット
Total number of inbound sockets created (作成されたインバウンド・ソケットの総数)	SOG_INB_SOCKETS_CREATED	作成されたインバウンド・ソケットの合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Total number of non-persistent inbound sockets created (作成された非永続インバウンド・ソケットの総数)	SOG_NPERS_INB_SOCKETS_CREATED	作成された非永続インバウンド・ソケットの合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Current number of non-persistent outbound sockets (非永続アウトバウンド・ソケットの現在の数)	SOG_CURR_OUTB_SOCKETS	現在の非永続アウトバウンド・ソケット数です。 リセット特性: リセットなし
Current number of persistent outbound sockets (永続アウトバウンド・ソケットの現在の数)	SOG_CURR_PERS_OUTB_SOCKETS	現在の永続アウトバウンド・ソケット数です。 リセット特性: リセットなし
アウトバウンド・ソケットのピーク数	SOG_PEAK_BOTH_OUTB_SOCKETS	永続/非永続の両方のアウトバウンド・ソケットのピーク数。 リセット特性: 現行にリセット
Peak number of non-persistent outbound sockets (非永続アウトバウンド・ソケットのピーク数)	SOG_PEAK_OUTB_SOCKETS	非永続アウトバウンド・ソケットのピーク数です。 リセット特性: 現行にリセット
Peak number of persistent outbound sockets (永続アウトバウンド・ソケットのピーク数)	SOG_PEAK_PERS_OUTB_SOCKETS	永続アウトバウンド・ソケットのピーク数です。 リセット特性: 現行にリセット

表 156. TCP/IP: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
アウトバウンド・ソケットが再使用された合計回数	SOG_TIMES_OUTB_REUSED	プール内の接続が再使用された合計回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Total number of outbound sockets created (作成されたアウトバウンド・ソケットの合計数)	SOG_OUTB_SOCKETS_CREATED	作成されたアウトバウンド・ソケットの合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Total number of persistent outbound sockets created (作成された永続アウトバウンド・ソケットの合計数)	SOG_PERS_OUTBOUND_CREATED	作成された永続アウトバウンド・ソケットの総数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Total number of outbound sockets closed (クローズされたアウトバウンド・ソケットの合計数)	SOG_OUTB_SOCKETS_CLOSED	クローズされたアウトバウンド・ソケットの合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Total number of inbound and outbound sockets created (作成されたインバウンドおよびアウトバウンド・ソケットの合計数)	SOG_INB_SOCKETS_CREATED + SOG_OUTB_SOCKETS_CREATED	作成されたインバウンドおよびアウトバウンド・ソケットの合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
SSLCACHE setting (SSLCACHE の設定)	SOG_SSLCACHE	SSL キャッシングが CICS 領域内でローカルで行われるか、SYSPLEX 全体にわたって行われるかを報告します。 リセット特性: リセットなし
Current MAXSOCKETS limit (現在の MAXSOCKETS 限界)	SOG_MAXSOCKETS_LIMIT	CICS ソケット・ドメインで管理することができる IP ソケットの最大数です。 リセット特性: リセットなし
Number of times the MAXSOCKETS limit was reached (MAXSOCKETS 限界に達した回数)	SOG_TIMES_AT_MAX_SOCKETS	IP ソケット限度 (MAXSOCKETS) の最大数に達した回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of create socket requests delayed by MAXSOCKETS limit (MAXSOCKETS 限界によって遅延されたソケット作成要求数)	SOG_DELAYED_AT_MAX_SOCKETS	システムが MAXSOCKETS 限度に達したため遅延されたソケット作成要求数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 156. TCP/IP: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total MAXSOCKETS delay time (MAXSOCKETS 遅延時間の合計)	SOG_QTIME_AT_MAX_SOCKETS	システムが MAXSOCKETS 限度に達したためソケット作成要求が遅延された時間の合計です。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of create sockets requests timed out at MAXSOCKETS (MAXSOCKETS でタイムアウトになったソケット作成要求数)	SOG_TIMEDOUT_AT_MAX_SOCKETS	システムが MAXSOCKETS 限度に達したため遅延されていた間にタイムアウトになったソケット作成要求数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Current create socket requests delayed by MAXSOCKETS limit (MAXSOCKETS 限界によって遅延された現在のソケット作成要求数)	SOG_CURR_DELAYED_AT_MAX	システムが MAXSOCKETS 限度に達したため遅延された現在のソケット作成要求数です。 リセット特性: リセットなし
Peak create socket requests delayed at MAXSOCKETS (MAXSOCKETS で遅延されたソケット作成要求のピーク)	SOG_PEAK_DELAYED_AT_MAX	システムが MAXSOCKETS 限度に達したため遅延されたソケット作成要求のピーク数です。 リセット特性: 現行にリセット
Current MAXSOCKETS delay time (現在の MAXSOCKETS 遅延時間)	SOG_CURRENT_QTIME_AT_MAX	システムが MAXSOCKETS 限度に達したため現在遅延されているソケット作成要求の現在の合計遅延時間です。 リセット特性: リセットなし
Performance tuning for HTTP connections (HTTP 接続のパフォーマンス・チューニング)	SOG_SOTUNING	HTTP 接続のパフォーマンス・チューニングが使用可能かどうかを示します。 リセット特性: リセットなし
ソケット・リスナーが HTTP 接続のリスニングを一時停止しました	SOG_PAUSING_HTTP_LISTENING	領域内のタスクの数が新規 HTTP 接続要求の受け入れ限界に達したためにリスナーが HTTP 接続要求のリスニングを一時停止したかどうかを示します。 リセット特性: リセットなし
タスクの受け入れ限界においてソケット・リスナーが通知された回数	SOG_TIMES_AT_ACCEPT_LIMIT	領域内のタスクの数が新規 HTTP 接続要求の受け入れ限界に達したことをリスナーが通知された回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *156. TCP/IP:* グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
ソケット・リスナーが HTTP 接続のリスニングを一時停止した最終時刻	SOG_TIME_LAST_PAUSED_HTTP_LISTENING	領域内のタスクの数が新規 HTTP 接続要求の受け入れ限界に達したためにソケット・リスナーが HTTP 接続要求のリスニングを一時停止した最終時刻です。 DFHSTUP レポートでは、この時間は**日/月/年 時：分：秒：小数部** で表されます。ただし、DSECT フィールドには、現地時間の保管クロック (STCK) の値としての時間が含まれています。DFHSTUP レポートで日時が `--/--/---- --:--:--:----` と示される場合は、統計が最後にリセットされてからリスナーが HTTP 接続要求のリスニングを一度も一時停止していないことを表しています。 リセット特性: ゼロにリセット
HTTP 接続持続性を停止している領域	SOG_STOPPING_PERSISTENCE	領域内のタスク数が限界を超えたために、次の要求が完了するときに領域が既存の永続接続を停止し、新しい接続を非永続にしているかどうかを示します。 リセット特性: リセットなし
領域が HTTP 接続持続性を停止した回数	SOG_TIMES_STOPPED_PERSISTENT	領域内のタスク数が限界を超えたために、次の要求が完了するときに既存の永続接続を停止して新しい接続を非永続にするためのアクションを領域が取った回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Last time stopped HTTP connection persistence (HTTP 接続持続性を停止した最終時刻)	SOG_TIME_LAST_STOPPED_PERSISTENT	領域内のタスク数が限界を超えたために、次の要求が完了するときに既存の永続接続を停止して新しい接続を非永続にするためのアクションを領域が取った最終時刻です。DFHSTUP レポートでは、この時間は**日/月/年 時：分：秒：小数部** で表されます。ただし、DSECT フィールドには、現地時間の保管クロック (STCK) の値としての時間が含まれています。DFHSTUP レポートで日時が `--/--/---- --:--:--:----` と示される場合、統計が最後にリセットされてからこの状態が発生していないことを表しています。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of persistent connections made non-persistent (非持続にされた持続接続の数)	SOG_TIMES_MADE_NON_PERSISTENT	領域内のタスクの数が限界を超えたために持続 HTTP 接続が非持続になった回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 156. TCP/IP: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of times disconnected an HTTP connection at max uses (最大使用時に HTTP 接続が切断された回数)	SOG_TIMES_CONN_DISC_AT_MAX	使用回数が限界を超えたために持続HTTP接続が切断された回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

TCP/IP: 要約グローバル統計

TCP/IP の要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 157. TCP/IP: 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Peak number of inbound sockets (インバウンド・ソケットのピーク数)	インバウンド・ソケットのピーク数です。
Peak number of non-persistent inbound sockets (非永続インバウンド・ソケットのピーク数)	非永続インバウンド・ソケットのピーク数です。
Peak number of persistent inbound sockets (永続インバウンド・ソケットのピーク数)	永続インバウンド・ソケットのピーク数です。
Total number of inbound sockets created (作成されたインバウンド・ソケットの総数)	作成されたインバウンド・ソケットの合計数です。
Total number of non-persistent inbound sockets created (作成された非永続インバウンド・ソケットの総数)	作成された非永続インバウンド・ソケットの合計数です。
アウトバウンド・ソケットのピーク数	永続/非永続の両方のアウトバウンド・ソケットのピーク数。
Peak number of non-persistent outbound sockets (非永続アウトバウンド・ソケットのピーク数)	非永続アウトバウンド・ソケットのピーク数です。
Peak number of persistent outbound sockets (永続アウトバウンド・ソケットのピーク数)	永続アウトバウンド・ソケットのピーク数です。
アウトバウンド・ソケットが再使用された合計回数	プール内の接続が再使用された合計回数です。
Total number of outbound sockets created (作成されたアウトバウンド・ソケットの合計数)	作成されたアウトバウンド・ソケットの合計数です。

表 157. TCP/IP: 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Total number of persistent outbound sockets created (作成された永続アウトバウンド・ソケットの合計数)	作成された永続アウトバウンド・ソケットの総数です。
Total number of outbound sockets closed (クローズされたアウトバウンド・ソケットの合計数)	クローズされたアウトバウンド・ソケットの合計数です。
Total number of inbound and outbound sockets created (作成されたインバウンドおよびアウトバウンド・ソケットの合計数)	作成されたインバウンドおよびアウトバウンド・ソケットの合計数です。
SSLCACHE setting (SSLCACHE の設定)	SSL キャッシングが CICS 領域内でローカルで行われるか、SYSPLEX 全体にわたって行われるかを報告します。
MAXSOCKETS limit (MAXSOCKETS 限度)	CICS ソケット・ドメインで管理することができる IP ソケットの最大数です。
Times the MAXSOCKETS limit was reached (MAXSOCKETS 限度に達した回数)	IP ソケット限度 (MAXSOCKETS) の最大数に達した回数です。
Total number of create socket requests timed out at MAXSOCKETS (MAXSOCKETS でタイムアウトされたソケット作成要求合計数)	システムが MAXSOCKETS 限度に達したため遅延されていた間にタイムアウトになったソケット作成要求の合計数です。
Peak number of create socket requests delayed at MAXSOCKETS (MAXSOCKETS で遅延されたソケット作成要求数のピーク)	システムが MAXSOCKETS 限度に達したため遅延されたソケット作成要求のピーク数です。
Total number of create socket requests delayed at MAXSOCKETS (MAXSOCKETS で遅延されたソケット作成要求合計数)	システムが MAXSOCKETS 限度に達したため遅延されたソケット作成要求の合計数です。
Total MAXSOCKETS delay time (MAXSOCKETS 遅延時間の合計)	システムが MAXSOCKETS 限度に達したためソケット作成要求が遅延された時間の合計です。
Average MAXSOCKETS delay time (平均 MAXSOCKETS 遅延時間)	システムが MAXSOCKETS 限度に達したためソケット作成要求が遅延された平均時間です。

TCP/IP サービス: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TCPIPSERVICE システム・コマンドを使用して、TCP/IP サービスのリソース統計を取得できます。それらは、TCPIPSERVICE および DFHSORDS DSECT によってマップされます。

表 *158. TCP/IP* サービス: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
TCPIPSERVICE Name (TCPIPSERVICE 名)	SOR_SERVICE_NAME	TCP/IP サービスの名前。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Open Date/Time (TCPIPSERVICE オープン日時)	SOR_OPEN_LOCAL	この TCP/IP サービスがオープンされた日時。 このフィールドが設定されていない場合、SOR_OPEN_LOCAL には、レポートに「CLOSED」として表示される 16 進値 X'0000000000000000' が含まれます。 フィールドが設定されている場合、*mm/dd/yyyy* 形式で表される日付が含まれます。 このフィールドには、以下の記述が適用される場合に有効な日付が含まれます。 • TCP/IP サービスが、統計の取得時にオープンされた場合 • TCP/IP サービスがクローズしているので統計要求が非送信請求になっている場合。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Close Date/Time (TCPIPSERVICE クローズ日時)	SOR_CLOSE_LOCAL	この TCP/IP サービスがクローズされた日時。 このフィールドが設定されていない場合、SOR_CLOSE_LOCAL には、レポートに「OPEN」として表示される 16 進値 X'0000000000000000' が含まれます。 フィールドが設定されている場合、現地時間の保管クロック (STCK) 値で表される時刻が含まれます。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Protocol (TCPIPSERVICE プロトコル)	SOR_PROTOCOL	このTCP/IPサービスに定義されたプロトコル。このプロトコルは、「ECI」、「HTTP」、 「IIOP」、 「IPIC」、「USER」、またはブランク (HTTP を意味する) のいずれかになります。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Port (TCPIPSERVICE ポート)	SOR_PORT_NUMBER	このTCP/IPサービスに使用されるポート番号。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Host (TCPIPSERVICE ホスト)	SOR_HOSTNAME	リモート・システムのホスト名または IPv4 または IPv6 アドレス。 リセット特性: リセットなし

表 *158. TCP/IP* サービス: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
TCPIPSERVICE IP Family (TCPIPSERVICE IP ファミリー)	SOR_IP_FAMILY	IP 解決アドレスに戻されるアドレスのアドレス・フォーマット。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE IP Resolved Address (TCPIPSERVICE IP 解決アドレス)	SOR_IP_ADDRESS	ホストの IPv4 または IPv6 解決アドレス。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Transaction ID (TCPIPSERVICE トランザクション ID)	SOR_TCPIPS_TRANID	このサービスで受信される新しい要求を処理するために接続された CICS トランザクションの ID。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Backlog Setting (TCPIPSERVICE バックログ設定)	SOR_BACKLOG	TCP/IP サービスの初期バックログ設定。この設定は、TCP/IP サービスが着信接続を拒否し始める前にそのバックログ・キューに入れることのできる接続要求の最大数を制御します。TCP/IP サービスが複数のスタックを listen している場合は、スタックごとに設定します。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE URM (TCPIPSERVICE ユーザー置き換え可能モジュール)	SOR_TCPIPS_URM	このサービスによって呼び出される、ユーザーが置換可能なプログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
バックログの現在の最大値	SOR_CURR_MAX_BACKLOG	TCP/IP サービスが現在そのバックログ・キューに入れることを許可している接続要求の最大数。TCP/IP サービスが複数のスタックで listen している場合は、該当するすべてのスタックについて合計した数になります。 この値は、TCP/IP サービスが、例えば SYN フラッディングがあると判断した場合に一時的にこの値を増やすため、TCP/IP サービスの TCPIPSERVICE バックログ設定 (SOR_BACKLOG) より大きくできます。 リセット特性: CICS によるリセットなし
TCPIPSERVICE SSL Type (TCPIPSERVICE SSL タイプ)	SOR_SSL_SUPPORT	このTCP/IPサービスに定義されたSSLサポートのレベル。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Maxdata (TCPIPSERVICE 最大データ)	SOR_MAXDATA_LENGTH	この TCP/IP サービスで受信することが可能なデータの最大長。 リセット特性: リセットなし

表 158. TCP/IP サービス: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
TCPIPSERVICE Authenticate (TCPIPSERVICE 認証)	SOR_AUTHENTICATE	この TCP/IP サービスに指定されている認証および識別方式。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Privacy (TCPIPSERVICE プライバシー)	SOR_PRIVACY	この TCP/IP サービスに適用される SSL 暗号化サポートのレベル。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE Attachsec (TCPIPSERVICE 接続セキュリティー)	SOR_ATTACHSEC	この TCP/IP サービスに必要な接続時セキュリティーのレベル。 リセット特性: リセットなし
Current Connections (現行接続)	SOR_CURRENT_CONNS	TCP/IP サービスの接続の現在数。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak Connections (接続のピーク)	SOR_PEAK_CONNS	TCP/IP サービスの接続のピーク数。 リセット特性: ゼロにリセット
Transactions Attached (接続トランザクション)	SOR_TRANS_ATTACHED	TCP/IP サービスによって接続されたトランザクションの数。 リセット特性: ゼロにリセット
接続合計数	SOR_TOTAL_CONNS	TCP/IP サービスのために確立された接続の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Send requests (送信要求数)	SOR_SENDS	TCP/IP サービスに対して発行された送信要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total Bytes Sent (合計送信バイト数)	SOR_BYTES_SENT	TCP/IPサービスで送信したバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Receive requests (受信要求数)	SOR_RECEIVES	TCP/IP サービスに対して発行された受信要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Total Bytes Received (合計受信バイト数)	SOR_BYTES_RECEIVED	TCP/IP サービスの受信済みバイト数。 リセット特性: ゼロにリセット
Requests processed (処理された要求)	SOR_REQUESTS	TCP/IP サービスによって処理された要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Maximum Persistent Connections (最大持続接続数)	SOR_TCPIPS_MAX_PERSIST	CICS 領域が一度に受け入れる Web クライアントからの持続接続の最大数。 リセット特性: リセットなし

表 *158. TCP/IP* サービス: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Non-Persistent Connections (非永続接続数)	SOR_TCPIPS_NON_PERSIST	CICS が Web クライアントに持続接続を許可しなかった接続の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Made non-persistent at MAXPERSIST (MAXPERSIST による非持続への変更)	SOR_NONP_AT_MAXPERSIST	MAXPERSIST に達したために新しい持続接続が非持続に変更された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Disconnected after maximum uses (最大使用後の切断)	SOR_DISC_AT_MAX_USES	HTTP 持続接続の使用数が限度を超えたために切断が発生した回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Made non-persistent at task limit (タスク限度による非持続への変更)	SOR_NONP_AT_TASK_LIMIT	領域内のタスク数が限度を超えたために新しい HTTP 持続接続が非持続に変更された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Disconnected at task limit (タスク限度による切断)	SOR_DISC_AT_TASK_LIMIT	領域内のタスク数が限度を超えたために既存の HTTP 持続接続が閉じられた回数。 リセット特性: ゼロにリセット
現在のバックログ	SOR_CURR_BACKLOG	バックログ・キューで待機している接続要求の現在の数。TCP/IP サービスが複数のスタックで listen している場合は、該当するすべてのスタックについて合計した数になります。 リセット特性: リセットなし
ドロップされた接続	SOR_CONNS_DROPPED	バックログ・キューが満杯であるためにドロップされた接続の合計数。 リセット特性: CICS によるリセットなし
接続の最終ドロップ時刻	SOR_CONN_LAST_DROPPED	TCP/IP サービスのバックログ・キューが満杯であるために接続が最後に拒否された時刻。 リセット特性: CICS によるリセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SOR_SERVICE_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SOR_SERVICE_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SOR_SERVICE_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

表 158. TCP/IP サービス: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SOR_SERVICE_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SOR_SERVICE_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SOR_SERVICE_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	SOR_SERVICE_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

TCP/IP サービス: 要約リソース統計

TCPIPSERVICE リソースのリソース統計の要約リスト。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 159. TCP/IP サービス: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
TCPIPSERVICE Name (TCPIPSERVICE 名)	TCPIPSERVICE リソースの名前。
TCPIPSERVICE Protocol (TCPIPSERVICE プロトコル)	この TCPIPSERVICE リソースに定義されたプロトコル。 これは、ECI、HTTP、IPIC、USER、またはブランク (HTTP を意味する) のいずれかになります。
TCPIPSERVICE Port (TCPIPSERVICE ポート)	この TCPIPSERVICE リソースで使用するポート番号。
TCPIPSERVICE Host (TCPIPSERVICE ホスト)	リモート・システムのホスト名、IPv4 または IPv6 アドレス。
TCPIPSERVICE IP Family (TCPIPSERVICE IP ファミリー)	IP アドレスに戻されるアドレスのアドレス・フォーマット。

表 *159. TCP/IP* サービス: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
TCPIPSERVICE IP Address (TCPIPSERVICE IP アドレス)	ホストの IPv4 または IPv6 解決アドレス。
TCPIPSERVICE Transaction ID (TCPIPSERVICE トランザクション ID)	このサービスで受信される新しい要求を処理するために接続された CICS トランザクションの ID。
TCPIPSERVICE Backlog Setting (TCPIPSERVICE バックログ設定)	この TCP/IP サービスに対して定義されたポート・バックログ。
TCPIPSERVICE URM (TCPIPSERVICE ユーザー置き換え可能モジュール)	このサービスによって呼び出される、ユーザーが置換可能なプログラムの名前。
TCPIPSERVICE Maxdata (TCPIPSERVICE 最大データ)	この TCP/IP サービスで受信することが可能なデータの最大長。
TCPIPSERVICE SSL Type (TCPIPSERVICE SSL タイプ)	この TCP/IP サービスに定義された SSL サポートのレベル。
TCPIPSERVICE Authenticate (TCPIPSERVICE 認証)	この TCP/IP サービスに指定されている認証および識別方式。
TCPIPSERVICE Privacy (TCPIPSERVICE プライバシー)	この TCP/IP サービスに適用される SSL 暗号化サポートのレベル。
TCPIPSERVICE Attachsec (TCPIPSERVICE 接続セキュリティー)	この TCP/IP サービスに必要な接続時セキュリティーのレベル。
Peak Connections (接続のピーク)	TCP/IP サービスの接続のピーク数。
Transactions Attached (接続トランザクション)	TCP/IP サービスのために接続されたトランザクションの合計数。
接続合計数	TCP/IP サービスのために確立された接続の総数。
Send requests (送信要求数)	TCP/IP サービスに対して発行された送信要求の合計数。
Total Bytes Sent (合計送信バイト数)	TCP/IP サービスの送信済み合計バイト数。
Receive requests (受信要求数)	TCP/IP サービスに対して発行された受信要求の合計数。
Total Bytes Received (合計受信バイト数)	TCP/IP サービスの受信済みバイト数。

表 *159. TCP/IP* サービス: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Requests processed (処理された要求)	TCP/IP サービスによって処理された要求の数。
Maximum Persistent Connections (最大持続接続数)	CICS 領域が一度に受け入れる Web クライアントからの持続接続の最大数。
Non-Persistent Connections (非永続接続数)	CICS が Web クライアントに持続接続を許可しなかった接続の数。
Non-persistent at MAXPERSIST (MAXPERSIST による非持続)	MAXPERSIST に達したために新しい持続接続が非持続に変更された回数。
Disconnected after maximum uses (最大使用後の切断)	HTTP 持続接続の使用数が限度を超えたために切断が発生した回数。
Non-persistent at task limit (タスク限度による非持続)	領域内のタスク数が限度を超えたために新しい HTTP 持続接続が非持続に変更された回数。
Disconnected at task limit (タスク限度による切断)	領域内のタスク数が限度を超えたために既存の HTTP 持続接続が閉じられた回数。
Peak backlog queue depth (バックログ・キュー項目のピーク数)	バックログ・キューで待機している記録された接続要求のピーク数。TCP/IP サービスが複数のスタックで listen している場合は、該当するすべてのスタックについて合計した数になります。
ドロップされた接続	バックログ・キューが満杯であるためにドロップされた接続の合計数。
接続の最終ドロップ時刻	TCP/IP サービスのバックログ・キューが満杯であるために接続が最後に拒否された時刻。

一時記憶域統計

一時記憶域統計は、一時記憶域キューに書き込まれたデータに対して生成されます。

これらの統計の使用法について詳しくは、CICS 一時記憶域: パフォーマンスおよび調整を参照してください。

一時記憶域統計の解釈

データ項目を (WRITEQ TS を使用して) 一時記憶域に書き込むと、一時記憶域キューが作成され、一時記憶域統計が生成されます。

以下の統計では、記載されているアクションが必要になる可能性があります。

Writes more than control interval (制御間隔より大きい書き込み**)**
長さが TS データ・セットの制御間隔 (CI) サイズより大きかったレコードの書き込み数。この値を使用して CI サイズを調整します。報告された値が

大きい値の場合は、CI サイズを増やしてください。 値がゼロの場合、小さい値が報告されるまで CI サイズを小さくしてください。

Times aux. storage exhausted (補助記憶域を使い果たした回数**)**
NOSPACE 状態が原因で 1 つ以上のトランザクションが中断されている可能性のある状況、または (HANDLE CONDITION NOSPACE コマンド、WRITEQ TS コマンドの RESP、または WRITEQ TS NOSUSPEND コマンドを使用して) 異常終了を強制された可能性のある状況の数。この項目が統計に表示される場合は、一時記憶域データ・セットのサイズを大きくしてください。

Buffer writes (バッファー書き込み数**)**
一時記憶データ・セットへの書き込みの回数。 これには、リカバリーのために必要な書き込みと、別の制御間隔 (CI) を収容するために必要なバッファーへの書き込みの両方が含まれます。 後者によって生じる入出力アクティビティーを最小限に抑えるには、バッファー割り振りを増やします。 システム初期設定パラメーター TS=(*b,s*) を使用します。ここで、*b* はバッファー数、*s* はストリング数です。

Peak number of strings in use (使用中のストリング数のピーク**)**
データ・セットに対する同時入出力操作のピーク数。この数が、**TS** システム初期設定パラメーターで指定したストリング数より非常に小さい場合は、この値に近づくように SIT 値を小さくすることを考慮してください。

Times string wait occurred (ストリング待機発生数**)**
使用可能なストリングがなかったために、キューに入れられた入出力要求の数。この値がゼロではない場合は、ストリング数を増やすことを検討してください。TS データ・セットのサイズおよびストリング数とバッファー数の調整について詳しくは、一時記憶域データ共用のためのストレージ計算を参照してください。

一時記憶域: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TSQUEUE システム・コマンドを使用して、一時記憶域のグローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHTSGDS DSECT によってマップされます。

表 *160.* 一時記憶域: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Put/Putq main storage requests (主記憶域要求の書き込み)	TSGSTA5F	アプリケーション・プログラムが、主一時記憶域に書き込んだレコードの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Get/Getq main storage requests (主記憶域要求の取得)	TSGNMG	アプリケーション・プログラムが、主一時記憶域から取得したレコードの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *160.* 一時記憶域*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current TSMAINLIMIT setting (現在の TSMAINLIMIT 設定)	TSGTSMLM	CICS が主一時記憶域内のデータ用に使用可能にするストレージ量の現在の制限。 この量はバイトで表されます。 リセット特性: リセットなし
Times at TSMAINLIMIT (TSMAINLIMIT 時の回数)	TSGTSLHT	データ用に許可されているストレージ量の制限を超えて主一時記憶域を使用しようとした回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Current storage used for TSMAINLIMIT (TSMAINLIMIT に使用される現在のストレージ)	TSGTSMUS	主一時記憶域内でデータ用に現在使用中のストレージの量。 この量はバイトで表されます。 リセット特性: リセットなし
Peak storage used for TSMAINLIMIT (TSMAINLIMIT に使用されるストレージのピーク値)	TSGTSMAX	主一時記憶域内のデータに使用されたストレージのピーク量。 この量はバイトで表されます。 リセット特性: 現行値にリセット
Number of queues auto deleted (自動削除されたキューの数)	TSGTSQDL	CICS がクリーンアップ・タスクを使用して自動的に削除した一時記憶域キューの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Count of clean up task runs (クリーンアップ・タスクの実行回数)	TSGTSCTR	適格な一時記憶域キューを自動的に削除する、クリーンアップ・タスクが実行された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Put/Putq auxiliary storage requests (補助記憶域要求の書き込み)	TSGSTA7F	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域に書き込んだレコードの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Get/Getq auxiliary storage requests (補助記憶域要求の取得)	TSGNAG	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域から取得したレコードの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak temporary storage names in use (使用中の一時記憶域名のピーク)	TSGQNUMH	特定の時点で使用されている、一時記憶域キューの名前のピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット

表 *160.* 一時記憶域: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current temporary storage names in use (使用中の現在の一時記憶域名)	TSGQNUM	使用されている一時記憶域キューの名前の現在の数。 リセット特性: リセットなし
Number of entries in longest queue (最長のキュー内にあるエントリー数)	TSGQINH	いずれか 1 つの一時記憶域キュー内の項目のピーク数 (最大 32767)。 リセット特性: ゼロにリセット
Times queues created (キュー作成回数)	TSGSTA3F	CICS が個々の一時記憶域キューを作成した回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Control interval size (制御間隔サイズ)	TSGCSZ	一時記憶域データ・セットの VSAM CLUSTER 定義内の CONTROLINTERVALSIZE パラメーターで指定されている、DASD と主記憶域との間の VSAM 伝送単位のサイズ。 通常、大規模な制御間隔 (CI) を使用すると、一度により多くのデータを転送することができるため、システムのオーバーヘッドが少なくなります。 リセット特性: リセットなし
Available bytes per control interval (制御間隔当たりの使用可能バイト数)	TSGNAVB	一時記憶域データ・セット制御間隔で使用可能なバイト数。 リセット特性: リセットなし
Segments per control interval (制御間隔当たりのセグメント数)	TSGSPCI	各一時記憶域データ・セット制御間隔で使用可能なセグメント数。 リセット特性: リセットなし
Bytes per segment (セグメントあたりのバイト数)	TSGBPSEG	一時記憶域データ・セットの、セグメントあたりのバイト数。 リセット特性: リセットなし
Writes more than control interval (制御間隔より大きい書き込み)	TSGSTABF	長さが制御間隔 (CI) のサイズよりも大きかったレコードの書き込み数。 報告された値が大きい値の場合は、CI サイズを増やしてください。 値がゼロの場合、小さい値が報告されるまで CI サイズを小さくしてください。 リセット特性: ゼロにリセット

表 160. 一時記憶域: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Longest auxiliary temp storage record (最長の補助一時記憶域レコード)	TSGLAR	一時記憶域データ・セットに書き込まれた最も長いレコードのサイズで、バイトで表されます。 リセット特性: リセットなし
Number of control intervals available (使用可能な制御間隔数)	TSGNCI	補助一時記憶域に使用可能な制御間隔 (CI) 数。 この数は、制御間隔数として表される、一時記憶域データ・セット上の使用可能スペースの合計です。 このスペースは、終了時に残っているスペースではありません。 リセット特性: リセットなし
Peak control intervals in use (使用中の制御間隔のピーク数)	TSGNCIAH	アクティブ・データを含んでいる制御間隔 (CI) のピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット
Current control intervals in use (現在使用中の制御間隔)	TSGNCIA	アクティブ・データを含んでいる制御間隔 (CI) の現在数。 リセット特性: リセットなし
Times aux. storage exhausted (補助記憶域を使い果たした回数)	TSGSTA8F	NOSPACE 状態が原因で 1 つ以上のトランザクションが中断されている可能性のある状況、または (HANDLE CONDITION NOSPACE コマンドを使用して) 異常終了を強制された可能性のある状況の数。このフィールドに統計が示される場合は、一時記憶域データ・セットのサイズを増やしてください。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of temp. storage compressions (一時記憶域圧縮回数)	TSGSTA9F	一時記憶域バッファーが圧縮された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Temporary storage buffers (一時記憶域バッファー)	TSGNBCA	TS= システム初期設定パラメーターまたはオーバーライドで指定された、一時記憶域バッファーの数。 割り振られたバッファーの数は、要求された数を超える可能性があります。 リセット特性: リセットなし
Buffer waits (バッファー待機数)	TSGBWTN	すべてのバッファーが他のタスクに割り振られていたために、要求がキューに入れられた回数です。 バッファー待機は、他のバッファーが使用可能であっても、要求された制御間隔が既にロック済みバッファー内にあるために使用不可となっている場合にも発生します。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *160.* 一時記憶域: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Peak users waiting on buffer (バッファーで待機中のピーク・ユーザー数)	TSGBUWTH	使用可能なバッファーがなかったために、キューに入れられた要求のピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット
Current users waiting on buffer (バッファーで待機中の現行ユーザー数)	TSGBUWT	使用可能なバッファーがなかったために、キューに入れられている要求の現在の数。 リセット特性: リセットなし
Buffer writes (バッファー書き込み数)	TSGTWTN	一時記憶域データ・セットへの書き込みの回数。 これには、リカバリーのために必要な書き込み (『リカバリーに対する強制書き込み』を参照) と、別の制御間隔 (CI) を収容するために必要なバッファーへの書き込みの両方が含まれます。 後者によって生じる入出力アクティビティーを最小限に抑えるには、バッファー割り振りを増やします。 リセット特性: ゼロにリセット
Forced writes for recovery (リカバリーに対する強制書き込み)	TSGTWTNR	キューに対して指定されているリカバリーによって行われた書き込みの合計数のサブセット。 この入出力アクティビティーは、バッファー割り振りの影響を受けません。 リセット特性: ゼロにリセット
Buffer reads (バッファー読み取り数)	TSGTRDN	制御間隔 (CI) をディスクから読み取る必要がある回数。 このアクティビティーを減らすには、バッファー割り振りを増やします。 リセット特性: ゼロにリセット
Format writes (フォーマット書き込み数)	TSGTWTNF	データ・セット内に、使用可能なスペースの量を増やすために、新規の制御間隔 (CI) がデータ・セットの終わりに正常に書き込まれた回数。 フォーマット済み書き込みは、補助データ・セットで現在使用可能な数の CI がすべて使用されている場合にのみ試行されます。 リセット特性: ゼロにリセット
Temporary storage strings (一時記憶域ストリング)	TSGNVCA	TS= システム初期設定パラメーターまたはオーバーライドで指定された、一時記憶域ストリングの数。 割り振られたストリングの数は、要求された数を超える可能性があります。 リセット特性: リセットなし

表 160. 一時記憶域: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Peak number of strings in use (使用中のストリング数のピーク)	TSGNVCAH	並行入出力操作のピーク数。 この数がシステム初期設定テーブル (SIT) で指定されている数より大幅に小さい場合は、この数に近づくように SIT 値を小さくすることを考慮してください。 リセット特性: 現行値にリセット
Times string wait occurred (ストリング待機発生数)	TSGVWTN	使用可能なストリングがなかったために、キューに入れられた入出力要求の数。 ストリング数がバッファー数と同じ場合は、この数はゼロになります。この数が入出力要求の合計数 (この場合は、TSGTWTN (バッファー書き込み) と TSGTRDN (バッファー読み取り) の合計) に占める割合が高い (30% 以上) 場合は、初期時に割り振られるストリング数を増やすことを検討してください。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak number of users waiting on string (ストリングで待機中のピーク・ユーザー数)	TSGVUWTH	すべてのストリングが使用中であったため、同時にキューに入れられていた入出力要求のピーク数。 リセット特性: 現行値にリセット
Current users waiting on string (ストリングで待機中の現行ユーザー数)	TSGVUWT	すべてのストリングが使用中であるために、キューに入れられている入出力要求の現在の数。 リセット特性: リセットなし
I/O errors on TS data set (TS データ・セットにおける I/O エラー)	TSGSTAAF	一時記憶域データ・セットで発生した入出力エラーの数。 通常、この数はゼロである必要があります。 ゼロでない場合は、CICS および VSAM メッセージを検査して原因を判別してください。 リセット特性: ゼロにリセット
Shared pools defined (定義済み共用プール)	TSGSHPDF	CICS に定義された固有の共用 TS キュー・プールの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Shared pools currently connected (現在接続されている共用プール)	TSGSHPCN	この CICS 領域の接続先の共用 TS プールの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Shared read requests (共用読み取り要求数)	TSGSHRDS	TS キューの共用 TS キュー・プールからの TS READQ 数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *160.* 一時記憶域: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Shared write requests (共用書き込み要求数)	TSGSHWTS	TS キューの共用 TS キュー・プールへの TS WRITEQ 数。 リセット特性: ゼロにリセット

一時記憶域: 要約グローバル統計

一時記憶域の要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 *161.* 一時記憶域: 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Put/Putq main storage requests (主記憶域要求の書き込み)	アプリケーション・プログラムが、主一時記憶域に書き込んだレコードの数。
Get/Getq main storage requests (主記憶域要求の取得)	アプリケーション・プログラムが、主一時記憶域から取得したレコードの数。
Current TSMAINLIMIT setting (現在の TSMAINLIMIT 設定)	CICS が主一時記憶域内のデータ用に使用可能にするストレージ量の現在の制限。
Times at TSMAINLIMIT (TSMAINLIMIT 時の回数)	データ用に許可されているストレージ量の制限を超えて主一時記憶域を使用しようとした回数。
Peak storage used for TSMAINLIMIT (TSMAINLIMIT に使用されるストレージのピーク値)	主一時記憶域内のデータに使用されたストレージのピーク量。
Number of queues auto deleted (自動削除されたキューの数)	CICS がクリーンアップ・タスクを使用して自動的に削除した一時記憶域キューの数。
Count of clean up task runs (クリーンアップ・タスクの実行回数)	適格な一時記憶域キューを自動的に削除する、クリーンアップ・タスクが実行された回数。
Put/Putq auxiliary storage requests (補助記憶域要求の書き込み)	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域に書き込んだレコードの数。
Get/Getq auxiliary storage requests (補助記憶域要求の取得)	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域から取得したレコードの数。
Peak temporary storage names in use (使用中の一時記憶域名のピーク)	特定の時点で使用されている、一時記憶域キューの名前のピーク数。
Number of entries in longest queue (最長のキュー内にあるエントリー数)	いずれか 1 つの一時記憶域キュー内の項目のピーク数 (最大 32767)。
Times queues created (キュー作成回数)	CICS が個々の一時記憶域キューを作成した回数。

表 *161.* 一時記憶域*:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Control interval size (制御間隔サイズ)	一時記憶域データ・セットの VSAM CLUSTER 定義内の CONTROLINTERVALSIZE パラメーターで指定されている、DASD と主記憶域との間の VSAM 伝送単位のサイズ。 通常、大規模な制御間隔 (CI) を使用すると、一度により多くのデータを転送することができるため、システムのオーバーヘッドが少なくなります。
Available bytes per control interval (制御間隔当たりの使用可能バイト数)	一時記憶域データ・セット制御間隔で使用可能なバイト数。
Segments per control interval (制御間隔当たりのセグメント数)	各一時記憶域データ・セット制御間隔で使用可能なセグメント数。
Bytes per segment (セグメントあたりのバイト数)	一時記憶域データ・セットの、セグメントあたりのバイト数。
Writes more than control interval (制御間隔より大きい書き込み)	長さが制御間隔 (CI) のサイズよりも大きかったレコードの書き込み数。 報告された値が大きい値の場合は、CI サイズを増やしてください。 値がゼロの場合、小さい値が報告されるまで CI サイズを小さくしてください。
Longest auxiliary temporary storage record (最長の補助一時記憶域レコード)	一時記憶域データ・セットに書き込まれた最も長いレコードのサイズで、バイトで表されます。
Number of control intervals available (使用可能な制御間隔数)	補助一時記憶域に使用可能な制御間隔 (CI) 数。 この数は、制御間隔数として表される、一時記憶域データ・セット上の使用可能スペースの合計です。 このスペースは、終了時に残っているスペースではありません。
Peak control intervals in use (使用中の制御間隔のピーク数)	アクティブ・データを含んでいる制御間隔 (CI) のピーク数。
Times aux. storage exhausted (補助記憶域を使い果たした回数)	NOSPACE 状態が原因で 1 つ以上のトランザクションが中断されている可能性のある状況、または (HANDLE CONDITION NOSPACE コマンドを使用して) 異常終了を強制された可能性のある状況の数。このフィールドに統計が示される場合は、一時記憶域データ・セットのサイズを増やしてください。
Number of temp. storage compressions (一時記憶域圧縮回数)	一時記憶域バッファーが圧縮された回数。
Temporary storage buffers (一時記憶域バッファー)	TS= システム初期設定パラメーターまたはオーバーライドで指定された、一時記憶域バッファーの数。 割り振られたバッファーの数は、要求された数を超える可能性があります。
Buffer waits (バッファー待機数)	すべてのバッファーが他のタスクに割り振られていたために、要求がキューに入れられた回数です。 バッファー待機は、他のバッファーが使用可能であっても、要求された制御間隔が既にロック済みバッファー内にあるために使用不可となっている場合にも発生します。

表 *161.* 一時記憶域: 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Peak users waiting on buffers (バッファーで待機中のピーク・ユーザー数)	使用可能なバッファーがなかったために、キューに入れられた要求のピーク数。
Buffer writes (バッファー書き込み数)	一時記憶域データ・セットへの書き込みの回数。 これには、リカバリーのために必要な書き込み (『リカバリーに対する強制書き込み』を参照) と、別の制御間隔 (CI) を収容するために必要なバッファーへの書き込みの両方が含まれます。 後者によって生じる入出力アクティビティーを最小限に抑えるには、バッファー割り振りを増やします。
Forced writes for recovery (リカバリーに対する強制書き込み)	キューに対して指定されているリカバリーによって行われた書き込みの合計数のサブセット。 この入出力アクティビティーは、バッファー割り振りの影響を受けません。
Buffer reads (バッファー読み取り数)	制御間隔 (CI) をディスクから読み取る必要がある回数。 このアクティビティーを減らすには、バッファー割り振りを増やします。
Format writes (フォーマット書き込み数)	データ・セット内に、使用可能なスペースの量を増やすために、新規の制御間隔 (CI) がデータ・セットの終わりに正常に書き込まれた回数。 フォーマット済み書き込みは、補助データ・セットで現在使用可能な数の CI がすべて使用されている場合にのみ試行されます。
Temporary storage strings (一時記憶域ストリング)	TS= システム初期設定パラメーターまたはオーバーライドで指定された、一時記憶域ストリングの数。 割り振られたストリングの数は、要求された数を超える可能性があります。
Peak number of strings in use (使用中のストリング数のピーク)	並行入出力操作のピーク数。 この数がシステム初期設定テーブル (SIT) で指定されている数より大幅に小さい場合は、この数に近づくように SIT 値を小さくすることを考慮してください。
Times string wait occurred (ストリング待機発生数)	使用可能なストリングがなかったために、キューに入れられた入出力要求の数。 ストリング数がバッファー数と同じ場合は、この数はゼロになります。この数が入出力要求の合計数 (この場合は、TSGTWTN (バッファー書き込み) と TSGTRDN (バッファー読み取り) の合計) に占める割合が高い (30% 以上) 場合は、初期時に割り振られるストリング数を増やすことを検討してください。
Peak number of users waiting on string (ストリングで待機中のピーク・ユーザー数)	すべてのストリングが使用中であったため、同時にキューに入れられていた入出力要求のピーク数。
I/O errors on TS data set (TS データ・セットにおける I/O エラー)	一時記憶域データ・セットで発生した入出力エラーの数。 通常、この数はゼロである必要があります。 ゼロでない場合は、CICS および VSAM メッセージを検査して原因を判別してください。
Shared pools defined (定義済み共用プール)	CICS に定義された固有の共用 TS キュー・プールの数。

表 *161.* 一時記憶域: 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Shared pools currently connected (現在接続されている共用プール)	この CICS 領域の接続先の共用 TS プールの数。
Shared read requests (共用読み取り要求数)	TS キューの共用 TS キュー・プールからの TS READQ 数。
Shared write requests (共用書き込み要求数)	TS キューの共用 TS キュー・プールへの TS WRITEQ 数。

端末管理統計

端末統計は、いろいろな点においてパフォーマンス分析にとって重要です。 それらの統計から、入出力数、つまりユーザーによるシステムのロードを入手できます。回線伝送の障害およびトランザクションの障害が示されます (これらは、どちらもパフォーマンス動作に悪い影響を与えます)。

端末管理: リソース統計

EXEC CICS COLLECT STATISTICS TERMINAL システム・コマンドを使用して、端末管理: リソース統計を取得できます。これらの統計は DFHA06DS DSECT によってマップされます。

これらの統計は、ISC および IRC (MRO) セッションなど、それぞれの端末ごとに収集されます。

また、この DSECT は、端末合計レコードのマップにも使用される必要があります。

表 *162.* 端末管理: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Term Id (端末 ID)	A06TETI	統計的に定義されたか、自動インストールされたか、または接続用の SESSIONS 定義から生成された各端末の ID です。 リセット特性: リセットなし
LUname (LUNAME)	A06LUNAM	端末 LU 名です。 リセット特性: リセットなし
Terminal Type (端末タイプ)	A06TETT	TCT で定義された端末タイプです。 端末タイプとコードについては、 ASSIGN TERMCODEを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Acc Meth (アクセス方式)	A06EAMIB	TCT で定義された端末アクセス方式です。 これは、「SNA1」、「MRO」、「GAM」、「SNA2」、「BSAM」、または「VTAM」(現在は z/OS Communications Server) になります。アクセス方式およびそのコードについて詳しくは、DFHTCTTE DSECT を参照してください。 リセット特性: リセットなし
Conn ID (接続 ID)	A06SYSID	この端末/セッションの所有接続名です。 リセット特性: リセットなし

表 *162.* 端末管理*:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
No. of Xactions (トランザクション数)	A06TEOT	この端末で開始された、会話型および疑似会話型の両方のトランザクションの数です。 会話型トランザクションを使用している場合、トランザクション数は入力メッセージより少なくなります。 リセット特性: ゼロにリセット オペレーターがサインオフしても、トランザクション数はリセットされません。この場合には、そのオペレーターのトランザクション数を記載したメッセージ DFHSN1200 が発行されます。
Xaction Errors (トランザクション・エラー)	A06TEOE	始動できない特定の端末に関連したトランザクション数です。トランザクション ID が CSD データ・セットで定義されていないか、オペレーターがトランザクションに入力するための正しいセキュリティーを所持していないか、またはトランザクションが使用不可に設定されているかを意味します。 リセット特性: ゼロにリセット オペレーターがサインオフしても、トランザクションのエラー件数はリセットされません。 この場合には、そのオペレーターのトランザクションのエラー件数を記載したメッセージ DFHSN1200 が発行されます。
Storage Viols (記憶保護違反)	A06CSVC	この端末上で発生した記憶保護違反の数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Input Messages (入力メッセージ) 詳しくは、1 (328 ページ) を参照してください。	A06TENI	注を参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット
Output Messages (出力メッセージ) 詳しくは、1 (328 ページ) を参照してください。	A06TENO	注を参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット
Xmission Errors (伝送エラー)	A06TETE	この端末のエラー数、またはこのセッションの切断数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Pipeline Message: NOT IN THE DFHSTUP REPORT (パイプライン・メッセージ: NOT IN THE DFHSTUP REPORT)	A06TCNT	使い捨ての合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Pipeline Message: NOT IN THE DFHSTUP REPORT (パイプライン・メッセージ: NOT IN THE DFHSTUP REPORT)	A06SCNT	連続した使い捨ての数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *162.* 端末管理: リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Pipeline Message: NOT IN THE DFHSTUP REPORT (パイプライン・メッセージ: NOT IN THE DFHSTUP REPORT)	A06MCNT	使い捨ての最大数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Pipeline Message: NOT IN THE DFHSTUP REPORT (パイプライン・メッセージ: NOT IN THE DFHSTUP REPORT)	A06PRTY	端末の優先順位です。 リセット特性: リセットなし
Pipeline Message: TIOA Storage (パイプライン・メッセージ: TIOA ストレージ)	A06STG	この端末で許可されている TIOA ストレージです。 リセット特性: ゼロにリセット
Autoinstall Time: Logon (自動インストール時間: ログオン)	A06ONTM	この端末/セッションが自動インストールされた時間です。この時間は時: 分: 秒. 小数部 で表されます。 DSECT フィールドには、値として保管クロック (STCK) 値が現地時間で入ります。 リセット特性: リセットなし
Autoinstall Time: Logoff (自動インストール時間: ログオフ)	A06OFFTM	この端末/セッションがログオフした時間です。 この時間は時: 分: 秒. 小数部 で表されます。 DSECT フィールドには、値として保管クロック (STCK) 値が現地時間で入ります。 このフィールドは、非送信請求統計 (USS) レコードでのみ設定されますので注意してください。 リセット特性: リセットなし
Autoinstall Time: NOT IN THE DFHSTUP REPORT (自動インストール時間: NOT IN THE DFHSTUP REPORT)	A06GONTM	この端末/セッションが自動インストールされた時間です。 DSECT フィールドには、値として保管クロック (STCK) 値が GMT で入ります。 リセット特性: リセットなし
Autoinstall Time: NOT IN THE DFHSTUP REPORT (自動インストール時間: NOT IN THE DFHSTUP REPORT)	A06GOFTM	この端末/セッションがログオフした時間です。 DSECT フィールドには、値として保管クロック (STCK) 値が GMT で入ります。 このフィールドは、非送信請求統計 (USS) レコードでのみ設定されますので注意してください。 リセット特性: リセットなし

注**:**

1. 入力メッセージ (A06TENI) および出力メッセージ (A06TENO) は、端末ごとのメッセージ・アクティビティーの量です。 入出力メッセージは、CICS と端末の間のメッセージ・トラフィックを表します。 入力トラフィックは、オペレーターによって開始された入力の結果です。つまり、初期トランザクション入力、またはその端末に対する会話型読み取りの結果としての入力です。 出力メッセージは、アプリケーション・プログラムによって書き込まれる出力か、または CICS によって送信されるメッセージです。

使用されるアプリケーション・プログラムは端末ごとに異なるため、入出力メッセージはさまざまです。ATI によって開始されたトランザクションには、通常、端末入力はありませんが、1 つ以上の出力メッセージが結果として生成されます。 バッチ指向の端末は、端末に対して複数の読み取りを行った単一トランザクションを開始し、その結果、複数の入力メッセージを生成します。 リモート端末とローカル端末の数の違いは、その端末上で実行されているアプリケーションの違いによるものです。 それ以外は類似しています。

端末管理: 要約リソース統計

端末管理の要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

表 *163.* 端末管理*:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
Term Id (端末 ID)	統計的に定義されたか、自動インストールされたか、または接続用の SESSIONS 定義から生成された各端末の ID です。
LUname (LUNAME)	端末 LU 名です。
Terminal Type (端末タイプ)	TCT で定義された端末タイプです。 端末タイプとコードについては、 ASSIGN TERMCODEを参照してください。
Acc Meth (アクセス方式)	TCT で定義された端末アクセス方式です。 これは、「SNA1」、「MRO」、「GAM」、「SNA2」、「BSAM」、または「VTAM」(現在は z/OS Communications Server) になります。 アクセス方式およびそのコードについて詳しくは、DFHTCTTE DSECT を参照してください。
Conn ID (接続 ID)	この端末/セッション用の所有接続名に対して検出された最後の値です。
No. of Xactions (トランザクション数)	この端末で開始された、会話型および疑似会話型の両方のトランザクションの数です。 会話型トランザクションを使用している場合、トランザクション数は入力メッセージより少なくなります。 オペレーターがサインオフしても、トランザクション数はリセットされません。 この場合には、そのオペレーターのトランザクション数を記載したメッセージ DFHSN1200 が発行されます。
Xaction Errors (トランザクション・エラー)	始動できない特定の端末に関連したトランザクション数です。 トランザクション ID が CSD データ・セットで定義されていないか、オペレーターがトランザクションに入力するための正しいセキュリティーを所持していないか、またはトランザクションが使用不可に設定されているかを意味します。 オペレーターがサインオフしても、トランザクションのエラー件数はリセットされません。この場合には、そのオペレーターのトランザクションのエラー件数を記載したメッセージ DFHSN1200 が発行されます。
Storage Viols (記憶保護違反)	この端末上で発生した記憶保護違反の数です。
Input Messages (入力メッセージ)	注を参照してください。
Output Messages (出力メッセージ)	注を参照してください。
Xmission Errors (伝送エラー)	この端末のエラー数、またはこのセッションの切断数です。
Pipeline Message: Avg TIOA Storage (パイプライン・メッセージ: 平均 TIOA ストレージ)	この端末によって使用される TIOA ストレージの平均です。

表 *163.* 端末管理: 要約リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Pipeline Message: Avg logged on time (パイプライン・メッセージ: 平均ログオン時間)	自動インストールされた端末/セッションに対するログオン時間の平均です。 端末/セッションが自動インストールされていない場合、このフィールドはブランクになります。

注: 入力メッセージおよび出力メッセージは、端末ごとのメッセージ・アクティビティーの量です。入出力メッセージは、CICS と端末の間のメッセージ・トラフィックを表します。入力トラフィックは、オペレーターによって開始された入力の結果です。つまり、初期トランザクション入力、またはその端末に対する会話型読み取りの結果としての入力です。出力メッセージは、アプリケーション・プログラムによって書き込まれる出力か、または CICS によって送信されるメッセージです。

使用されるアプリケーション・プログラムは端末ごとに異なるため、入出力メッセージはさまざまです。ATI によって開始されたトランザクションには、通常、端末入力はありませんが、1 つ以上の出力メッセージが結果として生成されます。 バッチ指向の端末は、端末に対して複数の読み取りを行った単一トランザクションを開始し、その結果、複数の入力メッセージを生成します。 リモート端末とローカル端末の数の違いは、その端末上で実行されているアプリケーションの違いによるものです。 それ以外は類似しています。

トランザクション・クラス (TCLASS) 統計

トランザクション・クラス: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TRANCLASS システム・コマンドを使用して、トランザクション・クラスのリソース統計を取得できます。これらの統計は DFHXMCDS DSECT によってマップされます。

表 *164.* トランザクション・クラス: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Tclass Name (トランザクション・クラス名)	XMCTCL	トランザクション・クラスの 8 文字の名前。 リセット特性: リセットなし
Number Trandfs (トランザクション定義数)	XMCITD	このトランザクション・クラスに所属するように定義された、インストール済みトランザクション定義の数。 **注:** トランザクション定義テーブルの最終バージョンからの参照数になります。 この統計は、冗長トランザクション・クラスの識別に便利です。 リセット特性: リセットなし

表 *164.* トランザクション・クラス*:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Max Act (最大アクティブ)	XMCMXT	名前を指定されたトランザクション・クラス内で並行してアクティブにできるトランザクションの最大数。 リセット特性: リセットなし
Purge Thresh (パージしきい値)	XMCTH	名前を指定されたトランザクション・クラス内のトランザクションが、そのトランザクション・クラスのメンバーシップを求めて待機しているトランザクションのキューに追加される代わりにパージされる、パージしきい値のキュー限界。 リセット特性: リセットなし
TOTAL		
–Attaches	XMCTAT	このトランザクション・クラス内のトランザクションに対して行われた接続要求の合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
–AcptImm	XMCAI	このトランザクション・クラス内でアクティブになるためにキューに入る必要がなかったトランザクションの数。それらのトランザクションは即時に受け入れられます。 リセット特性: ゼロにリセット
–PrgImm	XMCPI	キューがこのトランザクション・クラスのパージしきい値に到達したために即時にパージされたトランザクションの数。 リセット特性: ゼロにリセット
–Queued	XMCTQ	このトランザクション・クラスに対してキューに入れられたトランザクションの合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
NOT IN THE DFHSTUP REPORT	XMCAAQ	このトランザクション・クラス内でアクティブになったが、その前にキューに入れられたトランザクションの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *164.* トランザクション・クラス*:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
–PrgQ'd	XMCPWQ	トランザクション・クラスへの受け入れを求めてキューに入れられている間にパージされたトランザクションの数。 これには、マスター端末を通じて明示的にパージされたもの、およびトランザクション・クラスのパージしきい値が下げられたために暗黙的にパージされたものも含まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
–Q-Time	XMCTQTME	トランザクション・クラス内でキューに入れられたトランザクションが待機に費やした合計時間 (STCK 単位)。 **注:** この時間には、待機を完了したものによって費やされた時間のみが含まれます。 待機時間の平均を計算するために、現在のキューは「キュー済み」のカウントから減算する必要があります。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak Act (アクティブのピーク)	XMCPAT	そのトランザクション・クラス内で到達したアクティブ・トランザクションの最高数。 リセット特性: 現行値にリセット
Peak Queued (キューに入れられたピーク)	XMCPQT	そのトランザクション・クラスに入るために待機しているキューに入れられたトランザクションの最高数。 リセット特性: 現行値にリセット
Times MaxAct (最大アクティブの回数)	XMCTAMA	トランザクション・クラス内のアクティブ・トランザクションの数がその最大値 (XMCMXT) と同じになった回数。 また、トランザクション・クラスの maxactive 設定がゼロになった回数、およびトランザクション・クラス内にアクティブ・トランザクションが存在しなかった回数も登録します。 リセット特性: ゼロか、トランザクション・クラスが現在その maxactive 限界にある場合には、1 にリセット

表 *164.* トランザクション・クラス*:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Times PrgThr (パージしきい値の回数)	XMCTAPT	トランザクション・クラスのパージしきい値に到達した回数 (パージしきい値の回数)。 リセット特性: ゼロか、トランザクション・クラスが現在そのパージしきい値の限界にある場合には、1 にリセット
CURRENT		
–Act	XMCCAT	このトランザクション・クラス内で現在アクティブになっているトランザクションの現在の数。 リセット特性: リセットなし
–Queued	XMCCQT	このトランザクション・クラス内で現在キューに入れられているトランザクションの数。 リセット特性: リセットなし
–Queue Time	XMCCQTME	このトランザクション・クラス内で現在キューに入れられているトランザクションが待機に費やした合計時間 (STCK 単位)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMC_TCLASS_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。 この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMC_TCLASS_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMC_TCLASS_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

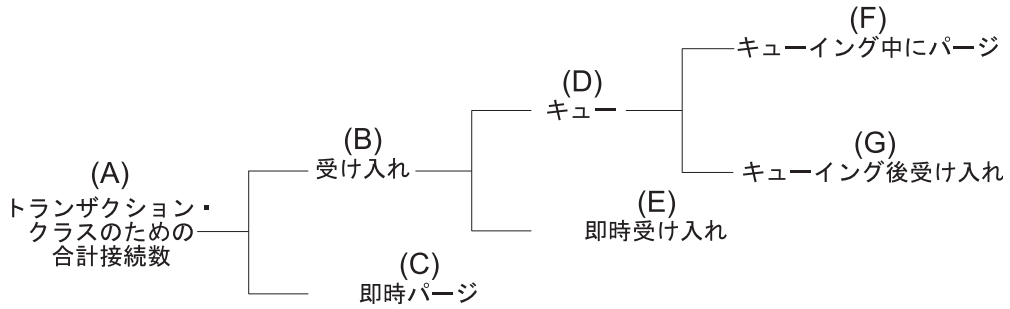
表 *164.* トランザクション・クラス*:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMC_TCLASS_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMC_TCLASS_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMC_TCLASS_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMC_TCLASS_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

335 ページの図 2 は、トランザクション・クラス統計を示しています。



トランザクション・クラスのための接続	=A		(XMCTAT)
受け入れ	=B	(A - C)	
即時パージ	=C		(XMCPI)
キュー	=D	(B - E)	
即時受け入れ	=E	(B - D)	(XMCAI)
キューイング中にパージ	=F		(XMCPWQ)
キューイング後受け入れ	=G	(D - F)	(XMCAAQ)

図 *2.* トランザクション・クラス統計

トランザクション・クラス: 要約リソース統計

トランザクション・クラスの要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

表 *165.* トランザクション・クラス: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
Tclass Name (トランザクション・クラス名)	トランザクション・クラスの 8 文字の名前です。
Max Act (最大アクティブ)	並行してアクティブである可能性がある指定された tclass 内のトランザクションの最大数。
Purge Thresh (パージしきい値)	指定された tclass 内のトランザクションが、そのトランザクション・クラスのメンバーシップを求めて待機しているトランザクションのキューに追加される代わりにパージされるキュー限界。
Total (合計**)**	
–Attaches	このトランザクション・クラス内のトランザクション用に作成される接続要求の合計数です。
–AccptImm	このトランザクション・クラス内でアクティブになるためにキューに入る必要のないトランザクションの合計数。
–PurgdImm	キューがこのトランザクション・クラスのパージしきい値に到達しているために即時にパージされるトランザクションの合計数。

表 *165.* トランザクション・クラス: 要約リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
–Queued	このトランザクション・クラス内でキューに入れられたトランザクションの合計数。
–PurgQ'd	トランザクション・クラスへの受け入れを求めて待機している間にパージされたトランザクションの合計数。 これには、マスター端末を通じて明示的にパージされたものや、トランザクション・クラスのパージしきい値が下げられたために暗黙的にパージされたものも含まれます。
–Queuing-Time	キューに入れられたトランザクションが待機に費やした合計時間。 この時間には、待機を完了したものによって費やされた時間のみが含まれるため、注意してください。 待機時間の平均を計算するために、現在のキューは「キュー済み」のカウントから減算する必要があります。
Peak Act (アクティブのピーク)	そのトランザクション・クラス内で到達したアクティブ・トランザクションの最高数。
Peak Queued (キューに入れられたピーク)	そのトランザクション・クラスに入るために待機しているキューに入れられたトランザクションの最高数。
Times Max Act (最大アクティブの回数)	トランザクション・クラス内のアクティブ・トランザクションの数がその最大値と同じになった回数の合計数。
Times PurgeThr (パージしきい値の回数)	パージしきい値に到達した回数の合計数。
Average Queuing-Time (平均キュー - 時間)	キューに入れられたトランザクションが待機に費やした平均時間。

トランザクション統計

統計には、グローバル統計と、各トランザクションごとの統計があります。

サンプル統計プログラム DFH0STAT で作成されるトランザクション・レポートについては、トランザクション・レポートを参照してください。

トランザクション統計の解釈

トランザクション統計を利用して、トランザクション別のストレージ使用量を調べ、ストレージの問題と違反を見つけることができます。

337 ページの『トランザクション・マネージャー: グローバル統計』 では、「**MAXTASK** 限度に達した回数 **(Times the MAXTASK limit reached)**」統計によって、MXT がシステムを制約しているかどうか、またはトランザクションに関連する UOW の強制解決によって整合性の問題が発生していないかがわかります。このようにシステムを制約する必要があるのは、仮想記憶の使用量を減らす場合に限られます。

ほとんどの CICS 仮想記憶は 16 MB 境界の上にあるため、MXT 制約を使用せずにシステムを稼働できます。ただし、CICS は、ストレージが使用されるかどうかに関係なく、各 MXT ごとに 16 MB 境界の上または下でストレージの事前割り振りを行うことに注意してください。MXT を変更すると、動的ストレージ域の計算に影響がでます。 詳細については、最大タスク仕様 (MXT) の設定を参照してください。

339 ページの『トランザクション: リソース統計』の統計を使用して、記憶保護に違反したトランザクション (ある場合) を見つけることができます。キャパシティー・プランニングにこれらの統計を使用することもできます。 ただし、多くのシステムで、トランザクションあたりのコストが増大すると同時に、トランザクション比率も増大することに注意してください。

トランザクション・マネージャー: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TRANSACTION システム・コマンドを使用して、トランザクション・マネージャーのグローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHXMGDS DSECT によってマップされます。

表 *166.* トランザクション・マネージャー: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total number of transactions (user + system) (合計トランザクション数 (ユーザー + システム))	XMGNUM	そのシステムで実行されたトランザクションの数です (ユーザー + システム)。 リセット特性: ゼロにリセット
Current MAXTASKS limit (現行 MAXTASKS 限度)	XMGMXT	SIT に指定されているか、オーバーライドとして指定されているか、CEMT SET SYSTEM MAXTASKS (値) または EXEC CICS SET SYSTEM MAXTASKS (フルワード・バイナリー・データ値) コマンドを使用して動的に変更された最新の MXT 値 (タスクの数として表したもの) です。 リセット特性: リセットなし
Time MAXTASKS last changed (MAXTASKS の最終変更時刻)	XMGLSMXT	ユーザー・トランザクション最大数 (MXT) が動的に設定または変更された最終日時です。 DFHSTUP レポートでは、この時刻は「日/月/年 時:分:秒:小数部」として表されますが、DSECT フィールドには現地時間の保管クロック (STCK) の値として時刻が入ります。 リセット特性: リセットなし
Current number of active user transactions (現在アクティブなユーザー・トランザクション数)	XMGCAT	システム内のアクティブ・ユーザー・トランザクションの現在の数です。 リセット特性: リセットなし

表 *166.* トランザクション・マネージャー*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
トランザクションの最終接続時刻	XMGLTAT	最後のユーザー・トランザクションが接続された日時です。 DFHSTUP レポートでは、この時刻は「日/月/年 時:分:秒:小数部」として表されますが、DSECT フィールドには現地時間の保管クロック (STCK) の値として時刻が入ります。 DFHSTUP レポートで日時が --/--/---- --:--:--:---- と示される場合は、統計が最後にリセットされてからユーザー・トランザクションが接続されていないことを表しています。 リセット特性: ゼロにリセット
Current number of MAXTASK queued user transactions (現在の MAXTASK 待機ユーザー・トランザクションの数)	XMGCQT	システム内でキューに入れられたユーザー・トランザクションの現在の数です。 これには、トランザクション・クラスのメンバーシップを求めて待機しているトランザクションは含まれないため、注意してください。 これらのトランザクションに対する現在の待機時間は、フィールド XMGCQTME にあります。 リセット特性: リセットなし
Times the MAXTASKS limit reached (MAXTASKS 限度に達した回数)	XMGTAMXT	MXT 限度に到達した回数です。 リセット特性: ゼロ (または MXT の場合は 1) にリセット
Time the MAXTASKS limit last reached (MAXTASKS 限度に最後に達した時刻)	XMGLAMXT	アクティブなユーザー・トランザクションの数が指定済みユーザー・トランザクション最大数 (MXT) と等しくなった最後の日時です。 DFHSTUP レポートでは、この時刻は「日/月/年 時:分:秒:小数部」として表されますが、DSECT フィールドには現地時間の保管クロック (STCK) の値として時刻が入ります。 リセット特性: リセットなし
Currently at MAXTASKS limit (現在 MAXTASKS 限界に到達)	XMGATMXT	CICS 領域がユーザー・トランザクション最大数 (MXT) に現在達しているかどうかを示します。 リセット特性: リセットなし
Peak number of MAXTASK queued user transactions (MAXTASK 待機ユーザー・トランザクションが達したピーク数)	XMGPQT	システム内で MAXTASK 待機ユーザー・トランザクションが到達したピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット (XMGCQT)
Peak number of active user transactions (アクティブなユーザー・トランザクションのピーク数)	XMGPAT	アクティブになったユーザー・トランザクションの数です。 リセット特性: 現行値にリセット (XMGCAT)
Total number of active user transactions (アクティブなユーザー・トランザクションの合計数)	XMGTAT	アクティブになったユーザー・トランザクションの合計数です。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *166.* トランザクション・マネージャー: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Total number of MAXTASK delayed user transactions (MAXTASK 遅延ユーザー・トランザクションの合計数)	XMGTDT	MXT が原因で待機が必要となったユーザー・トランザクションの数です。 この値には、MXT に対して現在待機中のトランザクションは含まれません (XMGCQT を参照)。 これらのトランザクションに対する待機時間は、フィールド XMGTQTME にあります。 リセット特性: ゼロにリセット
Total MAXTASK queuing time (MAXTASK 待機時間の合計)	XMGTQTME	MXT が原因で待機が必要となったユーザー・トランザクションによって待機に費やされた合計時間です。 この値には、MXT に対して現在待機中のトランザクションによって費やされた時間は含まれません (XMGCQTME を参照)。 リセット特性: ゼロにリセット
Total MAXTASK queuing time of currently queued user transactions (現在キューに入れられたユーザー・トランザクションの MAXTASK 待機時間の合計)	XMGCQTME	MXT が原因で現在待機中のユーザー・トランザクションが、これまでに待機に費やした合計時間です。 リセット特性: リセットなし

トランザクション: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TRANSACTION システム・コマンドを使用して、トランザクション・リソース統計を取得できます。これらの統計は DFHXMRDS DSECT によってマップされます。トランザクション・マネージャー・リソース統計の DFHSTUP レポートには、リソース情報 と保全性情報 の 2 つのセクションがあります。

- 『トランザクション: リソース統計 - リソース情報』
- 342 ページの『トランザクション: リソース統計 - 保全性情報』

トランザクション: リソース統計 - リソース情報

トランザクション統計は、各トランザクションが呼び出される頻度を示します。

表 *167.* トランザクション: リソース統計 - リソース情報

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Trans ID (トランザクション ID)	XMRTI	トランザクション定義に関連付けられたトランザクション ID。 リセット特性: リセットなし
Program Name (プログラム名)	XMRPN	トランザクションがリンクした初期プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
Tclass Name (トランザクション・クラス名)	XMRTCL	トランザクションが定義されているトランザクション・クラスの名前。 リセット特性: リセットなし

表 *167.* トランザクション*:* リソース統計 - リソース情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Prty (優先順位)	XMRPRTY	0 から 255 までのトランザクションの優先順位。 リセット特性: リセットなし
Remote Name (リモート名)	XMRRNAM	リモート・システム上のトランザクションの名前。 リセット特性: リセットなし
Remote Sysid (リモート・システム識別名)	XMRRSYS	トランザクションが存在するリモート・システムの名前。 リセット特性: リセットなし
Dynamic (動的)	XMRDYN	トランザクションが DYNAMIC=YES (Y) として定義されるか DYNAMIC=NO (N) として定義されるかを示します。 リセット特性: リセットなし
Attach Count (接続回数)	XMRAC	このトランザクションが接続された回数。トランザクション定義を使用して、トランザクションをリモートで開始する場合は、そのトランザクションが実行する領域の「Attach Count (接続回数)」に組み込まれます。 リセット特性: ゼロにリセット
Retry Count (再試行カウント)	XMRRC	このトランザクション定義がトランザクションの再試行に使用された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Dynamic Local (動的ローカル)	XMRDLC	動的トランザクション・ルーティング出口が、このトランザクションをローカル・システムで実行することを選択した回数。 トランザクションが DYNAMIC=YES として定義されていない場合、このフィールドはゼロです。 動的トランザクション・ルーティングについて詳しくは、動的ルーティング・プログラムの書き込み のプログラミング情報を参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット
Dynamic Remote (動的リモート)	XMRDRC	動的トランザクション・ルーティング出口が、このトランザクションをリモート・システムで実行することを選択した回数。 トランザクションが DYNAMIC=YES として定義されていない場合、このフィールドはゼロです。 動的トランザクション・ルーティングについて詳しくは、動的ルーティング・プログラムの書き込み のプログラミング情報を参照してください。 リセット特性: ゼロにリセット

表 167. トランザクション: リソース統計 - リソース情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Remote Starts (リモート開始)	XMRRSC	リモート・システム上でトランザクションの開始を試行するためにこのトランザクション定義が使用された回数。 (これは、必ずしも正常開始の数とは同じではないことがあります。) リモート・スタートは、トランザクションが実行するリモート・システムではなく、プロセスを開始した CICS 領域でカウントされます。 状況によっては、リモート・スタートのトランザクション定義を使用した場合は、カウントされないことがあります。このような場合としては、REMOTESYSTEM 値としてローカルのシステム ID を指定しているトランザクション定義、または何も指定していないトランザクション定義を用いて、START コマンドの SYSID オプションでリモート・システムを指定して、リモート・システムでトランザクションを開始する場合があります。 リセット特性: ゼロにリセット
Storage Violations (記憶保護違反)	XMRSVC	CICS ストレージ管理によって検出された、このトランザクションの記憶保護違反の回数。 この統計値が実動システムで発生する場合には、深刻な問題となります。 データ破壊につながるため、即時に問題の原因を識別し、操作可能システムで問題が継続しないようにする必要があります。 リセット特性: ゼロにリセット
Abend Count (異常終了数)	XMRAENDC	このトランザクションが異常終了した回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMR_TRAN_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMR_TRAN_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMR_TRAN_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMR_TRAN_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし

表 *167.* トランザクション*:* リソース統計 - リソース情報 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMR_TRAN_ENTRYPOINT	トランザクションがアプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されるかどうか。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMR_TRAN_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMR_TRAN_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	XMR_TRAN_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

トランザクション: リソース統計 - 保全性情報

保全性情報統計は、関連するシステムでの決定にかかわらず UOW を中断することができないか、または UOW を強制的に中断して完了したために、トランザクションの実行時に発生する可能性がある潜在的な保全性の露出を示します。

表 *168.* トランザクション*:* リソース統計 - 保全性情報

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Trans ID (トランザクション ID)	XMRTI	トランザクション定義に関連付けられたトランザクション ID です。 リセット特性: リセットなし

表 *168.* トランザクション*:* リソース統計 - 保全性情報 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Indoubt Wait (未確定待機)	XMRIWTOP	2 フェーズ・コミット未確定ウィンドウ障害のイベントの Indoubt Waiting をサポートするように、トランザクションが定義されているかどうかの指標です。 つまり、障害のある UOW は、そのコーディネーターとの再同期化の待機中に、CICS リカバリー・マネージャーによって中断されます。 未確定待機オプションには、以下を設定することができます。 • XMRIWTY = 'Y' = トランザクションは、待機をサポートすることができます。 • XMRIWTN = 'N' = トランザクションは、待機をサポートすることはできません。 リセット特性: リセットなし
Indoubt Wait timeout (未確定待機タイムアウト)	XMRITOV	このトランザクション用に定義された未確定待機タイムアウトで、分で指定されます。 この値は、そのトランザクションが未確定を待機できるように定義されている場合にのみ有効です (XMRIWTOP 参照)。 値ゼロは、このトランザクションが CICS リカバリー・マネージャーによって中断されるタイムアウトがないことを指定します。 リセット特性: リセットなし
Indoubt Action (未確定アクション)	XMRIACTN	未確定待機障害が発生した場合に、未確定を待機できない (中断された) イベントの中で、このトランザクションがその UOW をコミットする方法の指標です。 トランザクションが既に待機している場合は、指定済みのタイムアウト値は失効します。 いずれのイベントも、このフィールドで指定された方向で UOW の解決を強制します。 値は、以下のとおりです。 • XMRIACOM = 'C' = UOW は順方向の同期点 • XMRIABCK = 'B' = UOW は逆方向の同期点 (ロールバック) リセット特性: リセットなし
Indoubt Waits (未確定待機)	XMRIWAIT	このトランザクションの代わりに実行している UOW に対して発生した、未確定待機 (中断) の数です。 リセット特性: リセットなし
Indoubt action forced: Trandefn (強制的未確定アクション: トランザクション定義)	XMRFATXN	このトランザクション ID のトランザクション定義が未確定待機をサポートできないように指定されているために (つまり、XMRIWTOP = XMTIWTN)、このトランザクション ID が未確定障害の発生時に中断できない UOW を所有した回数です。 UOW は、この分散 UOW に参加した他の領域によって実行されたアクションに関係なく、XMRIACTN によって指定された方向で解決することを強制されたはずです。 リセット特性: リセットなし

表 *168.* トランザクション: リソース統計 - 保全性情報 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Indoubt action forced: Timeout (強制的未確定アクション: タイムアウト)	XMRFAIT	このトランザクション ID が、未確定障害のために中断されたにもかかわらず、未確定待機タイムアウト値 (XMRITOV) を超過したために、そのリカバリー・コーディネーターが予定より早く終了し、再同期を待機した UOW を所有した回数です。UOW は、この分散 UOW に参加した他の領域によって実行されたアクションに関係なく、XMRIACTN によって指定された方向で解決することを強制されたはずです。 リセット特性: リセットなし
Indoubt action forced: Operator (強制的未確定アクション: オペレーター)	XMRFAOP	このトランザクション ID が、未確定障害のために中断されたにもかかわらず、オペレーター(CEMT) またはシステム・コマンドが解決を強制したために、そのリカバリー・コーディネーターが予定より早く終了し、再同期を待機した UOW を所有した回数です。UOW は、この分散 UOW 内の他の任意の関係領域によって取られたアクションに関係なく、デフォルトで XMRIACTN によって指定された方向か、またはオペレーターによって指定された方向での解決を強制されます。 リセット特性: ゼロにリセット
Indoubt action forced: No waiting (強制的未確定アクション: 待機なし)	XMRFANW	トランザクション定義では未確定障害の発生時に中断できる (XMRIWTOP = XMRIWTY) と指定されているにもかかわらず、その UOW で使用されているリソース・マネージャー (RMI)、CICS リソース、または CICS 接続が未確定待機 (中断) をサポートすることができないため、中断することができない UOW をこのトランザクション ID が所有した回数です。UOW は、この分散 UOW 内の他の任意の関係領域によって取られたアクションに関係なく、XMRIACTN によって指定された方向での解決を強制されます。 リセット特性: ゼロにリセット
Indoubt action forced: Other (強制的未確定アクション: その他)	XMRFAOT	このトランザクション ID が、未確定障害のために中断されたにもかかわらず、この表で既に言及している理由以外の理由でそのリカバリー・コーディネーターが予定より早く終了し、再同期を待機した UOW を所有した回数です。これは、例えば、コールド・スタートされたリカバリー・コーディネーター、再同期プロトコル違反または障害、あるいはリソース・マネージャー (RMI) アダプターのレベルが未確定の解決をサポートするように変更されていないために発生します。 UOW は、この分散 UOW 内の他の任意の関係領域によって取られたアクションに関係なく、XMRIACTN によって指定された方向での解決を強制されます。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *168.* トランザクション*:* リソース統計 - 保全性情報 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Action mismatch (アクション・ミスマッチ)	XMRAMISM	このトランザクション ID が、定義、オプション、またはオペレーターによる指定変更 (この表で既に言及しているフィールドの説明を参照) のいずれかによって未確定アクション属性を使用した解決を強制され、そのときに関係するシステムまたはリソース・マネージャー (RMI) との未確定アクション属性の不一致が検索された UOW を所有した回数です。例えば、分散 UOW の参加システムは、作業を解決しますが (フォワード)、他のシステムは作業をバックアウトします。 この反対も同様です。 リセット特性: ゼロにリセット

トランザクション・マネージャー: 要約グローバル統計

トランザクション・マネージャーの要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 *169.* トランザクション・マネージャー*:* 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Total number of transactions (user + system) (合計トランザクション数 (ユーザー + システム))	システム内で実行されたタスクの合計数です。
MAXTASK limit (MAXTASK 限度)	SIT で指定されたか、オーバーライドとして指定されたか、あるいは **EXEC CICS SET SYSTEM MAXTASKS (フルワード・バイナリー・データ値)** コマンドを使用して動的に変更された、最新の MXT 値 (タスク数で表わす) です。
Time the MAXTASK limit last changed (MAXTASK 限度の最終変更時刻)	ユーザー・トランザクション最大数 (MXT) が動的に設定または変更された最終日時です。
Times the MAXTASK limit reached (MAXTASK 限度に達した回数)	MXT に到達した回数の合計数です。
Time the MAXTASK limit last reached (MAXTASK 限度に最後に達した時刻)	アクティブなユーザー・トランザクションの数が指定済みユーザー・トランザクション最大数 (MXT) と等しくなった最後の日時です。
Peak number of MAXTASK queued user transactions (MAXTASK 待機ユーザー・トランザクションが達したピーク数)	システム内で MAXTASK 待機ユーザー・トランザクションが到達したピーク数です。
Peak number of active user transactions (アクティブなユーザー・トランザクションのピーク数)	システム内でアクティブ・ユーザー・トランザクションが到達したピーク数です。
Total number of active user transactions (アクティブなユーザー・トランザクションの合計数)	アクティブになったユーザー・トランザクションの合計数です。

表 *169.* トランザクション・マネージャー*:* 要約グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Total number of MAXTASK delayed user transactions (MAXTASK 遅延ユーザー・トランザクションの合計数)	MXT が原因で待機が必要となったトランザクションの合計数です。
Total MAXTASK queuing time (MAXTASK 待機時間の合計)	MXT が原因で待機が必要となったユーザー・トランザクションによって待機に費やされた合計時間です。
Average MAXTASK queuing time of queued transactions (キューに入れられたトランザクションの平均 MAXTASK 待機時間)	MXT が原因で待機が必要となったユーザー・トランザクションによって待機に費やされた平均時間です。

トランザクション: 要約リソース統計 - リソース情報

トランザクションの要約リソース統計 - リソース情報は、オンラインでは使用できません。

表 *170.* トランザクション*:* 要約リソース統計 - リソース情報

DFHSTUP 名	説明
Trans ID (トランザクション ID)	トランザクション定義と関連するトランザクション ID です。
Program Name (プログラム名)	トランザクションがリンクされた初期プログラムの名前です。
Tclass Name (トランザクション・クラス名)	トランザクションが定義されるトランザクション・クラスの名前です。
Prty (優先順位)	1 から 255 までのトランザクションの優先順位です。
Remote Name (リモート名)	リモート・システム上のトランザクションの名前です。
Remote Sysid (リモート・システム識別名)	トランザクションが常駐するリモート・システムの名前です。
Dynamic (動的)	トランザクションが DYNAMIC=YES (Y) として定義されるか DYNAMIC=NO (NO) として定義されるかを示します。
Attach Count (接続回数)	このトランザクションが接続された回数です。 トランザクション定義を使用して、トランザクションをリモートで開始する場合は、そのトランザクションが実行する領域の「Attach Count (接続回数)」に組み込まれます。
Retry Count (再試行カウント)	このトランザクション定義がトランザクションの再試行に使用された回数の合計数です。
Dynamic Local (動的ローカル)	動的トランザクション・ルーティング出口が、ローカル・システム上でこのトランザクションを実行することを選択した回数の合計数です。 トランザクションが DYNAMIC=YES として定義されていない場合、このフィールドはゼロです。動的トランザクション・ルーティングに関する詳細およびプログラミング情報については、動的ルーティング・プログラムの書き込み を参照してください。
Dynamic Remote (動的リモート)	動的トランザクション・ルーティング出口が、リモート・システム上でこのトランザクションを実行することを選択した回数の合計数です。 トランザクションが DYNAMIC=YES として定義されていない場合、このフィールドはゼロです。動的トランザクション・ルーティングについて詳しくは、動的ルーティング・プログラムの書き込み を参照してください。

表 *170.* トランザクション*:* 要約リソース統計 - リソース情報 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Remote Starts (リモート開始)	このトランザクション定義が、リモート・システム上でのトランザクションの開始の再試行に使用された回数です。 (これは、必ずしも正常開始の数とは同じではないことがあります。) リモート・スタートは、トランザクションが実行するリモート・システムではなく、プロセスを開始した CICS 領域でカウントされます。 状況によっては、リモート始動にトランザクション定義を使用してもカウントされない場合があります。例えば、REMOTESYSTEM 値としてローカル・システム ID を指定しているか、あるいは何も指定していないトランザクション定義を使用し、START コマンドの SYSID オプションでリモート・システムを指定して、そのリモート・システムでトランザクションを開始する場合などです。
Storage Violations (記憶保護違反)	CICS ストレージ管理によって検出された、このトランザクションの記憶保護違反の回数の合計数です。 実動システムで発生する場合には、深刻な問題となります。 データ破壊につながるため、即時に問題の原因を識別し、操作可能システムで問題が継続しないようにする必要があります。
Abend Count (異常終了数)	このトランザクションが異常終了した合計回数です。

トランザクション: 要約リソース統計 - 保全性情報

トランザクションの要約リソース統計 - 保全性情報は、オンラインでは使用できません。

表 *171.* トランザクション*:* 要約リソース統計 - 保全性情報

DFHSTUP 名	説明
Trans ID (トランザクション ID)	トランザクション定義に関連付けられたトランザクション ID です。
Indoubt Wait (未確定待機)	2 フェーズ・コミット未確定ウィンドウ障害のイベントの未確定待機をサポートするようにトランザクションが定義されているかどうかの指標に対して、最後に検出された値です。つまり、障害のある UOW は、そのコーディネーターとの再同期化の待機中に、CICS リカバリー・マネージャーによって中断されます。
Indoubt Wait timeout (未確定待機タイムアウト)	このトランザクション用に定義された未確定待機タイムアウト (分で指定) に対して、最後に検出された値です。この値は、そのトランザクションが未確定を待機できるように定義されている場合にのみ有効です (「Indoubt Wait (未確定待機)」参照)。値ゼロは、このトランザクションが CICS リカバリー・マネージャーによって中断されるタイムアウトはないことを指定します。
Indoubt Action (未確定アクション)	未確定待機障害が発生した場合、未確定を待機できない (中断された) イベントの中で、このトランザクションがその UOW をコミットする方法の指標に対して、最後に検出された値です。トランザクションが既に待機している場合は、指定済みのタイムアウト値は失効します。いずれのイベントも、このフィールドで指定された方向で UOW の解決を強制します。
Indoubt Waits (未確定待機)	このトランザクションの代わりに実行している UOW に対して発生した、未確定待機 (中断) の数です。
Indoubt action forced: Trandefn (強制的未確定アクション: トランザクション定義)	このトランザクション ID のトランザクション定義が未確定待機をサポートできないように指定されているために (つまり、Indoubt Wait = No)、このトランザクション ID が未確定障害の発生時に中断できない UOW を所有した回数です。 UOW は、この分散 UOW 内の他の任意の関係領域によって取られたアクションに関係なく、「Indoubt Action (未確定アクション)」によって指定された方向での解決を強制されます。

表 171. トランザクション: 要約リソース統計 - 保全性情報 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Indoubt action forced: Timeout (強制的未確定アクション: タイムアウト)	このトランザクション ID が、未確定障害のために中断されたにもかかわらず、未確定待機タイムアウト値を超過したために、そのリカバリー・コーディネーターが予定より早く終了し、再同期を待機した UOW を所有した回数です。 UOW は、この分散 UOW 内の他の任意の関係領域によって取られたアクションに関係なく、「Indoubt Action (未確定アクション)」によって指定された方向での解決を強制されます。
Indoubt action forced: Operator (強制的未確定アクション: オペレーター)	このトランザクション ID が、未確定障害のために中断されたにもかかわらず、オペレーター(CEMT) またはシステム・コマンドが解決を強制したために、そのリカバリー・コーディネーターが予定より早く終了し、再同期を待機した UOW を所有した回数です。 UOW は、この分散 UOW 内の他の任意の関係領域によって取られたアクションに関係なく、デフォルトで「Indoubt Action (未確定アクション)」によって指定された方向か、あるいはオペレーターによって指定された方向での解決を強制されます。
Indoubt action forced: No waiting (強制的未確定アクション: 待機なし)	トランザクション定義では未確定障害の発生時に中断できる (Indoubt Wait = Yes) と指定されているにもかかわらず、その UOW で使用されているリソース・マネージャー (RMI)、CICS リソース、または CICS 接続が未確定待機 (中断) をサポートすることができないため、中断することができない UOW をこのトランザクション ID が所有した回数です。 UOW は、この分散 UOW 内の他の任意の関係領域によって取られたアクションに関係なく、「Indoubt Action (未確定アクション)」によって指定された方向での解決を強制されます。
Indoubt action forced: Other (強制的未確定アクション: その他)	このトランザクション ID が、未確定障害のために中断されたにもかかわらず、この表で既に言及している理由以外の理由でそのリカバリー・コーディネーターが予定より早く終了し、再同期を待機した UOW を所有した回数です。これは例えば、コールド・スタートしたリカバリー・コーディネーターであるか、再同期のプロトコル違反または障害であるか、またはリソース・マネージャー (RMI) アダプターのレベルが未確定解決をサポートするように変更されていないことが原因です。 UOW は、この分散 UOW 内の他の任意の関係領域によって取られたアクションに関係なく、「Indoubt Action (未確定アクション)」によって指定された方向での解決を強制されます。
Action mismatch (アクション・ミスマッチ)	このトランザクション ID が、定義、オプション、またはオペレーターによる指定変更 (この表で既に言及しているフィールドの説明を参照) のいずれかによって未確定アクション属性を使用した解決を強制され、そのときに関係するシステムまたはリソース・マネージャー (RMI) との未確定アクション属性の不一致が検索された UOW を所有した回数です。例えば、分散 UOW の参加システムは、作業を解決しますが (フォワード)、他のシステムは作業をバックアウトします。 この反対も同様です。

一時データ統計

一時データ統計の解釈

一時データ区画内データ・セットに対する READ 数および WRITE 数の形式の、一時データの I/O アクティビティー量に関して、CICS が提供するデータを監視します。

READ アクティビティーの量が大きい場合、「同時ストリング・アクセスのピーク数 (peak concurrent string access)」が割り振られた数より小さいときでも、バッファー割り振りが十分でない可能性があります。

実記憶域の使用において、関連する増加を行う余裕がある場合は、バッファー数およびストリング数を増やすことによって、「区画内バッファー待機数」および「ストリング待機数」を最小化する必要があります。

一時データ: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TDQUEUE システム・コマンドを使用して、一時データのグローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHTQGDS DSECT によってマップされます。

一時データ統計の使用についての詳細は、CICS 一時データ (TD) 機能: パフォーマンスおよび調整を参照してください。

表 *172.* 一時データ: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Control interval size (制御間隔サイズ)	TQGACISZ	制御間隔のサイズで、バイトで表されます。 リセット特性: リセットなし
制御間隔	TQGANCIS	区画内データ・セット DFHINTRA 内の制御間隔の数です。 リセット特性: リセットなし
Current control intervals in use (現在使用中の制御間隔)	TQGACTCI	区画内データ・セット DFHINTRA 内の制御間隔の現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Peak control intervals used (使用されているピークの制御間隔数)	TQGAMXCI	システム内で同時にアクティブになっていた制御間隔数のピーク値です。 リセット特性: 現行値にリセット
Times NOSPACE occurred (NOSPACE の発生回数)	TQGANOSP	NOSPACE 状態が発生した回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Writes to intrapartition data set (区画内データ・セットへの書き込み数)	TQGACTPT	区画内一時データへの書き込みの回数です。 これには、リカバリーに必要な書き込み (以下を参照)、および別の CI を収容するのに必要なバッファーによって強制的に行われた書き込みの両方が含まれています。 後者の理由で発生した入出力アクティビティーは、バッファー割り振りを増やすことによって最小化できます。 リセット特性: ゼロにリセット
Reads from intrapartition data set (区画内データ・セットからの読み取り数)	TQGACTGT	ディスクから CI を読み取る必要のある回数です バッファー割り振りを増やすと、このアクティビティーは減少します。 リセット特性: ゼロにリセット

表 172. 一時データ: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Formatting writes (フォーマット書き込み数)	TQGACTFT	使用可能なスペースを増やすために、データ・セットの最後に新規の CI が書き込まれた回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
I/O errors (I/O エラー数)	TQGACTIO	CICS のこの実行中に発生した入出力エラーの数です。 リセット特性: ゼロにリセット
バッファー使用に対して作成された統計:		
Intrapartition buffers (区画内バッファー数)	TQGANBFA	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時データ・バッファーの数です。割り振られたバッファーの数は、要求された数を超える可能性があります。 リセット特性: リセットなし
Current buffers containing valid data (有効なデータを含む現在のバッファー数)	TQGACNIU	有効なデータを含む区画内バッファーの現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Peak intra. buffers containing valid data (有効なデータを含むピークの区画内バッファー数)	TQGAMXIU	有効なデータを含む区画内バッファーのピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Intrapartition accesses (区画内アクセス数)	TQGATNAL	区画内バッファーがアクセスされた回数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Current concurrent buffer accesses (現在の同時バッファー・アクセス数)	TQGACNAL	同時区画内バッファー・アクセスの数の現行値です。 リセット特性: リセットなし
Peak concurrent intrapartition accesses (ピークの同時区画内アクセス数)	TQGAMXAL	区画内バッファーへの同時アクセスの数のピーク値です。 リセット特性: 現行値にリセット

表 *172.* 一時データ: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Intrapartition buffer waits (区画内バッファーの待機数)	TQGATNWT	すべてのバッファーが他のタスクに割り振られていたために要求がキューに入れられた回数です。 バッファー待機は、他のバッファーが使用可能であっても、要求された制御間隔が既にロック済みバッファー内にあるために使用不可となっている場合にも発生します。 リセット特性: 現行値にリセット
Current intrapartition buffer waits (現在の区画内バッファーの待機数)	TQGACNWT	使用可能なバッファーがないために、キューに入れられている要求の現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Peak intrapartition buffer waits (区画内バッファーのピークの待機数)	TQGAMXWT	使用可能なバッファーがなかったためにキューに入れられた要求のピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット

表で言及している区画内データ・セットの統計はすべて、報告された値がゼロでも印刷されます。

CICS は、複数のストリングに対して以下の統計を作成します。

ストリング数	TQGSNSTA	現在アクティブになっているストリングの数です。 リセット特性: リセットなし
Times string accessed (ストリング・アクセス数)	TQGSTNAL	ストリングがアクセスされた回数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Current concurrent string accesses (現在の同時ストリング・アクセス数)	TQGSCNAL	システム内で同時にアクセスされたストリングの現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Peak concurrent string accesses (同時ストリングのピークのアクセス数)	TQGSMXAL	システム内で同時にアクセスされたストリングのピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Intrapartition string waits (区画内ストリングの待機数)	TQGSTNWT	使用可能なストリングがなかったために、タスクが待機する必要が生じた回数です。 リセット特性: 現行値にリセット

表 172. 一時データ: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Current intrapartition string waits (現在の区画内ストリングの待機数)	TQGSCNWT	システム内の同時ストリング待機の現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Peak string waits (ピークのストリング待機数)	TQGSMXWT	システム内の同時ストリング待機のピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット

CICS は、バッファー使用に関して以下の統計を作成します。

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Intrapartition buffers (区画内バッファー数)	TQGANBFA	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時データ・バッファーの数です。割り振られたバッファーの数は、要求された数を超える可能性があります。 リセット特性: リセットなし
Current buffers containing valid data (有効なデータを含む現在のバッファー数)	TQGACNIU	有効なデータを含む区画内バッファーの現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Peak intra. buffers containing valid data (有効なデータを含むピークの区画内バッファー数)	TQGAMXIU	有効なデータを含む区画内バッファーのピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Intrapartition accesses (区画内アクセス数)	TQGATNAL	区画内バッファーがアクセスされた回数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Current concurrent buffer accesses (現在の同時バッファー・アクセス数)	TQGACNAL	同時区画内バッファー・アクセスの数の現行値です。 リセット特性: リセットなし
Peak concurrent intrapartition accesses (ピークの同時区画内アクセス数)	TQGAMXAL	区画内バッファーへの同時アクセスの数のピーク値です。 リセット特性: 現行値にリセット

CICS は、バッファー使用に関して以下の統計を作成します。

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Intrapartition buffer waits (区画内バッファーの待機数)	TQGATNWT	すべてのバッファーが他のタスクに割り振られていたために要求がキューに入れられた回数です。 バッファー待機は、他のバッファーが使用可能であっても、要求された制御間隔が既にロック済みバッファー内にあるために使用不可となっている場合にも発生します。 リセット特性: 現行値にリセット
Current intrapartition buffer waits (現在の区画内バッファーの待機数)	TQGACNWT	使用可能なバッファーがないために、キューに入れられている要求の現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Peak intrapartition buffer waits (区画内バッファーのピークの待機数)	TQGAMXWT	使用可能なバッファーがなかったためにキューに入れられた要求のピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット

表で言及している区画内データ・セットの統計はすべて、報告された値がゼロでも印刷されます。

CICS は、複数のストリングに対して以下の統計を作成します。

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
ストリング数	TQGSNSTA	現在アクティブになっているストリングの数です。 リセット特性: リセットなし
Times string accessed (ストリング・アクセス数)	TQGSTNAL	ストリングがアクセスされた回数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Current concurrent string accesses (現在の同時ストリング・アクセス数)	TQGSCNAL	システム内で同時にアクセスされたストリングの現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Peak concurrent string accesses (同時ストリングのピークのアクセス数)	TQGSMXAL	システム内で同時にアクセスされたストリングのピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット

CICS は、複数のストリングに対して以下の統計を作成します。

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Intrapartition string waits (区画内ストリングの待機数)	TQGSTNWT	使用可能なストリングがなかったために、タスクが待機する必要が生じた回数です。 リセット特性: 現行値にリセット
Current intrapartition string waits (現在の区画内ストリングの待機数)	TQGSCNWT	システム内の同時ストリング待機の現在の数です。 リセット特性: リセットなし
Peak string waits (ピークのストリング待機数)	TQGSMXWT	システム内の同時ストリング待機のピーク数です。 リセット特性: 現行値にリセット

一時データ: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TDQUEUE システム・コマンドを使用して、一時データのリソース統計を取得できます。これらの統計は DFHTQRDS DSECT によってマップされます。

一時データのリソース統計は、キューごとに収集されます。キューごとのこれらの統計からの情報を使用すると、トランザクションごとの一時データ・アクセスの平均回数を計算することができます。このリスト内の項目は、一時データ・キューの定義に挿入した情報を反映しています。

TQRQTYPE フィールドは DFHSTUP レポートには表示されません。 このフィールドはキュー・タイプを表しています。キュー・タイプは、以下のフィールドのいずれかになります。

- 区画外キューの場合は TQRQTEXT (X'01')
- 区画内キューの場合は TQRQTINT (X'02')
- 間接キューの場合は TQRQTIND (X'03')
- リモート・キューの場合は TQRQTREM (X'04')

TQRQTYPE はゼロにリセットされます。

一時データ: リソース統計 - 区画内一時データ・キュー

表 *173.* 一時データ: リソース統計 - 区画内一時データ・キュー

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Queue id (キュー ID)	TQRQID	一時データ・キュー定義で指定した宛先 ID (キュー)。 リセット特性: リセットなし

表 *173.* 一時データ: リソース統計 - 区画内一時データ・キュー (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Request Counts: Number of Writes (要求カウント: 書き込み数)	TQRWRITE	このキューに書き込む要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Request Counts: Number of Reads (要求カウント: 読み取り数)	TQRREAD	このキューから読み取る成功した要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Request Counts: Number of Deletes (要求カウント: 削除数)	TQRDELET	このキューの削除要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
ATI Information: Trigger level (ATI 情報: トリガー・レベル)	TQRTRIGL	ATI トリガー・レベルの値。 このキュー内の項目数がこの値に達した場合は、このキュー内の項目を処理するために、TQRATRAN 内のトランザクション ID が付加されます。 リセット特性: リセットなし
ATI Information: Tran Id (ATI 情報: トランザクション ID)	TQRATRAN	トリガー・レベル (TQRTRIGL) に達したときに、端末またはセッションに対して、またはバックグラウンドで (TQRFTYPE を参照) スケジュールされるトランザクションの ID。 リセット特性: リセットなし
ATI Information: Facility Type (ATI 情報: ファシリティー・タイプ)	TQRFTYPE	この一時データ・キューの ATI ファシリティー・タイプ。 これは、ATI トリガー・レベル (TQRTRIGL) に達したときに、TQRATRAN 内のトランザクション ID の付加する場所と方法を表します。 以下の値を取ることができます。 • TQRFTNA X'00' 適用外 (N/A) • TQRFTTRM X'01' 端末 (TERM) • TQRFTSYS X'02' システム (SYS) • TQRFTNTE X'03' 端末なし (NONE) リセット特性: リセットなし
ATI Information: Facility Name (ATI 情報: ファシリティー名)	TQRFNAME	トリガー・トランザクションを接続するシステムまたは端末の ID。 ファシリティーがない場合は、この値はブランクになります。 リセット特性: リセットなし

表 *173.* 一時データ: リソース統計 - 区画内一時データ・キュー *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
ATI Information: No. of triggers (ATI 情報: トリガー回数)	TQRTRIGN	トリガー・レベル (TQRTRIGL) を超えた結果、トリガー・トランザクション (TQRATRAN) がスケジュールされた回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Recovery: Rcvy type (リカバリー: リカバリー・タイプ)	TQRRTYPE	この一時データ・キューのリカバリー可能タイプ。以下の値を取ることができます。 • TQRRTNA X'00' 適用外 (N/A) • TQRRTPH X'01' 物理的にリカバリー可能 (PH) • TQRRTLG X'02' 論理的にリカバリー可能 (LG) • TQRRTNR X'03' リカバリー不能 (NR) リセット特性: リセットなし
Recovery: Wait opt. (リカバリー: 待機オプション)	TQRWAIT	リカバリー・コーディネーターとの接続が失われた場合に、このキューを使用するトランザクションが未確定状態で待機 (中断) できるかどうかを示します。 キューが未確定の待機をサポートしている場合 (TQRWTYES)、その UOW に関連付けられているロックは、同期点が解決するまで保持されます。 サポートしていない場合は、未確定障害発生時点で、トランザクション定義の設定に従って UOW がコミットされ (フォーワードまたはバックワード)、その結果ロックが解放されます。 このフィールドは、キューが論理的に回復可能である場合に限り意味を持ちます。 未確定待機オプションは、以下の設定値を取ることができます。 • TQRWTNA X'00' 適用外 (N/A) • TQRWTYES X'01' キューは、未確定待機をサポートしています (YES) • TQRWTNO X'02' 未確定待機はサポートされていません (NO) リセット特性: リセットなし

表 173. 一時データ: リソース統計 - 区画内一時データ・キュー (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Recovery: Wait Action (リカバリー: 待機アクション)	TQRWAITA	この一時データ・キューが、このキューへの後続の要求をリジェクトするか中断するかを示します。 この状況は、このキューを使用した UOW が、未確定障害のために中断されたために、このキューに対してエンキューを保存している場合に発生することがあります。 キューがリカバリー不能であるか、未確定待機 (TQRWAIT を参照) をサポートしていない場合には、このフィールドは意味を持ちません。 このフィールドが取り得る値は、以下のとおりです。 • TQRWANA X'00' 適用外 (N/A) • TQRWAREJ X'01' これ以上の要求はリジェクトされます (REJECT) • TQRWAQUE X'02' これ以上の要求はキューに入れられます (QUEUE) リセット特性: リセットなし
DFHINTRA usage: Current CIs used (DFHINTRA の使用法: 使用されている現在の CI 数)	TQRCCIUS	このキューによって現在 DFHINTRA データ・セットで使用中の制御間隔 (CI) の数。 リセット特性: リセットなし
DFHINTRA usage: Peak CIs used (DFHINTRA の使用法: 使用されたピークの CI 数)	TQRPCIUS	このキューによって DFHINTRA データ・セットで使用されていた制御間隔 (CI) のピーク数。 リセット特性: 現行にリセット
DFHINTRA usage: Current items (DFHINTRA の使用法: 現在の項目数)	TQRCNITM	この区画内キューにある項目の現在の数。 リセット特性: リセットなし
DFHINTRA usage: Peak items (DFHINTRA の使用法: ピーク項目数)	TQRPNITM	この区画内キューにある項目のピーク数。 リセット特性: 現行にリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳細については、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし

表 173. 一時データ: リソース統計 - 区画内一時データ・キュー (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

一時データ: リソース統計 - 区画外一時データ・キュー

表 *174.* 一時データ: リソース統計 - 区画外一時データ・キュー

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Queue ID (キュー ID)	TQRQID	一時データ・キュー定義で指定した宛先 ID (キュー)。 リセット特性: リセットなし
DD name (assoc.) ((関連付けされた) DD 名)	TQRDDNM	CICS 始動 JCL 内のこのデータ・セットに関連付けられた DD 名。 リセット特性: リセットなし
Data set name (Destination/origin of data) (データ・セット名 (データの宛先/起点))	TQRDSNNM	区画外一時データ・キューのデータ・セット名。 リセット特性: リセットなし
Member Name (メンバー名)	TQRPDSMN	区画外一時データ・キューの DD 名によって参照されている、区分データ・セット内のメンバーの名前。 リセット特性: リセットなし
I/O Type (I/O タイプ)	TQRIOTYP	区画外データ・セットの入出力タイプの標識です。 以下のいずれかの値を含むことができます。 • TQRIONA X'00' 適用外 • TQRIOIN X'01' 入力 • TQRIOOUT X'02' 出力 • TQRIORDB X'03' 読み返し (入力ですが、読み返しを行います) リセット特性: リセットなし
No. of Writes (書き込み数)	TQRWRITE	出力データ・セットへの書き込み操作の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
No. of Reads (読み取り数)	TQRREAD	入力データ・セットからの読み取り操作の総数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *174.* 一時データ*:* リソース統計 - 区画外一時データ・キュー *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

一時データ: リソース統計 - 間接一時データ・キュー

表 *175.* 一時データ: リソース統計 - 間接一時データ・キュー

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Queue ID (キュー ID)	TQRQID	一時データ・キュー定義で指定した宛先 ID (キュー)。 リセット特性: リセットなし
Indirect Queue id (間接キュー ID)	TQRIQID	間接キューの名前。 リセット特性: リセットなし
Request Counts: Writes (要求カウント: 書き込み数)	TQRWRITE	このキューに書き込む要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Request Counts: Reads (要求カウント: 読み取り数)	TQRREAD	このキューから読み取る要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Request Counts: Deletes (要求カウント: 削除数)	TQRDELET	このキューの削除要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし

表 *175.* 一時データ*:* リソース統計 - 間接一時データ・キュー *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

一時データ**:** リソース統計 **-** リモート一時データ・キュー

表 *176.* 一時データ*:* リソース統計 - リモート一時データ・キュー

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Queue Id (キュー ID)	TQRQID	一時データ・キュー定義で指定した宛先 ID (キュー)。 リセット特性: リセットなし
Remote: Queue (リモート: キュー)	TQRRQID	リモート・システム (TQRRSYS) 上のキューの名前。 リセット特性: リセットなし
Remote: Sysid (リモート: システム ID)	TQRRSYS	このキューを所有している CICS システムの接続 ID。 リセット特性: リセットなし

表 176. 一時データ: リソース統計 - リモート一時データ・キュー (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Request Counts: Writes (要求カウント: 書き込み数)	TQRWRITE	このキューに書き込む要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Request Counts: Reads (要求カウント: 読み取り数)	TQRREAD	このキューから読み取る要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Request Counts: Deletes (要求カウント: 削除数)	TQRDELET	このキューの削除要求の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし

表 176. 一時データ: リソース統計 - リモート一時データ・キュー (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	TQR_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

一時データ: 要約グローバル統計

一時データの要約グローバル統計は、オンラインでは使用できません。

表 177. 一時データ: 要約グローバル統計： 区画内データ・セットに対して作成された統計:

DFHSTUP 名	説明
Control interval size (制御間隔サイズ)	最後に検出された、制御間隔のサイズの値で、バイトで表されます。
Peak control intervals used (使用されているピークの制御間隔数)	システム内に同時に存在していた制御間隔のピーク数です。
Times NOSPACE occurred (NOSPACE の発生回数)	NOSPACE 状態が発生した回数の総数です。
Writes to intrapartition data set (区画内データ・セットへの書き込み数)	一時データのデータ・セットへの書き込みの総数です。これには、リカバリーに必要な書き込み、および別の CI を収容するのに必要なバッファーによって強制的に行われた書き込みの両方が含まれます。 後者の理由で発生した入出力アクティビティーは、バッファー割り振りを増やすことによって最小化できます。
Reads from intrapartition data set (区画内データ・セットからの読み取り数)	ディスクから CI を読み取る必要のある回数の合計数です。バッファー割り振りを増やすと、このアクティビティーは減少します。
Formatting writes (フォーマット書き込み数)	使用可能なスペースを増やすために、データ・セットの最後に新規の CI が書き込まれた回数の総数です。
I/O errors (I/O エラー数)	CICS のこの実行中に発生した入出力エラーの総数です。

バッファー使用に対して作成された統計:

DFHSTUP 名	説明
Intrapartition buffers (区画内バッファー数)	TD システム初期設定パラメーターで指定された一時データ・バッファー数の、最後に検出された値です。割り振られたバッファーの数は、要求された数を超える可能性があります。
Peak intra. buffers containing valid data (有効なデータを含むピークの区画内バッファー数)	有効なデータを含む区画内バッファーのピーク数です。
Intrapartition accesses (区画内アクセス数)	区画内バッファーがアクセスされた回数の総数です。
Peak concurrent intrapartition accesses (ピークの同時区画内アクセス数)	区画内バッファーへの同時アクセスのピーク数です。
Intrapartition buffer waits (区画内バッファーの待機数)	すべてのバッファーが他のタスクに割り振られていたために要求がキューに入れられた回数の総数です。 バッファー待機は、他のバッファーが使用可能であっても、要求された制御間隔が既にロック済みバッファー内にあるために使用不可となっている場合にも発生します。
Peak intrapartition buffer waits (区画内バッファーのピークの待機数)	使用可能なバッファーがなかったためにキューに入れられた要求のピーク数です。

表で言及している区画内データ・セットの統計はすべて、報告された値がゼロでも印刷されます。

CICS は、複数のストリングに対して以下の統計を作成します。

DFHSTUP 名	説明
Times string accessed (ストリング・アクセス数)	ストリングがアクセスされた回数の総数です。
Peak concurrent string accesses (同時ストリングのピークのアクセス数)	システム内で同時にアクセスされたストリングのピーク数です。
Intrapartition string waits (区画内ストリングの待機数)	使用可能なストリングがなかったために、タスクが待機する必要が生じた回数の総数です。
Peak string waits (ピークのストリング待機数)	システム内の同時ストリング待機のピーク数です。

一時データ: 要約リソース統計

一時データ: 要約リソース統計は、オンラインでは使用できません。

表 *178.* 一時データ: 要約リソース統計 - 区画内一時データ・キュー

DFHSTUP 名	説明
Queue ID (キュー ID)	一時データ・キュー定義で指定した宛先 ID (キュー) です。
Request Counts: Number of Writes (要求カウント: 書き込み数)	このキューに書き込む要求の総数です。
Request Counts: Number of Reads (要求カウント: 読み取り数)	このキューから読み取る要求の総数です。
Request Counts: Number of Deletes (要求カウント: 削除数)	このキューの削除要求の総数です。
ATI Information: Trigger level (ATI 情報: トリガー・レベル)	ATI トリガー・レベルの値です。 このキュー内の項目数がこの値に達した場合は、このキュー内の項目を処理するために、「トランザクション ID」内のトランザクション ID が付加されます。
ATI Information: Tran Id (ATI 情報: トランザクション ID)	トリガー・レベル ('Trigger level') に達したときに、端末/セッションに対して、またはバックグラウンドで (そのいずれであるかは 'Facility Type'の値によって異なります)、スケジュールされるトランザクションの ID です 。
ATI Information: Facility Type (ATI 情報: ファシリティー・タイプ)	この一時データ・キューの ATI ファシリティー・タイプです。これは、ATI トリガー・レベル ('Trigger level') に達したときに、'Tran Id' 内のトランザクション ID を、どこにまたはどのようにして付加するかを表します。以下の値を取ることができます。 • N/A - 適用外 • TERM - 端末 • SYS - システム • NONE - 端末なし
ATI Information: Facility Name (ATI 情報: ファシリティー名)	トリガー・トランザクションを付加するシステムまたは端末の ID です。ファシリティーがない場合は、この値はブランクになります。
ATI Information: No. of triggers (ATI 情報: トリガー回数)	トリガー・レベル ('Trigger level') を超えた結果、トリガー・トランザクション ('Tran Id') がスケジュールされた回数です。
Recovery: Rcvy type (リカバリー: リカバリー・タイプ)	この一時データ・キューのリカバリー可能なタイプです。以下の値を取ることができます。 • N/A - 適用外 • PH - 物理的にリカバリー可能 • LG - 論理的にリカバリー可能 • NR - リカバリー不能

表 *178.* 一時データ: 要約リソース統計 - 区画内一時データ・キュー *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Recovery: Wait opt. (リカバリー: 待機オプション)	リカバリー・コーディネーターとの接続が失われたときに、このキューを使用するトランザクションが未確定状態で待機 (中断) できるかどうかを示す標識です。キューが未確定の待機をサポートしている場合 (Wait オプション = Yes)、その UOW に関連付けられているロックは、同期点が解決するまで保持されます。サポートしていない場合は、未確定障害発生時点で、トランザクション定義の設定に従って UOW がコミットされ (フォーワードまたはバックワード)、その結果ロックが解放されます。このフィールドは、キューが論理的に回復可能である場合に限り意味を持ちます。未確定待機オプションは、以下の設定値を取ることができます。 • N/A - 適用外 • Yes - キューは未確定待機をサポートしています • No - 未確定待機をサポートしていません
Recovery: Wait Action (リカバリー: 待機アクション)	この一時データ・キューが、このキューへの後続の要求をリジェクトするか中断するかを示す標識です。この状況は、このキューを使用した UOW が、未確定障害のために中断されたために、このキューに対してエンキューを保存している場合に発生することがあります。 キューがリカバリー不能であるか (リカバリー・タイプが NR)、未確定待機 (Wait オプションが No) をサポートしていない場合には、このフィールドは意味を持ちません。 このフィールドが取り得る値は、以下のとおりです。 • N/A - 適用外 • Reject - これ以上の要求はリジェクトされます。 • Queue - これ以上の要求はキューに入れられます。
DFHINTRA usage: Current CIs used (DFHINTRA の使用法: 使用されている現在の CI 数)	この区画内キューによって使用されている CI の現在の数です。
DFHINTRA usage: Peak CIs used (DFHINTRA の使用法: 使用されたピークの CI 数)	この区画内キューによって使用された CI のピーク数です。
DFHINTRA usage: Current items (DFHINTRA の使用法: 現在の項目数)	この区画内キューにある項目の現在の数です。
DFHINTRA usage: Peak items (DFHINTRA の使用法: ピーク項目数)	この区画内キューにある項目のピーク数です。

表 *179.* 一時データ: 要約リソース統計 - 区画外一時データ・キュー

DFHSTUP 名	説明
Queue ID (キュー ID)	一時データ・キュー定義で指定した宛先 ID (キュー) です。
DDNAME (assoc.) ((関連付けされた) DD 名)	区画外キューの DD 名です。

表 *179.* 一時データ*:* 要約リソース統計 - 区画外一時データ・キュー *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Data set name (Destination/origin of data) (データ・セット名 (データの宛先/起点))	区画外キューのデータ・セット名です。
Member Name (メンバー名)	区画外一時データ・キューの DD 名によって参照されている、区分データ内のメンバーの名前です。
I/O Type (I/O タイプ)	入出力データ・セットのタイプです。 入力、出力、読み返しのいずれかにすることができます。
No. of Writes (書き込み数)	出力データ・セットへの書き込み操作の総数です。
No. of Reads (読み取り数)	入力データ・セットからの読み取り操作の総数です。

表 *180.* 一時データ*:* 要約リソース統計 - 間接一時データ・キュー

DFHSTUP 名	説明
Queue ID (キュー ID)	一時データ・キュー定義で指定した宛先 ID (キュー) です。
Indirect Queue id (間接キュー ID)	間接キューの名前です。
Request Counts: Writes (要求カウント: 書き込み数)	このキューに書き込む要求の総数です。
Request Counts: Reads (要求カウント: 読み取り数)	このキューから読み取る要求の総数です。
Request Counts: Deletes (要求カウント: 削除数)	このキューの削除要求の総数です。

表 *181.* 一時データ*:* 要約リソース統計 - リモート一時データ・キュー

DFHSTUP 名	説明
Queue Id (キュー ID)	一時データ・キュー定義で指定した宛先 ID (キュー) です。
Remote: Queue (リモート: キュー)	リモート・キューの名前です。
Remote: Sysid (リモート: システム ID)	リモート・システムの名前です。
Request Counts: Writes (要求カウント: 書き込み数)	このキューに書き込む要求の総数です。
Request Counts: Reads (要求カウント: 読み取り数)	このキューから読み取る要求の総数です。

表 *181.* 一時データ*:* 要約リソース統計 - リモート一時データ・キュー *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Request Counts: Deletes (要求カウント: 削除数)	このキューの削除要求の総数です。

URIMAP 定義の統計

URIMAP リソース定義は、HTTP または Web サービス要求の URI と一致し、要求の処理方法についての情報を提供します。 統計には、グローバル統計と、各 URIMAP 定義ごとの統計があります。

DFH0STAT レポート: URIMAP グローバル・レポートおよび URIMAP レポートを参照してください。

URIMAP 定義: グローバル統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS URIMAP システム・コマンドを使用して、URIMAP 定義グローバル統計を取得できます。これらの統計は DFHWBGDS DSECT によってマップされます。

表 *182. URIMAP* 定義*:* グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
URIMAP reference count (URIMAP の参照回数)	WBG_URIMAP_REFERENCE_COUNT	一致する URIMAP 定義を求めて検索が行われた回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Entry point reference count (エントリー・ポイント参照カウント)	WBG_URIMAP_ENTRYPOINT_REF	アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義された、一致する URIMAP 定義の検索が行われた回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Disabled (使用不可)	WBG_URIMAP_MATCH_DISABLED	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかったが、その URIMAP 定義が使用不可であった回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Host/Path no match count (ホスト/パス不一致回数)	WBG_URIMAP_NO_MATCH_COUNT	一致する URIMAP 定義を求めて検索が行われたが、ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つからなかった回数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *182. URIMAP* 定義: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Host/Path match count (ホスト/パス一致回数)	WBG_URIMAP_MATCH_COUNT	一致する URIMAP 定義を求めて検索が行われ、ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかった回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Redirected (リダイレクト)	WBG_URIMAP_MATCH_REDIRECT	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、要求がリダイレクトされた回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Analyzer used (アナライザーの使用)	WBG_URIMAP_MATCH_ANALYZER	一致するホストおよびパスの URIMAP 定義が検出され、TCPIPSERVICE 定義に関連付けられた分析プログラムが呼び出された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Static content delivered (静的内容の送信)	WBG_URIMAP_STATIC_CONTENT	一致するホストおよびパスの URIMAP 定義が検出され、それに対応して静的内容 (文書テンプレートまたは zFS ファイル) が送信された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Dynamic content delivered (動的内容の送信)	WBG_URIMAP_DYNAMIC_CONTENT	一致するホストおよびパスの URIMAP 定義が検出され、それに対応して動的内容 (アプリケーション・プログラムによって生成) が送信された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
PIPELINE requests (PIPELINE 要求)	WBG_URIMAP_PIPELINE_REQS	一致するホストとパスを持つ URIMAP 定義が見つかり、その要求が Web サービスにより処理された回数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *182. URIMAP* 定義*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
ATOMSERVICE requests (ATOMSERVICE 要求)	WBG_URIMAP_ATOMSERV_REQS	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、Atom サービスによって要求が処理された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Scheme (HTTP) requests (スキーム (HTTP) 要求)	WBG_URIMAP_SCHEME_HTTP	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、かつスキームが HTTP であった回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Scheme (HTTPS) requests (スキーム (HTTPS) 要求)	WBG_URIMAP_SCHEME_HTTPS	一致するホストおよびパスの URIMAP 定義が検出され、スキームが HTTPS (SSL 付きの HTTP) だった回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Virtual host disabled count (仮想ホストの使用不可回数)	WBG_HOST_DISABLED_COUNT	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかったが、仮想ホストが使用不可であった回数。 リセット特性: ゼロにリセット
直接接続数	WBG_URIMAP_DIRECT_ATTACH	直接接続されたユーザー・タスクによって処理される要求の数。 リセット特性: ゼロにリセット

URIMAP 定義: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS URIMAP システム・コマンドを使用して、URIMAP 定義リソース統計を取得できます。これらの統計は DFHWBRDS DSECT によってマップされます。

リソース情報は、各 URIMAP リソースのさまざまな属性設定の詳細を提供します。

表 *183. URIMAP* 定義: リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
URIMAP Name (URIMAP 名)	WBR_URIMAP_NAME	URIMAP 定義の名前。 リセット特性: リセットなし
URIMAP Usage (URIMAP の使用法)	WBR_URIMAP_USAGE	この URIMAP の使用目的は次のとおりです。 **SERVER** URIMAP 定義は、CICS が HOST と PATH によって特定された要求に対する HTTP 応答を作成するためのリソースの場所を探す目的で使用されます。 **CLIENT** URIMAP 定義は、HTTP クライアントとしての CICS から HTTP 要求を作成するための情報を指定する目的で使用されます。 **PIPELINE** URIMAP 定義は、CICS が HOST と PATH によって特定された要求に対する XML 応答を作成するためのリソースの場所を探す目的で使用されます。 **ATOM** URIMAP 定義は、CICS が Atom フィードとして使用可能にしたデータに対する着信要求に使用されます。 **JVMSERVER** URIMAP リソースは、JVM サーバーで実行中のサーブレットまたは JSP に対して Web クライアントからのインバウンド要求をマップするために使用されます。 リセット特性: リセットなし
URIMAP Scheme (URIMAP スキーム)	WBR_URIMAP_SCHEME	HTTP 要求のスキーム。SSL を付加した HTTP (HTTPS) または HTTP (SSL を付加しない) のいずれか。 リセット特性: リセットなし
Authenticate (認証)	WBR_URIMAP_AUTHENTICATE	USAGE(CLIENT) では、資格情報 (認証情報) が発信 Web 要求のために送信されるかどうか。 リセット特性: リセットなし

表 *183. URIMAP* 定義*:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
URIMAP Port (URIMAP ポート)	WBR_URIMAP_PORT	USAGE(CLIENT) では、クライアント接続に使用されるポート番号。 USAGE(SERVER) では、定義時に PORT(NO) が URIMAP に指定された場合でも、通信に使用されているポート番号。 リセット特性: リセットなし
URIMAP Host (URIMAP ホスト)	WBR_URIMAP_HOSTNAME	USAGE(CLIENT) オプションの場合は、HTTP 要求の送信先となるターゲット URL のホスト名。 その他の使用タイプの場合は、この URIMAP 定義の選択に使用される着信 HTTP 要求のホスト名。 リセット特性: リセットなし
URIMAP IP Family (URIMAP IP ファミリー)	WBR_URIMAP_IP_FAMILY	IP 解決アドレスのアドレス・フォーマット。 リセット特性: リセットなし
URIMAP IP Resolved Address (URIMAP IP 解決アドレス)	WBR_URIMAP_IP_ADDRESS	ホストの IPv4 または IPv6 アドレス。 リセット特性: リセットなし
URIMAP Path (URIMAP パス)	WBR_URIMAP_PATH	USAGE(CLIENT) オプションの場合は、HTTP 要求の送信先となるターゲット URL のパス。 その他の使用タイプの場合は、この URIMAP 定義の選択に使用される着信 HTTP 要求のパス。 パスがアスタリスクで終わる場合があります。これは総称で、アスタリスクまで (ただし、アスタリスクを除く) の文字がすべて同じであるパスと一致することを意味します。 リセット特性: リセットなし
TCPIPSERVICE name (TCPIPSERVICE 名)	WBR_URIMAP_TCPIPSERVICE	この URIMAP 定義が適用される TCPIPSERVICE リソース。 この TCPIPSERVICE リソースを使用して受信された要求にのみ、この URIMAP 定義が適用されます。 TCPIPSERVICE リソースが指定されていない場合、URIMAP 定義はすべての着信 HTTP 要求に適用されます。 リセット特性: リセットなし

表 *183. URIMAP* 定義: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
WEBSERVICE name (WEBSERVICE 名)	WBR_URIMAP_WEBSERVICE	着信 HTTP 要求を処理する Web サービスの WEBSERVICE リソース定義の名前。 リセット特性: リセットなし
PIPELINE name (PIPELINE 名)	WBR_URIMAP_PIPELINE	着信 HTTP 要求を処理する Web サービスの PIPELINE リソース定義の名前。 リセット特性: リセットなし
ATOMSERVICE name (ATOMSERVICE 名)	WBR_URIMAP_ATOMSERVICE	Atom 文書のための ATOMSERVICE リソース定義の名前。 リセット特性: リセットなし
Templatename (テンプレート名)	WBR_URIMAP_TEMPLATENAME	内容が HTTP 応答として戻される CICS 文書テンプレートの名前。 リセット特性: リセットなし
HFS ファイル (HFS file)	WBR_URIMAP_HFSFILE	内容が HTTP 応答として戻される、z/OS UNIX System Services の階層ファイル・システム (HFS) のファイルの名前。 リセット特性: リセットなし
アナライザー	WBR_URIMAP_ANALYZER_USE	要求を処理するために TCPIPSERVICE 定義に関連付けられたアナライザーを呼び出すかどうかを示します。 リセット特性: リセットなし
コンバーター (Converter)	WBR_URIMAP_CONVERTER	HTTP 要求を PROGRAM に指定されたアプリケーション・プログラムに適した形式に変換するために使用されるコンバーター・プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし

表 *183. URIMAP* 定義*:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
トランザクション ID	WBR_URIMAP_TRANS_ID	着信 HTTP 要求を処理する別名トランザクションの名前。 リセット特性: リセットなし
プログラム名	WBR_URIMAP_PROGRAM_NAME	着信 HTTP 要求を処理するアプリケーション・プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
Redirection type (リダイレクトのタイプ)	WBR_URIMAP_REDIRECT_TYPE	一致する要求を一時的にリダイレクトするか、永続的にリダイレクトするかを示します。 リセット特性: リセットなし
Location for redirection (リダイレクトの場所)	WBR_URIMAP_LOCATION	リダイレクトを指定している場合、Web クライアントのリダイレクト先となる代替 URL。 リセット特性: リセットなし
URIMAP reference count (URIMAP の参照回数)	WBR_URIMAP_REFERENCE_COUNT	この URIMAP 定義が参照された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Disabled (使用不可)	WBR_URIMAP_MATCH_DISABLED	このホストとパスは一致したが、URIMAP 定義が使用不可であった回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Redirected (リダイレクト)	WBR_URIMAP_MATCH_REDIRECT	このホストとパスが一致し、要求がリダイレクトされた回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Time out for pooled sockets (プールされたソケットのタイムアウト)	WBR_URIMAP_SOCKETCLOSE	この URIMAP を使用して作成されたプールされたクライアント HTTP 接続が再使用されない場合に、CICS がそれらを破棄するまでの時間。 リセット特性: リセットなし

表 *183. URIMAP* 定義: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of pooled sockets (プールされたソケットの数)	WBR_URIMAP_SOCKPOOLSIZE	再使用のためにプールに保持されるオープン状態のクライアント HTTP 接続の現在の数。 リセット特性: リセットなし
Peak number of pooled sockets (プールされたソケットのピーク数)	WBR_URIMAP_SOCKPOOLSIZE_PEAK	再使用のためにプールに保持されるオープン状態のクライアント HTTP 接続のピーク数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of reclaimed sockets (再使用ソケット数)	WBR_URIMAP_SOCKETS_RECLAIMED	CICS 領域が MAXSOCKETS 制限に達したために CICS によってプール内で閉じられた、プールされた接続の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of timed out sockets (タイムアウトになったソケット数)	WBR_URIMAP_SOCKETS_TIMEDOUT	再使用されずにタイムアウト値に達したために CICS によってプール内で閉じられた、プールされた接続の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	WBR_URIMAP_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。 この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	WBR_URIMAP_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	WBR_URIMAP_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	WBR_URIMAP_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし

表 *183. URIMAP* 定義*:* リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	WBR_URIMAP_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	WBR_URIMAP_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	WBR_URIMAP_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

URIMAP 定義: 要約グローバル統計

これらのグローバル統計は、URIMAP リソース定義に関する要約情報および統計を示します。 要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *184. URIMAP* 定義*:* 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
URIMAP reference count (URIMAP の参照回数)	一致する URIMAP 定義を求めて検索が行われた回数。
Entry point reference count (エントリー・ポイント参照カウント)	アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義された、一致する URIMAP 定義の検索が行われた回数。
Disabled (使用不可)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかったが、その URIMAP 定義が使用不可であった回数。
Redirected (リダイレクト)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、要求がリダイレクトされた回数。
Host/Path no match count (ホスト/パス不一致回数)	一致する URIMAP 定義を求めて検索が行われたが、ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つからなかった回数。
Host/Path match count (ホスト/パス一致回数)	一致する URIMAP 定義を求めて検索が行われ、ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかった回数。

表 *184. URIMAP* 定義: 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Analyzer used (アナライザーの使用)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、TCPIPSERVICE 定義に関連付けられたアナライザー・プログラムが呼び出された回数。
Static content delivered (静的内容の送信)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、静的内容 (文書テンプレートまたは z/OS UNIX ファイル) が応答として送信された回数。
Dynamic content delivered (動的内容の送信)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、(アプリケーション・プログラムによって作成された) 動的内容が応答として送信された回数。
PIPELINE requests (PIPELINE 要求)	一致するホストとパスを持つ URIMAP 定義が見つかり、その要求が Web サービスにより処理された回数。
ATOMSERVICE requests (ATOMSERVICE 要求)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、Atom サービスによって要求が処理された回数。
Scheme (HTTP) requests (スキーム (HTTP) 要求)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、かつスキームが HTTP であった回数。
Scheme (HTTPS) requests (スキーム (HTTPS) 要求)	一致するホストおよびパスの URIMAP 定義が検出され、スキームが HTTPS (SSL 付きの HTTP) だった回数。
Virtual host disabled count (仮想ホストの使用不可回数)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかったが、仮想ホストが使用不可であった回数。
直接接続数	直接接続されたユーザー・タスクによって処理される要求の数。

URIMAP 定義: 要約リソース統計

URIMAP 定義のリソース統計の要約リスト。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

リソース情報は、各 URIMAP 定義のさまざまな属性設定の詳細を提供します。

表 *185. URIMAP* 定義: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
URIMAP Name (URIMAP 名)	インストール済みの URIMAP リソースの名前。

表 *185. URIMAP* 定義*:* 要約リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
URIMAP Usage (URIMAP の使用法)	この URIMAP リソースの使用目的は次のとおりです。 **SERVER** URIMAP リソースは、CICS が HOST と PATH によって特定された要求に対する HTTP 応答を作成するためのリソースの場所を探す目的で使用されます。 **CLIENT** URIMAP リソースは、HTTP クライアントとしての CICS から HTTP 要求を作成するための情報を指定する目的で使用されます。 **PIPELINE** URIMAP リソースは、CICS が HOST と PATH によって特定された要求に対する XML 応答を作成するためのリソースの場所を探す目的で使用されます。 **ATOM** URIMAP リソースは、CICS が Atom フィードとして使用可能にしたデータに対する着信要求に使用されます。 **JVMSERVER** URIMAP リソースは、JVM サーバーで実行中のサーブレットまたは JSP に対して Web クライアントからのインバウンド要求をマップするために使用されます。
URIMAP Scheme (URIMAP スキーム)	HTTP 要求のスキーム。SSL を付加した HTTP (HTTPS) または HTTP (SSL を付加しない) のいずれか。
Authenticate (認証)	USAGE(CLIENT) では、資格情報 (認証情報) が発信 Web 要求のために送信されるかどうか。
URIMAP Port (URIMAP ポート)	USAGE(CLIENT) では、クライアント接続に使用されるポート番号。 USAGE(SERVER) では、定義時に PORT(NO) が URIMAP に指定された場合でも、通信に使用されているポート番号。
URIMAP Host (URIMAP ホスト)	USAGE(CLIENT) の場合は、HTTP 要求の送信先となるターゲット URL のホスト名。その他の使用タイプの場合は、この URIMAP 定義の選択に使用される着信 HTTP 要求のホスト名。
URIMAP IP Family (URIMAP IP ファミリー)	URIMAP IP 解決アドレスに戻されるアドレスのアドレス・フォーマット。
URIMAP IP Resolved Address (URIMAP IP 解決アドレス)	ホストの IPv4 または IPv6 解決アドレス。

表 *185. URIMAP* 定義: 要約リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
URIMAP Path (URIMAP パス)	USAGE(CLIENT) の場合は、HTTP 要求の送信先となるターゲット URL のパス。 その他の使用タイプの場合は、この URIMAP 定義の選択に使用される着信 HTTP 要求のパス。 PATH がアスタリスクで終わる場合があります。これは総称で、アスタリスクまで (ただし、アスタリスクを除く) の文字がすべて同じであるパスと一致することを意味します。
TCPIPSERVICE name (TCPIPSERVICE 名)	この URIMAP 定義が適用される TCPIPSERVICE リソース。 この TCPIPSERVICE リソースを使用して受信された要求にのみ、この URIMAP 定義が適用されます。 TCPIPSERVICE リソースが指定されていない場合、URIMAP 定義はすべての着信 HTTP 要求に適用されます。
WEBSERVICE name (WEBSERVICE 名)	着信 HTTP 要求を処理する Web サービスの WEBSERVICE リソース定義の名前。
PIPELINE name (PIPELINE 名)	着信 HTTP 要求を処理する Web サービスの PIPELINE リソース定義の名前。
ATOMSERVICE name (ATOMSERVICE 名)	Atom 文書のための ATOMSERVICE リソース定義の名前。
Templatename (テンプレート名)	内容が HTTP 応答として戻される CICS 文書テンプレートの名前。
zFS ファイル	内容が HTTP 応答として戻される、z/OS UNIX System Services のファイル・システムのファイルの名前。
アナライザー	要求を処理するために TCPIPSERVICE 定義に関連付けられたアナライザーを呼び出すかを示します。
コンバーター (Converter)	HTTP 要求を PROGRAM に指定されたアプリケーション・プログラムに適した形式に変換するために使用されるコンバーター・プログラムの名前。
トランザクション ID	着信 HTTP 要求を処理する別名トランザクションの名前。
プログラム名	着信 HTTP 要求を処理するアプリケーション・プログラムの名前。

表 *185. URIMAP* 定義*:* 要約リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Redirection type (リダイレクトのタイプ)	一致する要求を一時的にリダイレクトするか、永続的にリダイレクトするかを示します。
Location for redirection (リダイレクトの場所)	リダイレクトを指定している場合、Web クライアントのリダイレクト先となる代替 URL。
URIMAP reference count (URIMAP の参照回数)	この URIMAP 定義が参照された回数。
Disabled (使用不可)	この URIMAP ホストとパスは一致したが、URIMAP 定義が使用不可であった回数。
Redirected (リダイレクト)	この URIMAP ホストとパスが一致した回数、および要求がリダイレクトされた回数。
Time out for pooled sockets (プールされたソケットのタイムアウト)	この URIMAP を使用して作成されたプールされたクライアント HTTP 接続が再使用されない場合に、CICS がそれらを破棄するまでの時間。
Peak number of pooled sockets (プールされたソケットのピーク数)	再使用のためにプールに保持されるオープン状態のクライアント HTTP 接続のピーク数。
Number of reclaimed sockets (再使用ソケット数)	CICS 領域が MAXSOCKETS 制限に達したために CICS によってプール内で閉じられた、プールされた接続の数。
Number of timed out sockets (タイムアウトになったソケット数)	再使用されずにタイムアウト値に達したために CICS によってプール内で閉じられた、プールされた接続の数。

ユーザー・ドメイン統計

これらの統計はオンラインで使用できず、DFHUSGDS DSECT によりマップされます。

ユーザー・ドメイン統計の解釈

ユーザー・ドメインは、セキュリティー・ドメインを呼び出してユーザー・セキュリティー・ブロック (ACEE など) を作成する回数を最小化しようとします。その理由は、この操作が、プロセッサー時間と入出力操作の両方で時間がかかるからです。

可能な場合、ユーザーの各固有表現は複数のトランザクション間で共用されます。以下の属性が等しい場合は、ユーザーのユーザー・ドメイン表現を共用できます。

- ユーザー ID。
- グループ ID。
- アプリケーション ID。これは、領域内のすべてのユーザーに対して必ずしも同一ではありません。 アプリケーション ID は MRO リンク間のユーザー ID と共にシップされます。
- エントリーのポート。これは、z/OS Communications Server 端末にサインオンしたユーザーのネット名またはコンソールにサインオンしたユーザーのコンソール名です。他の端末タイプおよび非端末トランザクションに関連したユーザーの場合はヌルです。

ユーザー・ドメインは、ユーザーの共用インスタンスの同時使用数のカウントを保持します。 カウントには、インスタンスが一時データ・キューなどの CICS リソースに関連した回数、およびインスタンスを使用するアクティブなトランザクションの数が含まれています。

CICS が新規ユーザー・インスタンスをユーザー・ドメインに追加すると、ドメインは常に、そのインスタンスをユーザー・ディレクトリーで見つけようとします。 説明したパラメーターを持つユーザー・インスタンスが存在する場合は、そのインスタンスが再使用されます。 **USGDRRC** パラメーターは再使用が行われた回数を記録します。 ただし、ユーザー・インスタンスが存在しない場合は、追加する必要があり、このためには、セキュリティー・ドメインおよび外部セキュリティー・マネージャーを呼び出す必要があります。 **USGDRNFC** パラメーターは、これが必要な回数を記録します。

インスタンスに関連したカウントをゼロにしても、ユーザー・インスタンスはすぐには削除されません。その代わり、**USRDELAY** システム初期設定パラメーターによって制御されるタイムアウト・キューに置かれます。 タイムアウト・キュー内にある間は、ユーザー・インスタンスを再使用できます。 再使用されると、タイムアウト・キューから削除されます。 **USGTORC** パラメーターは、タイムアウトになっている間にユーザー・インスタンスが再使用された回数を記録します。また、**USGTOMRT** パラメーターは、削除されるまでにユーザー・インスタンスがタイムアウト・キューに残った平均時間を記録します。

ただし、ユーザー・インスタンスは、再使用されることなく、全 **USRDELAY** 間隔でタイムアウト・キューに残った場合は、削除されます。 **USGTOEC** パラメーターは、このことが発生した回数を記録します。

USGTORC の値と比較して **USGTOEC** の値が大きい場合は、**USRDELAY** の値を大きくすることを考慮してください。 しかし、**USGTOMRT** の値が **USRDELAY** の値よりかなり小さい場合は、重大なパフォーマンスの影響なしに **USRDELAY** の値を減らすことができます。

USRDELAY の値が高い場合は、CICS ユーザーの権限と属性を変更するセキュリティー管理者の作業に影響する場合があります。それは、**USRDELAY** 間隔の後にタイムアウト・キューからフラッシュされることによって、ユーザー・インスタンスが CICS においてリフレッシュされるまではそれらの変更が CICS において反映されないためです。セキュリティー管理者によっては、**USRDELAY=0** を指定するよう要求される

場合があります。使用回数をゼロにしなければ、このようにしても、まだユーザー・インスタンスを共用することができます。 ただし一般的には、リモート・ユーザーは、実行しているトランザクションが終了した直後にフラッシュされるため、ユーザー制御ブロックは頻繁に再構成する必要があります。この再構成は、パフォーマンスを低下させます。

RACF プロファイルの変更を CICS が直ちに検出するようにするために **USRDELAY** システム初期設定パラメーターに小さい値を指定するのであれば、その値を大きくすることもできます。 z/OS 1.11 以降では、RACF プロファイルの変更が発生すると、即座に CICS に通知されるからです。 **USRDELAY** 値を高くすることの主な影響は、 RACF 制御ブロックで使用されるストレージの量が増えることです。

ユーザー・ドメイン: グローバル統計

表 *186.* ユーザー・ドメイン: グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Timeout mean reuse time (タイムアウト平均再使用時間)	USGTOMRT	ユーザー・インスタンスが再使用されるまでにタイムアウト・キュー内に入っている平均時間です。 リセット特性: ゼロにリセット
Timeout reuse count (タイムアウト再使用回数)	USGTORC	ユーザー・インスタンスがタイムアウト・キューから再使用される回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Timeout expiry count (タイムアウト有効期限回数)	USGTOEC	ユーザー・インスタンスが再使用されることなく、USRDELAY 間隔の全時間タイムアウト・キューに残り、削除された回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Directory reuse count (ディレクトリー再使用回数)	USGDRRC	ユーザー・インスタンスが再使用された回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Directory not found count (ディレクトリーで検出されなかった回数)	USGDRNFC	ユーザー・インスタンスがディレクトリー内には検出されなかったものの、後に正常に追加された回数です。 リセット特性: ゼロにリセット

ユーザー・ドメイン: 要約グローバル統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *187.* ユーザー・ドメイン: 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Average timeout reuse time (平均タイムアウト再使用時間)	ユーザー・インスタンスが再使用されるまでにタイムアウト・キュー内に入っている平均時間です。
Timeout reuse count (タイムアウト再使用回数)	ユーザー・インスタンスがタイムアウト・キューから再使用される回数です。
Timeout expiry count (タイムアウト有効期限回数)	ユーザー・インスタンスが再使用されることなく、USRDELAY 間隔の全時間タイムアウト・キューに残り、その結果削除された回数です。
Directory reuse count (ディレクトリー再使用回数)	既存のユーザー・インスタンスが再使用された回数を記録します。
Directory not found count (ディレクトリーで検出されなかった回数)	ユーザー・インスタンスがディレクトリー内にまだ存在しておらず、追加される必要があった回数を記録します。

SNA 統計

EXEC CICS COLLECT STATISTICS VTAM システム・コマンドを使用して、z/OS Communications Server の統計を取得することができます。これらの統計は DFHA03DS DSECT によってマップされます。

注: VTAM® は、現在は z/OS Communications Server と呼ばれています。

z/OS Communications Server 統計の解釈

このトピックでは、**EXEC CICS COLLECT STATISTICS VTAM** システム・コマンドによって戻される統計の解釈について説明します。

「通知された RPL のピーク数 (peak RPLs posted)」は、RAPOOL システム初期設定パラメーターによって定義された任意受信 RPL のみを含みます。 非 HPO システムにおいては、示される値が RAPOOL に指定された値より大きい場合があります。これは、通知された RPL に関連した入力メッセージが廃棄されるとすぐに、CICS が各任意受信要求を再発行するためです。 z/OS Communications Server は、端末管理の現行ディスパッチ中にこの再発行された任意受信 RPL が通知される原因になる可能性があります。 このことは、必ずしもパフォーマンス上の問題を示すわけではありませんが、RAPOOL によって指定された任意受信要求数を大幅に上回る数の場合は、MVS では、入力を受信する任意受信が使用できなかったときに、Communications Server が、着信メッセージをサブプール 229 のキューに入れる必要があったことを示します。 入力メッセージ比率のピーク数以外のすべての数を処理するのに十分な任意受信要求数を指定することによって、この Communications Server キューイング・アクティビティーを制限する必要があります。

RAPOOL システム初期設定パラメーターの値が十分に大きいかどうかを示すこと以外に、通知された RPL の最大数統計 (A03RPLX) を使用して、他の情報を確認することもできます。これは、ご使用の MVS システムに HPO があるかどうかによります。

HPO の場合、RAPOOL(A,B) を使用して、アクティブ・カウント (B) を調整できます。 プール (A) のサイズは、処理される速度によって異なります。 アクティブ・カウント (B) は、常に Communications Server を満たせるようにする必要があり、任意受信要求の到着入力メッセージ比率によって異なります。

HPO と非 HPO システムの違いを示す例について以下で説明します。 2 つの類似した CICS の実行において、いずれの実行でも RAPOOL 値の 2 を使用するとします。 MVS/HPO の実行で通知される RPL の数は 2 ですが、MVS/非 HPO では 31 です。 統計の次の項目を見ると、この差をよく理解できます。

通知される RPL の最大数がゼロの場合は、この項目は印刷されません。 この例では、MVS/HPO システムでは最大の 495 回達したとします。非 HPO MVS システムでは、最大の 31 に 1 回のみ達したとします。 このことから、HPO システムではプールが小さすぎるため (RAPOOL=2)、増やす必要があることがわかります。プールの値を、2 から例えば 6 以上へ大幅に増やす必要があります。 以下の例に示されているとおり、RAPOOL 値を 8 に増加した場合、最大には 16 回しか到達しませんでした。

```
MAXIMUM NUMBER OF RPLS POSTED         8
NUMBER OF TIMES REACHED MAXIMUM      16
```

非 HPO システムでは、通知された RPL の最大数が RAPOOL より小さく、RAPOOL を減らすことができ、そのことにより、仮想記憶を節約できる場合を除いて、これらの 2 つの統計はあまり役立ちません。

VTAM SOS は、要求を提供するのに必要なストレージを Communications Server が獲得できなかったことを示す Communications Server センス・コードが出て、Communications Server のサービスに対する CICS 要求が拒否されたことを意味します。 Communications Server は、CICS に、どのストレージを獲得できなかったかなどの詳細な情報は提供しません。

注: VTAM は現在 z/OS Communications Server になっています。

この状態は、たいていの場合、CICS が、通常の実行中より多い端末に対して、要求を同時にスケジュールに入れようとする、ネットワークの開始時または終了時に発生します。 数がそれほど大きくない場合は、追跡する必要はありません。 いずれにしろ、CICS は、後で失敗した要求を再試行します。

ただし、ネットワークが拡張している場合は、この統計をモニターする必要があります。また、数が増加し始めたら、それに対処する必要があります。
D NET,BFRUSE を使用して、Communications Server 独自の領域にストレージ不足があるかどうかを検査し、必要に応じて Communications Server の割り振りを増やします。

この統計の最大値は 99 であり、このときにメッセージがコンソールに送信され、カウンターがゼロにリセットされます。 ただし、Communications Server には自己のバッファーを制御し、ユーザーに、バッファーの使用量をモニターする機能があります。

D NET,BFRUSE が不十分であると感じる場合は、Communications Server において SMS トレースをアクティビティー化し、一定間隔でバッファー・アクティビティーのサンプルをとることができます。 NetView® をインストールしている場合は、D NET, BFRUSE によって獲得したデータを、動的に表示することもできます。

BMS 3270 Intrusion Detection Service (IDS) 機能を使用すると、以下の統計に、検出された BMS 3270 侵入の数と、実行された処置が報告されます。

- BMS 3270 検証
- 異常終了になった BMS 3270 妥当性検査の失敗数
- 無視された BMS 3270 妥当性検査の失敗数
- ログに記録された BMS 3270 妥当性検査の失敗数

BMS 3270 Intrusion Detection Service (IDS) 機能について詳しくは、BMS 3270 侵入検知サービスを参照してください。

z/OS Communications Server: グローバル統計

表 *188. z/OS Communications Server:* グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Times at RPL maximum (RPL 最大値の回数)	A03RPLXT	ピーク RPL ポスト値 (A03RPLX) に到達した回数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Peak RPLs posted (ポストされた RPL のピーク数)	A03RPLX	端末管理のディスパッチのいずれかで Communications Server によってポストされた、すべて受け入れる要求パラメーター・リスト (RPL) の最大数です。 リセット特性: ゼロにリセット
Short on storage count (ストレージ不足カウント)	A03VTSOS	Communications Server が一時 Communications Server ストレージ問題の存在を示す度に、CICS 端末管理プログラム内の Communications Server SYNAD 出口で増分されるカウンターです。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *188. z/OS Communications Server:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Dynamic opens count (動的オープン・カウント)	A03DOC	Communications Server アクセス方式制御ブロック (ACB) が制御端末を通して開かれた回数です。 Communications Server が CICS より先に開始され、CICS の実行中ずっとアクティブのままであった場合、この値は 0 です。 リセット特性: ゼロにリセット
Current LUs in session (セッション内の LU の現在の数)	A03LUNUM	セッション内の LU の現在の数です。 含まれる LU のタイプは、以下のとおりです。 • セッション（バインド済み）内の 1 次 LU6.1 および 2 次 LU6.1。 • セッション（バインド済み）内の 1 次 LU6.2 および 2 次 LU6.2。 • Communications Server SNA LU。 リセット特性: リセットなし
HWM LUs in session (セッション内の HWM LU の数)	A03LUHWM	ログオンした LU の現在の最高数です。含まれる LU のタイプは、以下のとおりです。 • セッション（バインド済み）内の 1 次 LU6.1 および 2 次 LU6.1。 • セッション（バインド済み）内の 1 次 LU6.2 および 2 次 LU6.2。 • Communications Server SNA LU。 リセット特性: 現行値にリセット
PS inquire count (PS 照会カウント)	A03PSIC	CICS が INQUIRE OPTCD=PERSESS を発行した回数です。 リセット特性: 現行値にリセット
PS nib count (PS NIB カウント)	A03PSNC	存続した Communications Server セッションの数です。 リセット特性: 現行値にリセット
PS opndst count (PS OPNDST カウント)	A03PSOC	正常に復元された現存するセッションの数です。 リセット特性: 現行値にリセット
PS unbind count (PS アンバインド・カウント)	A03PSUC	終了された現存するセッションの数です。 リセット特性: 現行値にリセット

表 188. z/OS Communications Server: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
PS error count (PS のエラー件数)	A03PSEC	CICS が復元を試行したときには既にアンバインドされていた、現存するセッションの数です。 リセット特性: 現行値にリセット
BMS 3270 検証	A03BMVL	BMS 3270 検証 URM を ON にするか OFF にするかを指定します。
Number of BMS 3270 Validation Failures Ignored (無視された BMS 3270 妥当性検査の失敗数)	A03BMIG	BMS 3270 検証 URM が無効な 3270 データを検出したが応答では検出を無視した回数です。 リセット特性: リセットなし
Number of BMS 3270 Validation Failures Logged (ログに記録された BMS 3270 妥当性検査の失敗数)	A03BMLG	BMS 3270 検証 URM が無効な 3270 データを検出し、DFHTF0200 メッセージを発行してイベントをログに記録した回数です。 リセット特性: リセットなし
Number of BMS 3270 Validation Failures Abended (異常終了になった BMS 3270 妥当性検査の失敗数)	A03BMAB	BMS 3270 検証 URM が無効な 3270 データを検出し、DFHTF0200 メッセージを発行してイベントをログに記録し、ABMX 異常終了コードとのトランザクションを強制終了した回数です。 リセット特性: リセットなし

z/OS Communications Server: 要約グローバル統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 189. z/OS Communications Server: 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
Times at RPL maximum (RPL 最大値の回数)	ピーク RPL ポスト値に到達した回数の合計数です。
Peak RPLs posted (ポストされた RPL のピーク数)	端末管理のディスパッチのいずれかで Communications Server によってポストされた、すべて受け入れる要求パラメーター・リスト (RPL) のピーク数です。
Short on storage count (ストレージ不足カウント)	Communications Server が一時 Communications Server ストレージ問題の存在を示す度に、CICS 端末管理プログラム内の Communications Server SYNAD 出口で増分されるカウンターです。
Dynamic opens count (動的オープン・カウント)	Communications Server アクセス方式制御ブロック (ACB) が制御端末を通して開かれた回数の合計数です。 Communications Server が CICS より先に開始され、CICS の実行中ずっとアクティブのままであった場合、この値は 0 です。
Average LUs in session (セッション内の LU の平均)	ログオンした LU の数の平均値です。

表 *189. z/OS Communications Server:* 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
HWM LUs in session (セッション内の HWM LU の数)	ログオンした LU の数の最高値です。
PS inquire count (PS 照会カウント)	CICS が INQUIRE OPTCD=PERSESS を発行した回数の合計数です。
PS nib count (PS NIB カウント)	存続した Communications Server セッションの合計数です。
PS opndst count (PS OPNDST カウント)	正常に復元された現存するセッションの合計数です。
PS unbind count (PS アンバインド・カウント)	終了された現存するセッションの合計数です。
PS error count (PS のエラー件数)	CICS が復元を試行したときには既にアンバインドされていた、現存するセッションの合計数です。
BMS 3270 検証	BMS 3270 検証 URM を ON にするか OFF にするかを指定します。
Number of BMS 3270 Validation Failures Ignored (無視された BMS 3270 妥当性検査の失敗数)	BMS 3270 検証 URM が無効な 3270 データを検出したが応答では検出を無視した回数です。
Number of BMS 3270 Validation Failures Logged (ログに記録された BMS 3270 妥当性検査の失敗数)	BMS 3270 検証 URM が無効な 3270 データを検出し、DFHTF0200 メッセージを発行してイベントをログに記録した回数です。
Number of BMS 3270 Validation Failures Abended (異常終了になった BMS 3270 妥当性検査の失敗数)	BMS 3270 検証 URM が無効な 3270 データを検出し、DFHTF0200 メッセージを発行してイベントをログに記録し、ABMX 異常終了コードとのトランザクションを強制終了した回数です。

Web サービス統計

CICS の Web サービス・サポートでは、サービスが Web サービス記述言語 (WSDL) を使用して定義されていれば、CICS アプリケーションが、Web サービス・プロバイダーと Web サービス・リクエスターの両方の役割を果たすことができます。

配置される CICS アプリケーション・プログラムの実行時環境の性質を Web サービスの設定に定義するために、WEBSERVICE リソース定義が使用されます。WEBSERVICE リソース定義ごとの統計が提供され、すべての WEBSERVICE 定義の合計の使用回数も示されます。

Web サービス・レポートについては、Web サービス・レポートを参照してください。

Web サービス: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS WEBSERVICE RESID システム・コマンドを使用して、Web サービスのリソース統計を取得できます。これらの統計は DFHPIWDS DSECT によってマップされます。

リソース情報は、各 WEBSERVICE リソース定義のさまざまな属性設定の詳細を提供します。 すべての WEBSERVICE 定義の合計の使用回数も提供します。

表 *190. Web* サービス*:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
WEBSERVICE Name (WEBSERVICE 名)	PIW_WEBSERVICE_NAME	WEBSERVICE リソース定義の名前。 リセット特性: リセットなし
PIPELINE name (PIPELINE 名)	PIW_PIPELINE_NAME	この WEBSERVICE リソースを含む PIPELINE リソースの名前。 リセット特性: リセットなし
URIMAP name (URIMAP 名)	PIW_URIMAP_NAME	動的にインストールされた URIMAP リソース定義の名前 (この WEBSERVICE リソース定義に関連付けられた URIMAP リソース定義がある場合)。 リセット特性: リセットなし
Web service description (WSDL) (Web サービス記述 (WSDL))	PIW_WSDL_FILE	WEBSERVICE リソースに関連付けられた Web サービス記述 (WSDL) ファイルのファイル名。 リセット特性: リセットなし
Archive file (アーカイブ・ファイル)	PIW_ARCHIVE_FILE	WEBSERVICE リソースに関連付けられた 1 つ以上の Web サービス記述 (WSDL) ファイルを含むアーカイブ・ファイルのファイル名。 リセット特性: リセットなし
Web service binding file (Web サービス・バインディング・ファイル)	PIW_WSBIND_FILE	WEBSERVICE リソースに関連付けられた Web サービス・バインディング・ファイルのファイル名。 リセット特性: リセットなし

表 *190. Web* サービス*:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Web service WSDL binding (Web サービス WSDL バインディング)	PIW_WSDL_BINDING	WEBSERVICE リソースによって表現される WSDL バインディング。 このバインディングは、WSDL ファイルに多数現れる可能性のあるバインディングのうちの 1 つです。 リセット特性: リセットなし
Endpoint (エンドポイント)	PIW_ENDPOINT_URI	Web サービス記述で定義されているように、Web サービスのネットワーク上の場所 (エンドポイント) を指定する URI。 リセット特性: リセットなし
妥当性検査	PIW_MSG_VALIDATION	Web サービス記述内の対応するスキーマに照らした SOAP メッセージの完全な妥当性検査が指定されているかどうかを示します。 リセット特性: リセットなし
Program interface (プログラム・インターフェース)	PIW_PROGRAM_INTERFACE	サービス・プロバイダーの場合は、CICS がターゲット・アプリケーション・プログラムに COMMAREA とチャネルのどちらでデータを渡すかを示します。 リセット特性: リセットなし
プログラム名	PIW_WEBSERVICE_PROGRAM	ターゲット・アプリケーション・プログラムの名前。 リセット特性: リセットなし
Container (コンテナー)	PIW_CONTAINER_NAME	CICS がターゲット・アプリケーション・プログラムにチャネルでデータを渡すとき、最上位のデータを格納するコンテナーの名前を示します。 リセット特性: リセットなし

表 *190. Web* サービス*:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
WEBSERVICE use count (WEBSERVICE の使用回数)	PIW_WEBSERVICE_USE_COUNT	メッセージの処理のために、この WEBSERVICE リソース定義が使用された回数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIW_WEBSERVICE_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。 この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIW_WEBSERVICE_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIW_WEBSERVICE_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIW_WEBSERVICE_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェントを識別します。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIW_WEBSERVICE_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェントを識別します。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIW_WEBSERVICE_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	PIW_WEBSERVICE_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

WEBSERVICE の合計**:** リソース統計には、メッセージの処理のために WEBSERVICE リソース定義が使用された回数の合計数を示す、WEBSERVICE の合計の使用回数も含まれます。

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

Web サービス**:** 要約リソース統計

リソース情報は、各 WEBSERVICE リソース定義のさまざまな属性設定の詳細を提供します。

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *191. Web* サービス*:* 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
WEBSERVICE name (WEBSERVICE 名)	WEBSERVICE リソース定義の名前。
PIPELINE name (PIPELINE 名)	この WEBSERVICE リソースを含む PIPELINE リソースの名前。
URIMAP name (URIMAP 名)	動的にインストールされた URIMAP リソース定義の名前 (この WEBSERVICE に関連付けられた URIMAP リソース定義がある場合)。
Web service description (WSDL) (Web サービス記述 (WSDL))	WEBSERVICE リソースに関連付けられた Web サービス記述 (WSDL) ファイルのファイル名。
Archive file (アーカイブ・ファイル)	WEBSERVICE リソースに関連付けられた 1 つ以上の Web サービス記述 (WSDL) ファイルを含むアーカイブ・ファイルのファイル名。
Web service binding file (Web サービス・バインディング・ファイル)	WEBSERVICE リソースに関連付けられた Web サービス・バインディング・ファイルのファイル名。
Web service WSDL binding (Web サービス WSDL バインディング)	WEBSERVICE によって表現される WSDL バインディング。このバインディングは、WSDL ファイルに多数現れる可能性のあるバインディングのうちの 1 つです。
Endpoint (エンドポイント)	Web サービス記述で定義されているように、Web サービスのネットワーク上の場所 (エンドポイント) を指定する URI。

表 *191. Web* サービス*:* 要約リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
妥当性検査	Web サービス記述内の対応するスキーマに照らした SOAP メッセージの完全な妥当性検査が指定されているかどうかを示します。
Program interface (プログラム・インターフェース)	サービス・プロバイダーの場合は、CICS がターゲット・アプリケーション・プログラムに COMMAREA とチャネルのどちらでデータを渡すかを示します。
プログラム名	ターゲット・アプリケーション・プログラムの名前。
Container (コンテナー)	CICS がターゲット・アプリケーション・プログラムにチャネルでデータを渡すとき、最上位のデータを格納するコンテナーの名前を示します。
WEBSERVICE use count (WEBSERVICE の使用回数)	メッセージの処理のために、この WEBSERVICE リソース定義が使用された回数。

WEBSERVICE の合計:

要約統計には、メッセージの処理のために WEBSERVICE リソース定義が使用された回数の合計数を示す、WEBSERVICE の合計の使用回数も含まれます。

CICS MQ 統計

CICS-MQ 接続およびインストール済みの各 MQ モニターについて、統計が提供されます。

IBM MQ 接続統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS MQCONN システム・コマンドを使用して、IBM® MQ Connection の統計を取得できます。これらの統計は DFHMQGDS DSECT によってマップされます。

表 *192. IBM MQ* 接続*:* グローバル統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
MQCONN name (MQCONN 名)	MQG_MQCONN_NAME	CICS と IBM MQ との間の接続の属性を定義する、CICS 領域のためのインストール済み MQCONN 定義の名前。 リセット特性: リセットなし

表 *192. IBM MQ* 接続*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
IBM MQ Connect Date / Time (IBM MQ 接続日付/時刻)	MQG_CONNECT_TIME_LOCAL	CICS と IBM MQ との間の最新の接続が開始された日時。要約統計では、このフィールドは表示されません。代わりに、「Total IBM MQ Connection Time (IBM MQ 合計接続時間)」というフィールドが、CICS が IBM MQ に接続された合計時間を表示します。 リセット特性: リセットなし
IBM MQ Connection Status (IBM MQ 接続状況)	MQG_CONNECTION_STATUS	CICS と IBM MQ との間の接続の状況を以下のように示します。 **C** 接続 **N** 非接続 リセット特性: リセットなし
IBM MQ Disconnect Date / Time (IBM MQ 切断日付/時刻)	MQG_ DISCONNECT_TIME_LOCAL	要約統計では、このフィールドは表示されません。 CICS と IBM MQ との間の最新の接続が終了した日時。CICS が IBM MQ に現在接続されている場合、このフィールドはブランクになります。要約統計では、このフィールドは表示されません。 リセット特性: リセットなし
Mqname	MQG_MQNAME	CICS 領域のためのインストール済み MQCONN 定義の MQNAME 属性に指定された、IBM MQ キュー・マネージャーまたはキュー共用グループの名前。CICS は、これをその接続のためのデフォルトとして使用します。 リセット特性: リセットなし
IBM MQ Queue Manager name (IBM MQ キュー・マネージャー名)	MQG_QMGR_NAME	CICS が現在接続されている IBM MQ キュー・マネージャーの名前。CICS が IBM MQ に接続されていない場合、このフィールドはブランクになります。 リセット特性: リセットなし

表 *192. IBM MQ* 接続: グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Resync Group member (再同期グループ・メンバー)	MQG_RESYNCMEMBER	CICS が IBM MQ に再接続するときに未確定の作業単位がある場合、CICS 領域の MQCONN 定義が再同期を指定しているかどうかを以下のように示します。 **YES** CICS は同じキュー・マネージャーに接続し、必要に応じて、キュー・マネージャーがアクティブになるまで待機します。 **NO** CICS は同じキュー・マネージャーへの接続を一回試行します。 その試行が失敗すると、CICS はキュー共用グループの任意のメンバーに接続します。 **GROUPRESYNC** CICS は、キュー共用グループのどのメンバーにも接続します。キュー・マネージャーが IBM MQ によって選択され、そのキュー・マネージャーは、キュー共用グループ内のすべての適格キュー・マネージャーの代わりに、未確定の作業単位を解決することを CICS に要求します。この機能は、グループ・リカバリー単位と呼ばれます。 リセット特性: リセットなし
IBM MQ Release (IBM MQ リリース)	MQG_MQ_RELEASE	CICS に接続された IBM MQ のリリース。
Initiation Queue name (開始キュー名)	MQG_INITIATION_QUEUE	CICS と IBM MQ との間の接続の、デフォルト開始キューの名前。 リセット特性: リセットなし
Number of current tasks (現在のタスク数)	MQG_TTasks	MQI 呼び出しを発行した現在のタスクの数。要約統計では、このフィールドは表示されません。 リセット特性: リセットなし
Number of futile attempts (失敗した試行の数)	MQG_TFutilAtt	接続状況が「not connected」のときに行われた MQI 呼び出し数のカウント。 これは接続が確立されたときにゼロにリセットされます。 リセット特性: ゼロにリセット
Total number of API calls (API 呼び出しの総数)	MQG_TApi	接続が確立されてからの MQI 呼び出しの総数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *192. IBM MQ* 接続*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of API calls completed OK (正常に完了した API 呼び出しの数)	MQG_TApiOk	正常に完了した呼び出しの総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of OPEN requests (OPEN 要求数)	MQG_TOPEN	発行された MQOPEN 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of CLOSE requests (CLOSE 要求数)	MQG_TCLOSE	発行された MQCLOSE 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of GET requests (GET 要求数)	MQG_TGET	発行された MQGET 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of GETWAIT requests (GETWAIT 要求数)	MQG_TGETWAIT	MQGMO_WAIT オプションが指定して発行された MQGET 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of GETWAITs that waited (待ち GETWAIT 要求数)	MQG_TWaitMsg	MQGMO_WAIT オプションを指定して発行された MQGET 呼び出しで、メッセージを待機したものの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of PUT requests (PUT 要求数)	MQG_TPUT	発行された MQPUT 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of PUT1 requests (PUT1 要求数)	MQG_TPUT1	発行された MQPUT1 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of INQ requests (INQ 要求数)	MQG_TINQ	発行された MQINQ 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of SET requests (SET 要求数)	MQG_TSET	発行された MQSET 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *192. IBM MQ* 接続: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of internal MQ calls (内部 MQ 呼び出し数)	MQG_TCall	接続での IBM MQ へのフローの合計数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number that completed synchronously (同期して完了した数)	MQG_TCallSyncComp	同期して完了した呼び出しの総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number that needed I/O (入出力を必要とした数)	MQG_TCallIO	入出力を必要とした呼び出しの総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of calls with TCB switch (TCB スイッチのある呼び出し数)	MQG_TSubtasked	TCB スイッチのある API 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of indoubt units of work (未確定の作業単位数)	MQG_IndoubtUOW	アダプター開始時に未確定の UOW の数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of unresolved units of work (未解決の作業単位数)	MQG_UnResolvedUOW	アダプター開始時に未確定の UOW で、CICS コールド・スタートのために解決されていないものの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of resolved committed UOWs (解決されたコミット済み UOW の数)	MQG_ResolveComm	アダプター開始時に未確定の UOW で、コミットによって解決されたものの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of resolved backout UOWs (解決されたバックアウト UOW の数)	MQG_ResolveBack	アダプター開始時に未確定の UOW で、バックアウトによって解決されたものの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of Backout UOWs (バックアウト UOW の数)	MQG_TBackUOW	バックアウトされた UOW の総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of Committed UOWs (コミットされた UOW の数)	MQG_TCommUOW	コミットされた UOW の総数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 192. IBM MQ 接続: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of tasks (タスク数)	MQG_TTaskend	タスクの総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of Single Phase Commits (単一フェーズ・コミットの数)	MQG_TSPComm	単一フェーズ・コミットの総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of Two Phase Commits (2 フェーズ・コミットの数)	MQG_T2PComm	2 フェーズ・コミットの総数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of CB requests (CB 要求数)	MQG_TCB	発行された MQCB 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of msgs consumed (消費されたメッセージの数)	MQG_TCONSUME	コールバック・ルーチンに渡されたメッセージの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of CTL requests (CTL 要求数)	MQG_TCTL	発行された MQCTL 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of SUB requests (SUB 要求数)	MQG_TSUB	発行された MQSUB 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of SUBRQ requests (SUBRQ 要求数)	MQG_TSUBRQ	発行された MQSUBRQ 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of STAT requests (STAT 要求数)	MQG_TSTAT	発行された MQSTAT 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of CRTMH requests (CRTMH 要求数)	MQG_TCRTMH	発行された MQCRTMH 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of DLTMH requests (DLTMH 要求数)	MQG_TDLTMH	発行された MQDLTMH 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *192. IBM MQ* 接続: グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of SETMP requests (SETMP 要求数)	MQG_TSETMP	発行された MQSETMP 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of INQMP requests (INQMP 要求数)	MQG_TINQMP	発行された MQINQMP 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of DLTMP requests (DLTMP 要求数)	MQG_TDLTMP	発行された MQDLTMP 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of MHBUF requests (MHBUF 要求数)	MQG_TMHBUF	発行された MQMHBUF 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of BUFMH requests (BUFMH 要求数)	MQG_TBUFMH	発行された MQBUFMH 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQG_Connect_time_gmt	CICS が IBM MQ に接続したときのグリニッジ標準時 (GMT)。この時間は、DFHSTUP レポートで `hh:mm:ss` の形式で表記されますが、DSECT フィールドでは GMT 保管クロック (STCK) 値として含まれます。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQG_Disconnect_time_gmt	CICS が IBM MQ から切断したときのグリニッジ標準時 (GMT)。この時間は、DFHSTUP レポートで `hh:mm:ss` の形式で表記されますが、DSECT フィールドでは GMT 保管クロック (STCK) 値として含まれます。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQG_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳細については、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQG_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし

表 *192. IBM MQ* 接続*:* グローバル統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQG_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQG_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQG_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQG_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQG_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

IBM MQ 接続: 要約グローバル統計

IBM MQ 接続の要約グローバル統計は、「*IBM MQ* 接続*:* 要約グローバル統計」レポートで入手できます。 要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 *193. IBM MQ* 接続*:* 要約グローバル統計

DFHSTUP 名	説明
MQCONN name (MQCONN 名) Mqname	CICS と IBM MQ との間の接続の属性を定義する、CICS 領域のためのインストール済み MQCONN 定義の名前。 CICS 領域のためのインストール済み MQCONN 定義の MQNAME 属性に指定された、IBM MQ キュー・マネージャーまたはキュー共用グループの名前。CICS は、これをその接続のためのデフォルトとして使用します。

表 *193. IBM MQ* 接続: 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
IBM MQ Queue Manager name (IBM MQ キュー・マネージャー名)	CICS が現在接続されている IBM MQ キュー・マネージャーの名前。CICS が IBM MQ に接続されていない場合、このフィールドはブランクになります。
Resync Group member (再同期グループ・メンバー)	CICS が IBM MQ に再接続するときに未確定の作業単位がある場合、CICS 領域の MQCONN 定義が再同期を指定しているかどうかを以下のように示します。 **YES** CICS は同じキュー・マネージャーに接続し、必要に応じて、キュー・マネージャーがアクティブになるまで待機します。 **NO** CICS は同じキュー・マネージャーへの接続を一回試行します。 その試行が失敗すると、CICS はキュー共用グループの任意のメンバーに接続します。 **GROUPRESYNC** CICS は、キュー共用グループのどのメンバーにも接続します。キュー・マネージャーが IBM MQ によって選択され、そのキュー・マネージャーは、キュー共用グループ内のすべての適格キュー・マネージャーの代わりに、未確定の作業単位を解決することを CICS に要求します。この機能は、グループ・リカバリー単位と呼ばれます。
IBM MQ Release (IBM MQ リリース)	CICS に接続された IBM MQ のリリース。
Initiation Queue name (開始キュー名)	CICS と IBM MQ との間の接続の、デフォルト開始キューの名前。
Number of futile attempts (失敗した試行の数)	接続状況が「not connected」のときに行われた MQI 呼び出し数のカウント。 この値は、接続が確立されると、ゼロにリセットされます。
Total number of API calls (API 呼び出しの総数)	接続が行われてから以後のMQI呼び出しの総数。
Number of API calls completed OK (正常に完了した API 呼び出しの数)	正常に完了した呼び出しの総数。
Number of OPEN requests (OPEN 要求数)	発行されたMQOPEN呼び出しの数。
Number of CLOSE requests (CLOSE 要求数)	発行されたMQCLOSE呼び出しの数。
Number of GET requests (GET 要求数)	発行されたMQGET呼び出しの数。
Number of GETWAIT requests (GETWAIT 要求数)	MQGMO_WAITオプション指定で発行されたMQGET呼び出しの数。
Number of GETWAITs that waited (待ち GETWAIT 要求数)	MQGMO_WAIT オプションを指定して発行された MQGET 呼び出しで、メッセージを待機したものの数。
Number of PUT requests (PUT 要求数)	発行されたMQPUT呼び出しの数。
Number of PUT1 requests (PUT1 要求数)	発行されたMQPUT1呼び出しの数。
Number of INQ requests (INQ 要求数)	発行されたMQINQ呼び出しの数。
Number of SET requests (SET 要求数)	発行されたMQSET呼び出しの数。
Number of internal MQ calls (内部 MQ 呼び出し数)	接続での IBM MQ へのフローの合計数。

表 193. IBM MQ 接続: 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Number that completed synchronously (同期して完了した数)	同期して完了した呼び出しの総数。
Number that needed I/O (入出力を必要とした数)	入出力を必要とした呼び出しの総数。
Number of calls with TCB switch (TCB スイッチのある呼び出し数)	TCB スイッチのある API 呼び出しの数。
Number of indoubt units of work (未確定の作業単位数)	アダプター開始時に未確定の UOW の数。
Number of unresolved units of work (未解決の作業単位数)	アダプター開始時に未確定の UOW で、CICS コールド・スタートのために解決されていないものの数。
Number of resolved committed UOWs (解決されたコミット済み UOW の数)	アダプター開始時に未確定の UOW で、コミットによって解決されたものの数。
Number of resolved backout UOWs (解決されたバックアウト UOW の数)	アダプター開始時に未確定の UOW で、バックアウトによって解決されたものの数。
Number of Backout UOWs (バックアウト UOW の数)	バックアウトされた UOW の総数。
Number of Committed UOWs (コミットされた UOW の数)	コミットされた UOW の総数。
Number of tasks (タスク数)	タスクの総数。
Number of Single Phase Commits (単一フェーズ・コミットの数)	単一フェーズ・コミットの総数。
Number of Two Phase Commits (2 フェーズ・コミットの数)	2 フェーズ・コミットの総数。
Number of CB requests (CB 要求数)	発行された MQCB 呼び出しの数。
Number of msgs consumed (消費されたメッセージの数)	コールバック・ルーチンに渡されたメッセージの数。
Number of CTL requests (CTL 要求数)	発行された MQCTL 呼び出しの数。
Number of SUB requests (SUB 要求数)	発行された MQSUB 呼び出しの数。
Number of SUBRQ requests (SUBRQ 要求数)	発行された MQSUBRQ 呼び出しの数。
Number of STAT requests (STAT 要求数)	発行された MQSTAT 呼び出しの数。
Number of CRTMH requests (CRTMH 要求数)	発行された MQCRTMH 呼び出しの数。
Number of DLTMH requests (DLTMH 要求数)	発行された MQDLTMH 呼び出しの数。
Number of SETMP requests (SETMP 要求数)	発行された MQSETMP 呼び出しの数。
Number of INQMP requests (INQMP 要求数)	発行された MQINQMP 呼び出しの数。

表 193. *IBM MQ* 接続: 要約グローバル統計 (続き)

DFHSTUP 名	説明
Number of DLTMP requests (DLTMP 要求数)	発行された MQDLTMP 呼び出しの数。
Number of MHBUF requests (MHBUF 要求数)	発行された MQMHBUF 呼び出しの数。
Number of BUFMH requests (BUFMH 要求数)	発行された MQBUFMH 呼び出しの数。

IBM MQ モニター統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS MQMONITOR システム・コマンドを使用して、IBM MQ モニター統計を取得できます。これらの統計は DFHMQRDS/DFHMQRPS/DFHMQRKS によってマップされます。

CICS 領域にインストールされている各 MQMONITOR リソースごとに 1 つのレコードが作成されます。

表 194. *IBM MQ* モニター統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
MQMONITOR name (MQMONITOR 名)	MQR_NAME	CICS 領域内のインストール済み MQMONITOR 定義の名前。 リセット特性: リセットなし
MQMONITOR Start Date / Time (MQMONITOR 開始日 / 時間)	MQR_START_TIME_LOCAL	MQ モニターの最新のインスタンスが開始された現地日時。 リセット特性: リセットなし
MQMONITOR Stop Date / Time (MQMONITOR 停止日 / 時間)	MQR_STOP_TIME_LOCAL	MQ モニターの最新のインスタンスが停止された現地日時。MQ モニターの実行中は、このフィールドはブランクです。 リセット特性: リセットなし
キュー名	MQR_QNAME	MQ モニターがモニターする MQ キューの名前。 リセット特性: なし

表 *194. IBM MQ* モニター統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
モニター状況	MQR_MONSTATUS	MQ モニターの状況。次のいずれかになります。 **STARTED** MQ モニターが開始されます。 **STARTING** MQ モニターは開始しています。 **STOPPED** MQ モニターは停止されます。 **STOPPING** MQ モニターが停止しています。 リセット特性: リセットなし
Monuserid (モニター・ユーザー ID)	MQR_MONUSERID	MQ キューをモニターするトランザクションが使用するユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
タスク番号	MQR_TASKNUM	MQ キューをモニターするトランザクションのタスク番号。 リセット特性: なし
Tranid (トランザクション ID)	MQR_TRANID	MQ モニターが使用する、CICS トランザクションの ID。 リセット特性: リセットなし
Userid	MQR_USERID	該当するユーザー ID が無効である場合にアプリケーション・トランザクションに対して開始要求を発行するときに、MQMONITOR トランザクションが使用するユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Number of OPEN requests (OPEN 要求数)	MQR_TOPEN	発行された MQOPEN 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of CLOSE requests (CLOSE 要求数)	MQR_TCLOSE	発行された MQCLOSE 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of GET requests (GET 要求数)	MQR_TGET	発行された MQGET 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of GETWAIT requests (GETWAIT 要求数)	MQR_TGETWAIT	MQGMO_WAIT オプションが指定して発行された MQGET 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of PUT requests (PUT 要求数)	MQR_TPUT	発行された MQPUT 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット

表 *194. IBM MQ* モニター統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Number of PUT1 requests (PUT1 要求数)	MQR_TPUT1	発行された MQPUT1 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of INQ requests (INQ 要求数)	MQR_TINQ	発行された MQINQ 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of INQL requests (INQL 要求の数)	MQR_TINQL	発行された MQINQL 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of SET requests (SET 要求数)	MQR_TSET	発行された MQSET 呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of COMMITOUW requests (COMMITOUW 要求数)	MQR_TCOMMUOW	アダプター開始時に未確定の UOW で、コミットによって解決されたものの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of BACKUOW requests (BACKUOW 要求数)	MQR_TBACKUOW	アダプター開始時に未確定の UOW で、バックアウトによって解決されたものの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Number of OTHER requests (OTHER 要求数)	MQR_TOTHER	その他の呼び出しの数。 リセット特性: ゼロにリセット
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQR_START_TIME_GMT	MQ モニターが開始されたグリニッジ標準時 (GMT)。この時間は、DFHSTUP レポートで `hh:mm:ss` の形式で表記されますが、DSECT フィールドでは GMT 保管クロック (STCK) 値として含まれます。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQR_STOP_TIME_GMT	MQ モニターが停止されたグリニッジ標準時 (GMT)。この時間は、DFHSTUP レポートで `hh:mm:ss` の形式で表記されますが、DSECT フィールドでは GMT 保管クロック (STCK) 値として含まれます。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQR_MQMON_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし

表 *194. IBM MQ* モニター統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQR_MQMON_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQR_MQMON_CHANGE_USERID	変更エージェントを実行したユーザーの ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQR_MQMON_CHANGE_AGENT	最後に変更を行ったエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQR_MQMON_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQR_MQMON_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MQR_MQMON_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザーの ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

IBM MQ モニター: 要約統計

すべての MQMONITOR 定義に関する MQMONITOR 統計の要約リストです。要約統計は、オンラインでは使用できません。

CICS 領域にインストールされている各 MQMONITOR リソースごとに 1 つのレコードが作成されます。

表 *195. IBM MQ* モニター: 要約統計

DFHSTUP 名	説明
Monitor name (モニター名)	CICS 領域内のインストール済み MQMONITOR 定義の名前。
キュー名	MQ モニターがモニターする MQ キューの名前。
Number of OPEN requests (OPEN 要求数)	発行された MQOPEN 呼び出しの数。

表 *195. IBM MQ* モニター*:* 要約統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Number of CLOSE requests (CLOSE 要求数)	発行された MQCLOSE 呼び出しの数。
Number of GET requests (GET 要求数)	発行された MQGET 呼び出しの数。
Number of GETWAIT requests (GETWAIT 要求数)	MQGMO_WAIT オプションが指定して発行された MQGET 呼び出しの数。
Number of PUT requests (PUT 要求数)	発行された MQPUT 呼び出しの数。
Number of PUT1 requests (PUT1 要求数)	発行された MQPUT1 呼び出しの数。
Number of INQ requests (INQ 要求数)	発行された MQINQ 呼び出しの数。
Number of INQL requests (INQL 要求の数)	発行された MQINQL 呼び出しの数。
Number of SET requests (SET 要求数)	発行された MQSET 呼び出しの数。
Number of COMMITOUW requests (COMMITOUW 要求数)	アダプター開始時に未確定の UOW で、コミットによって解決されたものの数。
Number of BACKUOW requests (BACKUOW 要求数)	アダプター開始時に未確定の UOW で、バックアウトによって解決されたものの数。
Number of OTHER requests (OTHER 要求数)	その他の呼び出しの数。

XMLTRANSFORM 統計

マークアップ言語 (ML) ドメインは、アプリケーション・データから XML への (およびその逆の) 転換をするための XML バインディングおよびスキーマを定義する、XMLTRANSFORM リソースの統計を収集します。

BUNDLE リソースまたは ATOMSERVICE リソースをインストールすると、CICS は動的に XMLTRANSFORM リソースを作成します。

XMLTRANSFORM: リソース統計

EXEC CICS EXTRACT STATISTICS XMLTRANSFORM システム・コマンドを使用して、XMLTRANSFORM リソース統計を取得できます。これらの統計は DFHMLRDS によってマップされます。

表 *196. XMLTRANSFORM:* リソース統計

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
XMLTRANSFORM name (XMLTRANSFORM 名)	MLR_XMLTRANSFORM_NAME	XMLTRANSFORM リソースの名前。 リセット特性: リセットなし
XML binding file (XML バインディング・ファイル)	MLR_XSDBIND_FILE	z/OS UNIX での XML バインディングの名前および場所。 リセット特性: リセットなし

表 *196. XMLTRANSFORM:* リソース統計 *(*続き*)*

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
XML schema file (XML スキーマ・ファイル)	MLR_XMLSCHEMA_FILE	z/OS UNIX での XML スキーマの名前および場所。 リセット特性: リセットなし
妥当性検査	MLR_MSG_VALIDATION	XML 検証の状況。 リセット特性: リセットなし
XMLTRANSFORM use count (XMLTRANSFORM の使用回数)	MLR_XMLTRNFM_USE_COUNT	XML バインディングがデータ形式変更に使用された回数。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MLR_XMLTRNFM_DEFINE_SOURCE	リソース定義のソース。この値は変更エージェントによって異なります。 詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MLR_XMLTRNFM_CHANGE_TIME	CSD レコードが変更されたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MLR_XMLTRNFM_CHANGE_USERID	CHANGE_AGENT を実行したユーザー ID。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MLR_XMLTRNFM_CHANGE_AGENT	最後の変更を行うために使用されたエージェント。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MLR_XMLTRNFM_INSTALL_AGENT	リソースをインストールしたエージェント。 リセット特性: リセットなし

表 196. XMLTRANSFORM: リソース統計 (続き)

DFHSTUP 名	フィールド名	説明
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MLR_XMLTRNFM_INSTALL_TIME	リソースがインストールされたときの、地方時でのタイム・スタンプ (STCK)。 リセット特性: リセットなし
Not in DFHSTUP report (DFHSTUP レポートになし)	MLR_XMLTRNFM_INSTALL_USERID	リソースをインストールしたユーザー ID。 リセット特性: リセットなし

リソース・シグニチャーに関するリソース統計フィールド

リソース・シグニチャーは、リソースの定義時、インストール時、および最終変更時についての詳細情報を収集します。 リソース・シグニチャー用のリソース統計フィールド名は、CHANGE_AGENT、 CHANGE_TIME、 CHANGE_USERID、 DEFINE_SOURCE、 INSTALL_AGENT、 INSTALL_TIME、および INSTALL_USERID で終わります。 リソース・シグニチャー・フィールドの内容について詳しくは、Summary of the resource signature field valuesを参照してください。

XMLTRANSFORM: 要約リソース統計

要約統計は、オンラインでは使用できません。

表 197. XMLTRANSFORM: 要約リソース統計

DFHSTUP 名	説明
XMLTRANSFORM name (XMLTRANSFORM 名)	XMLTRANSFORM リソースの名前。
XML binding file (XML バインディング・ファイル)	z/OS UNIX での XML バインディングの名前および場所。
XML schema file (XML スキーマ・ファイル)	z/OS UNIX での XML スキーマの名前および場所。
妥当性検査	XML 検証の状況。
XMLTRANSFORM use count (XMLTRANSFORM の使用回数)	XML バインディングがデータ形式変更に使用された回数。

第 2 章 DFH0STAT レポート

サンプルの統計プログラム DFH0STAT は、ここにリストされた統計に関するレポートを作成できます。 「CICS Statistics Print Report Selection (CICS 統計のレポート印刷の選択)」画面を使用して、必要な統計レポートを選択できます。

各レポートの見出しには、総称 APPLID、SYSID、ジョブ名、日付、時刻、および CICS のバージョン情報とリリース情報が含まれています。

ATOMSERVICE レポート

ATOMSERVICE レポートは、Atom フィードを定義する ATOMSERVICE リソース定義に関する情報および統計を示しています。 このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE ATOMSERVICE** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS ATOMSERVICE** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。

統計データは、DFHW2RDS DSECT によってマップされます。

表 *198. ATOMSERVICE* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
ATOMSERVICE Name (ATOMSERVICE 名)	ATOMSERVICE リソース定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ATOMSERVICE**
ATOMSERVICE Enable Status (ATOMSERVICE 使用可能状況)	ATOMSERVICE 定義が使用可能であるか、使用不可であるかを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ATOMSERVICE() ENABLESTATUS**
Atom document type (Atom 文書タイプ)	この ATOMSERVICE リソース定義に対して戻される Atom 文書のタイプ。 カテゴリー Atom カテゴリー文書。コレクション内のエントリーのカテゴリーをリスト表示します。 **Collection (コレクション)** Atom コレクション文書。編集可能なエントリー文書のグループを含みます。 **Feed (フィード)** フィードのためのメタデータを記述し、フィードにデータを提供するエントリー文書を収めた Atom フィード文書。 サービス Atom サービス文書。サーバーで使用可能なコレクションに関する情報を提供します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ATOMSERVICE() ATOMTYPE**
Atom 構成ファイル	Atom 文書のための XML を含む Atom 構成ファイルの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ATOMSERVICE() CONFIGFILE**

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

表 198. *ATOMSERVICE* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Atom binding file (Atom バインディング・ファイル)	Atom フィードに使用されるリソースの Atom バインディング・ファイルの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ATOMSERVICE() BINDFILE**
Resource type for Atom feed (Atom フィードのリソース・タイプ)	この Atom フィードにデータを提供するリソースのタイプ。 ファイル CICS ファイル。 プログラム Atom エントリーにコンテンツを提供するために作成された CICS アプリケーション・プログラムであるサービス・ルーチン。 **Tsqueue (TS キュー)** 一時記憶域キュー。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ATOMSERVICE() RESOURCETYPE**
Resource name for Atom feed (Atom フィードのリソース名)	この Atom フィードまたはコレクションにデータを提供する CICS リソースのリソース定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() DSNAME**
Dataset name (データ・セット名)	リソースのタイプが「File (ファイル)」の場合のみ、この Atom フィードまたはコレクションにデータを提供するファイルが入っているデータ・セットの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ATOMSERVICE() RESOURCENAME**
ATOMSERVICE reference count (ATOMSERVICE の参照回数)	この ATOMSERVICE リソース定義が参照された回数。 ソース・フィールド: W2R-ATOMSERV-REF-COUNT
Disabled (使用不可)	この ATOMSERVICE リソース定義が参照されたものの、そのリソース定義は使用不可であった回数。 ソース・フィールド: W2R-ATOMSERV-REF-DISABLED
POST requests to the feed URL (フィード URL への POST 要求数)	新規の Atom エントリーをこの Atom フィードまたはコレクションに追加するための HTTP POST 要求の数。 ソース・フィールド: W2R-ATOMSERV-POST-FEED-CNT
GET requests to the feed URL (フィード URL への GET 要求数)	この Atom フィードまたはコレクションからエントリーのグループを入手するための HTTP GET 要求の数。 ソース・フィールド: W2R-ATOMSERV-GET-FEED-CNT
GET requests to the entry URL (エントリー URL への GET 要求数)	この Atom フィードまたはコレクションから個別の Atom エントリーを入手するための HTTP GET 要求の数。 ソース・フィールド: W2R-ATOMSERV-GET-ENTRY-CNT
PUT requests to the entry URL (エントリー URL への PUT 要求数)	この Atom フィードまたはコレクション内の Atom エントリーを編集するための HTTP PUT 要求の数。 ソース・フィールド: W2R-ATOMSERV-PUT-ENTRY-CNT
DELETE requests to the entry URL (エントリー URL への DELETE 要求数)	この Atom フィードまたはコレクションから個別の Atom エントリーを削除するための HTTP DELETE 要求の数。 ソース・フィールド: W2R-ATOMSERV-DEL-ENTRY-CNT

非同期サービス・レポート

非同期サービス・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS ASYNCSERVICE** コマンドを使用して作成されています。統計データは、DFHASGDS によってマップされます。

表 *199.* 非同期サービス・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
RUN コマンド	発行された RUN TRANSID API コマンドの総数。 ソース・フィールド: ASG_RUN_COUNT
FETCH コマンド	発行された FETCH CHILD コマンドおよび FETCH ANY API コマンドの総数。 ソース・フィールド: ASG_FETCH_COUNT
FREE コマンド	発行された FREE CHILD API コマンドの総数。 ソース・フィールド: ASG_FREE_COUNT
現在アクティブな子の数 (Current active children)	RUN TRANSID API コマンドによって開始されたアクティブ・タスクの現行数。 ソース・フィールド: ASG_CHILDREN_CUR
アクティブな子のピーク数 (Peak active children)	RUN TRANSID API コマンドによって開始されたアクティブ・タスクのピーク数。 ソース・フィールド: ASG_CHILDREN_PEAK
RUN コマンドの遅延回数	CICS 自動制御によって RUN TRANSID API コマンドが遅延したピーク数。 ソース・フィールド: ASG_RUN_DELAY_COUNT
遅延する現在の親数	RUN TRANSID API コマンドの発行時に CICS 自動制御によって遅延している現行タスク数。 ソース・フィールド: ASG_PARENTS_DELAYED_CUR
遅延されるピークの親数	RUN TRANSID API コマンドの発行時に CICS 自動制御によって遅延したタスクのピーク数。 ソース・フィールド: ASG_PARENTS_DELAYED_PEAK

バンドル・レポート

バンドル・レポートは、BUNDLE リソースに関する情報および統計を示します。 BUNDLE リソースは、z/OS UNIX における CICS バンドルのデプロイ場所とその状況を定義します。

このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE BUNDLE** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS BUNDLE** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。 統計データは、DFHRLRDS DSECT によってマップされます。

表 *200.* バンドル・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
BUNDLE Name (BUNDLE 名)	BUNDLE リソースの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE BUNDLE**
BUNDLE Enable Status (BUNDLE 使用可能状況)	BUNDLE リソースの状況。使用可能または使用不可のいずれかになります。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE BUNDLE () ENABLESTATUS**
BUNDLE Directory (BUNDLE ディレクトリー)	z/OS UNIX での CICS バンドルの場所。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE BUNDLE () BUNDLEDIR**
BUNDLE Scope Name (BUNDLE スコープ名)	BUNDLE リソースの BASESCOPE 属性で指定されている、バンドルの有効範囲。 アプリケーションまたはプラットフォームの一部であるバンドルの場合、スコープは、プラットフォーム、アプリケーション、およびアプリケーション・バージョンを列挙した URI です。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE BUNDLE () BASESCOPE**
BUNDLEPART count (BUNDLEPART カウント)	バンドル・マニフェストに定義されたインポート、エクスポート、エントリー・ポイント、ポリシー・スコープ、および定義ステートメントの数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE BUNDLE () PARTCOUNT**
Target enabled definitions (ターゲット使用可能定義)	使用可能になったときにバンドルが作成するリソース、エントリー・ポイント、およびポリシー・スコープの総数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE BUNDLE () TARGETCOUNT**

表 *200.* バンドル・レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Current enabled definitions (現在の使用可能定義)	バンドルによって作成され、CICS 領域で現在使用可能なリソース、エントリー・ポイント、およびポリシー・スコープの数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE BUNDLE () ENABLEDCOUNT**

接続およびモードネーム・レポート

接続およびモードネーム・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE CONNECTION**、 **EXEC CICS INQUIRE MODENAME**、および **EXEC CICS COLLECT STATISTICS CONNECTION** コマンドの組み合わせを使用して作成します。 統計データは、DFHA14DS DSECT によってマップされます。

表 *201.* 接続レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Connection Name/Netname (接続名/ネットワーク名)	接続のための接続名 (システム ID) およびネットワーク名 (アプリケーション ID)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CONNECTION() NETNAME()**
Access Method/Protocol (アクセス方式/プロトコル)	接続に使用される通信アクセス方式およびプロトコル。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CONNECTION() ACCESSMETHOD(cvda) PROTOCOL(cvda)**
Autoinstalled Connection Create Time (自動インストール済み接続作成時刻)	この接続が自動インストールされた現地時間。 このフィールドは、APPC 接続の場合にのみ適用されます。 ソース・フィールド: A14AICT
Peak Contention Losers (コンテンション敗者のピーク数)	使用中であったコンテンション敗者セッションのピーク数。 ソース・フィールド: A14E1HWM
ATIs satisfied by Losers (敗者によって満たされる ATI 数)	コンテンション敗者セッションが満たした、キューに入れられていた割り振り要求の数。 ソース・フィールド: A14ES1
Receive Session Count (受信セッション・カウント)	この接続の受信セッションの数。 (MRO および LU6.1 接続のみ) ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CONNECTION() RECEIVECOUNT()**
Send Session Count (送信セッション・カウント)	この接続の送信セッションの数。 (MRO および LU6.1 接続のみ) ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CONNECTION() SENDCOUNT()**
Peak Contention Winners (コンテンション勝者のピーク数)	使用中であったコンテンション勝者セッションのピーク数。 ソース・フィールド: A14E2HWM
ATIs satisfied by Winners (勝者によって満たされる ATI 数)	コンテンション勝者セッションが満たした、キューに入れられていた割り振り要求の数。 ソース・フィールド: A14ES2

表 *201.* 接続レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Current aids in chain (チェーン内の現在の AID 数)	AID チェーン内の自動開始記述子の現在の数。 ソース・フィールド: A14EALL
チェーン内の汎用 AID 数 (Generic aids in chain)	割り振り要求を満たすために、セッションが使用可能になるのを待っている自動開始プログラム記述子の現在の数。 ソース・フィールド: A14ESALL
チェーン内のピーク AID 数 (Peak aids in chain)	AID チェーン内に同時に存在していた自動開始記述子のピーク数。 ソース・フィールド: A14EAHWM
Total number of Bids sent (送られた送信権要求の合計数)	送られた送信権要求の合計数。 ソース・フィールド: A14ESBID
Current Bids in progress (進行中の現行送信権要求数)	進行中の送信権要求の現在の数。 ソース・フィールド: A14EBID
Peak Bids in progress (進行中の送信権要求のピーク数)	進行中であった送信権要求のピーク数。 ソース・フィールド: A14EBHWM
Total Allocates (割り振りの合計数)	この接続に対する割り振りの合計数。 ソース・フィールド: A14ESTAS
Allocates per second (毎秒当たりの割り振り数)	この接続に対して、毎秒発行される割り振りの数。 ソース・フィールド: リセット以降の A14ESTAS/経過秒数
Allocates Queued (キューに入れられた割り振り数)	キューに入れられている、この接続に対する割り振り要求の現在の数。 ソース・フィールド: A14ESTAQ
Peak Allocates Queued (キューに入れられた割り振りのピーク数)	キューに入れられていた、この接続に対する割り振り要求のピーク数。 ソース・フィールド: A14ESTAM
Allocate Max Queue Time (最大キュー時間割り振り)	この接続に対して指定された MAXQTIME 値。 ソース・フィールド: A14EMXQT
Allocate Queue Limit (割り振りキュー限度)	最後に検出された、CONNECTION 定義上で指定された QUEUELIMIT パラメーターの値。 設定されると、この値に到達した場合、割り振りはリジェクトされます。 ソース・フィールド: A14EALIM
Allocates Failed - Link (失敗した割り振り数 - リンク)	接続が、解放されていたか、サービス休止であったか、またはクローズしたモード・グループであったために失敗した割り振り要求の数。 ソース・フィールド: A14ESTAF
Allocates Failed - Other (失敗した割り振り数 - その他)	セッションが現在使用できないために失敗した割り振り要求の数。 ソース・フィールド: A14ESTAO
Allocates Rejected - Queue Limit (拒否された割り振り数 - キュー制限)	QUEUELIMIT 値に達したために拒否された割り振り要求の数。 ソース・フィールド: A14EALRJ

表 201. 接続レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Max Queue Time - Allocate Purge (最大キュー時間 - 割り振りパージ)	MAXQTIME 値に達したために、割り振り要求のキューがパージされた回数。 ソース・フィールド: A14EQPCT
Allocates Purged - Max Queue Time (パージされた割り振り - 最大キュー時間)	キューに入っていた時間が MAXQTIME 値を超えたためにパージされた割り振り要求の合計数。 ソース・フィールド: A14EMQPC
Transaction Routing - Total (トランザクション・ルーティング - 合計)	接続を経由して送信されたトランザクション・ルーティング要求の合計数。 ソース・フィールド: A14ESTTC
Transaction Routing - Channel (トランザクション・ルーティング - チャネル)	接続を通して送信された、チャネルを使用したトランザクション・ルーティング要求の数。 これは、Transaction Routing - Total (トランザクション・ルーティング - 合計) のサブセットです。 ソース・フィールド: A14ESTTC-CHANNEL
Allocates Rejected - XZIQUE (拒否された割り振り - XZIQUE)	XZIQUE グローバル・ユーザー出口によって拒否された割り振り要求の数。 ソース・フィールド: A14EZQRJ
XZIQUE - Allocate Purge (ZXIQUE - 割り振りパージ)	グローバル・ユーザー出口によって割り振り要求キューがパージされた回数。 ソース・フィールド: A14EZQPU
Allocates Purged - ZXIQUE (パージされた割り振り - IXQUE)	XZIQUE グローバル・ユーザー出口が、キューに入っている割り振り要求をパージするよう要求したためにパージされた、割り振り要求の合計数。 ソース・フィールド: A14EZQPC
Function Shipping Requests: File Control (機能シップ要求: ファイル制御)	接続を経由してシップされたファイル制御要求機能の数。 ソース・フィールド: A14ESTFC
Function Shipping Requests: Interval Control - Total (機能シップ要求: インターバル制御 - 合計)	接続を経由して機能シップされたインターバル制御要求の合計数。 ソース・フィールド: A14ESTIC
Function Shipping Requests: Interval Control - Channel (機能シップ要求: インターバル制御 - チャネル)	接続を経由して機能シップされた、チャネルとのインターバル制御要求の数。 これは、Function Shipping Requests: Interval Control - Total (機能シップ要求: インターバル制御 - 合計) のサブセットです。 ソース・フィールド: A14ESTIC-CHANNEL
Function Shipping Requests: Transient Data (機能シップ要求: 一時データ)	接続を経由してシップされた一時データ要求機能の数。 ソース・フィールド: A14ESTTD
Function Shipping Requests: Temporary Storage (機能シップ要求: 一時記憶域)	接続を経由してシップされた一時記憶域要求機能の数。 ソース・フィールド: A14ESTTS
Function Shipping Requests: Program Control - Total (機能シップ要求: プログラム制御 - 合計)	接続を経由して機能シップされたプログラム制御要求の合計数。 ソース・フィールド: A14ESTPC

表 *201.* 接続レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Function Shipping Requests: Program Control - Channel (機能シップ要求: プログラム制御 - チャネル)	接続を経由して機能シップされた、チャネルとのプログラム制御要求の数。 これは、Function Shipping Requests: Program Control - Total (機能シップ要求: プログラム制御 - 合計) のサブセットです。 ソース・フィールド: A14ESTPC-CHANNEL
Function Shipping Requests: Total (機能シップ要求: 合計)	接続を通してシップされた要求機能の合計数。 ソース・フィールド: A14ESTFC、A14ESTIC、A14ESTTD、A14ESTTS、A14ESTPC
Bytes Sent by Transaction Routing Requests (トランザクション・ルーティング要求によって送信されたバイト数)	トランザクション・ルーティング要求で、チャネルを使用して送信されたバイト数。 これは、この接続でチャネルを使用して送信された、制御情報を含めたデータの総量です。 ソース・フィールド: A14ESTTC-CHANNEL-SENT
Average Bytes Sent by Routing requests (ルーティング要求によって送信された平均バイト数)	トランザクション・ルーティング要求で、チャネルを使用して送信された平均のバイト数。 ソース・フィールド: A14ESTTC-CHANNEL-SENT / A14ESTTC-CHANNEL
Bytes Received by Transaction Routing Requests (トランザクション・ルーティング要求によって受信されたバイト数)	トランザクション・ルーティング要求で、チャネルを使用して受信されたバイト数。 これは、この接続でチャネルを使用して受信された、制御情報を含めたデータの総量です。 ソース・フィールド: A14ESTTC-CHANNEL-RCVD
Bytes Sent by Program Channel requests (プログラム・チャネル要求によって送信されたバイト数)	チャネルを使用したプログラム制御要求で送信されたバイト数。 これは、この要求のための接続で送信された、制御情報を含めたデータの総量です。 ソース・フィールド: A14ESTPC-CHANNEL-SENT
Average Bytes Sent by Channel request (チャネル要求によって送信された平均バイト数)	チャネルを使用したプログラム制御要求で送信された平均のバイト数。 ソース・フィールド: A14ESTPC-CHANNEL-SENT / A14ESTPC-CHANNEL
Bytes Received by Program Channel requests (プログラム・チャネル要求によって受信されたバイト数)	チャネルを使用したプログラム制御要求で受信されたバイト数。 これは、この要求のための接続で受信された、制御情報を含めたデータの総量です。 ソース・フィールド: A14ESTPC-CHANNEL-RCVD
Bytes Sent by Interval Channel requests (チャネル間隔要求によって送信されたバイト数)	チャネルを使用した間隔制御要求で送信されたバイト数。 これは、この要求のための接続で送信された、制御情報を含めたデータの総量です。 ソース・フィールド: A14ESTIC-CHANNEL-SENT
Average Bytes Sent by Channel request (チャネル要求によって送信された平均バイト数)	チャネルを使用した間隔制御要求で送信された平均のバイト数。 ソース・フィールド: A14ESTIC-CHANNEL-SENT / A14ESTIC-CHANNEL
Bytes Received by Interval Channel requests (チャネル間隔要求によって受信されたバイト数)	チャネルを使用した間隔制御要求で受信されたバイト数。 これは、この要求のための接続で受信された、制御情報を含めたデータの総量です。 ソース・フィールド: A14ESTIC-CHANNEL-RCVD

表 202. モードネーム・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Modename Connection Name (モード名接続名)	このモード・グループ記入項目を所有している接続の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MODENAME() CONNECTION()**
Modename (モード名)	モード・グループ名。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MODENAME()**
Active Sessions (アクティブ・セッション)	現在使用中のこのモード・グループ内のセッションの数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MODENAME() ACTIVE()**
Available Sessions (使用可能なセッション)	このモード・グループ内のセッション (バインド済み) の現在の数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MODENAME() AVAILABLE()**
Maximum Sessions (最大セッション数)	このモード・グループで定義されているセッションの最大数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MODENAME() MAXIMUM()**
Maximum Contention Winners (最大コンテンション勝者数)	コンテンション勝者であると定義されている、このモード・グループ内のセッションの最大数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MODENAME() MAXWINNERS()**

カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プール・レポート

カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プール・レポートには、1 つ以上のカップリング・ファシリティー・データ・テーブルを含む、カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プールに関する情報および統計が含まれます。

表 203. カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プール・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Coupling Facility Data Table Pool (カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プール)	カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プールの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CFDTPOOL()**
Connection Status (接続状況)	プールの接続状況を示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CFDTPOOL() CONNSTATUS(cvda)**

データ・セット名レポート

データ・セット名レポートは、**EXEC CICS INQUIRE DSNAME** コマンドを使用して作成されています。

表 204. データ・セット名レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
データ・セット名	データ・セットの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DSNAME()**

表 *204.* データ・セット名レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Access Method (アクセス方式)	データ・セットで使用するアクセス方式。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DSNAME() ACCESSMETHOD()**
Dsname Object (Dsname オブジェクト)	問い合わせのオブジェクトが、レコードを含む実データ・セット (VSAM KSDS、ESDS、または RRDS、あるいは直接使用される代替索引) なのか、代替索引をその基本クラスターにリンクする VSAM パス定義なのかを示しています。 「BASE」は、レコードを含むデータ・セットを示しています。 「PATH」は、VSAM パス定義を示しています。レポート内のブランク・フィールドは、この CICS 領域によってデータ・セットがオープンされていないか、またはデータ・セットが BDAM データ・セットのいずれかであることを示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DSNAME() OBJECT()**
Dsname Validity (Dsname 検証)	データ・セットに関連付けられているファイルをオープンして、データ・セット名が VSAM カタログに照らし合わせて検証されたかどうかを示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DSNAME() VALIDITY()**
Dsname Availability (Dsname 可用性)	この CICS 領域において、現在データ・セットが使用可能である、または使用不可である、のいずれのフラグが立てられているかを示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DSNAME() AVAILABILITY()**
File Count (ファイル・カウント)	このデータ・セットを参照するインストール済みのファイル定義の数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DSNAME() FILECOUNT()**
Recovery Status (リカバリー状況)	データ・セットのリカバリー特性。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DSNAME() RECOVSTATUS()**

データ・テーブル・レポート

データ・テーブル要求レポートおよびデータ・テーブル・ストレージ・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE FILE** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS FILE** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHA17DS DSECT** によってマップされます。

表 *205.* データ・テーブル要求レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Filename (ファイル名)	ファイルの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE()**
Successful Reads (正常な読み取り)	テーブルからレコードを取得しようとした回数。 ソース・フィールド: A17DTRDS
Records Not Found (レコードが見つからない)	テーブルにレコードが見つからなかったために、API READ 要求がソース・データ・セットに送られた回数。 ソース・フィールド: A17DTRNF

表 205. データ・テーブル要求レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Adds via Read (読み取りによる追加数)	ロード・プロセスによって、またはロードの進行中に API READ 要求が発行された結果、テーブルに挿入されたレコードの数。 ソース・フィールド: A17DTAVR
Adds via API (API による追加数)	WRITE 要求の結果、テーブルにレコードを追加しようとした回数。 ソース・フィールド: A17DTADS
Adds Rejected (追加拒否)	CICS がテーブルに追加しようとして、グローバル・ユーザー出口によって拒否されたレコードの数。 ソース・フィールド: A17DTARJ
Adds Full (フル追加)	テーブルには既に、指定されているレコードの最大数が含まれていたために、CICS がテーブルに追加しようとしてできなかったレコードの数。 ソース・フィールド: A17DTATF
Rewrite Requests (再書き込み要求)	REWRITE 要求の結果、テーブル内のレコードを更新しようとした回数。 ソース・フィールド: A17DTRWS
Delete Requests (削除要求)	DELETE 要求の結果、テーブルからレコードを削除しようとした回数。 ソース・フィールド: A17DTDLS
Read Retries (読み取り再試行)	読み取り再試行の合計数。つまり、読み取り中に FOR がテーブルを変更したために、AOR での読み取りを再試行する必要が生じた回数。 ソース・フィールド: A17DTRRS
Chng Resp/Lock Waits (個別に変更/ロックの待機)	ロック・モデルを使用している CFDT の場合、レコードは、更新のために読み出されるときに、ロックされます。このカウントは、既にロックされたレコードに対して WAIT 処理の必要があった回数を表します。 コンテンション・モデルを使用している CFDT では、レコードが更新のために読み取られるときにロックされません。 後続の再書き込み要求または削除要求で、レコードが既に変更されていることが判明した場合は、CHANGED 応答が戻されます。 このカウントは、CHANGED 応答が発行された回数を表します。 ソース・フィールド: A17DTCON

表 206. データ・テーブル・ストレージ・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Filename (ファイル名)	ファイルの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE()**
タイプ	データ・テーブルのタイプで、カップリング・ファシリティー、CICS 管理、またはユーザー管理。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() TABLE(cvda)**
Current Records (現在のレコード数)	データ・テーブル内のレコードの現在の数。 ソース・フィールド: A17DTSIZ

表 206. データ・テーブル・ストレージ・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Peak Records (レコードのピーク数)	データ・テーブル内のレコードのピーク数。 ソース・フィールド: A17DTSHI
Total - Storage Allocated (合計 - 割り振られたストレージ)	データ・テーブルに割り振られたストレージの総量 (KB 単位)。 ソース・フィールド: A17DTALT
Total - Storage In-Use (合計 - 使用中のストレージ)	データ・テーブルに使用中のストレージの総量 (KB 単位)。 ソース・フィールド: A17DTUST
Entries - Storage Allocated (項目 - 割り振られたストレージ)	レコード入力ブロックに割り振られているストレージの総量 (KB 単位)。 ソース・フィールド: A17DTALE
Entries - Storage In-Use (項目 - 使用中のストレージ)	レコード入力ブロックに使用中のストレージの総量 (KB 単位)。 ソース・フィールド: A17DTUSE
Index - Storage Allocated (索引 - 割り振られたストレージ)	索引に割り振られているストレージの総量 (KB 単位)。 ソース・フィールド: A17DTALI
Index - Storage In-Use (索引 - 使用中のストレージ)	索引に使用中のストレージの総量 (KB 単位)。 ソース・フィールド: A17DTUSI
Data - Storage Allocated (データ - 割り振られたストレージ)	レコード・データに割り振られているストレージの総量 (KB 単位)。 ソース・フィールド: A17DTALD
Data - Storage In-Use (データ - 使用中のストレージ)	レコード・データに使用中のストレージの総量 (KB 単位)。 ソース・フィールド: A17DTUSD
Totals (合計)	レポートにリストされているすべてのデータ・テーブルの、各ストレージ列のストレージ割り振りの最終合計。

DB2 レポート

DB2 接続レポートと DB2 エントリー・レポートの 2 種類の DB2 レポートがあります。

Db2 接続レポート

Db2 接続レポートは、Db2 接続リソース定義 (特定の CICS 領域の CICS と Db2 間の接続を定義する) に関する情報および統計を示します。 このレポートには、プール・スレッド、DSNC コマンド、および TCB またはプール・スレッドを待機するタスクに関する統計も含まれます。

このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE DB2CONN** および **EXEC CICS COLLECT STATISTICS DB2CONN** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、DFHD2GDS DSECT によってマップされます。

表 *207. Db2* 接続レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
DB2 Connection Name (DB2 接続名)	インストール済みの DB2CONN の名前。 ソース・フィールド: D2G-DB2CONN-NAME
DB2 Group Id (DB2 グループ ID)	インストール済みの DB2CONN 定義で指定されている、Db2 サブシステムのデータ共用グループの名前。 CICS は、このグループのどのアクティブ・メンバーにも接続します。 ソース・フィールド: D2G-DB2-GROUP-ID
Resync Group Member (再同期グループ・メンバー)	グループ接続を使用していて、未解決の作業単位が保持されている場合は、CICS が最後に接続された Db2 データ共用グループ・メンバーと再同期を取るかどうかを指定しています。 ソース・フィールド: D2G-RESYNCMEMBER
DB2 Sysid (DB2 システム ID)	CICS Db2 接続機構の接続先の Db2 サブシステムの名前。 グループ接続を使用していて、CICS Db2 接続機構が接続されている場合、またはそれが接続を待っている場合、これは、グループから選択された Db2 サブシステムのデータ共用グループのメンバーです。 ソース・フィールド: D2G-DB2-ID
DB2 Release (DB2 リリース)	CICS が現在接続されている Db2 サブシステムのバージョンおよびリリース・レベルです。 ソース・フィールド: D2G-DB2-RELEASE
DB2 Connection Status (DB2 接続状況)	CICS-Db2 接続の現在の状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN CONNECTST**
DB2 Connect Date and Time (DB2 接続日時)	CICS が Db2 サブシステムに接続された日時。 ソース・フィールド: D2G-CONNECT-TIME-LOCAL
DB2 Connection Error (DB2 接続エラー)	SQL 要求を発行するアプリケーションに、CICS が Db2 に接続されていないことを、CICS がそのアプリケーションにどのように報告するのかを指定しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN CONNECTERROR**
DB2 Standby Mode (DB2 待機モード)	CICS から Db2 への接続を開始しようとしたときに、Db2 サブシステムがアクティブでない場合に、CICS-Db2 接続機構が取るアクションを指定しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN STANDBYMODE**
DB2 Pool Thread Plan Name (DB2 プール・スレッド計画名)	プールに使用される計画の名前。 ソース・フィールド: D2G-POOL-PLAN-NAME
DB2 Pool Thread Dynamic Plan Exit Name (DB2 プール・スレッド動的計画出口ルーチン名)	プール・スレッドに使用される動的計画出口ルーチンの名前。 ソース・フィールド: D2G-POOL-PLANEXIT-NAME
Dynamic Plan Exit Concurrency Status (動的計画出口の並行性状況)	プール・スレッドに使用される動的計画出口ルーチンが QUASIRENT または THREADSAFE のどちらとして定義されているかを指定します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM CONCURRENCY**

表 207. *Db2* 接続レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Pool Thread Authtype (プール・スレッド権限タイプ)	プール・スレッドを使用しているときに、セキュリティー・チェックに使用される ID のタイプ。 ソース・フィールド: D2G-POOL-AUTHTYPE
Command Thread Authtype (コマンド・スレッド権限タイプ)	コマンド・スレッドを使用しているときに、セキュリティー・チェックに使用される ID のタイプ。 ソース・フィールド: D2G-COMD-AUTHTYPE
Pool Thread Authid (プール・スレッド権限 ID)	プール・スレッドを使用しているときに、セキュリティー・チェックに使用される ID。 ソース・フィールド: D2G-POOL-AUTHID
Command Thread Authid (コマンド・スレッド権限 ID)	コマンド・スレッドを使用しているときに、セキュリティー・チェックに使用される ID。 ソース・フィールド: D2G-COMD-AUTHID
Signid for Pool/Entry/Command Threads (プール/エントリー/コマンド・スレッドの Signid)	「**Pool Thread Authtype**」が SIGNID の場合は、プール・スレッドおよび Db2 エントリー・スレッドを、「**Command Thread Authtype**」が SIGNID の場合にはコマンド・スレッドを獲得するために、Db2 にサインオンするときに CICS-Db2 接続機構が使用する許可 ID。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN SIGNID**
Create Thread Error (作成スレッド・エラー)	作成スレッド・エラーが発生した場合に取られるアクションを指定しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN THREADERROR**
Message TD Queue 1 (メッセージ TD キュー 1)	CICS-Db2 接続機構からの非送信請求メッセージの送信先である最初の一時データ・キューの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN MSGQUEUE1**
Protected Thread Purge Cycle (保護スレッド・パージ・サイクル)	保護スレッドのパージ・サイクルの時間 (mm:ss)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN PURGECYCLEM** および **PURGECYCLES**
Message TD Queue 2 (メッセージ TD キュー 2)	CICS-Db2 接続機構からの非送信請求メッセージの送信先である 2 番目の一時データ・キューの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN MSGQUEUE2**
Deadlock Resolution (デッドロック解決)	デッドロック解決の代価として Db2 によって選択されたプール・スレッドを使用しているトランザクションが取るアクション。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN DROLLBACK**
Message TD Queue 3 (メッセージ TD キュー 3)	CICS-Db2 接続機構からの非送信請求メッセージの送信先である 3 番目の一時データ・キューの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN MSGQUEUE3**
Non-Terminal Intermediate Syncpoint (非端末中間同期点)	非端末トランザクションが中間の同期点でスレッドを再利用のために解放するかどうかを指定します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN NONTERMREL**

表 207. *Db2* 接続レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Pool Thread Wait Setting (プール・スレッド待ち設定)	アクティブなプール・スレッドがプール・スレッド制限に達した場合に、トランザクションがプールを待つか、それとも異常終了するかを指定しています。 ソース・フィールド: D2G-POOL-THREADWAIT
Statistics TD Queue (統計 TD キュー)	CICS-Db2 接続機構がシャットダウンしたときに作成された CICS-Db2 接続機構の統計のための一時データ・キューの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN STATSQUEUE**
Pool Thread Priority (プール・スレッドの優先順位)	CICS メインタスク (QR TCB) を基準にした場合の、プール・スレッドのサブタスクの優先順位。 CICS が DB2 バージョン 6 以降に接続されている場合は、このフィールドには、「適用不可」を表すゼロが含まれます。 ソース・フィールド: D2G-POOL-PRIORITY
DB2 Accounting records by (DB2 アカウント・レコード)	プール・スレッドを使用してトランザクション用に Db2 アカウント・レコードが作成される頻度を指定します。 ソース・フィールド: D2G-POOL-ACCOUNTREC
Current TCB Limit (現在の TCB 限界)	CICS Db2 接続機能が使用できる TCB の最大数。 ソース・フィールド: D2G-TCB-LIMIT
Thread Reuselimit (スレッド再利用限度)	スレッドが終了するまでに再利用できる回数。 ソース・フィールド: D2G-REUSELIMIT
Current number of Connections (現在の接続数)	CICS Db2 接続機能が使用中の接続の現在の数。 ソース・フィールド: D2G-TCB-CURRENT
Peak number of Connections (接続のピーク数)	CICS Db2 接続機能が使用した接続のピーク数。 ソース・フィールド: D2G-TCB-HWM
Current number of free Connections (現在のフリー接続数)	CICS オープン TCB で使用可能なフリー接続の数。 ソース・フィールド: D2G-TCB-FREE
Current number of tasks on TCB Readyq (TCB Readyq 上の現在のタスク数)	DB2CONN で指定されている TCBLIMIT に達したために、キューで待機している CICS タスクの数。 ソース・フィールド: D2G-TCB-READYQ-CURRENT
Peak number of tasks on TCB Readyq (TCB Readyq 上のタスクのピーク数)	DB2CONN で指定されている TCBLIMIT に達したために、キューで待機した CICS タスクのピーク数。 ソース・フィールド: D2G-TCB-READYQ-PEAK
Current number of connections with pthreads (保護スレッドを持つ現行接続数)	保護スレッドが存在する現行の接続数。 ソース・フィールド: D2G-TCB-PROTECTED-CURRENT
Pool Thread Limit (プール・スレッド限界)	使用できるプール・スレッドの最大数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-THREAD-LIMIT

表 207. *Db2* 接続レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Number of Calls using Pool Threads (プール・スレッドを使用する呼び出し数)	プール・スレッドを使用して行われた SQL 呼び出しの数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-CALLS
Current number of Pool Threads (現在のプール・スレッドの数)	アクティブなプール・スレッドの現在の数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-THREAD-CURRENT
Number of Pool Thread Signons (プール・スレッド・サインオンの回数)	プール・スレッドを獲得するために実行された Db2 サインオンの回数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-SIGNONS
Peak number of Pool Threads (プール・スレッドのピーク数)	アクティブなプール・スレッドのピーク数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-THREAD-HWM
Number of Pool Thread Partial Signons (プール・スレッド部分サインオンの回数)	プール・スレッドを獲得するために実行された Db2 部分サインオンの回数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-PARTIAL-SIGNONS
Number of Pool Thread Waits (プール・スレッドの待機数)	プール内の使用可能スレッドがすべて使用中で、スレッドが使用可能になるまでトランザクションが待機する必要が生じた回数。 この数には、スレッドを獲得するためにプールにオーバーフローして、プール・スレッドを待つ必要が生じたトランザクションが含まれます。 ソース・フィールド: D2G-POOL-THREAD-WAITS
Number of Pool Thread Commits (プール・スレッド・コミットの回数)	プール・スレッドを使用する作業単位に対して実行された 2 フェーズ・コミットの数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-COMMITS
Number of Pool Thread Aborts (プール・スレッド打ち切り回数)	ロールバックされたプール・スレッドを使用している作業単位の数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-ABORTS
Current number of Pool Tasks (現在のプール・タスク数)	プール・スレッドを使用している CICS タスクの現在の数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-TASK-CURRENT
Number of Pool Thread Single Phase (プール・スレッド単一フェーズの数)	使用しているプール・スレッドが読み取り専用の UOW であったか、Db2 が UOW において更新された唯一のリカバリー可能リソースであったために、1 フェーズ・コミットを使用した作業単位の数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-SINGLE-PHASE
Peak number of Pool Tasks (プール・タスクのピーク数)	プール・スレッドを使用している CICS タスクのピーク数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-TASK-HWM
Number of Pool Thread Reuses (プール・スレッド再利用の回数)	プールを使用している CICS トランザクションが、既に作成されている Db2 スレッドを再使用できた回数。この数には、スレッドを獲得し、既存のスレッドを再使用するためにプールにオーバーフローするトランザクションが含まれます。 ソース・フィールド: D2G-POOL-THREAD-REUSE
Current Total number of Pool Tasks (プール・タスクの現在の合計数)	プール・スレッドを使用したタスクの現在の合計数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-TASK-TOTAL + D2G-POOL-TASK-CURRENT

表 207. *Db2* 接続レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Number of Pool Thread Terminates (プール・スレッド終了の回数)	プール・スレッドを獲得するために、Db2 に対して行った終了スレッド要求の数。これには、プールにオーバーフローするトランザクションが使用したプール・スレッドが含まれます。 ソース・フィールド: D2G-POOL-THREAD-TERM
Current number of Tasks on Pool Readyq (プール Readyq 上の現在のタスク数)	プール・スレッドが使用可能になるのを待っている CICS タスクの現在の数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-READYQ-CURRENT
Times reuselimit hit by a pool thread (プール・スレッドによる再利用限度のヒット回数)	プール・スレッドで再利用限度に達した回数。 ソース・フィールド: D2G_POOL_REUSELIMIT_COUNT
Peak number of Tasks on Pool Readyq (プール Readyq 上のタスクのピーク数)	プール・スレッドが使用可能になるのを待っていた CICS タスクのピーク数。 ソース・フィールド: D2G-POOL-READYQ-HWM
Current number of DSNC Command threads (DSNC コマンド・スレッドの現在の数)	DSNC トランザクションを使用して発行された Db2 コマンドを処理しているアクティブなコマンド・スレッドの現在の数。 ソース・フィールド: D2G-COMD-THREAD-CURRENT
Number of DSNC Command Calls (DSNC コマンド呼び出しの数)	DSNC トランザクションを使用して発行された DB2 コマンドの数。 ソース・フィールド: D2G-COMD-CALLS
Peak number of DSNC Command threads (DSNC コマンド・スレッドのピーク数)	DSNC Db2 コマンドを処理するコマンド・スレッドのピーク数。 ソース・フィールド: D2G-COMD-THREAD-HWM
Number of DSNC Command Signons (DSNC コマンド・サインオンの回数)	DSNC Db2 コマンドに対して実行された DB2 サインオンの回数。 ソース・フィールド: D2G-COMD-SIGNONS
DSNC Command Thread Limit (DSNC コマンド・スレッド限界)	DSNC Db2 コマンドが使用できるコマンド・スレッドの最大数。 ソース・フィールド: D2G-COMD-THREAD-LIMIT
Number of DSNC Command Thread Terminates (DSNC コマンド・スレッド終了の回数)	コマンド・スレッドを獲得するために、Db2 に対して行われた終了スレッド要求の数。 ソース・フィールド: D2G-COMD-THREAD-TERM
Number of DSNC Command Thread Overflows (DSNC コマンド・スレッド・オーバーフローの回数)	アクティブなコマンド・スレッドの数がコマンド・スレッド制限を超えたために、DSNC Db2 コマンドによってプール・スレッドが使用されるようになった回数。 ソース・フィールド: D2G-COMD-THREAD-OVERF

DB2 エントリー・レポート

DB2 エントリー・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE DB2ENTRY** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DB2ENTRY** コマンドの組み合わせを使用して生成します。統計データは、**DFHD2RDS DSECT** によってマップされます。

表 *208. DB2* エントリー・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
DB2Entry Name (DB2Entry 名)	インストール済みの DB2ENTRY の名前。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE DB2ENTRY
DB2Entry Static Plan Name (DB2Entry 静的計画名)	この DB2ENTRY に使用される計画の名前。 ソース・フィールド: D2R-PLAN-NAME
DB2Entry Dynamic Plan Exit Name (DB2Entry 動的計画出口名)	この DB2ENTRY が使用する動的計画出口の名前。 ソース・フィールド: D2R-PLANEXIT-NAME
Dynamic Plan Exit Concurrency Status (動的計画出口の並行性状況)	この DB2ENTRY によって使用される動的計画出口ルーチンが、QUASIRENT、THREADSAFE、または REQUIRED として定義されているか。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM CONCURRENCY**
DB2Entry Status (DB2Entry 状況)	この DB2ENTRY の現在の使用可能状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2ENTRY ENABLESTATUS**
DB2Entry Disabled Action (DB2Entry 使用不可アクション)	この DB2ENTRY が使用不可になっている場合、または使用不可にされる場合に、それを使用する新規の CICS タスクに対して取られるアクション。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2ENTRY DISABLEDACT**
DB2Entry Deadlock Resolution (DB2Entry デッドロック解決)	デッドロック解決の代価として DB2 によって選択された DB2ENTRY からスレッドを使用するトランザクションに対して取られるアクション。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2ENTRY DROLLBACK**
DB2Entry Authtype (DB2Entry 権限タイプ)	この DB2ENTRY のスレッドに対するセキュリティー・チェックに使用される ID のタイプ。 ソース・フィールド: D2R-AUTHTYPE
DB2Entry Accounting records by (DB2Entry アカウント・レコード)	この DB2ENTRY を使用するトランザクションに対して作成される DB2 アカウント・レコードの頻度を指定しています。 ソース・フィールド: D2R-ACCOUNTREC
DB2Entry Authid (DB2Entry 権限 ID)	この DB2ENTRY のスレッドに対するセキュリティー・チェックに使用される ID。 ソース・フィールド: D2R-AUTHID
Number of Calls using DB2Entry (DB2Entry を使用した呼び出しの数)	この DB2ENTRY からのスレッドを使用して行われた SQL 呼び出しの数。 ソース・フィールド: D2R-CALLS
DB2Entry Thread Wait Setting (DB2Entry スレッド待ち設定)	アクティブなスレッドの数が、DB2ENTRY のスレッド制限に達した場合に、トランザクションはこの DB2ENTRY を待つのか、異常終了するのか、またはプールにオーバーフローするのかを指定しています。 ソース・フィールド: D2R-THREADWAIT
Number of DB2Entry Signons (DB2Entry サインオンの回数)	この DB2ENTRY のスレッドに対して実行された DB2 サインオンの回数。 ソース・フィールド: D2R-SIGNONS
Number of DB2Entry Partial Signons (DB2Entry 部分サインオンの回数)	この DB2ENTRY のスレッドに対して実行された DB2 部分サインオンの回数。 ソース・フィールド: D2R-PARTIAL-SIGNONS

表 208. DB2 エントリー・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
DB2Entry Thread Priority (DB2Entry スレッド優先順位)	CICS メインタスク (QR TCB) を基準にした場合の、この DB2ENTRY のスレッド・サブタスクの優先順位。 CICS が DB2 バージョン 6 以降に接続されている場合は、このフィールドには、「適用不可」を表すゼロが含まれます。 ソース・フィールド: D2R-PRIORITY
Number of DB2Entry Commits (DB2Entry コミットの回数)	この DB2Entry からのスレッドを使用する作業単位に対して実行された 2 フェーズ・コミットの回数。 ソース・フィールド: D2R-COMMITS
DB2Entry Thread Limit (DB2Entry スレッド限界)	この DB2ENTRY が使用できるスレッドの最大数。 ソース・フィールド: D2R-THREAD-LIMIT
Number of DB2Entry Aborts (DB2Entry 打ち切り回数)	ロールバックされた、この DB2ENTRY からのスレッドを使用している作業単位の数。 ソース・フィールド: D2R-ABORTS
Current number of DB2Entry Threads (現在の DB2Entry スレッドの数)	この DB2ENTRY を使用しているアクティブなスレッドの現在の数。 ソース・フィールド: D2R-THREAD-CURRENT
Number of DB2Entry Single Phase (DB2Entry 単一フェーズの数)	この DB2ENTRY からのスレッドが読み取り専用の UOW であったか DB2 が UOW において更新された唯一のリカバリー可能リソースであったために、1 フェーズ・コミットを使用した、このスレッドを使用している作業単位の数。 ソース・フィールド: D2R-SINGLE-PHASE
Peak number of DB2Entry Threads (DB2Entry スレッドのピーク数)	この DB2ENTRY のアクティブなスレッドのピーク数。 ソース・フィールド: D2R-THREAD-HWM
Number of DB2Entry Thread Creates (DB2Entry スレッド作成の回数)	この DB2ENTRY のスレッドに対して行われたスレッド作成要求の数。 ソース・フィールド: D2R-THREAD-CREATE
Number of DB2Entry Thread Reuses (DB2Entry スレッド再利用の回数)	この DB2ENTRY を使用している CICS トランザクションが、既に作成されている DB2 スレッドを再使用できた回数。 ソース・フィールド: D2R-THREAD-REUSE
Number of DB2Entry Thread Terminates (DB2Entry スレッド終了の回数)	この DB2ENTRY のスレッドに対して行われた終了スレッド要求の数。 ソース・フィールド: D2R-THREAD-TERM
DB2Entry Protected Thread Limit (DB2Entry 保護スレッド限界)	この DB2ENTRY に対して許可されている、保護スレッドの最大数。 ソース・フィールド: D2R-PTHREAD-LIMIT
Number of DB2Entry Thread Waits/Overflows (DB2Entry スレッド待ち/オーバーフローの数)	この DB2ENTRY に使用可能なスレッドがすべて使用中で、スレッドが使用可能になるまで、またはプールにオーバーフローしてプール・スレッドを使用するまで、トランザクションが待機する必要が生じた回数。 ソース・フィールド: D2R-THREAD-WAIT-OR-OVERFL
Current number of DB2Entry Protected Threads (DB2Entry 保護スレッドの現在の数)	保護されている、この DB2ENTRY の非アクティブなスレッドの現在の数。 ソース・フィールド: D2R-PTHREAD-CURRENT

表 *208. DB2* エントリー・レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Peak number of DB2Entry Protected Threads (DB2Entry 保護スレッドのピーク数)	保護されていた、この DB2ENTRY の非アクティブなスレッドのピーク数。 ソース・フィールド: D2R-PTHREAD-HWM
Times reuselimit hit by DB2Entry Thread (DB2Entry スレッドによる再利用限度のヒット回数)	この DB2ENTRY のスレッドで再利用限度に達した回数。 ソース・フィールド: D2R-REUSELIMIT-COUNT
Current number of DB2Entry Tasks (DB2Entry タスクの現在の数)	この DB2ENTRY を使用する CICS タスクの現在の数。 ソース・フィールド: D2R-TASK-CURRENT
Peak number of DB2Entry Tasks (DB2Entry タスクのピーク数)	この DB2ENTRY を使用する CICS タスクのピーク数。 ソース・フィールド: D2R-TASK-HWM
Current Total number of DB2Entry Tasks (DB2Entry タスクの現在の合計数)	この DB2ENTRY を使用したタスクの現在の合計数。 ソース・フィールド: D2R-TASK-TOTAL + D2R-TASK-CURRENT
Current number of Tasks on DB2Entry Readyq (DB2Entry Readyq 上の現在のタスク数)	この DB2ENTRY に対してスレッドが使用可能になるまで待機している CICS タスクの現在の数。 ソース・フィールド: D2R-READYQ-CURRENT
Peak number of Tasks on DB2Entry Readyq (DB2Entry Readyq 上のタスクのピーク数)	この DB2ENTRY に対してスレッドが使用可能になるまで待機していた CICS タスクのピーク数。 ソース・フィールド: D2R-READYQ-HWM

DFHRPL および LIBRARY 分析レポート

DFHRPL および LIBRARY 分析レポートは、**EXEC CICS INQUIRE PROGRAM**、 **EXEC CICS COLLECT STATISTICS PROGRAM**、および **EXEC CICS EXTRACT LIBRARY** コマンドの組み合わせを使用して作成します。 この分析には、アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義されたすべての公開プログラムおよびそれらの専用プログラムが含まれます。専用プログラムの分析は含まれません。統計データは、DFHLDRDS および **DFHLDBDS DSECT** によってマップされました。

表 *209. DFHRPL* および *LIBRARY* 分析レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
DFHRPL Offset (DFHRPL オフセット)	DFHRPL DD プログラム・ライブラリー連結へのオフセット。 (DFHRPL レポートのみ)
DFHRPL データ・セット名	DFHRPL データ・セットの名前。(DFHRPL レポートのみ)
プログラム	CICS に定義されており、静的 DFHRPL または動的プログラム LIBRARY のこの連結にあるプログラム、マップ、および区分セットの現在の数。
Times Used (使用回数)	静的 DFHRPL または動的プログラム LIBRARY のこの連結からフェッチを行ったこのプログラムの使用可能なインスタンスにアクセスするために、システム内の CICS タスクがローダー・ドメインにロード要求を発行した回数。 ソース・フィールド: LDRTU

表 209. *DFHRPL* および *LIBRARY* 分析レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Fetches (フェッチ)	静的 DFHRPL または動的プログラム LIBRARY のこの連結からプログラムがフェッチされた回数。 ソース・フィールド: LDRFC
Average Fetch Time (平均フェッチ時間)	静的 DFHRPL または動的プログラム LIBRARY のこの連結からフェッチされたプログラムの平均フェッチ時間。 ソース・フィールド: (LDRFT / LDRFC)
Newcopies (NEWCOPY)	静的 DFHRPL または動的プログラム LIBRARY のこの連結からフェッチされたプログラムが、新規にコピーされた回数。 ソース・フィールド: LDRTN
Removes (除去)	静的 DFHRPL または動的プログラム LIBRARY のこの連結からフェッチされていた動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムのアクションによって、CICS で管理されるストレージからプログラムが除去された回数。 ソース・フィールド: LDRRPC

ディスパッチャー・レポート

ディスパッチャー・レポート、ディスパッチャー MVS TCB レポート、ディスパッチャー TCB モード・レポート、およびディスパッチャー TCB プール・レポートの 4 種類のディスパッチャー・レポートがあります。

ディスパッチャー・レポート

ディスパッチャー・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE SYSTEM** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DISPATCHER** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは **DFHDSGDS DSECT** によってマップされます。

表 210. ディスパッチャー・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Current ICV time (現在の ICV 時間)	現在のインターバル制御値 (ミリ秒)。 ソース・フィールド: DSGICVT
Current ICVR time (現在の ICVR 時間)	現在のタスク・ランナウェイ時間間隔 (ミリ秒)。 ソース・フィールド: DSGICVRT
Current ICVTSD time (現在の ICVTSD 時間)	現在の端末スキャン遅延値 (ミリ秒)。SNA および IPIC ネットワークでは、デフォルトの ICVTSD 値 0 が適切です。 ソース・フィールド: DSGICVSD
Current PRTYAGING time (現在の PRTYAGING 時間)	現在のタスク優先順位繰り上げ要因。 ソース・フィールド: DSGPRIAG
MRO (QR) Batching (MROBTCH) value (MRO (QR) バッチ (MROBTCH) 値)	バッチ処理メカニズムのために CICS がディスパッチを通知される前に発生する必要のあるイベントの数。SIT の MROBTCH 値によって指定されます。 ソース・フィールド: DSGMBTCH

表 *210.* ディスパッチャー・レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Concurrent Subtasking (SUBTSKS) value (並行サブタスキング (SUBTSKS) 値)	同時モードでタスクを実行するために CICS が使用できるタスク制御ブロック (TCB) の数。SUBTSKS SIT パラメーターで指定されます。 ソース・フィールド: DSGSTSKS
Current number of CICS Dispatcher tasks (現在の CICS ディスパッチャー・タスクの数)	システム内のタスクの現在の数。 この数値には、すべてのシステム・タスクおよびすべてのユーザー・タスクが含まれます。 ソース・フィールド: DSGCNT
Peak number of CICS Dispatcher tasks (CICS ディスパッチャー・タスクのピーク数)	システム内に同時に存在しているタスクのピーク数。 ソース・フィールド: DSGPNT
Current number of TCBs attached (現在接続されている TCB の数)	この CICS アドレス・スペースに対して接続されている TCB の現在の数。 ソース・フィールド: DSGTCBCA
Current number of TCBs in use (現在使用中の TCB の数)	使用中の CICS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBCU
Last Excess TCB Scan (最後の超過 TCB スキャン)	CICS ディスパッチャーの最後の超過 MVS TCB スキャンの日時。 DFH0STAT レポートで日時が --/--/---- --:--:--:---- と示される場合は、超過 TCB スキャンがまだ発生していないことを表しています。 ソース・フィールド: DSGLXSCN リセット特性: リセットなし
Number of Excess TCB Scans (超過 TCB スキャン数)	CICS ディスパッチャーが実行した超過 TCB スキャンの数。 ソース・フィールド: DSGXSCNS
Last Excess TCB scan - No TCB Detached (最後の超過 TCB スキャン - TCB が切り離されていない)	どの TCB も切り離さなかった CICS ディスパッチャーの最後の超過 MVS TCB スキャンの日時。 DFH0STAT レポートで日時が --/--/---- --:--:--:---- と示される場合は、超過 TCB スキャンがまだ発生していないことを表しています。 ソース・フィールド: DSGLXSND リセット特性: リセットなし
Excess TCB scans - No TCB Detached (超過 TCB スキャン数 - TCB が切り離されていない)	CICS ディスパッチャーが実行した超過 TCB スキャンの内、その間に切り離された CICS TCB がなかった超過 TCB スキャンの数。 ソース・フィールド: DSGXSCNN
Number of Excess TCBs Detached (切り離された超過 TCB 数)	超過 TCB スキャンの間に、CICS ディスパッチャーによって切り離された CICS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGXTCBD
Average Excess TCBs Detached per Scan (スキャン当たりの切り離された超過 TCB 数の平均)	各超過 TCB スキャンの間に、CICS ディスパッチャーによって切り離された CICS TCB の平均数。 ソース・フィールド: DSGXTCBD / DSGXSCNS

表 *210.* ディスパッチャー・レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Number of CICS TCB MODEs (CICS TCB モード数)	この CICS アドレス・スペースの CICS TCB モードの数。 ソース・フィールド: DSGASIZE
Number of CICS TCB POOLs (CICS TCB プール数)	この CICS アドレス・スペースの CICS TCB プールの数。 ソース・フィールド: DSGPSIZE

ディスパッチャー MVS TCB レポート

ディスパッチャー MVS TCB レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS MVSTCB**、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DISPATCHER**、および **EXEC CICS INQUIRE MVSTCB** コマンドを使用して作成されます。統計データは、**DFHDSGDS**、**DFHDSTDS**、および **DFHDSRDS DSECT** によってマップされます。

表 *211.* ディスパッチャー *MVS TCB* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Dispatcher Start Time and Date (ディスパッチャー開始日時)	CICS ディスパッチャーが開始した現地時間。 ソース・フィールド: DSGLSTRT
Address Space Accumulated CPU Time (アドレス・スペースの累積 CPU 時間)	この CICS アドレス・スペースに対するリセット以降の累積 CPU 時間。 **注:** このフィールドは、CICS 統計インターバルにおいてはリセットされません。 ソース・フィールド: MVS フィールドの ASCBEJST
Address Space Accumulated SRB Time (アドレス・スペースの累積 SRB 時間)	この CICS アドレス・スペースに対するリセット以降の累積 SRB 時間。 **注:** このフィールドは、CICS 統計インターバルにおいてはリセットされません。 ソース・フィールド: MVS フィールドの ASCBSRBT
Address Space CPU Time (Since Reset) (アドレス・スペースの CPU 時間 (リセットから))	この CICS アドレス・スペースの累積 CPU 時間。 ソース・フィールド: DSGEJST
Address Space SRB Time (Since Reset) (アドレス・スペースの SRB 時間 (リセットから))	この CICS アドレス・スペースの累積 SRB 時間。 ソース・フィールド: DSGSRBT
Current number of CICS TCBs (現在の CICS TCB 数)	アドレス・スペース内の CICS TCB の現在の数。 ソース・フィールド: DSTDS_CICSTCB_COUNT
Current CICS TCB CPU time (現在の CICS TCB CPU 時間)	現在接続されている CICS TCB のこれまでの合計 CPU 時間。 ソース・フィールド: DSTDS_CICSTCB_CPUTIME
Current CICS TCB Private Stg below 16MB (現在の 16MB より下の CICS TCB 専用ストレージ)	CICS TCB に割り振られた、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。 ソース・フィールド: DSTDS_CICSTCB_STG_BELOW

表 211. ディスパッチャー *MVS TCB* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current CICS TCB Private Stg below 16MB in use (現在使用中の 16MB より下の CICS TCB 専用ストレージ)	CICS TCB で使用中の、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。 [1] ソース・フィールド: DSTDS_CICSTCB_STG_BELOW_INUSE
Current CICS TCB Private Stg above 16MB (現在の 16MB より上の CICS TCB 専用ストレージ)	CICS TCB に割り振られた、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。 ソース・フィールド: DSTDS_CICSTCB_STG_ABOVE
Current CICS TCB Private Stg above 16MB in use (現在使用中の 16MB より上の CICS TCB 専用ストレージ)	CICS TCB で使用中の、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。 [1] ソース・フィールド: DSTDS_CICSTCB_STG_ABOVE_INUSE
Current number of non-CICS TCBs (現在の非 CICS TCB の数)	アドレス・スペース内の、非 CICS TCB の現在の数。 ソース・フィールド: DSTDS_NONCICSTCB_COUNT
Current non-CICS TCB CPU time (現在の非 CICS TCB CPU 時間)	現在接続されている非 CICS TCB のこれまでの合計 CPU 時間。 ソース・フィールド: DSTDS_NONCICSTCB_CPUTIME
Current non-CICS TCB Private Stg below 16MB (現在の 16MB より下の非 CICS TCB 専用ストレージ)	非 CICS TCB に割り振られている、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。 ソース・フィールド: DSTDS_NONCICSTCB_STG_BELOW
Current non-CICS TCB Private Stg below 16MB in use (現在使用中の 16MB より下の非 CICS TCB 専用ストレージ)	非 CICS TCB で使用中の、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。 ソース・フィールド: DSTDS_NONCICSTCB_STG_BELOW_INUSE
Current non-CICS TCB Private Stg above 16MB (現在の 16MB より上の非 CICS TCB 専用ストレージ)	非 CICS TCB に割り振られている、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。 ソース・フィールド: DSTDS_NONCICSTCB_STG_ABOVE
Current non-CICS TCB Private Stg above 16MB in use (現在使用中の 16MB より上の非 CICS TCB 専用ストレージ)	非 CICS TCB で使用中の、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。 ソース・フィールド: DSTDS_NONCICSTCB_STG_ABOVE_INUSE
TCB Address (TCB アドレス)	MVS TCB のアドレス。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_ADDRESS
TCB Name (TCB 名)	MVSMVS TCB の名前 (CICS が認識している場合)。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_NAME
CICS TCB	TCB のタイプで、CICS または非 CICS。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_TYPE

表 211. ディスパッチャー *MVS TCB* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current TCB CPU Time (現在の TCB CPU 時間)	この TCB の、これまでの合計 CPU 時間。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_CPUTIME
Current TCB Private Stg Below 16MB Allocated (現在割り振られている、16MB より下の TCB 専用ストレージ)	この TCB に割り振られている、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_STG_BELOW
Current TCB Private Stg Below 16MB In Use (現在使用中の、16MB より下の TCB 専用ストレージ)	この TCB で使用中の、16 MB よりも下の専用ストレージの合計。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_STG_BELOW_INUSE
Current TCB Private Stg Above 16MB Allocated (現在割り振られている、16MB より上の TCB 専用ストレージ)	この TCB に割り振られている、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_STG_ABOVE
Current TCB Private Stg Above 16MB In Use (現在使用中の、16MB より上の TCB 専用ストレージ)	この TCB で使用中の、16 MB よりも上の専用ストレージの合計。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_STG_ABOVE_INUSE
Task Number (タスク番号)	この TCB に現在関連付けられている CICS タスク番号。 ない場合は、現在この TCB に割り当てられている CICS トランザクションはありません。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_CICS_TASK
Tran ID (トランザクション ID)	この TCB に現在関連付けられているタスクがある場合は、そのタスクのトランザクション ID。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TASK() TRANSACTION()**
Task Status (タスク状況)	この TCB に現在関連付けられているタスクがある場合は、そのタスクの状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TASK() RUNSTATUS()**
Mother TCB (mother TCB)	mother TCB のアドレス。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_MOTHER
Sister TCB (sister TCB)	sister TCB のアドレス。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_SISTER
Daughter TCB (daughter TCB)	daughter TCB のアドレス。 ソース・フィールド: DSRDS_TCB_DAUGHTER

注:

1. 使用中のストレージの統計には、タスクが GETMAIN 要求を使用して取得したストレージの量が表示されます。ストレージは常にページの倍数 (4096 バイト) で TCB に割り振られるため、これは、TCB に割り振られたストレージの量よりも少ない場合があります。

ディスパッチャー TCB モード・レポート

ディスパッチャー TCB モード・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DISPATCHER** コマンドを使用して作成されています。統計データは **DFHDSGDS DSECT** によってマップされます。

ディスパッチャー TCB モード・レポートでは、一部のフィールド (例えば、「TCB Allocates (TCB 割り振り)」) は、オープンしている TCB モードにしか適用されません。 各モードに対するこれらのフィールドの妥当性は、TCB がそのモードで接続された後にしか決定できません。 最初の TCB がそのモードで接続されるまで、これらのフィールドは「N/A」とマークされます。最初の TCB がそのモードで接続された後でも、その TCB がオープン TCB モードでない場合は、そのフィールドはそのまま「N/A」とマークされ続けます。オープン TCB モードの場合は、そのフィールドに値が与えられます。

表 *212.* ディスパッチャー *TCB* モード・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Dispatcher Start Time and Date (ディスパッチャー開始日時)	CICS ディスパッチャーが開始した現地時間。 ソース・フィールド: DSGLSTRT
Address Space Accumulated CPU Time (アドレス・スペースの累積 CPU 時間)	この CICS アドレス・スペースに対するリセット以降の累積 CPU 時間。 このフィールドは、CICS 統計インターバルにおいてはリセットされません。 ソース・フィールド: MVS フィールドの ASCBEJST
Address Space Accumulated SRB Time (アドレス・スペースの累積 SRB 時間)	この CICS アドレス・スペースに対するリセット以降の累積 SRB 時間。 このフィールドは、CICS 統計インターバルにおいてはリセットされません。 ソース・フィールド: MVS フィールドの ASCBSRBT
Address Space CPU Time (Since Reset) (アドレス・スペースの CPU 時間 (リセットから))	この CICS アドレス・スペースの累積 CPU 時間。 ソース・フィールド: DSGEJST
Address Space SRB Time (Since Reset) (アドレス・スペースの SRB 時間 (リセットから))	この CICS アドレス・スペースの累積 SRB 時間。 ソース・フィールド: DSGSRBT
TCB Mode (TCB モード)	統計が参照している TCB モードの名前。 TCB モードの名前は QR、RO、CO、SZ、RP、FO、SL、SO、SP、EP、TP、D2、S8、L8、L9、X8、X9 および T8 です。 ソース・フィールド: DSGTCBNM
TCBs Attached - Current (接続 TCB 数 - 現行)	このモードで接続されている TCB の現在の数。 ソース・フィールド: DSGTCBCA
TCBs Attached - Peak (接続 TCB 数 - ピーク)	このモードで接続されている TCB のピーク数。 ソース・フィールド: DSGTCBPA
Op. System Waits (オペレーション・システム待機)	この TCB で発生した MVS 待ちの数。 ソース・フィールド: DSGSYSW

表 212. ディスパッチャー *TCB* モード・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Op. System Wait Time (オペレーション・システム待機時間)	この TCB が MVS 待ちの状態にあった累積実時間。すなわち、ディスパッチャーによって発行された MVS 待ちと MVS 待ちからの戻りの間で使用された合計時間。 ソース・フィールド: DSGTWT
Total TCB Dispatch Time (TCB ディスパッチ時間の合計)	MVS によってこの TCB がディスパッチされていた累積実時間、すなわち、ディスパッチャーが発行した MVS 待ちの終わりと、ディスパッチャーが発行したその次の待ちの開始との間で使用された合計時間。 ソース・フィールド: DSGTDT
Total TCB CPU Time (合計 TCB CPU 時間)	この TCB に要した累積 CPU 時間、すなわち、TCB が実行中であった合計時間。 ソース・フィールド: DSGACT
DS TCB CPU Time (DS TCB CPU 時間)	この DS タスクに要した累積 CPU 時間、すなわち、デフォルトのディスパッチャー・タスク (DSTCB) が実行している間この TCB が使用したプロセッサー時間。 ソース・フィールド: DSGTCT
TCB CPU/Disp Ratio (TCB CPU/ディスパッチ比率)	この TCB の累積ディスパッチ時間に対する累積 CPU 時間の比率 (パーセンテージで表されます)。 この比率は、QR TCB に対してのみ計算されます。 ソース・フィールド: ((DSGACT / DSGTDT) * 100)
TCBs attached - Current (接続 TCB 数 - 現行)	現在接続されている TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBCA
Total TCB CPU Time (合計 TCB CPU 時間)	アクティブな TCB に要した合計累積 CPU 時間。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGACT
DS TCB CPU Time (DS TCB CPU 時間)	各アクティブ・ディスパッチャー TCB 上の DS タスクに要した合計累積 CPU 時間。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCT
TCB Mode (TCB モード)	統計が参照している TCB モードの名前。 TCB モードの名前は QR、RO、CO、SZ、RP、FO、SL、SO、SP、EP、TP、D2、S8、L8、L9、X8、X9 および T8 です。 ソース・フィールド: DSGTCBNM
オープン	この TCB モードがオープン TCB モードであるか、オープン TCB モードでないか、または不明であるかどうかを示しています。 不明とは、この TCB モードが活動化されなかったという意味です。特定のモードの TCB を求める最初の要求によって、モードが活動化されます。 ソース・フィールド: DSGTCBMD
TCB Pool (TCB プール)	この TCB モードが定義されている TCB プールの名前。 OPEN、SSL、THRD、XP、または N/A のいずれかです。 ソース・フィールド: DSGTCBMP
TCBs Attached - Current (接続 TCB 数 - 現行)	このモードで接続されている TCB の現在の数。 ソース・フィールド: DSGTCBCA

表 212. ディスパッチャー *TCB* モード・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
TCBs Attached - Peak (接続 TCB 数 - ピーク)	このモードで接続されている TCB のピーク数。 ソース・フィールド: DSGTCBPA
TCBs In Use - Current (使用中 TCB 数 - 現行)	このモードで使用中の TCB の現在の数。 ソース・フィールド: DSGTCBCU
TCBs In Use - Peak (使用中 TCB 数 - ピーク)	このモードで使用中の TCB のピーク数。 ソース・フィールド: DSGTCBPU
TCB Allocates (TCB 割り振り)	この TCB モードの TCB がタスクに割り振られた回数。すなわち、CICS が特定のタスクで使用するために TCB を割り振った回数。 TCB 割り振りは、オープン TCB モードにのみ適用されます。「N/A」は、この TCB モードがオープンでないか、このモードで TCB がまだ作成されていないことを意味します。 ソース・フィールド: DSGTCBAL
Dispatchable Queue - Current (ディスパッチ可能キュー - 現行)	TCB に対してキューに入れられているディスパッチ可能タスクの現在の数。 ソース・フィールド: DSGTMCDQ リセット特性: リセットなし
Dispatchable Queue - Peak (ディスパッチ可能キュー - ピーク)	TCB に対してキューに入れられたディスパッチ可能タスクのピーク数。 ソース・フィールド: DSGTMPDQ リセット特性: 現行にリセット
Dispatchable Queue - Average (ディスパッチ可能キュー - 平均)	TCB に対してキューに入れられたディスパッチ可能タスクの平均数。 ソース・フィールド: DSGTMADQ リセット特性: 現行にリセット
TCBs Attached - Current (接続 TCB 数 - 現行)	現在接続されている、すべてのモードの TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBCA
TCBs In Use - Current (使用中 TCB 数 - 現行)	現在使用中の、すべてのモードの TCB の合計数。 ソース・フィールド: DSGTCBCU for each TCB mode
TCB Allocates (TCB 割り振り)	この TCB モードの TCB がタスクに割り振られた回数の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBAL
TCB Mode (TCB モード)	統計が参照している TCB モードの名前。 TCB モードの名前は QR、RO、CO、SZ、RP、FO、SL、SO、SP、EP、TP、D2、S8、L8、L9、X8、X9 および T8 です。 ソース・フィールド: DSGTCBNM
オープン	この TCB モードがオープン TCB モードであるか、オープン TCB モードでないか、または不明であるかどうかを示しています。 不明とは、この TCB モードが活動化されなかったという意味です。特定のモードの TCB を求める最初の要求によって、モードが活動化されます。 ソース・フィールド: DSGTCBMD

表 212. ディスパッチャー *TCB* モード・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
TCB Pool (TCB プール)	この TCB モードが定義されている TCB プールの名前。 OPEN、SSL、THRD、XP、または N/A のいずれかです。 ソース・フィールド: DSGTCBMP
TCB Attaches (TCB 接続数)	このモードの MVS TCB 接続の合計数。 ソース・フィールド: DSGNTCBA
Attach Failures (接続失敗数)	このモードで発生した MVS TCB 接続障害の数。 ソース・フィールド: DSGTCBAF
TCBs Detached - Unclean (切り離された TCB 数 - 不明確)	TC に関連付けられている CICS トランザクションが異常終了したために、この CICS ディスパッチャー・モードに対して切り離された、または切り離し中の MVS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBDU
TCBs Detached - Stolen (切り離された TCB 数 - スチール)	別の TCB モードが必要としたために、この CICS ディスパッチャー・モードからスチールされた、またはスチール中の MVS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBDS
TCBs Detached - Excess (切り離された TCB 数 - 超過)	CICS ディスパッチャーの超過 TCB スキャンのために、この CICS ディスパッチャー・モードから切り離された、または切り離し中の MVS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBDX
TCBs Detached - Other (切り離された TCB 数 - その他)	他の理由 (使用中の TCB の数に対して接続された TCB が多すぎるためなど) で、この CICS ディスパッチャー TCB モードから切り離されたか、または切り離し処理中の MVS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBDO
TCB Steals (TCB スチール数)	他の TCB モードからスチールされた MVS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBST
TCB Mismatches (TCB ミスマッチ数)	この TCB モードに対して発生した TCB ミスマッチの数。 ソース・フィールド: DSGTCBMM
TCB Attaches (TCB 接続数)	すべてのモードの TCB 接続の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGNTCBA
Attach Failures (接続失敗数)	このモードで発生した MVS TCB 接続障害の合計数。 ソース・フィールド: DSGTCBAF
TCBs Detached - Unclean (切り離された TCB 数 - 不明確)	TCB に関連付けられている CICS トランザクションが異常終了したために、すべてのモードについて切り離された、または切り離し中の MVS TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBDU
TCBs Detached - Stolen (切り離された TCB 数 - スチール)	別の TCB モードが必要としたために、すべてのモードについてスチールされた、またはスチール中の MVS TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBDS

表 212. ディスパッチャー *TCB* モード・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
TCBs Detached - Excess (切り離された TCB 数 - 超過)	CICS ディスパッチャーの超過 TCB スキャンのために、すべてのモードについて切り離された、または切り離し中の MVS TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBDX
TCBs Detached - Other (切り離された TCB 数 - その他)	その他の理由で、すべてのモードについて切り離された、または切り離し中の MVS TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBDO
TCB Steals (TCB スチール数)	他の TCB モードからスチールされた MVS TCB の、すべてのモードについての合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBST
TCB Mismatches (TCB ミスマッチ数)	すべての TCB モードに対して発生した TCB ミスマッチの合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBMM

ディスパッチャー TCB プール・レポート

ディスパッチャー TCB プール・レポートは、TCB プールごとに作成されます。例では、OPEN TCB プールが示されています。 このレポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DISPATCHER** コマンドを使用して作成されています。統計データは **DFHDSGDS DSECT** によってマップされます。

表 213. ディスパッチャー *TCB* プール・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
TCB Pool (TCB プール)	CICS TCB プールの名前。OPEN、SSL、THRD、または XP のいずれかです。 ソース・フィールド: DSGTCBPN
Current TCBs attached in this TCB Pool (この TCB プールに接続された現在の TCB 数)	この TCB プール内の、接続されている TCB の現在の数。 ソース・フィールド: DSGCNUAT
Peak TCBs attached in this TCB Pool (この TCB プールに接続された TCB 数のピーク)	この TCB プール内の、接続されている TCB のピーク数。 ソース・フィールド: DSGPNUAT
Current TCBs in use in this TCB Pool (この TCB プールで使用中の現在の TCB 数)	この TCB プール内の使用中の TCB の現在の数。 ソース・フィールド: DSGCNUUS
Peak TCBs in use in this TCB Pool (この TCB プールで使用中の TCB のピーク数)	この TCB プール内の使用中の TCB のピーク数。 ソース・フィールド: DSGPNUUS

表 213. ディスパッチャー TCB プール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界)	このプールで使用できる TCB の最大数の値。 • **MAXOPENTCBS** システム初期設定パラメーターが指定された場合、それによってオープン TCB プールの値が設定されます。 MAXOPENTCBS システム初期設定が指定されない場合、CICS は CICS 領域に対して指定されたタスクの最大数 (MXT 値) に基づいて、L8 および L9 モードのオープン TCB プールの制限を自動的に設定します。このとき、公式 (2 * MXT 値) + 32 を使用します。MAXOPENTCBS パラメーターのユーザーによる明示的な設定について詳しくは、MAXOPENTCBS を参照してください。 • **MAXSSLTCBS** システム初期設定パラメーターは、SSL TCB プールの値を指定します。 • **MAXTHRDTCBS** は、JVM サーバー THRD TCB プールの値を指定します。JVMSERVER リソースの各 JVM serverTHREADLIMIT 値に予約されているスレッドの数は、スレッド数に 1 を加えることによって自動的に計算され、最大限度は 2000 になります。 • **MAXXPTCBS** システム初期設定パラメーターが指定された場合、それによって XP TCB プールの値が設定されます。 **MAXXPTCBS** システム初期設定が指定されない場合、CICS は X8 および X9 モードの XP TCB プールの制限を、CICS 領域に対して指定されたタスクの最大数 (MXT 値) と等しい値に自動的に設定します。MAXXPTCBS パラメーターのユーザーによる明示的な設定について詳しくは、MAXXPTCBS を参照してください。 ソース・フィールド: DSGMXTCB
Times at Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界の回数)	システムが、以下のプールで許可されている TCB の数に対する制限に達した回数。 • OPEN TCB プール • SSL TCB プール • THRD TCB プール • XP TCB プール ソース・フィールド: DSGNTCBL
Time Pool Limit last reached (プール限界に達した最後の時刻)	プールが最大 TCB 限界に達した時刻。 ソース・フィールド: DSGLTCBL リセット特性: ゼロにリセット
Requests Delayed by Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界により遅延された要求数)	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために遅延した TCB 接続の合計数。 ソース・フィールド: DSGTOTNW
Total Max TCB Pool Limit delay time (最大 TCB プール限界の合計遅延時間)	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、TCB 要求が遅延した合計時間。 ソース・フィールド: DSGTOTWL
Average Max TCB Pool Limit delay time (最大 TCB プール限界の平均遅延時間)	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、TCB 要求が遅延した平均時間。 ソース・フィールド: (DSGTOTWL および DSGTOTNW)

表 213. ディスパッチャー *TCB* プール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current Requests Delayed by Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界により遅延された現在の要求数)	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、現在遅延している TCB 要求の数。 ソース・フィールド: DSGCURNW
Peak Requests Delayed by Max TCB Pool Limit (最大 TCB プール限界により遅延された要求のピーク数)	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、遅延した TCB 要求のピーク数。 ソース・フィールド: DSGPEANW
Total Delay Time for current delayed (現在の遅延の合計遅延時間)	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、現在遅延している TCB 要求の遅延時間の合計。 ソース・フィールド: DSGCURWT
Average Delay time for current delayed (現在の遅延の平均遅延時間)	システムが、このプールで許可されている TCB の数に対する制限に達したために、現在遅延している TCB 要求の平均遅延時間。 ソース・フィールド: (DSGCURWT および DSGCURNW)
Total number of TCB Mismatch Waits (TCB ミスマッチ待ちの合計数)	TCB ミスマッチ待ち、すなわち、要求に一致する、使用可能な TCB は存在していなかったが、少なくとも 1 つの一致してはいない TCB が空きだったために待機した TCB 要求の合計数。 ソース・フィールド: DSGMMWTS
Total TCB Mismatch wait time (TCB ミスマッチ待ち時間の合計)	このプールを使用した TCB 要求による TCB ミスマッチ待機で経過した合計時間です。 ソース・フィールド: DSGMMWTM
Average TCB Mismatch wait time (平均 TCB ミスマッチ待ち時間)	このプールを使用する TCB 要求が、TCB ミスマッチ待ちで消費した平均時間。 ソース・フィールド: (DSGMMWTM および DSGMMWTS)
Current TCB Mismatch Waits (現在の TCB ミスマッチ待ち数)	このプールを使用する TCB 要求による、TCB ミスマッチ待ちの現在の数。 ソース・フィールド: DSGCMMWS
Peak TCB Mismatch Waits (TCB ミスマッチ待ちのピーク数)	このプールを使用する TCB 要求による、TCB ミスマッチ待ちのピーク数。 ソース・フィールド: DSGPMMWS
Total Wait time for current Mismatch Waits (現在のミスマッチ待ちの合計待ち時間)	このプールを使用する TCB 要求による、現在の TCB ミスマッチ待ちの待ち時間の合計。 ソース・フィールド: DSGCMMWT
Average Wait time for current Mismatch Waits (現在のミスマッチ待ちの平均待ち時間)	このプールを使用する TCB 要求による、現在の TCB ミスマッチ待ちの平均待ち時間。 ソース・フィールド: (DSGCMMWT および DSGCMMWS)
Requests Delayed by MVS storage constraint (MVS ストレージ制約により遅延された要求数)	使用可能な TCB がなかったため、および MVS ストレージ制約のために TCB が作成されなかったために待機した TCB 要求の合計数。 ソース・フィールド: DSGTOTMW

表 213. ディスパッチャー TCB プール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Total MVS storage constraint delay time (MVS ストレージ制約の合計遅延時間)	このプールを使用する TCB 要求のための MVS ストレージ制約が原因で発生した待機に費やした合計時間。 ソース・フィールド: DSGTOTMT
Average MVS storage constraint delay time (MVS ストレージ制約の平均遅延時間)	このプールを使用する TCB 要求のための MVS ストレージ制約が原因で発生した待機に費やした平均の時間。 ソース・フィールド: (DSGTOTMT および DSGTOTMW)
TCB Mode (TCB モード)	この TCB プールで現在アクティブになっている TCB モード。 アクティブな TCB モードがない場合は、レポートに示されます。 ソース・フィールド: DSGTCBNM
TCBs Attached - Current (接続 TCB 数 - 現行)	このモードで接続されている TCB の現在の数。 ソース・フィールド: DSGTCBCA
TCBs Attached - Peak (接続 TCB 数 - ピーク)	このモードで接続されている TCB のピーク数。 ソース・フィールド: DSGTCBPA
TCBs In Use - Current (使用中 TCB 数 - 現行)	このモードで使用中の TCB の現在の数。 ソース・フィールド: DSGTCBCU
TCBs In Use - Peak (使用中 TCB 数 - ピーク)	このモードで使用中の TCB のピーク数。 ソース・フィールド: DSGTCBPU
TCB Attaches (TCB 接続数)	このモードの MVS TCB 接続の合計数。 ソース・フィールド: DSGNTCBA
TCBs Detached - Unclean (切り離された TCB 数 - 不明確)	TC に関連付けられている CICS トランザクションが異常終了したために、この CICS ディスパッチャー・モードに対して切り離された、または切り離し中の MVS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBDU
TCBs Detached - Stolen (切り離された TCB 数 - スチール)	別の TCB モードが必要としたために、この CICS ディスパッチャー・モードからスチールされた、またはスチール中の MVS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBDS
TCBs Detached - Excess (切り離された TCB 数 - 超過)	CICS ディスパッチャーの超過 TCB スキャンのために、この CICS ディスパッチャー・モードから切り離された、または切り離し中の MVS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBDX
TCBs Detached - Other (切り離された TCB 数 - その他)	他の理由 (TCB プールの限度が引き下げられたため、あるいは使用中の TCB の数に対して接続された TCB が多すぎるためなど) で、この CICS ディスパッチャー TCB モードから切り離されたか、または切り離し処理中の MVS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBDO
TCB Steals (TCB スチール数)	他の TCB モードからスチールされた MVS TCB の数。 ソース・フィールド: DSGTCBST

表 213. ディスパッチャー *TCB* プール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
TCB Mismatches (TCB ミスマッチ数)	この TCB モードに対して発生した MVS TCB ミスマッチの数。 ソース・フィールド: DSGTCBMM
TCBs Attached - Current (接続 TCB 数 - 現行)	現在接続されている、この TCB プール内のすべてのモードの TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBCA
TCBs In Use - Current (使用中 TCB 数 - 現行)	現在使用されている、この TCB プール内のすべてのモードの TCB の合計数。 ソース・フィールド: DSGTCBCU for each TCB mode
TCB Attaches (TCB 接続数)	この TCB プール内のすべてのモードの MVS TCB 接続の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGNTCBA
TCBs Detached - Unclean (切り離された TCB 数 - 不明確)	TCB に関連付けられている CICS トランザクションが異常終了したために、切り離された、または切り離し中の、この TCB プール内の MVS TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBDU
TCBs Detached - Stolen (切り離された TCB 数 - スチール)	別の TCB モードが必要としたために、CICS ディスパッチャー・モードからスチールされた、またはスチール中の、この TCB プール内の MVS TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBDS
TCBs Detached - Excess (切り離された TCB 数 - 超過)	CICS ディスパッチャー超過 TCB スキャンのために、切り離された、または切り離し中の、この TCB プール内の MVS TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBDX
TCBs Detached - Other (切り離された TCB 数 - その他)	その他の理由で切り離された、または切り離し中の、この TCB プール内の MVS TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBDO
TCB Steals (TCB スチール数)	他の TCB モードからスチールされた、この TCB プール内の MVS TCB の合計数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBST
TCB Mismatches (TCB ミスマッチ数)	この TCB モードに対して発生した MVS TCB ミスマッチの数。 ソース・フィールド: 各 TCB モードの DSGTCBMM

文書テンプレート・レポート

文書テンプレート・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS DOCTEMPLATE** コマンドおよび **EXEC CICS INQUIRE DOCTEMPLATE** コマンドを使用して作成されています。 統計データは、DFHDHDDS DSECT によってマップされます。

表 214. 文書テンプレート・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
DOCTEMPLATE Name (DOCTEMPLATE 名)	DOCTEMPLATE リソース定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DOCTEMPLATE**

表 214. 文書テンプレート・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Template Name (テンプレート名)	テンプレートがアプリケーション・プログラムに認識されている名前 (DOCTEMPLATE リソース定義の TEMPLATENAME 属性)。 ソース・フィールド: DHD-TEMPLATE-NAME
Append crlf (crlf の付加)	CICS が、テンプレートの各論理レコードに復帰改行を付加するかどうか。 ソース・フィールド: DHD-APPEND-CRLF
Template contents (テンプレートの内容)	テンプレートの内容の形式。バイナリーまたは EBCDIC のいずれか。 ソース・フィールド: DHD-TEMPLATE-CONTENTS
Template cache size (テンプレート・キャッシュ・サイズ)	文書テンプレートのキャッシュ付きコピーに必要なストレージの量。 • 初めてテンプレートを使用するまでは、このフィールドはゼロです。 • このフィールドは、キャッシュされない CICS プログラムのテンプレート、および出口プログラムのテンプレート (キャッシュに指定されていない場合) に対して、常にゼロです。 ソース・フィールド: DHD-TEMPLATE-CACHE-SIZE
Template type (テンプレートのタイプ)	文書テンプレートのソースのタイプ。出口プログラム、データ・セットの CICS ファイル名、zFS ファイル、PDS のメンバー、プログラム、一時データ・キュー、一時記憶域キューのいずれかです。 ソース・フィールド: DHD-TEMPLATE-TYPE
[Template type] name ([テンプレート型] 名)	プログラム名や z/OS UNIX ファイル名などの文書テンプレートのソースの名前。 ソース・フィールド: DHD-TEMPLATE-EXIT-PROGRAM、DHD-TEMPLATE-FILE-NAME、DHD-TEMPLATE-PROGRAM-NAME、DHD-TEMPLATE-PDS-MEMBER、 DHD-TEMPLATE-TDQUEUE、DHD-TEMPLATE-TSQUEUE、DHD-TEMPLATE-HFSFILE のいずれか。
データ・セット名	文書テンプレートのタイプが「ファイル」の場合のみ。 文書テンプレートに入っているデータ・セットの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() DSNAME()**
PDS Data set name (PDS データ・セット名)	文書テンプレートのタイプが「PDS」の場合のみ。 文書テンプレートに入っている区分データ・セットの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DOCTEMPLATE() DSNAME()**
使用回数	何らかの理由で文書テンプレートが参照された合計回数。 ソース・フィールド: DHD-TEMPLATE-USE-COUNT
Newcopy count (Newcopy 回数)	この文書テンプレート用に SET DOCTEMPLATE NEWCOPY コマンドが発行された回数。 ソース・フィールド: DHD-TEMPLATE-NEWCOPIES
Read count (読み取りカウント)	文書テンプレートがソースから読み取られた回数。読み取りは、最初の使用 (キャッシュから削除した後の最初の参照を含む)、あるいは SET DOCTEMPLATE NEWCOPY コマンドによって実行されます。 ソース・フィールド: DHD-TEMPLATE-READ-COUNT

表 214. 文書テンプレート・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Cache copy used (使用されたキャッシュ・コピー)	アプリケーションが文書テンプレートのキャッシュ付きコピーを使用した回数。 ソース・フィールド: DHD-TEMPLATE-CACHE-USED
Cache copy deleted (削除されたキャッシュ・コピー)	ストレージ不足状態のために、文書テンプレートのキャッシュ付きコピーが削除された回数。 ソース・フィールド: DHD-TEMPLATE-CACHE-DELETED

エンキュー・レポート

エンキュー・マネージャー・レポートとエンキュー・モデル・レポートの 2 種類のエンキュー・レポートがあります。

エンキュー・マネージャー・レポート

エンキュー・マネージャー・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS ENQUEUE** コマンドを使用して作成します。統計データは、**DFHNQGDS DSECT** によってマップされます。

表 215. エンキュー・マネージャー・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
ENQueue poolname (エンキュー・プール名)	エンキュー・プール名。 ソース・フィールド: NQGPOOL
ENQs issued (発行 ENQ 数)	発行されたエンキューの数。 ソース・フィールド: NQGTNQSI
ENQs waited (待機 ENQ 数)	待機していたエンキューの名前。 ソース・フィールド: NQGTNQSW
ENQueue waiting time (エンキュー待ち時間)	待機していたエンキューの、エンキュー待ち時間の合計。 ソース・フィールド: NQGTNQWT
Average Enqueue wait time (平均エンキュー待ち時間)	平均のエンキュー待ち時間。 ソース・フィールド: NQGTNQWT / NQGTNQSW
Current ENQs waiting (現在待機中の ENQ 数)	待機中の ENQ の現在の数。 ソース・フィールド: NQGCNQSW
Current ENQueue waiting time (現在のエンキュー待ち時間)	現在待機中の ENQ のエンキュー待ち時間の合計。 ソース・フィールド: NQGCNQWT
Sysplex ENQs waited (待機していた SYSPLEX ENQ 数)	待機していた SYSPLEX エンキューの数。 ソース・フィールド: NQGGNQSW
Sysplex ENQueue waiting time (SYSPLEX エンキュー待ち時間)	待機していた SYSPLEX エンキューの、SYSPLEX エンキュー待ち時間の合計。 ソース・フィールド: NQGGNQWT

表 215. エンキュー・マネージャー・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Average Sysplex Enqueue wait time (平均 SYSPLEX エンキュー待ち時間)	平均の SYSPLEX エンキュー待ち時間。 ソース・フィールド: NQGGNQWT / NQGGNQSW
Current Sysplex ENQs waiting (待機中の SYSPLEX ENQ の現在の数)	待機中の SYSPLEX エンキューの現在の数。 ソース・フィールド: NQGSNQSW
Current Sysplex ENQueue waiting time (現在の SYSPLEX エンキュー待ち時間)	現在待機中の SYSPLEX ENQ の、エンキュー待ち時間の合計。 ソース・フィールド: NQGSNQWT
Total ENQs retained (保持されている ENQ の合計)	保持されているエンキューの合計数。 ソース・フィールド: NQGTNQSR
Enqueue retention time (エンキュー保持時間)	エンキューの保持時間の合計。 ソース・フィールド: NQGTNQRT
Average Enqueue retention time (平均エンキュー保持時間)	平均のエンキュー保持時間。 ソース・フィールド: NQGTNQRT / NQGTNQSR
Current ENQs retained (現在保持されている ENQ 数)	保持されているエンキューの現在の数。 ソース・フィールド: NQGCNQSR
Current Enqueue retention time (現在のエンキュー保持時間)	現在保持されているエンキューの、エンキュー保持時間の合計。 ソース・フィールド: NQGCNQRT
Current Average Enqueue retention time (現在の平均エンキュー保持時間)	現在の平均のエンキュー保持時間。 ソース・フィールド: NQGCNQRT / NQGCNQSR
Enqueues Rejected - Enqbusy (拒否されたエンキューの数 - ENQBUSY)	即時に拒否されたエンキューの数 - ENQBUSY。 ソース・フィールド: NQGTIRJB
Enqueues Rejected - Retained (拒否されたエンキューの数 - 保持)	即時に拒否された、保持されているエンキューの数。 ソース・フィールド: NQGTIRJR
Waiting Enqueues - Rejected Retained (待機エンキューの数 - 拒否され保持されている)	拒否を待っている、保持されているエンキューの数。 ソース・フィールド: NQGTWRJR
Waiting Enqueues Purged - Operator (パージされた待機エンキューの数 - オペレーター)	オペレーターの介入のため、拒否を待っているエンキューの数。 ソース・フィールド: NQGTWPOP
Waiting Enqueues Purged - Timeout (パージされた待機エンキューの数 - タイムアウト)	タイムアウトのため、拒否を待っているエンキューの数。 ソース・フィールド: NQGTWPTO

エンキュー・モデル・レポート

エンキュー・モデル・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE ENQMODEL** コマンドを使用して作成されています。

表 216. エンキュー・モデル・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
ENQModel Name (ENQMODEL 名)	エンキュー・モデルの名前 (ID)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ENQMODEL()**
ENQModel Enqname (ENQMODEL エンキュー名)	このエンキュー・モデルのリソース名または総称名。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ENQMODEL() ENQNAME()**
ENQModel Enqscope (ENQMODEL エンキュー・スコープ)	エンキューがローカルかシスプレックス全体にわたるかを示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ENQMODEL() ENQSCOPE()**
ENQModel Status (ENQMODEL 状況)	このエンキューの現在の状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE ENQMODEL() STATUS(cvda)**

イベント処理レポート

CAPTURESPEC レポート、EPADAPTER レポート、EVENTBINDING レポート、および EVENTPROCESS レポートの 4 種類のイベント・プロセッシング・レポートがあります。

CAPTURESPEC レポート

CAPTURESPEC レポートは、各イベントのキャプチャー仕様に関する情報および統計を表示します。 このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE EVENTBINDING**、**EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC**、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS EVENTBINDING**、および **CAPTURESPEC** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。

統計データは、DFHECCDS DSECT によってマップされます。

表 217. *CAPTURESPEC* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
EVENTBINDING Name (EVENTBINDING 名)	関連したイベント・バインディングの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EVENTBINDING**
EPADAPTER Name (EPADAPTER 名)	イベント・バインディングの 32 文字の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EVENTBINDING**
Enable Status (使用可能状況)	イベント・バインディングの現在の使用可能状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EVENTBINDING ENABLESTATUS()**
CAPTURESPEC name (CAPTURESPEC 名)	キャプチャー仕様の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC**
キャプチャー・ポイント	キャプチャー仕様に関連したキャプチャー点。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC CAPTURETYPE** および **EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC CAPTUREPOINT**
Current Program (現行プログラム)	現在のプログラムのアプリケーション・コンテキスト述部の値。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC CURRPGM**

表 217. *CAPTURESPEC* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current Program Op (現在のプログラムのオペレーター)	現在のプログラムのアプリケーション・コンテキスト述部のオペレーターの値。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC CURRPGMOP**
Current Transaction (現在のトランザクション)	現在のトランザクションのアプリケーション・コンテキスト述部の値。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC CURRTRANID**
Current Transaction Op (現在のトランザクションのオペレーター)	現在のトランザクションのアプリケーション・コンテキスト述部のオペレーターの値。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC CURRTRANIDOP**
Current Userid (現在のユーザー ID)	現在のユーザー ID のアプリケーション・コンテキスト述部の値。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC CURRUSERID**
Current Userid Op (現在のユーザー ID のオペレーター)	現在のユーザー ID のアプリケーション・コンテキスト述部のオペレーターの値。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC CURRUSERIDOP**
イベント名	関連したビジネス・イベントの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE CAPTURESPEC EVENTNAME**
Events Captured (キャプチャーされたイベント)	キャプチャーされたイベントの合計数。 ソース・フィールド: ECC-EVENTS-CAPTURED
Capture Failures (キャプチャー失敗)	キャプチャー仕様で記録されたキャプチャー失敗の数。 表示される場合、この統計はイベント・バインディングによって合計されます。 ソース・フィールド: ECC-CAPTURE-FAILURES

EPADAPTER レポート

EPADAPTER レポートは、各 EP アダプターに関する情報および統計を示します。このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE EPADAPTER** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS EPADAPTER** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。

統計データは、DFHEPRDS DSECT によってマップされます。

表 218. *EPADAPTER* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
EPADAPTER name (EPADAPTER 名)	EP アダプターの名前。 ソース・フィールド: EPR-ADAPTER-NAME
Enable status (使用可能状況)	EP アダプターの現在の使用可能状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EPADAPTER ENABLESTATUS()**
EPADAPTER Type (EPADAPTER タイプ)	アダプター・タイプ。 ソース・フィールド: EPR-ADAPTER-TYPE
EPADAPTER Emission mode (EPADAPTER 発行モード)	EP アダプター発行モード。 これは、EP アダプターが同期イベントに対応するか、非同期イベントに対応するかを示します。 ソース・フィールド: EPR-EMISSION-MODE

表 *218. EPADAPTER* レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
EPADAPTER Number of put events (プット・イベントの EPADAPTER 数)	このアダプターで発行するために EP に渡されたイベントの数。 ソース・フィールド: EPR-PUT-EVENTS

EVENTBINDING レポート

EVENTBINDING レポートは、各イベント・バインディングおよびイベント・バインディング状況に関する情報および統計を示します。 このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE EVENTBINDING** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS EVENTBINDING** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。

統計データは、DFHECGDS DSECT によってマップされます。

表 *219. EVENTBINDING* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
EVENTBINDING Name (EVENTBINDING 名)	イベント・バインディングの 32 文字の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EVENTBINDING**
EVENTBINDING EPADAPTER Name (EVENTBINDING EPADAPTER 名)	EP アダプターの 32 文字の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EVENTBINDING**
Enable Status (使用可能状況)	イベント・バインディングの現在の使用可能状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EVENTBINDING ENABLESTATUS()**

EVENTPROCESS レポート

EVENTPROCESS レポートは、イベント処理、キュー状況、タスク、およびキャプチャーされたイベントの数に関する情報および統計を示します。 このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE EVENTPROCESS**、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS EVENTPROCESS**、および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS EVENTBINDING** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。

統計データは、DFHEPGDS DSECT および DFHECGDS DSECT によってマップされます。

表 *220. EVENTPROCESS* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Event processing status (イベント処理状況)	イベント処理の現行状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EVENTPROCESS**
Put events (プット・イベント)	発行のために EP コンポーネントに渡されたイベントの数。 ソース・フィールド: EPG-PUT-EVENTS

表 220. *EVENTPROCESS* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Commit forward events (コミット・フォワード・イベント)	コミット済みで、1 つ以上の非同期トランザクション・イベントを含んでいた作業単位の数。 ソース・フィールド: EPG-COMMIT-FORWARD-EVENTS
Commit backward events (コミット・バックワード・イベント)	バックアウト済みで、1 つ以上の非同期トランザクション・イベントを含んでいた作業単位の数。 ソース・フィールド: EPG-COMMIT-BACKWARD-EVENTS
Current event capture queue (現行イベント・キャプチャー・キュー)	イベント・キャプチャー・キューのイベントの現在の数。 ソース・フィールド: EPG-CURRENT-EVC-QUEUE
Peak event capture queue (ピーク・イベント・キャプチャー・キュー)	イベント・キャプチャー・キューのイベントのピーク数。 ソース・フィールド: EPG-PEAK-EVC-QUEUE
Current transactional queue (現行トランザクション・キュー)	トランザクション・キューのイベントの現在の数。 ソース・フィールド: EPG-CURRENT-TRANS-QUEUE
Peak transactional queue (ピーク・トランザクション・キュー)	トランザクション・キューのイベントのピーク数。 ソース・フィールド: EPG-PEAK-TRANS-QUEUE
Async normal events (非同期通常イベント)	非同期通常優先順位イベントの数。 ソース・フィールド: EPG-ASYNC-NORMAL-EVENTS
Async priority events (非同期優先イベント)	非同期高優先順位イベントの数。 ソース・フィールド: EPG-ASYNC-PRIORITY-EVENTS
Transactional events (トランザクション・イベント)	トランザクション・イベントの数。 ソース・フィールド: EPG-TRANS-EVENTS
Transactional events discarded (廃棄されたトランザクション・イベント)	廃棄されたトランザクション・イベントの数。 ソース・フィールド: EPG-TRANS-EVENTS-DISCARDED
Synchronous events (同期イベント)	キャプチャーされた同期発行イベントの数。 ソース・フィールド: EPG-SYNC-EVENTS
Synchronous events failed (失敗した同期イベント)	発行されなかった同期発行イベントの数。 ソース・フィールド: EPG-SYNC-EVENTS-FAILED
Dispatcher tasks attached (接続されたディスパッチャー・タスク)	接続されたディスパッチャー・タスクの数。 ソース・フィールド: EPG-DISPATCHERS-ATTACHED
Current dispatcher tasks (現在のディスパッチャー・タスク)	ディスパッチャー・タスクの現在の数。 ソース・フィールド: EPG-CURRENT-DISPATCHERS
Peak dispatcher tasks (ピーク・ディスパッチャー・タスク)	ディスパッチャー・タスクのピーク数。 ソース・フィールド: EPG-PEAK-DISPATCHERS

表 220. *EVENTPROCESS* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Events to WebSphere MQ EP adapter (WebSphere MQ EP アダプターへのイベント)	WebSphere MQ EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 ソース・フィールド: EPG-WMQ-ADAPTER-EVENTS
Events to transaction EP adapter (トランザクション EP アダプターへのイベント)	トランザクション EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 ソース・フィールド: EPG-TRANS-ADAPTER-EVENTS
Events to tdqueue EP adapter (TDQUEUE EP アダプターへのイベント)	TD キュー EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 ソース・フィールド: EPG-TDQ-ADAPTER-EVENTS
Events to tsqueue EP adapter (tsqueue EP アダプターへのイベント)	TS キュー EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 ソース・フィールド: EPG-TSQ-ADAPTER-EVENTS
Events to custom EP adapter (カスタム EP アダプターへのイベント)	カスタム EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 ソース・フィールド: EPG-CUSTOM-ADAPTER-EVENTS
Events to HTTP EP adapter (HTTP EP アダプターへのイベント)	HTTP EP アダプターにディスパッチされているイベントの数。 ソース・フィールド: EPG-HTTP-ADAPTER-EVENTS
Events lost (dispatcher) - config (失われたイベント (ディスパッチャー) - 構成)	ディスパッチャーがイベント・バインディングの `eventDispatcherPolicy` セクションで指定されたリソースに関連した問題を検出したため、キャプチャーされたものの、EP アダプターにディスパッチされなかったイベントの数。 ソース・フィールド: EPG-DISPATCH-FAILURE-CONFIG
Events lost (dispatcher) - other (失われたイベント (ディスパッチャー) - その他)	ディスパッチャーが CICS 環境で問題 (例えば、ストレージが不十分) を検出したため、キャプチャーされたものの、EP アダプターにディスパッチされなかったイベントの数。 ソース・フィールド: EPG-DISPATCH-FAILURE-OTHER
Events lost (adapter) - config (失われたイベント (アダプター) - 構成)	EP アダプターがイベント・バインディングの `eventDispatcherAdapter` 構成セクションで指定されたリソースに関連した問題を検出したため、キャプチャーされたものの、発行されなかったイベントの数。 ソース・フィールド: ECG-EVENTS-LOST-CONFIG
Events lost (adapter) - other (失われたイベント (アダプター) - その他)	EP アダプターが CICS 環境で問題 (例えば、ストレージが不十分) を検出したため、キャプチャーされたものの、発行されなかったイベントの数。 ソース・フィールド: ECG-EVENTS-LOST-OTHER
Events lost - adapter unavailable (失われたイベント - アダプター使用不可)	EP アダプターが使用不可であるか、インストールされていないために発行されなかったイベントの数。 ソース・フィールド: EPG-EVENTS-ADAPTER-UNAVAIL
Event filtering operations (イベント・フィルター操作)	イベント・フィルター操作の数。 ソース・フィールド: ECG-EB-EVENT-FILTER-OPS
Events with disabled EVENTBINDING (使用不可になった EVENTBINDING のあるイベント)	使用不可になったイベント・バインディングが原因でキャプチャーされなかったイベントの数。 ソース・フィールド: ECG-EB-EVENTS-DISABLED

表 220. *EVENTPROCESS* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Events captured (キャプチャーされたイベント)	キャプチャーされたアプリケーションおよびシステム・イベントの合計数。 ソース・フィールド: ECG-EB-EVENTS-CAPTURED
System events captured (キャプチャーされたシステム・イベント)	キャプチャーされたシステム・イベントの数。 ソース・フィールド: ECG-SYS-EVENTS-CAPTURED
Filter operations failed (失敗したフィルター操作)	イベントをキャプチャーする必要があるかどうか CICS が判別できなかったために完了しなかったフィルター操作の数。 ソース・フィールド: ECG-FILTER-OPS-FAILED
Capture operations failed (失敗したキャプチャー操作)	CICS がイベントを必要であると判別したにもかかわらず、それをキャプチャーできなかったために完了しなかったキャプチャー操作の数。 ソース・フィールド: ECG-CAPTURE-OPS-FAILED

ファイル・レポート

ファイル・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE FILE** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS FILE** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHA17DS DSECT** によってマップされます。

表 221. ファイル・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Filename (ファイル名)	ファイルの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE()**
Access Method (アクセス方式)	このファイルに対するアクセス方式を示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() ACCESSMETHOD(cvda)**
ファイル・タイプ	このファイルに対応するデータ・セットに、レコードをどのように編成するかを示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() TYPE(cvda)**
Remote Filename (リモート・ファイル名)	リモート・システムでファイルを認識するときの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() REMOTENAME()**
Remote System (リモート・システム)	ファイルが定義されている CICS 領域の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() REMOTESYSTEM()**
LSRpool	このファイルに定義された LSR プールの ID。 「No」の場合、この ID は LSR プールでは定義されていません。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() LSRPOOLNUM()**
RLS	ファイルが RLS モードで開かれるかどうかを示します。 ソース・フィールド: A17RLS

表 221. ファイル・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Data Table Type (データ・テーブル・タイプ)	データ・テーブルのタイプで、カップリング・ファシリティー、CICS 管理、ユーザー管理、またはリモート。 このフィールドがブランクの場合、このフィールドは、ファイルがデータベースとして定義されているかどうか不明であることを示しています。 これは、ファイルが現在オープンしていない場合に発生することがあります。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() TABLE(cvda) REMOTETABLE(cvda)**
CFDT Poolname (CFDT プール名)	カップリング・ファシリティー・データ・テーブルが常駐する、カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プールの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() CFDTPOOL()**
Table Name (テーブル名)	カップリング・ファシリティー・データ・テーブル名。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() TABLENAME()**
Recovery Status (リカバリー状況)	ファイルのリカバリー状況を示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE() RECOVSTATUS(cvda)**
Strings (ストリング)	ファイルに対して定義されている VSAM ストリングの数。 ソース・フィールド: A17STRNO
Buffers - Index (バッファー - 索引)	ファイルに対して定義されている索引バッファーの数。 ソース・フィールド: A17DSINB
Buffers - Data (バッファー - データ)	ファイルに対して定義されているデータ・バッファーの数。 ソース・フィールド: A17DSDNB

ファイル要求レポート

ファイル要求レポートは、**EXEC CICS INQUIRE FILE** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS FILE** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHA17DS DSECT** によってマップされます。

表 222. ファイル要求レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Filename (ファイル名)	ファイルの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE FILE()**
Read Requests (読み取り要求)	このファイルに対して試行された GET 要求の数。 ソース・フィールド: A17DSRD
Get Update Requests (更新取得要求)	このファイルに対して試行された GET UPDATE 要求の数。 ソース・フィールド: A17DSGU
Browse Requests (ブラウズ要求)	このファイルに対して試行された GETNEXT および GETPREV 要求の数。 ソース・フィールド: A17DSBR

表 222. ファイル要求レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Browse Updates (ブラウズ更新数)	このファイルに対して試行された GETNEXT UPDATE および GETPREV UPDATE 要求の数。 ソース・フィールド: A17DSBRU
Add Requests (追加要求)	このファイルに対して試行された PUT 要求の数。 ソース・フィールド: A17DSWRA
Update Requests (更新要求)	このファイルに対して試行された PUT UPDATE 要求の数。 ソース・フィールド: A17DSWRU
Delete Requests (削除要求)	このファイルに試みられた DELETE 要求の数。 ソース・フィールド: A17DSDEL
RLS Req. Timeouts (RLS 要求タイムアウト回数)	タイムアウトになった RLS ファイル要求の数。 ソース・フィールド: A17RLSWT
String Waits: Total (ストリング待ち: 合計)	ファイルに対するストリング待ちの合計数。 ソース・フィールド: A17DSTSW
String Waits: HWM (ストリング待ち: HWM)	ファイルに対するストリング待ちのピーク数。 ソース・フィールド: A17DSHSW

グローバル・ユーザー出口レポート

グローバル・ユーザー出口レポートは、**EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM** コマンドを使用して作成します。

表 223. グローバル・ユーザー出口レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Exit Name (出口名)	グローバル・ユーザー出口点の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() EXIT()**
Program Name (プログラム名)	このグローバル・ユーザー出口点で使用可能になっている出口プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM()**
Entry Name (エントリー名)	このグローバル・ユーザー出口点におけるこの出口プログラムのエントリー・ポイントの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() ENTRYNAME()**
Global Area Entry Name (グローバル作業域エントリー名)	この出口プログラムに関連付けられているグローバル作業域を所有している出口プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() GAENTRYNAME()**
Global Area Length (グローバル作業域の長さ)	この出口プログラムのグローバル作業域の長さ。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() GALENGTH()**

表 223. グローバル・ユーザー出口レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Global Area Use Count (グローバル作業域使用回数)	この出口プログラムが所有しているグローバル作業域に関連付けられている出口プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() GAUSECOUNT()**
Number of Exits (出口数)	この出口プログラムが使用可能になっているグローバル・ユーザー出口ポイントの数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() NUMEXITS()**
Program Status (プログラム状況)	この出口プログラムが実行に使用可能かどうかを示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() STARTSTATUS(cvda)**
Program Concurrency (プログラム並行性)	この出口プログラムの並行性属性を示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() CONCURRENCY(cvda)**
Concurrency Status (並行性状況)	この出口プログラムの並行性状況を示しています。 ENABLE コマンドのオプションによって PROGRAM 定義がオーバーライドされた可能性があることを考慮に入れます。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() CONCURRENCY(cvda)**

IPCONN レポート

IPCONN レポートは、IP 相互接続性 (IPIC) 接続を定義する IPCONN リソース定義に関する情報および統計を示します。

IPCONN レポートは、 **EXEC CICS INQUIRE IPCONN** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS IPCONN** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、DFHISRDS DSECT によってマップされます。

表 224. *IPCONN* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
IPCONN Name (IPCONN 名)	IPCONN 定義の名前、つまり CICS がリモート・システムを認識する名前。 ソース・フィールド: ISR-IPCONN-NAME
IPCONN Applid (IPCONN アプリケーション ID)	リモート・システムのアプリケーション ID (APPLID)。 リモート・システムが CICS 領域である場合、システム初期設定テーブルの APPLID パラメーターにはそのアプリケーション ID が指定されます。 ソース・フィールド: ISR-APPLID
IPCONN Status (IPCONN の状況)	CICS とリモート・システムの間の接続の状態: 例、ACQUIRED、 FREEING、OBTAINING、または RELEASED。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE IPCONN() CONNSTATUS()**
IPCONN Port Number (IPCONN ポート番号)	この IP 接続でのアウトバウンド要求に使用されるポート番号、つまり、リモート・システムが listen しているポートの番号。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE IPCONN() PORT()**

表 224. *IPCONN* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
IPCONN Host (IPCONN ホスト)	リモート・システムのホスト名またはその IPv4 または IPv6 アドレス。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE IPCONN() HOST()**
IPCONN IP Resolved Address (IPCONN IP 解決アドレス)	ホストの IPv4 または IPv6 解決アドレス。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE IPCONN() IPRESOLVED()**
IPCONN IP Family (IPCONN IP ファミリー)	IPCONN IP 解決アドレスに戻されるアドレスのアドレス・フォーマット。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE IPCONN() IPFAMILY()**
SSL Authentication (SSL 認証)	Secure Socket Layer (SSL) 認証がサポートされるかどうか。 はい いいえ ソース・フィールド: ISR-SSL-SUPPORT。
Link Security (リンク・セキュリティー)	使用されるリンク認証のタイプ: Certificate Securityname ソース・フィールド: ISR-LINKAUTH
Receive Session Count (受信セッション・カウント)	この接続に定義される受信セッションの数。 ソース・フィールド: ISR-RECEIVE-SESSIONS
Current Receive Session Count (現在の受信セッション・カウント)	この接続での現在の受信セッション数。 ソース・フィールド: ISR-CURRENT-RECEIVE-SESSIONS
Peak Receive Session Count (ピークの受信セッション・カウント)	この接続で使用中の受信セッションのピーク数。 ソース・フィールド: ISR-PEAK-RECEIVE-SESSIONS
Total Allocates (割り振りの合計数)	この接続の割り振り要求の合計数。 ソース・フィールド: ISR-TOTAL-ALLOCATES
Current Allocates Queued (キューに入れられた現在の割り振り)	キューに入れられている、この接続に対する割り振り要求の現在の数。 ソース・フィールド: ISR-CURRENT-QUEUED-ALLOCATES
Peak Allocates Queued (キューに入れられた割り振りのピーク数)	キューに入れられていた、この接続に対する割り振り要求のピーク数。 ソース・フィールド: ISR-PEAK-QUEUED-ALLOCATES
Allocates Failed - Link (失敗した割り振り数 - リンク)	接続の解放、またはサービス休止のために失敗した割り振り要求の数。 ソース・フィールド: ISR-ALLOCATES-FAILED-LINK
Allocates Failed - Other (失敗した割り振り数 - その他)	セッションが現在使用できないために失敗した割り振り要求の数。 ソース・フィールド: ISR-ALLOCATES-FAILED-OTHER
Number of Transactions Attached (トランザクション付加回数)	この接続で付加されたトランザクションの総数。 ソース・フィールド: ISR-TRANS-ATTACHED

表 224. *IPCONN* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Remote Terminal Starts (リモート端末の開始数)	リモート端末から送信された **START** 要求の総数。 ソース・フィールド: ISR_REMOTE_TERM_STARTS
Transaction Routing (トランザクション・ルーティング) Requests (要求数)	接続を通して送信されたトランザクション・ルーティング要求の数。 ソース・フィールド: ISR-TR-REQUESTS
Transaction Routing (トランザクション・ルーティング) Total Bytes Sent (合計送信バイト数)	トランザクション・ルーティング要求で送信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR-TR-BYTES-SENT
Transaction Routing (トランザクション・ルーティング) Total Bytes Received (合計受信バイト数)	トランザクション・ルーティング要求で受信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR-TR-BYTES-RECEIVED
Function Shipping (機能シップ) Program requests (プログラム要求)	接続を経由して機能シップされたプログラム制御要求の数。 ソース・フィールド: ISR-FS-PG-REQUESTS
Function Shipping (機能シップ) Interval Control requests (インターバル制御要求数)	接続を経由して機能シップされたインターバル制御要求の数。 ソース・フィールド: ISR-FS-IC-REQUESTS
Function Shipping (機能シップ) Total requests (合計要求数)	接続を通してシップされた機能シップ要求の合計数。 ソース・フィールド: ISR-FS-PG-REQUESTS + ISR-FS-IC-REQUESTS + ISR-FS-FC-REQUESTS + ISR-FS-TD-REQUESTS + ISR-FS-TS-REQUESTS
Program Requests (プログラム要求) Total Bytes Sent (合計送信バイト数)	プログラム制御要求で送信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR-FS-PG-BYTES-SENT
Program Requests (プログラム要求) Total Bytes Received (合計受信バイト数)	プログラム制御要求で受信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR-FS-PG-BYTES-RECEIVED
Interval Control Requests (インターバル制御要求数) Total Bytes Sent (合計送信バイト数)	インターバル制御要求で送信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR-FS-IC-BYTES-SENT
Interval Control Requests (インターバル制御要求数) Total Bytes Received (合計受信バイト数)	インターバル制御要求で受信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR-FS-IC-BYTES-RECEIVED
IPCONN Network ID (IPCONN ネットワーク ID)	リモート・システムのネットワーク ID。 ソース・フィールド: ISR-NETWORK-ID

表 224. *IPCONN* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
IPCONN Service Status (IPCONN のサービス状況)	データを次の接続で渡せるかどうか。 Inservice Outservice ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE IPCONN() SERVSTATUS()**
TCPIPSERVICE Name (TCPIPSERVICE 名)	この接続のインバウンド処理の属性を定義する PROTOCOL(IPIC) TCPIPSERVICE 定義の名前。 ソース・フィールド: ISR-TCPIP-SERVICE
User Authentication (ユーザー認証)	使用されるユーザー認証のタイプ: Defaultuser Identify Local Verify ソース・フィールド: ISR-USERAUTH
Mirror Lifetime (ミラー存続時間)	この領域で受信された機能シップされた要求のミラー・タスクの最小存続時間。 以下のオプションがあります。 REQUEST TASK UOW ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE IPCONN() MIRRORLIFE()**
Send Session Count (送信セッション・カウント)	この接続に定義される送信セッション数。 ソース・フィールド: ISR-SEND-SESSIONS
Current Send Session Count (現在の送信セッション・カウント)	この接続での現在の送信セッション数。 ソース・フィールド: ISR-CURRENT-SEND-SESSIONS
Peak Send Session Count (ピークの送信セッション・カウント)	この接続で使用中の送信セッションのピーク数。 ソース・フィールド: ISR-PEAK-SEND-SESSIONS
Allocates per second (毎秒当たりの割り振り数)	この接続に対して、毎秒発行される割り振り要求の数。 ソース・フィールド: ISR-TOTAL-ALLOCATES / Elapsed seconds since reset
Allocate Queue Limit (割り振りキュー限度)	キューに入れることが可能な、この接続に対する割り振り要求の最大数。 ソース・フィールド: ISR-ALLOCATE-QUEUE-LIMIT
Allocates Rejected - Queue Limit (拒否された割り振り数 - キュー制限)	QUEUELIMIT 値に達したために拒否された割り振り要求の数。 ソース・フィールド: ISR-QLIMIT-ALLOC-REJECTS
Max Queue Time (seconds) (最大キュー時間 (秒))	この接続に対して割り振り要求をキューに入れることが可能な最大時間 (秒)。 ソース・フィールド: ISR-MAX-QUEUE-TIME
Max Queue Time - Allocate Queue Purge (最大キュー時間 - 割り振りキュー・パージ)	MAXQTIME 値に達したために、割り振り要求のキューがパージされた回数。 ソース・フィールド: ISR-MAXQTIME-ALLOC-QPURGES

表 224. *IPCONN* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Max Queue Time - Allocates Purged (最大キュー時間 - パージされた割り振り)	キューに入っていた時間が MAXQTIME 値を超えたためにパージされた割り振り要求の合計数。 ソース・フィールド: ISR-MAXQTIME-ALLOCS-PURGED
XISQUE - Allocates Rejected (XISQUE - 拒否された割り振り)	XISQUE グローバル・ユーザー出口プログラムによって拒否された割り振り要求の数。 ソース・フィールド: ISR-XISQUE-ALLOC-REJECTS
XISQUE - Allocate Queue Purge (XISQUE - 割り振りキュー・パージ)	XISQUE グローバル・ユーザー出口プログラムによって割り振り要求キューがパージされた回数。 ソース・フィールド: ISR-XISQUE-ALLOC-QPURGES
XISQUE - Allocates Purged (XISQUE - パージされた割り振り)	XISQUE グローバル・ユーザー出口プログラムが、キューに入っている割り振り要求をパージするよう要求したためにパージされた、割り振り要求の総数。 ソース・フィールド: ISR-XISQUE-ALLOC-PURGED
Transaction Routing (トランザクション・ルーティング) Average Bytes Sent (送信された平均バイト数)	トランザクション・ルーティング要求で送信された平均のバイト数。 ソース・フィールド: ISR-TR-BYTES-SENT / ISR-TR-REQUESTS
Program Requests (プログラム要求) Average Bytes Sent (送信された平均バイト数)	プログラム制御要求で送信された平均バイト数。 ソース・フィールド: ISR-FS-PG-BYTES-SENT / ISR-FS-PG-REQUESTS
Interval Control Requests (インターバル制御要求数) Average Bytes Sent (送信された平均バイト数)	インターバル制御要求で送信された平均バイト数。 ソース・フィールド: ISR-FS-IC-BYTES-SENT / ISR-FS-IC-REQUESTS
Function Shipping (機能シップ) File Control requests (ファイル制御要求数)	この接続での機能シップに対するファイル制御機能要求の数。 ソース・フィールド: ISR_FS_FC_REQUESTS
File Control Requests (ファイル制御要求数) Total Bytes Sent (合計送信バイト数)	ファイル制御要求で送信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR_FS_FC_BYTES_SENT
File Control Requests (ファイル制御要求数) Total Bytes Rcvd (合計受信バイト数)	ファイル制御要求によって受信されたバイト数です。 ソース・フィールド: ISR_FS_FC_BYTES_RECEIVED
Function Shipping (機能シップ) Temporary Storage Requests (一時記憶域要求数)	この接続での機能シップに対する一時記憶域要求の数。 ソース・フィールド: ISR_FS_TS_REQUESTS

表 224. *IPCONN* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Temporary Storage Requests (一時記憶域要求数) Total Bytes Sent (合計送信バイト数)	一時記憶域要求で送信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR_FS_TS_BYTES_SENT
Temporary Storage Requests (一時記憶域要求数) Total Bytes Rcvd (合計受信バイト数)	一時記憶域要求で受信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR_FS_TS_BYTES_RECEIVED
Function Shipping (機能シップ) Transient Data Requests (一時データ要求数)	この接続での機能シップに対する一時データ要求の数。 ソース・フィールド: ISR_FS_TD_REQUESTS
Transient Data Requests (一時データ要求数) Total Bytes Sent (合計送信バイト数)	一時データ要求で送信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR_FS_TD_BYTES_SENT
Transient Data Requests (一時データ要求数) Total Bytes Rcvd (合計受信バイト数)	一時データ要求で受信されたバイト数。 ソース・フィールド: ISR_FS_TD_BYTES_RECEIVED
Unsupported Requests (サポートされない要求数)	この接続を介してサポートされない機能に対する要求を経路指定しようとした試行回数。 ソース・フィールド: ISR_UNSUPPORTED_REQUESTS

ジャーナル名レポート

ジャーナル名レポートは、**EXEC CICS INQUIRE JOURNALNAME** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS JOURNALNAME** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHLGRDS DSECT** によってマップされます。

表 225. ジャーナル名レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Journal Name (ジャーナル名)	ジャーナルの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE JOURNALNAME()**
Journal Status (ジャーナル状況)	現在のジャーナルの状況 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE JOURNALNAME() STATUS(cvda)**
Journal Type (ジャーナル・タイプ)	ジャーナルのタイプで、MVS、SMF、またはダミー。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE JOURNALNAME() TYPE(cvda)**
Logstream Name (ログ・ストリーム名)	このジャーナルに関連付けられているログ・ストリームの名前 (MVS ジャーナルのみ)。 ソース・フィールド: LGRSTREAM

表 225. ジャーナル名レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Write Requests (書き込み要求)	このジャーナルに対する書き込み要求の数。 ソース・フィールド: LGRWRITES
Bytes Written (書き込みバイト数)	このジャーナルに書き込まれたバイト数。 ソース・フィールド: LGRBYTES
Average Bytes (平均バイト数)	このジャーナルに書き込まれた、1 つの要求当たりの平均のバイト数。 ソース・フィールド: (LGRBYTES / LGRWRITES)
Buffer Flushes (バッファー・フラッシュ数)	このジャーナルに対して発行された、バッファーのフラッシュ要求の数。 ソース・フィールド: LGRBUFLSH

JVM プログラム・レポート

JVM プログラム・レポートは、JVM サーバーおよびプールされた JVM で実行される Javaプログラムに関する情報および統計を表示します。 このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE PROGRAM** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS JVMPROGRAM** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHPGRDS DSECT** によってマップされます。

表 226. *JVM* プログラム・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Program Name (プログラム名)	JVM プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM()**
JVM サーバー	JVM サーバーで実行するためにプログラムに必要な JVMSERVER リソースの名前 (PROGRAM リソースの JVMSERVER 属性で指定される)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() JVMSERVER()**
Profile Name (プロファイル名)	プログラムに必要な JVM プロファイル (PROGRAM リソースの JVM 属性で指定される)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() JVMPROFILE()**
Times Used (使用回数)	プログラムが使用された回数。 ソース・フィールド: PGR-JVMPROGRAM-USECOUNT
EXEC Key (実行キー)	プログラムに必要な実行キー (CICS キーまたはユーザー・キー、PROGRAM リソースの EXECKEY 属性で指定される)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() EXECKEY()**
JVMClass	プログラムにおけるメイン・クラス (PROGRAM リソースの JVMCLASS 属性で指定される)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() JVMCLASS()**

JVMSERVER レポート

JVMSERVER レポートは、JVMSERVER リソース定義に関する情報および統計を示します。 JVMSERVER リソースは、JVM プロファイルおよび Language Environment ランタイム・オプションを含む、JVM サーバーのランタイム環境を定義します。

このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE JVMSERVER** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。統計データは DFHSJSDS DSECT によってマップされます。

表 *227. JVMSERVER* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
JVMSERVER Name (JVMSERVER 名)	JVMSERVER リソース定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE JVMSERVER**
JVMSERVER Enable Status (JVMSERVER 使用可能状況)	JVMSERVER リソース定義の状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE JVMSERVER ENABLESTATUS**
JVMSERVER JVM profile name (JVMSERVER JVM プロファイル名)	JVM サーバーを開始するために使用される JVM プロファイルの名前。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-JVMPROFILE
JVMSERVER LE runtime options (JVMSERVER LE ランタイム・オプション)	JVMSERVER リソースで指定されている Language Environment ランタイム・オプション・プログラムの名前。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-LE-RUNOPTS
JVMSERVER use count (JVMSERVER の使用回数)	JVM サーバーが呼び出された回数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-USE-COUNT
JVMSERVER thread limit (JVMSERVER スレッド制限)	JVM サーバー内のスレッドの最大数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-THREAD-LIMIT
JVMSERVER current threads (JVMSERVER スレッド現在数)	JVM サーバー内のスレッドの現在の数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-THREAD-CURRENT
JVMSERVER peak threads (JVMSERVER スレッド・ピーク数)	JVM サーバー内のスレッドのピーク数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-THREAD-HWM
JVMSERVER thread limit waits (JVMSERVER スレッド限界の待機数)	フリー・スレッドを待っていたタスクの数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-THREAD-WAITS

表 227. *JVMSERVER* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
JVMSERVER thread limit wait time (JVMSERVER スレッド限界の待機時間)	タスクがフリー・スレッドを待っていた時間 (秒)。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-THREAD-WAIT-TIME
JVMSERVER current thread waits (JVMSERVER スレッド待機現在数)	現在フリー・スレッドを待っているタスクの数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-THREAD-WAIT-CUR
JVMSERVER peak thread waits (JVMSERVER スレッド待機のピーク数)	フリー・スレッドを待っていたタスクのピーク数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-THREAD-WAIT-HWM
JVMSERVER system thread use count (JVMSERVER システム・スレッド使用回数)	システム・スレッドが使用された回数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-SYS-USE-COUNT
JVMSERVER system thread waits (JVMSERVER システム・スレッド待機数)	システム・スレッドを待っていた CICS タスクの数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-SYS-WAITED
JVMSERVER system thread wait time (JVMSERVER システム・スレッド待機時間)	タスクがシステム・スレッド待機に費やした累積時間 (秒)。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-SYS-WAITED-TIME
JVMSERVER current sys thread waits (JVMSERVER 現在のシステム・スレッド待機数)	システム・スレッドを待っているタスクの現在の数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-SYS-WAIT-CUR
JVMSERVER peak system thread waits (JVMSERVER ピーク・システム・スレッド待機数)	システム・スレッドを待っていたタスクの最高数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-SYS-WAIT-HWM
JVMSERVER current heap size (JVMSERVER 現在のヒープ・サイズ)	JVM サーバーに現在割り振られているヒープのサイズ (バイト)。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-MAX-HEAP

表 227. *JVMSERVER* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
JVMSERVER initial heap size (JVMSERVER 初期ヒープ・サイズ)	JVM サーバーに割り振られている初期ヒープのサイズ (バイト)。 この値は、JVM プロファイルの **-Xms** オプションで設定されます。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-CURRENT-HEAP
JVMSERVER maximum heap size (JVMSERVER 最大ヒープ・サイズ)	JVM サーバーに割り振ることができる最大ヒープのサイズ (バイト)。 この値は、JVM プロファイルの **-Xmx** オプションで設定されます。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-INITIAL-HEAP
JVMSERVER peak heap size (JVMSERVER ピーク・ヒープ・サイズ)	JVM サーバーに割り振られている最大ヒープのサイズ (バイト)。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-PEAK-HEAP
JVMSERVER heap occupancy (JVMSERVER ヒープ占有)	発生した最後のガーベッジ・コレクションの直後のヒープ・サイズ (バイト)。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-OCCUPANCY
JVMSERVER Garbage Collection (GC) (JVMSERVER ガーベッジ・コレクション (GC))	JVM で使用されているガーベッジ・コレクション・ポリシー。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-GC-POLICY
JVMSERVER no. of major GC events (JVMSERVER メジャー GC イベントの数)	発生したメジャー・ガーベッジ・コレクション・イベントの数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-MJR-GC-EVENTS
JVMSERVER total elapsed time spent in major GC (JVMSERVER メジャー GC に費やされた合計経過時間)	メジャー・ガーベッジ・コレクションの実行に費やされた合計経過時間 (ミリ秒)。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-MJR-GC-CPU
JVMSERVER total memory freed by major GC (JVMSERVER メジャー GC によって解放された合計記憶域)	メジャー・ガーベッジ・コレクションの実行によって解放された合計記憶域 (バイト)。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-MJR-HEAP-FREED
JVMSERVER no. of minor GC events (JVMSERVER マイナー GC イベントの数)	発生したマイナー・ガーベッジ・コレクションの数。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-MNR-GC-EVENTS

表 227. *JVMSERVER* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
JVMSERVER total elapsed time spent in minor GC (JVMSERVER マイナー GC に費やされた合計経過時間)	マイナー・ガーベッジ・コレクションの実行に費やされた合計経過時間 (ミリ秒)。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-MNR-GC-CPU
JVMSERVER total memory freed by minor GC (JVMSERVER マイナー GC によって解放された合計記憶域)	マイナー・ガーベッジ・コレクションの実行によって解放された合計記憶域 (バイト)。 ソース・フィールド: SJS-JVMSERVER-MNR-HEAP-FREED

LIBRARY レポート

LIBRARY レポートと LIBRARY データ・セット連結レポートの 2 種類の LIBRARY レポートがあります。

LIBRARY レポート

LIBRARY レポートは、**EXEC CICS INQUIRE** LIBRARY および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** LIBRARY RESID コマンドの組み合わせを使用して作成されています。統計データは、DFHLDBDS DSECT によってマップされます。

表 228. *LIBRARY* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
LIBRARY Name (LIBRARY 名)	LIBRARY の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIBRARY**
Search Position (検索位置)	全体的な LIBRARY 検索順序内における、この LIBRARY の現在の絶対位置。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIRBARY SEARCHPOS**
Ranking (ランキング)	この LIBRARY が LIBRARY 検索順序の全体の中で表示される、他の LIBRARY 連結に対する相対的な位置。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIBRARY RANKING**
クリティカル	この LIBRARY が CICS を開始するために重要かどうかを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIBRARY CRITICAL**
Enable Status (使用可能状況)	LIBRARY が全体的な LIBRARY 検索順序に含まれるかどうかを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIBRARY ENABLESTATUS**
Program Loads (プログラム・ロード)	LIBRARY 連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードする場合にローダーが MVS LOAD 要求を発行する回数。 ソース・フィールド: LDB-LIBRARY-PROG-LOADS
Number Dsnames (Dsname 数)	LIBRARY 連結内のデータ・セットの数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS LIBRARY NUMDSNAMES**

表 228. *LIBRARY* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Concatenation (連結)	LIBRARY 連結内のデータ・セットの連結番号。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIBRARY DSNAME01-16**
Data set Name (データ・セット名)	LIBRARY 連結内の各データ・セットの 44 文字の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIBRARY DSNAME01-16**
Dsname Number (Dsname 番号)	LIBRARY 内でデータ・セットが存在する位置。 **注:** DFHRPL には Dsname 番号はありません。

LIBRARY データ・セット連結レポート

LIBRARY データ・セット連結レポートは、**EXEC CICS INQUIRE LIBRARY** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS LIBRARY RESID()** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。

統計データは、DFHLDBDS DSECT によってマップされます。

表 229. *LIBRARY* データ・セット連結レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Concatenation (連結)	表示される検索順序でのすべての LIBRARY の連結に基づく、データ・セットの連結番号。 ソース・フィールド: Generated by DFH0STAT
Dataset Name (データ・セット名)	LIBRARY 連結内の各データ・セットの 44 文字の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIBRARY DSNAME01-16**
Dsname Number (Dsname 番号)	LIBRARY 内でデータ・セットが存在する位置。 **注:** DFHRPL には Dsname 番号はありません。 ソース・フィールド: Generated by DFH0STAT
LIBRARY Name (LIBRARY 名)	LIBRARY の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIBRARY**
Ranking (ランキング)	この LIBRARY が LIBRARY 検索順序の全体の中で表示される、他の LIBRARY 連結に対する相対的な位置。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIBRARY RANKING**
クリティカル	この LIBRARY が CICS を開始するために重要かどうかを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE LIBRARY CRITICAL**

ローダーおよびプログラム・ストレージ・レポート

ローダーおよびプログラム・ストレージ・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAM** コマンドおよび **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STORAGE** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHLDGDS** および **DFHSMDDS DSECT** によってマップされます。

表 230. ローダー・ストレージ・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
LIBRARY Load requests (LIBRARY ロード要求)	DFHRPL ライブラリー連結、または動的ライブラリー連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードする場合にローダーが MVS LOAD 要求を発行した回数。 LPA 内のモジュールは、この値には含まれていません。 この値には、オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求と、RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求の両方が含まれています。 ソース・フィールド: LDGLLR
LIBRARY Load Rate per second (秒ごとの LIBRARY ロード率)	DFHRPL ライブラリー連結、または動的ライブラリー連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードする場合にローダーが MVS LOAD 要求を発行する秒ごとの回数。 LPA 内のモジュールは、この値には含まれていません。 この値には、オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求と、RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求の両方が含まれています。 ソース・フィールド: LDGLLR/経過時間 (最後の統計リセット以降)
LIBRARY Load requests on the RO TCB (RO TCB での LIBRARY ロード要求)	RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求をローダーが発行した回数。この値は、「LIBRARY Load requests (LIBRARY ロード要求)」で示されたライブラリー・ロード数のサブセットです。オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求数を計算するには、「LIBRARY Load requests (LIBRARY ロード要求)」で示された値からこの値を減算します。 ソース・フィールド: LDGLLRRO
Total LIBRARY Load time (LIBRARY ロードの合計時間)	DFHRPL または動的 LIBRARY 連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードするためにかかる合計時間。 LPA 内のモジュールは、この値には含まれていません。 この値には、オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求と、RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求の両方が含まれています。 ソース・フィールド: LDGLLT
Total LIBRARY Load time on the RO TCB (RO TCB での LIBRARY ロードの合計時間)	RO TCB 上で実行されたプログラム・ロード要求にかかった合計時間。この値は、「Total LIBRARY Load time (LIBRARY ロードの合計時間)」で示されたライブラリー・ロード数のサブセットです。オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求数を計算するには、「Total LIBRARY Load time (LIBRARY ロードの合計時間)」で示された値からこの値を減算します。 ソース・フィールド: LDGLLTRO
Average LIBRARY Load time (LIBRARY ロードの平均時間)	プログラムのロードにかかった平均時間。この値は、オープン TCB で実行されたプログラム・ロード要求と、RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求の両方を含む平均です。 ソース・フィールド: (LDGLLT / LDGLLR)
Total Program Uses (プログラム使用の合計)	CICS システムで使用されているプログラムの数。 ソース・フィールド: LDGPUSES
Average LIBRARY Load time on the RO TCB (RO TCB での LIBRARY ロードの平均時間)	RO (リソース占有) TCB を使用したプログラム・ロード要求のみの完了にかかった平均時間。 ソース・フィールド: (LDGLLT / LDGLLR)
Program Use to Load Ratio (ロード率とプログラム使用)	プログラム使用とプログラム・ロードの率。 ソース・フィールド: (LDGPUSES / LDGLLR)

表 230. ローダー・ストレージ・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
LIBRARY Load requests that waited (待機された LIBRARY ロード要求数)	別のタスクのためにローダー・ドメインがプログラム上で操作を完了するのを待機したローダー・ドメイン要求の数。この数値は、過去に待機したタスクの数であり、現在待機中のタスク (「Current Waiting LIBRARY Load requests (現在の待ち LIBRARY ロード要求数)」) は含まれません。プログラム・ロード要求は、以下の理由で待機する場合があります。 • プログラムが、オープン TCB で実行されている別のタスクによってロードされている。 • ローダー・ドメインが、プログラムのリンク・パック域 (LPA) を検索している。 • NEWCOPY 要求または物理ロードが、プログラムに対して進行中である。 ソース・フィールド: LDGWTDLR
Total LIBRARY Load request wait time (LIBRARY ロード要求の合計待機時間)	「LIBRARY Load requests that waited (待機された LIBRARY ロード要求数)」で示されたタスク数の合計中断時間。 ソース・フィールド: LDGTTW
Times LIBRARY secondary extents detected (LIBRARY 2 次エクステントを検出した回数)	LOAD 時にローダーがエクステント終了状態を受け取り、DFHRPL ライブラリー連結、または動的ライブラリーを正常にクローズした後に再オープンし、LOAD を再試行した回数。 ソース・フィールド: LDGDREBS
Average LIBRARY Load request wait time (LIBRARY ロード要求の平均待機時間)	ローダー・ドメイン要求の平均中断時間。 ソース・フィールド: (LDGTTW / LDGWTDLR)
Current Waiting LIBRARY Load requests (現在の待ち LIBRARY ロード要求数)	別のタスクのためにローダー・ドメインがプログラム上で操作を完了するのを現在待機している、ローダー・ドメイン要求の数。プログラム・ロード要求は、以下の理由で待機する場合があります。 • プログラムが、オープン TCB で実行されている別のタスクによってロードされている。 • ローダー・ドメインが、プログラムのリンク・パック域 (LPA) を検索している。 • NEWCOPY 要求または物理ロードが、プログラムに対して進行中である。 ソース・フィールド: LDGWLR
Peak Waiting LIBRARY Load requests (待ち LIBRARY ロード要求のピーク)	一度に中断されるタスクの最大数。 ソース・フィールド: LDGWLRHW
Times at Peak (ピーク時の回数)	「Peak Waiting LIBRARY Load requests (待ち LIBRARY ロード要求のピーク)」で示された最高水準点に達した回数。 この値は、直前の 2 つの値とともに、ローダー・リソースの競合レベルを示しています。 ソース・フィールド: LDGHWMT
Average Not-In-Use program size (平均不使用プログラム・サイズ)	現在不使用キューにあるプログラムの平均サイズ。 ソース・フィールド: ((LDGSTGNIU + LDGSNIU + LDGRECNIU + LDGECNIU + LDGESNIU + LDGERNIU) / 1024) / LDGPROGNIU)

表 230. ローダー・ストレージ・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Programs Removed by compression (圧縮で除去されたプログラム)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムによってストレージから除去されたプログラム・インスタンスの数。 ソース・フィールド: LDGDPSCR
Time on the Not-In-Use Queue (不使用キューにおける時間)	プログラム不使用 (NIU) キューのメンバーシップ時間。 DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対して適格になるプログラムごとに、プログラムが適格になるまでの時間とプログラムがストレージから除去される実際の時間が計算されます。 このフィールドは、DPSC メカニズムを使用して除去されるすべてのプログラムの時間の合計であり、CICS ランタイムの経過時間よりも長くなる場合があります。このフィールドには、不使用キューで再使用されるこれらのプログラムの待機時間は含まれていません。 ソース・フィールド: LDGDPSCT
Average Time on the Not-In-Use Queue (不使用キューにおける平均時間)	DPSC メカニズムを使用したストレージからの除去に対してプログラムが適格である時間の平均の長さ。 ソース・フィールド: (LDGDPSCT / LDGDPSCR)
Programs Reclaimed from the Not-In-Use Queue (不使用キューから再使用されたプログラム)	CICS が不使用 (NIU) キューで行う再使用数。 再使用は、現在不使用キューにあるプログラムに対して要求が発行される場合に行われます。 プログラムの再使用インスタンスは、プログラム圧縮 (DPSC) に対して適格ではなくなります。 ソース・フィールド: LDGRECNIU
Programs Loaded - on the Not-In-Use Queue (ロードされたプログラム - 不使用キューにおける)	不使用 (NIU) キューにあるプログラムの数。 ソース・フィールド: LDGPROGNIU
LIBRARY search order updates (LIBRARY 検索順序の更新)	LIBRARY 検索順序に対する更新の数。 ソース・フィールド: LDGLBSOU
Total LIBRARY search order update time (LIBRARY 検索順序更新の合計時間)	LIBRARY 検索順序の更新に費やした合計時間。 ソース・フィールド: LDGLSORT
Average LIBRARY search order update time (LIBRARY 検索順序更新の平均時間)	LIBRARY 検索順序の更新に費やした平均時間。 ソース・フィールド: LDGLSORT/LDGLBSOU
Load requests waited - search order update (待機したロード要求 - 検索順序の更新数)	検索順序が更新されているときにプログラムのロードを待機する総数。 これらの操作は、以下のとおりです。 • 動的 LIBRARY をインストールする。 • 動的 LIBRARY を使用可能または使用不可に設定する。 • 動的 LIBRARY の RANKING の変更。 ソース・フィールド: LDGLWSOU

表 231. プログラム・ストレージ・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Nucleus Program Storage (CDSA) (中核プログラム・ストレージ)	CDSA 内の中核プログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド: (サブプール「LDNUC」および「LDNRS」の SMDCPS / 1024)
Nucleus Program Storage (ECDSA) (中核プログラム・ストレージ (ECDSA))	ECDSA 内の中核プログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド (サブプール「LDENUC」および「LDENRS」の SMDCPS / 1024)
Program Storage (SDSA) (プログラム・ストレージ (SDSA))	SDSA 内のプログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド: (サブプール「LDPGM」の SMDCPS / 1024)
Program Storage (ESDSA) (プログラム・ストレージ (ESDSA))	ESDSA 内のプログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド: (サブプール「LDEPGM」の SMDCPS / 1024)
Resident Program Storage (SDSA) (常駐プログラム・ストレージ (SDSA))	SDSA 内の常駐プログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド: (サブプール「LDRES」の SMDCPS / 1024)
Resident Program Storage (ESDSA) (常駐プログラム・ストレージ (ESDSA))	ESDSA 内の常駐プログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド: (サブプール「LDERES」の SMDCPS / 1024)
Read-Only Nucleus Program Storage (RDSA) (読み取り専用中核プログラム・ストレージ (RDSA))	RDSA 内の中核プログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド (サブプール「LDNUCRO」および「LDNRSRO」の SMDCPS / 1024)
Read-Only Nucleus Program Storage (ERDSA) (読み取り専用中核プログラム・ストレージ (ERDSA))	ERDSA 内の中核プログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド (サブプール「LDENUCRO」および「LDENRSRO」の SMDCPS / 1024)
Read-Only Program Storage (RDSA) (読み取り専用プログラム・ストレージ (RDSA))	RDSA 内のプログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド: (サブプール「LDPGMRO」の SMDCPS / 1024)
Read-Only Program Storage (ERDSA) (読み取り専用プログラム・ストレージ (ERDSA))	ERDSA 内のプログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド: (サブプール「LDEPGMRO」の SMDCPS / 1024)
Read-Only Resident Program Storage (RDSA) (読み取り専用常駐プログラム・ストレージ (RDSA))	RDSA 内の常駐プログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド: (サブプール「LDRESRO」の SMDCPS / 1024)
Read-Only Resident Program Storage (ERDSA) (読み取り専用常駐プログラム・ストレージ (ERDSA))	ERDSA 内の常駐プログラムに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド: (サブプール「LDERESRO」の SMDCPS / 1024)
CDSA used by Not-In-Use programs (不使用プログラムによって使用された CDSA)	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている CDSA ストレージの現在量。 ソース・フィールド: (LDGSTGNIU(1) / 1024)

表 231. プログラム・ストレージ・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
ECDSA used by Not-In-Use programs (不使用プログラムによって使用された ECDSA)	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている ECDSA ストレージの現在量。 ソース・フィールド: (LDGSTGNIU(2) / 1024)
SDSA used by Not-In-Use programs (不使用プログラムによって使用された SDSA)	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている SDSA ストレージの現在量。 ソース・フィールド: (LDGSTGNIU(3) / 1024)
ESDSA used by Not-In-Use programs (不使用プログラムによって使用された ESDSA)	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている ESDSA ストレージの現在量。 ソース・フィールド: (LDGSTGNIU(4) / 1024)
RDSA used by Not-In-Use programs (不使用プログラムによって使用された RDSA)	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている RDSA ストレージの現在量。 ソース・フィールド: (LDGSTGNIU(5) / 1024)
ERDSA used by Not-In-Use programs (不使用プログラムによって使用された ERDSA)	不使用 (NIU) プログラムによって占有されている ERDSA ストレージの現在量。 ソース・フィールド: (LDGSTGNIU(6) / 1024)

ログ・ストリーム・レポート

ログ・ストリーム・レポートには、ログ・ストリーム・グローバル・レポート、ログ・ストリーム・システム・ログ・レポート、ログ・ストリーム・リソース・レポート、およびログ・ストリーム要求レポートの 4 種類があります。

ログ・ストリーム・グローバル・レポートのフィールド

ログ・ストリーム・グローバル・レポートが、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** STREAMNAME および **EXEC CICS INQUIRE** STREAMNAME コマンドを使用して生成されます。統計データは、**DFHLGGDS DSECT** によってマップされます。

ログ・ストリームについて詳しくは、CICS ロギングおよびジャーナリングを参照してください。

表 232. ログ・ストリーム・グローバル・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Activity Keypoint Frequency (AKPFREQ) (活動キーポイント頻度 (AKPFREQ))	キーポイントの取得と取得の間のロギング操作数である、現行の活動キーポイントのトリガー値を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME**
Activity Keypoints Taken (取得された活動キーポイント数)	取得された活動キーポイントの数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME()**
Average time between Activity Keypoints (活動キーポイント間の平均時間)	活動キーポイントの取得と次の取得の間の平均時間。
Logstream Deferred Force Interval (LGDFINT) (ログ・ストリーム据え置き強制インターバル (LGDFINT))	現在のログ・ストリーム据え置き強制インターバル。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME**

ログ・ストリーム・システム・ログ・レポートのフィールド

ログ・ストリーム・システム・ログ・レポートは、EXEC **EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME** コマンドおよび **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STREAMNAME** コマンドを使用して作成します。統計データは、**DFHLGSDS DSECT** によってマップされます。

ログ・ストリームについて詳しくは、CICS ロギングおよびジャーナリングを参照してください。

表 233. ログ・ストリーム・システム・ログ・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Logstream Name (ログ・ストリーム名)	ログ・ストリームの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME()**
Logstream Status (ログ・ストリーム状況)	ログ・ストリームの現在の状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME() STATUS()**
DASD Only (DASD のみ)	ログ・ストリームのタイプを示します。 「YES」に設定されている場合は、ログ・ストリームのタイプは DASDONLY です。「NO」に設定されている場合、ログ・ストリームのタイプはカップリング・ファシリティー (CF) です。 ソース・フィールド: LGSDONLY
Retention Period (days) (保存期間 (日数))	MVS ロガーによってデータを物理的に削除する前に、そのデータを保持しておく必要のある、ログ・ストリームの保存期間 (日数)。 ソース・フィールド: LGSRETPD
Coupling Facility Structure Name (カップリング・ファシリティー構造名)	ログ・ストリームのカップリング・ファシリティー (CF) の構造名。 この構造名は、カップリング・ファシリティー・タイプのログ・ストリームにのみ適用することができます。 ソース・フィールド: LGSSTRUC
Auto Delete (自動削除)	ログ・データの自動削除標識。 「YES」に設定すると、保存期間を過ぎたデータは、ログ・ストリームの削除呼び出しに関係なく、MVS ロガーによって自動的に削除されます。「NO」に設定されている場合は、ログ・ストリームの削除呼び出しが発行され、データが保存期間を過ぎている場合にのみ、そのデータが削除されます。 ソース・フィールド: LGSAUTOD
Logstream Writes (ログ・ストリーム書き込み数)	このログ・ストリームに対して発行された書き込み (IXGWRITE) 要求の数。 ソース・フィールド: LGSWRITES
Maximum Block Length (最大ブロック長)	ログ・ストリームに対して MVS ロガーが許可している最大ブロック・サイズ。 ソース・フィールド: LGSMAXBL
Logstream Writes per second (毎秒当たりのログ・ストリーム書き込み数)	このログ・ストリームに対する、毎秒のログ・ストリーム書き込みの数。 ソース・フィールド: (LGSWRITES / ELAPSED-SECONDS)
Average Bytes per Logstream Write (ログ・ストリーム書き込み当たりの平均バイト数)	書き込み要求当たりの、このログ・ストリームに書き込まれた平均バイト数。 ソース・フィールド: (LGSBYTES / LGSWRITES)

表 233. ログ・ストリーム・システム・ログ・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Logstream Deletes (Tail Trims) (ログ・ストリーム削除数 (Tail Trims))	このログ・ストリームに対して発行された削除 (IXGDELET) 要求の数。 ソース・フィールド: LGSDELETES
Logstream Query Requests (ログ・ストリーム照会要求数)	このログ・ストリームに対して発行された照会要求の数。 ソース・フィールド: LGSQUERIES
Logstream Browse Starts (ログ・ストリーム・ブラウズ開始数)	このログ・ストリームに対して発行されたブラウズ開始要求の数。 ソース・フィールド: LGSBRWSTRT
Logstream Browse Reads (ログ・ストリーム・ブラウズ読み取り数)	このログ・ストリームに対して発行されたブラウズ読み取り要求の数。 ソース・フィールド: LGSBRWREAD
Logstream Buffer Appends (ログ・ストリーム・バッファー追加数)	ジャーナル・レコードが正常に現在のログ・ストリーム・バッファーに追加された回数。 ソース・フィールド: LGSBUFAPP
Logstream Buffer Full Waits (ログ・ストリーム・バッファー・フル待機数)	このログ・ストリームに対してバッファーがいっぱいになった回数。 ソース・フィールド: LGSBUFWAIT
Logstream Force Waits (ログ・ストリーム強制待機数)	現在使用中のログ・ストリーム・バッファーのフラッシュを要求している間、中断しているタスクの合計数。 ソース・フィールド: LGSTFCWAIT
Logstream Current Force Waiters (現在のログ・ストリーム強制待機数)	このログ・ストリームに対する強制待機の現在の数。 ソース・フィールド:
Logstream Retry Errors (ログ・ストリーム再試行エラー数)	ログ・ストリームにデータ・ブロックが書き込まれているときに、MVS システム・ロガーの再試行可能エラーが発生した回数。 ソース・フィールド: LGSRTYERRS
Logstream Peak Force Waiters (ログ・ストリーム強制待機のピーク数)	このログ・ストリームに対する強制待機のピーク数。 ソース・フィールド: LGSPKFWTRS

ログ・ストリーム・リソース・レポートのフィールド

ログ・ストリーム・リソース・レポートは、 **EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME** コマンドおよび **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STREAMNAME** コマンドを使用して作成します。統計データは、**DFHLGSDS DSECT** によってマップされます。

ログ・ストリームについて詳しくは、CICS ロギングおよびジャーナリングを参照してください。

表 234. ログ・ストリーム・リソース・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Logstream Name (ログ・ストリーム名)	ログ・ストリームの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME()**

表 234. ログ・ストリーム・リソース・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Use Count (使用回数)	ログ・ストリームの現在の使用回数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME() USECOUNT()**
状況	ログ・ストリームの現在の状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME() STATUS()**
Sys Log (システム・ログ)	ログ・ストリームが、システム・ログの一部を形成しているかどうかを示しています。 ソース・フィールド: LGSSYSLG
Structure Name (構造名)	ログ・ストリームのカップリング・ファシリティー (CF) の構造名。 この構造名は、カップリング・ファシリティー・タイプのログ・ストリームにのみ適用することができます。 ソース・フィールド: LGSSTRUC
Max Block Length (最大ブロック長)	ログ・ストリームに対して MVS ロガーが許可している最大ブロック・サイズ。 ソース・フィールド: LGSMAXBL
DASD Only (DASD のみ)	ログ・ストリームのタイプを示します。「YES」に設定されている場合、ログ・ストリームのタイプは DASDONLY です。「NO」に設定されている場合、ログ・ストリームのタイプはカップリング・ファシリティー (CF) です。 ソース・フィールド: LGSDONLY
Retention Period (保存期間)	MVS ロガーによってデータを物理的に削除する前に、そのデータを保持しておく必要のあるログ・ストリームの保存期間 (日数)。 ソース・フィールド: LGSRETPD
Auto Delete (自動削除)	ログ・データの自動削除標識。 「YES」に設定すると、保存期間を過ぎたデータは、ログ・ストリームの削除呼び出しに関係なく、MVS ロガーによって自動的に削除されます。「NO」に設定されている場合は、ログ・ストリームの削除呼び出しが発行され、データが保存期間を過ぎている場合にのみ、そのデータが削除されます。 ソース・フィールド: LGSAUTOD
Stream Deletes (ストリーム削除数)	このログ・ストリームに対して発行された削除 (IXGDELET) 要求の数。 ソース・フィールド: LGSDELETES
Browse Starts (ブラウズ開始数)	このログ・ストリームに対して発行されたブラウズ開始要求の数。 ソース・フィールド: LGSBRWSTRT
Browse Reads (ブラウズ読み取り数)	このログ・ストリームに対して発行されたブラウズ読み取り要求の数。 ソース・フィールド: LGSBRWREAD

ログ・ストリーム要求レポートのフィールド

ログ・ストリーム要求レポートは、**EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME** コマンドおよび **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STREAMNAME** コマンドを使用して作成します。統計データは、**DFHLGSDS DSECT** によってマップされます。

ログ・ストリームについて詳しくは、CICS ロギングおよびジャーナリングを参照してください。

表 *235.* ログ・ストリーム要求レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Logstream Name (ログ・ストリーム名)	ログ・ストリームの名前。 ソース・フィールド:**EXEC CICS INQUIRE STREAMNAME()**
Write Requests (書き込み要求)	このログ・ストリームに対して発行された IXGWRITE 要求の数。 IXGWRITE は、例えば、ログ・ストリーム・バッファーがいっぱいになったとき、またはアプリケーションが WAIT オプションを指定して **EXEC CICS WRITE JOURNALNAME** コマンドを発行したときに発生します。 ソース・フィールド: LGSWRITES
Bytes Written (書き込みバイト数)	このログ・ストリームに書き込まれたバイト数。 ソース・フィールド: LGSBYTES
Average Bytes (平均バイト数)	このログ・ストリームに書き込まれた、1 要求当たりの平均のバイト数。 ソース・フィールド: (LGSBYTES / LGSWRITES)
Buffer Appends (バッファー追加数)	ジャーナル・レコードが正常に現在のログ・ストリーム・バッファーに追加された回数。 ソース・フィールド: LGSBUFAPP
Buffer Full Waits (バッファー・フル待機数)	このログ・ストリームに対してバッファーがいっぱいになった回数。 ソース・フィールド: LGSBUFWAIT
Force Waits (強制待機数)	このログ・ストリームに対する強制待機の合計数。 ソース・フィールド: LGSTFCWAIT
Peak Waiters (待機のピーク数)	このログ・ストリームに対する強制待機のピーク数。 ソース・フィールド: LGSPKFWTRS
Retry Errors (再試行エラー数)	ログ・ストリームにデータ・ブロックが書き込まれているときに、MVS ロガーの再試行エラーが発生した回数。 ソース・フィールド: LGSRTYERRS

LSR プール・レポート

LSR プール・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS LSRPOOL** コマンドを使用して作成されています。統計データは、**DFHA08DS DSECT** によってマップされます。

データ・バッファーおよび索引バッファーを結合している場合、このレポートでは、データ・バッファーおよび索引バッファーの統計がまとめて、「データおよび索引バッファーの統計」として提供されます。 データ・バッファーと索引バッファーを分離している場合、このレポートは、統計を「データ・バッファー統計」および「索引バッファー統計」として分離して提供します。

表 236. LSR プール・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Pool Number (プール番号)	LSR プールの識別番号。 この値の範囲は 1 から 255 までです。
Time Created (作成時刻)	この LSR プールが作成された時刻。 ソース・フィールド: A08LBKCD
Maximum key length (キーの最大長)	この LSR プールを使用する可能性のある VSAM データ・セットの最も長いキーの長さ。 ソース・フィールド: A08BKKYL
Total number of strings (合計ストリング数)	この LSR プールに対して定義されている VSAM ストリングの合計数。 ソース・フィールド: A08BKSTN
Peak concurrently active strings (並行アクティブ・ストリングのピーク数)	CICS の実行中にアクティブであったストリングの最大数。 プールを使用するストリングの数の値をコード化した場合、この統計は常に、コード化された値以下になります。 ストリング数のコード化した値が統計内のこの値よりも常に大きい場合は、値を減らして VSAM ストリングのプールが必要数より大きくならないようにすることを考慮してください。 ソース・フィールド: A08BKHAS
Total requests waited for strings (ストリングのために待機した合計要求数)	プール内のすべてのストリングが使用中であったために、キューに入れられた要求の数。 この数は、LSR プール・ストリング・リソースの制限のために、CICS の実行中に遅延した要求の数を反映します。 ソース・フィールド: A08BKTSW
Peak requests waited for strings (ストリングのために待機した要求のピーク数)	プール内のすべてのストリングが使用中であったために、一度にキューに入れられていた要求の最大数。 ソース・フィールド: A08BKHSW
Data Buffers (データ・バッファー)	LSR プールに対して指定されたデータ・バッファーの数。 ソース・フィールド: A08TDBFN
Hiperspace Data Buffers (ハイパースペース・データ・バッファー数)	LSR プールに対して指定されたハイパースペース・データ・バッファーの数。 ソース・フィールド: A08TDHBW
Successful look asides (検索成功数)	この LSR プールのデータ・バッファーに対する検索に成功した回数。 ソース・フィールド: A08TDBFF
Buffer reads (バッファー読み取り数)	この LSR プールのデータ・バッファーへの読み取り入出力操作の数 ソース・フィールド: A08TDFRD
User initiated writes (ユーザー開始書き込み数)	この LSR プールのデータ・バッファーからユーザーが開始した入出力書き込みの数。 ソース・フィールド: A08TDUIW
Non-user initiated writes (非ユーザー開始書き込み数)	この LSR プールのデータ・バッファーからユーザー以外が開始した入出力書き込みの数。 ソース・フィールド: A08TDNUW

表 236. LSR プール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Successful Hiperspace CREADS (ハイパースペース CREAD 成功数)	ハイパースペース・データ・バッファーから仮想データ・バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CREAD 要求の数。 ソース・フィールド: A08TDCRS
Successful Hiperspace CWRITES (ハイパースペース CWRITE 成功数)	仮想データ・バッファーからハイパースペース・データ・バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CWRITE 要求の数。 ソース・フィールド: A08TDCWS
Failing Hiperspace CREADS (ハイパースペース CREAD 失敗数)	失敗した CREAD 要求の数。 MVS はスペースを撤回し、VSAM は DASD からデータを読み取る必要がありました。 ソース・フィールド: A08TDCRF
Failing Hiperspace CWRITES (ハイパースペース CWRITE 失敗数)	失敗した CWRITE 要求の数。 ハイパースペースが不足していたため、VSAM はデータを DASD に書き込む必要がありました。 ソース・フィールド: A08TDCWF
Index Buffers (索引バッファー数)	LSR プールに対して指定された索引バッファーの数。 ソース・フィールド: A08TIBFN
Hiperspace Index Buffers (ハイパースペース索引バッファー数)	LSR プールに対して指定されたハイパースペース索引バッファーの数。 ソース・フィールド: A08TIHBW
Successful look asides (検索成功数)	この LSR プールの索引バッファーに対する検索に成功した回数。 ソース・フィールド: A08TIBFF
Buffer reads (バッファー読み取り数)	この LSR プールの索引バッファーに対する読み取り入出力の数 ソース・フィールド: A08TIFRD
User initiated writes (ユーザー開始書き込み数)	この LSR プールの索引バッファーからユーザーが開始したバッファー書き込みの数。 ソース・フィールド: A08TIUIW
Non-user initiated writes (非ユーザー開始書き込み数)	この LSR プールの索引バッファーからユーザー以外が開始したバッファー書き込みの数。 ソース・フィールド: A08TINUW
Successful Hiperspace CREADS (ハイパースペース CREAD 成功数)	ハイパースペース索引バッファーから仮想索引バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CREAD 要求の数。 ソース・フィールド: A08TICRS
Successful Hiperspace CWRITES (ハイパースペース CWRITE 成功数)	仮想索引バッファーからハイパースペース索引バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CWRITE 要求の数。 ソース・フィールド: A08TICWS
Failing Hiperspace CREADS (ハイパースペース CREAD 失敗数)	失敗した CREAD 要求の数。 MVS がスペースを取り消したため、VSAM は DASD から索引データを読み取る必要がありました。 ソース・フィールド: A08TICRF

表 *236. LSR* プール・レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Failing Hiperspace CWRITES (ハイパースペース CWRITE 失敗数)	失敗した CWRITE 要求の数。 ハイパースペースが不足していたため、VSAM は索引データを DASD に書き込む必要がありました。 ソース・フィールド: A08TICWF
Buffer Size (バッファー・サイズ)	CICS で使用可能なデータ・バッファーのサイズ。 ソース・フィールド: A08BKBSZ
No. of Buffers (バッファー数)	CICS で使用可能な各サイズのバッファーの数。 ソース・フィールド: A08BKBFN
Hiperspace Buffers (ハイパースペース・バッファー)	プールに対して指定されたハイパースペース・バッファーの数。 ソース・フィールド: A08BKHBN
Look Asides (検索数)	入出力操作を開始しなくても VSAM が満たすことのできた読み取り要求の数。つまり、要求されたレコード (索引またはデータ) が既に、バッファー常駐 CI の 1 つに存在していました。 制御間隔をバッファーに書き込むために物理 I/O を行う必要はなかったことを意味します。 通常採用されるチューニング方法には、特定の CI サイズのバッファー数を READ に対する検索の率が著しく上がらなくなるまで増加させるか、または逆に、バッファーの数を READ に対する検索の率が著しく下がり始めるまで削減します。 ほとんどのデータ・セットの場合、成功する検索は索引にヒットしている可能性がより高いです。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 ソース・フィールド: A08BKBFF
Buffer Reads (バッファー読み取り数)	CICS アプリケーションのアクティビティーを満たすために、VSAM が開始する必要があった、バッファーへの入出力操作の数。 この図は、バッファー内の制御間隔の検出の失敗を表しています。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 ソース・フィールド: A08BKFRD
User Writes (ユーザー書き込み数)	CICS アプリケーションのアクティビティーを満たすために VSAM が開始する必要があった、バッファーからユーザーが開始した入出力 WRITE 操作の数。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 ソース・フィールド: A08BKUIW
Non-User Writes (非ユーザー書き込み数)	CI の内容を読み取るのに使用できるバッファーがなかったために、VSAM が強制的に開始させられた、バッファーからユーザー以外が開始した入出力 WRITE 操作の数。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 ソース・フィールド: A08BKNUW

表 236. LSR プール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Look-Aside Ratio (検索比率)	バッファー読み取り数に対するバッファー検索数の比率。 ソース・フィールド:((A08BKBFF / (A08BKBFF + A08BKFRD)) * 100)
Successful CREADS/ CWRITES (成功した CREAD 数/CWRITE 数)	ハイパースペース・バッファーから仮想バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CREAD 要求、および仮想バッファーからハイパースペース・バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CWRITE 要求の数。 ソース・フィールド: A08BKCRS + A08BKCWS
Failing CREADS/ CWRITES (失敗した CREAD 数/CWRITE 数)	(MVS がスペースを取り消し、VSAM が DASD からデータを読み取る必要が生じたために) 失敗した CREAD 要求の数、および (ハイパースペースが不足しており、VSAM が DASD にデータを書き込む必要が生じたために) 失敗した CWRITE 要求の数。 ソース・フィールド: A08BKCRF + A08BKCWF
Buffer Size (バッファー・サイズ)	CICS から使用可能な索引データ・バッファーのサイズ。 ソース・フィールド: A08IKBSZ
No. of Buffers (バッファー数)	CICS で使用可能な各サイズのバッファーの数。 ソース・フィールド: A08IKBFN
Hiperspace Buffers (ハイパースペース・バッファー)	プールに対して指定されたハイパースペース・バッファーの数。 ソース・フィールド: A08IKHBN
Look Asides (検索数)	入出力操作を開始しなくても VSAM が満たすことのできた読み取り要求の数。すなわち、要求された索引レコードが既に、バッファー常駐 CI の 1 つに存在していました。 制御間隔をバッファーに書き込むために物理 I/O を行う必要はなかったことを意味します。 通常採用されるチューニング方法には、特定の CI サイズのバッファー数を READ に対する検索の率が著しく上がらなくなるまで増加させるか、または逆に、バッファーの数を READ に対する検索の率が著しく下がり始めるまで削減します。 ほとんどのデータ・セットの場合、成功する検索は索引にヒットしている可能性がより高いです。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 ソース・フィールド: A08IKBFF
Buffer Reads (バッファー読み取り数)	CICS アプリケーションのアクティビティーを満たすために、VSAM が開始する必要があった、バッファーへの入出力操作の数。 この図は、バッファー内の制御間隔の検出の失敗を表しています。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 ソース・フィールド: A08IKFRD

表 236. *LSR* プール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
User Writes (ユーザー書き込み数)	CICS アプリケーションのアクティビティーを満たすために VSAM が開始する必要があった、バッファーからユーザーが開始した入出力 WRITE 操作の数。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 ソース・フィールド: A08IKUIW
Non-User Writes (非ユーザー書き込み数)	CI の内容を読み取るのに使用できるバッファーがなかったために、VSAM が強制的に開始させられた、バッファーからユーザー以外が開始した入出力 WRITE 操作の数。 これらの統計は VSAM から取得され、プールが作成された後のアクティビティーを表します。 ソース・フィールド: A08IKNUW
Look-Aside Ratio (検索比率)	バッファー読み取り数に対するバッファー検索数の比率。 ソース・フィールド: ((A08BKBFF / (A08BKBFF + A08BKFRD)) * 100)
Successful CREADS/ CWRITES (成功した CREAD 数/CWRITE 数)	ハイパースペース・バッファーから仮想バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CREAD 要求、および仮想バッファーからハイパースペース・バッファーにデータを転送するために発行され、正常に処理された CWRITE 要求の数。 ソース・フィールド: A08IKCRS + A08IKCWS
Failing CREADS/ CWRITES (失敗した CREAD 数/CWRITE 数)	(MVS がスペースを取り消し、VSAM が DASD からデータを読み取る必要が生じたために) 失敗した CREAD 要求の数、および (ハイパースペースが不足しており、VSAM が DASD にデータを書き込む必要が生じたために) 失敗した CWRITE 要求の数。 ソース・フィールド: A08IKCRF + A08IKCWF

NODEJSAPP レポート

NODEJSAPP レポートは、NODEJSAPP リソース定義に関する情報および統計を示します。NODEJSAPP リソースは、Node.js プロファイルおよび Language Environment ランタイム・オプションを含む、Node.js アプリケーションのランタイム環境を定義します。

このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE NODEJSAPP** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。統計データは、DFHSJNDS DSECT によってマップされます。

表 237. *NODEJSAPP* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
NODEJSAPP 名 (NODEJSAPP name)	NODEJSAPP リソースの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE NODEJSAPP**

表 237. *NODEJSAPP* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
NODEJSAPP 状況 (NODEJSAPP status)	NODEJSAPP リソースの状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE NODEJSAPP**
NODEJSAPP 作成時刻 (NODEJSAPP creation time)	NODEJSAPP リソースがインストールされたときのローカル時刻のタイム・スタンプ。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-CREATION-LCL
NODEJSAPP プロセス ID (NODEJSAPP process ID)	NODEJSAPP のプロセス ID (PID)。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-PID
NODEJSAPP LE ランタイム・オプション (NODEJSAPP LE runtime options)	NODEJSAPP リソースで指定されている Language Environment ランタイム・オプション・プログラムの名前。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-LE-RUNOPTS
NODEJSAPP バンドル名 (NODEJSAPP bundle name)	NODEJSAPP バンドル・パーツが含まれている CICS BUNDLE リソースの名前。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-BUNDLE-NAME
NODEJSAPP CPU 時間 (NODEJSAPP CPU time)	Node.js ランタイムおよびアプリケーションによって使用される合計プロセッサー時間 (ミリ秒)。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-CPU
NODEJSAPP 現在のヒープ・サイズ (NODEJSAPP current heap size)	現在 V8 JavaScript エンジンによって Node.js ランタイムに割り振られているヒープのサイズ (バイト)。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-HEAP-CURRENT
NODEJSAPP ランタイムで使用されるヒープ (NODEJSAPP heap used by runtime)	コンパイル済みバイト・コードおよび JIT コードによって現在占有されているヒープのサイズ (バイト単位)。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-HEAP-RUNTIME
NODEJSAPP データで使用されるヒープ (NODEJSAPP heap used on data)	アプリケーション・データによって現在占有されているヒープのサイズ (バイト単位)。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-HEAP-APP-DATA

表 237. *NODEJSAPP* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
NODEJSAPP 最大ヒープ・サイズ (NODEJSAPP maximum heap size)	Node.js ランタイムに割り振ることができる最大ヒープのサイズ (バイト)。この値は、デフォルトで設定されるか、`--max_old_space_size` で設定されます。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-HEAP-MAX
NODEJSAPP 完了した呼び出し数 (NODEJSAPP completed invokes)	Node.js アプリケーションが ENABLED になるか、または前回の統計がリセットされて以降、CICS サービスに対して行われた完了した呼び出しの数。`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して行われた呼び出しのみがカウントされます。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-INVK
NODEJSAPP エラーで完了した呼び出し数 (NODEJSAPP completed invokes in error)	Node.js アプリケーションが ENABLED になるか、または前回の統計がリセットされて以降、CICS サービスに対して行われたエラーで完了した呼び出しの数。`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して行われた呼び出しのみがカウントされます。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-INVK-ERR
NODEJSAPP 進行中の呼び出し数 (NODEJSAPP invokes in progress)	`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して、Node.js アプリケーションによって行われた CICS サービスに対する実行中の呼び出しの現行数。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-INVK-CUR
NODEJSAPP 進行中のピーク呼び出し数 (NODEJSAPP peak invokes in progress)	`ibm-cics-api` モジュールが提供するローカルに最適化されたトランスポートを使用して、Node.js アプリケーションによって行われた CICS サービスに対する実行中の呼び出しのピーク数。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-INVK-PEAK
NODEJSAPP プロファイル (NODEJSAPP profile)	NODEJSAPP のプロファイル・ファイルのパス ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-PROFILE

表 237. *NODEJSAPP* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
NODEJSAPP ノード・ホーム (NODEJSAPP nodehome)	NODEJSAPP の Node.js アプリケーション・プロファイルの NODE_HOMEオプション。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-NODEHOME
NODEJSAPP 開始スクリプト (NODEJSAPP start script)	NODEJSAPP のエントリー JavaScript ファイルのパス。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-START-SCRIPT
NODEJSAPP 標準出力 (NODEJSAPP stdout)	NODEJSAPP の標準出力ファイルのパス。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-STDOUT
NODEJSAPP 標準エラー出力 (NODEJSAPP stderr)	NODEJSAPP の標準エラー出力ファイルのパス。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-STDERR
NODEJSAPP トレース (NODEJSAPP trace)	NODEJSAPP のトレース・ファイルのパス。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-TRACE
NODEJSAPP ログ (NODEJSAPP log)	NODEJSAPP のログ・ファイルのパス。 ソース・フィールド: SJN-NODEJSAPP-LOG

ページ・インデックス・レポート

ページ・インデックス・レポートには、**DFH0STAT** によって作成されるすべての統計レポートの完全なリストが含まれており、各統計レポートの最初のページ番号が示されます。

PIPELINE レポート

PIPELINE レポートは、**EXEC CICS INQUIRE PIPELINE** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PIPELINE RESID()** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。統計データは、**DFHPIRDS DSECT** によってマップされます。

表 238. *PIPELINE* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
PIPELINE Name (PIPELINE 名)	PIPELINE リソース定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PIPELINE**
PIPELINE Mode (PIPELINE モード)	パイプラインの操作モード。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PIPELINE() MODE()**

表 *238. PIPELINE* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
PIPELINE Message Format (PIPELINE メッセージ形式)	PIPELINE によって処理されたメッセージ形式。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PIPELINE() MSGFORMAT()**
PIPELINE Enable Status (PIPELINE 使用可能状況)	PIPELINE 定義が使用可能であるか、使用不可であるかを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PIPELINE() ENABLESTATUS**
構成ファイル	メッセージ・ハンドラーとその構成に関する情報を提供する z/OS UNIX ファイルの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PIPELINE() CONFIGFILE**
Shelf directory (シェルフ・ディレクトリー)	PIPELINE 定義のシェルフ・ディレクトリーの完全修飾名。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PIPELINE() SHELF**
WSDIR pickup directory (WSDIR ピックアップ・ディレクトリー)	Web サービス・バインディング・ディレクトリー (ピックアップ・ディレクトリーとも呼ばれる) の完全修飾名。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PIPELINE() WSDIR**
PIPELINE use count (PIPELINE の使用回数)	Web サービスのインストールまたは Web サービス要求の処理のため、この PIPELINE リソース定義が使用された回数。 ソース・フィールド: PIR-PIPELINE-USE-COUNT
JSON JAVA パーサー	JSON PIPELINEリソースの場合、JSON 要求メッセージが Java を使って構文解析されるか、CICS パイプライン内から構文解析されるかを指定します。 ソース・フィールド: PIR_JSON_JAVA_PARSER

プログラム・レポート

プログラム・レポート、プログラム定義レポート、プログラム自動インストール・レポート、DSA および LPA ごとのプログラム・レポート、およびプログラムの合計レポートの 5 種類のプログラム・レポートがあります。

プログラム・レポート

プログラム・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE PROGRAM** コマンドおよび **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAM** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは **DFHLDRDS DSECT** によってマップされました。

JVM で実行する Java プログラムに関する情報の処理は、他のプログラムに関する情報の場合とは異なります。それは、JVM プログラムは CICS がロードするのではないためです。 JVM プログラムの場合、プログラム・レポートには、プログラム名、実行キー、および使用回数のみが表示されます。 この情報は、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS JVMPROGRAM** コマンドを使用して取得されます。 JVM プログラムに関する完全な情報については、 462 ページの『JVM プログラム・レポート』を参照してください。

表 239. プログラム・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Program Name (プログラム名)	プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM**
Data Loc (データ・ロケーション)	プログラムが受け入れることができるストレージ・ロケーション。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM DATALOCATION**
Exec Key (実行キー)	プログラムが実行するときのアクセス・キー。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM EXECKEY**
Times Used (使用回数)	システム内の CICS タスクが、このプログラムの使用可能なインスタンスへのアクセスを取得するために、ローダー・ドメインにロード要求を発行した回数。 このロード要求によって、ローダー・ドメインが MVS LOAD を発行する場合があります。 ソース・フィールド: LDRTU
Times Fetched (フェッチ回数)	DFHRPL ライブラリー連結、または動的ライブラリー連結から CICS 管理対象ストレージにプログラムのコピーをロードするために、ローダー・ドメインが MVS LOAD 要求を発行した回数。 ソース・フィールド: LDRFC
Total Fetch Time (合計フェッチ時間)	このプログラムに対して、すべてのフェッチを実行するのに要した時間。 ソース・フィールド: LDRFT
Average Fetch Time (平均フェッチ時間)	プログラムのフェッチを実行するのに要した平均時間。 ソース・フィールド: (LDRFT / LDRFC)
LIBRARY name (LIBRARY 名)	プログラムの直前のロード元の LIBRARY 名 (非 LPA 常駐モジュールのみ)。 ソース・フィールド: LDRLBNM
LIBRARY Offset (LIBRARY オフセット)	プログラムの最後のロード元のデータ・セットの DFHRPL ライブラリー連結、または動的 LIBRARY 連結内へのオフセット (非 LPA 常駐モジュールのみ)。 このフィールドがブランクの場合は、プログラムがロードされたことがないか、または LIBRARY からはロードされたことがないことを示しています。 レポートに値ゼロが表示されている場合は、プログラムが少なくとも一度、LIBRARY からロードされたことがあり、オフセット値ゼロを持っていることを示しています。 ソース・フィールド: LDRRPLO
Times Newcopy (NEWCOPY 回数)	このプログラムに対して、NEWCOPY が要求された回数。 ソース・フィールド: LDRTN
Times Removed (除去回数)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムのアクションによって、このプログラムのインスタンスが CICS で管理されるストレージから除去された回数。 ソース・フィールド: LDRRPC
Program Size (プログラム・サイズ)	プログラムのサイズが分かっている場合は、そのサイズ (バイト単位)。不明の場合はゼロ。 ソース・フィールド: LDRPSIZE

表 239. プログラム・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Program Location (プログラム・ロケーション)	プログラムの現在のストレージ常駐インスタンスがある場合、そのロケーション。以下のいずれかの値を取ります。 • None - 現在のコピーなし • CDSA - 現在のコピーは CDSA 内にある • SDSA - 現在のコピーは SDSA 内にある • RDSA - 現在のコピーは RDSA 内にある • ECDSA - 現在のコピーは ECDSA 内にある • ESDSA - 現在のコピーは ESDSA 内にある • ERDSA - 現在のコピーは ERDSA 内にある • LPA - 現在のコピーは LPA 内にある • ELPA - 現在のコピーは ELPA 内にある ソース・フィールド: LDRLOCN

プログラム定義レポート

プログラム定義レポートは、**EXEC CICS INQUIRE PROGRAM** コマンドおよび **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAMDEF** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHPGDDS DSECT** によってマップされました。

表 240. プログラム定義レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Program Name (プログラム名)	プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM**
タイプ	モジュールのタイプ。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-TYPE
並行性	インストール済みのプログラム定義の並行性属性 (QUASIRENT、THREADSAFE、または REQUIRED)。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-CONCURRENCY
API	インストール済みのプログラム定義の API 属性 (CICS または OPEN)。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-API
EXEC key (実行キー)	プログラム実行のためのアクセス・キー。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-EXEC-KEY
データ・ロケーション	プログラムが受け入れることができるストレージ・ロケーション。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-DATA-LOC
Language Deduced (推定される言語)	モジュールの言語。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-LANG-DEDUCED
Runtime Environment (ランタイム環境)	プログラムのランタイム環境。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-RUNTIME-ENV

表 240. プログラム定義レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
JVM サーバー	Java プログラムでは、この Java プログラムが実行される JVM サーバーの名前。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-JVMSERVER
Dynamic (動的)	プログラムがプログラム・リンク要求の対象である場合、プログラムを動的に経路指定できるかどうか。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-DYNAMIC
Remote Name (リモート名)	プログラムの場合に限り、モジュールを CICS 領域で識別するために「**Remote System (**リモート・システム**)**」フィールドで指定された名前で、リモートとして定義されたプログラムだけを示します。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-REMOTE-NAME
Remote Tran (リモート・トランザクション)	プログラムの場合に限り、このモジュール (プログラムでなければならない) をリモートで実行するためのトランザクションの名前。ローカル領域のタスクからのリンクによって実行されるように、リモート領域がそこに作成されたタスクに割り当てるトランザクション ID です。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-TRAN-ID
Remote System (リモート・システム)	プログラムの場合に限り、モジュールが定義されている CICS 領域の名前です。これはプログラムにのみ適用され、リモートとして定義されたものに限定されます。 ソース・フィールド: PGD-PROGRAM-REMOTE-SYSID

プログラム自動インストール・レポート

プログラム自動インストール・レポートは、プログラム自動インストールの状況に関する情報と統計、カタログ・プログラム定義、および試行、拒否、失敗した自動インストールの数を示します。

プログラム自動インストール・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE SYSTEM** コマンドと **EXEC CICS COLLECT STATISTICS PROGAUTO** コマンドの組み合わせを使用して作成します。 統計データは、DFHPGGDS DSECT によってマップされます。

表 241. プログラム自動インストール・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Program Autoinstall Status (プログラム自動インストール状況)	プログラム自動インストールの現行状況を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM PROGAUTOINST(cvda)**
Autoinstall Program (自動インストール・プログラム)	ユーザー置き換え可能なプログラム自動インストール・モデル定義プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM PROGAUTOEXIT()**
Catalog Program Definitions (カタログ・プログラム定義)	自動インストールされたプログラム定義をカタログするかどうか、およびいつカタログするかを示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM PROGAUTOCTLG(cvda)**
Autoinstalls attempted (試行された自動インストール数)	プログラム自動インストールの試行回数。 ソース・フィールド: PGGATT

表 241. プログラム自動インストール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Autoinstalls rejected (拒否された自動インストール数)	プログラム自動インストールのユーザー置き換え可能プログラムによって拒否されたプログラム自動インストールの数。 ソース・フィールド: PGGREJ
Autoinstalls failed (失敗した自動インストール数)	プログラム自動インストールのユーザー置き換えプログラムによって拒否された以外の理由で失敗したプログラム自動インストールの数。 ソース・フィールド: PGGFAIL

DSA および LPA ごとのプログラム・レポート

DSA および LPA ごとのプログラム・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE PROGRAM** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAM** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHLDRDS DSECT** によってマップされました。

表 242. *DSA* および *LPA* ごとのプログラム・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Program Name (プログラム名)	プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM()**
Concurrency Status (並行性状況)	プログラムの並行性属性 (QUASIRENT、THREADSAFE、または REQUIRED)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() CONCURRENCY(cvda**)
API Status (API の状況)	プログラムの API 属性 (CICS またはオープン API)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() APIST(cvda)**
Times Used (使用回数)	システム内の CICS タスクが、このプログラムの使用可能なインスタンスへのアクセスを取得するために、ローダー・ドメインにロード要求を発行した回数。 このロード要求によって、ローダー・ドメインが MVS LOAD を発行する場合があります。 ソース・フィールド: LDRTU
Times Fetched (フェッチ回数)	静的 DFHRPL または動的 LIBRARY連結から CICS 管理対象ストレージにプログラムのコピーをロードするために、ローダー・ドメインが MVS LOAD 要求を発行した回数。 ソース・フィールド: LDRFC
Total Fetch Time (合計フェッチ時間)	このプログラムに対して、すべてのフェッチを実行するのに要した時間。 ソース・フィールド: LDRFT
Average Fetch Time (平均フェッチ時間)	プログラムのフェッチを実行するのに要した平均時間。 ソース・フィールド: (LDRFT / LDRFC)

表 242. *DSA* および *LPA* ごとのプログラム・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
LibDsn Offset (LibDsn オフセット)	プログラムの最後のロード元の LIBRARY DD 連結内へのオフセット (非 LPA 常駐モジュールのみ)。このフィールドがブランクの場合は、プログラムがロードされたことがないか、または LIBRARY からはロードされたことがないことを示しています。 レポートに値ゼロが表示されている場合は、プログラムが少なくとも一度、LIBRARY からロードされたことがあり、オフセット値ゼロを持っていることを示しています。 ソース・フィールド: LDRRPLO
Times Newcopy (NEWCOPY 回数)	このプログラムに対して、NEWCOPY が要求された回数。 ソース・フィールド: LDRTN
Times Removed (除去回数)	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) メカニズムのアクションによって、このプログラムのインスタンスが CICS で管理されるストレージから除去された回数。 ソース・フィールド: LDRRPC
Program Size (プログラム・サイズ)	プログラムのサイズが分かっている場合は、そのサイズ (バイト単位)。不明の場合はゼロ。 ソース・フィールド: LDRPSIZE
Program Location (プログラム・ロケーション)	プログラムの現在のストレージ常駐インスタンスがある場合、そのロケーション。以下のいずれかの値を取ります。 • None - 現在のコピーなし • CDSA - 現在のコピーは CDSA 内にある • SDSA - 現在のコピーは SDSA 内にある • RDSA - 現在のコピーは RDSA 内にある • ECDSA - 現在のコピーは ECDSA 内にある • ESDSA - 現在のコピーは ESDSA 内にある • ERDSA - 現在のコピーは ERDSA 内にある • LPA - 現在のコピーは LPA 内にある • ELPA - 現在のコピーは ELPA 内にある ソース・フィールド: LDRLOCN

プログラムの合計レポート

プログラムの合計レポートは、**EXEC CICS INQUIRE PROGRAM** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS PROGRAM** コマンドを使用して取得されたデータから計算されます。統計データは、**DFHLDRDS DSECT** によってマップされました。

JVM で実行する Java プログラムに関する情報の処理は、他のプログラムに関する情報の場合とは異なります。それは、これらのプログラムは CICS がロードするのではないためです。 JVM で実行する Java プログラムの数は、プログラムの合計レポートに含まれます。 JVM プログラムに関する完全な情報については、 462 ページの『JVM プログラム・レポート』を参照してください。

表 243. プログラムの合計レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
プログラム	CICS に定義されている、すべての言語のプログラムの現在の合計数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM LANGDEDUCED(cvda) RUNTIME(cvda)**.
Programs - Assembler (プログラム - アセンブラー)	CICS にアセンブラー・プログラムとして定義されているプログラムの現在の合計数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM LANGDEDUCED(cvda) RUNTIME(cvda)**.
Programs - C (プログラム - C)	CICS に C プログラムとして定義されているプログラムの現在の合計数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM LANGDEDUCED(cvda) RUNTIME(cvda)**.
Programs - COBOL (プログラム - COBOL)	CICS に COBOL プログラムとして定義されているプログラムの現在の合計数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM LANGDEDUCED(cvda) RUNTIME(cvda)**.
Programs - Java (JVM) (プログラム - Java (JVM))	CICS に Java プログラムとして定義されているプログラムの現在の合計数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM LANGDEDUCED(cvda) RUNTIME(cvda)**.
Programs - Language Environment® (プログラム - Language Environment)	CICS に Language Environment プログラムとして定義されているプログラムの現在の合計数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM LANGDEDUCED(cvda) RUNTIME(cvda)**.
Programs - PL1 (プログラム - PL1)	CICS に PL/I プログラムとして定義されているプログラムの現在の合計数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM LANGDEDUCED(cvda) RUNTIME(cvda)**.
Programs - Remote (プログラム - リモート)	CICS にリモート・プログラムとして定義されているプログラムの現在の合計数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM LANGDEDUCED(cvda) RUNTIME(cvda)**.
Programs - Not Deduced (プログラム - 推測されない)	CICS に定義されているけれども、その言語がリソース定義で指定されていなかったプログラムの現在の合計数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE PROGRAM LANGDEDUCED(cvda) RUNTIME(cvda)**.
Maps (マップ)	CICS に定義されているマップの現在の数。
Partitionsets (区分セット)	CICS に定義されている区分セットの現在の数。
Total (合計)	CICS に定義されているプログラム、マップ、および区分セットの合計数。
CDSA Programs (CDSA プログラム)	現在 CDSA に常駐し、CICS に定義されているプログラム、マップ、および区分セットの数。
SDSA Programs (SDSA プログラム)	現在 SDSA に常駐し、CICS に定義されているプログラム、マップ、および区分セットの数。
RDSA Programs (RDSA プログラム)	現在 RDSA に常駐し、CICS に定義されているプログラム、マップ、および区分セットの数。

表 243. プログラムの合計レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
ECDSA Programs (ECDSA プログラム)	現在 ECDSA に常駐し、CICS に定義されているプログラム、マップ、および区分セットの数。
ESDSA Programs (ESDSA プログラム)	現在 ESDSA に常駐し、CICS に定義されているプログラム、マップ、および区分セットの数。
ERDSA Programs (ERDSA プログラム)	現在 ERDSA に常駐し、CICS に定義されているプログラム、マップ、および区分セットの数。
LPA Programs (LPA プログラム)	LPA に常駐し、CICS に定義されているプログラム、マップ、および区分セットの現在の数。
ELPA Programs (ELPA プログラム)	ELPA に常駐し、CICS に定義されているプログラム、マップ、および区分セットの現在の数。
Unused Programs (使用されなかったプログラム)	CICS に定義されていて、DFHRPL ライブラリー連結または動的ライブラリー連結に配置されたが、どの CICS タスクからも使用されなかったプログラム、マップ、および区分セットの現在の数。
Not Located Programs (配置されなかったプログラム)	CICS に定義されているが、DFHRPL ライブラリー連結または動的ライブラリー連結のいずれにも配置されなかったプログラム、マップ、および区分セットの現在の数。
Total (合計)	CICS に定義されているプログラム、マップ、および区分セットの合計数。

リカバリー・マネージャー・レポート

リカバリー・マネージャー・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS RECOVERY** コマンドを使用して作成します。統計データは、**DFHRMGDS DSECT** によってマップされます。

表 244. リカバリー・マネージャー・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Number of Syncpoints forward (前方同期点の数)	発行された同期点の数。 ソース・フィールド: RMGSYFWD
Number of Syncpoints backward (後方同期点の数)	発行された同期点のロールバックの数。 ソース・フィールド: RMGSYBWD
Number of Resynchronizations (再同期の数)	発行された再同期の数。 ソース・フィールド: RMGRESYN
Total UOWs shunted for indoubt failure (未確定の失敗のため中断された UOW の合計数)	未確定の失敗のため中断された UOW の合計数。 ソース・フィールド: RMGTSHIN
Total time UOWs shunted for indoubt failure (未確定の失敗のため中断された UOW の合計時間)	UOW が未確定の失敗のため中断された合計時間。 ソース・フィールド: RMGTSHTI

表 244. リカバリー・マネージャー・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current UOWs shunted for indoubt failure (未確定の失敗のため中断された現在の UOW)	未確定の失敗のため中断された UOW の現在の数。 ソース・フィールド: RMGCSHIN
Total time current UOWs shunted for indoubt failure (未確定の失敗のため中断された現在の UOW の合計時間)	未確定の失敗のため中断された現在の UOW の合計時間。 ソース・フィールド: RMGCSHTI
Total UOWs shunted for commit/backout failure (コミット/バックアウトの失敗のため中断された UOW の合計)	コミット/バックアウトの失敗のため中断された UOW の合計数。 ソース・フィールド: RMGTSHRO
Total time UOWs shunted for commit/backout failure (コミット/バックアウトの失敗のため中断された UOW の合計時間)	コミット/バックアウトの失敗のため中断された UOW の合計時間。 ソース・フィールド: RMGTSHTR
Current UOWs shunted for commit/backout failure (コミット/バックアウトの失敗のため中断された現在の UOW)	コミット/バックアウトの失敗のため中断された UOW の現在の数。 ソース・フィールド: RMGCSHRO
Total time current UOWs shunted for commit/backout failure (コミット/バックアウトの失敗のため中断された現在の UOW の合計時間)	コミット/バックアウトの失敗のため中断された現在の UOW の合計時間。 ソース・フィールド: RMGCSHTR
Indoubt Action Forced by Trandef (トランザクション定義により強制的に行われた未確定アクション)	トランザクション定義で、未確定待機をサポートできないことが指定されているために強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGIAFTR
Indoubt Action Forced by Timeout (タイムアウトにより強制的に行われた未確定アクション)	未確定待機がタイムアウトになったために、強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGIAFTI
Indoubt Action Forced by No Wait (待機なしにより強制的に行われた未確定アクション)	リカバリー可能リソースまたはリソース・マネージャー・コーディネーターが未確定待機をサポートできないために、強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGIAFNW
Indoubt Action Forced by Operator (オペレーターにより強制的に行われた未確定アクション)	オペレーター (CEMT または SPI コマンド) が未確定解決待ちを取り消したために、強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGIAFOP
Indoubt Action Forced by Other (その他により強制的に行われた未確定アクション)	この表で既に言及している理由以外の理由で強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGIAFOT
以下のフィールドは、「Indoubt Action Forced by No Wait」の明細です。	

表 244. リカバリー・マネージャー・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Indoubt Action Forced by TD Queues (TD キューにより強制的に行われた未確定アクション)	リカバリー可能一時データ・キューが未確定待機をサポートできないために、強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGNWTD
Indoubt Action Forced by LU61 Connections (LU61 接続により強制的に行われた未確定アクション)	未確定待機をサポートできない LU6.1 システム間リンクを使用したために、強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGNW61
Indoubt Action Forced by MRO Connections (MRO 接続により強制的に行われた未確定アクション)	未確定待機をサポートできない MRO 接続を使用したために、強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGNWMRO
Indoubt Action Forced by RMI Exits (RMI 出口により強制的に行われた未確定アクション)	RMI 出口が未確定待機をサポートできないために、強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGNWRMI
Indoubt Action Forced by Other (その他により強制的に行われた未確定アクション)	別のリカバリー可能リソースまたはリソース・マネージャー・コーディネーターが未確定待機をサポートできないために、強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGNWOTH
Number of Indoubt Action Mismatches (未確定アクション・ミスマッチの数)	参加しているリソース・マネージャー・コーディネーターが、CICS とは逆の方法で解決した、強制的に行われた未確定アクション解決の数。 ソース・フィールド: RMGIAMIS

ストレージ・レポート

ストレージ・レポートは 5 つあります。ストレージ・レポートでは、MVS および CICS の仮想記憶の使用に関する情報が提供されます。 16 MB より下のストレージ、16 MB より上で 2 GB より下のストレージ、および 2 GB より上のストレージに対応する別々のレポートが提供されます。

16 MB 未満のストレージ・レポート

16 MB 未満のストレージ・レポートでは、MVS および CICS の仮想記憶の使用に関する情報が提供されています。 このレポートには、16 MB 未満の仮想記憶の現在の使用について理解する場合に必要となる情報が含まれており、CDSA、UDSA、 SDSA、 RDSA で使用するサイズ値、および DSA 限界用の値セットを検証する場合に役立ちます。

表 245. 16 MB 未満のストレージ・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Region size established from REGION= parameter (REGION= パラメーターから確立された領域サイズ)	JCL 内の REGION= パラメーターに基づいて確立される領域サイズ。 要求された領域が 16 MB を超える場合は、確立される領域は 16 MB を超えることになり、このフィールドは最小値の 32 MB になります。

表 *245. 16 MB* 未満のストレージ・レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
16MB 未満のストレージ	説明
Private Area Region size below 16MB (16 未満の専用領域サイズ)	16 MB 未満の専用領域サイズ (KB)。
Max LSQA/SWA storage allocated below 16MB (SYS) (16MB 未満の割り振られた LSQA/SWA ストレージの最大量 (SYS))	16 MB 未満のローカル・システム・キュー域 (LSQA) およびスケジューラー作業域 (SWA) サブプールから割り振られた仮想記憶の最大量 (KB)。
Max User storage allocated below 16MB (VIRT) (16 MB 未満の割り振られたユーザー・ストレージの最大量)	16 MB 未満のユーザー・サブプールから割り振られた仮想記憶の最大量 (KB)。
System Use (システム使用)	システム使用で使用可能な仮想記憶の量。
RTM	計算目的など、MVS リカバリーおよび終了マネージャーで使用可能な仮想記憶の量。この量は、CICS 領域のリカバリーおよび終了時に割り振られます。
Private Area Storage available below 16MB (16MB 未満の使用可能な専用ストレージ)	DSALIM パラメーターを増やすか、または MVS ストレージ GETMAIN 要求によって割り振られる 16 MB 未満のストレージの量。
MVS PVT Size (MVS PVT サイズ)	16 MB 未満の最大 MVS 専用領域 (PVT) サイズ (KB)。
MVS CSA Size / Allocated (MVS CSA サイズ/割り振られた MVS CSA)	MVS 共通システム域 (CSA) サイズおよび 16 MB 未満で割り振られた MVS CSA の合計 (KB)。
MVS SQA Size / Allocated (MVS SQA サイズ/割り振られた MVS SQA)	MVS システム・キュー域 (SQA) サイズおよび 16 MB 未満で割り振られた MVS SQA の合計 (KB)。
Current DSA Limit (現在の DSA 限界)	現在の DSA 限界 (KB)。 ソース・フィールド: (SMSDSALIMIT / 1024)
Current Allocation for DSAs (DSA に割り振られた現在量)	16 MB 未満の DSA に割り振られたストレージの現在量 (KB)。 この値は、現在の DSA 限界よりも小さいか、または大きくなります。 ソース・フィールド: (SMSDSATOTAL / 1024)
VIRT minus Current DSA Limit (VIRT から現在の DSA 限界を減算した量)	割り振られている/使用されている 16 MB 未満のユーザー・ストレージの合計量から現在の DSA 限界を減算した量。 この値は、16 MB 未満で割り振られており DSA には割り振られていないユーザー・ストレージの量を示しています。 ソース・フィールド: ((VIRT - SMSDSALIMIT) / 1024)
Peak Allocation for DSAs (DSA に割り振られたピーク)	16 MB 未満の DSA に割り振られたストレージのピーク量 (KB)。 この値は、現在の DSA 限界よりも小さいか、または大きくなります。 ソース・フィールド: (SMSHWMDSATOTAL / 1024)
Current DSA Size (現在の DSA サイズ)	CDSA、UDSA、SDSA、または RDSA の現在のサイズ (KB)。 ソース・フィールド: (SMSDSASZ / 1024)

表 245. 16 MB 未満のストレージ・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current DSA Used (使用された現在の DSA)	この DSA で使用されているストレージの現在量 (KB)。 ソース・フィールド: ((SMSDSASZ - SMSFSTG) / 1024)
Current DSA Used as % of DSA (DSA に対する使用された現在の DSA のパーセント)	この DSA で使用されているストレージの現在量 (現在の DSA サイズのパーセントで表示)。 ソース・フィールド: (((SMSDSASZ - SMSFSTG) / SMSDSASZ) * 100)
Peak DSA Used (使用された DSA ピーク)	この DSA で使用されているストレージのピーク量 (KB)。 ソース・フィールド: (SMSHWMPS / 1024)
Peak DSA Size (ピーク DSA サイズ)	CDSA、UDSA、SDSA、または RDSA のピーク・サイズ (KB)。 ソース・フィールド: (SMSHWMDSASZ / 1024)
Cushion Size (クッション・サイズ)	クッションのサイズ (KB)。 クッションは CDSA、UDSA、SDSA、または RDSA の一部を形成しており、このストレージ量未満になると CICS がストレージ不足 (SOS) になります。 ソース・フィールド: (SMSCSIZE / 1024)
Free Storage (inc. Cushion) (フリー・ストレージ (クッションを含む))	この DSA 内のフリー・ストレージの現在量 (KB)。 ソース・フィールド: (SMSFSTG / 1024)
Peak Free Storage (ピーク・フリー・ストレージ)	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (KB)。 ソース・フィールド: (SMSHWMFSTG / 1024)
Lowest Free Storage (最低フリー・ストレージ)	この DSA 内のフリー・ストレージの最低量 (KB)。 ソース・フィールド: (SMSLWMFSTG / 1024)
Largest Free Area (最大フリー域)	CDSA、UDSA、SDSA、または RDSA 内の最大連続フリー域の長さ (B)。 ソース・フィールド: (SMSLFA / 1024)
Largest Free Area as % of DSA (DSA に対する最大フリー域のサイズのパーセント)	CDSA、UDSA、SDSA、または RDSA 内の最大連続フリー域 (現在の DSA サイズのパーセントで表示)。 ソース・フィールド: ((SMSLFA / SMSDSASZ) * 100)
Largest Free/Free Storage (最大フリー域/フリー・ストレージ)	この DSA 内でストレージがフラグメント化されていることを示しています。 この値は、「Largest Free Area (最大フリー域)」(SMSLFA) を「Free storage (フリー・ストレージ)」(SMSFSTG) で除算して計算されます。 率が低い場合、この DSA はフラグメント化されています。 ソース・フィールド: (SMSLFA / SMSFSTG)
Current number of extents (現在のエクステント数)	この DSA に現在割り振られているエクステントの数。 ソース・フィールド: SMSEXTS
Number of extents added (追加されたエクステント数)	最後に統計が記録されてから DSA に追加されたエクステントの数。 ソース・フィールド: SMSEXTSA
Number of extents released (解放されたエクステント数)	前回に統計が記録された以降に DSA から解放されたエクステントの数。 ソース・フィールド: SMSEXTSR

表 245. 16 MB 未満のストレージ・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	CDSA、UDSA、SDSA、または RDSA からの GETMAIN 要求の数。 ソース・フィールド: SMSGMREQ
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	CDSA、UDSA、SDSA、または RDSA からの FREEMAIN 要求の数。 ソース・フィールド: SMSFMREQ
Current number of Subpools (現在のサブプール数)	CDSA、UDSA、SDSA、または RDSA 内のサブプール (ドメインおよびタスク) の現在数。 ソース・フィールド: SMSCSUBP
Add Subpool Requests (サブプールの追加要求数)	CDSA、UDSA、SDSA、または RDSA からサブプール (ドメインまたはタスク) を作成するための ADD_SUBPOOL 要求の数。 ソース・フィールド: SMSASR
Delete Subpool Requests (サブプールの削除要求数)	CDSA、UDSA、SDSA、または RDSA からの DELETE_SUBPOOL 要求 (ドメインまたはタスク) の数。 ソース・フィールド: SMSDSR
Times no storage returned (ストレージを戻していない回数)	SUSPEND(NO) が設定されている GETMAIN 要求が状態 INSUFFICIENT_STORAGE を戻す回数。 ソース・フィールド: SMSCRISS
Times request suspended (要求が中断された回数)	その時点で要求を満たすための十分なストレージがないため、SUSPEND(YES) が設定されている GETMAIN 要求が中断される回数。. ソース・フィールド: SMSUCSS
Current requests suspended (現在の要求が中断された回数)	ストレージに対して現在中断されている GETMAIN 要求の数。 ソース・フィールド: SMSCSS
Peak requests suspended (要求が中断されたピーク)	ストレージに対して中断された GETMAIN 要求のピーク数。 ソース・フィールド: SMSHWMSS
Requests purged while waiting (待機中にパージされた要求数)	ストレージに対して中断されている間にパージされた要求の数。 ソース・フィールド: SMSPWWS
Times cushion released (クッションの解放回数)	GETMAIN 要求によってストレージ・クッションがリリースされる回数。ストレージ・クッションは、フリー・ページの数がストレージ・クッションの中のページ数を下回ったときに解放され、この DSA のサイズを大きくするために使用できるフリー・エクステントはもうありません。 ソース・フィールド: SMSCREL
Times Short-On-Storage (ストレージ不足の回数)	この DSA 内の CICS が SOS になった回数。ここで、SOS は、クッションが現在使用中であるか、少なくとも 1 つのタスクがストレージ待ちで中断されているか、あるいはその両方を意味します。このフィールドは、CDSA、UDSA、SDSA、および RDSA に適用されます。 ソース・フィールド: SMSSOS
Total time Short-On-Storage (ストレージ不足の合計時間)	この DSA 内で CICS が SOS であった累積時間。 ソース・フィールド: SMSTSOS

表 *245. 16 MB* 未満のストレージ・レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Average Short-On-Storage time (ストレージ不足の平均時間)	この DSA 内で CICS が SOS であった平均時間。 ソース・フィールド: (SMSTSOS / SMSSOS)
Storage Violations (記憶保護違反)	DSA に記録された記憶保護違反の数。このフィールドは、CDSA、UDSA、SDSA、および RDSA に適用されます。 ソース・フィールド: SMSSV
Access (アクセス)	DSA のアクセス・タイプ。 値は CICS、USER、または READONLY です。 ストレージ保護がアクティブでない場合は、ストレージ域が CICS のアクセス・タイプに復帰します (RDSA 内のストレージ域を除く)。 • CICS - アクセスは CICS キー。 • USER - アクセスはユーザー・キー。 • READONLY - アクセスは読み取り専用保護。 ソース・フィールド: SMSACCESS

16 MB を超えるストレージ・レポート

16 MB を超えるストレージ・レポートでは、MVS および CICS の仮想記憶使用に関する情報が提供されています。 このレポートには、16 MB と 2 GB の境界の間にある仮想記憶 (31 ビット・ストレージ、16 MB 境界より上のストレージとも呼ばれる) の現在の使用を理解するために必要な情報が含まれています。 このレポートは、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA に使用されるサイズ値、および EDSA 限界の値セットを検証するのに役立ちます。

このレポートは、**EXEC CICS COLLECT STATISTICS STORAGE** コマンドを使用して作成されています。 統計データは、DFHSMSDS DSECT によってマップされます。

表 *246. 16 MB* を超えるストレージ・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Private Area Region size above 16MB (16MB を超える専用領域サイズ)	16 MB を超える専用領域サイズ (KB)。
Max LSQA/SWA storage allocated above 16MB (SYS) (16MB を超える LSQA/SWA ストレージに割り振られた最大量)	16 MB を超えるローカル・システム・キュー域 (LSQA) および SWA サブプールから割り振られた仮想記憶の最大量 (KB)。
Max User storage allocated above 16MB (EXT) (16MB を超える割り振られた最大ユーザー・ストレージ量 (EXT))	16 MB を超えるユーザー・サブプールから割り振られた仮想記憶の最大量 (KB)。
Private Area Storage available above 16MB (16MB を超える使用可能な専用ストレージ領域)	EDSALIM パラメーターを増やすか、または MVS ストレージ GETMAIN 要求によって割り振られる 16 MB を超えるストレージの量。

表 *246. 16 MB* を超えるストレージ・レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
EXT minus Current EDSA Limit (EXT から現在の EDSA 限界を減算した量)	割り振られているか使用されている 16 MB を超えるユーザー・ストレージの合計量から現在の EDSA 限界を減算した量。 この値は、16 MB を超えて割り振られており EDSA には割り振られていないユーザー・ストレージの量を示しています。 ソース・フィールド: ((EXT - SMSEDSALIMIT) / 1024)
MVS EPVT size (MVS EPVT サイズ)	16 MB を超える最大拡張 MVS 専用領域 (EPVT) サイズ (KB)。
MVS ECSA Size / Allocated (MVS ECSA サイズ/割り振られた MVS ECSA)	MVS 拡張共通サービス域 (ECSA) サイズおよび 16 MB を超えて割り振られた MVS CSA の合計 (KB)。
MVS ESQA Size / Allocated (MVS ESQA サイズ/割り振られた MVS ESQA)	MVS 拡張システム・キュー (ESQA) サイズおよび 16 MB を超えて割り振られた MVS SQA の合計 (KB)。
Requests for MVS storage causing waits (MVS ストレージ待ちの原因となった要求数)	16 MB より大きな MVS ストレージを待機した MVS ストレージ要求の総数。 ソース・フィールド: SMSMVSSTGREQWAITS
Total time waiting for MVS storage (MVS ストレージ待ちの合計時間)	MVS ストレージ要求が 16 MB を超える MVS ストレージを待機する合計時間。 ソース・フィールド: SMSTIMEWAITMVS
Current EDSA Limit (現在の EDSA 限界)	**EDSALIM** システム初期設定パラメーターによって定義された、CICS 拡張動的ストレージ域の限界。この値は KB で表されます。 ソース・フィールド: (SMSEDSALIMIT / 1024)
Current Allocation for EDSAs (EDSA に対する現行の割り振り量)	16 MB より上、ただし 2 GB より下 (16 MB 境界より上) の DSA に現在割り振られているストレージの総量。 この値は、「現在の EDSA 限界」よりも小さいか、または大きくなります。この値は KB で表され、現在の EDSA 限界よりも小さいか、または大きくなります。 ソース・フィールド: (SMSEDSATOTAL / 1024)
Peak Allocation for EDSAs (EDSA に対する割り振りのピーク)	16 MB より上、ただし 2 GB より下 (16 MB 境界より上) の DSA に割り振られているストレージのピーク量。この値は、「現在の EDSA 限界」よりも小さいか、または大きくなります。この値は KB で表され、現在の EDSA 限界よりも小さいか、または大きくなります。 ソース・フィールド: (SMSHWMEDSATOTAL / 1024)
Current DSA Size (現在の DSA サイズ)	ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、または ETDSA の現在のサイズ (KB)。 ソース・フィールド: (SMSDSASZ / 1024)
Current DSA Used (使用された現在の DSA)	この DSA で使用されているストレージの現在量 (KB)。 ソース・フィールド: ((SMSDSASZ - SMSFSTG) / 1024)
Current DSA Used as % of DSA (DSA に対する使用された現在の DSA のパーセント)	この DSA で使用されているストレージの現在量 (現在の DSA サイズのパーセントで表示)。 ソース・フィールド: (((SMSDSASZ - SMSFSTG) / SMSDSASZ) * 100)
Peak DSA Used (使用された DSA ピーク)	この DSA で使用されているストレージのピーク量 (KB)。 ソース・フィールド: (SMSHWMPS / 1024)

表 246. 16 MB を超えるストレージ・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Peak DSA Size (ピーク DSA サイズ)	ECDSA、EUDSA、ESDSA、ETDSA、または ETDSA のピーク・サイズ (KB)。 ソース・フィールド: (SMSHWMDSASZ / 1024)
Cushion Size (クッション・サイズ)	クッションのサイズ (KB)。 クッションは ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、または ETDSA の一部を形成しており、このストレージ量未満になると CICS が SOS になります。 ソース・フィールド: (SMSCSIZE / 1024)
Free Storage (inc. Cushion) (フリー・ストレージ (クッションを含む))	この DSA 内のフリー・ストレージの現在量 (KB)。 ソース・フィールド: (SMSFSTG / 1024)
Peak Free Storage (ピーク・フリー・ストレージ)	この DSA 内のフリー・ストレージのピーク量 (KB)。 ソース・フィールド: (SMSHWMFSTG / 1024)
Lowest Free Storage (最低フリー・ストレージ)	この DSA 内のフリー・ストレージの最低量 (KB)。 ソース・フィールド: (SMSLWMFSTG / 1024)
Largest Free Area (最大フリー域)	ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、または ETDSA 内の最大連続フリー域の長さ (KB)。 ソース・フィールド: (SMSLFA / 1024)
Largest Free Area as % of DSA (DSA に対する最大フリー域のサイズのパーセント)	ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、または ETDSA 内の最大連続フリー域 (現在の DSA サイズのパーセントで表示)。 ソース・フィールド: ((SMSLFA / SMSDSASZ) * 100)
Largest Free/Free Storage (最大フリー域/フリー・ストレージ)	この DSA 内でストレージがフラグメント化されていることを示しています。 この値は、「Largest free area (最大フリー域)」(SMSLFA) を「Free storage (フリー・ストレージ)」(SMSFSTG) で除算して計算されます。 率が低い場合、この DSA はフラグメント化されています。 ソース・フィールド: (SMSLFA / SMSFSTG)
Current number of extents (現在のエクステント数)	この DSA に現在割り振られているエクステントの数。 ソース・フィールド: SMSEXTS
Number of extents added (追加されたエクステント数)	最後に統計が記録されてから DSA に追加されたエクステントの数。 ソース・フィールド: SMSEXTSA
Number of extents released (解放されたエクステント数)	前回に統計が記録された以降に DSA から解放されたエクステントの数。 ソース・フィールド: SMSEXTSR
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、または ETDSA からの GETMAIN 要求の数。 ソース・フィールド: SMSGMREQ
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、または ETDSA からの FREEMAIN 要求の数。 ソース・フィールド: SMSFMREQ

表 246. 16 MB を超えるストレージ・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current number of Subpools (現在のサブプール数)	ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、または ETDSA 内のサブプール (ドメインおよびタスク) の現在数。 ソース・フィールド: SMSCSUBP
Add Subpool Requests (サブプールの追加要求数)	ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、または ETDSA からサブプール (ドメインまたはタスク) を作成するための ADD_SUBPOOL 要求の数。 ソース・フィールド: SMSASR
Delete Subpool Requests (サブプールの削除要求数)	ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、または ETDSA からの DELETE_SUBPOOL 要求 (ドメインまたはタスク) の数。 ソース・フィールド: SMSDSR
Times no storage returned (ストレージを戻していない回数)	SUSPEND(NO) が設定されている GETMAIN 要求が状態 INSUFFICIENT_STORAGE を戻す回数。 ソース・フィールド: SMSCRISS
Times request suspended (要求が中断された回数)	その時点で要求を満たすための十分なストレージがないため、SUSPEND(YES) が設定されている GETMAIN 要求が中断される回数。 ソース・フィールド: SMSUCSS
Current requests suspended (現在の要求が中断された回数)	ストレージに対して現在中断されている GETMAIN 要求の数。 ソース・フィールド: SMSCSS
Peak requests suspended (要求が中断されたピーク)	ストレージに対して中断された GETMAIN 要求のピーク数。 ソース・フィールド: SMSHWMSS
Requests purged while waiting (待機中にパージされた要求数)	ストレージに対して中断されている間にパージされた要求の数。 ソース・フィールド: SMSPWWS
Times cushion released (クッションの解放回数)	GETMAIN 要求によってストレージ・クッションがリリースされる回数。ストレージ・クッションは、フリー・ページの数がストレージ・クッションの中のページ数を下回ったときに解放され、この DSA のサイズを大きくするために使用できるフリー・エクステントはもうありません。 ソース・フィールド: SMSCREL
Times Short-On-Storage (ストレージ不足の回数)	この DSA 内の CICS が SOS になった回数。ここで、SOS は、クッションが現在使用中であるか、少なくとも 1 つのタスクがストレージ待ちで中断されているか、あるいはその両方を意味します。このフィールドは、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA に適用されます。 ソース・フィールド: SMSSOS
Total time Short-On-Storage (ストレージ不足の合計時間)	この DSA 内で CICS が SOS であった累積時間。 ソース・フィールド: SMSTSOS
Average Short-On-Storage time (ストレージ不足の平均時間)	この DSA 内で CICS が SOS であった平均時間。 ソース・フィールド: (SMSTSOS / SMSSOS)

表 *246. 16 MB* を超えるストレージ・レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Storage Violations (記憶保護違反)	DSA に記録された記憶保護違反の数。このフィールドは、ECDSA、EUDSA、ESDSA、ERDSA、および ETDSA に適用されます。 ソース・フィールド: SMSSV
Access (アクセス)	DSA のアクセス・タイプ。 値は CICS、USER、READONLY、または TRUSTED です。ストレージ保護がアクティブでない場合は、ストレージ域 (ERDSA 内にある CICS のアクセス・タイプを除く) が CICS のアクセス・タイプに復帰します。 • CICS - アクセスは CICS キー。 • USER - アクセスは USER キー。 • READONLY - アクセスは読み取り専用保護。 • TRUSTED - アクセスは CICS キー。 ソース・フィールド: SMSACCESS

2 GB より上のストレージ・レポート

2 GB を超えるストレージ・レポートでは、MVS および CICS の仮想記憶使用に関する情報が提供されています。 64 ビット仮想記憶 (2 GB 境界より上のストレージとも呼ばれる) の使用を理解するために必要な情報が含まれています。 このレポートは、2 GB 境界より上の CICS 動的ストレージ域 (GDSA) のストレージの割り振り、および 64 ビット・ストレージを使用する CICS 機能を検証するのに役立ちます。

このレポートは、**EXEC CICS COLLECT STATISTICS STORAGE** コマンドを使用して作成されています。 統計データは、DFHSMSDS DSECT によってマップされます。

表 *247. 2 GB* より上のストレージ内のフィールドのレポート *(*パート *1)*

フィールド・ヘッダー	説明
MEMLIMIT Size (MEMLIMIT サイズ)	z/OS **MEMLIMIT** パラメーターの値。CICS 領域の 64 ビット・ストレージの量を制限します。この値は、サイズに応じてメガバイト、ギガバイト、テラバイト、ペタバイト、またはエクサバイトの単位で示されることがあります。NOLIMIT の値は、上限が課せられていないことを示します。 ソース・フィールド: SMSMEMLIMIT
MEMLIMIT Set By (MEMLIMIT の設定元)	**MEMLIMIT** 値のソース。 SMFPRM は、**MEMLIMIT** が SYS1.PARMLIB(SMFPRMxx) によって設定されることを示します。 JCL は、**MEMLIMIT** が JCL によって設定されることを示します。 REGION は、REGION=0M が JCL で指定されるために、**MEMLIMIT** が NOLIMIT に設定されることを示します。 IEFUSI は、**MEMLIMIT** が z/OS インストール出口 IEFUSI によって設定されることを示します。 ソース・フィールド: SMSMEMLIMITSRC

表 247. 2 GB より上のストレージ内のフィールドのレポート (パート 1) (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current Address Space active (bytes) (アクティブな現在のアドレス・スペース (バイト))	2 GB 境界より上で使用可能な現行アドレス・スペース。この値はバイトで表されます。 ソース・フィールド: (SMSASACTIVE x 1048576)
Current Address Space active (アクティブな現行アドレス・スペース)	2 GB 境界より上で使用可能な現行アドレス・スペース。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSASACTIVE
Peak Address Space active (アクティブなピーク・アドレス・スペース)	2 GB 境界より上で使用可能なアドレス・スペースのピーク量。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSHWMASACTIVE
MEMLIMIT minus Current Address Space active (MEMLIMIT からアクティブな現行アドレス・スペースを減算)	z/OS **MEMLIMIT** パラメーターの値から、2 GB 境界より上で使用可能な現行アドレス・スペースを減算します。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: (SMSMEMLIMIT - SMSASACTIVE)
MEMLIMIT minus allocated to Private Memory Objects (MEMLIMIT から専用メモリー・オブジェクトに割り振られたバイト数を減算)	z/OS **MEMLIMIT** パラメーターの値から専用メモリー・オブジェクト内の大容量の仮想記憶から割り振られた記憶容量を減算します。この値はメガバイトで表されます。 GB 単位に丸められた場合、現在 CICS が割り振ることができる追加の GDSA 1 GB エクステントの数を表します。 ソース・フィールド: (SMSMEMLIMIT - (SMSLVABYTES / 1048576))
Number of Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトの数)	割り振られた専用メモリー・オブジェクトの数。[1] ソース・フィールド: SMSLVNMEMOBJ
....minus Current GDSA extents (現在の GDSA エクステントを減算)	割り振られている専用メモリー・オブジェクトの数からこの DSA に現在割り振られているエクステントの数を減算します。 ソース・フィールド: (SMSLVNMEMOBJ - SMSEXTS)
Bytes allocated to Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトに割り振られたバイト数)	専用メモリー・オブジェクト内の大容量の仮想記憶から割り振られたバイト数。この値はメガバイトおよびバイトで表されます。 [1] ソース・フィールド: SMSLVABYTES
....minus Current GDSA allocated (割り振られた現在の GDSA を減算)	専用メモリー・オブジェクト内の大容量の仮想記憶から割り振られたバイト数から、2 GB 境界より上の DSA に現在割り振られている合計ストレージを減算します。この値はメガバイトおよびバイトで表されます。 ソース・フィールド: (SMSLVABYTES - SMSGDSAALLOC)
Bytes hidden within Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクト内の隠されているバイト数)	大容量の仮想記憶専用メモリー・オブジェクト内の隠されているバイト数。この値はメガバイトおよびバイトで表されます。 [1] ソース・フィールド: SMSLVHBYTES

表 247. 2 GB より上のストレージ内のフィールドのレポート (パート 1) (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
....minus Current GDSA hidden (隠されている現在の GDSA を減算)	大容量の仮想記憶専用メモリー・オブジェクト内の隠されているバイト数から、2 GB 境界より上の DSA に割り振られた、現在アクティブになっていないストレージを減算します。この値はメガバイトおよびバイトで表されます。 ソース・フィールド: (SMSLVHBYTES - (SMSGDSAALLOC - SMSGDSAACTIVE))
....minus CICS Internal Trace Table hidden (隠されている CICS 内部トレース・テーブルを減算)	大容量の仮想記憶専用メモリー・オブジェクト内の隠されているバイト数から、2 GB 境界より上の DSA に割り振られた、現在アクティブになっていないストレージを減算し、さらに CICS 内部トレース・テーブルのサイズを減算します。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: (SMSLVHBYTES - ((SMSGDSAALLOC - SMSGDSAACTIVE) + EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST TABLESIZE)) / 1048756
Bytes usable within Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクト内の使用可能なバイト数)	大容量の仮想記憶専用メモリー・オブジェクト内の使用可能なバイト数、つまり、割り振られたバイト数から、大容量仮想記憶専用メモリー・オブジェクト内の隠されているバイト数を減算した値です。この値はメガバイトおよびバイトで表されます。 ソース・フィールド: (SMSLVABYTES - SMSLVHBYTES)
Peak bytes usable within Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクト内の使用可能なピーク・バイト数)	大容量の仮想記憶専用メモリー・オブジェクト内の使用可能バイトの最高水準点。この値はメガバイトおよびバイトで表されます。 [1] ソース・フィールド: SMSLVGBYTES
Current GDSA Allocated (割り振られている現在の GDSA)	境界より上の DSA に現在割り振られているストレージの総量。この値はメガバイトおよびバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSGDSAALLOC
Peak GDSA Allocated (割り振られたピーク GDSA)	境界より上の DSA に割り振られたストレージのピーク量。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSHWMGDSAALLOC
Current GDSA Active (アクティブな現行の GDSA)	2 GB 境界より上で使用中の現行ストレージ。この値はメガバイトおよびバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSGDSAACTIVE
Peak GDSA Active (アクティブなピーク GDSA)	2 GB 境界より上で使用中のストレージのピーク量。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSHWMGDSAACTIVE
Current GDSA Used (使用されている現在の GDSA)	この DSA で使用されているストレージの現在量 (メガバイト)。 ソース・フィールド: (SMSDSASZ - SMSFSTG)
Number of Shared Memory Objects (共用メモリー・オブジェクトの数)	割り振られた共用メモリー・オブジェクトの数。[1] ソース・フィールド: SMSLVSHRNMEMOBJ
Bytes allocated to Shared Memory Objects (共用メモリー・オブジェクトに割り振られたバイト数)	高仮想記憶から割り振られた共用バイト数。この値はメガバイトおよびバイトで表されます。 [1] ソース・フィールド: SMSLVSHRBYTES

表 247. 2 GB より上のストレージ内のフィールドのレポート (パート 1) (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Peak bytes usable within Shared Memory Objects (共用メモリー・オブジェクト内の使用可能なピーク・バイト数)	大容量の仮想記憶オブジェクト内の共用バイト数の最高水準点。この値はメガバイトおよびバイトで表されます。 [1] ソース・フィールド: SMSLVSHRGBYTES
Auxiliary Slots backing Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトをバッキングする補助スロット数)	64 ビット専用メモリー・オブジェクトのバッキングに使用される補助記憶域スロットの数。[1] ソース・フィールド: SMSHVAUXSLOTS
HWM Auxiliary Slots backing Private Memory Object (専用メモリー・オブジェクトをバッキングする HWM 補助スロット数)	64 ビット専用メモリー・オブジェクトのバッキングに使用される補助記憶域スロットの最高水準点。[1] ソース・フィールド: SMSHVGAUXSLOTS
Real Frames backing Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトをバッキングする実フレーム数)	64 ビット専用メモリー・オブジェクトのバッキングに使用される実記憶フレームの数。[1] ソース・フィールド: SMSHVPAGESINREAL
HWM Real Frames backing Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトをバッキングする HWM 実フレーム数)	64 ビット専用メモリー・オブジェクトのバッキングに使用される実記憶フレーム数の最高水準点。[1] ソース・フィールド: SMSHVGPAGESINREAL
Number of Large Memory Objects Allocated (割り振られた大容量メモリー・オブジェクトの数)	このアドレス・スペースによって割り振られた大容量メモリー・オブジェクトの数。[1] ソース・フィールド: SMSLARGEMEMOBJ
Number of Large Pages backed in Real Storage (実記憶にバッキングされたラージ・ページの数)	このアドレス・スペースが所有する実記憶にバッキングされたラージ・ページ (1 MB ページ) の数。[1] ソース・フィールド: SMSLARGEPAGESINREAL
CICS Internal Trace table size (bytes) (CICS 内部トレース・テーブル・サイズ (バイト))	バイト単位で示された、CICS 内部トレース・テーブルに設定された現在のサイズ。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST TABLESIZE**
CICS Internal Trace table size (CICS 内部トレース・テーブル・サイズ)	キロバイト単位で示された、CICS 内部トレース・テーブルに設定された現在のサイズ。 ソース・フィールド: **(EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST TABLESIZE) / 1024**
IARV64 GETSTOR request size (IARV64 GETSTOR 要求サイズ)	GETSTOR 要求サイズ。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSGETSTORSIZE
Number of IARV64 FROMGUARD failures (IARV64 FROMGUARD 失敗の数)	64 ビット・ストレージに対する要求が失敗した回数。この場合、要求は REQUEST=CHANGEGUARD、CONVERT=FROMGUARD パラメーターを指定した z/OS IARV64 マクロを使用します。 ソース・フィールド: SMSFROMGUARDFAIL

表 *247. 2 GB* より上のストレージ内のフィールドのレポート *(*パート *1) (*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Largest IARV64 FROMGUARD failure size (最大 IARV64 FROMGUARD 失敗サイズ)	失敗した 64 ビット・ストレージに対する最大要求のサイズ (バイト)。この場合、要求は REQUEST=CHANGEGUARD、CONVERT=FROMGUARD パラメーターを指定した z/OS IARV64 マクロを使用します。 ソース・フィールド: SMSFROMGUARDFAILSIZE

表 *248. 2 GB* より上のストレージ内のフィールド・レポート *(*パート *2)*

フィールド・ヘッダー	説明
MEMLIMIT Size (MEMLIMIT サイズ)	z/OS **MEMLIMIT** パラメーターの値。CICS 領域の 64 ビット・ストレージの量を制限します。この値は、サイズに応じてメガバイト、ギガバイト、テラバイト、ペタバイト、またはエクサバイトの単位で示されることがあります。NOLIMIT の値は、上限が課せられていないことを示します。 ソース・フィールド: SMSMEMLIMIT
MEMLIMIT Set By (MEMLIMIT の設定元)	**MEMLIMIT** 値のソース。 SMFPRM は、**MEMLIMIT** が SYS1.PARMLIB(SMFPRMxx) によって設定されることを示します。 JCL は、**MEMLIMIT** が JCL によって設定されることを示します。 REGION は、REGION=0M が JCL で指定されるために、**MEMLIMIT** が NOLIMIT に設定されることを示します。 IEFUSI は、**MEMLIMIT** が z/OS インストール出口 IEFUSI によって設定されることを示します。 ソース・フィールド: SMSMEMLIMITSRC
Current Address Space active (アクティブな現行アドレス・スペース)	2 GB 境界より上で使用可能な現行アドレス・スペース。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSASACTIVE
Peak Address Space active (アクティブなピーク・アドレス・スペース)	2 GB 境界より上で使用可能なアドレス・スペースのピーク量。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSHWMASACTIVE
Current GDSA Allocated (割り振られている現在の GDSA)	境界より上の DSA に現在割り振られているストレージの総量。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSGDSAALLOC
Peak GDSA Allocated (割り振られたピーク GDSA)	境界より上の DSA に割り振られたストレージのピーク量。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSHWMGDSAALLOC
Current GDSA Active (アクティブな現行の GDSA)	2 GB 境界より上で使用中の現行ストレージ。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSGDSAACTIVE
Peak GDSA Active (アクティブなピーク GDSA)	2 GB 境界より上で使用中のストレージのピーク量。この値はメガバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMSHWMGDSAACTIVE

表 *248. 2 GB* より上のストレージ内のフィールド・レポート *(*パート *2) (*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
CICS Internal Trace table size (bytes) (CICS 内部トレース・テーブル・サイズ (バイト))	バイト単位で示された、CICS 内部トレース・テーブルに設定された現在のサイズ。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST TABLESIZE**
CICS Internal Trace table size (CICS 内部トレース・テーブル・サイズ)	キロバイト単位で示された、CICS 内部トレース・テーブルに設定された現在のサイズ。 ソース・フィールド: **(EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST TABLESIZE) / 1024**
Number of Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトの数)	割り振られた専用メモリー・オブジェクトの数。[1] ソース・フィールド: SMSLVNMEMOBJ
Bytes allocated to Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクトに割り振られたバイト数)	専用メモリー・オブジェクト内の大容量の仮想記憶から割り振られたバイト数。[1] ソース・フィールド: SMSLVABYTES
Bytes hidden within Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクト内の隠されているバイト数)	大容量の仮想記憶専用メモリー・オブジェクト内の隠されているバイト数。[1] ソース・フィールド: SMSLVHBYTES
Peak bytes usable within Private Memory Objects (専用メモリー・オブジェクト内の使用可能なピーク・バイト数)	大容量の仮想記憶専用メモリー・オブジェクト内の使用可能バイトの最高水準点。[1] ソース・フィールド: SMSLVGBYTES
Current DSA Size (現在の DSA サイズ)	メガバイト単位で示された、GCDSA、GUDSA、または GSDSA の現在のサイズ。 ソース・フィールド: (SMSDSASZ / 1024)
Current DSA Used (使用された現在の DSA)	この DSA で使用されているストレージの現在量 (メガバイト)。 ソース・フィールド: (SMSDSASZ - SMSFSTG)
Current DSA Used as % of DSA (DSA に対する使用された現在の DSA のパーセント)	この DSA で使用されているストレージの現在量 (現在の DSA サイズのパーセントで表示)。 ソース・フィールド: (((SMSDSASZ - SMSFSTG) / SMSDSASZ) * 100)
Peak DSA Used (使用された DSA ピーク)	この DSA で使用されているストレージのピーク量 (メガバイト)。 ソース・フィールド: SMSHWMPS
Peak DSA Size (ピーク DSA サイズ)	メガバイト単位で示された、この DSA のピーク・サイズ。 ソース・フィールド: (SMSHWMDSASZ / 1024)
Cushion Size (クッション・サイズ)	メガバイトで表された、この DSA のクッションのサイズ (メガバイト)。 クッションは各 DSA の一部を形成し、この量を下回ると CICS は SOS になります。 ソース・フィールド: SMSCSIZE
Free Storage (inc. Cushion) (フリー・ストレージ (クッションを含む))	この DSA 内のフリー・ストレージの量、すなわちページ・サイズ (1 MB) の乗算であるフリー・ページの数を、メガバイトで表したもの。 ソース・フィールド: SMSFSTG

表 248. 2 GB より上のストレージ内のフィールド・レポート (パート 2) (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Peak Free Storage (ピーク・フリー・ストレージ)	その統計が前回に記録された以降のこの DSA 内のフリー・ストレージの最大量 (メガバイト) です。 ソース・フィールド: SMSHWMFSTG
Lowest Free Storage (最低フリー・ストレージ)	その統計が前回に記録された以降のこの DSA 内のフリー・ストレージの最小量 (メガバイト) です。 ソース・フィールド: SMSLWMFSTG
Largest Free Area (最大フリー域)	この DSA 内の最大連続フリー域の長さ (メガバイト)。 ソース・フィールド: SMSLFA
Largest Free Area as % of DSA (DSA に対する最大フリー域のサイズのパーセント)	この DSA 内の最大連続フリー域 (現在の DSA サイズのパーセントで表示)。 ソース・フィールド: ((SMSLFA / SMSDSASZ) * 100)
Largest Free/Free Storage (最大フリー域/フリー・ストレージ)	この DSA 内でストレージがフラグメント化されていることを示しています。 この値は、「Largest free area (最大フリー域)」(SMSLFA) を「Free storage (フリー・ストレージ)」(SMSFSTG) で除算して計算されます。 率が低い場合、この DSA はフラグメント化されています。 ソース・フィールド: (SMSLFA / SMSFSTG)
Current number of extents (現在のエクステント数)	この DSA に現在割り振られているエクステントの数。 ソース・フィールド: SMSEXTS
Number of extents added (追加されたエクステント数)	最後に統計が記録されてから DSA に追加されたエクステントの数。 ソース・フィールド: SMSEXTSA
Number of extents released (解放されたエクステント数)	前回に統計が記録された以降に DSA から解放されたエクステントの数。 ソース・フィールド: SMSEXTSR
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	この DSA からの GETMAIN 要求数。 ソース・フィールド: SMSGMREQ
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	この DSA からの FREEMAIN 要求数。 ソース・フィールド: SMSFMREQ
Current number of Subpools (現在のサブプール数)	この DSA 内に現在あるサブプール (ドメインおよびタスク) 数。 ソース・フィールド: SMSCSUBP
Add Subpool Requests (サブプールの追加要求数)	この DSA からサブプール (ドメインまたはタスク) を作成する ADD_SUBPOOL 要求の数。 ソース・フィールド: SMSASR
Delete Subpool Requests (サブプールの削除要求数)	この DSA からの DELETE_SUBPOOL 要求 (ドメインまたはタスク) の数。 ソース・フィールド: SMSDSR
Times no storage returned (ストレージを戻していない回数)	SUSPEND(NO) が設定されている GETMAIN 要求が状態 INSUFFICIENT_STORAGE を戻す回数。 ソース・フィールド: SMSCRISS

表 *248. 2 GB* より上のストレージ内のフィールド・レポート *(*パート *2) (*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Times request suspended (要求が中断された回数)	その時点で要求を満たすための十分なストレージがないため、SUSPEND(YES) が設定されている GETMAIN 要求が中断される回数。 ソース・フィールド: SMSUCSS
Current requests suspended (現在の要求が中断された回数)	ストレージに対して現在中断されている GETMAIN 要求の数。 ソース・フィールド: SMSCSS
Peak requests suspended (要求が中断されたピーク)	ストレージに対して中断された GETMAIN 要求のピーク数。 ソース・フィールド: SMSHWMSS
Requests purged while waiting (待機中にパージされた要求数)	ストレージに対して中断されている間にパージされた要求の数。 ソース・フィールド: SMSPWWS
Times Cushion released (クッションが解放された回数)	GETMAIN 要求によってストレージ・クッションがリリースされる回数。ストレージ・クッションは、フリー・ページの数がストレージ・クッションの中のページ数を下回ったときに解放され、この DSA のサイズを大きくするために使用できるフリー・エクステントはもうありません。 ソース・フィールド: SMSCREL
Times Short-On-Storage (ストレージ不足の回数)	この DSA 内の CICS が SOS になった回数。ここで、SOS は、クッションが現在使用中であるか、少なくとも 1 つのタスクがストレージ待ちで中断されているか、あるいはその両方を意味します。 ソース・フィールド: SMSSOS
Total time Short-On-Storage (ストレージ不足の合計時間)	この DSA 内で CICS が SOS であった累積時間。 ソース・フィールド: SMSTSOS
Average Short-On-Storage time (ストレージ不足の平均時間)	この DSA 内で CICS が SOS であった平均時間。 ソース・フィールド: (SMSTSOS / SMSSOS)
記憶保護違反	DSA に記録された記憶保護違反の数。 ソース・フィールド: SMSSV
Access (アクセス)	この DSA のアクセス・タイプ。 値は、CICS または USER です。ストレージ保護がアクティブでない場合は、ストレージ域が CICS のアクセス・タイプに復帰します。 • CICS - アクセスは CICS キー。 • USER - アクセスはユーザー・キー。 ソース・フィールド: SMSACCESS

注**:**

1. この統計で参照される記憶域について詳しくは、『z/OS MVS Programming: Extended Addressability Guide』の『64 ビット・アドレス・スペースの使用』を参照してください。

ストレージ - ドメイン・サブプール・レポート

ストレージ・サブプール・レポートでは、CICS ドメインおよびタスク・ストレージ・サブプールの割り振りおよび使用に関する統計が提供されています。

サブプール・レポートには、以下の 2 つのパートがあります。

- CICS 内に割り振られ、読み取り専用で、動的ストレージ域 (DSA) (つまり、CDSA、RDSA、SDSA、ECDSA、ERDSA、ESDSA、ETDSA、GCDSA、および GSDSA) を共用するストレージ・ドメイン・サブプールのみで構成されているドメイン・サブプール。このレポートの情報は、**EXEC CICS INQUIRE SUBPOOL** および **EXEC CICS COLLECT STATISTICS SUBPOOL** コマンドを使用して収集します。ドメイン・サブプールは、すべてのドメイン・サブプール情報を表すために、いくつかの共用フィールドを持つ 2 つのレポートに分割されます。
- ユーザー・タスク存続時間ストレージに割り振られているサブプールのみで構成されているタスク・サブプール。 このレポートの情報は、**EXEC CICS COLLECT STATISTICS TASKSUBPOOL** コマンドを使用して収集します。

表 *249.* ストレージ - ドメイン・サブプール・レポートのフィールド *(*その *1)*

フィールド・ヘッダー	説明
Subpool Name (サブプール名)	ドメイン・サブプールの 8 文字の固有名。 ドメイン・サブプール・フィールドの値については、CICS サブプールで説明しています。 ソース・フィールド: SMDSPN
場所	ドメイン・サブプールの割り振り元の DSA の名前。値は、CDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、または GSDSA です。 ソース・フィールド: SMDDSANAME
Access (アクセス)	サブプールのアクセス・タイプ。 値は CICS、READONLY、または TRUSTED です。ストレージ保護がアクティブでない場合は、ストレージ域 (RDSA または ERDSA 内にある CICS のアクセス・タイプを除く) が CICS のアクセス・タイプに復帰します。 • SMDCICS (X'01') アクセスは CICS キー。 • SMDREADONLY (X'03') は読み取り専用保護。 • SMDTRUSTED (X'04') アクセスは CICS キー。 ソース・フィールド: SMDACCESS
Element Type (エレメント・タイプ)	サブプール内のすべてのエレメントが固定長か可変長かを指示します。 ソース・フィールド: SMDETYPE
Element Length (エレメントの長さ)	各サブプール・エレメントの長さです (固定長のサブプールにのみ適用される)。 サブプール・エレメントについて詳しくは、CICS サブプールを参照してください。 ソース・フィールド: SMDFLEN
Initial Free (初期フリー)	ドメイン・サブプールが事前割り振りされるときに割り振られるエレメントの合計数 (KB)。 ソース・フィールド: SMDIFREE

表 249. ストレージ - ドメイン・サブプール・レポートのフィールド (その 1) (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current Elements (現行エレメント)	サブプール内のストレージ・エレメントの現在の数。 FREEMAIN 要求の後に残るエレメントの数。つまり、GETMAIN 要求と FREEMAIN 要求の数の差です。 ソース・フィールド: SMDCELEM
Current Element Stg (現行エレメント・ストレージ)	サブプール内のすべてのエレメントの長さの合計をバイトで表します。 ソース・フィールド: SMDCES
Current Page Stg (現在のページ・ストレージ)	サブプールに割り振られたすべてのページに使用されるスペースをバイト (または 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージではメガバイト) で表します。 ソース・フィールド: SMDCPS
% of DSA (DSA のパーセント)	サブプールが存在する DSA のパーセントとしてのサブプールの現行エレメント・ストレージ。 このフィールドは、GCDSA または GSDSA には適用されません。 ソース・フィールド: ((SMDCPS / *dsasize*) * 100)
Peak Page Stg (ピーク・ページ・ストレージ)	このサブプールのストレージ要件をサポートするために割り振られるピーク・ページ・ストレージをバイト (または 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージではメガバイト) で表します。 ソース・フィールド: SMDHWMPS

表 250. ストレージ - ドメイン・サブプール・レポートのフィールド (その 2)

フィールド・ヘッダー	説明
Subpool Name (サブプール名)	ドメイン・サブプールの 8 文字の固有名。 ドメイン・サブプール・フィールドの値については、CICS サブプールで説明しています。 ソース・フィールド: SMDSPN
場所	ドメイン・サブプールの割り振り元の DSA の名前。値は、CDSA、SDSA、RDSA、ECDSA、ESDSA、ERDSA、ETDSA、GCDSA、または GSDSA です。 ソース・フィールド: SMDDSANAME
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	サブプールに対する GETMAIN 要求の総数。 ソース・フィールド: SMDGMREQ
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	サブプールに対する FREEMAIN 要求の総数。 ソース・フィールド: SMDFMREQ
Current Element Stg (現行エレメント・ストレージ)	サブプール内のすべてのエレメントの長さの合計をバイトで表します。 ソース・フィールド: SMDCES
Current Page Stg (現在のページ・ストレージ)	サブプールに割り振られたすべてのページに使用されるスペースをバイト (または 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージではメガバイト) で表します。 ソース・フィールド: SMDCPS

表 *250.* ストレージ - ドメイン・サブプール・レポートのフィールド *(*その *2) (*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Peak Page Stg (ピーク・ページ・ストレージ)	このサブプールのストレージ要件をサポートするために割り振られるピーク・ページ・ストレージをバイト (または 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージではメガバイト) で表します。 ソース・フィールド: SMDHWMPS

表 *251.* ストレージ - ドメイン・サブプール合計レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
DSA Name (DSA 名)	サブプールが適用される CICS 動的ストレージ域の省略名。 ソース・フィールド: SMDSANAME
Number of Subpools (サブプールの数)	この DSA 内のサブプールの合計数。
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	この DSA 内のサブプールに対する GETMAIN 要求の合計数。 ソース・フィールド: DSA ごとの SMDGMREQ 値の合計
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	この DSA 内のサブプールに対する FREEMAIN 要求の合計数。 ソース・フィールド: DSA ごとの SMDFMREQ 値の合計
Current Elements (現行エレメント)	FREEMAIN 要求の後に残るエレメントの合計数。つまり、GETMAIN 要求と FREEMAIN 要求の合計数の差です。 ソース・フィールド: DSA ごとのすべての SMDCELEM 値の合計
Current Element Stg (現行エレメント・ストレージ)	現行エレメントのストレージの総量 (バイト)。 ソース・フィールド: DSA ごとのすべての SMDCES 値の合計
Current Page Stg (現在のページ・ストレージ)	すべての DSA のサブプール・ページ・ストレージの総量 (キロバイト)(もしくは 64 ビット (2 GB 境界より上) ストレージの場合はメガバイト)。 ソース・フィールド: DSA ごとのすべての SMDCPS 値の合計
% of DSA (DSA のパーセント)	サブプールが存在する DSA のパーセントとしてのすべてのサブプールの現行エレメント・ストレージ。 このフィールドは、GCDSA または GSDSA には適用されません。 ソース: ((すべての SMDCPS 値の合計 / *dsasize*) * 100)
% of DSA Limit (DSA 限界のパーセント)	サブプールが存在する DSA 限界のパーセントとしてのすべてのサブプールの現行エレメント・ストレージ。 このフィールドは、GCDSA または GSDSA には適用されません。 ソース: ((すべての SMDCPS 値の合計 / *dsalimit*) * 100)

表 *252.* タスク・サブプール・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Subpool Name (サブプール名)	タスク・ストレージを含む DSA ページ・プールの名前。 ソース・フィールド: SMDSPN

表 252. タスク・サブプール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Access (アクセス)	サブプールのアクセス・タイプ。 アクセス・タイプは、CICS (キー 8) または USER (キー 9) にできます。 ソース・フィールド: SMTACCESS
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	この動的ストレージ域からのタスク・サブプール GETMAIN 要求の総数。これは、このサブプールに対して発行された GETMAIN 要求の数です。 ソース・フィールド: SMTGMREQ
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	この動的ストレージ域からのタスク・サブプール FREEMAIN 要求の総数。. これは、このサブプールに対して発行された FREEMAIN 要求の数です。 ソース・フィールド: SMTFMREQ
Current Elements (現行エレメント)	この動的ストレージ域内のすべてのタスク・サブプール内のエレメントの数です。これは、FREEMAIN 要求の後に残るエレメントの数 (GETMAIN 要求数と FREEMAIN 要求数の差) です。 ソース・フィールド: SMTCNE
Current Element Stg (現行エレメント・ストレージ)	この動的ストレージ域内のタスク・サブプールのすべてのエレメントによって占有されるストレージの合計を、バイトで表したものです。 ソース・フィールド: SMTCES
Average Element Size (平均エレメント・サイズ)	バイト数で表したエレメントの平均サイズ。 ソース・フィールド: (SMTCES / SMTCNE)
Current Page Stg (現在のページ・ストレージ)	この動的ストレージ域内のタスク・サブプールに割り振られたすべてのページ内のストレージの合計。この値はキロバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMTCPS
% of DSA (DSA のパーセント)	サブプールが存在する DSA のパーセントとしてのサブプールの現行エレメント・ストレージ。 ソース・フィールド: ((SMTCPS / *dsasize*) * 100)
Peak Page Stg (ピーク・ページ・ストレージ)	この動的ストレージ域内のタスク・ストレージ・アクティビティーをサポートするために割り振られたピーク・ページ・ストレージ。この値はキロバイトで表されます。 ソース・フィールド: SMTHWMPS

ストレージ - プログラム・サブプール・レポート

ストレージのサブプール・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STORAGE** コマンドを使用して作成します。統計データは、**DFHSMDDS DSECT** によってマップされます。

表 253. ストレージ - プログラム・サブプール・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Subpool Name (サブプール名)	ドメイン・サブプールの名前。 ソース・フィールド: SMDSPN

表 253. ストレージ - プログラム・サブプール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Subpool Location (サブプール・ロケーション)	ドメイン・サブプールの DSA ロケーション。 ソース・フィールド: SMDLOCN
Current Storage (現在のストレージ)	このドメイン・サブプールに割り振られたストレージの現在量。 ソース・フィールド: SMDCPS
Peak Storage (ストレージのピーク)	このドメイン・サブプールに割り振られたストレージのピーク量。 ソース・フィールド: SMDHWMPS

システム状況レポート

システム状況レポートは、さまざまなソースから生成されます。使用されるコマンドの詳細は、表に示されています。

表 254. システム状況レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
システム状況	
MVS プロダクト名	MVS の製品レベル ソース・フィールド: MVS フィールド CVTPRODN
CICS Transaction Server Level (CICS Transaction Server レベル)	CICS Transaction Server の製品バージョン、リリース、およびモディフィケーション番号 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM CICSTSLEVEL**
CICS Startup (CICS スタートアップ)	CICS 始動のタイプ ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM STARTUP**(*cvda*)**COLDSTATUS**(*cvda*)
MVS Workload Manager (WLM) Mode (MVS Workload Manager (WLM) モード)	CICS 領域で作動中の z/OS ワークロード・マネージャー (WLM) モード。 ソース・フィールド: MNG-WLM-MODE
CICS Status (CICS 状況)	ローカル CICS システムの状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM CICSSTATUS**(*cvda*)
WLM Server (WLM サーバー)	CICS 領域が z/OS ワークロード・マネージャー・サーバーであるかどうかを示します。 ソース・フィールド: MNG-SERVER-STATUS
CEC Machine Type and Model (CEC マシン・タイプおよび型)	CICS 領域が稼働している物理ハードウェア環境の CEC マシン・タイプおよび型式番号。 ソース・フィールド: MNG-CEC-MACHINE-TYPE、 MNG-CEC-MODEL-NUMBER
WLM Manage Region Using Goals of (ゴールを使用した WLM 管理領域)	z/OS ワークロード・マネージャーが、領域ゴール、トランザクション・ゴール、またはその両方を使用して CICS アドレス・スペースを管理するかどうか。 ソース・フィールド: MNG-WLM-AS-GOAL-MANAGEMENT

表 254. システム状況レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
WLM Workload Name (WLM ワークロード名)	CICS 領域に対して定義されているワークロードの名前。 ソース・フィールド: MNG-WORKLOAD-NAME
VTAM Open Status (VTAM オープン状況)	この CICS システムの z/OS Communications Server 接続の状況 (VTAM は z/OS Communications Server の以前の名称です)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE VTAM OPENSTATUS**(*cvda*)
WLM Service Class (WLM サービス・クラス)	CICS 領域の z/OS ワークロード・マネージャー・サービス・クラスのクラス名。 ソース・フィールド: MNG-SERVICE-CLASS
IRC Status (IRC 状況)	この CICS システムの IRC の状況 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE IRC OPENSTATUS**(*cvda*)
WLM Report Class (WLM レポート・クラス)	z/OS ワークロード・マネージャーのレポート・クラスの名前を示します (ある場合)。 ソース・フィールド: MNG-REPORT-CLASS
IRC XCF Group Name (IRC XCF グループ名)	この領域がメンバーであるシステム間カップリング・ファシリティー (XCF) グループの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE IRC XCFGROUP**(*data-area*)
WLM Resource Group (WLM リソース・グループ)	z/OS ワークロード・マネージャーのリソース・グループの名前を示します (ある場合)。 ソース・フィールド: MNG-RESOURCE-GROUP
WLM Goal Type (WLM ゴール・タイプ)	CICS アドレス・スペース用の z/OS ワークロード・マネージャーのゴール・タイプ ソース・フィールド: MNG-WLM-AS-GOAL-TYPE
Storage Protection (ストレージ保護)	ストレージ保護の状況 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM STOREPROTECT**(*cvda*)
WLM Goal Value (WLM ゴール値)	z/OS ワークロード・マネージャーのゴール・タイプが「Velocity (速度)」の場合、CICS アドレス・スペースのゴール値。 ソース・フィールド: MNG-WLM-AS-GOAL-VALUE
Transaction Isolation (トランザクション分離)	トランザクション分離の状況を示します。 ソース・フィールド: SMSTRANISO
WLM Goal Importance (WLM ゴール重要度)	CICS アドレス・スペース用の z/OS ワークロード・マネージャーのゴールの重要度レベル。 5 が最も低く、1 が最も高くなります。 ソース・フィールド: MNG-WLM-AS-GOAL-IMPORTANCE
Reentrant Programs (再入可能プログラム)	キー 0 保護ストレージに読み取り専用プログラムが常駐しているかどうか ソース・フィールド: SMSRENTPGM
WLM CPU Critical (WLM CPU クリティカル)	長期的なプロセッサー保護が z/OS ワークロード・マネージャー内の CICS アドレス・スペースに割り当てられているかどうか。 ソース・フィールド: MNG-WLM-AS-CPU-CRITICAL

表 254. システム状況レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Exec storage command checking (Exec ストレージ・コマンドの検証)	CICS が EXEC CICS コマンドの出力パラメーターとして参照されるストレージの開始アドレスを検証するかどうか ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM CMDPROTECT**(*cvda*)
WLM Storage Critical (WLM ストレージ・クリティカル)	長期的なストレージ保護が z/OS ワークロード・マネージャー内の CICS アドレス・スペースに割り当てられているかどうか ソース・フィールド: MNG-WLM-AS-STG-CRITICAL
Force Quasi-Reentrant (疑似再入の強制)	CICS が CONCURRENCY(THREADSAFE) として指定されているすべてのユーザー・アプリケーションを CICS QR TCB の下で実行するように強制するかどうか ソース・フィールド:**EXEC CICS INQUIRE SYSTEM FORCEQR**(*cvda*)
RLS Status (RLS 状況)	この CICS システムの VSAM RLS の状況 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM RLSSTATUS**(*cvda*)
RRMS/MVS Status (RRMS/MVS 状況)	この CICS システムの RRMS/MVS の状況 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE RRMS OPENSTATUS**(*cvda*)
Program Autoinstall (プログラム自動インストール)	プログラム自動インストールの状況 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM PROGAUTOINST**(*cvda*)
Terminal Autoinstall (端末自動インストール)	端末の自動インストールの状況 ソース・フィールド **EXEC CICS INQUIRE AUTOINSTALL**(*cvda*)
TCP/IP Status (TCP/IP 状況)	この CICS システムの TCP/IP の状況 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIP OPENSTATUS**(*cvda*)
Activity Keypoint Frequency (活動キーポイント頻度)	キーポイントの取得と取得の間のロギング操作数である、現行の活動キーポイントのトリガー値を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM AKP**(*data area*).
Max IP Sockets (IP ソケット最大数)	CICS ソケット・ドメインで管理することができる IP ソケットの最大数を示します。 ソース・フィールド:**EXEC CICS INQUIRE TCPIP MAXSOCKETS()**
Logstream Deferred Force Interval (ログ・ストリーム据え置き強制間隔)	現在のログ・ストリーム据え置き強制インターバル。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM LOGDEFER()**
Active IP Sockets (アクティブ IP ソケット数)	CICS ソケット・ドメインによって管理される現在の IP ソケット数を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIP ACTSOCKETS()**
DB2 Connection Name (DB2 接続名)	現在インストールされている DB2 接続の名前を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE SYSTEM DB2CONN**(*data area*)
DB2 Connection Status (DB2 接続状況)	CICS-DB2 接続の状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE DB2CONN() CONNECTST**(*cvda*)

表 254. システム状況レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
WEB Garbage Collection Interval (WEB ガーベッジ・コレクション間隔)	Web 3270 状態データをクリーンアップするために Web ガーベッジ・コレクション・タスクが実行される現行の間隔 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEB GARBAGEINT()**
Terminal Input timeout Interval (端末入力タイムアウト間隔)	非アクティブな Web 3270 セッションがガーベッジ・コレクション可能になるまでの現行の期間 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEB TIMEOUTINT()**
モニター	
モニター	CICS モニターがシステム内でアクティブになっているかどうか ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MONITOR STATUS**(*cvda*)
Exception Class (例外クラス)	CICS モニター・データの例外クラスが収集されているかどうか ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MONITOR EXCEPTCLASS**(*cvda*)
Performance Class (パフォーマンス・クラス)	CICS モニター・データのパフォーマンス・クラスが収集されているかどうか ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MONITOR PERFCLASS**(*cvda*)
Resource Class (リソース・クラス)	CICS モニター・データのトランザクション・リソースが収集されているかどうか ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MONITOR RESRCECLASS**(*cvda*)
Identity Class (ID クラス)	CICS モニター・データの ID クラスが収集されているかどうか ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MONITOR IDNTYCLASS**(*cvda*)
Data Compression Option (データ圧縮オプション)	CICS による SMF 110 モニター・レコード出力に対して、データ圧縮がアクティブかどうか ソース・フィールド: MNG-COMPRESSION-OPTION
Application Naming (アプリケーション・ネーミング)	CICS アプリケーション・サポートが使用可能になっているかどうか ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MONITOR APPLNAMEST**(*cvda*)
RMI Option (RMI オプション)	トランザクションで使用されるリソース・マネージャーのパフォーマンス・モニター・データが収集されているかどうか ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MONITOR RMIST**(*cvda*)
Converse Option (会話型オプション)	タスク終了時および会話型タスクが端末入力を待機するたびにパフォーマンス・クラス・レコードを書き込むか、または結合端末の待機時に単一のパフォーマンス・クラス・レコードを書き込むかどうか ソース・フィールド:**EXEC CICS INQUIRE MONITOR CONVERSEST**(*cvda*)
Syncpoint Option (同期点オプション)	複数の作業単位 (UOW) を含むタスク内のそれぞれの UOW ごとに個別にパフォーマンス・モニター・データが記録されるか、または単一のタスク内のすべての UOW が結合されてパフォーマンス・モニター・データが記録されるかどうか ソース・フィールド:**EXEC CICS INQUIRE MONITOR SYNCPOINTST**(*cvda*)
Time Option (時間オプション)	COLLECT STATISTICS MONITOR コマンドを使用するアプリケーションに戻されるパフォーマンス・クラスのタイム・スタンプ・フィールドが、現地時間または GMT のどちらで表されるか ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MONITOR TIME**(*cvda*)

表 254. システム状況レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
DPL Resource Limit (DPL リソース限界)	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となる分散プログラム・リンクの最大数 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MONITOR DPLLIMIT**(*cvda*)
File Resource Limit (ファイル・リソース限界)	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となるファイルの最大数 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE MONITOR FILELIMIT**(*cvda*)
Tsqueue Resource Limit (Tsqueue リソース限界)	トランザクション・リソース・モニターの実行対象となる一時記憶域キューの最大数 ソース・フィールド:**EXEC CICS INQUIRE MONITOR TSQUEUELIMIT**(*cvda*)
Exception Class Records (例外クラス・レコード数)	SMF に書き込まれる例外レコード数を示します。 ソース・フィールド: MNGER
Exception Class Suppressed (抑止された例外クラス)	出口点 XMNOUT でグローバル・ユーザー出口プログラムによって抑制される例外レコード数を示します。 ソース・フィールド: MNGERS
Performance Class Records (パフォーマンス・クラス・レコード数)	SMF への出力にスケジュールされるパフォーマンス・レコード数を示します。 モニター・ドメインはパフォーマンス・クラス・レコードをバッファーに入れます。モニターが非活動状態の場合は、バッファーに入れられたパフォーマンス・クラス・レコードはレポートに含まれません。 ソース・フィールド: MNGPR
Performance Records Suppressed (抑制されたパフォーマンス・レコード数)	出口点 XMNOUT でグローバル・ユーザー出口プログラムによって抑制されるパフォーマンス・レコード数を示します。 ソース・フィールド: MNGPRS
Resource Class Records (リソース・クラス・レコード数)	SMF への出力にスケジュールされるトランザクション・リソース・レコード数を示します。 モニター・ドメインはトランザクション・リソース・クラス・レコードをバッファーに入れます。 モニターが非活動状態の場合は、バッファーに入れられたトランザクション・リソース・クラス・レコードはレポートに含まれません。 ソース・フィールド: MNGRR
Resource Records Suppressed (抑制されたリソース・レコード数)	出口点 XMNOUT でグローバル・ユーザー出口プログラムによって抑制されるトランザクション・リソース・レコード数を示します。 ソース・フィールド: MNGRRS
Identity Class Records (ID クラス・レコード数)	SMF への出力にスケジュールされる ID クラス・レコード数を示します。 モニター・ドメインは ID クラス・レコードをバッファーに入れます。 モニターが非活動状態の場合は、バッファーに入れられた ID クラス・レコードはレポートに含まれません。 ソース・フィールド: MNGIR
Identity Records Suppressed (抑制された ID レコード数)	出口点 XMNOUT でグローバル・ユーザー出口プログラムによって抑制される ID クラス・レコード数を示します。 ソース・フィールド: MNGIRS

表 *254.* システム状況レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Monitoring SMF Records (モニター SMF レコード数)	SMF データ・セットに書き込まれるモニター SMF レコード数を示します。 CICS は、モニター・ドメインに例外の完了が通知されるとすぐに例外クラス SMF レコードを書き込むため、SMF レコードごとの例外レコードは 1 つになります。例えば、パフォーマンス・クラスの場合は、SMF レコードごとに数多くのパフォーマンス・クラス・レコードがあります。 パフォーマンス・クラスの SMF レコードは、バッファーがいっぱいになったり、パフォーマンス・クラスが非活動化されたり、CICS が静止したりする場合に書き込まれます。 ソース・フィールド: MNGSMFR
Monitoring SMF Errors (モニター SMF エラー)	SMF へのモニター・レコードの書き込み要求からの正常でない応答の数を示します。 このカウントは、SMF が非アクティブであるなど、何らかの理由で SMF 書き込みが失敗した場合に増分します。 ソース・フィールド: MNGSMFE
Monitoring SMF Records Compressed (圧縮されたモニター SMF レコード数)	SMF データ・セットに書き込まれる圧縮されたモニター・レコードの数。 この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。 ソース・フィールド: MNGSMFCM
Monitoring SMF Records Not Compressed (圧縮されていないモニター SMF レコード数)	SMF データ・セットに書き込まれるデータ圧縮されていないモニター・レコード数。この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。 ソース・フィールド: MNGSMFNC
Percentage of SMF Records Compressed (圧縮された SMF レコードのパーセント)	SMF データ・セットに書き込まれる圧縮されたモニター・レコードのパーセント。この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。 ソース・フィールド: (MNGSMFCM / (MNGSMFCM + MNGSMFNC)) * 100
Statistics (統計)	
Statistics Recording (統計記録)	統計記録の状況を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STATISTICS RECORDING**(*cvda*)
Statistics Last Reset Time (前回統計リセット時刻)	前回統計リセットの時刻を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS LASTRESET()**
Elapsed Time Since Reset (リセット以降の経過時間)	前回統計リセット以降の経過時間を示します。
Statistics Interval (統計間隔)	統計記録間隔の現行状況を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STATISTICS INTERVAL**
Next Statistics Collection (次の統計収集)	次の統計記録時間を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STATISTICS NEXTTIME**
Statistics End-of-Day Time (統計終了時刻)	統計の記録の現行の終了時刻を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE STATISTICS ENDOFDAY**
Statistics Start Date and Time (統計開始日時)	統計の記録の現行の開始日時を示します。 ソース・フィールド: STGCSTRT

表 254. システム状況レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Statistics SMF Records (統計 SMF レコード数)	SMF への統計レコードの書き込みに対する抑制された要求数を示します。 ソース・フィールド: STGSMFS
Statistics SMF Writes Suppressed (抑制された統計 SMF 書き込み数)	SMF データ・セットに書き込まれる統計 SMF レコード数を示します。 ソース・フィールド: STGSMFW
Statistics SMF Errors (統計 SMF エラー数)	SMF への統計レコードの書き込み要求からの正常でない応答の数を示します。 このカウントは、SMF が非アクティブであるなど、何らかの理由で SMF 書き込みが失敗した場合に増分します。 ソース・フィールド: STGSMFE
Current tasks at last attach (最後の接続時の現行タスク数)	最後のトランザクション接続時に領域で接続されていた現行ユーザー・トランザクション数。 ソース・フィールド: MNGCAUTA
MXT value at last attach (最後の接続時の MXT 値)	最後のトランザクション接続時の現行 MXT 値。 ソース・フィールド: MNGMXUTA
Time last user transaction attached (最後のユーザー・トランザクションが接続された時刻)	最後のユーザー・トランザクションが接続された日時。 DFH0STAT レポートで日時が --/--/---- --:--:--:---- と示される場合は、統計が最後にリセットされてからユーザー・トランザクションが接続されていないことを表しています。 ソース・フィールド: MNGLUTAT
Time last user transaction ended (最後のユーザー・トランザクションが終了した時刻)	最後のユーザー・トランザクションが終了した日時。 DFH0STAT レポートで日時が --/--/---- --:--:--:---- と示される場合は、統計が最後にリセットされてからユーザー・トランザクションが接続されていないことを表しています。 ソース・フィールド: MNGLUTCL
System transactions (システム・トランザクション数)	統計インターバルの間に終了したシステム・トランザクションの数。 ソース・フィールド: MNGSTNUM
User transactions ended (終了ユーザー・トランザクション数)	統計インターバルの間に終了したユーザー・トランザクションの数。 ソース・フィールド: MNGUTNUM
Total transactions ended (終了した合計トランザクション数)	統計インターバルの間に終了したシステムおよびユーザー・トランザクションの合計。 ソース・フィールド: (MNGSTNUM + MNGUTNUM)
Average user transaction resp time (ユーザー・トランザクションの平均応答時間)	ユーザー・トランザクションのローリング平均応答時間。 ソース・フィールド: MNGAUTRT
ユーザー・トランザクションのピーク時における応答時間	ユーザー・トランザクションの最大応答時間。 ソース・フィールド: MNGPUTRT

表 254. システム状況レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Peak user transaction resp time at (ユーザー・トランザクションのピーク応答時間の時刻)	ユーザー・トランザクションの最大応答時間の日時。 ソース・フィールド: MNGLUTRT
Total transaction CPU time (合計トランザクション CPU 時間)	一定期間に完了したトランザクションによって使用された CICS ディスパッチャー管理 TCB モードで累積されたトランザクションの合計 CPU 時間。 ソース・フィールド: MNGCPUT
Total transaction CPU time on CP (CP での 合計トランザクション CPU 時間)	一定期間に完了したトランザクションによって使用された CICS ディスパッチャー管理 TCB モードで累積された標準プロセッサーでのトランザクションの合計 CPU 時間。 ソース・フィールド: MNGTONCP
Total transaction CPU offload on CP (CP での合計トランザクション CPU オフロード)	一定期間に完了したトランザクションによって使用された CICS ディスパッチャー管理 TCB モードで累積された、専用プロセッサー (zIIP または zAAP) へのオフロードに適格であった標準プロセッサーでのトランザクションの合計 CPU 時間。 ソース・フィールド: MNGOFLCP
Average Compressed Record Length (圧縮レコード長の平均)	圧縮されたそれらのモニター・レコードから計算された、SMF データ・セットに書き込まれるモニター・レコードの圧縮レコード長のローリング平均。 この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。 ソース・フィールド: MNGAVCRL
Average Uncompressed Record Length (非圧縮レコード長の平均)	SMF データ・セットに書き込まれるデータ圧縮されていないモニター・レコードのレコード長のローリング平均。 この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。 ソース・フィールド: MNGAVURL
Average Record Compression Percent (レコード圧縮率の平均)	レコード長圧縮のパーセントの平均。 この情報は、モニター・レコードのデータ圧縮がアクティブであるときにのみ収集されます。 ソース・フィールド: (MNGAVURL - MNGAVCRL) / MNGAVURL) * 100
トレース状況	
Internal Trace Status (内部トレース状況)	内部トレースの状況を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST INTSTATUS**(*cvda*)
Auxiliary Trace Status (補助トレース状況)	補助トレースの状況を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST AUXSTATUS**(*cvda*)
GTF Trace Status (GTF トレース状況)	GTF トレースの状況を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST GTFSTATUS**(*cvda*)
Internal Trace Table Size (内部トレース・テーブル・サイズ)	内部トレース・テーブルの現行サイズを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST TABLESIZE**
Current Auxiliary Dataset (現在の補助データ・セット)	現行の補助トレース・データ・セットの名前を示します ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST CURAUXDS**(*cvda*)

表 254. システム状況レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Auxiliary Switch Status (補助スイッチ状況)	補助トレースの自動スイッチ機能の状況を示します。 ソース・フィールド:**EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST SWITCHSTATUS**(*cvda*)
Dumps (ダンプ)	
System Dumps (システム・ダンプ)	取得されたシステム・ダンプ数を示します。 ソース・フィールド: SDGSDREQ
System Dumps Suppressed (抑止システム・ダンプ)	抑制されたシステム・ダンプ数を示します。 ソース・フィールド: SDGSDSUP
Transaction Dumps (トランザクション・ダンプ)	取得されたトランザクション・ダンプ数を示します。 ソース・フィールド: SDGTDREQ
Transaction Dumps Suppressed (抑止トランザクション・ダンプ)	抑制されたトランザクション・ダンプ数を示します。 ソース・フィールド: SDGTDSUP

TCP/IP レポート

TCP/IP レポートおよび TCP/IP サービス・レポートという 2 種類の TCP/IP レポートがあります。

TCP/IP レポート

TCP/IP レポートは、**EXEC CICS INQUIRE TCPIP** コマンドと **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TCPIP** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHSOGDS DSECT** によってマップされます。

表 255. *TCP/IP* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
TCP/IP Status (TCP/IP 状況)	この CICS システムの TCP/IP の現行状況 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIP OPENSTATUS()**
SSLCACHE setting (SSLCACHE の設定)	SSL でセッション ID にローカルのキャッシングを使用するか、SYSPLEX のキャッシングを使用するかを指定する SSLCACHE システム初期設定パラメーターの設定。 ソース・フィールド: SOG-SSLCACHE
Active SSL TCBs (アクティブ SSL TCB)	SSL プール内の S8 TCB の数を示します。 ソース・フィールド: INQUIRE DISPATCHER ACTSSLTCBS()
Maximum SSL TCBs (MAXSSLTCBS) (SSL TCB の最大数 (MAXSSLTCBS))	**MAXSSLTCBS** システム初期設定パラメーターで指定されている、SSL プールで許可される S8 TCB の最大数を示します。 ソース・フィールド: INQUIRE DISPATCHER MAXSSLTCBS()

表 255. TCP/IP レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Max IP sockets (MAXSOCKETS) limit (最大 IP ソケット (MAXSOCKETS) 限界)	CICS ソケット・ドメインで管理することができる IP ソケットの最大数を示します。 ソース・フィールド: SOG-MAXSOCKETS-LIMIT
Times the MAXSOCKETS limit was reached (MAXSOCKETS 限度に達した回数)	IP ソケット制限の最大数 (MAXSOCKETS) に達した回数。 ソース・フィールド: SOG-TIMES-AT-MAXSOCKETS
Current Active IP sockets (現在アクティブな IP ソケット数)	CICS ソケット・ドメインによって管理される現在の IP ソケット数を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIP ACTSOCKETS()**
Current number of inbound sockets (インバウンド・ソケットの現在の数)	インバウンド・ソケットの現在の数。 ソース・フィールド: SOG-CURR-INBOUND-SOCKETS
Current non-persistent inbound sockets (非永続インバウンド・ソケットの現在の数)	非永続インバウンド・ソケットの現在の数。 ソース・フィールド: SOG-CURR-NPERS-INB-SOCKETS
Current persistent inbound sockets (永続インバウンド・ソケットの現在の数)	永続インバウンド・ソケットの現在の数。 ソース・フィールド: SOG-CURR-INBOUND-SOCKETS - SOG-CURR-NPERS-INB-SOCKETS
Peak number of inbound sockets (インバウンド・ソケットのピーク数)	インバウンド・ソケットのピーク数。 ソース・フィールド: SOG-PEAK-INBOUND-SOCKETS
Peak non-persistent inbound sockets (非永続インバウンド・ソケットのピーク数)	非永続インバウンド・ソケットのピーク数。 ソース・フィールド: SOG-PEAK-NPERS-INB-SOCKETS
Peak persistent inbound sockets (永続インバウンド・ソケットのピーク数)	永続インバウンド・ソケットのピーク数。 ソース・フィールド: SOG-PEAK-PERS-INB-SOCKETS
Number of inbound sockets created (作成されたインバウンド・ソケットの数)	作成されたインバウンド・ソケットの合計数。 ソース・フィールド: SOG-INBOUND-SOCKETS-CREATED
Non-persistent inbound sockets created (作成された非永続アウトバウンド・ソケット数)	作成された非永続インバウンド・ソケットの合計数。 ソース・フィールド: SOG-NPERS-INB-SOCKETS-CREATED
Persistent inbound sockets created (作成された永続インバウンド・ソケット数)	作成された永続インバウンド・ソケットの合計数。 ソース・フィールド: SOG-INB-SOCKETS-CREATED - SOG-NPERS-INB-SOCKETS-CREATED
Current number of outbound sockets (アウトバウンド・ソケットの現在の数)	アウトバウンド・ソケットの現在の数。 ソース・フィールド: SOG-CURR-OUTB-SOCKETS + SOG-CURR-PERS-OUTB-SOCKETS

表 255. TCP/IP レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current non-persistent outbound sockets (非永続アウトバウンド・ソケットの現在の数)	非永続アウトバウンド・ソケットの現在の数。 ソース・フィールド: SOG-CURR-OUTB-SOCKETS
Current persistent outbound sockets (永続アウトバウンド・ソケットの現在の数)	永続アウトバウンド・ソケットの現在の数。 ソース・フィールド: SOG-CURR-PERS-OUTB-SOCKETS
アウトバウンド・ソケットのピーク数	永続/非永続の両方のアウトバウンド・ソケットのピーク数。 ソース・フィールド: SOG-PEAK-BOTH-OUTB-SOCKETS
Peak non-persistent outbound sockets (非永続アウトバウンド・ソケットのピーク数)	非永続アウトバウンド・ソケットのピーク数。 ソース・フィールド: SOG-PEAK-OUTB-SOCKETS
パーシスタント・アウトバウンド・ソケット数のピーク	永続アウトバウンド・ソケットのピーク数。 ソース・フィールド: SOG-PEAK-PERS-OUTB-SOCKETS
Total times pooled sockets reused (プール内のソケットが再使用された合計回数)	プール内の接続が再使用された合計回数。 ソース・フィールド: SOG-TIMES-OUTB-REUSED
Number of outbound sockets created (作成されたアウトバウンド・ソケットの数)	作成されたアウトバウンド・ソケットの合計数。 ソース・フィールド: SOG-OUTBOUND-SOCKETS-CREATED
Persistent outbound sockets created (作成された永続アウトバウンド・ソケット数)	作成された永続アウトバウンド・ソケットの総数。 ソース・フィールド: SOG-PERS-OUTBOUND-CREATED
Number of outbound sockets closed (クローズされたアウトバウンド・ソケットの数)	クローズされたアウトバウンド・ソケットの合計数。 ソース・フィールド: SOG-OUTBOUND-SOCKETS-CLOSED
Total number of inbound and outbound sockets created (作成されたインバウンドおよびアウトバウンド・ソケットの合計数)	作成されたインバウンドおよびアウトバウンド・ソケットの合計数。 ソース・フィールド: SOG-INBOUND-SOCKETS-CREATED + SOG-OUTBOUND-SOCKETS-CREATED
Create socket requests delayed by MAXSOCKETS (MAXSOCKETS により遅延したソケット作成要求の数)	システムが MAXSOCKETS 制限に達したために遅延した、ソケット作成要求の数。 ソース・フィールド: SOG-DELAYED-AT-MAX-SOCKETS
Total MAXSOCKETS delay time (MAXSOCKETS 遅延時間の合計)	システムが MAXSOCKETS 制限に達したために、ソケット作成要求が遅延した合計時間。 ソース・フィールド: SOG-QTIME-AT-MAX-SOCKETS
Average MAXSOCKETS delay time (平均 MAXSOCKETS 遅延時間)	システムが MAXSOCKETS 制限に達したために、ソケット作成要求が遅延した平均時間。 ソース・フィールド: SOG-QTIME-AT-MAX-SOCKETS / SOG-DELAYED-AT-MAX-SOCKETS

表 255. TCP/IP レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Create requests that timed-out at MAXSOCKETS (MAXSOCKETS でタイムアウトになった作成要求の数)	システムが MAXSOCKETS 制限に達したために遅延している間にタイムアウトになった、ソケット作成要求の数。 ソース・フィールド: SOG-TIMEDOUT-AT-MAXSOCKETS
Current create requests delayed by MAXSOCKETS (MAXSOCKETS により遅延した作成要求の現在の数)	システムが MAXSOCKETS 制限に達しているために遅延している、ソケット作成要求の現在の数。 ソース・フィールド: SOG-CURR-DELAYED-AT-MAX
Peak create socket reqs delayed by MAXSOCKETS (MAXSOCKETS により遅延したソケット作成要求のピーク数)	システムが MAXSOCKETS 制限に達したために遅延した、ソケット作成要求のピーク数。 ソース・フィールド: SOG-PEAK-DELAYED-AT-MAX
Total delay time for current create requests (現在の作成要求の合計遅延時間)	システムが MAXSOCKETS 制限に達しているために、現在遅延しているソケット作成要求の遅延時間の合計。 ソース・フィールド: SOG-CURRENT-QTIME-AT-MAX
Average delay for current requests (現在の要求の平均遅延時間)	システムが MAXSOCKETS 制限に達しているために、現在遅延しているソケット作成要求の平均遅延時間。 ソース・フィールド: SOG-CURRENT-QTIME-AT-MAX / SOG-CURR-DELAYED-AT-MAX
Performance tuning for HTTP connections (HTTP 接続のパフォーマンス・チューニング)	HTTP 接続のパフォーマンス・チューニングが使用可能かどうかを示します。 ソース・フィールド: SOG-SOTUNING
Listener pausing listening for HTTP connections (HTTP 接続のリスニングを一時停止しているリスナー)	領域内のタスクの数が新規 HTTP 接続要求の受け入れ限界に達したためにリスナーが HTTP 接続要求のリスニングを一時停止したかどうかを示します。 ソース・フィールド: SOG-PAUSING-HTTP-LISTENING
Times listener notified at task accept limit (リスナーがタスク受け入れの限界に達して通知した回数)	領域内のタスクの数が新規 HTTP 接続要求の受け入れ限界に達したことをリスナーが通知された回数。 ソース・フィールド: SOG-TIMES-AT-ACCEPT-LIMIT
リスニングが休止した最終時刻	領域内のタスクの数が新規 HTTP 接続要求の受け入れ限界に達したためにソケット・リスナーが HTTP 接続要求のリスニングを一時停止した最終時刻。DFHSTUP レポートでは、この時間は**日/月/年 時：分：秒：小数部** で表されます。ただし、DSECT フィールドには、現地時間の保管クロック (STCK) の値としての時間が含まれています。DFHSTUP レポートで日時が `--/--/---- --:--:--:----` と示される場合は、統計が最後にリセットされてからリスナーが HTTP 接続要求のリスニングを一度も一時停止していないことを表しています。 ソース・フィールド: SOG-TIME-LAST-PAUSED-LISTENING
HTTP 接続持続性を停止している領域	領域内のタスク数が限界を超えたために、次の要求が完了するときに領域が既存の永続接続を停止し、新しい接続を非永続にしているかどうかを示します。 ソース・フィールド: SOG-STOPPING-PERSISTENCE

表 *255. TCP/IP* レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
Times region stopped HTTP connection persistence (領域が HTTP 接続永続性を停止した回数)	領域内のタスク数が限界を超えたために、次の要求が完了するときに既存の永続接続を停止して新しい接続を非永続にするためのアクションを領域が取った回数。 ソース・フィールド: SOG-TIMES-STOPPED-PERSISTENT
Region last stopped persistence (最後に永続性を停止した領域)	領域内のタスク数が限界を超えたために、次の要求が完了するときに既存の永続接続を停止して新しい接続を非永続にするためのアクションを領域が取った最終時刻。DFH0STAT レポートで日時が `--/--/---- --:--:--:----` と示される場合、統計が最後にリセットされてからこの状態が発生していないことを表しています。 ソース・フィールド: SOG-TIME-LAST-STOPPED-PERSIST
Persistent connections made non-persistent	領域内のタスクの数が限界を超えたために持続 HTTP 接続が非持続になった回数。 ソース・フィールド: SOG-TIMES-MADE-NON-PERSISTENT
Times disconnected a connection at max uses (最大使用回数に達したために接続が切断された回数)	使用回数が限界を超えたために持続 HTTP 接続が切断された回数です。 ソース・フィールド: SOG-TIMES-CONN-DISC-AT-MAX

TCP/IP サービス・レポート

TCP/IP サービス・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE** コマンドと **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TCPIPSERVICE** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHSORDS DSECT** によってマップされます。

表 *256. TCP/IP* サービス・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
TCPIPSERVICE Name (TCPIPSERVICE 名)	TCP/IP サービスの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE()**
TCPIPSERVICE Open Status (TCPIPSERVICE オープン状況)	TCP/IP サービスの現在の状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() OPENSTATUS**(*cvda*)
Open Date and Time (オープン日時)	この TCP/IP サービスが開かれた日時。 ソース・フィールド: SOR-OPEN-LOCAL
TCPIPSERVICE Protocol (TCPIPSERVICE プロトコル)	このサービスに使用されているプロトコル。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() PROTOCOL**(*cvda*)
TCPIPSERVICE Port (TCPIPSERVICE ポート)	CICS がこのサービスのために listen するポート番号。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() PORT()**
TCPIPSERVICE Host (TCPIPSERVICE ホスト)	リモート・システムのホスト名またはその IP アドレス。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() HOST()**
TCPIPSERVICE IP Family (TCPIPSERVICE IP ファミリー)	「TCPIPSERVICE IP Resolved Address (TCPIPSERVICE IP 解決アドレス)」フィールドに戻されるアドレスのアドレス・フォーマット。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() IPFAMILY**(*cvda*)

表 256. TCP/IP サービス・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
TCPIPSERVICE IP Resolved Address (TCPIPSERVICE IP 解決アドレス)	ホストの IPv4 または IPv6 解決アドレス。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() IPRESOLVED()**
TCPIPSERVICE Transaction ID (TCPIPSERVICE トランザクション ID)	新規要求を処理するために開始されるトランザクションの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() TRANSID()**
TCPIPSERVICE Backlog Setting (TCPIPSERVICE バックログ設定)	この TCP/IP サービスのポート・バックログの設定。この設定は、このポートが着信要求を拒否し始める前に、TCP/IP がキューに入れる要求の数を制御します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() BACKLOG()**
TCPIPSERVICE URM (TCPIPSERVICE ユーザー置き換え可能モジュール)	接続されたタスクによって呼び出される、サービス・ユーザー置き換え可能モジュール (URM) の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() TSQPREFIX**
バックログの現在の最大値	TCP/IP サービスが現在そのバックログ・キューに入れることを許可している接続要求の最大数。TCP/IP サービスが複数のスタックで listen している場合は、該当するすべてのスタックについて合計した数になります。 この値は、TCP/IP サービスが、例えば SYNフラッディングがあると判断した場合に一時的にこの値を増やすため、TCPIPSERVICE バックログ設定 (SOR_BACKLOG) より大きくできます。 ソース・フィールド: SOR-CURR-MAX-BACKLOG
TCPIPSERVICE SSL Type (TCPIPSERVICE SSL タイプ)	サービスに使用されているセキュア・ソケットのレベル。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() SSLTYPE**(*cvda*)
TCPIPSERVICE Maxdata (TCPIPSERVICE 最大データ)	HTTP サーバーとしての CICS によって受信することが可能なデータの最大長の設定。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() MAXDATALEN()**
TCPIPSERVICE Authenticate (TCPIPSERVICE 認証)	このサービスを使用しているクライアントに要求された認証。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() AUTHENTICATE**(*cvda*)
TCPIPSERVICE Privacy (TCPIPSERVICE プライバシー)	このサービスへのインバウンド接続に必要な SSL 暗号化のレベル。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() PRIVACY**(*cvda*)
TCPIPSERVICE Attachsec (TCPIPSERVICE 接続セキュリティー)	TCP/IP サービス上の ECI の場合、CICS クライアントとの接続によって使用される、接続時のセキュリティーのレベル。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TCPIPSERVICE() ATTACHSEC**(*cvda*)
Current Connections (現行接続)	この TCP/IP サービスのための接続の現在の数。 ソース・フィールド: SOR-CURRENT-CONS
Peak Connections (接続のピーク)	この TCP/IP サービスのための接続のピーク数。 ソース・フィールド: SOR-PEAK-CONS
Transactions Attached (接続トランザクション)	この TCP/IP サービスのために接続されたトランザクションの合計数。 ソース・フィールド: SOR-TRANS-ATTACHED

表 256. *TCP/IP* サービス・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
接続合計数	TCP/IP サービスのために確立された接続の総数。 ソース・フィールド: SOR-TOTAL-CONNS
Send requests (送信要求数)	TCP/IP サービスに対して発行された送信要求の数。 ソース・フィールド: SOR-SENDS
Total Bytes Sent (合計送信バイト数)	TCP/IP サービスに対する、1 つの送信要求当たりの合計バイト数。 ソース・フィールド: SOR-BYTES-SENT
Receive requests (受信要求数)	TCP/IP サービスに対して発行された受信要求の数。 ソース・フィールド: SOR-RECEIVES
Total Bytes Received (合計受信バイト数)	TCP/IP サービスに対する、1 つの受信要求当たりの合計バイト数。 ソース・フィールド: SOR-BYTES-RECEIVED
Requests processed (処理された要求)	TCP/IP サービスによって処理された要求の数。 ソース・フィールド: SOR-REQUESTS
Maximum Persistent Connections (最大持続接続数)	CICS 領域が一度に受け入れる Web クライアントからの持続接続の最大数。 ソース・フィールド: SOR-TCPIPS-MAX-PERSIST
Non-Persistent Connections (非永続接続数)	CICS が Web クライアントに持続接続を許可しなかった接続の数。 ソース・フィールド: SOR-TCPIPS-NON-PERSIST
Made non-persistent at MAXPERSIST (MAXPERSIST による非持続への変更)	MAXPERSIST に達したために新しい持続接続が非持続に変更された回数。 ソース・フィールド: SOR-NONP-AT-MAXPERSIST
Disconnected after maximum uses (最大使用後の切断)	HTTP 持続接続の使用数が限度を超えたために切断が発生した回数。 ソース・フィールド: SOR-DISC-AT-MAX-USES
Made non-persistent at task limit (タスク限度による非持続への変更)	領域内のタスク数が限度を超えたために新しい HTTP 持続接続が非持続に変更された回数。 ソース・フィールド: SOR-NONP-AT-TASK-LIMIT
Disconnected at task limit (タスク限度による切断)	領域内のタスク数が限度を超えたために既存の HTTP 持続接続が閉じられた回数。 ソース・フィールド: SOR-DISC-AT-TASK-LIMIT
現在のバックログ	バックログ・キューで待機している接続要求の現在の数。TCP/IP サービスが複数のスタックで listen している場合は、該当するすべてのスタックについて合計した数になります。 ソース・フィールド: SOR-CURR-BACKLOG
ドロップされた接続	バックログ・キューが満杯であるためにドロップされた接続の合計数。 ソース・フィールド: SOR-CONNS-DROPPED
接続の最終ドロップ時刻	TCP/IP サービスのバックログ・キューが満杯であるために接続が最後に拒否された時刻。 ソース・フィールド: SOR-CONN-LAST-DROPPED

一時記憶域レポート

一時記憶域レポート、一時記憶域メイン - ストレージ・サブプール・レポート、一時記憶域モデル・レポート、一時記憶域キュー・レポート、および共用 TS プールごとの一時記憶域キュー・レポートという 5 種類の一時記憶域レポートがあります。

一時記憶域レポート

一時記憶域レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TSQUEUE** コマンドを使用して作成します。統計データは、**DFHTSGDS DSECT** によってマップされます。

表 257. 一時記憶域レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Put/Putq main storage requests (主記憶域要求の書き込み)	アプリケーション・プログラムが、主一時記憶域に書き込んだレコードの数。 ソース・フィールド: TSGSTA5F
Get/Getq main storage requests (主記憶域要求の取得)	アプリケーション・プログラムが、主一時記憶域から取得したレコードの数。 ソース・フィールド: TSGNMG
Current TSMAINLIMIT setting (現在の TSMAINLIMIT 設定)	CICS が主一時記憶域内のデータ用に使用可能にするストレージ量の現在の制限。この量は KB で表されます。 ソース・フィールド: (TSGTSMLM / 1024)
Times at TSMAINLIMIT (TSMAINLIMIT 時の回数)	データ用に許可されているストレージ量の制限を超えて主一時記憶域を使用しようとした回数。 ソース・フィールド: TSGTSLHT
Current storage used for TSMAINLIMIT (TSMAINLIMIT に使用される現在のストレージ)	主一時記憶域内でデータ用に現在使用中のストレージの量。 この量は KB で表されます。 ソース・フィールド: (TSGTSMUS / 1024)
Peak storage used for TSMAINLIMIT (TSMAINLIMIT に使用されるストレージのピーク値)	主一時記憶域内のデータに使用されたストレージのピーク量。 この量は KB で表されます。 ソース・フィールド: (TSGTSMAX / 1024)
Number of queues auto deleted (自動削除されたキューの数)	CICS がクリーンアップ・タスクを使用して自動的に削除した一時記憶域キューの数。 ソース・フィールド: TSGTSQDL
Count of clean up task runs (クリーンアップ・タスクの実行回数)	適格な一時記憶域キューを自動的に削除する、クリーンアップ・タスクが実行された回数。 ソース・フィールド: TSGTSCTR
Put/Putq auxiliary storage requests (補助記憶域要求の書き込み)	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域に書き込んだレコードの数。 ソース・フィールド: TSGSTA7F
Get/Getq auxiliary storage requests (補助記憶域要求の取得)	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域から取得したレコードの数。 ソース・フィールド: TSGNAG

表 257. 一時記憶域レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Times temporary storage queue created (一時記憶域キューを作成した回数)	CICS が個々の一時記憶域キューを作成した回数。 ソース・フィールド: TSGSTA3F
Peak temporary storage queues in use (使用中の一時記憶域キューのピーク数)	特定の時点で使用されている、一時記憶域キューの名前のピーク数。 ソース・フィールド: TSGQNUMH
Current temporary storage queues in use (現在使用中の一時記憶域キュー)	使用されている一時記憶域キューの名前の現在の数。 ソース・フィールド: TSGQNUM
Items in longest queue (最長キュー内の項目)	いずれか 1 つの一時記憶域キュー内の項目のピーク数 (最大 32767)。 ソース・フィールド: TSGQINH
Control interval size (制御間隔サイズ)	一時記憶域データ・セットの VSAM CLUSTER 定義内の CONTROLINTERVALSIZE パラメーターで指定されている、DASD と主記憶域との間の VSAM 伝送単位のサイズ。 通常、大規模な制御間隔 (CI) を使用すると、一度により多くのデータを転送することができるため、システムのオーバーヘッドが少なくなります。 ソース・フィールド: TSGCSZ
Control intervals in the DFHTEMP data set (DFHTEMP データ・セット内の制御間隔数)	補助一時記憶域に使用可能な制御間隔 (CI) 数。 この数は、制御間隔数として表される、一時記憶域データ・セット上の使用可能スペースの合計です。 このスペースは、終了時に残っているスペースではありません。 ソース・フィールド: TSGNCI
Peak control intervals in use (使用中の制御間隔のピーク数)	アクティブ・データを含んでいる制御間隔 (CI) のピーク数。 ソース・フィールド: TSGNCIAH
Current control intervals in use (現在使用中の制御間隔)	アクティブ・データを含んでいる制御間隔 (CI) の現在数。 ソース・フィールド: TSGNCIA
Available bytes per control interval (制御間隔当たりの使用可能バイト数)	一時記憶域データ・セット制御間隔で使用可能なバイト数。 ソース・フィールド: TSGNAVB
Segments per control interval (制御間隔当たりのセグメント数)	各一時記憶域データ・セット制御間隔で使用可能なセグメント数。 ソース・フィールド: TSGSPCI
Bytes per segment (セグメントあたりのバイト数)	一時記憶域データ・セットの、セグメントあたりのバイト数。 ソース・フィールド: TSGBPSEG
Writes bigger than control interval size (制御間隔サイズより大きい書き込み数)	長さが制御間隔 (CI) のサイズよりも大きかったレコードの書き込み数。 報告された値が大きい値の場合は、CI サイズを増やしてください。 値がゼロの場合、小さい値が報告されるまで CI サイズを小さくしてください。 ソース・フィールド: TSGSTABF
Largest record length written (書き込まれた最大レコード長)	一時記憶域データ・セットに書き込まれた最も長いレコードのサイズで、バイトで表されます。 ソース・フィールド: TSGLAR

表 257. 一時記憶域レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Times auxiliary storage exhausted (補助記憶域を使い果たした回数)	NOSPACE 状態が原因で 1 つ以上のトランザクションが中断されている可能性のある状況、または (HANDLE CONDITION NOSPACE コマンドを使用して) 異常終了を強制された可能性のある状況の数。このフィールドに統計が示される場合は、一時記憶域データ・セットのサイズを増やしてください。 ソース・フィールド: TSGSTA8F
Number Temporary Storage compressions (一時記憶域圧縮回数)	一時記憶域バッファーが圧縮された回数。 ソース・フィールド: TSGSTA9F
Put auxiliary / compression ratio (補助/圧縮比率の書き込み)	一時記憶域圧縮回数に対する一時記憶域書き込み補助要求数の比率。 圧縮回数を最小にするには、この比率を可能な限り大きくする必要があります。 ソース・フィールド: (TSGSTA7F / TSGSTA9F)
Temporary storage strings (一時記憶域ストリング)	TS= システム初期設定パラメーターまたはオーバーライドで指定された、一時記憶域ストリングの数。 割り振られたストリングの数は、要求された数を超える可能性があります。 ソース・フィールド: TSGNVCA
Peak Temporary storage strings in use (使用中の一時記憶域ストリングのピーク数)	並行入出力操作のピーク数。 この数がシステム初期設定テーブル (SIT) で指定されている数より大幅に小さい場合は、この数に近づくように SIT 値を小さくすることを考慮してください。 ソース・フィールド: TSGNVCAH
Temporary storage string waits (一時記憶域ストリング待機数)	使用可能なストリングがなかったために、キューに入れられた入出力要求の数。 ストリング数がバッファー数と同じ場合は、この数はゼロになります。この数が入出力要求の合計数 (この場合は、TSGTWTN (バッファー書き込み) と TSGTRDN (バッファー読み取り) の合計) に占める割合が高い (30% 以上) 場合は、初期時に割り振られるストリング数を増やすことを検討してください。 ソース・フィールド: TSGVWTN
Peak users waiting on string (ストリングで待機中のピーク・ユーザー数)	すべてのストリングが使用中であったため、同時にキューに入れられていた入出力要求のピーク数。 ソース・フィールド: TSGVUWTH
Current users waiting on string (ストリングで待機中の現行ユーザー数)	すべてのストリングが使用中であるために、キューに入れられている入出力要求の現在の数。 ソース・フィールド: TSGVUWT
Temporary storage buffers (一時記憶域バッファー)	TS= システム初期設定パラメーターまたはオーバーライドで指定された、一時記憶域バッファーの数。 割り振られたバッファーの数は、要求された数を超える可能性があります。 ソース・フィールド: TSGNBCA
Temporary storage buffer waits (一時記憶域バッファー待機数)	すべてのバッファーが他のタスクに割り振られていたために、要求がキューに入れられた回数です。 バッファー待機は、他のバッファーが使用可能であっても、要求された制御間隔が既にロック済みバッファー内にあるために使用不可となっている場合にも発生します。 ソース・フィールド: TSGBWTN

表 257. 一時記憶域レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Peak users waiting on buffer (バッファーで待機中のピーク・ユーザー数)	使用可能なバッファーがなかったために、キューに入れられた要求のピーク数。 ソース・フィールド: TSGBUWTH
Current users waiting on buffer (バッファーで待機中の現行ユーザー数)	使用可能なバッファーがなかったために、キューに入れられている要求の現在の数。 ソース・フィールド: TSGBUWT
Temporary storage buffer reads (一時記憶域バッファー読み取り回数)	制御間隔 (CI) をディスクから読み取る必要がある回数。 このアクティビティーを減らすには、バッファー割り振りを増やします。 ソース・フィールド: TSGTRDN
Temporary storage buffer writes (一時記憶域バッファー書き込み回数)	一時記憶域データ・セットへの書き込みの回数。 これには、リカバリーのために必要な書き込み (『リカバリーに対する強制書き込み』を参照) と、別の制御間隔 (CI) を収容するために必要なバッファーへの書き込みの両方が含まれます。 後者によって生じる入出力アクティビティーを最小限に抑えるには、バッファー割り振りを増やします。 ソース・フィールド: TSGTWTN
Forced buffer writes for recovery (リカバリー用の強制バッファー書き込み数)	キューに対して指定されているリカバリーによって行われた書き込みの合計数のサブセット。 この入出力アクティビティーは、バッファー割り振りの影響を受けません。 ソース・フィールド: TSGTWTNR
Format writes (フォーマット書き込み数)	データ・セット内に、使用可能なスペースの量を増やすために、新規の制御間隔 (CI) がデータ・セットの終わりに正常に書き込まれた回数。 フォーマット済み書き込みは、補助データ・セットで現在使用可能な数の CI がすべて使用されている場合にのみ試行されます。 ソース・フィールド: TSGTWTNF
I/O errors on the DFHTEMP data set (DFHTEMP データ・セットの入出力エラー)	一時記憶域データ・セットで発生した入出力エラーの数。 通常、この数はゼロである必要があります。 ゼロでない場合は、CICS および VSAM メッセージを検査して原因を判別してください。 ソース・フィールド: TSGSTAAF
Shared Pools defined (定義済み共用プール)	CICS に定義された固有の共用 TS キュー・プールの数。 ソース・フィールド: TSGSHPDF
Shared Pools currently connected (現在接続されている共用プール)	この CICS 領域の接続先の共用 TS プールの数。 ソース・フィールド: TSGSHPCN
Shared temporary storage read requests (共用一時記憶域読み取り要求)	TS キューの共用 TS キュー・プールからの TS READQ 数。 ソース・フィールド: TSGSHRDS
Shared temporary storage write requests (共用一時記憶域書き込み要求)	TS キューの共用 TS キュー・プールへの TS WRITEQ 数。 ソース・フィールド: TSGSHWTS
Storage Subpool Location (ストレージ・サブプール・ロケーション)	TSBUFFRS ストレージ・サブプールのストレージ・ロケーション。 ソース・フィールド: SMDDSANAME

表 257. 一時記憶域レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	この TSBUFFRS ストレージ・サブプールに対して発行された getmain 要求の数。 ソース・フィールド: SMDGMREQ
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	この TSBUFFRS ストレージ・サブプールに対して発行された freemain 要求の数。 ソース・フィールド: SMDFMREQ
Current Elements (現行エレメント)	FREEMAIN 要求の後に残っているエレメントの数。すなわち、この TSBUFFRS ストレージ・サブプールに対する GETMAIN 要求数と FREEMAIN 要求数の差です。 ソース・フィールド: SMDCELEM
Current Element Storage (現行エレメント・ストレージ)	現行エレメントのストレージの量 (B)。 ソース・フィールド: SMDCES
Current Page Storage (現在のページ・ストレージ)	この TSBUFFRS ストレージ・サブプールのページ・ストレージの現在の量 (KB 単位)。 ソース・フィールド: SMDCPS
% of ECDSA (ECDSA の %)	TSBUFFRS ストレージ・サブプールが常駐している ECDSA のパーセンテージで表した、そのサブプールの現行エレメント・ストレージ。 ソース・フィールド: ((SMDCPS / ecdsasize) * 100)
Peak Page Storage (ピーク・ページ・ストレージ)	この TSBUFFRS ストレージ・サブプールのページ・ストレージのピークの量 (KB 単位)。 ソース・フィールド: SMDHWMPS

一時記憶域メイン - ストレージ・サブプール・レポート

一時記憶域メイン - ストレージ・サブプール・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STORAGE** コマンドを使用して作成されています。統計データは、**DFHSMDDS** によってマップされます。

統計データは、DFHSMDDS DSECT によってマップされます。

表 258. 一時記憶域メイン - ストレージ・サブプール・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Subpool Name (サブプール名)	一時記憶域メインのサブプールの名前。 ソース・フィールド: SMDSPN
場所	サブプールが存在する CICS 動的ストレージ域の省略名。 ???? は、このサブプールに対する一時記憶域メインのアクティビティーが存在していなかったことを意味します。 ソース・フィールド: SMDDSANAME
Access (アクセス)	サブプールのストレージ・キー。 これは、CICS (キー 8) または USER (キー 9) のいずれかです。 ???? は、このサブプールに対する一時記憶域メインのアクティビティーが存在していなかったことを意味します。 ソース・フィールド: SMDACCESS

表 *258.* 一時記憶域メイン - ストレージ・サブプール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Initial Free (初期フリー)	サブプールが事前割り振りされたときに、最初に割り振られたエレメントの合計数 (KB)。 ソース・フィールド: SMDIFREE
Getmain Requests (GETMAIN 要求数)	このサブプールに対して発行される GETMAIN 要求の数。 ソース・フィールド: SMDGMREQ
Freemain Requests (FREEMAIN 要求数)	このサブプールに対して発行される FREEMAIN 要求の数。 ソース・フィールド: SMDFMREQ
Current Elements (現行エレメント)	FREEMAIN 要求の後に残るエレメントの数。つまり、GETMAIN 要求と FREEMAIN 要求の数の差です。 ソース・フィールド: SMDCELEM
Current Element Stg (現行エレメント・ストレージ)	現行エレメントのストレージの量 (B)。 ソース・フィールド: SMDCES
Current Page Stg (現在のページ・ストレージ)	このサブプールにおける現行のページ・ストレージ量 (メガバイト単位)。 ソース・フィールド: SMDCPS
% of DSA (DSA のパーセント)	サブプールが存在する DSA のパーセントとしてのサブプールの現行エレメント・ストレージ。 ソース・フィールド: ((SMDCPS / dsasize) * 100)
Peak Page Stg (ピーク・ページ・ストレージ)	このサブプールに対するページ・ストレージのピーク量 (KB)。 ソース・フィールド: SMDHWMPS

一時記憶域モデル・レポート

一時記憶域モデル・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE TSMODEL** コマンドを使用して作成します。

表 *259.* 一時記憶域モデル・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
TSModel Name (TS モデル名)	一時記憶域モデルの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSMODEL()**
Tsmodel Prefix (TS モデル接頭部)	この一時記憶域モデルの接頭部。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSMODEL() PREFIX**
Tsmodel Location (TS モデル・ロケーション)	この一時記憶域モデルに一致するキューを保管するロケーション。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSMODEL() LOCATION**(*cvda*)
Tsmodel Poolname (TS モデル・プール名)	この一時記憶域モデルの共用プールの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSMODEL() POOLNAME**
Recoverable (リカバリー可能)	この一時記憶域モデルのリカバリー状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSMODEL() RECOVSTATUS**(*cvda*)

表 259. 一時記憶域モデル・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Expiry Interval (有効期限間隔)	この一時記憶域モデルに関連付けられた一時記憶域キューの有効期限間隔。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSMODEL() EXPIRYINTMIN**

一時記憶域キュー・レポート

一時記憶域キュー・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE TSQUEUE** コマンドを使用して作成します。

表 260. 一時記憶域キュー・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Tsqueue Name (TS キュー名)	一時記憶域キューの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME()**
Tsqueue Location (TS キュー・ロケーション)	一時記憶域キューが常駐している場所を示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() LOCATION**(*cvda*)
Number of Items (項目数)	一時記憶域キュー内の項目の数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() NUMITEMS()**
Min Item Length (最小項目長)	一時記憶域キュー内の最も小さい項目の長さ。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() MINITEMLEN()**
Max Item Length (最大項目長)	一時記憶域キュー内の最も大きい項目の長さ。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() MAXITEMLEN()**
Tsqueue Flength (TS キュー全長)	一時記憶域キュー内のすべての項目の全長。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() FLENGTH()**
Tranid (トランザクション ID)	一時記憶域キューを作成したトランザクションの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() TRANSID()**
Lastused Interval (最後に使用されたインターバル)	一時記憶域キューが最後に参照されてから以降の時間間隔。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() LASTUSEDINT()**
Recoverable (リカバリー可能)	一時記憶域キューがリカバリー可能かどうかを示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() RECOVSTATUS()**
Expiry Interval (有効期限間隔)	キューの作成時に TSMODEL リソース定義で定義された、この一時記憶域キューの有効期限間隔。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSMODEL() EXPIRYINTMIN()**

共用 TS プールごとの一時記憶域キュー・レポート

共用 TS プールごとの一時記憶域キュー・レポートでは、TS プール・サーバー上の共用 TS プールにある一時記憶域キューを示しています。 これらの一時記憶域キューは、現在、使用しているシステムのアドレス・スペースに存在するか、存在しな

いこともあります。 これらが、使用しているシステムのアドレス・スペースにない場合は、他の一時記憶域キュー・レポートには表示されません。

このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE TSPOOL** コマンドと **EXEC CICS INQUIRE TSQUEUE** コマンドの組み合わせを使用して作成します。

表 *261.* 共用 *TS* プールごとの *Tsqueue* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Shared TS Pool Name (共用 TS プール名)	共用一時記憶域プールの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSPOOL()**
Connection Status (接続状況)	プールの接続状況を示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSPOOL() CONNSTATUS**(*cvda*)
TSQueue Name (TS キュー名)	このプール内の一時記憶域キューの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME()**
Number of Items (項目数)	一時記憶域キュー内の項目の数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() NUMITEMS()**
Min Item Length (最小項目長)	一時記憶域キュー内の最も小さい項目の長さ。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() MINITEMLEN()**
Max Item Length (最大項目長)	一時記憶域キュー内の最も大きい項目の長さ。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() MAXITEMLEN()**
Tsqueue Flength (TS キュー全長)	一時記憶域キュー内のすべての項目の全長。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() FLENGTH()**
Tranid (トランザクション ID)	一時記憶域キューを作成したトランザクションの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() TRANSID()**
Lastused Interval (最後に使用されたインターバル)	一時記憶域キューが最後に参照されてから以降の時間間隔。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() LASTUSEDINT()**

端末自動インストールおよび z/OS Communications Server レポート

端末自動インストールおよび z/OS Communications Server レポートは、「端末自動インストール - ローカル端末」および「端末自動インストール - シップされた端末」の、状況に関する情報および統計を示しています。 このレポートには、CICS と z/OS Communications Server との間の接続、ストレージ使用量、総称リソース使用量、および持続セッションの統計の現在の状況も示されます。

端末自動インストールおよび z/OS Communications Server レポートは、**EXEC CICS INQUIRE AUTOINSTALL**、**INQUIRE VTAM**、および **EXEC CICS COLLECT STATISTICS AUTOINSTALL** コマンドと Communications Server コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、DFHA03DS および DFHA04DS DSECT によってマップされます。

注**:** VTAM は z/OS Communications Server の以前の名称です。

表 262. 端末自動インストール・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Terminal Autoinstall Status (端末自動インストール状況)	端末の自動インストールの現行状況を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE AUTOINSTALL ENABLESTATUS**(*cvda*)
Bridge Autoinstall (ブリッジ自動インストール)	ブリッジ・ファシリティーの自動インストールの現在の状況を示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE AUTOINSTALL AIBRIDGE**(*cvda*)
Console Autoinstall (コンソール自動インストール)	コンソールの自動インストールの現在の状況を示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE AUTOINSTALL CONSOLES**(*cvda*)
Autoinstall Program (自動インストール・プログラム)	ユーザー置き換え可能な端末自動インストール・モデル定義プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE AUTOINSTALL PROGRAM()**
Current Autoinstall Requests (現在の自動インストール要求数)	現在処理中の自動インストール要求の数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE AUTOINSTALL CURREQS()**
Peak Autoinstall Requests (自動インストール要求のピーク数)	並行して処理可能な自動インストール要求の最大数。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE AUTOINSTALL MAXREQS()**
Autoinstalls Attempted (試行された自動インストール数)	端末自動インストールの試行回数。 ソース・フィールド: A04VADAT
Autoinstalls Rejected (拒否された自動インストール数)	拒否された端末自動インストールの数。 ソース・フィールド: A04VADRJ
Autoinstalls Deleted (削除された自動インストール数)	削除された端末自動インストールの数。 ソース・フィールド: A04VADLO
Peak Concurrent Autoinstalls (並行自動インストールのピーク数)	並行して処理された自動インストール要求のピーク数。 ソース・フィールド: A04VADPK
Times Peak Concurrent reached (ピークに達した並行回数)	自動インストール要求がピークに達した回数。 ソース・フィールド: A04VADPX
Times SETLOGON HOLD issued (SETLOGON HOLD 実行回数)	これ以上のログオン要求が行われないようにするために、SETLOGON HOLD コマンドが実行された回数。 ソース・フィールド: A04VADSH
Number of Queued Logons (キューに入れられたログオンの数)	同一の端末に対して削除が進行中であったので、ログオンを待つためにキューに入れられていた自動インストールの試行回数。 ソース・フィールド: A04VADQT
Peak Number of Queued Logons (キューに入れられたログオンのピーク数)	ログオンのためにキューに入れられていた自動インストール試行のピーク数。 ソース・フィールド: A04VADQK
Times Peak Queued Logons reached (キューに入れられたログオンがピークに達した回数)	ログオンのためにキューに入れられていた自動インストール試行がピーク数に達した回数。 ソース・フィールド: A04VADQX

表 262. 端末自動インストール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Delete shipped definitions interval (シップされた定義の削除インターバル)	冗長なシップされた端末定義の現在の削除インターバル。 ソース・フィールド: A04RDINT
Delete shipped definitions Idle time (シップされた定義の削除アイドル時間)	非アクティブなシップされた端末定義が、削除対象として適格になる前に、この領域でインストール状態を保っておく必要のある、現在の最短時間。 ソース・フィールド: A04RDIDL
Shipped remote terminals built (構築されたシップされたリモート端末数)	この領域にインストールされていた、シップされた端末定義の合計数。 ソース・フィールド: A04SKBLT
Shipped remote terminals installed (インストールされたシップされたリモート端末数)	この領域に現在インストールされている、シップされた端末定義の数。 ソース・フィールド: A04SKINS
Shipped remote terminals deleted (削除されたシップされたリモート端末数)	この領域から削除された、シップされた端末定義の数。 ソース・フィールド: A04SKDEL
Times remote delete interval expired (リモート削除インターバルの期限切れ回数)	リモート削除インターバルが期限切れになった回数。 ソース・フィールド: A04TIEXP
Remote terminal deletes received (受信したリモート端末削除数)	この領域が受信したリモート削除要求の数。 ソース・フィールド: A04RDREC
Remote terminal deletes issued (発行したリモート端末削除数)	この領域が発行したリモート削除要求の数。 ソース・フィールド: A04RDISS
Successful remote terminal deletes (成功したリモート端末削除数)	リモート削除要求によって、この領域で削除されたシップされた端末定義の数。 ソース・フィールド: A04RDDEL
Current idle terminals awaiting reuse (再使用を待つ現在のアイドル端末数)	アイドル状態で再使用を待っているリモート端末定義の現在の数。 ソース・フィールド: A04CIDCT
Current idle time awaiting reuse (再使用を待つ現在のアイドル時間)	再使用を待っている、現在の数のリモート端末定義がアイドルになっていた合計時間。 ソース・フィールド: A04CIDLE
Current maximum idle time awaiting reuse (再使用を待つ現在の最大アイドル時間)	再使用を待っているリモート端末定義がアイドルになっている、現在の最大時間。 ソース・フィールド: A04CMAXI
Total idle terminal count awaiting reuse (再使用を待つ現在のアイドル端末の合計数)	アイドル状態で再使用を待っていたリモート端末定義の合計数。 ソース・フィールド: A04TIDCT
Total idle time awaiting reuse (再使用を待つアイドル時間の合計)	再使用を待っていた合計数のリモート端末定義がアイドルであった合計時間。 ソース・フィールド: A04TIDLE

表 262. 端末自動インストール・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Average idle time awaiting reuse (再使用を待つ平均アイドル時間)	リモート端末定義が、アイドル状態で再使用を待っていた平均時間。 ソース・フィールド: A04TIDLE / A04TIDCT
Maximum idle time awaiting reuse (再使用を待つ最大アイドル時間)	シップされた端末定義がアイドル状態で再使用を待っていた最大時間。 ソース・フィールド: A04TMAXI

表 263. *z/OS Communications Server* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
VTAM オープン状況	CICS と Communications Server の間の接続の現在の状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE VTAM OPENSTATUS**(*cvda*)
Dynamic open count (動的オープン・カウント)	Communications Server ACB が動的にオープンされた回数。 ソース・フィールド: A03DOC
VTAM Short-on-Storage (VTAM ストレージ不足)	一時 Communications Server ストレージに問題が存在していることを Communications Server が示した回数。 ソース・フィールド: A03VTSOS
MAX RPLs (最大 RPL 数)	CICS 端末制御の任意の 1 つのディスパッチで、Communications Server が通知した、任意受信要求パラメーター・リスト (RPL) の受信の最大数。 ソース・フィールド: A03RPLX
Times at MAX RPLs (最大 RPL の回数)	任意受信要求パラメーター・リスト (RPL) が最大数に達した回数。 ソース・フィールド: A03RPLXT
Current LUs in session (セッション内の LU の現在の数)	セッションに入っている LU の現在の数。 ソース・フィールド: A03LUNUM
Peak LUs in session (セッション内の LU のピーク数)	セッションに入っていた LU のピーク数。 ソース・フィールド: A03LUHWM
Generic Resource name (汎用リソース名)	この CICS 領域が Communications Server に登録を要求した汎用リソース・グループの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE VTAM GRNAME()**
Generic Resource status (汎用リソース状況)	汎用リソース登録の状況を示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE VTAM GRSTATUS**(*cvda*)
Persistent Session Type (持続セッション・タイプ)	システム初期設定パラメーター PSTYPE で指定された、CICS 領域での Communications Server 持続セッション・サポートの設定。 設定値は、以下のとおりです。 • SNPS - 単一ノードの持続セッション • MNPS - マルチノードの持続セッション • NOPS - 持続セッション・サポートは使用されません ソース・フィールド: A03PSTYP

表 263. *z/OS Communications Server* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Persistent Session Interval (持続セッションのインターバル)	システム初期設定パラメーター PSDINT で指定された、障害が生じた場合に持続セッションが保持される時間。 ソース・フィールド: A03PSDIN
Persistent Session Inquire count (持続セッション照会カウント)	持続セッションの数を照会するために、CICS が VTAM INQUIRE OPTCD=PERSESS を発行した回数。 ソース・フィールド: A03PSIC
Persistent Session NIB count (持続セッション NIB カウント)	持続していた Communications Server セッションの数。 ソース・フィールド: A03PSNC
Persistent Session Opndst count (持続セッション Opndst カウント)	正常に復元された持続セッションの数。 ソース・フィールド: A03PSOC
Persistent Session Unbind count (持続セッション・アンバインド・カウント)	停止した持続セッションの数。 ソース・フィールド: A03PSUC
Persistent Session Error count (持続セッション・エラー・カウント)	CICS が復元しようとしたときには既にアンバインドされていた持続セッションの数。 ソース・フィールド: A03PSEC

Tsqueue の合計レポート

Tsqueue の合計レポートは、**EXEC CICS INQUIRE TSQUEUE** コマンドを使用して収集されたデータから計算されます。

表 264. *Tsqueue* の合計レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Current temporary storage queues (現在の一時記憶域キュー数)	現在使用中の一時記憶域キューの合計数。
Current auxiliary temporary storage queues (現在の補助一時記憶域キュー数)	現在補助記憶域内にある一時記憶域キューの合計数。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() LOCATION(cvda)
Current items in auxiliary temporary storage queues (補助一時記憶域キュー内の現在の項目)	現在補助記憶域内の一時記憶域キューにある項目の合計数。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() NUMITEMS()
Average items per auxiliary temporary storage queue (補助一時記憶域キュー当たりの平均項目数)	現在補助記憶域内の各一時記憶域キューにある項目の平均数。 ソース・フィールド: 補助一時記憶域キュー内の現在の項目数 / 現在の補助一時記憶域キューの数
Current main temporary storage queues (現在の主一時記憶域キュー数)	現在主記憶域内にある一時記憶域キューの合計数。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() LOCATION(cvda)

表 *264. Tsqueue* の合計レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current items in main temporary storage queues (現在の主一時記憶域キュー内の項目数)	現在主記憶域内の一時記憶域キューにある項目の合計数。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TSQNAME() NUMITEMS()
Average items per main temporary storage queue (主一時記憶域キュー当たりの平均項目数)	現在主記憶域内の各一時記憶域キューにある項目の平均数。 ソース・フィールド: 主一時記憶域キュー内の現在の項目数 / 現在の主一時記憶域キューの数

トレース設定レポート

トレース設定レポートは、**EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST**、**EXEC CICS INQUIRE TRACEFLAG**、**EXEC CICS INQUIRE TRACETYPE**、**EXEC CICS INQUIRE TRANSACTION**、および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TRANSACTION** コマンドを使用して作成されます。

表 *265.* トレース設定レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
トレース設定	
Internal Trace Status (内部トレース状況)	CICS の内部トレースの状況 (開始済みまたは停止済み)。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST INTSTATUS
Internal Trace Table Size (内部トレース・テーブル・サイズ)	内部トレース・エントリーを格納するテーブルのサイズ。 このテーブルは、フルになると循環します。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST TABLESIZE
Auxiliary Trace Status (補助トレース状況)	CICS の補助トレースの状況 (開始済みまたは停止済み)。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST AUXSTATUS
Auxiliary Trace Dataset (補助トレース・データ・セット)	現在の補助トレース・データ・セット。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST CURAUXDS
Auxiliary Switch Status (補助スイッチ状況)	補助トレース用の初期データ・セットがフルになったときの処理を決定する補助スイッチの状況。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST SWITCHSTATUS
GTF Trace Status (GTF トレース状況)	CICS GTF トレースの状況 (開始済みまたは停止済み)。CICS がトレース・エントリーを MVS 汎用トレース機能 (GTF) に送信するかどうかを示します。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACEDEST GTFSTATUS
Master System Trace Flag (システム・マスター・トレース・フラグ)	CICS が標準のトレース・エントリーを作成するか、抑止するかを決定するシステムのマスター・トレース・フラグの状況。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACEFLAG SYSTEMSTATUS
Master User Trace Flag (ユーザー・マスター・トレース・フラグ)	例外以外のユーザー・トレース・エントリーを記録するか、抑止するかを決定するユーザー・マスター・トレース・フラグの状況。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACEFLAG SYSTEMSTATUS

表 265. トレース設定レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
VTAM Exit override (VTAM 出口ルーチンのオーバーライド)	CICS z/OS Communications Server 出口ルーチンの呼び出しをトレースすることを示します。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACEFLAG TCEXITSTATUS
JVM トレース・オプション	
Standard (標準)	このトレース・フラグの標準のトレース機能の設定。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACETYPE COMPID(SJ) STANDARD
Special (特殊)	このトレース・フラグの特殊なトレース機能の設定。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACETYPE COMPID(SJ) SPECIAL
コンポーネント・トレースのオプション	
コンポーネント	トレース機能のコンポーネントの名前。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACETYPE COMPID
説明	コンポーネントの説明。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACETYPE COMPID
Standard (標準)	このコンポーネントの標準のトレース機能のアクティブなレベル。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACETYPE COMPID() STANDARD
Special (特殊)	このコンポーネントの特殊なトレース機能のアクティブなレベル。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRACETYPE COMPID() SPECIAL
トランザクション - 標準以外のトレース機能	
Tran id (トランザクション ID)	トランザクションの名前。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRANSACTION
Tran Class (トランザクション・クラス)	トランザクションを定義するトランザクション・クラス。 ソース・フィールド: XMRTCL
Program Name (プログラム名)	トランザクションが定義されたときのプログラムの名前、またはプログラム名が提供されなかった場合はスペース。 ソース・フィールド: XMMRPN
Tracing (トレース)	このトランザクションを実行するタスクに対して実行するトレースのタイプ。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRANSACTION() TRACING
Attach Count (接続回数)	このトランザクションが接続された回数。 トランザクション定義を使用して、トランザクションをリモートで開始する場合は、そのトランザクションが実行する領域の「Attach Count (接続回数)」に組み込まれます。 ソース・フィールド: XMRAC
Restart Count (再始動カウント)	異常終了後に、このトランザクションが再始動した回数。 トランザクションが RESTART=YES として定義されていなかった場合、このフィールドはゼロです。 ソース・フィールド: XMRRC

表 265. トレース設定レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Dynamic Counts - Local (動的カウント - ローカル)	動的トランザクション・ルーティング出口が、このトランザクションをローカル・システムで実行することを選択した回数の合計数。トランザクションが DYNAMIC=YES として定義されていない場合、このフィールドはゼロです。 ソース・フィールド: XMRDLC
Dynamic Counts - Remote (動的カウント - リモート)	動的トランザクション・ルーティング出口が、このトランザクションをリモート・システムで実行することを選択した回数の合計数。トランザクションが DYNAMIC=YES として定義されていない場合、このフィールドはゼロです。 ソース・フィールド: XMRDRC
Remote Starts (リモート開始)	リモート・システムでトランザクションを始動するために、このトランザクション定義が使用された回数。追加情報については、『トランザクション・レポート』を参照してください。 ソース・フィールド: XMRRSC

トランザクション・レポート

トランザクション・レポート、トランザクション・クラス・レポート、トランザクション・マネージャー・レポート、およびトランザクションの合計レポートという 4 種類のトランザクション・レポートがあります。

トランザクション・レポート

トランザクション・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE TRANSACTION** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TRANSACTION** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHXMRDS** によってマップされます。

表 266. トランザクション・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Tran id (トランザクション ID)	トランザクションの名前。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRANSACTION
Tran Class (トランザクション・クラス)	トランザクションが定義されているトランザクション・クラスの名前。 ソース・フィールド: XMRTCL
Program Name (プログラム名)	トランザクションが定義されたときのプログラムの名前、またはプログラム名が提供されなかった場合はスペース。 ソース・フィールド: XMMRPN
Dynamic (動的)	トランザクションが動的として定義されたかどうかを示しています。 ソース・フィールド: XMRDYN
Isolate (分離)	トランザクションのユーザー・キーの、タスクと同じ寿命を持つストレージが、他のトランザクションのユーザー・キー・プログラムから分離されているかどうかを示しています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRANSACTION ISOLATEST

表 266. トランザクション・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Task Data Location (タスク・データ・ロケーション)	トランザクション用のいくつかの CICS 制御ブロックが配置される場所。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRANSACTION TASKDATALOC
Task Data Key (タスク・データ・キー)	トランザクションが使用するための全ストレージを CICS が取得するときのストレージ・キー。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRANSACTION TASKDATAKEY
Attach Count (接続回数)	このトランザクションが接続された回数。 トランザクション定義を使用して、トランザクションをリモートで開始する場合は、そのトランザクションが実行する領域の「Attach Count (接続回数)」に組み込まれます。 ソース・フィールド: XMRAC
Restart Count (再始動カウント)	異常終了後に、このトランザクションが再始動した回数。 トランザクションが RESTART=YES として定義されていなかった場合、このフィールドはゼロです。 ソース・フィールド: XMRRC
Dynamic Counts - Local (動的カウント - ローカル)	動的トランザクション・ルーティング出口が、このトランザクションをローカル・システムで実行することを選択した回数の合計数。 トランザクションが DYNAMIC=YES として定義されていない場合、このフィールドはゼロです。 ソース・フィールド: XMRDLC
Dynamic Counts - Remote (動的カウント - リモート)	動的トランザクション・ルーティング出口が、このトランザクションをリモート・システムで実行することを選択した回数の合計数。 トランザクションが DYNAMIC=YES として定義されていない場合、このフィールドはゼロです。 ソース・フィールド: XMRDRC
Remote Starts (リモート開始)	リモート・システムでトランザクションを始動するために、このトランザクション定義が使用された回数。 (これは、必ずしも正常開始の数とは同じではないことがあります。) リモート・スタートは、トランザクションが実行するリモート・システムではなく、プロセスを開始した CICS 領域でカウントされます。 状況によっては、リモート・スタートのトランザクション定義を使用した場合は、カウントされないことがあります。 このような場合としては、REMOTESYSTEM 値としてローカルのシステム ID を指定しているトランザクション定義、または何も指定していないトランザクション定義を用いて、START コマンドの SYSID オプションでリモート・システムを指定して、リモート・システムでトランザクションを開始する場合があります。 ソース・フィールド: XMRRSC
Storage Viols (記憶保護違反)	このトランザクション定義に対する記憶保護違反が検出された回数。 ソース・フィールド: XMRSVC
Abend Count (異常終了数)	このトランザクションが異常終了した回数。 ソース・フィールド: XMRAENDC

トランザクション・クラス・レポート

トランザクション・クラス・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE TRANCLASS** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TRANCLASS** コマンドの組み合わせを使用して作成します。

統計データは、DFHXMCDS DSECT によってマップされます。

表 *267.* トランザクション・クラス・レポート・パス *1* のフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Tclass Name (トランザクション・クラス名)	トランザクション・クラスの名前。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRANCLASS()
Trans in Tclass (トランザクション・クラス内のトランザクション数)	このトランザクション・クラスに定義されているトランザクション定義の数。 ソース・フィールド: XMCITD
Attach in Tclass (トランザクション・クラス内の接続)	このトランザクション・クラスのトランザクションに対する、トランザクション接続要求の数。 ソース・フィールド: XMCTAT
Class Limit (クラス限界)	このトランザクション・クラスで同時にアクティブになることのできるトランザクションの最大数。 ソース・フィールド: XMCMXT
At Class Limit (クラス限界到達)	このトランザクション・クラスが、そのトランザクション・クラスの制限に達した回数。 ソース・フィールド: XMCTAMA
Current Active (現在アクティブ)	このトランザクション・クラスでアクティブになっているトランザクションの現在の数。 ソース・フィールド: XMCCAT
Peak Active (アクティブのピーク数)	このトランザクション・クラスでアクティブになっているトランザクションのピーク数。 ソース・フィールド: XMCPAT
Current Queued (現在キュー内)	現在キューに入れられている、このトランザクション・クラスのトランザクションの現在の数。 ソース・フィールド: XMCCQT
Peak Queued (キューに入れられたピーク)	このトランザクション・クラスに入るために、キューで待機していたトランザクションのピーク数。 ソース・フィールド: XMCPQT
Accept Immediate (即時受け入れ)	このトランザクション・クラスに即時に受け入れられたトランザクションの数。 ソース・フィールド: XMCAI
Accept Queued (キューに入れられた受信)	このトランザクション・クラスに受け入れられる前に、キューに入れられていたトランザクションの数。 ソース・フィールド: XMCAAQ

表 *268.* トランザクション・クラス・レポート・パス *2* のフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Tclass Name (トランザクション・クラス名)	トランザクション・クラスの名前。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TRANCLASS()
Trans in Tclass (トランザクション・クラス内のトランザクション数)	このトランザクション・クラスに定義されているトランザクション定義の数。 ソース・フィールド: XMCITD
Class Limit (クラス限界)	このトランザクション・クラスで同時にアクティブになることのできるトランザクションの最大数。 ソース・フィールド: XMCMXT
Purge Threshold (パージしきい値)	このトランザクション・クラスのキュー制限パージしきい値。 ソース・フィールド: XMCTH
At Purge Threshold (パージしきい値到達)	このトランザクション・クラスが、そのキュー制限パージしきい値に達した回数。 ソース・フィールド: XMCTAPT
Purged Immediate (即時パージ)	キューが既にこのトランザクション・クラスのパージしきい値に達していたために、即時にパージされたトランザクションの数。 ソース・フィールド: XMCPI
Purged Queued (キューに入れられたパージ)	このトランザクション・クラスに入るためにキューに入っている間にパージされたトランザクションの数。 ソース・フィールド: XMCPWQ
Total Queued (キューに入れられた合計)	アクティブになったけれども、最初はこのトランザクション・クラスに入るためにキューに入れられていたトランザクションの合計数。 ソース・フィールド: XMCTQ
Avg. Queue Time (平均キュー時間)	アクティブになったけれども、最初はこのトランザクション・クラスに入るためにキューに入れられていたトランザクションの平均キュー時間。 ソース・フィールド: XMCTQTME / XMCTQ
Avg. Cur Queue Time (現在の平均キュー時間)	このトランザクション・クラスに入るために、現在キューで待機しているトランザクションの平均キューイング時間。 ソース・フィールド: XMCCQTME / XMCCQT

トランザクション・マネージャー・レポート

トランザクション・マネージャー・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TRANSACTION** コマンドを使用して作成します。

統計データは、DFHXMGDS DSECT によってマップされます。

表 269. トランザクション・マネージャー・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Total Accumulated transactions so far (これまでの累積トランザクションの合計)	これまでに累積したタスクの合計数。 ソース・フィールド: (XMGTNUM + XMGNUM)
Accumulated transactions (since reset) (累積トランザクション (リセットから))	最後にリセットされてから以降に累積したタスクの数。 ソース・フィールド: XMGNUM
Transaction Rate per second (毎秒当たりのトランザクション比率)	毎秒当たりのトランザクションの数。 ソース・フィールド: (XMGNUM / リセット以降に経過した秒数)
Maximum transactions allowed (MXT) (許可されたトランザクションの最大数)	SIT で指定されている、またはオーバーライドとして指定されている、または CEMT SET SYSTEM MAXTASKS (値) または EXEC CICS SET SYSTEM MAXTASKS (フルワード・バイナリー・データ値) コマンドを使用して動的に変更された、ユーザー・トランザクションの指定済み最大数。 ソース・フィールド: XMGMXT
Time MXT last changed (MXT の最終変更時刻)	ユーザー・トランザクション最大数 (MXT) が動的に設定または変更された最終日時。 ソース・フィールド: XMGLSMXT
Times at MXT (MXT の回数)	アクティブなユーザー・トランザクションが、ユーザー・トランザクションの指定済み最大数 (MXT) に等しくなった回数。 ソース・フィールド: XMGTAMXT
Time MXT last reached (MXT に達した最後の時刻)	アクティブなユーザー・トランザクションの数が指定済みユーザー・トランザクション最大数 (MXT) と等しくなった最後の日時。 ソース・フィールド: XMGLAMXT
Current Active User transactions (現在アクティブなユーザー・トランザクション数)	アクティブなユーザー・トランザクションの現在の数。 ソース・フィールド: XMGCAT
Currently at MXT (現在 MXT に到達)	CICS 領域が指定済みユーザー・トランザクション最大数 (MXT) に現在達しているかどうか。 ソース・フィールド: XMGATMXT
Peak Active User transactions (アクティブなユーザー・トランザクションのピーク)	アクティブなユーザー・トランザクションが達したピーク数。 ソース・フィールド: XMGPAT
Total Active User transactions (アクティブなユーザー・トランザクションの合計)	アクティブになったユーザー・トランザクションの合計数。 ソース・フィールド: XMGTAT
Time last transaction attached (最後のトランザクションが接続された時刻)	最後のユーザー・トランザクションが接続された日時。 DFH0STAT レポートで日時が --/--/---- --:--:--:---- と示される場合は、統計が最後にリセットされてからユーザー・トランザクションが接続されていないことを表しています。 ソース・フィールド: XMGLTAT

表 269. トランザクション・マネージャー・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Current Running transactions (現在実行中のトランザクション)	実行中のトランザクションの現在の数。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TASKLIST RUNNING
Current Dispatchable transactions (現在ディスパッチ可能なトランザクション)	ディスパッチ可能トランザクションの現在の数。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TASKLIST DISPATCHABLE
Current Suspended transactions (現在中断しているトランザクション)	中断しているトランザクションの現在の数。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE TASKLIST SUSPENDED
Current System transactions (現在のシステム・トランザクション)	システム・トランザクションの現在の数。 ソース・フィールド: ((実行中 +ディスパッチ可能 + 中断) - XMGCAT)
Transactions Delayed by MXT (MXT により遅延されたトランザクション)	MXT 上の理由で、アクティブになる前にキューに入る必要があったユーザー・トランザクションの数。まだ待機中のものは除外されます。 ソース・フィールド: XMGTDT
Total MXT Queueing Time (MXT キュー時間の合計)	MXT 上の理由で待機する必要があったユーザー・トランザクションが、待機に費やした合計時間。 **注:** これには、まだ待機中のトランザクションは含まれません。 ソース・フィールド: XMGTQTME
Average MXT Queueing Time (平均 MXT キュー時間)	MXT 上の理由で待機する必要があったユーザー・トランザクションが、待機に費やした平均時間。 ソース・フィールド: (XMGTQTME / XMGTDT)
Current Queued User transactions (現在キューに入っているユーザー・トランザクション)	MXT 上の理由で、現在キューに入っているユーザー・トランザクションの現在の数。 **注:** これには、現在キューに入っている、トランザクション・クラスのトランザクションは含まれません。 ソース・フィールド: XMGCQT
Peak Queued User transactions (キューに入っているユーザー・トランザクションのピーク数)	MXT 上の理由で、キューに入っているユーザー・トランザクションのピーク数。 **注:** これには、キューに入っている、トランザクション・クラスのトランザクションは含まれません。 ソース・フィールド: XMGPQT
Total Queueing Time for current queued (現在キューに入っているキュー時間の合計)	MXT 上の理由で現在キューに入っているユーザー・トランザクションが、待機するのに費やした合計時間。 **注:** これには、キューイングを終了したトランザクションが待機するのに費やした時間は含まれません。 ソース・フィールド: XMGCQTME
Average Queueing Time for current queued (現在キューに入っているキュー時間の平均)	MXT 上の理由で、現在キューに入っているユーザー・トランザクションが待機するのに費やした平均時間。 ソース・フィールド: (XMGCQTME / XMGCQT)

トランザクションの合計レポート

トランザクションの合計レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS STORAGE** コマンドを使用して作成します。

統計データは DFHSMSDS DSECT によってマップされました。

表 *270.* トランザクションの合計レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Isolate (分離)	トランザクションのユーザー・キーの、タスクと同じ寿命を持つストレージが、他のトランザクションのユーザー・キー・プログラムから分離されているかどうかを示しています。
Task Data Location/Key (タスク・データ・ロケーション/キー)	これらのトランザクションの、タスク・データ・ロケーションとタスク・データ・キーの組み合わせを示しています。
Subspace Usage (サブスペース使用)	これらのトランザクション定義のサブスペース使用のタイプを示しています。
Transaction Count (トランザクション・カウント)	分離した、タスク・データ・ロケーション、タスク・データ・キー、およびサブスペース使用のこの組み合わせに対するトランザクション定義の数。
Attach Count (接続回数)	これらのトランザクションが接続された回数。 トランザクション定義を使用して、トランザクションをリモートで開始する場合は、そのトランザクションが実行する領域の「Attach Count (接続回数)」に組み込まれます。
Current Unique Subspace Users (Isolate=Yes) (現在の固有サブスペース・ユーザー数 (分離 = はい))	固有のサブスペースが割り振られたタスクの現在の数。 ソース・フィールド: SMSUSSCUR
Peak Unique Subspace Users (Isolate=Yes) (固有サブスペース・ユーザーのピーク数 (分離 = はい))	固有のサブスペースが割り振られたタスクのピーク数。 ソース・フィールド: SMSUSSHWM
Total Unique Subspace Users (Isolate=Yes) (固有サブスペース・ユーザーの合計 (分離 = はい))	固有のサブスペースが割り振られたタスクの合計数。 ソース・フィールド: SMSUSSCUM
Current Common Subspace Users (Isolate=No) (現在の共通サブスペース・ユーザー数 (分離 = いいえ))	共通サブスペースに割り振られているタスクの現在の数。 ソース・フィールド: SMSCSSCUR
Peak Common Subspace Users (Isolate=No) (共通サブスペース・ユーザーのピーク数 (分離 = いいえ))	共通サブスペースに割り振られたタスクのピーク数。 ソース・フィールド: SMSCSSHWM
Total Common Subspace Users (Isolate=No) (共通サブスペース・ユーザーの合計 (分離 = いいえ))	共通サブスペースに割り振られたタスクの合計数。 ソース・フィールド: SMSCSSCUM

一時データ・レポート

一時データ・レポート、一時データ・キュー・レポート、および一時データ・キューの合計レポートという 3 種類の一時データ・レポートがあります。

一時データ・レポート

一時データ・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TDQUEUE** コマンドを使用して作成されています。統計データは、**DFHTQGDS** によってマップされます。

表 *271.* 一時データ・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Transient data reads (一時データ読み取り回数)	CI をディスクから読み取る必要がある回数。 バッファー割り振りを増やすと、このアクティビティーは減少します。 ソース・フィールド: TQGACTGT
Transient data writes (一時データ書き込み回数)	区画内一時データ・セットへの書き込みの数。 これには、リカバリーに必要な書き込み、および別の CI を収容するのに必要なバッファーによって強制的に行われた書き込みの両方が含まれます。 後者の理由で発生した入出力アクティビティーは、バッファー割り振りを増やすことによって最小化できます。 ソース・フィールド: TQGACTPT
Transient data formatting writes (一時データ・フォーマット書き込み回数)	使用可能なスペースを増やすために、データ・セットの最後に新規の CI が書き込まれた回数。 ソース・フィールド: TQGACTFT
Control interval size (制御間隔サイズ)	制御間隔のサイズ。バイトで表されます。 ソース・フィールド: TQGACISZ
Control intervals in the DFHINTRA data set (DFHINTRA データ・セット内の制御間隔)	区画内データ・セット DFHINTRA 内のアクティブな制御間隔の現在の数。 ソース・フィールド: TQGANCIS
Peak control intervals used (使用されているピークの制御間隔数)	システム内で同時にアクティブになっていた制御間隔数のピーク値。 ソース・フィールド: TQGAMXCI
Times NOSPACE on DFHINTRA occurred (DFHINTRA 上の NOSPACE の発生回数)	NOSPACE 状態が発生した回数。 ソース・フィールド: TQGANOSP
Transient data strings (一時データ・ストリング)	現在アクティブになっているストリングの数。 ソース・フィールド: TQGSTSTA
Times Transient data string in use (使用中の一時データ・ストリングの回数)	ストリングがアクセスされた回数。 ソース・フィールド: TQGSTNAL
Peak Transient data strings in use (使用中の一時データ・ストリングのピーク数)	システム内で同時にアクセスされたストリングのピーク数。 ソース・フィールド: TQGSMXAL

表 271. 一時データ・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Times string wait occurred (ストリング待機発生数)	使用可能なストリングがなかったために、タスクが待機する必要が生じた回数。 ソース・フィールド: TQGSTNWT
Peak users waiting on string (ストリングで待機中のピーク・ユーザー数)	システム内の同時ストリング待ちのピーク数。 ソース・フィールド: TQGSMXWT
Transient data buffers (一時データ・バッファー)	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT のオーバーライドで指定された一時データ・バッファーの数。割り振られたバッファーの数は、要求された数を超える可能性があります。 ソース・フィールド: TQGANBFA
Times Transient data buffer in use (使用中の一時データ・バッファーの回数)	区画内バッファーがアクセスされた回数。 ソース・フィールド: TQGATNAL
Peak Transient data buffers in use (使用中の一時データ・バッファーのピーク)	区画内バッファーへの同時アクセスの数のピーク値。 ソース・フィールド: TQGAMXAL
Peak buffers containing valid data (有効なデータを含むバッファーのピーク数)	有効なデータを含んでいる区画内バッファーのピーク数。 ソース・フィールド: TQGAMXIU
Times buffer wait occurred (バッファー待機発生数)	すべてのバッファーが他のタスクに割り振られていたために、要求がキューに入れられた回数です。 バッファー待機は、他のバッファーが使用可能であっても、要求された制御間隔が既にロック済みバッファー内にあるために使用不可となっている場合にも発生します。 ソース・フィールド: TQGATNWT
Peak users waiting on buffer (バッファーで待機中のピーク・ユーザー数)	使用可能なバッファーがなかったために、キューに入れられた要求のピーク数。 ソース・フィールド: TQGAMXWT
I/O errors on the DFHINTRA data set (DFHINTRA データ・セットの入出力エラー)	DFHINTRA データ・セットで発生した入出力エラーの数。 ソース・フィールド: TQGACTIO

一時データ・キュー・レポート

一時データ・キュー・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE TDQUEUE** コマンドと **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TDQUEUE** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHTQRDS DSECT** によってマップされます。

表 272. 一時データ・キュー・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Dest Id (宛先 ID)	宛先 ID (一時データ・キュー名)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TDQUEUE()**
Queue Type (キュー・タイプ)	キューのタイプ。区画外、区画内、間接、またはリモート。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TDQUEUE() TYPE(cvda)**

表 272. 一時データ・キュー・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Tdqueue Writes (TD キュー書き込み数)	一時データ・キューに書き込む要求の数。 ソース・フィールド: TQRWRITE
Tdqueue Reads (TD キュー読み取り数)	一時データ・キューから読み取る要求の数。 ソース・フィールド: TQRREAD
Tdqueue Deletes (TD キュー削除数)	一時データ・キューから削除する要求の数。 ソース・フィールド: TQRDELET
Indirect Name (間接名)	間接キューの名前。 ソース・フィールド: TQRIQID
Remote System (リモート・システム)	このキューのシステムのリモート接続名 (システム ID)。 ソース・フィールド: TQRRSYS
Remote Name (リモート名)	このキューのリモート・キュー名。 ソース・フィールド: TQRRQID
Current Items (現在の項目)	この区画内キューにある項目の現在の数。 ソース・フィールド: TQRCNITM
Peak Items (ピーク項目)	この区画内キューにある項目のピーク数。 ソース・フィールド: TQRPNITM
No.of triggers (トリガーの回数)	トリガー・トランザクションが接続された回数。 ソース・フィールド: TQRTRIGN
Trigger Level (トリガー・レベル)	自動トランザクション開始 (ATI) が発生する前に、このキューに入っている必要のある項目の数。 ソース・フィールド: TQRTRIGL
ATI Fcty (ATI 機能)	端末またはセッションがこのキューに関連付けられているかどうかを示しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TDQUEUE() ATIFACILITY(cvda)**
ATI Term (ATI 項目)	このキューに関連付けられている端末またはセッションの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TDQUEUE() ATITERMID()**
ATI Tran (ATI トランザクション)	このキューのトリガー・レベルに達したときに接続されるトランザクションの名前。 ソース・フィールド: TQRATRAN
ATI Userid (ATI ユーザー ID)	このキューに関連付けられているユーザー ID 。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TDQUEUE() ATIUSERID()**

一時データ・キューの合計レポート

一時データ・キュー合計レポートは、**EXEC CICS INQUIRE TDQUEUE** コマンドと **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS TDQUEUE** コマンドの組み合わせを使用して作成します。統計データは、**DFHTQRDS DSECT** によってマップされます。

表 *273.* 一時データ・キューの合計レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Tdqueue Type (TD キュー・タイプ)	キューのタイプ。区画外、区画内、間接、またはリモート。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE TDQUEUE() TYPE(cvda)**
No. of Tdqueues (TD キューの数)	このタイプとして定義されたキューの数。
Tdqueue Writes (TD キュー書き込み数)	このタイプの一時データ・キューに書き込む要求の合計数。 ソース・フィールド: TQRWRITE
Tdqueue Reads (TD キュー読み取り数)	このタイプの一時データ・キューから読み取る要求の合計数。 ソース・フィールド: TQRREADS
Tdqueue Deletes (TD キュー削除数)	このタイプの一時データ・キューから削除する要求の合計数。 ソース・フィールド: TQRDELET

URIMAP レポート

URIMAP グローバル・レポートおよび URIMAP レポートという 2 種類の URIMAP レポートがあります。

URIMAP グローバル・レポート

URIMAP グローバル・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS URIMAP** コマンドを使用して作成されています。 統計データは、**DFHWBGDS DSECT** によってマップされます。

表 *274. URIMAP* グローバル・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
URIMAP reference count (URIMAP の参照回数)	一致する URIMAP 定義を求めて検索が行われた回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-REFERENCE-COUNT
Entry point reference count (エントリー・ポイント参照カウント)	アプリケーション・エントリー・ポイントとして定義された、一致する URIMAP 定義の検索が行われた回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-ENTRYPOINT-REF
Host/Path no match count (ホスト/パス不一致回数)	一致する URIMAP 定義を求めて検索が行われたが、ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つからなかった回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-NO-MATCH-COUNT
Host/Path match count (ホスト/パス一致回数)	一致する URIMAP 定義を求めて検索が行われ、ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかった回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-MATCH-COUNT

表 274. *URIMAP* グローバル・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Disabled (使用不可)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかったが、その URIMAP 定義が使用不可であった回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-MATCH-DISABLED
Redirected (リダイレクト)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、要求がリダイレクトされた回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-MATCH-REDIRECT
Analyzer used (アナライザーの使用)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、TCPIPSERVICE 定義に関連付けられたアナライザー・プログラムが呼び出された回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-MATCH-ANALYZER
Static content delivered (静的内容の送信)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、静的内容 (文書テンプレートまたは z/OS UNIX ファイル) が応答として送信された回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-STATIC-CONTENT
Dynamic content delivered (動的内容の送信)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、(アプリケーション・プログラムによって作成された) 動的内容が応答として送信された回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-DYNAMIC-CONTENT
PIPELINE requests (PIPELINE 要求)	一致するホストとパスを持つ URIMAP 定義が見つかり、その要求が Web サービスにより処理された回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-PIPELINE-REQS
ATOMSERVICE requests (ATOMSERVICE 要求)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、Atom サービスによって要求が処理された回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-ATOMSERV-REQS
Scheme (HTTP) requests (スキーム (HTTP) 要求)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかり、かつスキームが HTTP であった回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-SCHEME-HTTP
Scheme (HTTPS) requests (スキーム (HTTPS) 要求)	一致するホストおよびパスの URIMAP 定義が検出され、スキームが HTTPS (SSL 付きの HTTP) だった回数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-SCHEME-HTTPS
Virtual host disabled count (仮想ホストの使用不可回数)	ホストとパスが一致する URIMAP 定義が見つかったが、仮想ホストが使用不可であった回数。 ソース・フィールド: WBG-HOST-DISABLED-COUNT
直接接続数	直接接続されたユーザー・タスクによって処理される要求の数。 ソース・フィールド: WBG-URIMAP-DIRECT-ATTACH

URIMAP レポート

URIMAP レポートは、**EXEC CICS INQUIRE URIMAP** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS URIMAP RESID()** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。統計データは、DFHWBRDS DSECT によってマップされます。

表 *275. URIMAP* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
URIMAP Name (URIMAP 名)	URIMAP 定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP**
URIMAP Enable Status (URIMAP 使用可能状況)	その URIMAP 定義が構成要素となっている仮想ホストが使用不可であったために、URIMAP 定義が使用可能であるか、使用不可であるかを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP () ENABLESTATUS**
URIMAP Usage (URIMAP の使用法)	この URIMAP リソースの使用目的は次のとおりです。 **SERVER** URIMAP リソースは、CICS が HOST と PATH によって特定された要求に対する HTTP 応答を作成するためのリソースの場所を探す目的で使用されます。 **CLIENT** URIMAP リソースは、HTTP クライアントとしての CICS から HTTP 要求を作成するための情報を指定する目的で使用されます。 **PIPELINE** URIMAP リソースは、CICS が HOST と PATH によって特定された要求に対する XML 応答を作成するためのリソースの場所を探す目的で使用されます。 **ATOM** URIMAP リソースは、CICS が Atom フィードとして使用可能にしたデータに対する着信要求に使用されます。 **JVMSERVER** URIMAP リソースは、JVM サーバーで実行中のサーブレットまたは JSP に対して Web クライアントからのインバウンド要求をマップするために使用されます。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP () USAGE**
URIMAP Scheme (URIMAP スキーム)	HTTP 要求のスキーム。SSL を付加した HTTP (HTTPS) または HTTP (SSL を付加しない) のいずれか。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() SCHEME**
URIMAP Authenticate (URIMAP 認証)	USAGE(CLIENT) では、資格情報 (認証情報) が発信 Web 要求のために送信されるかどうか。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() AUTHENTICATE**
URIMAP Port (URIMAP ポート)	USAGE(CLIENT) では、クライアント接続に使用されるポート番号。 USAGE(SERVER) では、定義時に PORT(NO) が URIMAP に指定された場合でも、通信に使用されているポート番号。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() PORT()**
URIMAP Host (URIMAP ホスト)	USAGE(CLIENT) の場合は、HTTP 要求の送信先となるターゲット URL のホスト名。 その他の使用タイプの場合は、この URIMAP 定義の選択に使用される着信 HTTP 要求のホスト名。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() HOST**

表 275. *URIMAP* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
URIMAP IP Family (URIMAP IP ファミリー)	URIMAP IP 解決アドレスに戻されるアドレスのアドレス・フォーマット。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() IPFAMILY()**
URIMAP IP Resolved Address (URIMAP IP 解決アドレス)	ホストの IPv4 または IPv6 解決アドレス。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() IPRESOLVED()**
URIMAP Path (URIMAP パス)	USAGE(CLIENT) の場合は、HTTP 要求の送信先となるターゲット URL のパス。その他の使用タイプの場合は、この URIMAP 定義の選択に使用される着信 HTTP 要求のパス。 PATH がアスタリスクで終わる場合があります。これは総称で、アスタリスクまで (ただし、アスタリスクを除く) の文字がすべて同じであるパスと一致することを意味します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() PATH**
TCPIPSERVICE name (TCPIPSERVICE 名)	この URIMAP 定義が適用される TCPIPSERVICE リソース。 この TCPIPSERVICE リソースを使用して受信された要求にのみ、この URIMAP 定義が適用されます。TCPIPSERVICE リソースが指定されていない場合、URIMAP 定義はすべての着信 HTTP 要求に適用されます。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() TCPIPSERVICE**
WEBSERVICE name (WEBSERVICE 名)	着信 HTTP 要求を処理する Web サービスの WEBSERVICE リソース定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() WEBSERVICE**
PIPELINE name (PIPELINE 名)	着信 HTTP 要求を処理する Web サービスの PIPELINE リソース定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() PIPELINE**
ATOMSERVICE name (ATOMSERVICE 名)	Atom 文書のための ATOMSERVICE リソース定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() ATOMSERVICE**
Templatename (テンプレート名)	内容が HTTP 応答として戻される CICS 文書テンプレートの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() TEMPLATENAME**
zFS ファイル	内容が HTTP 応答として戻される、z/OS UNIX System Services のファイル・システムのファイルの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() HFSFILE**
アナライザー	要求を処理するために TCPIPSERVICE 定義に関連付けられたアナライザーを呼び出すかどうかを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() ANALYZERSTAT**
コンバーター (Converter)	HTTP 要求を PROGRAM に指定されたアプリケーション・プログラムに適した形式に変換するために使用されるコンバーター・プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() CONVERTER**
トランザクション ID	着信 HTTP 要求を処理する別名トランザクションの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() TRANSACTION**
プログラム名	着信 HTTP 要求を処理するアプリケーション・プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() PROGRAM**

表 275. *URIMAP* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Redirection type (リダイレクトのタイプ)	一致する要求を一時的にリダイレクトするか、永続的にリダイレクトするかを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() REDIRECTTYPE**
Location for redirection (リダイレクトの場所)	リダイレクトを指定している場合、Web クライアントのリダイレクト先となる代替 URL。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE URIMAP() LOCATION**
URIMAP reference count (URIMAP の参照回数)	この URIMAP 定義が参照された回数。 ソース・フィールド: WBR-URIMAP-REFERENCE-COUNT
Disabled (使用不可)	このホストとパスは一致したが、URIMAP 定義が使用不可であった回数。 ソース・フィールド: WBR-URIMAP-MATCH-DISABLED
Redirected (リダイレクト)	このホストとパスが一致した回数、および要求がリダイレクトされた回数。 ソース・フィールド: WBR-URIMAP-MATCH-REDIRECT
Time out for pooled sockets (プールされたソケットのタイムアウト)	この URIMAP を使用して作成されたプールされたクライアント HTTP 接続が再使用されない場合に、CICS がそれらを破棄するまでの時間。 ソース・フィールド: WBR-URIMAP-SOCKETCLOSE
Number of pooled sockets (プールされたソケットの数)	再使用のためにプールに保持されるオープン状態のクライアント HTTP 接続の現在の数。 ソース・フィールド: WBR-URIMAP-SOCKPOOLSIZE
Peak number of pooled sockets (プールされたソケットのピーク数)	再使用のためにプールに保持されるオープン状態のクライアント HTTP 接続のピーク数。 ソース・フィールド: WBR-URIMAP-SOCKPOOLSIZE-PEAK
Number of reclaimed sockets (再使用ソケット数)	CICS 領域が MAXSOCKETS 制限に達したために CICS によってプール内で閉じられた、プールされた接続の数。 ソース・フィールド: WBR-URIMAP-SOCKETS-RECLAIMED
Number of timed out sockets (タイムアウトになったソケット数)	再使用されずにタイムアウト値に達したために CICS によってプール内で閉じられた、プールされた接続の数。 ソース・フィールド: WBR-URIMAP-SOCKETS-TIMEDOUT

ユーザー出口プログラム・レポート

ユーザー出口プログラム・レポートは、2 つの表から生成されます。このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM** コマンドを使用して作成されています。

表 276. ユーザー出口プログラム・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Program Name (プログラム名)	EXEC CICS ENABLE コマンドを使用して出口プログラムとして使用可能にされるプログラムのプログラム名。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM()

表 276. ユーザー出口プログラム・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Entry Name (エントリー名)	この出口プログラムのエントリー・ポイント名。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() ENTRYNAME()
Global Area Entry Name (グローバル作業域エントリー名)	この出口プログラムに関連付けられているグローバル作業域を所有している出口プログラムの名前。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() GAENTRYNAME()
Global Area Length (グローバル作業域の長さ)	この出口プログラムに関連付けられているグローバル作業域の長さ。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() GALENGTH()
Global Area Use Count (グローバル作業域使用回数)	この出口プログラムが所有しているグローバル作業域に関連付けられている出口プログラムの名前。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() GAUSECOUNT()
Number of Exits (出口数)	この出口プログラムが使用可能になっているグローバル・ユーザー出口ポイントの数。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() NUMEXITS()
Program Status (プログラム状況)	この出口プログラムが実行に使用可能かどうかを示しています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() STARTSTATUS(cvda)
Program Concurrency (プログラム並行性)	この出口プログラムの並行性属性を示しています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() CONCURRENCY(cvda)
Exit Program Use Count (出口プログラム使用回数)	この出口プログラムが呼び出された回数。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() USECOUNT(data-area)
LIBRARY Name (LIBRARY 名)	プログラムのロード元の LIBRARY 名。 プログラムがロードされていない場合、または LPASTATUS が LPA (プログラムが LPA からロードされたことを示す) の場合には、この値はブランクになります。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() LIBRARY(data-area)
LIBRARY Data Set Name (LIBRARY データ・セット名)	プログラムのロード元の LIBRARY 内にあるデータ・セットの名前。 プログラムがロードされていない場合、または LPASTATUS が LPA (プログラムが LPA からロードされたことを示す) の場合には、この値はブランクになります。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE PROGRAM() LIBRARYDSN(data-area)
Program Name (プログラム名)	EXEC CICS ENABLE コマンドを使用して出口プログラムとして使用可能にされるプログラムのプログラム名。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM()
Entry Name (エントリー名)	この出口プログラムのエントリー・ポイント名。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() ENTRYNAME()

表 276. ユーザー出口プログラム・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
API	タスク関連ユーザー出口プログラムが使用する API を示しています。 値は以下のとおりです。 **CICSAPI** タスク関連ユーザー出口プログラムは、QUASIRENT または THREADSAFE として使用できますが、OPENAPI オプションはありません。 このプログラムは、CICS で許可されるプログラミング・インターフェースに限定されています。 **OPENAPI** タスク関連ユーザー出口プログラムは、OPENAPI オプションで使用可能になっています。 このプログラムは非 CICS API の使用を許可されます。この目的で、CICS はオープン TCB の下でタスク関連ユーザー出口に制御を渡します。OPENAPI は、プログラムがスレッド・セーフ標準に準拠して作成されていることを想定しています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() APIST(cvda)
Concurrency Status (並行性状況)	出口プログラムの並行性属性を示しています。 値は以下のとおりです。 **QUASIRENT** タスク関連ユーザー出口プログラムは、準再入可能として定義され、CICS API を介して CICS サービスを起動するときに、CICS QR TCB の下でのみ実行できます。 MVS サービスを使用するには、このタスク関連ユーザー出口プログラムはプライベートに管理される TCB に切り替える必要があります。 **THREADSAFE** タスク関連ユーザー出口プログラムはスレッド・セーフとして定義され、オープン TCB の下で実行可能です。 APIST オプションが OPENAPI を戻す場合、プログラムは常にオープン TCB の下で呼び出されます。 APIST オプションが CICSAPI を戻す場合、プログラムに制御が与えられるときにユーザー・タスクで使われている TCB (オープン TCB または CICS QR TCB) の下でプログラムが呼び出されます。 **REQUIRED** タスク関連ユーザー出口プログラムは、常にオープン TCB で実行されるよう定義されています。 REQUIRED は、プログラム定義または **ENABLE PROGRAM** コマンドによって指定されています。 **注:** タスク関連ユーザー出口で REQUIRED および OPENAPI が有効になっている場合は、THREADSAFE および OPENAPI が有効になっている場合と同じ方法で扱われます。互換性を保つために、どちらの組み合わせの場合も **INQUIRE EXITPROGRAM** は常に THREADSAFE、OPENAPI を戻します。 REQUIRED および CICSAPI が有効になっているタスク関連ユーザー出口の場合、**INQUIRE EXITPROGRAM** は REQUIRED、CICSAPI を戻します。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() CONCURRENST(cvda)
Qualifier (修飾子)	この出口プログラムに対して指定された修飾子の名前。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() QUALIFIER()
長さ	この出口プログラムに関連付けられているタスク・ローカル作業域の長さ。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() TALENGTH()

表 276. ユーザー出口プログラム・レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Task Related User Exit Options - Taskstart (ユーザー出口オプションに関連したタスク - タスク開始)	この出口プログラムが TASKSTART オプションで使用可能になったのかどうかを示しています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() TASKSTART(cvda)
Task Related User Exit Options - EDF (ユーザー出口オプションに関連したタスク - EDF)	この出口プログラムが FORMATEDF オプションで使用可能になったのかどうかを示しています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() FORMATEDFST(cvda)
Task Related User Exit Options - Shutdown (ユーザー出口オプションに関連したタスク - シャットダウン)	この出口プログラムが SHUTDOWN オプションで使用可能になったのかどうかを示しています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() SHUTDOWNST(cvda)
Task Related User Exit Options - Indoubt (ユーザー出口オプションに関連したタスク - 未確定)	この出口プログラムが INDOUBTWAIT オプションで使用可能になったのかどうかを示しています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() INDOUBTST(cvda)
Task Related User Exit Options - SPI (ユーザー出口オプションに関連したタスク - SPI)	この出口プログラムが SPI オプションで使用可能になったのかどうかを示しています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() SPIST(cvda)
Task Related User Exit Options - Purgeable (ユーザー出口オプションに関連したタスク - パージ可能)	この出口プログラムが PURGEABLE オプションで使用可能になったのかどうかを示しています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM() PURGEABLEST(cvda)

仮想ホスト・レポート

仮想ホスト・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE HOST** コマンドを使用して作成します。

表 277. 仮想ホスト・レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
Virtual Host name (仮想ホスト名)	仮想ホストの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE HOST**
TCPIPSERVICE name (TCPIPSERVICE 名)	この仮想ホストが関連するインバウンド・ポートを指定する TCPIPSERVICE 定義の名前。この定義が示されない場合、仮想ホストはすべての TCPIPSERVICE 定義と関連しています。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE HOST() TCPIPSERVICE**
Virtual Host Enable Status (仮想ホストの使用可能状況)	仮想ホストが使用可能であるか、使用不可であるかを示します。仮想ホストを構成する URIMAP 定義にアプリケーションからアクセスできるか、アクセスできないかを意味します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE HOST() ENABLESTATUS**

Web サービス・レポート

Web サービス・レポートは、**EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS WEBSERVICE RESID()** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。

統計データは、DFHPIWDS DSECT によってマップされます。

表 *278. WEBSERVICE* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
WEBSERVICE Name (WEBSERVICE 名)	Web サービス定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE**
WEBSERVICE Status (WEBSERVICE 状況)	Web サービスの状態。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() STATE**
Last modified date and time (最終変更日時)	z/OS UNIX 上の配置済み WSBind ファイルが最後に更新された時刻 (1900 年 1 月 1 日 00:00 以降、ミリ秒単位)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() LASTMODTIME**
URIMAP name (URIMAP 名)	動的にインストールされた URIMAP リソース定義の名前 (この Web サービスに関連付けられている URIMAP リソース定義がある場合)。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() URIMAP**
PIPELINE name (PIPELINE 名)	この Web サービス・リソースの入った PIPELINE リソースの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() PIPELINE**
Web service description (WSDL) (Web サービス記述 (WSDL))	Web サービス・リソースに関連付けられている Web サービス記述 (WSDL) ファイルのファイル名。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() WSDLFILE**
Web service binding file (Web サービス・バインディング・ファイル)	Web サービス・リソースに関連付けられている Web サービス・バインディング・ファイルのファイル名。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() WSBIND**
Web service WSDL binding (Web サービス WSDL バインディング)	Web サービスが表す WSDL バインディング。このバインディングは、WSDL ファイルに多数現れる可能性のあるバインディングのうちの 1 つです。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() BINDING**
Endpoint (エンドポイント)	Web サービス記述に定義されている、Web サービスのネットワーク上の場所 (またはエンドポイント) を示す URI。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() ENDPOINT**
妥当性検査	Web サービス記述内の対応するスキーマに照らした SOAP メッセージの完全な妥当性検査が指定されているかどうかを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() VALIDATIONST**

表 278. *WEBSERVICE* レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Program interface (プログラム・インターフェース)	サービス・プロバイダーの場合は、CICS がターゲット・アプリケーション・プログラムに COMMAREA とチャネルのどちらでデータを渡すかを示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() PGMINTERFACE**
プログラム名	ターゲット・アプリケーション・プログラムの名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() PROGRAM**
Container (コンテナー)	CICS がターゲット・アプリケーション・プログラムにチャネルでデータを渡すとき、最上位のデータを格納するコンテナーの名前を示します。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE WEBSERVICE() CONTAINER**
WEBSERVICE use count (WEBSERVICE の使用回数)	Web サービス要求を処理するためにこの Web サービスが使用された回数。 ソース・フィールド: PIW-WEBSERVICE-USE-COUNT

IBM MQ 接続レポート

IBM MQ 接続レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS MQCONN** コマンドを使用して作成されています。統計データは、**DFHMQGDS DSECT** によってマップされます。

表 279. *IBM MQ* 接続レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
MQCONN name (MQCONN 名)	CICS と IBM MQ との間の接続の属性を定義する、CICS 領域のためのインストール済み MQCONN 定義の名前。 ソース・フィールド: MQG-MQCONN-NAME
IBM MQ Connection Status (IBM MQ 接続状況)	CICS と IBM MQ との間の接続の状況を以下のように示します。 ソース・フィールド: MQG-CONNECTION-STATUS
IBM MQ connect date / time (IBM MQ 接続日付/時刻)	CICS と IBM MQ との間の最新の接続が開始された日時。 ソース・フィールド: MQG-CONNECT-TIME-LOCAL
Mqname	CICS 領域のためのインストール済み MQCONN 定義の MQNAME 属性に指定された、IBM MQ キュー・マネージャーまたはキュー共用グループの名前。CICS は、これをその接続のためのデフォルトとして使用します。 ソース・フィールド: MQG-MQNAME
IBM MQ Queue Manager Name	CICS が現在接続されている IBM MQ キュー・マネージャーの名前。CICS が IBM MQ に接続されていない場合、このフィールドはブランクになります。 ソース・フィールド: MQG-QMGR-NAME
Resync group member (再同期グループ・メンバー)	CICS が IBM MQ に再接続するときに未確定の作業単位がある場合、CICS 領域の MQCONN 定義が再同期を指定しているかどうかを示します。 ソース・フィールド: MQG-RESYNCMEMBER
IBM MQ Release (IBM MQ リリース)	CICS に接続された IBM MQ のリリース。 ソース・フィールド: MQG-MQ-RELEASE

表 279. *IBM MQ* 接続レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Initiation Queue Name (開始キュー名)	CICS と IBM MQ との間の接続の、デフォルト開始キューの名前。 ソース・フィールド: MQG-INITIATION-QUEUE
Number of current tasks (現在のタスク数)	MQI 呼び出しを発行した現在のタスクの数。 ソース・フィールド: MQG-TTasks
Number of futile attempts (失敗した試行の数)	接続状況が「not connected」のときに行われた MQI 呼び出し数のカウント。 これは接続が確立されたときにゼロにリセットされます。 ソース・フィールド: MQG-TFutileAtt
Total number of API calls (API 呼び出しの総数)	接続が確立されてからの MQI 呼び出しの総数。 ソース・フィールド: MQG-TApi
Number of API calls completed OK (正常に完了した API 呼び出しの数)	正常に完了した呼び出しの総数。 ソース・フィールド: MQG-TApiOk
API Crossing Exit Name (API 交差出口名)	API 交差出口の名前で、常に CSQCAPX です。 ソース・フィールド: 適用外
API Crossing Exit Concurrency Status (API 交差出口の並行性状況)	API 交差出口が QUASIRENT、THREADSAFE、または REQUIRED のどちらとして定義されているか。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE PROGRAM CONCURRENCY
Number of OPEN requests (OPEN 要求数)	発行された MQOPEN 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TOPEN
Number of CLOSE requests (CLOSE 要求数)	発行された MQCLOSE 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TCLOSE
Number of GET requests (GET 要求数)	発行された MQGET 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TGET
Number of GETWAIT requests (GETWAIT 要求数)	MQGMO_WAIT オプションが指定して発行された MQGET 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TGETWAIT
Number of GETWAITs that waited (待ち GETWAIT 要求数)	MQGMO_WAIT オプションを指定して発行された MQGET 呼び出しで、メッセージを待機したものの数。 ソース・フィールド: MQG-TWaitMsg
Number of PUT requests (PUT 要求数)	発行された MQPUT 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TPUT
Number of PUT1 requests (PUT1 要求数)	発行された MQPUT1 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TPUT1
Number of INQ requests (INQ 要求数)	発行された MQINQ 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TINQ

表 279. IBM MQ 接続レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Number of SET requests (SET 要求数)	発行された MQSET 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TSET
Number of internal MQ calls (内部 MQ 呼び出し数)	行われた内部 MQ 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TCall
Number that completed synchronously (同期して完了した数)	同期して完了した呼び出しの総数。 ソース・フィールド: MQG-TCallSyncComp
Number that needed I/O (入出力を必要とした数)	入出力を必要とした呼び出しの総数。 ソース・フィールド: MQG-TCallIO
Number of calls with TCB switch (TCB スイッチのある呼び出し数)	TCB スイッチのある API 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TSubtasked
Number of indoubt units of work (未確定の作業単位数)	アダプター開始時に未確定の UOW の数。 ソース・フィールド: MQG-TIndoubtUOW
Number of unresolved units of work (未解決の作業単位数)	アダプター開始時に未確定の UOW で、CICS コールド・スタートのために解決されていないものの数。 ソース・フィールド: MQG-TUnresolvedUOW
Number of resolved committed UOWs (解決されたコミット済み UOW の数)	アダプター開始時に未確定の UOW で、コミットによって解決されたものの数。 ソース・フィールド: MQG-TResolveComm
Number of resolved backout UOWs (解決されたバックアウト UOW の数)	アダプター開始時に未確定の UOW で、バックアウトによって解決されたものの数。 ソース・フィールド: MQG-TResolveback
Number of Backout UOWs (バックアウト UOW の数)	バックアウトされた UOW の総数。 ソース・フィールド: MQG-TBackUOW
Number of Committed UOWs (コミットされた UOW の数)	コミットされた UOW の総数。 ソース・フィールド: MQG-TCommUOW
Number of tasks (タスク数)	タスクの総数。 ソース・フィールド: MQG-TTaskend
Number of Single Phase Commits (単一フェーズ・コミットの数)	単一フェーズ・コミットの総数。 ソース・フィールド: MQG-TSPComm
Number of Two Phase Commits (2 フェーズ・コミットの数)	2 フェーズ・コミットの総数。 ソース・フィールド: MQG-T2PComm
Number of CB requests (CB 要求数)	発行された MQCB 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TCB

表 279. *IBM MQ* 接続レポートのフィールド (続き)

フィールド・ヘッダー	説明
Number of msgs consumed (消費されたメッセージの数)	コールバック・ルーチンに渡されたメッセージの数。 ソース・フィールド: MQG_TCONSUME
Number of CTL requests (CTL 要求数)	発行された MQCTL 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TCTL
Number of SUB requests (SUB 要求数)	発行された MQSUB 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TSUB
Number of SUBRQ requests (SUBRQ 要求数)	発行された MQSUBRQ 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TSUBRQ
Number of STAT requests (STAT 要求数)	発行された MQSTAT 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TSTAT
Number of CRTMH requests (CRTMH 要求数)	発行された MQCRTMH 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TCRTMH
Number of DLTMH requests (DLTMH 要求数)	発行された MQDLTMH 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TDLTMH
Number of SETMP requests (SETMP 要求数)	発行された MQSETMP 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TSETMP
Number of INQMP requests (INQMP 要求数)	発行された MQINQMP 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TINQMP
Number of DLTMP requests (DLTMP 要求数)	発行された MQDLTMP 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TDLTMP
Number of MHBUF requests (MHBUF 要求数)	発行された MQMHBUF 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TMHBUF
Number of BUFMH requests (BUFMH 要求数)	発行された MQBUFMH 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQG-TBUFMH

IBM MQ モニター・レポート

IBM MQ モニター・レポートは、**EXEC CICS EXTRACT STATISTICS MQMONITOR** コマンドを使用して作成されます。統計データは、DFHMQRDS/DFHMQRPS/DFHMQRKS によってマップされます。

CICS 領域にインストールされている各 MQMONITOR リソースごとに 1 つのレコードが作成されます。

表 *280. IBM MQ* モニター・レポートのフィールド

DFHSTUP 名	説明
Monitor name (モニター名)	CICS 領域内のインストール済み MQMONITOR 定義の名前。 ソース・フィールド: MQR-NAME
Autostatus	MQ モニターの自動開始設定標識。 **YES** IBM MQ キュー・マネージャーへの接続が確立したときに MQ モニターを自動的に開始します。 **NO** MQ モニターは自動的に開始されません。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE MQMONITOR() AUTOSTART(cvda)
Enablestatus	MQMONITOR リソースの状況。次のいずれかになります。 **ENABLED** MQMONITOR リソースは使用可能です。 **ENABLING** MQMONITOR リソースを有効にしています。 **DISABLED** MQMONITOR リソースは使用不可です。 **DISABLING** MQMONITOR リソースを無効にしています。 **DISCARDING** MQMONITOR リソースは破棄されています。 ソース・フィールド: EXEC CICS INQUIRE MQMONITOR() ENABLESTATUS(cvda)
モニター状況	MQ モニターの状況。次のいずれかになります。 **STARTED** MQ モニターが開始されます。 **STARTING** MQ モニターは開始しています。 **STOPPED** MQ モニターは停止されます。 **STOPPING** MQ モニターが停止しています。 ソース・フィールド: MQR-MONSTATUS

表 *280. IBM MQ* モニター・レポートのフィールド *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
MQ Queue name (MQ キュー名)	MQ モニターがモニターする MQ キューの名前。 ソース・フィールド: MQR-QNAME
モニター・ユーザー ID	MQ キューをモニターするトランザクションが使用するユーザー ID。 ソース・フィールド: MQR-MONUSERID
Userid	該当するユーザー ID が無効である場合にアプリケーション・トランザクションに対して開始要求を発行するときに、MQMONITOR トランザクションが使用するユーザー ID。 ソース・フィールド: MQR-USERID
トランザクション Id	MQ モニターが使用する、CICS トランザクションの ID。 ソース・フィールド: MQR-TRANID
タスク番号	MQ キューをモニターするトランザクションのタスク番号。 ソース・フィールド: MQR-TASKNUM
Number of OPEN requests (OPEN 要求数)	発行された MQOPEN 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQR-TOPEN
Number of CLOSE requests (CLOSE 要求数)	発行された MQCLOSE 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQR-TCLOSE
Number of GET requests (GET 要求数)	発行された MQGET 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQR-TGET
Number of GETWAIT requests (GETWAIT 要求数)	MQGMO_WAIT オプションが指定して発行された MQGET 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQR-TGETWAIT
Number of PUT requests (PUT 要求数)	発行された MQPUT 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQR-TPUT
Number of PUT1 requests (PUT1 要求数)	発行された MQPUT1 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQR-TPUT1
Number of INQ requests (INQ 要求数)	発行された MQINQ 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQR-TINQ
Number of INQL requests (INQL 要求の数)	発行された MQINQL 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQR-TINQL
Number of SET requests (SET 要求数)	発行された MQSET 呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQR-TSET

表 *280. IBM MQ* モニター・レポートのフィールド *(*続き*)*

DFHSTUP 名	説明
Number of Committed UOWs (コミットされた UOW の数)	アダプター開始時に未確定の UOW で、コミットによって解決されたものの数。 ソース・フィールド: MQR-TCOMMUOW
Number of Backout UOWs (バックアウト UOW の数)	アダプター開始時に未確定の UOW で、バックアウトによって解決されたものの数。 ソース・フィールド: MQR-TBACKUOW
Number of OTHER requests (OTHER 要求数)	その他の呼び出しの数。 ソース・フィールド: MQR-TOTHER

XMLTRANSFORM レポート

XMLTRANSFORM レポートは、XMLTRANSFORM リソースに関する情報および統計を示します。 XMLTRANSFORM リソースは、z/OS UNIX で XML バインディングが存在する場所、およびその状況を定義します。 BUNDLE リソースまたは ATOMSERVICE リソースをインストールすると、CICS は動的に XMLTRANSFORM リソースを作成します。

このレポートは、**EXEC CICS INQUIRE XMLTRANSFORM** および **EXEC CICS EXTRACT STATISTICS** コマンドの組み合わせを使用して作成されています。 統計データは、DFHMLRDS DSECT によってマップされます。

表 *281. XMLTRANSFORM* レポートのフィールド

フィールド・ヘッダー	説明
XMLTRANSFORM Name (XMLTRANSFORM 名)	XMLTRANSFORM リソース定義の名前。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE XMLTRANSFORM**
XMLTRANSFORM Enable Status (XMLTRANSFORM 使用可能状況)	XMLTRANSFORM リソース定義の状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE XMLTRANSFORM () ENABLESTATUS**
XMLTRANSFORM XSDBIND File (XMLTRANSFORM XSDBIND ファイル)	z/OS UNIX での xsdbind ファイルの場所。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE XMLTRANSFORM () XSDBIND**
XMLTRANSFORM XML Schema File (XMLTRANSFORM XML スキーマ・ファイル)	z/OS UNIX での XML スキーマ・ファイルの場所。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE XMLTRANSFORM () XMLSCHEMA**
XMLTRANSFORM Msg Validation (XMLTRANSFORM メッセージ検証)	XML 検証の状況。 ソース・フィールド: **EXEC CICS INQUIRE XMLTRANSFORM () VALIDATIONST**

表 *281. XMLTRANSFORM* レポートのフィールド *(*続き*)*

フィールド・ヘッダー	説明
XMLTRANSFORM Use Count (XMLTRANSFORM の使用回数)	xsdbind ファイルがデータ形式変更に使用された回数。 ソース・フィールド: MLR-XMLTRNFM-USE-COUNT

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料の他の言語版を IBM から入手できる場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。 IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒*103-8510*
東京都中央区日本橋箱崎町*19*番*21*号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing
IBM Corporation
North Castle Drive, MD-NC119 Armonk,
NY 10504-1785
United States of America

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。 IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態で提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。 IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

プログラミング・インターフェース情報

CICS には、プログラミング・インターフェースと見なすことのできる資料と、プログラミング・インターフェースと見なすことのできない資料があります。

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが含まれています。

- アプリケーションの開発
- Developing system programs
- 保護の概要
- 外部インターフェースに向けた開発
- リファレンス: アプリケーション開発h
- リファレンス: システム・プログラミング
- リファレンス: 接続

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェースとして意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が含まれています。

- Troubleshooting and support
- リファレンス: 診断

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが以下のマニュアルに含まれています。

- アプリケーション・プログラミング・ガイドおよびアプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Business Transaction Services
- Customization Guide
- C++ OO Class Libraries
- Debugging Tools Interfaces Reference
- Distributed Transaction Programming Guide
- External Interfaces Guide
- Front End Programming Interface Guide
- IMS Database Control Guide
- インストール・ガイド
- セキュリティー・ガイド
- Supplied Transactions
- CICSPlex® SM Managing Workloads
- CICSPlex SM Managing Resource Usage
- CICSPlex SM アプリケーション・プログラミング・ガイドおよび CICSPlex SM アプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Java Applications in CICS

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェース

として意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が以下のマニュアルに含まれています。

- Data Areas
- Diagnosis Reference
- Problem Determination Guide
- CICSPlex SM Problem Determination Guide

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com® は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、 http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用範囲
: IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用
: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商用使用
: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することがで

きます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利　ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態で提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品 (「ソフトウェア・オファリング」) では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

CICSPlex SM Web ユーザー・インターフェース **(**メイン・インターフェース**)** の場合**:**　このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSPlex SM Web ユーザー・インターフェース **(**データ・インターフェース**)** の場合**:**　このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名またはその他の個人情報を、セッションごとの Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSPlex SM Web ユーザー・インターフェース **(**「**Hello World**」ページ**)** の場合**:**　このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、個人情報を収集しないセッションごとの Cookie を使用する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICS Explorer® の場合**:**

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの設定および持続的な設定を使用して収集する場合があります。これらの設定を無効にすることはできませんが、ユーザー・パスワードの暗号化形式でのディスクへの保管は、サインオン中にチェック・ボックスにチェック・マークを付けることによるユーザーの明示的な操作によってのみ有効化することができます。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、 お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および「IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement」(http://www.ibm.com/software/info/product-privacy) を参照してください。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

一時記憶
  統計 316
  DFH0STAT レポート 529
一時記憶域キュー
  DFH0STAT レポート 535
一時記憶域メイン - ストレージ・サブプール
  DFH0STAT レポート 533
一時データ
  DFH0STAT レポート 550
一時データ統計 348
一時データ・キュー
  DFH0STAT レポート 551
一時データ・キューの合計
  DFH0STAT レポート 553
イベント処理
  統計 73
エンキュー・ドメイン
  統計 69
エンキュー・マネージャー
  エンキュー・マネージャー・レポート 446
  エンキュー・モデル・レポート 448
  統計 69
  DFH0STAT レポート 446
エンキュー・モデル
  DFH0STAT レポート 448

[カ行]

回線送信障害 326
仮想ホスト
  DFH0STAT レポート 560
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル
  リスト構造の統計 30
共用キュー・サーバー
  カップリング・ファシリティー統計 270
区画内バッファーの統計 348, 364
グローバル・ユーザー出口
  DFH0STAT レポート 455

[サ行]

システム初期設定パラメーター
  PVDELAY 137
  TS 316
  USRDELAY 137
システム・ダンプ
  統計 64
自動インストール (autoinstall)
  統計 7
自動開始記述子 (AID) 120, 128
ジャーナル名
  統計 153
  DFH0STAT レポート 461
障害
  回線送信 326
  トランザクション 326
ストレージ
  DFH0STAT レポート 494
ストレージ・サブプール
  DFH0STAT レポート 513
ストレージ・マネージャー
  統計 279
ストレージ・マネージャー統計 279
接続およびモードネーム・レポート
  DFH0STAT レポート 415
接続時間統計 137

[タ行]

ダンプ
  ドメイン統計 64, 66
ダンプ統計 63
ダンプ・ドメイン
  統計 64, 66
端末管理
  統計 326
端末自動インストール
  DFH0STAT レポート 536
データベース制御
  DBCTL セッション終了統計 36
データベース・リソース・アダプター (DRA) 36
データ・セット
  DFH0STAT レポート 419
データ・テーブル要求
  DFH0STAT レポート 420
テーブル・マネージャー
  統計 302
ディスパッチャー
  統計 39
ディスパッチャー (続き)
  DFH0STAT レポート 431
ディスパッチャー MVS TCB レポート
  DFH0STAT レポート 433
ディスパッチャー TCB モード・レポート
  DFH0STAT レポート 436
出口プログラム
  DFH0STAT レポート 557
統計
  一時記憶 316
  一時データ 348
  イベント処理 73
  エンキュー 69
  エンキュー・ドメイン 69
  区画内バッファー 348, 364
  システム・ダンプ 64
  自動インストール (autoinstall) 7
  ジャーナル名 153
  ストレージ・マネージャー 279
  接続時間 137
  ダンプ 63
  ダンプ・ドメイン 64, 66
  端末管理 326
  テーブル・マネージャー 302
  ディスパッチャー 39
  統計ドメイン 276
  トランザクション・クラス 330
  トランザクション・ダンプ 66
  トランザクション・マネージャー (transaction manager) 336
  ファイル 90
  ファイル制御 90
  プログラム 180, 243
  プログラム自動インストール 235
  文書テンプレート 58
  モニター・ドメイン 218
  ユーザー・ドメイン 381, 382
  リカバリー・マネージャー 263
  リソース統計、間接キュー 361
  リソース統計、区画外キュー 359
  リソース統計、区画内キュー 354
  リソース統計、リモート・キュー 362
  ローダー 180
  ログ・ストリーム 196
  Atom フィード 2
  CAPTURESPEC 73
  CICS Db2 15
  DBCTL セッション終了 36
  EPADAPTER 74
  EVENTBINDING 76
  EVENTPROCESS 79

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

統計 (続き)
IPCONN 139
IPIC 139
ISC/IRC システムおよびモード・エントリー 110
ISC/IRC 接続時間 137
JVM プログラム 164
LIBRARY 170
LSR プール 203
LSR プール・ファイル 216
PIPELINE 定義 236
SNA 384
TCLASS 330
TCP/IP 303
TCP/IP サービス: リソース 310
TCP/IP: グローバル 303
URIMAP 定義 369
VSAM 共用リソース 203
Web サービス 389
WebSphere MQ 394
WebSphere MQ 接続 394
WebSphere MQ モニター 394
z/OS Communications Server 384
トランザクション
障害 326
DFH0STAT レポート 543
トランザクションの合計
DFH0STAT レポート 549
トランザクション・クラス
統計 330
DFH0STAT レポート 545
トランザクション・ダンプ
統計 66
トランザクション・マネージャー (transaction manager)
統計 336
DFH0STAT レポート 546
トランザクション・マネージャー統計 336
トレース設定
DFH0STAT レポート 541

[ナ行]

名前付きカウンター・シーケンス番号サーバー
統計 228

[ハ行]

ファイル
DFH0STAT レポート 453
ファイル制御
統計 90
ファイル統計 90
プログラム
統計 180, 243
プログラム自動インストール
統計 235
DFH0STAT レポート 488
プログラムの合計レポート
DFH0STAT レポート 490
文書テンプレート
統計 58
DFH0STAT レポート 444
ページ・インデックス
DFH0STAT レポート 484

[マ行]

モニター
ドメイン統計 218

[ヤ行]

ユーザー・ドメイン
統計 381
ユーザー・ドメイン統計 382

[ラ行]

リカバリー・マネージャー
統計 263
DFH0STAT レポート 492
ローダーおよびプログラム・ストレージ
DFH0STAT レポート 468
ローダー統計 180
ログ・ストリーム
統計 196
DFH0STAT レポート 472, 473, 474, 476

[数字]

16 MB 未満のストレージ・レポート 494
16 MB を超えるストレージ・レポート 498
2 GB より上のストレージ・レポート 502

A

ACF/SNA 統計 384
AID (自動開始記述子) 120, 128
Atom フィード
統計 2
ATOMSERVICE リソース定義
DFH0STAT レポート 411

C

CAPTURESPEC
統計 73
CAPTURESPEC リソース定義
DFH0STAT レポート 448
CICS Db2
統計 15

D

DB2 エントリー・ストレージ
DFH0STAT レポート 428
DBCTL セッション終了
統計 36
DFH0STAT レポート 419, 454, 514, 534, 536, 540
一時記憶 529
一時記憶域キュー 535
一時記憶域メイン - ストレージ・サブプール 533
一時記憶域モデル 534
一時データ 550
一時データ・キュー 551
一時データ・キューの合計 553
エンキュー・マネージャー・レポート 446
エンキュー・モデル・レポート 448
仮想ホスト 560
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・プール・レポート 419
共用 TS プールごとの TSqueue レポート 536
グローバル・ユーザー出口 455
システム状況 514
ジャーナル名 461
ストレージ 494
ストレージ・サブプール 513
接続およびモードネーム 415
端末自動インストール 536
データ・セット名 419
データ・テーブル要求 420
ディスパッチャー 431
ディスパッチャー MVS TCB レポート 433
ディスパッチャー TCB モード・レポート 436
出口プログラム 557
トランザクションの合計 549
トランザクション・クラス・レポート 545
トランザクション・マネージャー (transaction manager) 546
トランザクション・レポート 543
トレース設定 541

DFH0STAT レポート (続き)
ファイル 453
ファイル要求 454
プログラム自動インストール 488
プログラムの合計 490
プログラム・ストレージ 468
文書テンプレート 444
ページ・インデックス 484
リカバリー・マネージャー 492
ローダー 468
ローダーおよびプログラム・ストレージ 468
ログ・ストリーム 472, 473, 474, 476
16 MB 未満のストレージ 494
16 MB を超えるストレージ 498
2 GB より上のストレージ 502
ATOMSERVICE リソース定義 411
CAPTURESPEC リソース定義 448
DB2 エントリー 428
DB2 エントリー・ストレージ 428
DFHRPL 分析 430
DSA および LPA ごとのプログラム 489
EPADAPTER リソース定義 449
EVENTBINDING リソース定義 450
EVENTPROCESS リソース定義 450
IPCONN 456
JVM プログラム 462
LIBRARY 466
LIBRARY データ・セット連結 467
LSR プール 476
PIPELINE リソース定義 484
TCP/IP 522
TCP/IP サービス 526
tsqueue の合計レポート 540
URIMAP リソース定義 553, 555
WEBSERVICE リソース定義 561
WebSphere MQ 接続 562
z/OS Communications Server 536
DFHRPL 分析
DFH0STAT レポート 430
DRA (データベース・リソース・アダプター) 36
DSA および LPA ごとのプログラム
DFH0STAT レポート 489

E

EPADAPTER
統計 74
EPADAPTER リソース定義
DFH0STAT レポート 449
EVENTBINDING
統計 76
EVENTBINDING リソース定義
DFH0STAT レポート 450
EVENTPROCESS
統計 79
EVENTPROCESS リソース定義
DFH0STAT レポート 450

I

IPCONN
統計 139
IPCONN 統計 139
IPCONN レポート
DFH0STAT レポート 456
ISC/IRC システムおよびモード・エントリー
統計 110
ISC/IRC (システム間連絡/領域間通信)
接続時間の項目 137
ISC/IRC 接続時間統計 137

J

JVM プログラム
DFH0STAT レポート 462
JVM プログラム統計 164

L

LIBRARY
統計 170
DFH0STAT レポート 466
LIBRARY データ・セット連結
DFH0STAT レポート 467
LSR プール
DFH0STAT レポート 476
LSR プール統計 203
LSR プール・ファイル統計 216

M

MEMLIMIT 284, 298, 502, 506

P

PIPELINE 定義
統計 236
PIPELINE リソース定義
DFH0STAT レポート 484
PVDELAY、システム初期設定パラメーター 137

T

TCLASS
統計 330
TCP/IP
統計 303
DFH0STAT レポート 522
TCP/IP サービス
統計 310
DFH0STAT レポート 526
TCP/IP: グローバル
統計 303
TS、システム初期設定パラメーター 316

U

URIMAP 定義
統計 369
URIMAP リソース定義
DFH0STAT レポート 553, 555
USRDELAY、システム初期設定パラメーター 137

V

VSAM
共用リソース統計 203

W

Web サービス
統計 389
WEBSERVICE リソース定義
DFH0STAT レポート 561
WebSphere MQ
統計 394
WebSphere MQ 接続
統計 394
DFH0STAT レポート 562
WebSphere MQ モニター
統計 394

Z

z/OS Communications Server
DFH0STAT レポート 536

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21